

シテ居ツタ者ハ、筋肉労働ノ體驗ガゴザイ  
マセスカラ、急ニサウ云フ方面ニ廻ハスト  
云フコトハ困難デハナイカ、ダカラ勤勞精  
神ヲ養ヒ、且ツ勤勞基礎訓練ヲ與ヘヤウト  
云フ趣旨デアリマシテ、是ハ先ヅ東京大阪  
ニ試ミテ見ヤウ、サウシテ是ガ巧ク行クナ  
ラバ、直チニ各地ノ職業指導所ヲ擴大シテ  
モ宜シ、新タニ設ケテモ宜シ、相當ノ設備  
ヲ進メルコトニシタイ、斯ウ云フノデ、先ヅ  
二箇所ト云フコトニ決メタノデアリマス

ソレカラ今申上ゲタヤウニ全國ニ二百ノ  
職業指導所ガアリマスガ尙ホ其ノ他ニ全國  
ニ四百ノ國民職業指導所ガ設置サレテアル  
ノデアリマス、是ハ以前ハ職業紹介所ナル名  
ノ下ニ經營シテ居ツタノデアリマスガ、單  
純ノ職業紹介ダケデハ間ニ合ハナイト云フ  
所カラ、其ノ機能ヲ擴大スルコトニシマシ  
テ、商工相談所ノ如キモ之ニ收容シ、ソレ  
カラ小兒童ノ就職ノ轉換トカ、登録事務  
トカ、轉換業ノ對策トカ、サウ云フヤウナ  
諸般ノ之ニ類似シタ事務ヲ總テ之ニ扱ハセ  
ルト云フコトニシテ、尙ホ其ノ上ニ各府縣  
ニ職業轉換協議會ト云フモノヲ設ケ、知事  
ヲ指導者トシマシテ、組合ノ役員ヤ産業界  
ノ特志家ヲ此ノ協議會ノ委員ト致シマシテ、  
中小商工カラ他ニ轉換業ノ對策ヲ研究シテ  
ヤルト云フ機關ヲ設ケ、尙ホ國民職業指導  
員ト云フモノヲ設ケマシテ、全國ニ約二千  
四百人程依屬スルコトニナツテ、今其ノ選任  
中デアリマス、此ノ職業指導員ガ職業轉換  
ヲ要スルヤウナ中小工業者ニ臨ンデ色々相  
談ニ與ツテ、サウシテ君ノ所ハ斯ウ云フ風  
ニ更生シタラ宜イデハナイカ、ドウシテモ  
更生出來ナイト云フナラバ、ソレデハ此ノ  
方面ニ轉換シテハドウカ、君ノ體格カラ見

レバドシナ勞働デモ出來ルカラ重工業ハド  
ウカ、又君ハ企業的ノ才能ガアルヤウニ見  
受ケラレルカラ、滿洲ニ行ツテ斯ウ云フコ  
トヲヤウテハドウカト云フヤウニ色々相談  
ニ與ツテ、謂ハバ更生ノ指導者ト云フヤウ  
ナ立場ニ立ツテ面倒ヲ見ケルト云フ仕組  
ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレト更生金  
庫等モ活用致シマシテ出來ルダケ圓滑ニ轉  
業ノ出來ルヤウニ努力致シタイと思ツテ居  
リマス

○小笠原(三)委員 私方前ニ數字ヲ御座カ  
メ致シタノハ、實ハサウ云フ點カラデアリ  
マシテ、今大臣ノ御話ニナリマシタヤウナ  
勤勞訓練所ト云フモノハ大阪、東京ノ二箇  
所デアツテ、ソレガ假リニ一箇月千名ヲ收  
容スルコトニシテモ、一箇年僅カニ二萬四千名  
シカ收容出來ナイ、所ガ其ノ對象トナル者  
ハドウカト云フト、先刻大臣ガ仰セテ通り、  
假リニ十五、十六、十七年ノ三箇年ト見テ  
モ、百四十七万人カラアルノデアリマス  
カラ、是ハモット——全部收容ガ出來得ル  
ヤウナ規模ニ御改メニナラナケレバイカス  
ルノデヤナイカ、餘リニ規模ガ小サキニ過ギ  
ルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘマスノデ此ノ  
點ヲ御伺ヒ申上ゲタ次第デアリマス、其ノ  
次ニ今職業指導ノ點ニ付テ御話ガゴザイマ  
シテ、承レバ全國ニ職業指導員二千四百名  
ヲ設ケテ色々指導サレルト云フコトデアリ  
マス、所デソレナラバドウ云フ職業ヲドウ  
云フ風ニ指導セントセラレルノデアアルカ、  
私共ガ大阪、神戸等ヲ調査致シタ所ニ依リ  
マス、從來テアルナラバ是ハ重工業方面  
ニ向フ餘地ガアツテ、其ノ結果例ヘバ今ノ  
平和産業方面カラ重工業方面ニ向ヒ得ル餘  
地ガアツタノデアアルガ、今日ハ全然其ノ餘

地ガナイ、現ニ旋盤二十臺以下ヲ持つテ居  
ル工業者ニハ一ツノ注文モナイ、斯ウ云フ  
ヤウナコトデアリマシテ、例ヘバサウ云フ  
職業ヲ與ヘタ所デ、其ノ職業ニ就キ得ル先  
ハ何處ニモナイト云フコトガ私共ノ調査シ  
タ實情デアリマス、厚生大臣ハ色々民間ノ  
事情ヲ最能ク御承知デアアルガ、ドウモ今  
ノ御話ハ少シ樂觀的ニ物ヲ御考ヘニナツテ  
居ルノデハナイカト實ハ私ハ心配ヲ致スノ  
デアリマス、ソレハ行ク先ガ決メテアル  
ト仰セニナリマスケレドモ、現ニ重工業方  
面スラモ相當多數ノ轉換業ヲ餘儀ナクサレ  
ル者ヲ出シテ居ルト云フ狀況デアリマス、  
其ノ外是ハ何處ニ向ツテ行カドスルノデ  
アルカ、成程ソレハ農業ニ行ケルデアリマ  
セウガ、ソレハ勤勞訓練所ノヤルコトデア  
リマス、職業指導所ガ如何ニ職業ヲ指導セ  
ントシテモ、行クベキ所ガ何處ニアリマス  
カ、此ノ實情ヲモウ少シ御調査ノ上ニ適切  
ナル對策ヲ御執リ下サラヌト云フ折角職  
業指導所ヲ作り、職業指導員二千四百名ヲ  
設ケテモ、ソレハ結局二千四百名ノ職業補  
導員タケガ職業ニ付イタヤウナ結果ニ  
ナラヌトモ限ラナイノデアリマス、此ノ點  
ニ付テ政府ハ十分ナル御考ヘヲ願ハナ  
ケレバナラヌガ、何か御話ガアリマスレバ  
此ノ際承ツテ置キマス

○金光國務大臣 其ノ點ハ頗ル難カシイノ  
デアリマスガ、轉換業ノ場合ニ從來ノ中  
小工業者ハ自分ガ是マデ永住シテ居ツタ  
土地デ他ニ轉換シタイ、斯ウ云フ希望ガ第  
一希望デアルト思フノデアリマス、其ノ第  
一希望ヲ悉ク滿タシ得ルヤ否ヤト云フコト  
ハソレハ問題デ、ソレナラバト云ツテ君ハ  
南洋ニ行ケ、君ハ滿洲ニ行ケト必ズシモ官  
ヲ譯デアリマセウガ、重工業、殊ニ官業  
労働者ニ就職スル決心サヘスレバ今日ノ失  
業者、又近キ將來ルコトアルベキ失業者  
ニ對シテハ全部之ヲ就職セシメ得ル見込ミ  
ガアルノデアリマス、現ニ其ノ實例ヲ申シ  
マスルト、最近ハ國民職業指導所ノ如キハ  
一般ノ工業者カラノ雇入レ希望ニ對シテハ  
一切應ジ得ナイト云フ狀態デアリマシテ、  
悉クヲ官業労働方面ニ御世話致シテ居ルノ  
デアリマス、其ノ方面ニ就業シテ宜イト云  
フコトデアレバ、重工業ハ無論ノコト、諸  
般ノ軍需工業ニ對シテ殆ド全員ノ收容ガ出  
來ル譯デアリマス、殆ドデハナイ、全部收  
容ガ出來ル譯デアリマス、ソレハ非常ナ勞  
働者不足デアリマシテ、盛ンニ今各町村ニ  
勸誘シテ居ル位デアリマス、或ル町村長ノ  
如キハサウ云フヒドイコトヲシテ與レマ  
ト言ツテ、苦情ガ度々來テ居ル位デアリマ  
ス、少シモ就職難ヲ憂ヘルコトハナイノデ  
デアリマス、左様御承知願ヒマス

○小笠原(三)委員 私共ガ少シク調査シテ  
居ル所ト、厚生大臣ノ御説トハ餘程距離ガ  
アリマスガ、併シ今厚生大臣ガ左様ニ仰セ  
ラレテ、又皆ガ總ベテ行先ガアルト云フコ  
トデアリマスナラバ、之ニ増ス仕合セハア  
リマセウカラ、ドウカ左様ナ者ガ一人デモ  
ナイヤウニ十分ナル御配慮ヲ賜ハランコト  
ヲ御願申上ゲテ置ク次第デアリマス







ノ向上増加ト云フモノガ目標ニサレテ居ラ  
ナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレ  
ニハ何ト申シマシテモ、産業新體制ヲ行ツ  
テ、斯ウツク人々ガ何時デモ働キニ行ケ  
ルヤウニ、何時デモ生産力ノ發揮ニナリ得  
ルヤウニ、其ノ組織ヲ作ツテ置ナケレバナラ  
ズ、ソレハナカ、所ガ厚生大臣ハ今ハソレ  
ガ出来テ居ルヤウニ仰セニナルカモ知レマ  
セヌガ、世ノ中ノ實際ハサウナツテ居リマ  
ス、ソレデ私共ハ之ニ對シテ十分分カラ  
オヤリニナラナケレバナラヌ、ソレハナカ  
カ、何時デモ人ガ行ケバ其處デ働クダケノ  
モノガアル、斯ウ云フ組織ヲ作ルコトガ現  
在モ必要デハナイカト思フノデアリマス、  
或ハ政府ノ方デハ此ノ間經濟新體制ヲヤツ  
テ、アレデ事ハ足リルト、斯ウ云フ風ニ御  
考ヘニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、經濟  
新體制ヲ如何ニ實現ニ移サレルカ分リマセ  
ヌガ、實現ニ移サレル場合ニハ左様ナコト  
ハ最モ必要デアラウト思ヒマシテ、此ノ點  
ニ付テハハナハリ是モ商工省所管カモ分ラヌ  
ガ、尙ホ轉業問題ニ關係シテ居リマス、カ  
ラ、厚生大臣カラ伺ヒマシテ、厚生大臣ニ  
對スル私ノ質疑ハ之ヲ以テ終リタイト思ヒ  
マス

手薄イ方面ノ持場ヘ、移動スルト云フコト  
ハ間々アルヤウニ思フノデアリマス、ソ  
レト同ジヤウナ意味ニ於テ手薄ナ方面ヘ吾  
吾ハ持場ヲ變ヘルノダ、サウシテ産業戰士  
トシテ國家ニ御奉スルノダト云フヤウナ  
心構ヘデ轉業ヲシテ貰ヒタイ、斯ウ思ヒマ  
シテ、精神的ニモ、又職業的ニモサウ云フ  
ヤウニ指導シテ參ル積リデアリマス、全然  
御同意デアリマス

○増田委員長 一寸小笠原君ニ御諮リシマ  
スガ、只今貴族院ニ於テ衆議院議員任期延  
長ニ關スル法律案ノ委員會ニ取掛ツテ居ツ  
テ、内務大臣ガ見エナケレバ審議ニ入ラヌ  
ト云ツテ居ラレサウデアリマス、若シ月  
曜日モ内務大臣ガ御出席デナケレバ委員會  
ニ入ラナイ、斯ウ云フヤウナ御報告ガアリ  
マシタカラ

○小笠原(三)委員 二三分間デ濟ム簡單ナ  
問題デアリマス

○増田委員長 ソレデハ内務大臣ニ對スル  
質問ヲ此ノ際御願ヒマシマス

○小笠原(三)委員 内務大臣ニ御伺ヒ致シ  
マス、實ハ公債消化ノ點カラ、私ハ大藏大  
臣ト共ニ聽イテ載キタイト思ツタノデアリ  
マスガ、何ト申シマシテモ、公債ノ消化ニ  
ハ常識的ニ貯蓄ノ増加ガ第一ニ舉ゲラレ  
ルデアリマスガ、ソレニハ預金、貯金ノ自  
由性ト云フモノガ疑ハレルヤウナコトガア  
リマス、是ハ斷ジテ貯蓄ノ増加ハ出來マ  
セヌ、所ガ此ノ頃世間ノ一部ニハ、預金ノ  
自由性ヲ拘束スルカノ如キ不謹慎ナ言論ヲ  
ナス者ガアリマス、甚シイノハ其縣ニ於  
キマシテハ青年團ノ團服ヲ纏ツタ數名ノ暴  
漢ガ銀行ニヤツテ來マシテ、支店長ニ面接  
ヲ求メテ、五千圓以上ノ預金者ノ氏名ヲ知

ラセテ貰ヒタイト言ツタノデアリマス、ソ  
コデ何ノ爲ニ入用デアルカト尋ネタ所ガ、  
其ノ者ノ説明ニ依ルト、五千圓以上ノ預金  
者ニハ、預金ノ半額ヲ公債ヲ持ツテ、ソレ  
ヲ國家ニ獻納セシメル爲デアルト言ツタサ  
ウデアリマス、國家ニ獻納、洵ニ結構ナコ  
トデアリマスケレドモ、是ハ實際問題ヲ考  
ヘテ見ナケレバナラヌ、斯ウ云ツタヤウナ  
不謹慎ナ言論ガアリマスルコトガ、ソレダ  
ケ郵便貯金ノ銀行ノ預金ヲ引出サセテ居ル  
カ分ラヌノデアリマス、今日御聞キニナツ  
テ居ルヤウニ、申ニハ變ノ中ニ金ヲ蓄ヘテ  
居ル者ガ少クナイト云フコトハ、聰明ナル  
内務大臣ハ能ク御聞キニナツテ居ルコトハ  
思ヒマスガ、即チ百圓紙幣ノ發行高ガ增加  
シテ居ルト云フコトハ、斯ウシテ事實ヲ雄  
辯ニ物語ツテ居ル證據ダト私ハ考ヘルノデ  
アリマス、貯蓄ノ自由ニ公債ノ消化ナド  
ハ望ムベクモアリマセヌ、政府ハ斯様ナ言  
動ヲ嚴重ニ取締ラレベキモノデアルト考ヘ  
マスガ、御所見ハ如何デアリマセウカ

○平沼國務大臣 御述ベノ通りデアリマシ  
テ、貯蓄心ヲ萎靡セシメルト云フヤウナコト  
ハ、最モ是ハ害ノアルコトデアリマシテ、是  
ガ爲ニ金融ノ梗塞ヲ生ズルガ如キコトガア  
ツテハナラヌ、斯ウ云フコトヲ招來スルガ  
如キ言論ハ嚴ニ取締ル方針デゴザイマス

○小笠原(三)委員 尙ホ世間ノ一部ニ金融  
國營論ト云フモノヲ唱ヘル者ガアリマシテ、  
又或ル者ハ之ニ附和雷同シテ、恰モ金融國  
營ニデモナレバ、金方直ぐ借りラレルガ如  
キコトヲ演説ニ起ツテ堂々ト言ツテ居ル者  
ガアルノデアリマス、斯様ナコトハ私ハ甚  
ダ行過ギデアツテ、世人ヲ惑ハシムルコト  
甚ダシキモノデアルト考ヘマスガ、之ニ關

スル政府ノ御取給方針ハ如何デアリマセウ  
カ

○平沼國務大臣 金融國營ノ可否等ニ關シ  
マスコトハ、是ハ大藏大臣カラ御答ヘ致ス  
ベキコトデアリマスガ、今日ノ時局ニ於キ  
マシテ、是ガ直チニ行ハレルヤウナ言論ヲ  
致スコトハ、是ハ人心ニ惡イ影響ヲ與ヘマ  
スカラ、是ハ無論取締ル積リデアリマス

○小笠原(三)委員 内務大臣ニ向ホ一點ダ  
ケ伺ヒマス、時局以來精神ノ萎靡、敬禮  
等ニ重疊ガ置カレテ居ルコトハ、洵ニ結  
構デアリマスガ、其ノ結果ハ神社佛閣ノ參  
拜、或ハ才祭、慰問手帳等ノ儀禮的ナコト  
ガ非常ニ増加シテ居ルノデアリマス、サウ  
シテ之ニ引張ラレル者トシテハ、愛國婦人  
團體、其ノ他愛國團體、小學校生徒、在郷  
軍人ノ諸君、斯ウ云ツタヤウナモノデ  
アリマスガ、是ガ爲ニ重要ナ役人ガ儀禮  
儀禮ノ爲ニ時間ヲ取ラシテ、本職ノ事務マ  
果サナイヤウナ場合ガ少クナイノデアリマ  
ス、今日統制經濟ノ場合ニ於テ、役人ガ儀禮  
ノ爲ニ時間ヲ取ラレテ、本職ヲ果サスト云  
フコトハ、非常ニモノヲ延滞サセテ實ハ困  
ルノデアリマスガ、私共ハソレバカリデナ  
ク、直接生産ニ從事シテ居ル所ノ工場中農  
村ノ青年子弟モ亦、是ガ爲ニドンナニ時間  
ヲ取ラレテ居リマスコトカ分ラナイ、私ハ  
心カラノ敬禮儀禮ハ、是ハ是非トモヤラナケ  
レバナラヌ、又是程善イコトハナイノデア  
リマスガ、現在ノ戰爭狀態デハ、斯様ナ心  
カラデナイ形式の儀禮ハ一時之ヲ省ク必要ガ  
アルノデアリマシテ、斯様ニ考ヘマスガ、  
内務大臣ノ御所見ハ如何デアリマセウカ

○平沼國務大臣 御述ベノ通り敬禮儀禮ノ

觀念ヲ養成致スコトハ勿論大切ナコトデゴ  
ザイマシテ、神社參拜等ハ國民全體ガ意ラ  
ヌヤウニ致サセタイト考ヘマス、併シナガ  
ラ是ガ爲ニ各自ノ業ヲ怠ルト云フコトガア  
リマシテハ、是ハ却テ神慮ニ適ヒマセヌ、  
神社ヲ尊ビマスル精神カラ申シマシテ、各  
自ノ職業ニ勉勵ヲシテ、神社參拜ノ爲ニ之  
ヲ怠ルト云フコトノナイヤウニ致シタイト  
思ヒマス

○小笠原(三)委員 地方廳等ニ於キマシテ  
ハ、非常ニ其ノコトガ多イノデアリマス、カ  
ラ、特ニ内務大臣ノ御留意ヲ御願ヒ致シマ  
シテ、内務大臣ニ對スル質問ハ是デ終リマ  
ス

○矢野委員 議事進行ニ付テ 大藏大臣  
ガ御出席ガナイトシタラ、今日ハ散會シタ  
ラドウデスカ

○増田委員長 散會ハシマセヌ、其ノ儘暫  
時御待チテ願ヒマス——ソレデハ續ケマ  
ス——小笠原君

○小笠原(三)委員 文部大臣ニ唯一點ダケ  
御尋ネ申上ゲタイノデアリマスガ、實ハ中  
小商工業者ガソレノ轉業ヲ餘儀ナクサ  
レテ居ル狀況ニ於キマシテ、日本ノ經濟ノ  
運行ガ相當變ツテ參リマスカラ、例ヘバ商  
業學校デ今ノ如キ商業ノ講義ヲヤツテ居ツ  
テモ、卒業スル時ニハ、ソレガ社會ノ要求  
ト合ハナイト云フヤウナ問題モ起リマセウ  
シ、又工業學校ノ部門ニ於キマシテモ、時  
勢ノ要求スル所ニ應ジナイヤウナ——全然  
應ジナイトモ言ヘマス、サウ云フ風  
チモノガ東京ニハ相當アリマス、斯クノ如キ  
問題ニ對シテハ整理ヲ要スルノデアリナイカ、  
斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、轉業失  
業問題ガ特ニ今日重大ニ取扱ハレルダケニ、

今ヨリモ文部當局トシテハ商業學校、其ノ  
他ノ實業教育ニ對スル御方針ヲ確立サレ  
ルコトノ必要ガアラウト思フノデアリマス、  
此ノ點ニ付テ文部大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ  
ト思フノデアリマス

○橋田國務大臣 小笠原君ノ御質問ニ御答  
辯申上ゲマス、現今商業學校ノ卒業生ハ、  
一般ニ直接自ラノ業務ニ從事スルト云フ者  
ハ極メテ少數デゴザイマシテ、殆ドナイト  
存ジマス、生産方面或ハ配給、貿易等、其  
ノ他色々ナ事業ノ方ヘ要求サレテ參ツテ活  
動シツアルノデゴザイマス、殊ニ生産力  
擴充關係ノ事業等カラ、之ニ對スル需要數  
ガ供給數ニ數倍スル現狀デアリマシテ、供  
給ノ方ガ非常ニ足りナイヤウニナツテ居ル  
ノデゴザイマス、併シナガラ目下左様ナ事  
情デアルカラト申シマシテ、此ノ急變スル  
時局ニ際シマシテ、唯現狀ノ通りデ宜シ  
トハ考ヘテ居リマセヌノデゴザイマス、無  
論今カラ注意シマシテ、將來ニ向ヒマシテ  
ハ全國ノ勞務動員計畫等ト照シ合セマシテ、  
適當ニ善處致シタイト考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 關聯質問デスカラ一寸御  
許シ願ヒマス——農林業、水産業等ノ原始  
生産ニ關聯シテ方面ニ付テノ實業教育ヲ初  
メ、専門學校或ハ其ノ方面ノ大學教育ノ點  
ニ付テ文部大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒ  
マス、申スマデモナク我が國ハ農業ニ於キ  
マシテハ年々暴風雨、水害、旱魃、病蟲害  
等ニ依ツテ其ノ生産ヲ阻マレテ居ルノデア  
リマス、又土地ノ生産力モ彌ガ上ニモ發展  
ヲサセナケレバナラヌ意味カラシマシテ、  
此ノ土地ニ關スル根本的ナ研究モ必要デア  
リマス、大陸方面ノ發展ヲ考ヘマスレバ、  
林業方面等ニ於キマシテモ、其ノ挺身隊ト

ナツテ第一線ニ活躍スル人材ヲ養成モ必要  
デアルトデアリマス、文部大臣ハ就任當初  
「科學スル」ナル新シキ言葉ヲ國民ニ提示セ  
ラレマシテ、科學振興ニ對スル御抱負ヲ發  
表セラレタヤウデアリマス、然ルニ今回ノ  
豫算ヲ眺メテ見マスルニ、此ノ切實ナル應  
用科學方面ニ向ツテノ何等ノ御施設ガナイ  
ヤウデゴザイマス、申スマデモナク科學ハ  
純正科學ト及ビ之ニ實際活用致シマス所ノ  
絕對的ニ必要デアルト思ヒマス、是ガ研究  
施設ヲ完成致シマシテ、直チニ國內ヲ初メ  
大陸方面ニ向ツテノ實際ノ産業施設ヲ促進  
シナケレバナラヌト思フノデアリマス、然  
ルニ之ニ對スル本施設ノ何等認ムベキコ  
トナキハ大臣ノ「科學スル」ナル御抱負ニ對  
シテ餘リニ矛盾セル反對の現象デハナイカ  
ト思フノデゴザイマス、大臣ハ是等ノ點ニ  
付テ將來何等カノ具體的方策ヲ持ツデゴザ  
イマセウカ、之ヲ御伺ヒ致シタイ

○橋田國務大臣 御答辯申上ゲマス、科學  
振興ニ向ヒマシテ基礎的科學研究ト同時ニ、  
應用方面ニ於ケル研究ガ重要デアリ、殊ニ  
生産擴充ヲ必要トスル今日ニ於キマシテ、  
技術者ノ養成ガ大切デアリマスルコトハ全  
ク御高説ノ通りデゴザイマシテ、文部省ニ  
於キマシテモ、其ノ方面ニ向ヒマシテ出來  
ルダケカ力ヲ今盡シツアルノデゴザイマス、  
物質計畫等ト照シ合セマシテ、目下新設ノ  
モノニ付キマシテハ今年ハ出來ルダケ速  
慮シナケレバナラヌ點ガアリマシタノソレ  
甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマスケレドモ、ソレ  
ニ依ツテ其ノヤウナコトヲ少シモ考ヘテ居  
ナイト云フノデアリマセヌコトヲ御承  
知置キ願ヒタイト思フノデアリマス、就キ

マシテハ現在アリマスル施設ヲ出來ルダケ  
十分ニ利用スルト云フ意味ニ於キマシテ、各  
專門學校、大學校全般ニ互リマシテ學科ノ増  
設ヲ致シマシタ所モアリマス、又學生ノ増  
募ヲ致シタ所モアリマシテ、甚ダ十分ハ  
申上ゲラレマセヌケレドモ、其ノ方面ニ向  
ヒマシテモ或ル程度マデノ補充ヲ致シツツ  
アルノデゴザイマス、今後大陸ノ發展ニ向  
ヒマシテ、將來益々技術者ノ養成ヲ必要ト  
スルコトハ御説ノ通りデゴザイマス、ソレ  
其ノ方面ニ向ツテハ出來ルダケ努力ヲ拂ヒ  
タイト存ジテ居リマス

○増田委員長 高田君ニ申上ゲマス、大藏  
大臣ノ御出席ガアリマシタカラ、保留シテ  
アル御質疑ヲドウゾ此ノ際簡單ニ願ヒマス

○高田委員 二、三點伺ヒマス、第一點ハ今  
度ノ追加豫算、即チ十六年度ノ追加豫算ニ小  
學校教員ニ對シテ一箇月十圓ツツノ臨時手  
當ヲ出スコトノ豫算ガアルノデゴザイマス、  
是ハ全ク時宜ニ適シタコトデアリマス、私  
共ハナゼ本豫算ニ出サナカッタカヲ疑フ者  
デアリマス、要スルニ是ハ有志議員諸君ノ  
活動ニ主トシテ依ツタモノデアルト思フノ  
デアリマス、其ノ有志議員ノ熱心ナル運動  
ニ從ツテ、サウシテ豫算ヲ計上シタコトニ  
付テ深ク國民教育ノ爲ニ敬意ヲ表スルノデ  
アリマス、併シナガラ現在物價騰貴ノ狀況  
ヲ見マシテ、生活ニ困難ヲ感スル者ハ決ジ  
テ小學校教員ノ生活ニハゴザイマセヌ、内務  
省主管デ言ヘバ警察官、主トシテ下級ト云  
フコトハ當ラヌカモ知レヌガ、先ツ以テ警  
部補以下ノ警察官、市町村役場ノ吏員、或  
ハ又市町村役場ニアル所ノ各種實業ノ輔導  
ニ當ル所ノ技術員、更ニ司法省所管デ言ヘ  
バ下級ノ書記、或ハ其ノ他色々は臨時



手當ヲ認メナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ豫算ヲ見レバ、是ハ特別會計ノ爲デハアリマセウガ、通信事業特別會計ハ相當ノ豫算ヲ臨時手當トシテ支給スベク計上シテアルノデアリマス、是モ當然ナリトアリマス、故ニ私ハ政府ハ今議會ニ只今申上ゲテ意味ニ於テ、各種ノ待遇非薄ナル人々ニ向ツテ、教員ト同等ハソレ以上ノ待遇ヲナスベキ豫算ヲ計上シテ、追加豫算トシテ御提出アルコトガ當然ト思ヒマス、一昨日ノ朝日新聞ヲ見レバ、川崎君外三氏が大蔵大臣ニ對シテ其ノ御相談ヲ申上ゲタ所ガ、大蔵大臣ハ考慮スルトカ云フ御答ヘヲサツタウニ新聞ニ書イテアル、一昨日考慮スルト云ハ私ナラ今晩モ出來ル、ダカラドウシテモ是ハ小學校教員タケデハ治マリマセウ、故ニ速急ニ豫算ノ御提出ヲ願ヒタイ、豫備費ヲ以テ支出スルトカ云フヤウナコトガ新聞ニアリマシタガ、私ハ會計法ノ嚴格ナルコトハ存ジマセウガ、豫備費ヲ以テ出スベキモノデハナイト存ジマス、故ニ只今申上ゲマシタ意味ニ於テ、速急ニ追加豫算ノ御提出ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ニ對シテ大蔵大臣ノ御答辯ヲ求メマス

○河田國務大臣 只今御話ノ問題ハ高田君モ御承知ノ通り、非常ニ權衡其ノ他ノ關係カラ考慮シナケレバナラヌコトガ多クアルノデアリマス、政府ハハナリ低價政策ヲ維持致シテ居リマシテ、生活ノ安定ヲ圖リ成タケ生活費ノ掛ラヌコトヲ始終努メテ居リマス、ケレドモ、昨今ノ狀態ニ下級ト云フ言葉ハ甚ダ宜シクアリマセウガ、假ニ下級ト云フ言葉ヲ使ヒマス、給與ノ割合ニ低キ者ノ生活ガ非常ニ逼迫シテ居ルト云フ

コトハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ唯一時ノ臨時手當ヲ出スト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、凡ニ政府部内ニ於ケル權衡ヲ見ナケレバナリマセウ、又高田君モ御承知デアリマセウケレドモ、政府以外ノ同程度ノモノノ生活ト云フコトモ考ヘナケレバナリマセウ、政府ハ濫リニト云フコトハ勿論アリマセウガ、輕キシタ之ヲ動カシマス、是ハ國民全體ニ及ンデ來ルノデアリマシテ、之ニ對シマシテハ深甚ナル考慮ト研究ヲ致サナケレバナラヌノデアリマス、勿論經費モ莫大ニ掛ルノデアリマス、ソレデアリマス、尙ホ歲月ヲ費ヤシマシテ其ノ考究ヲスルト云フヤウナ考ヘデ、昭和十六年度ノ豫算ヲ編成致シタノデアリマス、然ルニ茲ニ給與ノ非薄ナ者ニ對シマシテ、生活ノ安定ヲ餘リニ缺ク處ガアリマシタノデ、家族手當トシテ十月期シテ、或程度ノ給與ヲ致スコトニシテ、是ガ計上ヲ致シテアルノデアリマス、今申上ゲマシタ通り、給與ノ關係ハ十分考究シナケレバナラヌ次第ノモノデアリマス、隨ヒマシテ權衡上下ドウシテモ是ハ多少ノ手當ヲアラナケレバナラヌト云フヤウナモノモアリ、否サレバ手當ノミナラズ、一體給與ヲモウ少シ善クシナケレバナラヌ、改善シナケレバナラヌト云フモノモアル、是ハ年々其ノ必要ヲ認メマシテ、或ハ少シツツ、或ハ相當額マデ上セテ居ルト云フ例ハ多クゴザイマス、本年度ノ總豫算編成當時ニ於キマシテハ、只今申上通信事業從業員等ガ如何ニモ他ト權衡ヲ得ズシテ、餘リニ非薄ナルガ故ニ、是ノ待遇ヲ整備スルト云フ意味ニ於キマシテ、協力通信特別會計ノ中ノ

事業費勘定ニ於キマシテ、千二、三百万圓ノ増加ガアツタト思ヒマス、他ノ資本勘定ヲ加ヘマスト、二千万圓以上ニ上ル筈デアリマス、サウ云フモノノ普通豫算ニ計上シテアルノデアリマス、是ハ餘リニ非薄ニシテ他ト權衡ヲ失シテ居ル故ニ計上シテアルノデアリマス、併シ本論ノ小學校教員ニ對スルモノハ、相當考究ノ餘地アリトシテ、本豫算ニ計上シナカッタノデアリマス、其ノ後ノ狀況ヲ見マスト、師範學校ニ入ルガ他ト比較致シマシテ餘リニ權衡ヲ失シテ居ル、併シナラガ此ノ權衡ヲ上ゲルコトニナルト、色々他ニ影響スル所ガアリマス、斯ウ云フコトガ決シマシタノデ、追加豫算ニ計上致シタノデアリマス、實際ノ所ヲ申上ゲマスト、高田君ト違ヒマシテ、私ニ不放心ニシテ中々一夜ニシテ給與ノ増額ヲ致スコトハ出來マセウ、デアリマスガ將來小學校教員ニ對シマシテ、此ノ程度ノ一時ノ臨時手當ヲ出スコトハ已ムヲ得ナイ、斯ウ考ヘマシタ結果、此ノ權衡ハ是正スル意味ニ於テ支給スルコトニシタノデアリマス、併シナラガ小學校教員ニ對シテ斯ウ云フ例ガ開ケマスト、是カラ一渡萬波ヲ生ジマシテ、權衡ヲ失スルモノガアリマス、政府ハ其ノ權衡ヲ維持スルヤウニ相當ノ考慮ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ其ノ支出ノ成案ヲ得マシタ時ニ實施スルヨリ致シ方ナイノデアリマシテ、一夜漬ケテ私ニハ出來マセウ、ソレデ今申シマシタ通り警察官、市町村吏員ニ對シテモ、權衡ヲ失セザルヤウニ考慮スルト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、丁度此ノ機會ニ

關聯シタ問題ト致シマシテ、先般川崎君、小笠原君、木村君、矢野君等ト會見ノ際、談話此ノ話ニ及ンデ來マシタ、其ノ時私ハ協力通信從業員等ニ對シマシテハ、餘リ給與ガ非薄ナラデ、此ノ豫算ニ待遇改善費トシテ六百万圓位ダツカ計上シテアツタト申上ゲタノデアリマス、是ハ公ノ席上デハアリマセウシタケレドモ、ソレハ私ノ思ヒ違ヒデ、今ノ千二百万圓ヲ六百万圓ト申上ゲタノデアリマス、餘リ差ガヒドイノデ此ノ機會ニ訂正シテ置キマス

○高田委員 只今大臣ヨリ小學校ノ教員ハ他ト比較シテ權衡ヲ得テ居ラスカラト云フ御答辯ガアツタノデアリマス、ドレガ均衡、不均衡ト云フコトヲ言フ時間モアリマセウ、兎モ角モ權衡ト云フコトモゴザイマセウ、併シ實際衣食ニ困ルト云フコトモ考ヘナケレバナラヌト思フ、其ノ點カラ見マスト、小學校教員以上ニ生活ニ困ルモノガ澤山アル、警察官、殊ニ巡査、或ハ看守、役場ノ書記ト云フヤウニ澤山アル、私ハ既ニ小學校教員ニ對シテ臨時手當ヲ支給スルト決マツタ以上ハ、ソレ等ノモノニ對シテハ、當然權衡上カラ申シマシテモ亦實際衣食ニ窮スル上カラ申シマシテモ、之ヲ支給スルノガ當然ト存ジテ居ルノデアリマス、唯大臣ハ大事ヲ取ツテ大分御遠慮氣味ノ御答辯デアリマスガ、併シナラガ何トシテモ警察官ヤ市町村ノ役場ノ吏員ヤ、或ハ又其ノ他下級ノ官吏ハ是デハ收入ガ追付キマセウ、是ハ私ハ斷言シマス、此ノ位置イタラ、下級ト云フ言葉ハ當リマセウガ、俸給ノ少イ衣食ニ窮スル人ニ非常ニ惡イ感シヨ與ヘマス、是ハ取急キ御處置下サツテ、相當ノ臨時手當支給ノ途ヲ講ゼラレルノガ當然ト思

ヒマスカラ、重ネテ其ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○河田國務大臣 後段ノ取急キ調査ヲセヨト云フコトハ、モウ現ニ始メテ居リマス、先申上ゲタ通り成案ヲ得次第何レカニ決定シタイト思ヒマス

○高田委員 ソレ以上ノ御言明モ出來マイト思ヒマス、カラ申上ゲマセウガ、兎モ角モ先程申上ゲタ通り何トシテモ是デハ收入ガ追付キマセウ、一日モ早ク御解決ノ程ヲ吳々モ望ミマス

中シマセウカ、農林省ト申シマセウカ、此ノ増産計畫ハ長キニ互ツテ土地ノ擴張改良ニ依ツテ之ヲ充サントスルコトガ、此ノ豫算ニ現ハレタ政府當局ノ御意見デゴザイマス、ソレモ將來ノ策ガアレバ宜シウゴザイマス、併シナラガ何ト申シテモ本年ハ先ヅ以テ善措イテモ、來年度カラハ私共ハ心配ニ堪ヘヌ、ソコデ今アル田畑ヲ將來荒廢シナイヤウニ成ベク重要食糧ヲ増産シ得ルヤウニスル考ヘガアルカドウカ、即チ耕地ノ擴張改良ト云フコトガ主トシテ政府ノ考ヘ

次ハ食糧増産問題デアリマス、昨日大蔵大臣ハ見エマセウデシタガ、昨日申上ゲタコトヲ申上ゲルト云フコトハ非常ニ時間ガ掛リマス、極メテ簡單ニ申上ゲマス、私共ハ昭和十六年度ノ一般會計ノ農林省ノ豫算ヲ見マシテ、如何ニモ食糧増産ニ關スル豫算ノ少イコトニ驚キ入ツタノデアリマス、是ハ最初提出ノ本豫算デアリマス、是デハ速モイカスト云フコトヲ悟リ、一方ニ農林省ガ大蔵省ニ事務的ニ十六年度ノ追加豫算ニ付テ交渉ヲシテ居ル内等モ略々探知シタコトモアルノデゴザイマスガ、是デハ足リナイ、イカスト云フコトヲ、私共ハ御承知ノ通り過般全會一致ヲ以テ食糧ノ問題ニ對スル決議案ヲ出シタノデアリマス、其ノ後數度提出サレマシタ豫算ヲ見ルト、成程一億數千万圓ノ豫算ハ計上サレテアリマス、併シナラガ是ハ或ハ米穀ノ管理費トカ、或ハ又蠶絲ノ統制會社ノ費用トカ、或ハ又開墾事業ニ對スル所ノ計畫ノ問題トカト云フコトデゴザイマシテ、私ノ調ベタ所ニ依ルト、實際十六年度ノ追加豫算トシテ直接食糧ヲ増産スル爲メ費用ト云フモノハ極メテ僅カデアリマス、ソコデ問題ハ斯ウナル、政府ト

急ヲ要スルノハ、今アル田畑カラ出來ルダケ食糧農産物ヲ作ラセナケレバナラヌト云フコトガ吾々ノ考ヘデアアル、是ハ決議案ノ趣意デアアル、所ガ豫算ニ現ハレタモノヲ見ルト、要スルニ今アル田畑カラ今日以上ニ米ナリ、麥ナリヲ増産セシメルト云フ以上ニ依ツテハ三千四百五十万圓バカリガ十六年度ノ食糧増産ノ經費ト見エマセウケレドモ、併シナラガ主トシテ耕地ノ擴張改良ノ金デアアル、直接ニ今アル田畑カラ増産目ノ二使ハレル金ハ耕種改善ノ八百六十二万圓、小麦増殖獎勵費九十四万圓、食糧農産物増産確保施設費七十二万圓、之ヲ合セテ千二百七十七萬圓、ソレデ残りノ二千万圓バカリト云フモノハ、是ハ主トシテ耕地ノ改良擴張デアアル、耕地ノ改良擴張モ宜シイガ、ソレヨリモ今アル田畑ヲ利用スルコトガ私共ノ主張デス、是ハ私共衆議院ノ主張ト政府ノ主張トガ大變ニ變ツテ居ル、對立シテ居ル、ソコデ吾々ハ此處デ詳細ハ申上ゲマセウガ、兎モ角モ今アル田畑ヲ有効ニ使フノニハドウスルコトガ宜イカト云ヘバ、御分リニナル

カドウカ知りマセウガ、先達テ上君ト一緒ニ態官職ニ行ツテ申上ゲタ、低位耕作者ノ引上げ、或ハ又食糧品以外ノ農産物ヲ食糧品ニ轉換セシメルト云フ政策、二毛作ノ獎勵、其ノ他荒廢地ノ出來ナイヤウニスル各種ノ施設ガ必要デアルト云フコトヲ申上ゲタ、是ガ何ヨリモ必要ダ、斯ウスルコトニ依ツテ相當ノ増收ガ豫期シ得ルト思フ、併シナラガ是ハ唯話デハイカスカラ、ソコデ農事實行組合ヲ動員シ、或ハ又農村ノ精進獎勵ニ當ラセナケレバナラヌト云フノガ吾々ノ考ヘデアアル、是ハ勞力ノ問題、肥料ノ問題ガアル、肥料ヲヤルコトハ誰ガ考ヘテモ肥料ヲ増セト云フテモ申上ゲマセウ、勞動力ヲ増セト云フテモ申上ゲマセウ、時代ニ於テ勞動力ヲ増スコトハ出來ナイト私ハ思フ、勞動力ヲ増スコトハ出來ナイトアル田畑カラ増收セシメルト云フ政策ヲ執ラナケレバナラヌト私ハ信ズル、議會ノ主張モソコニアル、所ガ此ノ豫算ニハ何等ツレガ現ハレテ居ナイノハ頗ル遺憾ニ思フ、私共農政研究会ノ實行委員ハ昨夜總會ヲ開イテ、サウシテ數項ヲ決議致シマシテ、今後各種ノ方法ニ依ツテ政府ノ御願ヒスル積リデゴザイマセウケレドモ、ドウシテモ食糧ノ増産ト云フコトハ今アル田畑カラ利用宜シキヲ得、指導獎勵其ノ宜シキヲ得テ増産セルト云フコトガ、最モ手近カナ方法デアリマシマシタガ、此ノ點ニ付テ十六年度ノ追加豫算ニ於テ缺クル所アルハ極メテ遺憾デアリマス、私ハ此ノ問題ニ付テアナタノ御返事ハ求メマセウ、昨日農林大臣ハ同感デアルト云ハレマシタ、アナタニ此處デ彼

此レ申上ゲマシタ所ガ、急ニ御返事ハ出來ナイカモ知レヌケレドモ、若シアルト現ハレバ、ソレツキリニナリマスカラ御返事ハ求メマセウガ、斯ウ云フ事情ニアルト云フコトハ能ク考ヘテ、政府ノ計畫ノ耕地ノ改良擴張ト云フモノハ中々サウ急ニ效果ヲ奏スルモノデハナイ、而シテ勞力ト肥料ガ要ル、資材ノ不足ノ場合ニ於テハ何トシテモ今アル田畑ヲ相當ニ利用シ、或ハ各種ノ技術ニ於テ指導獎勵其ノ宜シキヲ得テ、サウシテ荒廢地ノ出來ナイヤウニ、アル耕地ハ全部耕作シ得ルヤウニシナケレバナラヌガ、ソレハ部落團體ノ仕事、實行組合ノ仕事、農事獎勵班ノ仕事ニナルノデアリマス、何レ又適當ノ機會ニ私以外ノ同志ノ議員ト申シマセウカ、ソレ等カラ的確ナル數字ヲ掲ゲテ御考慮ヲ煩ハスコトヲ存ジマセウケレドモ、事柄ハ極メテ重大デアアル、農林省ニ於テ他ニ策ガナイナラバ吾々ニ策ガアル、アルニソレヲ採ラヌデ、サウシテ若シ夫レ昭和八年ノ如キコトヲ能ク考ヘテ載キタイ、平年作デモ足リナイモノヲ五千二百萬石シカ種レナイ、東北、北海道ノ冷害ガアレバ五千數百萬石ニ直グナツテシマフ、其ノ場合ニドウナサルカ、此處ヲ能ク考ヘテ載キタイ、三千萬圓ト云フコトヲ端々金ヲ出シテモ仕方ガナイ、端々金ト申シテハ失禮デアリマスガ、兎ニ角眞劍ニ考ヘテ下サイ、私ハ此ノ點ニ付テ聰明ナル河田大蔵大臣閣下ノ深く御考慮アラント云フ、切ニ全國國民代表シテ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス、御答辯ハ要求致シマセウ、一種ノ陳情デゴザイマス、(笑聲)併シ重ク見テ下サイ

第三ノ質問ハ、是ハ國ノ收入ニ相當ノ重



キヲ成ス煙草專賣ノ問題デゴザイマス、專賣益金ハ十六年度ノ豫算ニ依レバ、三億三千五百万圓ノ多キニ達シテ居ル、經常收入トシテ、租稅ニ次グモノデアルカノ如ク存ズルノデアリマス、所ガ此ノ耕作者ガ今喜ンデ作ルカト云フト、サウデアハリマセス、現ニ昨年モ私ノ縣ハ辛ウジテ政府ノ要求スル反別ダケ耕作致シマシタガ、隣縣ノ福島縣ニ於キマシテハ、數百町歩豫定ヨリモ減ジテ居ルヤウニ、私福島縣ノ新聞ヲ讀ンデ知ツテ居リマス、本年ノ豫定反別ハ五万町歩カト聞イテ居リマス、或ハ多少數字ノ開達ヒガアルカモ知レマセスガ、果シテ豫期ノ反別ヲ得ラレカドウカト云フコトハ、頗ル疑問ヤウニ承ツテ居リマス、私ノ縣ナドモ專賣局ノ吏員各位ガ、毎日自車ニ乗ツテ各戸ニ就テ獎勵ヲシテ歩イテ居ル、ナゼサウナツテ居ルカト云フコトヲ考ヘルト、要スルニ、一般物價ノ騰貴、殊ニ肥料ノ騰貴、勞働賃金ノ騰貴ニ依リマシテ、煙草ヲ作ルヨリモ、他ニ利廻リノ宜イ作物ガアルカラデゴザイマス、ソコデ食糧問題ト關係致シマスガ、約五百万町歩ト致シマシテ、私ノ考ヘル所デハ、或ル程度ノ反別ハ減ラシテ宜イデヤナイカト云フコトヲ考ヘル、農民ガ喜ンデ作ラナイモノヲ、役人ガ廻リ廻ツテ一戸毎ニ耕作ヲ勸誘スルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ作ラセテモ宜イノデヤナイカ、是ハ自然ニ放置シテ置ケバ相當減ル、役人ガ戸別勸誘ヲヤルカラ、或ハ豫定ノ反別ヲ得ルカモ知レマセスガ、私ハ頗ル困難デアルト思ヒマス、ソコデ私ノ考ヘデハ、優良ナル煙草ヲ作ルト云フ主張ヲ捨テテ、何デモ宜イカラ、惡クテモ宜イカラ、量ヲ目標ニ作ラセル、丁度今稻作ハ優良品種ヲ

拾テテ、何デモ米ニナレバ宜イト云フ意味デ、米穀ノ増産方針ヲ變ヘテヤウテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、煙草ノ方ニ付テモ品ノ善イ惡イハ兎モ角、量日本位ト云フ方針ヲ採レバ、反別ハ一割減ラシテモ、二割減ラシテモ、相當ノ量目ニ於テ得ル所ガアルト思フノデゴザイマス、ソレデドウ云フコトデアアルカト云フコト、此ノ賠償金ハ何トシテモ安イ、故ニ賠償金ヲ或ル程度引上ゲテ、サウシテ肥料ナドニ付テヤカマシイコトヲ言ハナイデ、煙草ガ何デモ大キクナレバ宜イ、量目サレバ宜イト云フ方針ヲ維持シテ行ケバ、私ハ一割ヤ二割反別ヲ減ラシテモ、量目ニ於テ得ル所ガ同一ニ行クト思フノデゴザイマス、此ノコトハ一面食糧問題ニモ關係スル次第デゴザイマスガ、尙ホ又聞ク所ニ依レバ、最近日本ノ煙草ガ多少或ル方面ニ輸出サレテ居ルヤウナコトデゴザイマシテ、殊ニ又國ノ財政ニモ相當關係ガアリマスカラ、此ノ反別ヲ減ラセスガ、併シナガラ嗜好者ノ方カラ言ヘバ三日ニ一日位煙草ハナイ方宜イ、實際ノ所毎日煙草ヲ喫フノハ惡イノダカラ、ソレデモ構ハナイ、ソレデアアルカラ現在ヨリモ反別ヲ一割、二割減ラシ、其ノ代リ價格ヲ相當引上ゲル、肥料ヤ何カモ値段ノ高イモノヲ使ハナイデ宜イト云フコトニシ、一面專賣局收入モ減ラサナイデ行クヤウニスル、斯クスルコトニ依ツテ少シデハゴザイマスガ、食糧増産ノ上ニ資スル所ガアラウト思ハレマスガ、此ノ點ニ付テハ大藏當局ノ御所見ハ如何デアリマスカ、御聽セテ願ヒタイト思フ

○河田國務大臣 高田君ノ御質問ノ要旨

ハ、煙草ノ耕作反別ハ減ツテモ自然ニ放置シテ置イテ、多少品質ノ惡イ葉方出來テモ、要スルニ數量主義ヲ行ケバ宜イデハナイカ、其ノ數量主義ヲ以テ行ク、サウシテ又其ノ數量ヲ維持スルニハ賠償價格等ノ引上ラスル、サウスレバ他ノ競争作物等ノ關係カラ云ツテモ相當ノ收入ヲ得ラレラレハナイカ、ナゼサウ云フ方針ヲ採ラナイカ、斯ウ云フコトニ伺フコトデアリマスガ、先ツ煙草ノ賠償價格ト云フモノハ、他ノ競争作物ト比較シテ、御話ノヤウニサウ宜イトハ私ハ思ツテ居リマセス、併シ政府ハ專賣ヲ以テ直子ニ價格ヲ決定スル所ノ收納價格ヲ輕キシテ上下サセルト云フコトハ、一般物價ニ影響スル所ヲ考ヘナケレバナリマセス、併シ政府ハ出來ルダケ耕作人ノ利益ニナルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、多少收納價格ガ低クナリマシテモ、茲ニ一ツノ換金作物トシテ、農家ニ依ツテ何ノ支障ナク賣掛金ナシニ、直子ニ換金シ得ラレルト云フ利益モアリマスカラ、ソレ等ノコトヲ考ヘマスト、唯單純ニ收納價格ヲ上ゲルト云フコトノミヲ考ヘナイデモ宜イカト思ヒマス、併シ何レニシテモ昨今ノ狀況デハ競争作物等ノ關係上、サウ大シテ引合ヒガ宜イモノデハナイト見エマス、昨今ノ福島縣、或ハ栃木縣方面ノ耕作人ノ耕作ニ對スル執着ノ念ニ付キマシテ、私ハ餘リ詳細ニ存ジマセスガ、サウ大シテ熱望デハナイカモ知レマセス、其ノ場合ニ於テ之ヲ放置シテ置ケバ成程耕作人ノ耕作反別ハ減リマス、ソコデ肥料等ノ供給ナドニ付テモサウヤカマシイコトヲ言ハナイ方宜イノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、其ノ點煙

トニ走ルト云フ状態デアリマス、嗜好品トハ申シナガラ或ル程度ノ風味ハ維持シナケレバナリマセス、惡イモノヲ同値價賣ルト云フコトハイケナイト思フノデアリマス、ソレナラ廢メテシマヘト言ハレルカモ知レマセスガ、銃後ノ國民ガ故々營々ト働イタ後デ、一本位ノ煙草ヲ喫ムコト位ハ認メテモ宜イノデハナイカラウカ、サウ云フ見地カラ惡イ煙草ヲ供給スルコトハ考ヘモノデハナイカラウカト云フ氣ガスルノデアリマス

○高田委員 私ノ言フノハ煙草ヲ全部惡クセヨト云フノデアリマセス、煙草ヲ喫マナイデモ宜イト云フノデアリマセス、兎ニ角大藏大臣ノ御考ヘト私ノ考ヘニハ相當開キガアリマス、私ハ議論スルノデハハハマセス、煙草ハ三千五百万圓ノ經常收入ガアルノデスカラ、其ノ收入ハ成ベク減サナイヤウニ、サウシテ一面耕作地ノ食糧ノ分ニ喰入ラナイヤウニ、國家ノ爲ニ收入ヲ殖ヤシタイ、斯ウ云フ考ヘデ申上ゲタノデアリマスカラ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマスガ、答辯ハ別ニ要シマセス

○河田國務大臣 答辯ハ要ラスト云フコトデアリマスガ、後段ニ申サレマシタ其ノ御方針ハ私共トシテモ同様デアリマシテ、食糧ニモ影響ナク、又煙草ノ品質モ維持出來ルヤウニ、サウシテ煙草益金ヲ増シテ行カウト云フ心持ハアリマセスガ、此ノ程度ノ收入ハ維持シテ、四方八方宜イヤウニ進ンデ行キタイト思ヒマス

○増田委員 小笠原三九郎君

○小笠原(三)委員 私ハ大藏大臣ニ財政經濟ノ主要ノ問題ニ付テ御伺ヒ申上ゲタイト

思ヒマス、先日來ノ豫算總會等ニ於キマシテ、既ニ多數ノ質疑應答ガアツテ、政府ノ御意向モ大部分分ツクデアリマスガ、尙ホ時勢ガ時勢デモアツテ、國民ノ立場ヨリ致シマスト、不明瞭ナル點ガ少ナイノデアリマス、仍テ此ノ十六年度ノ追加豫算ガ出タ機会ニ、ソレ等ノ諸點ヲ出來ルダケ明カニシタイ、斯ウ云フ希望ヲ以テマシテ御答申上ゲル次第デアリマスカラ、ドウカ政府ノ方デモ直截簡明ニ御腹藏ナイ所ノ御答辯ヲ承リタイト存ジマス

第一ハ、昭和十六年度ノ豫算ニ付テ御答申上ゲルノデアリマスガ、昨年九月二十七日ノ日獨伊三國同盟ノ締結以來、刻々増大シテ來ル國際情勢ノ不安ト緊迫トハ、當然ニ昭和十六年度豫算ノ追加ヲ豫想セラレタノデアリマスガ、一般會計總豫算ノ外、豫算ニ二回ニ互ル臨時軍事費ノ豫算追加、又今回ノ昭和十六年度ノ豫算ノ追加ガ提出セラレマシタノデ、是デ漸ク十六年度豫算ノ全貌ガハツキリシテ參ツタデアリマス、私共ガ豫算審議ノ觀點カラ見マシテ、此ノ四ツ合計スレバ、アノ通抜ケ勘定ニナツテ居ル六億七千万圓ヲ按除シテ、尙ホ百三十二億四千万圓ノ巨額ニ上ルノデアリマス、サウシテ此ノ金額ハ私ガ豫想シテ居マタヨリモ、相當超ニタ金額デアリマス、又臨時軍事費ニ付キマシテハ、十三年度ノ四十八億五千万圓ノ最高ト致シマシテ、十四年度、十五年度ハ何レモ前年ニ比較シマシテ若干ゾツナガラモ減少ノ方向ニアツタノデアリマス、隨テ昭和十六年度ニ入りマシテ、十五年度分ノ追加豫算ト見ラルベキ第一次ノ十億圓、十六年度分ノ内ノ四月カラ來年ノ一月マデノ十箇月分ト見ラルベ

キ第二次ノ四十八億八千万圓、合計五十八億八千万圓ガ相次イデ提出セラレマシテ、前年度ニ比シテ、十四億二千万圓ノ激増ヲ示シテ居リマスカトハ、臨時軍事費ガ最早單ナル支那事變ノミヲ目標トシタモノデナイト云フコトヲ物語ツテ明瞭デアルト考ヘマス、ソコデ私共ハソレ等ノ豫算増加、又ハ内容等ニ付テ、此ノ場合何等御諒察致サントスルモノデハゴザイマセスガ、私ノ御答申ニ付テハ、此ノ臨時軍事費ヲ含ム百三十二億四千万圓ノ龐大ナル豫算ガ、果シテ昭和十六年度ニ於テ支障ナク實行ガ出來ルカドウカ、即チ第一ニ此ノ豫算ニ伴フ所ノ十分ナル物動計畫ガ立ツテ居ルノカ、第二ニ此ノ豫算ニ垂ントスル巨額ノ公債ガ支障ナク發行出來ルカドウカ、斯ウ云フ點ニ付テデアリマス、申スマデモナク、此ノ事變發生以來歲出豫算ノ膨脹ト共ニ、豫算ノ節約額モ亦可ナリ多額ニ上ツテ居ルノデアリマシテ、昭和十二年度ハ一億八千万圓、十三年度ハ二億五千二百萬圓、十四年度ハ二億一千五百萬圓、本十五年度ハ實ニ六億四千二百萬圓カラノ巨額ニ上ツテ居リマス、是ハ何ノ爲ニ斯ウ云フ風ニナルカト云フト、申スマデモナク主トシテ物動計畫、資金計畫等ノ關係上、其ノ調整ノ圓ル爲ニ節約ヲ餘儀ナクセラレタノデアリマスガ、此ノ事實ヲ承知シテ居ル國民ト致シマシテ、物動計畫ノ面ヲ見マシテ、昨年特ニ夏以來ノアノ生産力ノ停頓——斯ウ言フト諸般ガアルカラ入ツテ來ル輸入力ノ趨勢ニ鑑ミマシテモ、又資金計畫方面カラ申シマシテ、公債豫定額ノ增加ガ事業資金ニ及ボセル影

響等ニ思ヒテ致シマシテモ、此ノ百三十二億圓ノ豫算ガ支障ナク遂行出來ルカドウカト云フコトニ付テハ、懸念ナキヲ得ナイノデアリマスガ、是等ニ對シテ政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ、ソコデ政府ハ物動計畫、資金計畫等トモ一應照合シテアルト、斯ウ仰セニナリマセウガ、是ガ調整ニ付テハ、政府ノ方デハ豫算成立後ニ至ツテ、改メテ之ヲ考慮セラレルト云フ御意向デアリナイカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、昭和十六年度ノ豫算モ亦十五年度ノ豫算ト同様ニ、一應之ヲ容認査定シタガ、豫算成立後議會デモ濟ンデ一段落ニナツタラ、改メテ物動計畫、資金計畫等ト混シテ豫算實行ノ節約方針ヲ立テテ削減額、留保額等ニ關シテ各省、各特別會計等ノ協力ヲ求メラレル御考ヘデハナイノカドウカ、此ノ點ヲ先ツ御伺ヒ申上ゲマス

○河田國務大臣 結論ヲ申上ゲマス前ニ簡單ニ只今御陳述ニナリマシタ御質問ニ付キマシテ、私ハ斯ウ考ヘルト云フコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、御質問ハ二ツアリマシタガ、實際ハ一ツニナルト思ヒマス、前段ノ物動計畫概略案ト云フモノヲ右ニ持ツテ、左ニ之ヲ眺メテ參ツテ居リマスノデ、今日ノ場合概略案ト略、一致シテ居リマス、併シ是ハ物動計畫概略案デアリマスカラ、金錢會計ノヤウニビツタリハ參リマセス、僅テ其ノ中デ其ノ關係ニ於キマシテ今期議會ニ臨第一號トシテ追加サレマシタ所ノ十億圓ニ對スル物資ノ關係ハ、是ハ十五年度ノ物動計畫ノ中ニ含マレテ居ルコトハ前ニ申上ゲタ通りデアリマス、之ニ對シマスル財源ノ大部分ヲ占メマス公債ハ大體八十五億

○河田國務大臣 答辯ハ要ラスト云フコトデアリマスガ、後段ニ申サレマシタ其ノ御方針ハ私共トシテモ同様デアリマシテ、食糧ニモ影響ナク、又煙草ノ品質モ維持出來ルヤウニ、サウシテ煙草益金ヲ増シテ行カウト云フ心持ハアリマセスガ、此ノ程度ノ收入ハ維持シテ、四方八方宜イヤウニ進ンデ行キタイト思ヒマス

○増田委員 小笠原三九郎君

○小笠原(三)委員 私ハ大藏大臣ニ財政經濟ノ主要ノ問題ニ付テ御伺ヒ申上ゲタイト

響等ニ思ヒテ致シマシテモ、此ノ百三十二億圓ノ豫算ガ支障ナク遂行出來ルカドウカト云フコトニ付テハ、懸念ナキヲ得ナイノデアリマスガ、是等ニ對シテ政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ、ソコデ政府ハ物動計畫、資金計畫等トモ一應照合シテアルト、斯ウ仰セニナリマセウガ、是ガ調整ニ付テハ、政府ノ方デハ豫算成立後ニ至ツテ、改メテ之ヲ考慮セラレルト云フ御意向デアリナイカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、昭和十六年度ノ豫算モ亦十五年度ノ豫算ト同様ニ、一應之ヲ容認査定シタガ、豫算成立後議會デモ濟ンデ一段落ニナツタラ、改メテ物動計畫、資金計畫等ト混シテ豫算實行ノ節約方針ヲ立テテ削減額、留保額等ニ關シテ各省、各特別會計等ノ協力ヲ求メラレル御考ヘデハナイノカドウカ、此ノ點ヲ先ツ御伺ヒ申上ゲマス

○河田國務大臣 結論ヲ申上ゲマス前ニ簡單ニ只今御陳述ニナリマシタ御質問ニ付キマシテ、私ハ斯ウ考ヘルト云フコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、御質問ハ二ツアリマシタガ、實際ハ一ツニナルト思ヒマス、前段ノ物動計畫概略案ト云フモノヲ右ニ持ツテ、左ニ之ヲ眺メテ參ツテ居リマスノデ、今日ノ場合概略案ト略、一致シテ居リマス、併シ是ハ物動計畫概略案デアリマスカラ、金錢會計ノヤウニビツタリハ參リマセス、僅テ其ノ中デ其ノ關係ニ於キマシテ今期議會ニ臨第一號トシテ追加サレマシタ所ノ十億圓ニ對スル物資ノ關係ハ、是ハ十五年度ノ物動計畫ノ中ニ含マレテ居ルコトハ前ニ申上ゲタ通りデアリマス、之ニ對シマスル財源ノ大部分ヲ占メマス公債ハ大體八十五億



アルコトハ御説ノ通りデアル、此ノ十億圓ヲ引キマスト、七十五億圓ニナル、此ノ十億圓ト云フハ即チ概ネ三月マデノ所用額デス、臨時費九億何千万圓、約十億ト云フモノヲ計上致シマシタガ、此ノ臨時軍事費ノ財源ハ公債ニ仰ガナケレバナリマセ

カ、斯ウ云フヤウニ考ヘラレル、サウ致シマスト、例ヘバ今年ハ自分ノ所ニ川ノ爲ノ豫算ヲ通ツタ、用排水ニ必要ナル所ノ豫算ヲ通ツタ、港灣ノ修築ガ出来ル、砂防工事ガ行ハレル、斯ウ云フヤウニ國民ガ喜ンデ居

ガ一億七千六百万圓、給與一億九千四百萬圓、旅費四千二百萬圓、手當其ノ他ガ二千万圓、合計四億三千四百萬圓デアツタモ

ソレヲ以テ少イ人數ノ者ノ給與ヲ増加セシムルト云フ方針ニ向ツテ居リマスト、一昨年カラカ、昨年カラカ賞與ノ科目ヲ設ケ



致シマシタ資料ニ依リマスト、二月十日マデニ五十八億二百五十萬圓ヲ發行シナツテ居ルノデアリマス、恐ラクハ年度内ニハ更ニ十數億圓ヲ加ヘルトニナリマシテ、結局七十億圓ニ近イ公債ヲ發行サレルコトニナルノデアリカト考ヘルノデアリマスガ、十五年度分ノ發行總額ノ御見込ハ如何デアリマスカ

○河田國務大臣 十五年度ノコトハ十二月末ノ現計ニ依ツテ是カラ決メルノダサウデアリマシテ、マダ決マツテ居リマセサウデスガ、大體御想像ノヤウナコトニナルノデアリカト思ヒマス

○小笠原(三)委員 大體私ハ十五年度ハ實際ハソレヨリマダ出ルノデアリカト考ヘルノデアリマス、ソコデ御伺ヒシタイノハ十六年度ノ現行見込額ハドウデアラウカト云フコトデアリマス、今度ノ豫算ニ於キマシテハ臨時軍事費ト云フモノハ、昭和十七年一月マデノ十箇月分シカ見込シテアリマセ、サウシマスト、之ヲ一箇年計算デヤツテ見ルト、此處デモウハ、九億ノ公債增加ヲ豫想サレル、又反對ニ考ヘテ見テ十五年度ハ別デスガ、事變以來、他ノモノヲ見ルト豫定額一杯現行ニ發行サレテハ居リマセ、實績等カラ見ルト、幾分豫算面ニ上ヨリ減ルノデアリカト考ヘラレマス、軍事費ノ關係ヲ考慮スレバ殖エルヤウニ考ヘラレル、過去ノ實績等カラ考ヘラレバ減ルヤウニ考ヘラレル、ソコデ私ハ豫算ヲ進メル關係上、昭和十六年度ノ現行見込額ヲドウ云フ風ニ御立テニナツテ居ルノカ、豫算ノ通りダト云フ風ニ仰セニナルカ、或ハ豫算ハサウダガモウ少シ少ク行ク見込デアルカ、ソコヨ一寸御伺ヒシタイ

○河田國務大臣 大體今ノ社積リデハ豫算ノ通りト思ツテ居リマスガ、傾向ハ幾ラカ減ルト見ナケレバナリマセ、ソレハ軍事費ハ見モ角モ、普通經費ハドウシテモ不費ハ公債發行額ノ方デ落スノガ當然ダカラ多少減ルダラウト思ヒマス

○小笠原(三)委員 前年度カラ繰越サレタ公債モ相當アリマシテ、先程私ガ戴イタ資料ニ依リマスト、二月十日現在デ約十九億圓アリマス、昭和十六年度ニ入ツテカラノ公債收入ハ八十五億圓程度ニナルノデアリマスガ、ソコデ明年度ノ公債發行額ガ若シ一箇月七億圓以上ニ上ルト云フヤウナコトニナリマスト、消化ハ從來通りノ方法ダケデハ難カシヤウニ思フノデアリマス、例年下期ト云フモノハ公債消化力ガ幾分鈍化ヲ免レス時期デアリマス、ソレニシマシテモ去年ノ第四四半期即チ十、十一、十二月ヲ見マスト、十月ハ五割二分二厘、十一月ハ六割六分九厘、十二月ハ四割三分一厘、平均五割一分六厘強ト云ツヤウナ甚ダ不消化對策ノ一ツトシテ、昨年第四四半期ノ不成績ガ何ニ原因シテ居ルカト云フコトヲ十分ニ検討シテ置ク必要ガアルト考ヘルノデアリマス、謂ハバ病氣ノ因ガハツキリシテ居レバ、ソコニ自ラ對症療法モ立ツ譯カアリマスカラ、其ノ點ヲハツキリシテ置クナケレバナラス、此ノ間大藏大臣カラ御話ガ一寸アリマシタガ、私ノ考ヘテ居ル所デハ公債發行率鈍化ノ最大原因デアアル金融硬塞ハ何處カラ來テ居ルカト云フト第一ガ政府資金ノ撤布額ガ著シク減少シタコト、第二ガ政府ノ支拂、特ニ軍需産業ニ對スル支拂

ガ滞シタコト、第三ガ貿易ノ不振並ニ七、七禁止令ノ影響、第四ガ重點主義ノ強化ニ依ツテ影響ヲ蒙ル業者ノ輩出シタコト、第五ハ利潤削減ガ強化セラレタコトト収益状態ガ段々悪化シタコト、第六ハ投下資本ガ著シク膨脹シタコト、例ヘバ事變以來投下資本ガ累計百八十五億圓ニ上ツテ居リマスガ、此ノ中マダ働カナイ資本ガ約百億圓ニ上ツテ居ルノデアリマス、サウ云ツタ所カラ生産活動ガ衰微シタコト、第七ハ稅制改革ノ影響ト納稅期ガ一時ニ殺到シテ來タコト、其ノ次ハ先刻一寸内務大臣ニ特ニ確カメタノデアリマスガ、預金ノ自由性ニ對スル疑念ヲ招クガ如キ言動ヲナス者ガ少クナカツタコト、斯ウ云フコトデアリカト思フノデアリマス、若シ政府モ今言フ通りダト云ハレバナラバ是カラ先議論ヲシテ行キタイト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付テ病氣ノ因ヲ一寸伺ツテ置ク譯デアリマス

○河田國務大臣 大體私モ其ノ點ニ付テハ同僚ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 所デ斯ウ云フ原因ヲ考ヘテ見マスト、此ノ中ニハ取除キ得ルモノモアルシ、全然取除キ得ナイ部分モアリマス、一々ニハ検討シテ申上ゲル暇ハアリマセスカラ、特ニ一、二ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、政府ハ政府資金ノ撤布並ニ軍事費ノ支拂等ニ付テ今少シ慎重ニ御取計ヒニナラナケレバイカスト私ハ考ヘル、今日政府ハ最大消費者ト云ツテハ言葉ハ惡イヤウデゴザイマスガ、資金ノ使用者デゴザイマスカラ、是ガ資金ノ撤布支拂ニ付テハ特別ニ留意シ、世間デ申シテ居ルヤウニ、或ハ過熱過ギタリ、或ハ冷過熱過ギタリシテ、財界ニ無用ノ時ナラヌ波瀾トマデ

ハ行キマセサガ、衝動ヲ御與ヘニナルヤウナ事柄ハ格別御注意ナサラストイカスト思フノデアリマス、預金ノ趨勢ガ一時的ニ鈍化シタリ、公債ノ消化率ガ一時的ニモ低下スルト云フコトハ、證券市場其ノ他ニモ非常ニ不慮ノ影響ヲ及ボシマス、今日興業銀行ヲ中心トシテアノ有價證券ノ救済ニ關スル會社設立案ガ進行スル、ソレヲ必要トシタコト云ツヤウナ状態ニモアルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ政府ハドウ云フ御方針デアルカ、詰リ政府資金ノ撤布及ビ軍事ニ使ハレル方ノ金ノ前拂及ビ諸支拂ニ付テ御伺ヒシテ置キタイ、或ル時ニハ六箇月モ遅レテ居ルト云フヤウナモノガアツタリシテ、ソレガ銀行ノ貸出ヲ求メルト云フヤウナコトデ、隨分困ツタト云フコトヲ私共ハ關西ノ當業者カラ懸ヘラレタヤウナ事實モアルノデアリマシテ、此ノ點一寸御伺ヒシタイト思ヒマス

○河田國務大臣 政府支拂ノ調節ニ付テノ御質問ト思ヒマスガ、是ハ遺憾ナガラ昨年ハ回滑ニ行カナカツタコトヲ認メマス、マダ私就任致ス前デゴザイマスガ、少シ餘計ニ緊メ過ギマシタカラ、前拂金等ヲ手控ヘタト云フコトモアルノデアリマス、其ノ結果ガ三、四箇月後ニ現ハレテ、今度ハソレヲ緩メマシタモノデスカラ、暮ニハ非常ニ一遍ニ支拂ガ出タ、ソレデ非常ニ波ガ打ちマシタ、ソレハ確カニ事實デゴザイマス、是ハ要スルニ政府ノ支拂ニ計畫性ヲ失ツテ居ツタデアリマス、其ノ間御話ノヤウニ八月、九月ニ月積マシテ税金ヲ二億以上徵收シタ、其ノ時ニハ政府ノ支拂ヲ中止スルシ、又或ル時ニハ政府ノ支拂ヲ緊メテ參リ、其ノ政府ノ支拂ト收入トノ關係ガ無計

畫ニ行ツテ居ツタコトハ爭ハレナイト思ヒマス、多分小笠原サンガ直スコト能ハザル部分ト申サレタノハ其ノ點デアリマセウガ、稅ノ納期ニナリマシテカラ、稅法ヲ改正シナケレバナラスト云フコトデアリマスカラ、ソレヲ前提トシテ政府ノ收支ニ對スル關係ハ能ク調整シタイト思ヒマス

○小笠原(三)委員 先刻大藏大臣ガ居ラレマセシタカラ、私ハ一寸申上ゲテ置キマス、内務大臣ニハ申上ゲテアリマスガ、何ト云ヒマシテモ、公債ノ消化ニハ定石ノハ貯蓄ノ増加ガ大切デアアル、所ガ其ノ貯蓄ノ増加ヲ妨ゲルヤウナ言論ヲスル人ガ澤山居ル、詰リ預金ノ或ル程度ノモノハ引出シチヤイカス、又或ル程度ノ預金ハ公債ヲ持タセナケレバイカスト云フヤウナ、謂ハバ預金ノ自由性ヲ失フヤウナ言論ヲスル者ガ非常ニ澤山居ル、私ハ之ヲ先刻申上ゲタケレドモ、大藏大臣ガ來テ居ラレナカツタカラ、一寸申上ゲテ置キマスガ、或ル縣ニ於テハ青年團ノ團服ヲ着タ青年ガ五、六人銀行ニ來テ、支店長ニ面會ヲ求メタ、サウシテ五千圓以上ノ預金者ノ名簿ヲ出シテ與レト要求シタ、ソコデソノモノハ出ス譯ニハ行カナイガ、ソレハドシナコトニ要ルノカト云フタラ、五千圓以上ノ預金者ハ、半額ハ公債ヲ所有サシテ、其ノ半額ヲ國庫ニ納納サセルノダ、サウ云フコトヲ聞イタ預金者ハ、慌テテ皆引出ス、サウ云ツタコトガ中々少クナイノデアアル、郵便貯金デスラ、或ル制限ガアルサウダト云フコトヲ言ヒ、欄シテ居ル奴ガアル、斯ウ云フ流言蜚語ハ實ニ恐ロシイモノガアリマス、流言蜚語ハ取締ルコトモ出來マスガ、中ニハ學者ナドデサウ云フコトヲ公然ト云ツテ居ル者ガアル、

ハ是非トモ取締ラナケレバナラス、自分ガ預ケタ金ヲ出セサウデハ預ケル氣ニナリマセ、大藏大臣御承知デアリマセウガ、百圓紙幣ガ非常ニ澤山出テ居ル、是ハ空前ノ點ト思ヒマス、斯ウ云フ百圓札ノ増發ハ何處カラ起ツテ來ルカト云フト、金ハ幾ノ中ニ入レテ埋メテ置クヨリ仕様ガナイ、預金シタラ出セスコトニナル、是ハ何ト云ツテモ一番大キナ預金鈍化ノ原因ダト思フ、デアリマスカラ今後ハ大藏大臣ノ方ト致シマシテモ、預金ノ自由性ヲ奪フヤウナ言論ヲスル者ハ徹底的ニ御取締ヲ願ハナケレバナラスト考ヘルノデアリマシテ、先刻内務大臣カラ御答辯ガアリマシタケレドモ、或ハ答辯ヲシテ歸ツテシマフト、ドンナ事ヲ聽イタカ忘レテシマツタト云ハレテモ困ルカラ、此ノ點ヲ一寸御注意下サルコトヲ要望シテ置キマス

モ御經驗デアリマセウガ、郵便局員ガ再三家ヘヤツテ來テハ、公債ヲ持ツテ與レト云フコトデ色々言ハレル、アノ郵便局員ノ公債販賣ノ爲ニ東奔西走シテ居ル事實ハ、是ハ公債ノ信用ニモ非常ニ影響致シマシテ、公債ノ賣行ニモ私ハ宜クナイト考ヘル、是ハ寧ろ斯ウ云フ小口賣ナント云フモノハ止メテシマツテ、全部止メル必要ハアリマセウガ、出來ルダケ之ヲ抑制シテ、報國債券ダトカ、貯蓄債券ダトカ、サウ云フモノノ分野ニ之ヲヤラセルトコトニシタラドウカ、又サウ致シマスルコトハ、結局預金部ニ金ガソレダケ集ツテ行クノデアリマスカラ、詰リ公債消化ト同ジ結果ヲ來スノダカラ、斯ウ云フコトニサレテハ如何カト思フノデアリマスガ、御意見ハ如何デアリマスカ

○河田國務大臣 率直ニ御答ニ致シマスレバ、全然同意ノ點ガアルノデアリマス、小笠原君ニハ釋迦ニ説法ダガ、零細ナ資金ガ集マツテ、是ガ郵便貯金ナリ、或ハ貯蓄銀行ナリ、地方銀行ニ預金トシテ集マツテ居ル方ガ資本ノ「ユートリテイ」ニ效果ト云フモノハ多イト思フノデアリマス、其ノ點カラ言ヘバ御話ノ通りデアリマスガ、一方零細ナル資金ヲ吸收スルト云フナラバ、郵便貯金ナリ、貯蓄債券ナリ、又報國債券ニハ此ノ間カラ出テ居リマスガ、サウ云フモノヲ利用シテ十五圓以上ノ公債ヲ郵便局ノ窓口デ賣ル、是ハ固ヨリ非常ニ手數ガ掛ルノデ、隨分郵便局デモ儲リテ居ルヤウデアリマスガ、預金ノ儘デ銀行ヲ信用シ、貯蓄銀行ヲ信用シテ居ル方ガ遙カニ宜イト思ヒマスガ、今小笠原君モ言ハレマシタヤウニ、一方問題ニナルノハ、貯蓄心ノ漸衰、向上斯ウ云フコトニナリマスト、支那事變

公債モ郵便局ノ窓口デ賣ヘルノダト云フノデ、世俗ノ言葉デハアリマスガ、アノ手此ノ手ヲ打ツテ居リマセウト效果ガ薄イト思ヒマスノデ(笑聲)一舉ニ全廢スルト云フコトハドウカト思ヒマセウカレドモ、大體ノ趣旨カラ申シマスト、私ハ其ノ點ハ同意デアリマス

○小笠原(三)委員 聞ク所ニ依リマスト、政府ノ方デハ有價證券ヲ取扱ツテ居ル業者ナドニ對シマシテ、公債トカ貯蓄債券、報國債券ナドハ、是ハ賣ル方ハ宜イ、併シ買方ハ成ベク手控セヨト云ツタヤウナ、其ノ文句ハ是ト同一デアツタカドウカハ知リマセウガ、サウ云フ意味ノ文句ヲ通達サレタト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、若シソレガ事實トスルト、文部大臣ニサウ云フコトヲ申上ゲル必要ハナイガ、ソレハ餘リニ實情ニ疎イノデアリカト思フノデアリマス、ソレデハ買方者ハ誰モナクナツテ來ル、何人デモ、幾ラデモ、賣ラウトスレバ賣レルヤウナ仕組ニシテ置カナケレバナラス、賣ル賣ラナイハ別トシテ、價格ノ維持、要スルニ賣買ノ出來ル仕組、此ノ二ツガ、貯蓄債券ニシテモ、報國債券ニシテモ其ノ賣行ヲ進メルニ效果的ナ仕事ダト私ハ考ヘルノデアリマス、其ノ事實ガナケレバ結構デアリマスガ、私ニ言ツタガナケレバ言ツタノカモ知レマセウガ、若シ其ノ事實アリトスレバ、是ハ甚ダ迂闊ナ話ダト思ヒマスノデ、念ノ爲ニ御伺ヒシテ置ク次第デゴザイマス

○河田國務大臣 私ハ一向サウ云フ話ハ聞キマセウガ、ソノコトハ常識トシテアリ得ベカラザルコトダト思ヒマス

○小笠原(三)委員 次ニ經濟新體制要綱ニ依リマスト、第二、企業體制ノ五ノハト云フ



所ニ企業利益ノ分配ニ當リテハ適當ナル制  
限ヲ加フルモ其ノ超過部分ハ公債其ノ他ヲ  
以テ留保シ云々ト書イテアリマス、是ハ政  
府ハ何時頃カラ御實行ナサル御考ヘデア  
ルカト云フ點ガ第一點、又はハドンナ割合  
超過利得ヲ公債ヲ持テセル御考ヘカ、是ガ  
第二點、ソレカラ一箇年ニ於テ公債ガドレ  
位消化スル見込居ラレカト云フコトガ  
第三點、其ノ點ヲ一寸御伺ヒシテ置キタイ  
ト思ヒマス

○河田國務大臣 第二企業體制ノ五ノ(ハ)  
デスカ、其ノ意味ハ、今日經理統制令ニ依リ  
マシテ或ル程度ノ利益、適正ナル利益ハ認  
メルケレドモ、或ハ配當ヲ制限シ、或ハ金  
利ヲ制限シマスレバ、殘ルモノハ資本トシ  
テ積立金ニナルカ、減價却ニナルヨリ外  
行キ道ハナイ、償却ノ場合ニ於キマシテモ  
或ル意味ノ内部留保ニナリマスレバ、是ハ  
ドウシテモ處分出來ナイ利益トシテ、分ケ  
ルコトガ出來ナイモノニナツテシマフ、會  
社ナラ會社ノ資産トシテハ殘ル、之ニ資金ヲ  
投ジテ居ル資本家並ニ其ノ資本ヲ利用シテ  
居ル經營家トシテ、ソレガドウシテモ自分  
ノ利益ニナラヌト云フコトハ、企業心ヲ徒  
ラニ阻害スルノデハナイカト云フ趣旨カラ、  
經理統制令等ニハ——經理統制令ハ御承知  
ノ通り戰時立法デアリマスカラ、或ル機會  
ニ於テハ其ノ效力ヲ失フコトハゴザイマス  
ケレドモ、其ノ繼續中ト雖モ認可ヲ經レバ  
積立テテ行ツタ所ノ利益ハ或ル場合ニ於  
テ又利益トシテ配分シテモ宜シト云フコ  
トノ趣旨ヲ表ハシタノデアリマス、ソコデ  
公債云々ト云フコトヲ申シマシタノハ、唯  
徒ラニ消費シナイデ、公債等ヲ留保シテ置  
ク場合ニ於テハ、數年後ニ之ヲ利益トシテ

分配スル途アリト云フコトノ趣旨ヲ導ヒマ  
シタノデ、方法ハ非常ニ困難ナノデアリマ  
ス、實ハ貴族院デモサウ云フ御質問ガア  
リマシテ、サウ云フコトヲ申請シテ者アリ  
ト云フ御質問デアリマシタガ、留保配當  
言ヒマスカ、留保配當ト云フコトニナリ  
マシテ、株券ハ轉々スルモノデ、留保配當ガ付  
イタラ株券ハ轉々シテ、轉々セザル株ト云  
フモノガ出來マスト、是亦非常ニ困難ナ  
ルノデ、實行方法ハ非常ニ困難ナノデア  
リマス、サウ云フ例ガ「ドイツイ」ナドニ  
サウデアリマスガ、ドウ云フ風ニ實行シ  
カ一寸分リマセス、是ハ大藏省ノ財務官ニ  
調査サセテ居リマシテ、實行方法ハ考究中  
デアリマス、積立テテ利益ハ認可ヲ經レバ  
配分シテ宜シイカラ、ソレヲ明カニシタ  
過ギマシス

○小笠原(三)委員 政府ハ、貯蓄増加ノ對  
策デアリマセウ、別途ニ貯蓄組合ニ關スル  
法文力何カ出シテ居ラレド、又郵便貯金法  
モ改正サレト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、  
此ノ膨脹シタ百三十二億圓カラ豫算ヲ  
運用スルニハ、ソコデ對策ヲ考ヘテ、何  
カ新規ナ方法ヲ考ヘラレントイカヌノデハ  
ナイカト思フ、金ヲ出セバ物ガアリ、存分  
ニ買ヘルナラ申分ナイノデアリマスガ、物  
資ノ生産狀況、輸入狀況豫算ノ膨脹ニ及  
ンデ居リマセウ、サウ云フ風ニ見ラレ  
今日ニ於キマシテハ、豫算ノ膨脹カラ豫  
サレテ來ル民間ノ購買力ノ狀況ニ付テハ、  
何カ特別ノ考究ヲナサレナイト、物價ノコ  
トハ後デ商工省ニ問フ積リデアリマスガ、  
非常ニ困難ナ狀況ヲ來シハシナイカ、ソレ  
等ニ付テ何カ對策ヲ御考ヘニナツテ居リ  
マスカ、御考ヘニナツテ居リマスナラ此ノ際

御答ヘテ願ヒタイト思ヒマス  
○河田國務大臣 資金撤布ニ伴ヒマスル資  
金吸收ノ方法、是ハ屬御話シタ通り資金吸  
收、公債消化ト云フコトニ向ツテ居リマス、  
資金吸收、公債消化ニ付テハ差當ツテ今年  
カラ始メヨウト思ヒマス、只今提案シ  
テ居リマス所ノ國民貯蓄組合法ノ施行ト、  
郵便貯金ノ預入額制限引上、斯ウ云フコト  
ガ主ナルモノデアリマス、無盡業法ナド多  
少影響ガアルト思ヒマスガ、主ナルモノハ  
ソレガト思ヒマス、國民貯蓄組合法ハ相當  
ニ效力ガアリハセスカト思ツテ居リマスガ  
レドモ、一方多年ノ懸案デアル郵便貯金  
最高預入額二千圓ヲ三千圓ニ引上ゲマス、  
今年平均二千圓ニ達シテ居リマセウガ、二  
千圓デハバインナツテ居ルモノガ大部分アリ  
ソコニ貯蓄ノ獎勵ガ出來ルト思ヒマス、サ  
ウナリマスト多年問題デアリマシタ貯蓄銀  
行ノ制限三千圓ト同ジニナリマス、ソレ  
業者ノ反對ガアリマシタガ、今回國民貯蓄  
組合法ヲ作りマシテ、組合ヲ通ジテ所  
ノ貯蓄銀行ノ免稅點ハ五千圓ニ引上ゲル、ソ  
レニ伴ヒマシテ普通銀行ノ分ニ付テハ三千  
圓マデ免稅スルト云フヤウナ、組合ヲ通ジ  
テヤルト云フ場合ニ於テハ特ニ稅法ノ點カ  
ラ見マシテモ特典ヲ與ヘルト云フ方法ヲ採  
リマス、貯蓄組合ト云フモノハ地方ノニ認  
メマスシ、各會社工場デモ認メルモノデア  
リマスカラ、貯蓄心ノ多イ者ハ方々ヘ口ガ  
掛ケラレト云フコトニナリマシテ、只今ノ  
郵便貯金ノ最高限度ノ引上ゲト云フコトモ  
解決シマスシ、兩方相當ナ效能ガアルカト  
思ツテ居リマス

追加豫算ノ中ニハ臨時軍事費同様に來年一  
月マデノ經費ダケヲ見込シテ、二月、三月  
ノ經費ハ來春又追加豫算ヲ出サウ、斯ウ云  
フヤウナ御考ヘガアルノデハナイカト見  
受ケラレド、助成金、補助金ノ中ニハドウ  
モサウ云フモノガアルヤウニ私ハ讀ム、若  
シサウダト致シマスト是ハ會計法規ノ上カ  
ラモ面白クナイ、ナケレバ結構デスガ、一  
寸讀ンデ行クトサウ云フ風ニ感ズルモノガ  
數箇アル、此ノ點アルカナイカト云フコト  
ヲハツキリ御伺ヒシテ置キタイ

度ニ入ツテ四月カラ十二月末日マデニ、サ  
ツキ一寸申シマシタヤウニ、五十三億餘萬  
圓發行シテ居ルノデアリマスカラ、一、二、  
三ノ三箇月ヲ入レマスト七十億圓ヲ超スダ  
ラウト思フ、サウスルト資金關係ノ方ノ資  
金ノ供給ニ變リガナクテ、公債發行豫定額  
ノ方ハ元ノ櫻内藏相ノ言葉ニ從ヘバ、五十  
六七億圓デ資金計畫ガ立ツテ居ル、ソレガ  
七十億ニ達スル情勢ニナツテ居ルノデア  
リマスカラ、此ノ變化ハ常識的ニ言フト公  
債増發ニ基ク資金計畫ハ途中デ變ヘラレ  
ケレバヤツテ行ケナイノデアリマスカラ、  
變ツタモノト見ナケレバナラヌ、サウスル  
ト專業資金ノ方ニ何等カノ影響ヲ及ボシ  
居ララウト思ヒマス、專業資金ヲ多少減  
ス以外ニヤリヤウガナイト思フノデアリ  
マスガ、其ノ點ハ如何デスカ、御伺ヒシマ  
ス

○河田國務大臣 只今御話ノ十五年度ノ資  
金計畫百二十四億ト云ハレマシタノハ、貯  
蓄目標デナカッタカト記憶致シマスガ、私  
ノ記憶致シマス所デハ公債ノ發行總額ハ昨  
年ノ暮マデニ豫定ヨリ殖エテ居リマス、ソ  
レカラ專業資金ノ方モ豫定ヨリ殖エテ居  
ルト記憶シテ居リマス、十五年度ノ今御話ノ  
ハ資金計畫ト云フ御話デアリマシタガ、百  
二十億ノ資金目標、是ハ大丈夫出來ルサウ  
デス、暮ニ百億ヲ超シマシタノデ、此ノ三  
箇月ノ間ニ十分出來ル見込ニナツテ居リマ  
ス、其ノ方ハ是ハ貯蓄ノ方、ソレカラ公債  
モ社債モ其ノ他ノ資金モ當初ノ豫定ヨリハ  
一寸ハツキリ覺エマセウガ殖エテ居ルヤウ  
ニ思ヒマス、詳シイ數字ハ中上ケ兼ネマス  
ケレドモ、十五年度ノ資金計畫ハ、資金供  
給額ハ計畫額ニ比シマシテ相當増加スル見

込デアリマス、ソレカラ一方資金需要ノ方  
デハ、事業所要資金ニ於テ増額ヲ必要トス  
ル形勢デゴザイマスガ、其ノ他ハ大體大差  
ナキ見込ニ今ノ所ナツテ居リマス、數字ノ  
詳シイコトハ今申上ゲラレナイコトニナ  
ツテ居リマス

○小笠原(三)委員 次ニ十六年度ノ資金計  
畫ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマスガ、是  
ハ出來テ居ルデアリマセウカ、出來テ居  
ラデアリマセウカ、實ハ斯ウ云フ風ニ公債  
ノ増發ガ必至デアリマシテ、來年度モ二十  
五億ヲ増發スルノダト云フコトニナリマ  
ス、ドウシテモ專業資金トノ關係カラ此  
ノ豫算ヲ御編成ニナル時ニ資金計畫ヲ御立  
テニナラヌトハ私ハ考ヘルノデアリマ  
ス、ソコデ私ガ伺ヒタイノハ、資金計畫ノ  
中デモ對外資金關係ハ私ハ御伺ヒ致シマ  
ス、斯ウ云フ時節デアリマスカラ差控ヘ  
スガ、對內資金計畫ニ付テ、是ハ資金ト蓄  
積目標ト兩方デ見マス、是ハ私ノ意見ダ  
ケデスガ、結局公債ガ七十五億、專業資金  
七十五億、合計百五十億圓位ヲ調達スル必  
要ガアツテ、蓄積目標モ百五十億圓位ニサ  
レナケレバイカヌト思フノデアリマスガ、  
如何デアリマスカ

○河田國務大臣 今マダ決定シテ居リマセ  
ウ、ソコデ先般來色々考究致シテ居リマス  
ガ、公債額ノ方ハ大體新規ノ七十五億ト云  
フコトハ是ハ決マツテ登リマシタケレドモ、  
其ノ他ノ資金ノ方ニ付キマシテハマダ今日  
ハツキリ申上ゲル時期ニナツテ居リマセウ、  
隨ヒマシテ貯蓄目標ト云フコトモハツキリ  
決マリマセウガ、昨年百二十億ヲ目當ニシ  
タモノヨリハ或ル程度増サナケレバナラ  
ヌト云フコトハ覺悟致シテ居リマス、併シ今

言ハレルヤウニ百五十億ト云フコトハ及バ  
ナイカト思ヒマスシ、一舉ニ百五十億ト云  
フコトモ餘程困難デアラウト思ヒマス、併  
シ先程カラ申シマス通り貯蓄獎勵、貯蓄心  
ノ昂揚ト云フコトハ餘程努メナケレバナ  
ラヌト思ヒマス

○小笠原(三)委員 實ハ豫算ヲ見マス、  
去年ノ統計豫算ハ十五年度ノ追加豫算ヲ別  
トスルト、約百億デスカラ、百五十億ハ決  
シテ多クハナイ、ドウシテモ此ノ位ハ必要  
デアルト考ヘマスガ、ソレハドチラデモ宜  
シウゴザイマス、ソコデ先程私ハ貯蓄ノ自  
由性ノコトヲ申シマシタガ、ドウシテモ是  
ハ貯蓄ノ増加ニ付テハ何レニ致シマシテモ  
昨年ヨリモ大キナ目標ノ下ニ之ニ到達スル  
具體案ヲ立テナケレバイカヌト思フノデア  
リマス、而シテ此ノ場合其ノ一ツノ方法ト  
シテ國家デ預貯金ノ支拂保證ヲシテヤルト  
云フコトヲ考ヘタラドウカ、斯ウ申シマス  
ノハ、戰時下ニ於テ銀行ガ支拂停止ヲシテモ、  
サウ云フモノハ放ツテ置カウト云フコトハ  
イカヌ、事變下ニ於テハ黙ツテ居レヌ、サウ  
スルナラ結局ハ其ノ銀行ヲ救済シテヤル  
コトニナルノデアリマスカラ、政府ハ一方  
ニ嚴重ニ金融機關ノ取締ヲスルト共ニ各種  
ノ金融機關ノ預貯金ニ付テハ、之ヲ貯蓄目  
標ニ到達セシムル一ツノ具體的方法ト致シ  
マシテ、保證シテヤツタラドウデアラウカ、  
尤モ斯様ナコトヲ直ニ御返事致カウト思  
ヒマセウケレドモ、サウ致シマスコトガ結局  
預貯金ノ増加ヲ、餘計ニシテ、公債消化ニ  
モ役立ツヤウニ思ハレマス、此ノ點ハ  
御考ヘ置キテ願ヒタイト思ツテ、一寸私ノ  
考ヘテ居ル所ヲ申上ゲテ置クデアリマス、  
所デ御伺ヒシタイノハ、政府ハ十六年度ノ

資金需要額ヲ凡ソドレ位ニ見テ居ラレ  
デアリマセウカ、凡ソデ宜イト思ヒマスガ  
之ヲ御示シ願ヘヌデセウカ、前年度ノ何割  
増ト云フコトデモ宜シウゴザイマス

○河田國務大臣 資金計畫ハ民間ノ需要資  
金ガ分レバ資金計畫ハ直グ出來マスガ、只  
今ソレハ一寸申上ゲ兼ネマス、ソレカラ實  
ハ總動員法ノ十六條ノ改正ニ依ツテ、萬一  
時ニハ今御話ノヤウナコトガ發動ガ出來  
ルヤウニナツテ居ルト思ヒマスガ、但シ今御  
話ノ貯蓄金云々ト云フコトニ直グ出來ルカ  
ドウカ、ソコハ大イニ考究スル必要ガアリ  
マス

○小笠原(三)委員 次ニ伺ヒタイコトハ、  
私共ガ見マス臨時資金審査委員會ノ事業  
資金審査ト云フモノハ、必スシモ現ニ國家  
ガ要望シテ居ル事業ノミノ專業資金ノミデ  
ナイヤウニ思フガ、アレハモット國家目的  
ニ集中セラレテヤラヌト、ドウモ御承知ノ  
ヤウナ紙幣ノ増發ヲ見テ、昨年ハ特別  
十九億三千万圓ト云フ巨額ニ達スルヤウナ  
コトニナルト思ヒマスカラ——昨年ハ特別  
ノ事情ガアリマスカレドモ、モウ少シ資金  
審査委員會ガ幸クオヤリニナツタラ宜イデ  
ハナイカ、時勢ハサウ云フコトヲ要求シテ  
居ルノデアアルマイカ、斯様ニ考ヘテ居ル  
ノデスカ、如何デアリマス

○河田國務大臣 小笠原君ノ御質問ノ要旨  
ハ、言葉ノ裏ニ具體的ナモノヲ含ンデ居ル  
ヤウニ拜承シタノデスカ、サウ云フ具體的  
ノ問題ハ事業ノ内容カラ申シマシテ、ドウモ  
ヤハリ今日拾テ置キ難イト思ヒマシテ私モ  
決心シタノデアリマス、併シ其ノ他ニ於テ  
甘イト云フ御非難ノヤウナコトガアリマシ  
タラ、尙ホ十分戒防致シマシテ聞達ヒノナ

三二二



イヤウニ致シマス  
 ○小笠原(三)委員 日鐵ヲ初メト致シマス  
 テ、各特殊會社ノ拂込トカ、社債發行限度  
 ノ擴張等ガ此ノ議會デモ續々出テ參ツテ居  
 ルノデアリマス、是ハ今日ノ財界デ支障ナ  
 ク遂行シ得ル見込ガアリマセウカ、實ハ色  
 色ナ特殊會社ガ社債發行ノ三倍以上五倍トカ  
 ヲフヤウナ發行權ヲ持ツテ居ツテ、持子將  
 レノ部分ガ中々少クナイノデアリマスカラ、  
 アア云フコトニ付テハ、モウ少シハハ嚴格  
 ニ御考ヘニナラナケレバイカスノデハナイ  
 カト云フ意味カラ御尋ネ申上ゲルノデア  
 リマス、尙ホ斯ウ云フ事柄ニ依リマシテ、  
 一般民間事業資金ノ調達、或ハ證券市場ノ  
 壓迫等トナル虞モアルノデアリマスカラ、  
 是等ニ付テハ特ニ政府ノ方デ御注意ガ願ヒ  
 タイト存ジマスガ、現在ノ金融市場、特ニ  
 起債市場ノ情勢ニ鑑ミマシテ、今御話ニナ  
 ヲテ居ルヤウニソレガ圓滿ニ遂行出來ルト  
 政府ハ御考ヘニナツテ居ルカドウカ、此ノ  
 點ヲ御伺ヒ致シマス

金運用令ニ依リマシテ、政府ハ銀行ニ對シ  
 テ貸出ノ強制命令ヲ出シ得ルコトニナツテ  
 居リマス、ソレコトニ付テ次ノ諸點ニ付テ  
 御伺ヒ申上ゲタイノデアリマス、強制貸出  
 ハ御説明ニ依リマシテ、當分内地ニナツテ  
 ハ日本興業銀行、朝鮮ニナツテハ朝鮮殖産  
 銀行ノ二ツデアルト云フ御説明デアリマス  
 タガ、日本ノ南進政策等ノ見地カラ見マス  
 ト、臺灣商工銀行ト云フモノガアリマシテ、  
 臺灣デモ各種ノ相當國策ノ事業ガ起ツテ居  
 ルノデアリマスガ、臺灣ノ方ハ別ニ置ク必  
 要ガナイト云フ考ヘ方カラ來タモノデアリ  
 マセウカ、其ノ點ヲ一寸御伺ヒ申上ゲテ置  
 キタイ

業銀行ニ對シテモ、債券保證ト云フカ、國  
 家ガアア云フ風ニ使フ以上ハ、モウ少シ國  
 家トシテモ何カ考ヘテヤラナケレバナラ  
 デハナイカ、資金吸收ニ付テ特別ナ考慮ガ  
 要ルデハナイカト考ヘマスガ、如何デアリ  
 マセウカ  
 ○河田國務大臣 今期議會ニサウ云フ法制  
 ヲ出スマデノ成案ハ持ツテ居リマセウガ、  
 御説ノ點ハ考ヘナケレバナラヌコト思ヒ  
 マスガ、唯特殊ノ金融機關ニ或ル程度ノ助  
 カヲ與ヘルコトニナルト、又一般ノ金融機  
 關モ考ヘテヤラナケレバナラヌコト思ヒマ  
 スノデ、ソレ等モ考ヘマシテ、特殊ノ金融機  
 關デアラナラバ、比較的宜イト思ヒマス  
 レドモ、一般金融機關デアリマス、中々  
 色々ナコトヲ考ヘナケレバナラヌノデ、今  
 期議會ニハサウ云フ法案ヲ出ス邊ハナイト  
 思ヒマスガ、一ツノ考慮スベキ點ダト思ヒ  
 マス

○河田國務大臣 日本ノ普通商業銀行ガ英  
 國流ノ商業銀行ノ型ヲ採ツテ居ルト云フコ  
 トハ御説ノ通りデアリマス、申上ゲルマデ  
 モナク初メ出來タ當時ハ「アメリカ」ノ「ス  
 テーツ・バンク」ノ制度ヲ採ツタモノデア  
 ラウト思ヒマスガ、ソレガ段々英國流ニ變  
 ツテ行ツタノデアラウト思ヒマス、サ  
 リナガラ從來ハ商業銀行ト云ヒナガラ、地  
 方銀行ハ商業銀行ヨリハ寧ロ不動産抵當銀  
 行ミタイナモノニナツテ居タモノデスカラ、  
 監督ノ任方モソチラノ方カ心配スルト云フ  
 ヤウニナツタモノト思ヒマス、大體サウ  
 云フ徑路ヲ取ツテ發達シテ參リマシタ所ノ  
 地方銀行ヲ、今日直チニ興業銀行的ニ、農工  
 銀行的ニ監督スベキカドウカ、ソレ等銀行  
 ノ制度ニ付キマシテハ隨分沿革ガ古いノト、  
 制度モ非常ニ古いモノデゴザイマスカラ、  
 特殊銀行ナリ、普通銀行ナリノ制度ニ付キ  
 マシテハ、相當ニカラ考究シナケレバナラ  
 スト思ヒマス、今小笠原君ノ言ハレルヤウ  
 ニ、斯ウ云フ地方銀行ノ監督ノ方法ヲ、直  
 チニドウスウルト云フコトハ、「一寸急ニ  
 ハ無理デアナイカト」思ツテ居リマス

○小笠原(三)委員 近年何々金庫トカ、何  
 何營團ト云フヤウナ金融機關ノ新設ガ續出  
 スルトデアリマス、一事業、一金融機關ト  
 云フコトハ理想的ニハ相違アリマセウカレ  
 ドモ、新設セラレタ金庫等ガ本當ニ效果  
 ニ働キマスノハ數年掛ルノデアリマス、  
 是ハ大藏大臣能ク御承知ノ通りデアリマス、

所ガ見渡シテ見ルト、既設機關ノ中ニ尙ホ  
 働ケル餘地ノアルモノガ少クナイノデアリ  
 マス、是等ヲ利用スル方ガ餘程效果デア  
 リ、實際的デアルト私ハ考ヘテ居ル、何故  
 政府ハ是等既設金融機關ノ利用ヲ第一着ニ  
 置カレナイノデアルカ、又是等既設金融機  
 關ヲ時局金融方面ニ動員サレナイノデア  
 ルカ、例ヘテ申シマス、勸業銀行ト云フ  
 モノガアリマス、是ハ此ノ頃不動産金融ガ  
 非常ニ減少シテ居ルト私ハ思フ、而モ勸業  
 銀行ハ約五千人ノ人ノ資源ヲ持ツテ居リマ  
 スルシ、全國ニ互リ支店網ヲ持ツテ居ル  
 デアリマス、是等ヲ働カセテ積極的ニ國家  
 目的ノ爲ニ貢獻セシメルト云フコトガ一番  
 得策チヤナイカ、且ツ前ニモ一寸申上ゲマ  
 シタヤウニ、是ハ色々財源關係等デアリ  
 スルガ、勸業債券ト云フモノハ割合ニ發行  
 キガ容易ナノデアリマス、デアリマスルカ  
 ラ資金ヲ集メルノニモ非常ニ容易ナ點ガアリ  
 ノデアリマス、私ハ是等ノ支店ヲ持ツテ勸  
 業銀行等ヲモツトウシテ、興業銀  
 行トノ分野ヲ決メテ興業銀行ノ足ラザル所  
 ヲ補ハシムル機關トシテ、一ツ時局金融ノ  
 方デ活動サシタラドウカ、斯様ニ考ヘル  
 デアリマスルガ、如何デアリマセウカ

○河田國務大臣 前同ノ御質問デハ日本ノ  
 多數ノ普通銀行ト申シマスルカ、普通銀行  
 ノ發達ニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、御  
 説ノ通り此ノ頃ハ段々英米式ノ「バンク」  
 ヲリ——是ハ一寸講釋メキマスケレドモ、  
 段々「ドイツ」式ノモノガ殖エテ參リマシタ  
 今日ノ場合ハ庶民金庫、産業組合中央金庫、  
 商工組合中央金庫、アア云フ既設ノモノヲ  
 利用スルト云フコトハ私モ其ノ方ガ宜イノ  
 ダラウト思ツテ居リマス、唯今同ノ住宅營團  
 ガ、資金計畫確立等ノ見地カラ見テ最モ必要

デスカ、ソレカラ帝都交通營團、是モ一寸毛  
 色ガ違ツタモノデスカ、モウ一ツハ國民更生  
 金庫、此ノ國民更生金庫ニ至リマシテ、殆ド  
 國ガスルヤウナモノデアリ、之ヲ餘リニ庶民金  
 庫ナリ、商工組合中央金庫ナリ、——是モサ  
 ウ儲け仕事デアリマセウガ、自營出來ルモ  
 ノニ入レテシマフノハ如何デアリマス、  
 又國民更生金庫ト云フモノヲ今日打出スノ  
 ガ、一ツノ機關ヲ中小商工業者ノ轉廢業ヲ  
 シナケレバナラヌ者ニ對シテ、政府ガ特設  
 スルノダト云フコトニ依ツテ稍、安心ヲ與ヘ  
 得ルト云フ點ヲ考慮致シマシテ、別ニ設置  
 シタ方ガ宜イト思ツタノデアリマス、ソレ  
 カラ住宅營團、之ニナルト既ニ今マデ同潤  
 會ト云フヤウナモノモゴザイマスガ、同潤  
 會ニナルト色々資金固定ノ關係カラ、手ツ  
 取り早ク償還ノ付カス點ガゴザイマス、ソ  
 レデ住宅營團ト云フモノヲ設置致シマシテ、  
 追々斯ウ云フヤウナモノヲ統制シテ行ク方  
 ガ宜イト、斯ウ考ヘテ居リマス、最後ノ勸業  
 銀行活用ノ問題ハ御同感デゴザイマシテ、  
 前ニ申上ゲマシタヤウニ、興業銀行ノヤウ  
 ナ一ト所デハ少シ手ガ張リ過ギマスノデ、  
 勸業銀行ノ其ノ經驗ト人カト云ヒマス、  
 ソレヲ十分利用シテ思ツテ居リマス、  
 今同ノ勸業銀行法中改正法律案ノ如キモ、  
 其ノ一歩ヲ踏出シタモノデアリマス

○小笠原(三)委員 次ニ政府ハ金融行政事  
 務ヲ統一スル御考ヘナイカ、例ヘテ申シマ  
 スレバ、大藏省以外ニモ、商工省、農林省、  
 逓信省、厚生省等、色々ナ金庫ガ出來マシ  
 タカラ、サウ云フ方面ニ非常ニ散在シテ居  
 リマスガ、斯ウ云フ散在シテ居ル金融行政  
 事務ヲ一元的ニ大藏省所管ニ集中サレルノ  
 ガ、資金計畫確立等ノ見地カラ見テ最モ必要

○河田國務大臣 御答ヘ致シマス、單ニ資  
 金ト云フ限カラ見レバ御説ノ通り思ヒマ  
 ス、普通ノ金融機關、即チ銀行、信託會社ト違  
 ヒマシテ、生命保險トカ、金庫トカ云フヤ  
 ウナモノハ、單純ナル銀行、信託會社ト云フ  
 ヤウナ、サウ云フ金融機關一點張りデナイ  
 分子モ含ンデ居ルノデ、全部大藏省ノ手デ  
 背負ヒ兼ネル次第モアルカト思ヒマス、但  
 シ資金ノ關係ニ於テハ生命保險等ノ資金等  
 ハ殆ド大藏省ト相談シテヤウテ居ルヤウナ  
 講デアリマス、御説ハ御尤モデゴザイマス  
 ケレドモ、行政機構ノ連絡等カラ考ヘマシ  
 テ、一時ニ其ノ作用ヲ變ヘテ行クト云フコ  
 トハ申上ゲ難ネル次第デアリマス



ナコトヲ、實ハ漏レ聞キマシテ、ソレデハドウ云フ内容ヲラウカト云フコトヲ、實ハ知りタカクノデアリマス、何デモ私ノ聞イタ所デハ、マダ閣議ニ提出スルマデハナクテ居ラスケレドモ、大蔵省ト企畫院トノ間ニハ、最早意見ガ一致シテ、遠カラズ之ヲ閣議ニ提出スルバカリニナツテ居ルコトヲ云フコトヲ聞イタノデアリマス、是ハ誤リデアレバ、誤リテ結構デアリマスガ、左様ナ場合ニ私ノ言ヒタイノハ、斯ウ云フ金融新秩序ヲ作ラレル場合ニ、大蔵省ト企畫院トケ案ヲ作ラレト云フコトハ甚ダ感心シナイ、斯ウ云フモトハヤハリ民間ノ金融者トカ、手形交換所トカ、或ハ金融制度調査會トハ、今今デモアルダラウト思ヒマスガ、是等ト社ヲ割ツテ協議ヲ、或ハ諮問ヲシテ、十分ナ検討ヲ經テ上デ、サウ云フモノヲ御作リニナツテ、閣議ニ提出セラレル運ビニスキダト思フ、ソレヲ唯大蔵省ノ吏僚ノ方ト、企畫院ノ吏僚ノ方トガ打合セラレテ、大臣ノ決裁ヲ貰フテ、ソレガ現實ニ行ハレル金融新秩序ニナツテ行クコトハ、私ハ甚ダ感心シナイト思ヒマスガ、實ハ御伺ヒ申上ダタノデアリマスガ、私ノ聞イタノハ、誤リデゴザイマセウカ

○河田國務大臣 只今御話ノ通り經濟新體制、農業新體制、其ノ他ニ金融新體制、其ノ三本建ヲ別ニ立テルト云フ風ニ御聞キニナツタノハ、誤リデゴザイマス、此ノ間モドナタカノ御質問ニ對シマシテ申上ダマシタ通り、一ツノ經濟現象ノ機構トシマシテ、財政金融機構ノ綱領ト云フモノハ、重要國策ノ中ニ掲ゲテ計畫シタ次第デアリマシテ、ヤハリ經濟産業ノ新體制ノ範疇ノ中ニ於テ、綱領ヲ「コンクリート」ノモノヲ作ラウト云

フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレハ「コンクリート」ノモノニナルノデアリマスカラ、別ニ諮問機關ト云フ譯デハアリマセケレドモ、私ト致シマシテハ、出來ルダケ各方面ノ意向ヲ參酌致シマシテ、私ノ肚ヲ決メタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○小笠原(三)委員 大蔵大臣ニ對スル質問ハ、モリウチ一トクテデアリマス、政府ハ此ノ資金計畫ノ外ニ、財政計畫ト云フモノヲ御持チニナツテ居ラレバナラズト云フモノヲ御持チニナツテ居ラレバ、政府ハ財政ニ對シテ、如何ナル計畫ヲ御持チニナツテ居ラレバ、大蔵大臣一トクテデアリマス、中々計畫ガ立タスト云フコトデアリマス、ナラバ、大蔵大臣一トクテデアリマス、世間デハ豫算ハウツテモ宜イノデアリマス、世間デハ豫算ハモウ膨脹スル一途ダト云フ風ニ言ツテ居ルノデアリマスガ、豫算ハ果シテ膨脹スル一途ノミナリヤ否ヤ、私共ハ結局現在ノ國際情勢ニ於テハ、要ルダケノ國費ハ何トシテモ調達スル外ハナイ、歳出豫算ハドウシテモ膨脹スル、サウスルト歳出豫算ノ膨脹ヲ阻止スル制約ハ、唯二ツシカナイ、第一ガ物資供給可能ノ限度ト云フコトデアリ、第二ガ財源タル公債ノ不消化ニ原因スル惡性「インフレーション」ノ發生防止、此ノ二ツダケガ歳出豫算ノ膨脹ヲ阻止スル制約トナルノデアリマシテ、ソレ以外ハドウモナイヤウナ感シガスルノデアリマス、サウスルトは生産力擴充計畫ガ、ドンク進行シテ行ク、是ハ進行シナイトイケマセスガ、此ノ事ハ後で商工大臣ニ御問ヒシタイト思ヒマス、サウスルト物資供給可能ノ限度ガ、殖エテ行ケバ行クニ從ツテ、國家豫算ト云フモノハ益々膨脹スルバカリニナル、

益々膨脹スルバカリニナルト、國家ノ消費スル資金、撤布スル資金ガ大キイダケニ、經濟界其ノ他各方面ニ、非常ナ影響ヲ與ヘマセ所カラ、大體政府ノ財政計畫一若シソレガ出來テ居ラナレバ、大蔵大臣一トクテ御考ヘトシテ、將來ノ見透シ、斯ウ云フコトヲ承ツテ、大蔵大臣ニ對スル私ノ質問ハ終リタイト存ジマス

○河田國務大臣 政府ノ財政計畫ト致シマシテ、將來ノ豫定計畫ト云フモノハ、ゴザイマス、併シ數年來政府ガ示シテ參ラナカウタノモノ、無理ナカラウト思フノデアリマシテ、暫ク猶豫ヲ顯ヒマシテ、今年モ同様ニ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ私一トクテ云フテモ、此處ニ立チマシタ以上ハ、一トクテ云フ譯ニモ參リマセウガ、今日ノ場合物資ガ幾ラデモ入手出來マシテ、物資トノ金ト「インフレーション」ガ取レルト云フコトデアリマシテ、多々益々膨脹シテ、私ハ決シテ惡性「インフレーション」ハ生ジナイダラウト思ヒマス、問題ハヤハリ物資トノ關係ガ「インフレーション」ニナル所ニアルノデアリマシテ、思フノデアリマスガ、其ノ場合ニ於テ、仰セノ通り公債消化ガ不能ニナツテ來ル場合ニハ、ソレ以上ニ如何ニ需要ガアリマシテモ、國費ヲ膨脹サセルコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、詰リ物資ト「インフレーション」ニ拘ラズ、通貨ガ膨脹シテ惡性「インフレーション」ヲ起サウナ時ニハ、ソレハ抑ヘルヨリ仕方方ナイト思ヒマス、其ノ時機ガ何時ニナルコト云フコトヲ、小笠原君アタリハ心配シテ居ラレマスケレドモ、本年ハ増産ガ出來ルト思ヒマス、其ノ點ハ時期ニ依リマシテ、其ノ時ノ狀況ヲ考ヘマセスト、今ハウキリ申上ダ兼ネマス

○小笠原(三)委員 私人大蔵大臣ニ對スル質問ハ終リマシタガ、物資ノ關係及ビ物價等ニ付キマシテ、商工大臣又ハ企畫院總裁ニ出席ヲ願フテ、御質問申上ダゲタイト思フノデアリマシテ、此ノ點ヲ留保シテ、私ノ今日ノ質問ハ是デ打切リマス

○増田委員 西川君

○河田國務大臣 此ノ追加豫算ノ提出ニ依リマシテ、漸ク來年度ノ豫算ノ大體ノ全貌ヲ知ルコトガ出來タノデアリマシテ、私モ亦此ノ豫算ノ全般ニ關聯致シマシテ、主トシテ純財政上ノ問題ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス、小笠原委員ノ御質問ノ前半ハ、私一寸退席シテ居リマシタノデ、拜聴シテ居リマセウガ、大體原稿ヲ拜見致シマシテ、イマサガ、或ハ多少重複ノ點ガ生ズルカトモ思ヒマス、此ノ豫算ヲ拜見致シマシテ、私共ハ今更ノ如ク時局ノ重大性ヲ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、ト同時ニ國ノ財政其ノモノガ、今ヤ戰時體制トデモ申シマスルカ、本當ニ眞剣ニ一ツ體形ヲ改メテ行カナカウナラバ、將來色々憂慮スベキ問題ガ起ツテ來ルト云フコトヲ、痛感セザルヲ得ナイノデアリマス、ト申シマス、ハ、本年度ノ豫算ハ只今小笠原委員カラ申サレマシタル如ク、一般會計ニ於ケル追加豫算ヲ合シマシテ、一般會計ノミデ八十億ニ近イノデアリマス、尙ホ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ナルモノモ、此ノ度ハ非常ニ多イ、明年度以降ニ於テ是等ハ豫算ノ上ニ重疊ヲ加ヘテ來ルデアリマセウ、尙ホ相當繼續費ノ計畫モアルノデアリマス、ソコデ明年度ハ、既定經費ト云フヤウナ性質ヲ取リマス所ノ基準豫算ト云フモノハ、大體

ドノ位ニ脹レテ來ルカ、此ノ點ニ付テ吾々ハ一ツノ見透シヲ付ケナクテハナラス、サウシテ明年度以降ニ於ケルマシテハ、相當思切ツク所謂新シイ態勢ヲ取リマシテ、既定經費ノ内容等ヲ十分ニ吟味致シマシテ、サウシテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニシ、堅忍持久ノ態勢ヲ取ラナレバナラズト思フノデアリマス、其ノ點カラ致シマシテ、實ハ陸海軍大臣ノ御出席ヲ求メテ居ツタノデアリマスガ、大臣ガ御出席ガ困難デアリマスレバ、政府委員ノ方ニ御尋ネシタイト思ツテ居ルノデゴザイマスガ、大體陸海軍ニ於ケレバシテハ、此ノ追加豫算ニ對シマシテモ相當御要求ガアル、是ハ最近ニ於ケル時局ノ重大性ニ鑑ミマシテ、當然ナコトデアリマシテ、其ノ追加豫算ノ上ニ大キナ金額ガ現ハレテ來タコトヲ、吾々ハ少シモ怪シム者デハナイノデアリマス、當然デアルト思ツテ居リマス、尙ホ明年度以降ニ於ケル繼續費ノ外ニ、此ノ時局ニ對應致シマスル爲メ、明年度以降ニ於テ新シク頭ヲ豫算ノ上ニ出シテ來ナレバナラズモ、尙ホアルノデアリマシテ、今日ハ最早國際情勢ニ對シマシテモ、吾々トシテハ最悪ノ場面ノ見透シヲ付ケテ、十分ナル用意ヲ凡ル方面ニ於テシテ行カナレバナラズト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於ケルマシテ、財政ニ於テモ其ノ他ノ方面ニ於ケルマシテ、即應スル態勢ヲ取ラナレバナラズト思フノデアリマスガ、陸海軍ノ御計畫等ニ付キマシテハ、出來得ル限りニ於テ御示シテ願ヒマシテ、サウシテ其ノ用意ノ下ニ此ノ豫算ニ對スル審議モ致シ、又豫算ノ形體ヲ整ヘル計畫ヲ立テル上ニ於ケルマシテモ、當局ニ對シテ吾々ノ要求スル點ガ多クアルノデアリマスガ、

政府委員ノ方カラデモ、先ツ其ノ點ニ付テ御示シテ願ヘル範圍内ニ於テ、御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス

○武井政府委員 只今追加豫算トシテ御審議ヲ願フテ居リマスルモノハ、新シク軍備計畫ノ一部デアリマシテ、其ノ残りノ部分ニ付キマシテハ、將來國際情勢等ヲ考ヘ合ハセマシタ上デ、後年度ニ改メテ要求スルコトニナルト考ヘマス

○石川(半)政府委員 今回ノ追加豫算ニ必要トシテ居リマスルモノハ、陸軍ト致シマシテハ近代戰ノ經驗ニ鑑ミマシテ、急速ニ實行ヲ必要ト致シマスル所謂修正軍備充實計畫ノ補備事項デゴザイマシテ、是ハ先般大臣ノ說明ニモアリマシタヤウニ、其ノ内容ハ陸軍諸學校ノ新設擴充、並ニ技術ノ刷新向上ニ必要スル經費ト、若干ノ部隊ノ増強ニ必要スル經費デアリマス、陸軍軍備ハ昨年ノ所謂修正軍備充實計畫ト、本年度ノ計畫トヲ以テ、其ノ基本體系ヲ概成スルモノデゴザイマスガ、四圍ノ情勢ヲ推シテ應ジマシテ、或ハ後年度ニ於テ、尙ホ更ニ補強増強ノ必要ガ起ルコトモアリ得ルノデアリマシテ、將來ノ豫想ニ關シマシテハ、一寸申上ダ兼ネル次第デゴザイマス

○西川委員 只今陸海軍當局ノ御答ヘヲ拜承致シマシテモ、私共ハ此ノ時局ノ下ニ於ケルマシテハ、相當財政上將來ニ用意ヲシテクテハナラズ必要ヲ認メルノデアリマス、尙ホ私ハ明年以降ノ財政ニ於ケルマシテハ、陸海軍ノ經費ノ以外ニ於ケルマシテモ、色々ト重大ナル問題ガ起ツテ來ルノデアリマシテ、ト思フノデアリマス、第一ハ、只今私共ガ審議致シマスル豫算ニ御要求ニナツテ居リマスル小學校教員ニ對スル臨時手當月額一

人當リ十圓ノ經費デアリマス、是ハ國民教育ノ重大性ヲ認識サレマシタ一ツノ英斷デアルト、私共御褒メ致スノニ咨ガデナイト同時ニ、此ノコトヲナサシマシタト云フコトハ、財政當局トシテハ非常ニ大キナ決心ト、御用意ガナクテハナラズト云フアル、ト申シマス、ハ、小學校教員ト同ジヤウナ状態ニ置カレテ居リマスル者ハ、相當ニ多イノデアリマス、一般ノ薄給者、官公吏員ニ對シマスル手當等ニ付キマシテハ、高田委員カラモ前ニ御質問ガアツタヤウデゴザイマシテ、之ニハ相當積極的、具體的ナ御答ヲ得ガアツタカニ拜承スルノデアリマスガ、其ノコトハ又ソレノミニハ止マラナイ、例ヘバ米價ノ問題等ニ於ケルマシテモ、十五年ノ産米ノ生産費ト云フモノヲ、大蔵大臣ハ御承知デアリマセウガ、其ノ生産費ノ下ニ於ケル現在ノ價格ニ於テハ、是ハ石炭、鐵等ノ如クニ生産ノ補償價ヲ出シテヤルカ、或ハ他ノ方法ニ依ツテヤルカト云フヤウナ、具體的ニ考ヘナレバナラズ問題ガ起ツテ來ル、各方面ニ色々ノ問題ガ起ツテ來ルノデアリマシテ、コトデ財政當局トシマシテハ、大體的ノ見地カラ堅忍持久ノ態勢ヲ、財政ノ上ニ執ツテ行カレマセスト、是ハ將來餘程心配ヲ致サナレバナラズ點ガ起ルコトヲ思フノデアリマス、サウ云フコトモ考ヘ合セマシテ、又本年度ニ只今御要求ニナツテ居リマス國庫負擔ノ契約等、明年度以降ノ豫算ノ上ニ現ハレルモノヲ御考ヘニナツテ、明年度以降ノ上ニ於ケルマシテハ、形ヲ執ルモノト大體御考ヘニナツテ居ルカ、將來ノ財政計畫ニ付テ、的確ナコトヲ示スコトハ困難ナリ、只今御答辯ガアツタノデアリマスガ、來年度豫算ニ對スル大體

大臣ノ御用意ハドウカ、私共議會ニ出マシテカラ今年デ五年目デアリマスガ、其ノ間ニ七人ノ大蔵大臣ニ私共ハ接シテ居ル、先ノ議會ニ於テオ目ニ懸ツタ大蔵大臣ニ、次ノ議會ニ於テオ目ニ懸ツタ例シガナイ、議會ニ於テ色々抱負ノ同ツテ居リマシテモ、其ノ翌年ニハオ目ニ懸ルコトガ出來マセウノデ、ドウモ暖簾ニ腕押シト云ツタヤウナ感シガシテ居ルノデアリマス、曩ニ總理カラモ洵ニ痛切ナル御聲明ガアリマシタヤウニ、上モ下モ其ノ職場ニ立ツテ、最後ノ御奉公ヲ申上ダナレバナラズ時期デアアルノデアリマシテ、此ノ豫算ヲ御組ミニナリ、茲ニ經費ヲ御要求ニナツタ大蔵大臣トシテハ、今年度色々ノ方面デ御要求ニナツタ事情ト配合セテ、次年度ニ對スル種々御用意ガ御有リニナルダラウト思フ、ソレ等ノ點ヲ大體御示シテ願ヒタイト思フ

○河田國務大臣 今日我が國ノ財政ガ相當考慮ヲ要スベキ諸點ガアルト云フコトハ、御説ノ通りデアリマス、此ノ昭和十六年度ノ總豫算ハ、幸ヒニ今日貴族院ヲ通過ツタノデアリマスガ、此ノ儘ニシテ來年マデ行クモノトハ思ツテ居リマス、併シ十七年度ノ豫算計畫ヲ申上ゲルコトハ、暫ク猶豫シテ載キタイ、斯ウ思ツテ居ル、アア思ツテ居ルコトヲ云フコトヲ申上ゲルコトハ、此ノ際控ヘタイト思ヒマス、明年此ノ席デ申上ゲル機會ガアレバ仕合セデアリマス

○西川委員 私が漫然トシテ御問ヒテ致シマシタノデ、只今ヤウナ御答ヲ戴イタノデアリマスガ、次ニハ少シ具體的ニ項目ヲ擧ゲテ御質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、私共ハ此ノ豫算ガ、單ニ金額ガ膨大

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十六回 昭和十六年二月十五日







ノ手當ヲ給シテ居ラレナイ、十八歳未満ノ  
 収入ガアルト云ヘバ、家ガ非常ニ貧乏ナリ  
 ニ、給仕ニテモ居ルカ、或ハ色々何  
 カノ収入ヲ取ルベク勤メテ居ルノデアル、  
 サウ云フ者ニハ此ノ僅カニテ手當モヤラ  
 ナイト云フ程セテ辛イ出シ方ヲサレテ居ル、  
 所ガ今回一大英斷ヲ以テマシテ、小學校教  
 員ニ對シテ八月額十圓、是ハ社會政策的ニ  
 考ヘテ之ヲ御使ヒニナルノカ、頭割ニシテ  
 御使ヒニナルノカ、尙ホ御説明ヲ聽カナイ  
 ト分リマセヌガ、兎ニ角サウ云フコトニナ  
 リマス、色々他ノ方面ノ人件費ノ負擔ノ  
 増加ト云フコトモ考ヘナクテハナラス、吾  
 吾ハ明年度ニ於テハサウ云フモノモ出テ來  
 ルト思フ、サウスルトサウ云フ情勢ノ下ニ  
 於テ、此ノ價格政策ノ部門ニ於テモ不引合  
 ナ點ハ國家ガ之ヲ引受ケル、或ル場合ニ生  
 費ガ其ノ價格ヲ超エテ、其ノ儘デハ生産出  
 來ナイモノハ、國庫ニ於テ補償スルト云フ  
 原則ヲ尙ホ續ケテ行カレカドウカ、此ノ  
 點ニ對シマシテ御方針ヲ承リタイト思ヒマ  
 ス

○河田國務大臣 重要物資並ニ生活必需品  
 ニ對シマシテ、其ノ價格ノ騰貴シタ「コス  
 ト」ノ高イモノヲ其ノ儘認メルカ、或ハ之  
 ノ國庫負擔ニ於テ補助ヲシテ行クカト云フ  
 問題ニ付キマシテハ、政府ハ屢々繰返シテ  
 申上ゲマス通り、補助ノ政策ヲ行クト云フ  
 コトニ今日ナツテ居リマス、ハ御説ノ通り  
 デアリマス、之ヲ將來ドウスルカト云フコ  
 トニ付キマシテハ、將來ハ又將來考ヘル外  
 致シ方ガナイト思ヒマス、今日ハ低物價政  
 策堅持ノ見地カラ申シマシテ、其ノ爲ニ價  
 格政策ニ不引合ナ點ヲ生ジ、ソレヲ補償ス  
 ルコトガ國家ノ負擔ニナルト云フヤウナコ  
 トヲ仰シヤイマシタケレドモ、ヤハリ政府  
 ノ考ヘテ居リマスコトガ今日ノ場合一番適  
 當セルモノト思フテ居リマス

○西川委員 政府ト致シマシテ、直チニ方  
 針ヲ變ヘルノダト云フヤウナ御聲明ガ困難  
 デアリマス、コトハ私モ諒ト致シマス、唯此  
 ノ問題ニ關聯シマシテ、尙ホ私ガ質問ヲ續  
 ケマス目的ハ、將來萬一ニモ政府ノ方針ニ  
 變更ガアリマシタヤウナ場合、昨日モ企  
 畫院總裁ニ私ガ問ヒマシタ際ニ於キマシ  
 テモ、企畫院總裁ハ現在ノ物價水準ハドコ  
 コマデモ維持スルノダト云フ風ノ固イ意味  
 ノ御答辯デハナカッタ、低物價政策ハドコ  
 マデモ之ヲ堅持スルト云フ御答辯デハアリ  
 マシタガ、併シ現在ノ物價水準ヲドコマデ  
 モ維持シテ行クト云フ意味ノ御答辯デハナ  
 カツタヤウニ私ハ拜承シテ居ル、併シナガ  
 ラ從來國民ノ頭腦ニハ惡性インフレーション  
 ント云フモノニ對スル恐怖觀念ガ可ナリ深  
 刻ニ入ツテ居ル、是ハ喉ノ入り過ギテ居ル  
 ト思フ、私ハ斯ウ云フ觀念ハ少シク是正ヲ  
 シテ置ク必要ガ最早アルノデハナイカ、假  
 ニ政府ノ政策ガ多少將來變更ヲ來シマシテ  
 モ、ソレニ驚カナイダケノ用意ヲシテ置ク  
 必要ガアルノデハナイカト思フ、サウ云フ  
 意味デハ私ハ二、三ノ點ヲ御尋ネ致シタイノ  
 デゴザイマス

先ツ公債消化力ノ問題デゴザイマスガ、  
 之ニ付キマシテハ、既ニ此ノ委員會ノ席上  
 ニ於キマシテモ、數委員ノ方カラ御質問ガ  
 アリマシタ、私ハソレ等トハ少シク考ヘテ  
 異ニ致シテ居ル、私ノ考ヘテ率直ニ申シマ  
 スレバ、公債ハ金融現象ノ上ニ於テ消化サ  
 レナイト云フコトハ理論上ハナイ、必ス出  
 シタダケノ公債ハ消化サレル、ト申シマス

ノハ、日銀ノ引受ニ依ツテ發行サレマス公  
 債ハ、ソレガ出ルヨリ前ニ政府ノ設定シタ購  
 買力ガ民間ニ拂ヒ出サレ、其ノ拂ヒ出サレ  
 タ購買力ガ結局ニ於テ之ヲ消化スル力ニナ  
 ル、勿論ソレハ色々ノ方面ニ循環ハ致シマ  
 スケレドモ、循環ヲシマシテモ、此ノ資金  
 ハ消エナイノデゴザイマス、最後ニハ  
 是ガ公債消化ノ資金トシテ還ツテ來ル、是  
 ハ私ドナニ考ヘマシテモ、ドウ色々ノコ  
 トヲ研究シマシテモ、結局斯ウナル必然性  
 ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、是ハ疑フ餘地  
 ハナイ、之ヲ否認スルコトハ出來ナイト思  
 フ、過去五箇年ノ議會ヲ顧ミマスレバ、ド  
 ノ議會ニ於キマシテモ、公債ノ消化問題ガ  
 豫算案議ノ殆ド中心ヲナシテ居ル、而モ之  
 ニ對スル所ノ基本的ナ觀念ハ、其ノ間ニ別  
 ニ變化ガナイ、變化ハナイガ、事態ハ非常  
 ニ變化致シテ居リマス、吾等ガ昭和十五年  
 ノ議會ニ於テ論議ヲ聽キマシタ時ニハ、大  
 體日本ノ資金ノ蓄積力ト云フモノハ十五億  
 位シカナイ、其ノ中租稅トシテドノ位吸上  
 ゲラレ、滿洲方面ノ投資ニドノ位要ル、或ハ  
 民間ノ資金ニドノ位要ルカラ、公債ノ消化  
 力ハ七、八億シカナイト云フヤウナ主張ガ  
 可ナリ有力デアツタ、之ニ對シテ、當局ハ  
 イヤサウチヤナイ、十億位ノ消化力ハアル、  
 或ハ又ヤリ方ニ依ツテハ十五億位ノ消化  
 力ハアルノダト云フ風ニモ答辯サレテ居リ  
 マシタガ、其ノ年ノ七月ニハ支那事變ガ勃  
 發致シマシタカラ、結局其ノ年度ニ於テ消  
 化サレタ公債ノ高ハ、實際ニハ四十億ヲ越  
 シタノデアリマス、ソレ以後公債ノ消化力  
 ハ驚クベキ力ヲ持ツテ來テ居リマス、ケレド  
 モ、此ノ根本的ナ考ヘ方ハ今日マデ餘リ變  
 化ガナイト思フ、金融現象ノ上ニ於キマシ  
 テハ、將來幾ラ公債ガ増大シマシテモ、  
 此ノ公債ガ消化サレナイデ、公債ノ不消化ト  
 云フコトガ原因ニナツテ惡性インフレー  
 ション」ガ起ツテ來ルト云フコトハナイト  
 私共ハ確信シテ居リマスガ、之ニ對シテ大  
 藏大臣ハドウ云フ觀念ヲ持ツテ居ラレマス  
 カ

○河田國務大臣 西川君ノ御所論ハ、公債  
 ヲ發行シテモ、民間ノ購買力ガ之ニ應募シ  
 テ來ルカラシテ、公債ノ消化ト云フコトハ  
 困難ナコトガアツテモ、結局何時カハ出來  
 テ來ルモノデアルト云フ風ナコトデアリマ  
 スケレドモ、公債ヲ發行スルト云フコトハ  
 國費ヲ支辨スル爲デアル、國費ヲ支辨スル爲  
 ニハ、唯人件費トカ云フヤウナ、物トノ關係  
 ヲ考ヘナイデアル譯ニハ行カナイ、假令人  
 件費ト雖モ、ソコニハ支辨場、費スガガナケ  
 レバナラス、物トノ關係ヲ見マセンケレバ、  
 如何ニ公債ヲ發行シテ行ツテ資金ヲ得マシ  
 テモ、之ヲ使用スル對象トナル所ノ物トノ  
 「アン・バランス」ガ生ジマシタナラバ、是  
 コソ惡性インフレーション」ヲ生ズルノデ  
 アリマス、物トノ關係ヲ見ズシテ、公  
 債ガ循環シテ應募サレテ行クト云フコトハ  
 如何ナモノカト思ヒマス、幾ラ公債ニ依ツ  
 テ財源ヲ得マシテモ、人件費以外ノ物件費  
 ニ使用サレベキ所ノ物ト云フモノガ不足シ  
 テ參レバ、ソコニ循環モ出來ズシテ、或ル  
 程度ノ不備ハ生ズルモノト思ハナケレバ  
 ナラスト思フ、是ハ議論メイト來マスケレ  
 ドモ、其ノ點ハ始終「バランス」ヲ見テ國費  
 ノ支辨ヲシテ行カケレバナラスモノト考  
 ヘテ居リマス

○西川委員 只今私ガ伺ヒマシタノハ、所  
 謂金融現象ノ上ニ於テト云フ前提ニ立ツテ

問フタノデアリマスガ、大藏大臣ハ更ニ一  
 歩ヲ進メテ、物ト配合セテ行カスト公債ノ  
 不消化ガ起ルト云フ御答辯ヲ下サイマス  
 シタ、是ハ私ノ質問ヨリモ一歩進ンダ御答辯  
 デアツタト思フデアリマス、所ガ只今大  
 藏大臣ノ言ハレマシタヤウナコトモ、ソレ  
 ハ公債不消化ト云フ現象ニ於テ起ルカ、豫  
 算不消化ノ形ニ於テ起ルカ、此ノ點ハ餘程  
 重大ダト思フ、詰リ物ガナイ、物ガナケレ  
 バ其ノ施設、事業ヲ行フコトハ出來ナイカ  
 ラ、ソレダケ豫算ノ執行ガ見合ハサレルニ  
 違ヒナイ、其ノ場合ニハ公債ガ出ル前ノ豫  
 算ガ既ニ消化シナイノデアツテ、公債ガ消  
 化シナイト云フ形デハナイ、物ガナイ爲ニ  
 事業ガ出來ナイ、施設ガ出來ナイト云フ時  
 ニハ、ソレハ豫算ノ執行ガ不可能ニ陥ル  
 デアツテ、其ノ豫算ノ執行ヲサツタ代價  
 トシテ國費ヲ撒布サレル、其ノ國費ノ財源  
 トシテ公債ヲ發行ナサレルデアリマス、カ  
 ラ、公債ノ不消化問題ヨリモ豫算ノ不消化問題  
 ノ方ガ先ニ起ル、隨テ出タ公債ハ必ス消化  
 サレルノデアツテ、金融現象ノ上ニ於ケル  
 公債ノ不消化ト云フコトハ私ハアリ得ナイ  
 ト思フ、只今大藏大臣ガ言ハレマシタヤウ  
 ニ、物トノ「アン・バランス」爲ニ公債ガ不  
 消化ニナルト云フコトハ、實ハ公債ガ不消  
 化ニナル前ニ豫算ノ執行ノコトガ出來ナ  
 タナルノデアリマス、ソレハ公債ガ不  
 消化ニナル前ニ所謂自動的ニ停止スル、公  
 債自體カラ言ヒマスレバ、自動的ニ停止ス  
 ルノチヤナイ、其ノ點ニ付テ御考ヘ如何デ  
 スカ

○河田國務大臣 御質問ノ性質ガ性質ナモ  
 ノデスカラ、此處テ私モ之ヲ知識テ財政學  
 ノ研究ヲシテ居ルヤウナコトニナルノデ恐  
 縮デゴザイマスガ、御質問デゴザイマスガ  
 ラ申上ゲマス、豫算ノ不消化ト云フ言葉ハ  
 ドウ云フ意味カ、ソレガ適當カドウカハ姑  
 ク別トシマシテ、豫算ガ不消化ト云フコト  
 ナラバ、結局公債ノ出ス必要ハナシ、公債ヲ  
 出ス必要ガナケレバ、其ノ公債ノ不消化ハ  
 起ラズチヤナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイ  
 マスレバ、ソレハ其ノ通りダラウト思ヒマス

○西川委員 ソレハ當リ前ノコトデス、當  
 リ前ニ言ハレルヤウナコトデアリマス、當  
 リモ世間ニ與ヘル印象ハ大キイト思フ、ト  
 申シマス、ハ此ノ豫算ニハ公債ガ八十億  
 ル、或ハ百億アル、是ダケノ公債ヲ出シタ  
 ナラバ是ガ惡性インフレーション」ノ因ニ  
 ナルト云フヤウナ論議ガ可ナリ世ニハ滲ミ  
 渡ツテ居ル、併シナガサウ云フコトハア  
 リ得ナイノダ、假ニ豫算ノ上ニ公債ヲ計上  
 シテ居ツテモ、若シモ物トノ關係ガ「アン・バ  
 ランス」ニナツタ時ニハ其ノ公債ハ發行不要ニ  
 ナル、公債ヲ出ス前ニ施設、事業ヲ見合セ  
 ナクチヤナラス、所謂實行豫算デモ粗ンデ  
 節約ヲシテ行カケレバナラスコトニナル  
 ノダカラ、豫算ニ計上サレタ公債其ノモノ  
 ガ直ク惡性インフレーション」ノ因ニナル  
 ト云フ風ニ國民ヲ威カス必要ハナイ譯デア  
 ル、財政當局トシテハ私ノ言フコトハドウ  
 モ變ナコトヲ言フ風ニ御考ヘニナルカモ知  
 レマセヌガ、私ハ今日ノ國家ノ狀況ニ於キ  
 マシテハ斯ウ云フ意味ノ安心ヲ國民ニ與ヘ  
 テハドウカ、公債ヲ發行スル時ニハソレハ  
 物ガアツタカラ政府ノ事業ガ出來タノダ、  
 政府ノ施設ガ出來タノダ、政府ノ施設ガ出  
 來タカラ政府ノ支辨ガ起ル、支辨ノ必要ガ  
 アルカラ日銀ニ公債ヲ引受ケシメテ政府ノ  
 預金ヲ作ル、其ノ預金カラ小切手デモ現金

デモ之ヲ引出シテ來ルノダ、隨テ公債ガ大  
 キイ爲ニ惡性インフレーション」ガ起ルト  
 云フ心配ハナイノダ、斯ウ云フ安心ヲ國民  
 ニ與ヘルコトガ出來ルト思フデアリマス  
 ガ、其ノ點ドウデゴザイマス

○河田國務大臣 御質問ノ趣旨ハ分リマシ  
 タ、私ハ先刻カラ申上ゲテ居リマシタ通  
 リ、初メノ第一回目ノ御質問デ金融現象ト  
 シテハト言ハレマシタケレドモ、ドウモ物  
 ガナケレバ必要ガナイノダ、斯ウ云フ頭ガ  
 アリマシタカラ申上ゲタノデアリマスガ、  
 其ノ次ニ行キマシテ、繰返シテ申上ゲマス  
 通り今ノ豫算ヲ執行スルダケノ物ハ計畫、  
 用意シテアリマシタ通り、先刻モ小笠原  
 君ノ質問ノアリマシタ通り、其ノ物ニ付テ  
 萬一不足ヲスルコトニナレバ豫算ガソレダ  
 ケ實行出來ナクナル、サウスレバソレダケ  
 ケ資金ハ要ラナクナリマス、資金ガ要ラナク  
 ナレバ、ソレダケ公債ハ要ラナイト云フコ  
 トニナリマス、カ、物トノ「アン・バラン  
 ス」ニナリマス、サウ云フ惡性インフレー  
 ション」ハ起ル筈ハナイ、唯物トモナイノ  
 ニ、今ハ日本銀行ノ引受ニ依リマシテ能力  
 ダケ消化シテ參リマスケレドモ、假ニ民間  
 ニ非常ナ資金ガ積ンデアツテ市場デ公債  
 ヲ引受ケル、政府ハ其ノ資金ヲ積  
 ヲ引受ケル、ソレデ使フ物ガナカッタナ  
 バ、使ハズニ居タナラバ、幾ラ公債ノ應募  
 力ガアツテモ惡性インフレーション」ガ起  
 ツテ來ルノデアリマス、假ニ國民ニ非常ナ  
 資金、資産ガアツテ、公債ヲ市場ニ出セバ  
 百億デモ二百億デモ應募スル力ガアツテモ、  
 政府ガ其ノ資金ヲ以テ使フ物ガナイト、詰  
 リ金ニ對スル物ガ「アン・バランス」デアツタ

ナラバ、物ガ高クナルカラ、ソレハ必ズ惡  
 性インフレーション」ヲ起スノデアリマス、  
 丁度逆ノ場合デスカラ、其ノ意味ニ於テ惡  
 性インフレーション」ヲ起サセザルガ爲ニ  
 ハ、物トノ「アン・バランス」ヲ考ヘテ行カケレ  
 バナラスト思フテ居リマス

○西川委員 只今ノ大藏大臣ノ答辯ハ、ド  
 ウモ精密ニ考ヘマスト私マダ色々問題ガアル  
 ト思フ、假ニ公債ハ應募サレテモ惡性イン  
 フレーション」ハ起ルノダト云フヤウニ、幽  
 靈ガ何處カラカ出ルゾト云フヤウニ御言ヒ  
 ニナル必要ハナイト思フ、精密ニアナタガ  
 御考ヘニナリマシテ、サウ云フ場合ガ財政  
 現象ノ上ニ於テアリ得ルカドウカト云フコト  
 ハ、惡性インフレーション」ノ起ル可能性  
 ガアルノダト云フコトヲ大藏大臣ノ位置ニ  
 アル人ガ輕々ニ言フベキデナイト思フ、私  
 ト反對ニアナタガ議員デアリマスナラバ、  
 サウ云フ風ニシテ當局ヲ御責メニナルコト  
 モ或ハ必要カモ知レマセヌ、サウ云フ場合  
 ガアルカモ知レマセヌ、併シナガアラナク  
 ガ當局ニ立ツテ居ラレテ、大藏大臣ノ今  
 ノ答辯ハ精密ナル論議ノ結果デハナイト私  
 ハ思フ、サウ云フ風ニ惡性インフレーシ  
 ョン」ノ可能性ガアルト御答ヘ下サイマス  
 コトガ適當カドウカニ付テ問答スルノハ其ダ  
 變ナコトニナリマスガ、唯私ガ申上ゲタイ  
 ノハ、惡性インフレーション」ニ對スル國  
 民ノ恐怖心ヲ成ベク少クシタイ、ソコデ昨  
 年來公債ノ消化力ガ鈍化シタコトニ付キマ  
 シテハ、委員ニ於カレマシテモ、當局ニ於  
 カレマシテモ、色々御心配ニナツテ居リマ  
 ス、此ノ鈍化シマシタノハドウ云フコトガ  
 原因デアルカ、一體公債消化ニ對シマシテ  
 ハ無策ノ大策デオイデニナルノガ一番宜イ、











シテハ支那ノ方ノ關係ヲ南京政府或ハ北支ノ政權把持者ト御協議ニナツテ、今カラ段段會議的ニ御處理ヲナサルヤウニ歩ヲ進メテ行カレルトコトガ、圓「プロダクト」ノ境域内ニ於ケル總テノ經濟問題ナドヲ處理スル上ニ大變ナリ影響ガアルト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テハ何カ只今ノ所見召シテ居リマセウカ

○河田國務大臣 支那ノ通貨ト我々國ノ圓トノ關係ニ付キマシテ、相互ニ不利益ヲ生ゼザルヤウニ當心掛ケテ居リマス、併シ支那ニ於ケル通貨ノ問題ハ、只今南京ニ還都シタル所ノ國民政府ノ方針ト致シマシテ、中支那ニ於キマシテハ中央儲備銀行ヲ設立シ、北支、蒙疆ニ於テハ現狀ヲ維持スル、斯ウ云フコトヲ聲明致シテ居リマス、日本政府トシテモ其ノ方針ヲ飽クマデモ援助シヨウ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○中山委員 私人支那ニ對スル法幣ノ問題ハ、大藏大臣ヲ絕對ニ信頼致シマシテ自分ノ意見ヲ申上ゲマセウガ、最後ニ一點大藏大臣ニ御尋ねシテ置キマス、是ハ先程高田耕平氏カラモ觸レタ問題デアリマス、司法省關係ノ職員ノ下級ト申シマスガ、先程大藏大臣ハ下級ト云フ言葉ヲ使ハレマシタガ、下級官吏ノ廷下、看守、書記ナドニ對スル手當ヲ是非モウ少シ上ゲテ戴キタイト思ツテ、私先程謹シテ御意見ヲ拜聴シテ居ツタノデアリマス、ドウモ餘リ煮エ切ラヌヤウニ御答辯デシテハ可哀サウデス、廷下ハ二十圓カラ三十圓位デス、書記ハ二十五圓勤メマシテヤウトコサ百二十圓カ百二十五圓デス、是ハ哀レナ者デアリマスカラ、此ノ場合一步進シテ何トカ御決意ヲ示シテ貰フ譯ニハ參リマセウカ、念ヲ押シテ置

キマス ○河田國務大臣 下級ト云フノモマツイデスガ、薄給ト云ヒマスガ、薄給ノ吏員ニ付キマシテハ、先刻高田君ニ御答辯致シマシタ通り、サウ云フ待遇改善問題ハ非常ニ複雑シテ居リマス、根本的ニ檢討シテヤラナケレバナラヌト思ヒマス、併シ急ノ間ニ合ハスト云フ時ニハ、小學校教員ノ臨時手當ノヤウニ、既ニ現實ノ事實トシテ現レタノデアリマシテ、是ト同様ニ扱ハナケレバナラヌモノニ付キマシテハ、考究ノ上然ルベク取計フベキモノト思ヒマス、唯先刻申上ゲマシタ通り中々複雑ナ問題デアリマスカラ、是ハ斯ウスル、アレハアスルト云フコトヲ明言致ス時期ニハナツテ居リマセウガ、小學校ノ教員ノ臨時手當ハ事實トナツテ居リマスカラ、ソレト能ク權衡ヲ見マシテ然ルベク取計リタイト思ツテ居リマス

○中山委員 ソレデハ次ニ選任大臣ニ御尋ねシマス、選任大臣ハ先頃鐵道大臣ヲ兼ネテ居ラレマシタガ、私ハ大陸政策ヲ斷行スルニハ、將來ドウシテ朝鮮海峽「トンネル」ヲ掘鑿シテ、大陸ニ對スル日本ノ交通上ノ態度ヲ決定シナケレバナラヌト云フ考ヘテ年來持ツテ居ルノデアリマス、而シテ朝鮮海峽「トンネル」ノ掘鑿ニ付キマシテハ關係官廳ガ大變多イノデアリマシテ、大藏省、内務省、選任省、鐵道省、朝鮮總督府ト云フヤウニ按配ニナツテ居ルノデアリマス、而モ選任大臣ハ熱烈ナル朝鮮海峽「トンネル」掘鑿ノ支持者デアルト云フコトヲ世間モ知ツテ居リマス、私モ十分知ツテ居リマス、而モ承リマスレバ、中島鐵道時代ニ此ノ海底ノ調査ニ關スル委員會ガ出來マシテ、已

○村田國務大臣 朝鮮海峽ヲ掘鑿シマスルコトノ必要ナルコトハ大陸政策ノ上カラ御説ト通りデアリマス、日本ガ東亞新秩序ノ建設ト申シマスガ、大東亞共榮圈ノ樹立ト申シマスガ、此ノ點ヲ考ヘマシテ成ベク早クヤラナケレバナラヌコトハ、朝鮮海峽「トンネル」ノ掘鑿デアラウト思ヒマス、ソレハ世界ヲアツト言ハセルト云フヤウナコトデナク、實質的ニ最モ必要デハナイイカト思フノデアリマス、是ナクシテハ恐ラク將來完全ニ大陸政策ヲ行ハレナイイカナイカト云フ見地カラ、私ハ御言葉ノヤウニ熱烈ナル支持者デアリマス、曾テ僅カノ間デア

○中山委員 次ニ御尋ね致シタイト思ヒマスル事柄ハ、空襲時ニ於ケル所ノ通信機關ノ保護ト云フコトデゴザイマス、現在ノ電柱ヲ立テテ上ニ針金ヲ引張ツテ居ルト云フヤウナ時代遅レノコトデハ到底空襲時ニ於ケル各地ノ連絡ヲ完全ニ取ルト云フコトハ出來ナイコトト思フノデアリマス、カルガ故ニ私ハ先般來展、選任當局ニ御願ヒマシテ、將來ハドウシテモ電信線、電話線ト云フモノハ地下ニ之ヲ設置スルト云フコトニシナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、如何デゴザイマセウカ、將來ハサウ云フ風ニ總テノ地上ノ電信電話

○河田國務大臣 下級ト云フノモマツイデスガ、薄給ト云ヒマスガ、薄給ノ吏員ニ付キマシテハ、先刻高田君ニ御答辯致シマシタ通り、サウ云フ待遇改善問題ハ非常ニ複雑シテ居リマス、根本的ニ檢討シテヤラナケレバナラヌト思ヒマス、併シ急ノ間ニ合ハスト云フ時ニハ、小學校教員ノ臨時手當ノヤウニ、既ニ現實ノ事實トシテ現レタノデアリマシテ、是ト同様ニ扱ハナケレバナラヌモノニ付キマシテハ、考究ノ上然ルベク取計フベキモノト思ヒマス、唯先刻申上ゲマシタ通り中々複雑ナ問題デアリマスカラ、是ハ斯ウスル、アレハアスルト云フコトヲ明言致ス時期ニハナツテ居リマセウガ、小學校ノ教員ノ臨時手當ハ事實トナツテ居リマスカラ、ソレト能ク權衡ヲ見マシテ然ルベク取計リタイト思ツテ居リマス

○村田國務大臣 日本ノ海運「トンネル」數ヲ増大強固スル必要ハ今更申上ゲルマデモアリマセウ、現ニ大東亞共榮圈確立ト云フ點カラ申シマシテモ、仰セノ通り今日ノ六百「トン」デハ少イノデアリマス、ソレダケデモドウシテモ之ヲ相當大キクシナケレバナラヌノデアリマスガ、併シナガラ日本ノ海運ハ單ニ大東亞ノ共榮圈内ニ止マルベキモノデハアリマセウ、是ハ戰爭ガ終リマシタ後、世界ニ飛躍シ得ルト云フ爲ニハ更ニ更ニ先程仰セノヤウナ數字以上ノ船隻ヲ持ツテ居ル必要ガアルデハナイイカト思フノデアリマス、ソレニ對シマシテソレナラ出來ナイイカト云フ御話デアリマスガ、今ハ隨分鐵材其ノ他ノ資材ノ關係ガ十分分デハアリマセウ、國防上、又經濟上、政治上均船隻ノ增加ト云フコトハ、是ハ何トシテモ必要デアリマス、資材ノ供給ノ上ニ於テモ企業院其ノ他關係各省トモ相談致シマシテ、現下ノ事情ノ許ス限リ十分ニ資材ヲ供給ヲ賈ヒマシテ、造船ニ今努メテ居ル次第デアリマス、「トン」數其ノ他ニ對シマシテハ數字ハ申上ゲタクナイト思ヒマス、十分ニ御意ニ副ツテヤツテ居ル積リデアリマス

○中山委員 尙ホ御伺ヒシタイト思ヒマスルハ睡眠池水ノコトデアリマス、眠ツテ休息シテ居ル池ノ水、所謂睡眠池水ト私自分デ勝手ニ稱シテ居ルノデアリマスガ、全國的ニ現在水力發電ノ母體トシテ利用開發サレテ居ル池ノ水ト云フモノハ尙僅少ノモノデアリマス、私昨年內務省ノ方ニ御願ミシテ、全國ノ池ヲ全部調査シテ數字ヲ持ツ

テ居リマス、而シテ現在企業サレテ居ル電力量モ數字ヲ持ツテ居リマス、併シ時間ガアリマセウカラ一々之ヲ詳シク申上ゲルコトハ差控ヘマスガ只今眠ツテ居リマス全國ノ池ノ周圍ニ堤防ヲ築イテ此ノ水ヲ貯藏シテ、水力發電ノ設備ヲ致シマス、現在世界デ第五位ヲ占メテ居ル我國ノ水力電氣ノ地位ト云フモノハ、恐ラク第二位カライマデ飛躍シテ行クノチヤナイイカト考ヘラレノデアリマス、出來ルナラバ私ハ只今半デヤラウト云フ其ノ熱烈ノ御意見ヲ持ツテ居ラレバアナクニ是モ亦序ニキツテ戴キタイト云フコトヲ考ヘテ居ル、アナタハ大阪ニ居ラウシヤツタカラ能ク御分リデセウガ、高西工學博士ガ琵琶湖一ツニ付テモ非常ニ研究ヲシテ、サウシテ之ニ三千六百萬圓掛ケテ琵琶湖ノ周圍ニ堤防ヲ築イテ、一面而其ノ路而觀光道路トシテ使用シ、他面此ノ堤防ニ依ツテ、一箇年五十億立方「メートル」降ル雨ヲ現在三十六億立方「メートル」利用シテ居ルノデアリマスカラ、残り十四億立方「メートル」水ヲ利用シタラバ、國家ノ一箇年ノ利益ト云フモノハ「キロ」一錢ト見テ一箇年最低百五十萬圓デアルト云フコトヲ言ハレテ居ル、是ハ工學博士ガ専門的ニ研究シタモノデアリマス、百五十萬圓一箇年ニ儲カルト云フコトヲ呼ンデ居リマシタガ、私ハ昔之ニ關スル「パシフレット」ヲ五六年前ニ勝手ニ刷ツテ貴業兩院議員ニ配布シタノデアリマス、唯單ニ琵琶湖一ツニ付テモ此ノ通りデアリマス、之ヲ全國ニ擴大シテ此ノ睡眠池水ノ利用ト云フコトヲオヤリニナツタナラバ、恐ラク東海道線ナンカ直チニ電化シテシマフダフ

ウト思ハレル、私共曾テ後藤新平氏ガ鐵道大臣ヲシテ居ラレマシタ時ニ、アノ東京驛ヲ拵ヘ、丹那「トンネル」ヲ通ス時、或ハ此ノ大東亞ノ震災後ノ建設ヲヤリマス時ニハ皆囁ツテ居ツタノデアリマス、併シ私ハ選任大臣ニ御望ミスル所ハ唯ハレルト云フコトヲ御望ミスル、唯ハレル位ノ見識ヲ以テ此ノ大キナ事業ヲアナタノ御在任中ニ斷行スルト云フ計畫ヲ立テテ戴キタイ、只今ノ朝鮮海峽モ他ノ大臣ナラ私ハ申シマセウ、アナタノ居ラレル時ニ其ノ第一ノ礎石ダケハ置イテオイテ戴キタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ全國的ノ睡眠池水ノ利用開發ト云フコトニ付テノ思召ハ如何デゴザイマセウカ、御意見ヲ承リタイ

○村田國務大臣 睡眠池水ノ利用開發ニ付テデアリマスガ、此ノ點ハ別ニ私ガ礎石ヲ置キマセウデモ、既ニ前々カラ選任省ニ於テハ調査ヲ致シテ居リマス、單ニ大小睡眠池ノミナラズ、河川ノ水力ト云フモノニ對シテ今回モ豫算ニ計上シテデアリマスガ、是ノ調査ト云フモノハ三回目デアリマス、是ハモット大規模ノ調査ヲ致シタイノデアリマスガ、昨今ノ財政ノ上カラ相當遠慮ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今日ノ電力開發ハモウ相當良イ水力ハ使用済デアリマシテ、今後ノ水力ハ洪水ト放水トノ間ニ開キガ相當アルノデアリマス、ドウシテモ只今ノヤウニ睡眠池ノ開發トカ、或ハ調整池トカ、或ハダムヲ以テ水ヲ湛ヘル貯水池ヲ造ラナケレバナラヌト云フヤウナ状態ニナツテ來タノデアリマス、是ハ否デモ應デモヤラナケレバナラヌノデアリマス、隨テ第三次ノ調査ニ從ヒマシテ相當各地ニ此ノ點ヲ實行シタイト思ヒマス、現



○中山委員 最後ニモウツ御尋ネシテ置キタイト思ヒマス、追加豫算ノ紙面ヲ見テ...

モ「アメリカ」ハ近頃ノコノ出掛ケテ來テ、サウシテ「シンガポール」ト「マニラ」トノ間ヲ結ンデシマツタ、斯ウ云フ風ニナツ...

昭和十六年二月十六日印刷

昭和十六年二月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

シテ居リマスル機種ヲ改善シテ強化致シタイト思ヒマス、又「パラオ」ト淡水トノ間ノ線ヲ開始致シマシテ、臺灣ト東南洋トノ間...

午後六時七分散會

(第一類 第一號)

第七十六回帝國議會 豫算委員會議錄(速記)第十七回

會議

昭和十六年二月十七日(月曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 増田 義一君
理事伊禮 肇君 理事小笠原三九郎君
理事佐藤洋之助君 理事田中 好君
理事西川 貞一君 理事古田喜三太君
理事三浦 虎雄君 理事三宅 正一君
理事宮澤 胤勇君 理事矢野庄太郎君
青山 憲三君 井上 良次君
石坂 豐一君 一ノ瀬俊民君
泉 國三郎君 今井 新造君
江藤源九郎君 小野 謙一君
大本貞太郎君 笠井 重治君
勝 正憲君 川崎 克君
木村 正義君 岸田 正記君
北 吟吉君 久山 知之君
島田 俊雄君 助川啓四郎君
多田 滿長君 高田 耘平君
武田德三郎君 津雲 國利君
長野 長廣君 鶴見 祐輔君
末松借一郎君 東郷 實君
米窪 滿亮君 中島彌圓次君
中田 儀直君 中山 福藏君
松本治一郎君 松村 光三君
田中 耕君 深澤 吉平君
藤本 捨助君 古屋 慶隆君
堀内 良平君 河野 密君
三善 信房君 木暮武太夫君
森田 福市君 横川 重次君

出席國務大臣左ノ如シ

- 依光 好秋君 一宮房治郎君
内閣總理大臣 公府近衛 文麿君
内務大臣 男爵平沼騏一郎君
厚生大臣 金光 庸夫君
拓務大臣 秋田 清君
陸軍大臣 東條 英機君
外務大臣 松岡 洋右君
文部大臣 橋田 邦彦君
海軍大臣 及川古志郎君

出席政府委員左ノ如シ

- 法制局長官 村瀬 直善君
企画院次長 小畑 忠良君
企画院部長 沼田多稼藏君
對滿事務局長 荒川 昌一君
外務省東亞局長 山本 熊一君
外務省亞米利加局長 寺崎 太郎君
外務省南洋局長 齋藤 晋次君
外務省通商局長 水野伊太郎君
外務省條約局長 松本 俊一君
外務書記官 武内時之助君
内務次官 萱場 軍藏君
内務省地方局長 留岡 幸男君
内務省警保局長 橋本 清吉君
内務省土木局長 成田 一郎君
内務省計畫局長 藤岡 長敏君
内務書記官 三好 重夫君
大藏省主計局長 谷口 恒二君
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
大藏省銀行局長 相田 岩夫君
大藏省爲替局長 原口 武夫君

- 大藏書記官 梅北 末初君
大藏書記官 氏家 武君
大藏書記官 植木庚子郎君
大藏書記官 日下部 滋君
大藏書記官 河野 一之君
大藏書記官 秋元 順朝君
大藏事務官 山住 克巳君
中村孝次郎君
入江 昂君
花田 政春君
石川半三郎君
陸軍主計中將 石川半三郎君
陸軍少將 武藤 章君
陸軍主計大佐 森田 親三君
陸軍主計中將 武井 大助君
海軍主計中將 武井 大助君
海軍少將 岡 敬純君
海軍主計大佐 爲本 博篤君
海軍大佐 高木 惣吉君
司法書記官 石田 壽君
農林省食品局長 堀池 英一君
農林省食料局長 辻 謙吾君
農林省資材部長 重政 誠之君
農林書記官 岡本 直人君
農林書記官 岡本 直人君
農林書記官 小島 新一君
農林書記官 永田彦太郎君
農林書記官 長谷川公二君
農林書記官 堀 義臣君
農林書記官 末永 衛君
農林書記官 山田 準吉君
農林書記官 山田 良秀君
農林書記官 山田 清秀君

- 鐵道省經理局長 平山 孝君
鐵道省需品局長 堀木 鎌三君
拓務次官 北島謙次君
拓務省管理局長 副島 勝君
拓務省殖産局長 植島 鐵三君
拓務省拓北局長 今吉 敏雄君
拓務省拓南局長 森部 隆君
拓務書記官 中野 勝次君
朝鮮總督府政務總監 大野綾一郎君
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
臺灣總督府財務局長 齋藤 樹君
樺太廳長官 中嶋 一郎君
南洋廳長官 小川 正儀君
厚生次官 近藤 駿介君
厚生體力局長 兒玉 政介君
厚生省衛生局長 佐々木芳遠君
厚生省豫防局長 加藤於菟丸君
厚生省社會局長 高野 六郎君
厚生省労働局長 熊谷 憲一君
厚生省職業局長 持永 義夫君
厚生書記官 生悦住永馬君
厚生書記官 內藤 寛一君
厚生書記官 高橋 敏雄君
厚生書記官 中島 賢藏君
厚生書記官 吉武 惠市君
保險院總務局長 川村 詮三君
保險院社會保險局長 木村 秀文君
保險院簡易保險局長 前田 清司君
保險院書記官 築 誠君
軍事保護院總裁 三島 誠也君







シテハ僅カ三%ト云フ狀況デアリマス、只今御話ガアリマシタヤウニ自動車ノ壽命ノ保有、或ハ燃料消費ノ節約ト云フヤウナ點カラ鑑ミマシテ、道路ヲ舗装スルコトハ洵ニ必要デハナイカト私共モ考ヘテ居リマス、之ニ付キマシテ昭和十四年ニ全國的ニ國道ヲ府縣道ヲ一定ノ計畫ノ下ニ舗装スルト云フ案ヲ立テマシテ、ソレニ基テ豫算ニ之ヲ計上シテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、是モ必ズシモ十分ハ申セナイト思ヒマス、昭和十五年度ニ於テハ國道ノ舗装費トシテ二百萬圓、府縣道ノ舗装費補助トシテ二百萬圓、府縣道ノ舗装費補助トシテ二百萬圓、ソレカラ是ト同額ノ國道ニ於テ二百萬圓、ソレカラ府縣道ノ舗装費補助トシテ二百萬圓、是ガ豫算上ノ金額ハ四百萬圓ニナツテ居リマス、事業費ト致シマシテハ是ガ八百萬圓ニナルヤウナ譯デアリマシテ、道路ノ舗装ニ付キマシテハ今後ニ於テキマシテモ出來ルゲケヤツテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○堀内委員 道路ノ改良ノ不完全ナルコトハ當局モ御認メニナツテ居ルヤウデスコラ、彼此レ此ノ道路ノ改良ノ必要アリコトハ今更申上ゲルマデモナイコトデアリマスガ、時局柄洵ニ緊切ナル仕事ト考ヘテ居ルノデアリマス、幸ヒ有力ナル内務大臣モオイデニナルコトデアリマスカラ、セメテ此ノ道路審議會ノ決定ニ基キマシテ、其ノ計畫ノ額位ハ大シクコトデアリナイノデアリマスガ、臨時ニ豫備費ノ中カラデモ御支出ニナツテ至急ニ道路改良計畫ヲ御進メニナルコトヲ非常ニ希望致スノデアリマス

○中山委員 堀内委員御進メナル計畫ニ付キマシテ、政府トシテノ御意向ヲ伺ヒ

レヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 只今御希望ニナリマシタ點ハ、當局ニ於テモ能ク考慮致シマス

○堀内委員 モウ一點、只今申上ゲタコトデアリマスガ、結局陸海空ノ三ツノ輸送ヲ一ツニシテ實行シナケレバ連絡ガ執レナイ、色々役所ガ分レテ居ツテ、緊密ナル連絡ヲ保ツト云フコトガ此ノ間ノ交通新體制ノナドニモ書イテアルヤウデアリマスガ、役所ガ別ニナツテ居ルトセウ云フ譯ニハ參ラナイ事情ハ私カラ申上ゲルマデモナク、今日マデノ實際ノ事實ガ證明シテ居ルノデアリマス、ドウシテモ此ノ際ニ新體制ヲ實行シナケレバナラヌ際デアリマスカラ、斯ウ云フ時ニ總テノ行政機構ノ改革ヲオヤリニナツテ、交通ニ關スルコトハ交通省ニ移ス、例ハ内務省ノ道路、逓信省ノ飛行機、海運及鐵道省ノ事務ヲ一元化シテ所ノ完全ナル行政機構ヲ御立テニナルコトガ萬全ノ策デアラウト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ、大臣ノ御所見ヲ一應伺ツテ置キタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 行政機構ノ改革ニ付キマシテハ、是ハ全般ニ互ルコトデアリマシテ、只今之ヲ改革スルヤ否ヤ、又改革スレバ具體的ニドウ云フ點ニ付テヤカドウカ、斯ウ云フ點ハ只今一寸御答ヘガ出來マセム、御述ベニナリマシタ點ハ政府ニ於テキマシテモ深く考慮致シタイト思ヒマス

○堀内委員 内務大臣ニ對スル私ノ質問ハ是デ終リマス

○増田委員 次ニ中山福藏君ニ内務大臣ニ關スル質問ヲ許シマス

○中山委員 堀内委員御尋ネスル初メニ當リマシテ、政府トシテノ御意向ヲ伺ヒ

タイコトガアリマス、ソレハ私共一同近衛總理大臣ノ御病氣ノ御全快ノ出來ルゲケ速カナルコトヲ祈ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ人間ノコトデアリマスカラ、重クナルカ輕クナルカ分ラナイ、若シ萬一連カニ御出席ガ願ヘナイヤウナ時ニハ政府トシテ總理大臣代理ヲ置キ御意向ヲアリアマセムカ、ソレヲ一應御伺ヒ致シテ置キマス

○平沼國務大臣 總理大臣ノ御病氣ハ、ソレナニ重イコトハゴザイマセム、直キ出ラレラウト思ヒマス、隨テ後ノ御質問ノコトハ只今申上ゲル必要ハナイト思ヒマス

○中山委員 出來ルゲケ速カニ御全快ノ上御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ御伺ヒシタイト思ヒスル事柄ハ、是ハ第七十四議會ノ御立リ内務大臣ガ總理大臣ヲシテ居ラレラレラ、私カラ御伺ヒシテ置キタイトデアリマスガ、戰爭ニ於ケル思想問題——現在警視廳ニ於テ取扱ヒマシタ所ノ犯罪ノコト三年間ニ互ル統計ヲ見マス、非常ニ増加シテ居ルノデアリマス、殊ニ戰爭ト青少年ノ關係、戰爭時ニハ必ズ青少年ノ犯罪ガ殖エルト云フ傾向ハ世界中ヲ通ジテノ現象デアリマスガ、日本ニ於テモ全ク其ノ通りニ只今現ハレツツアルノデアリマス、ソコデ司法省トモ色々御協議ガアルト云フコトハ想像出來ルノデアリマスガ、之ニ付テノ御取給ガ十分ノヤウニ私共ハ考ヘラレラ、之ヲ略シテ置キマスガ、現在ノ犯罪ノ様態ト云フモノガ非常ニ變ツテ參リマシテ、所謂新體制ニ於ケル所ノ、從來泥棒ナドガ非常ニ望ニテ居ツタ物品ガ却テ望マラズニ、極ク一般的ナ價值ガ安イト云フ物バカリニ目ヲ着ケテ只今犯罪者ガ横行シテ

居ルヤウナ有様デアリマス、隨テ内務省ノ御取給モ自然變化ヲ來サナケレバナラヌト云フコトガ考ヘラレラ、ソレノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ司法省トドウ云フ風ナ御協議ニナツテ、如何様ナル犯罪防止ノ手續ヲ現在御執リニナツテ居ルカ尙ホモウ一ツハ、ソレニ續イテ戰後ノ思想對策ニ對スル方針ヲ今ノ間ニ御決定願ヒタイト云フコトヲ私、第七十四議會ニ御願ヒ申上ゲテ置イタルデアリマスガ、是ハ言フマデモナク戰勝國ノ戰敗國何レニ拘ラズ、第一次世界大戰ノ結果ニ鑑ミマシテモ、是ガ非常ニ國家ニ對スル恐ルベキ禍ヒヲ醸シテ居ルコトハ歴史ノ證明スル所デアリマスカラ、假ニ戰爭ガ勝ツト致シマシテモ、之ニ付テノ對策ト云フモノハ今日カラ十分ナル覺悟ヲ持ツテ考ヘテ御臨ミニナラナケレバナラヌコトト思フノデアリマスガ、此ノ際現在或ニ將來ニ對スル思想犯罪防止、或ハ思想上ノ取締ニ付テ、内務大臣ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト存ジマス

○平沼國務大臣 青少年ノ犯罪ガ此ノ時局下ニ於テキマシテ増加シタト云フコトデアリマスガ、是ハ御話ノ通り青少年ノ犯罪ガ多クナツタト云フコトハ事實デアリマス、是ハ取締ノ方面カラモ、又教化ノ方面カラモ深く注意ヲシナケレバナラヌコトデアリマス、青少年ニ於テ犯罪ニ付テハサウデアリマスガ、大體ニ於テ先づ感化ヲ先ニスルコトヲ方針ヲ執ツテ居リマス、警察ノ取締モアリマスガ、寧ろ是ハ教育ノ方面カラ直シテ行クト云フコトヲ第一ト致シテ居リマス、青少年ノ犯罪ヲ處分致シマスガ、普通ノ成年者ノ犯罪トハ取扱フ異ニ

致シマシテ、先ヅ之ヲ感化スルコト云フコトヲ第一ト致シテ居リマス、警察ノ方ノ取締モヤハリ此ノ方針ニ副フヤウニ致シテ居ル次第デアリマス

ソレカラ戰後ノ思想對策ト云フコトハ御話ノ通り大切ナルコトデアリマシテ、非常ノ事ノアリマシタ後ニハ、思想ノ方面ニ於テキマシテ色々混亂ノ状態ヲ呈スルコトハ、在來ノ歴史ニ於テモ屢々繰返サレテ居ルコトデアリマス、是ハ御話ノ通り固ヨリ大切ナルコトデアルト思ヒマス、併シ之ヲ具體的ニドウ云フコトヲスルカト云フコトハ、中々一言デハ言ヘナイコトデアリマシテ、先ヅ最モ大切ナルコトハ教育ノ方面デアラウト思フノデアリマス、是ハ文部當局ニ於テキマシテ、是等ニ對シテハ十分ナル注意ヲ加ヘテ居ラレラト考ヘマス、次ニハ經濟方面ノ非常ニ關聯ヲ致シマス、生活ノ不安ト云フコトガ生ジマス、隨テ思想ニ惡イ影響ヲ及ボス虞モゴザイマスカラ、先ヅ經濟方面ニ於テキマシテ生活ノ安定ヲ圖ルコト云フコトガ最モ大切デアラウト思ヒマス、是等ノ點ヲ十分ニ考究致シマシタ上、警察ノ取締ト云フモノガ之ニ次イデ起ル問題デアリマス、是等ノ點ガ十分ニ考究セラレマシテ、之ニ對致シマシテ警察ノ取締ヲ十分ニ講ジテ參ル考ヘデアリマス

○中山委員 内務當局ニ於テカレマシテハ、其ノ點ヲ十分ニ御注意ヲ御拂ヒ下サルヤウニ御願ヒ申上ゲマス、應神天皇ノ時ニ文字ガ渡來シ、或ハ欽明天皇ノ時ニ佛敎ガ日本ニ渡來シマシタガ、其ノ結果ノ現象カラ見マシテモ、斯ウ云フ新シイ思想ノ入りマシタ時ニハ、必ズ最後ニハ非常ニ社會ノ混亂ヲ日本ノ歴史ノ上ニ於テモ殘シテ居リマス

カラ、特ニ私ハ此ノ點ニ御注意ヲ御願ヒシテ置キマス、殊ニ全體主義トカ、民主主義トカ云フヤウナ特別ノ名詞ヲ使ツタ思想ノ流レテ居ル時代デアリマスカラ、十分御警戒ヲ御願ヒスルノデアリマス

其ノ次ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスルコトハ、今新體制、舊體制ト云フ言葉ヲ以テ日本ノ人間ノ思想ノ二ツニ分ケル傾向ヲ見テ參ツテ居ルノデアリマス、私ハ内務省ニ於テキマシテハ新體制、舊體制ト云フヤウナ言葉ハ用ヒサセラナイヤウニ御取給ヲ願ヒタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、先般近衛總理大臣ハ、新體制ト云フハ何ダト云フ質問ニ答ヘラレマシテ、日本ノ國體ノ本質ノ姿ニ違ルコトデアラ、併シナガラ最モ新シイコトダト云フ御答辯ガアツタヤウデアリマス、私ハ日本ニ於テハ古イコトカ新シイコトカ云フコトハナイト考ヘル、斯ウ云フ言葉ハ日本ノ國體ニ副ハナイ言葉デアラト思フ、新體制ト云フヤウナ言葉使フカラ、現在流行シテ居ル覺悟會ナドニ入ツテ役員ニナラナイ者ハ舊體制ダト云フヤウナ考ヘテ自ラ持タセルコトニナル、斯ウ云フ傾向ハ非常ニハ全クノ禁物デアリマス、明治維新ノ際ニ大島圭介、榎本武揚ト云フヤウナ徳川幕府側ニ居ツタ者スラモ、維新政府ニ於テ之ヲ登用シ重ク用ヒタト云フコトスラモアル、私ハ今日平沼内務大臣ガ國體ノ精神ニ徹底シテ居ラレラカラ、斯ウ云フコトハ當然ニ日本ノ國體ニ副ハナイ言葉ダト考ヘテ御尋ネ申上ゲルノデアリマス、八紘一宇ノ精神ヲ説キナガラ、其ノ言葉ノ後ニ元ノ政黨ハドウダツタ、元ノ政治ハ斯ウダツタト云フヤウナ演説ヲシ、ソレガ大流行スルコト云フヤウナコトデ

ハ、國內ノ統一ハ全ク難カシト考ヘルノデアリマス、新體制ト云フ言葉ヲ殊更ニ用ヒル人間ハ、自分自身ガ國體觀念ガナイト云フコトヲ表白スルモノダト私ハ考ヘル、斯ウ云フコトハ非常ニ大切ダト思ヒマスガ、サウ云フ言葉ヲ用ヒルコトハ斷然此ノ場合禁止シテ置キタイト云フコトヲ私ハ御願ヒスルノデスガ、内務大臣ノ御意見ハ如何デセウカ

○平沼國務大臣 新體制ニ付キマシテ近衛總理大臣ノ述ベラレタコトヲ御引用ニナリマシタ、洵ニ其ノ通りデアラウト思ヒマス、正シイ姿ニ違ル、正シイ姿ハ古カラ今日マデ少シモ變リハナイノデアリマス、唯之ニ色々埃ガ附キマスカラ、此ノ埃ヲ拂ヘバ明カニ正シイ姿ガ現ハレラ、今ノ姿ニ違ル近衛總理大臣ノ言ハレマシタ元ノ姿ニ違ルト云フコトハ、其ノ意味デアリマス、隨テ新體制ト云フコトハ、其ノ意味モ言ハレマシタセウガ、併シ是ハ新體制ト云フ文字ヲ使ヒマシタ所ガ、其ノ意味ヲ正シク用セマシレバ必ず何等不都合ハナイノデアリマス、色々埃ノ國ノ大義ニ悖ルヤウナ事態モ古來現ハレラレラ、サウ云フ事態ハ之ヲ正シテ元ニ復スルト云フコトハ、要スルニ是ハ革新デアリマス、其ノ意味ダト云フ文字ヲ使フノハ少シモ差支ヘナイト思ヒマス、惡イコトハ直シテ行カナケレバナラヌ、現今ニ於テキマシテ新體制ニ付キマシテ近衛總理大臣ノ述ベラレタコトハ、最モ其ノ意味ヲ現ハシテ居ルト考ヘルノデアリマス、此ノ意味カラ申シマスレバ、新體制ト申シマスモ、舊體制ト申シマスモ、少シモ低價ハナイ、此ノ文字ハ惡用シテハイケナイガ、之ヲ正シイ意味ニ用ユル、要スルニ近衛總理大臣ノ言

ハレマシタ意味ニ用ヒマスレバ、其ノ言葉ヲ使ヒマシテモ差支ヘナイト思ヒマス

○中山委員 是ハ私ハ平沼内務大臣デアリマスカラ、御尋ネスル譯デアリマス、今新體制ト云フ文字ヲ使フ爲ニ、非常ニ思想上ノ混亂ヲ生ジテ居ル、是ハ私ハ内務大臣ニ極ククヤウデアリマスガ、此ノ弊害ト云フモノヲ匡正スルコト云フコトハ、モウ喫緊ノ事柄デアリナイカト私思フノデアリマス、ソレハ私共考ヘマス、只今内務大臣ノ仰セラレタ通りデアリマス、古クシテ新シイ、ダカラ新體制ト云フ文字ヲ使ツテモ差支ヘナイ、斯ウ仰セラレマスガ、今一番ヤカマシク叫バレテ居ル問題ハ國體問題ト云フ問題デアリマス、數年此ノ方各内閣ガ唱ヘラレテ居ル、又日本ノ上層ノ人ガ皆唱ヘテ居ル言葉ノ下カラ現在ノ流行語ト申シマスガ、流行語ニナツテ居リマスル新體制ト云フヤウナモノヲ以テ、高度國防國家ヲ建設シナケレバ現在ノ瀬戸ハ乗切レナイト云フ言葉ガ大流行シテ居ルノデアリマス、私ハ日本書紀ノ第三卷ヲ見マシテモ、神武天皇ニ至ルマデ我が國ハ一百七十九万二千四百七十餘年ト云フ年ガ經ツテ居ルコト云フコトガ書カレテ居ルノヲ知ツテ居リマス、其ノ後ニ三千年經ツテ居ル、サウシテ產靈ノ力ニ依ツテ彌榮エニ榮エテ行ク、是ガ所謂内相ノ仰セラレラレラ、委デアリマセウ、サウ云フ意味デ時間的ニ言ハバ新體制ト云フ言葉ガ出テ來ルノデアリマス、併シナガラ時間空間ヲ超越シタ日本ノ歸一的ノ精神カラ行クト、此ノ歸一ト云フコトカラ新體制ト云フ言葉ハ出テナイ、對立ト云フ言葉ハ出テナイ、サウシテ今日八紘一宇ノ精神トカ、蒙國ノ精神トカ、ヤカマシク言ハレラレラ時ニハ日本ノ







神島揚ノ問題ニ付テ御伺ヒシタノデアリマスガ、其ノ根本ヲ圖ルニハ教育ニ在リト内務大臣ハ言ハレテ居リマス、洵ニ其ノ通りデアリマシテ、教育問題ガ根本デアリマス、此ノ教學刷新ト云フコトハ歴代ノ内閣ガ唱ヘラレテ參ツタノデアリマスガ、ソレガ徹底シテナイ、教學刷新ト云フ言葉ハ或ハ内閣内閣時分ニ出マシテ御承知ノ美濃部博士ノ天皇機關問題カラ、國體明瞭ノ問題ガ喧シクナリマシテカラ、俄ニ是ガ取上ラレテ參ツタノデアリマスガ、此ノ時局重大ニ鑑ミマシテハ、教學ノ根本ノ刷新ト云フコトガ非常ニ重大トラウト思フノデアリマス、大學、專門學校、其ノ他ノ教育カラ、反國家的ノ理論ヲヤツテ居ル學說ヲ一切之ヲ排除シテ健全ナル指導ヲシナケレバナラナイト考ヘテ居ル者デアリマシテ、我が國ノ教育ノ根本義ハ、畏クモ教育勅語ニ御示シテ居リマス通りデアリマシテ、今更ニ申上ゲルマデモナイノデアリマス、此ノ不動ノ方針ノ下ニ教育ノ任ニ當ルベキ者ノ大學、專門學校ノ教授ガ、動モスルト我ガ國體ト相容レザル所ノ反國家的ノ學說ヲ立テマシテ、若キ生徒ヲ惑ハスト云フコトハ、極メテ重大ナコトトラウト思ヒマス、私ハ大學、專門學校ニ於ケル所ノ先生ノ講義ノ内容ニ付テ我ガ日本ノ國體ト相容レザル點ガ澤山見エマシテ、ソレ等ノ資料ハ蒐集シテアリマスガ、之ヲ一々此處テ發表スルコトハ到底時間ガ許シマセヌカラ、是ハ申上ゲマセヌ、唯、二三申上ゲマスト某官立大學ノ大學部ノ教授ガ、其ノ講義ニ當リマシテ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、**「マルキスト」**ガ從來自由主義者ヲ敵視シタノハ誤リデアルト述ベタ後、吾々ハ——自

由主義者デアリマスガ、今コソ「マルキスト」トテ手ヲ握ツテ共ニ右翼ニ砲彈ヲ撃込マナケレバナラス、斯ウ云フ極端ナ演說マデ致シテ居ルノデアリマス、又某大學ノ教授ハ、國際法ノ講義中ニ於テ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、世界ノ文明國ト云ヘバ英米佛ヲ舉ゲネバナラス、日本精神ノ世界ノ優秀性ヲ最近ニ言フケレドモ、日本モ、イタリヤ、ノ文化ナドハ「ブラジル」ノ文化ニ比スベキモノデアルト云フ極端ノ講義ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ教授ナドハ日本精神ノ根柢ヲ掘ンデ居ナイ、洵ニ是ハ憂フベキ問題デアリマシテ、文部省ハ是ガ監督ノ任ニ在ルノデアリマスガ、ドウモ其ノ威令ガ行ハレナイコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスガ、全國ノ各學校ハ恰モ學校内ヲ治外法權ニ如ク考ヘマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ヲ徹底シ我ガ國體ト相容レザル講義ヲスル者ヲ排除スルコトガ出來ナイ、之ニ對シマシテ文部大臣ノ御答辯ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○橋田國務大臣 佐藤君ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、教學ノ刷新ト云フコトガ現下ノ時局ニ於キマシテ最も重要デアリコトハ、今更申スマデモナイ所デ、御説ノ通りデアリマシテ、其ノ根本ガ國體ノ本義ヲ徹底スルコト云フコトニアリコトハ、誰モ申スマデモナイコトデアリマス、然ルニ從來永キ傳統ノ間ニ、國體ノ本義ガ十分ニ透徹シナイ教育ガ或ル部ニ於テ行ハレテ居ルキウニ思ハレコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ關シマシテハ、十分徹底シ、其ノヤウナコトノナイキウニ、教育内容ヲ改メルベク固ク決心シテ居ル次第デアリマス

○佐藤委員 是ハ今月ノ初メニ起リマシタ問題デゴザイマスガ、茨城縣ノ水戸ノ高等學校ニ於キマシテ、文科三年生ノ小池洋一、石川通、二年生ノ中山久夫、野中孝夫、森高茂、此ノ五名ガ無期停學ノ處分ニ付セラレタノデアリマス、此ノ停學處分ノ理由トスル所ノモノハ、學校ノ許可ナクシテ學外ニ運動シタルコト、二ハ學校ノ事情ヲ新聞記者ニ告ゲ、教授ヲ誹謗スル談話ヲナシタルコト、三ハ學生協會ノ支部ヲ設置スル爲メ學校ノ許可ナクシテ、學校外カラ寄附ヲ求メ、其ノ際校長ハ之ヲ認メテ居ルカトノ間ニ對シテ、然リト答ヘタルコト、此ノ三ツノ理由デ是等五人ノ水戸ノ高等學校ノ生徒ヲ無期停學ニ處シタノデアリマス、是ハ其ノ當時天下ノ新聞ニ大々的ニ報道セラレマシテ、重大問題トシテ取扱ハレタノデアリマス、是ハ私ノ縣ニ起ツタ問題デアリマスカラ、之ヲ看過スルコトガ出來ナイ、此ノ行為ニ對シテハ學校ノ當局ハ此ノ五人ノ生徒ニ對シテ事前ニ何等ノ忠告モシナク、警告モ發シテナイ、サウシテ突如トシテ停學處分ニ付シタノデアリマス、ソコデ私ハ其ノ真相ヲ調べて見タ所ガ、是等學生ハ特ニ五名デ合宿ヲ致シマシテ、行ヲ致シマシテ、神ナガラノ道ヲ研究シ、日本精神ニ徹スル爲メニ模範的ナ行動ヲ行ツテ居ル者デアリマス、而シテ此ノ問題ノ根柢トナルベキモノハ、水戸ノ高等學校ニ於ケル先生ノ教授内容ニ端ヲ發シテ居ルノデアリマス、或ル教授ガ國體ト相容レザル講義ヲスルニ對シマシテ、生徒ガ連繫ヲ致シマシテ之ニ對シテ協力シテ反抗シタ、之ニ端ヲ發シマシテ、而シテ此ノ五人ガ毎朝學生トシテハ感心ナル行為ヲヤ

ノ精神運動ヲ阻止シヨウト云フヤウナ考ヘハ毛頭ナイ、其ノ精神運動ヲ致シタ者ハ學生協會ノ一員カトモ思ヒマスガ、學生協會ノヤツテ居ルコト、ヤラント欲スル趣旨ニ付テハ校長ハ毛頭存ハナイ、今學内ニ新體制ヲ作ル——新體制ト云フ言葉ガ穩カデアリマセヌケレバ、教練體制ヲ新シク作ツテ、一元的ニ大ニ教化ノ實ヲ舉ゲントスル際デアリマスカラ、其ノ内面ニ於テ働イテ與レナイカト云フノデ注意ヲ促シテ居ツタト云フ話デアリマス、唯其ノ際ニ外テ運動ヲシタト云フコトハ、校長ノ許可ヲ得ナカツタト云フヤウナ點ハアツタカトモ思ヒマスガ、ソノ問題ハ支部ヲ設ケタイト申シタ時ニ、支部ハ暫ク待テト云フ話ヲ校長ガシテ居ルニ拘ラス支部ヲ設置スルコトハ校長ガ許シテ居ルト云フコトヲ口實トシテ、外都ニ對シテ資金ヲ募集シテ週ツタト云フコトニ付テ反省ヲ促スト云フ意味ニ於テ、戒飭的ニ停學ヲ命ジタノデアツテ、惡カクツト云フコトヲ十分ニ反省シテ來レバ、直チニ停學ヲ元ニ戻シテ復校サセヨウト云フ意思ヲ持ツテ居リ、一部ハ既ニサウシテ居リハシナイカト思ヒマスガ、其ノ間ニ於テ遺憾ニ存ジマスコトハ、由來高等專門學校、大學等ニ於キマシテ學生ト教授トノ間ニ本當ノ師弟ノ道トシテシツクリシテ柔カ味、温カ味ガナク、動モスレバ對立ト云フ形ニダケモノガ現ハレテ來ルコトガ甚ダ遺憾ナ點デアリノデゴザイマス、其ノ點ガ先ヅ是正サレマセヌト、教學ノ大義ヲ説イテモ、何等真實ノ教學刷新ノ實ハ學ヲナイト思フ、唯徒ラニ學校ガ弟子ガ弟子ヲザラザラ故ニト云フダケデ弟子ヲ責メルト云フコトハ——無論弟子トシテハソレニ對スル責任ヲ十分

感ジナケレバナラスノデアリマスガ、ソレハ第三者カラ見マシタ時ニ、片手落デアルト云フコトヲ忠告シナケレバナラスノデアリマス、又一面ニ於テハ、師ガ師タラズトモ、弟子ハ弟子タルノ氣ヲ持ツテ師ニ對シテ行カナケレバナラスト同時ニ弟子ガ弟子タラズトモ、師ハ師タルベキノ道ガ又ウコトナケレバナラスノデアリマシテ、普段カラ温イ自分ノ子供ニ對スル如キ氣持カラ、本當ニ世間カラ、社會カラ、或ハ國家カラ教學ヲ委託サレテ居ルノデアルト云フ氣持カラ、弟子タラザルモノモ弟子トシテ包容スルダケノ雅量ト、愛情ヲ持ツテ進マナケレバ教學ノ實ハ學ヲナイノデアリマス、其ノヤウナ意味ヲ持ツテ私ハ大學ノ教授等ガ眞ノ教育者ニナツテ欲シイト云フコトヲ常ニ警告致シテ居リマス、ハ、サウ云フ意味ヲ含シテ居ルノデアリマス、色々ナ學校ニ於キマシテ學生ト教授トノ間ニ感情ノ衝突ガ起ル、齟齬ガ現ハレル、ソレガ或ル一種ノ形式ノ缺點カラ學校ノ權威ヲ阻礙スルト云フヤウナコトガ現ハレル、ソレハ是正スル爲メハ何等カノ方策ヲ講ジナケレバナナイ、併シ唯其ノ事柄ヲ捉ヘテ解決致シマシテモ、ソレハ根本策デハナイ、ドウシテモ其ノ對立關係ガナクナルキウニ、根本ノ方針ヲハツキリ捉ヘルト云フ心構ヘデ教學ノ刷新ヲ實行シタイト考ヘテ居リマス

○江藤委員 關聯シテ文部大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、文部大臣ハ今佐藤君ノ質問ニ對シマシテ、教學ノ刷新ヲ徹底スルハウト御答ヘ、ニナリマシタ、又只今日本ノ師弟ノ本當ノ道ヲ御説キデゴザイマシテ、私モ至極感戴デアリマス、斯ウ云フ問題ガ起リマスコトハ結局人ノ問題デアリマス、

教授ガ私ハ惡イト思フ、今日共產思想ノ者ガ學生ノ中カラ出タリ、或ハ各方面カラ國體ニ反スル思想ヲ有スル者ガ現ハレルノハ、其ノ根本ハ惡イ思想ヲ持ツ大學教授ヲ其ノ儘ニ置イテアルカラデアアル、文部大臣ハ大學教授ガ惡イ思想ヲ持ツテ居ルコトヲハツキリ知ツテ居ルニ拘ラズ、ソレヲ被免スル勇氣ガ今マデナカツタ、是ガ一番問題デアル、惡イ思想ヲ持ツ者ガ澤山今デモ殘ツテ居ル、ソレガ今佐藤君ノ言ハレタキウナ問題ヲ起シタ原因デアラウト思フ、ソコデ私ハ具體的ニ一例ヲ申上ゲマス、京都大學ノ經濟學博士石川興二ト云フ人ノ新體制原理ト云フ著書デアリマス、是ハ昭和十六年一月二十七日ニ第二十五版ヲ發行シテ居ル、是ハ其ノ先生ノ時々ノ論文ヲ蒐集メタモノデアリマス、其ノ第二章ニハ「變革期ト社會政策ト資本主義、社會惡」ト云フ表題ノ下ニ斯ウ云フコトガ書イテアル、是ハ昭和七年七月ニ書カレタモノデス、其ノ最モ露骨ナル……其ノト云フノハ、資本主義ノ墮落ト云フコトデス、サウ云フコトガ前ニ書イテアルコトカラ分リマス、「資本主義ノ墮落ノ最モ露骨ナルモノハ治安維持法デアアル」中略致シマシテ、「私有財產制度ト云フモノハ明治以後歐洲ヨリ輸入セシ資本主義制度ノ根本原理デアアル」又最後ニ「此ノ法律ハ現代社會ニ於ケル重大ナル社會惡デアアル」斯ウ書イテアル、經濟學ノ博士デアリナガラ、此ノ治安維持法ハ昭和三年ニ改正サレテ、書イタ時ハ昭和七年デアアル、其ノ間四年モ經ツテ居ルノニ、茲ニ舉ゲテアル治安維持法ノ第一條ハ改正前ノ條デアアル、讀ンデ見マス、一體何種ノ變革シタハ私有財產制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ

ツクノデ、新聞記者ガ之ヲ傳ヘ聞イテ會見ヲ申込シテ、其ノ會見談ガ偶々茨城縣ノ地方版ノ新聞ニ載ツタノデアリマス、是ガ動機ニ此ノ問題ガ取上ラレマシテ、學校ハ停學處分ニ付シタノデアリマスガ、此ノ學生ノ心事ヲ考ヘテ見ルト、洵ニ熱血ヲ吐クヤウナ國體觀念ニ燃エテ居ルガ學外ニ於ケル所ノ教學刷新ガ中ニ徹底シナイカラ、生徒自ラノ力ニ依ツテ促進シテ行クト云フ悲壯ナ決心ヲ以テヤツテ居ル、併シ學生ガ學外ニ出テ行動ヲ起スコトハ許サレナイコトデアアルノデ、學校ノ立場モ十分考ヘナケレバナリマセヌガ、一方學校ガ事前ニ何等ノ警告ヲ發セズシテ、之ヲ無期停學ニ致シマシタコトモ、非常ニ學校トシテ手落デアナイカ、斯ウ云フ問題ハ獨リ水戸高等學校ノ問題ダケデアリマセヌ、續々アルノデアリマス、先生ノ言フ所ハ弟子道ニ悖ツテ居ル、斯ウ云フノデアリマスガ、私ハモツト大キナ殘サレタル問題ガアルト思フノデアリマス、即チ弟子道ヨリモツト大キナ臣民道ノ履違ヒガアルノデアリマス、此ノ根本ヲ究メズシテ、學生ノ行為ヲ唯ノ弟子道悖ルトシテ停學ニ處シタコトハ洵ニ私ハ遺憾ニ思フ、之ニ對シマシテ文部大臣ハドウ云フ風ヲ御考ヘテ御持チデアリマスカ、此ノ際承リタイノデアリマス

○橋田國務大臣 只今ノ水戸高等學校デ起リマシタ問題ニ付キマシテハ、情報的ニ吾等ガ聞知シマシタ所ト、又學校當局カラ通達ヲ致シテ居リマス所ニ相當差異ガアリマスノデ、今其ノ點ヲ細カク調査中デゴザイマスガ、學校カラノ報告ニ依リマス、學校長ハ由來精神運動ニ對シテ非常ニ熱烈ナ誠意ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、學生



○佐藤(洋)委員 只今文部大臣カラ懇切ナ御答辯アリマシタ、文部大臣ノ心構ヘハ拜聴致シマシテ、洵ニ私ハ感激致シマス、其ノ通りデアリマス、洵ニ適當ナ人ヲ首班ニ仰イテ居リマスノデ、私共ハ心強ク思ヒマスカラ、ドウゾ教學刷新ニ付テハ徹底的ナ方途ニ出テラレシコトヲ御願ヒスルノデアリマス、實ハ水戸高等學校ノ問題ニ類似ノ問題ガ新湯澤大ニ起ツテ居リマス、是ハ既ニ四名停學ニ處セラレテ居リマス、又新潟ノ高等學校ニ今起リツツアルノデアリマス、或ハ松江ノ高等學校、佐賀ノ高等學校、山口ノ高等、福島ノ高等、又最近帝大ニ三名アリマシテ、帝大ハ始末書ヲ取ラレテ解決セラレテ居リマス、東北帝大ニ一名アリマシタガ、是モ始末書ヲ取ラレテ解決シタ、是等ハ總テ日本學生協會ノ運動デアリマス、學生協會ノ運動ト云フモノハ、既ニ莫ニ分科會ニ於キマシテ、北氏ノ質問ニ對シマシテ、文部大臣ガ御答ヘニナツテ居リマスナリ、是ハ熱烈ナモノデアリマス、横ノ連繫ヲ取リマシテ、全國ノ專門學校、大學ニ呼掛ケマシテ、今ノ同志ガ四千人モアルト云フヤウナ譯デアリマシテ、此ノ勢ヒハ中々侮ルベカラザルモノガアル、是ガ學校ト對立シテ行キマスト云フコトハ、將來ノ教育上ノ問題ニ於テ憂フベキコトニナリハシナイカト私ハ思フ、此ノ學生協會ト學校トノ調和ト云フコトニ對シマシテハ、文部當局ハ十分ニ御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ只今江藤サンガ例ヲ引カレマシタガ、サウ云フ實例ハ澤山アリマス、而シテ先生ノ中ニモ、其ノ論議ニ對シマシテ生徒カラ突込マレマシテ、誤ツテ居ルト云フコトヲ感ジマシテ、十分ナル反省

ヲシテ居ル者モアルノデアリマス、是ハ名前ヲ言ツテモ差支ヘナイト思ヒマスガ、帝大ノ矢部貞治サンデアリマス、小田村寅次郎生徒ガ、矢部貞治氏ノ試験論文ニ對シマシテ、矢部貞治氏ノ誤リタル論議ヲ指摘シテ答案ニ全部書イタルデス、ソレニ對シテ矢部サンハ「フル・マート」ヲ付ケテ、サウシテソレカラ數箇月ニ亙ツテ其ノ矢部サンノ講義ニ對シマシテ論議致シマシタ、矢部貞治氏モソレニ對シテ赤誠ヲ披瀝シテ答ヘラレタ、斯ウ云フ立派ナ教授ガアルノデアリマス、併シ反省セナイ教授ガ多ク、反省セナイドコロカ、自己ノ非ヲ蔽ウテ斯ウ云フ風ナ様ニ出ルト云フ教授ガアルノデアリマス、水戸高等學校ノ問題ハ、校長ハ同情シテ居ルケレドモ、職員間ノ問題ニ於テ斯ウ云フ酷ナ扱ヒニ立至ツタノデアリマスカラ、此ノ點ハ一ツ十分御考ヘ置キテ願ヒタイノデアリマス

ソコデ私ノ續イテ伺ヒタイノハ、是ハ學校ノ先生バカリ責メテハイケナイ、學生ニモ責任ガアル、私ハ時局重大ノ今日、時局認識ニ足ラザルモノノ代表ヲ舉ゲルナラバ、其一ツニ學生ガ指導ヲ屈セラレルノデハナイカト思フ、日本學生協會ノ連中ハ日本精神ヲ研究シテ、神ナカラノ道ニ立ツテ、非常ニ立派ナコトヲヤツテ居ルガ、ソレ以外ノソレ以外ト申シマスヲ語ルガアルガ、ソレ以外ニハ可ナリ時局認識ノ薄イ學生ガ多ク、例ヘバ二月十一日ノ紀元節ノ日、日劇ノ前ノ難クハ状態ヲ見ルノ驚クベキモノデアツテ、其ノ際ニ學生ガ何割カ入ツテ居ルト云フノデアリマス、警察ノ署長サンガ街頭演説マシテ時局認識ヲ觀ヘタト云フ洵ニ涙ダマシイ問題デアリマス、此ノ學生ノ時局認識ノ

是ハ無論理想デアリ、又間違ツテナイト云フコトヲ確信シテ居リマスルケレドモ、其ノ點ガ甚ダ不徹底デアルト云フ實ニ遺憾トシ、私ノ微力ニ對シテ甚ダ重大ナル責任ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、殊ニ大學ニ於キマシテ、或ル學部ナドガ非常ニ澤山ノ學生ヲ收容シテ居リマシテ、唯講壇ニ於テ講義ヲシテ居ルト云フコトダケガ大學ノ職責デアルカノヤウニ考ヘラレテ居ツタコトハ、最モ遺憾ノ點デアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、目下大學全般ニ於テ考ヘテ居ラスルト云フ機會ヲ作ル、ソレニ付テハ、數百人ノ學生ニ對シテ數千人ノ教授ガ要ルノデアリマスガ、教授ガ一人々々責任ヲ以テ或ル擔當ノ學生ヲ扱フ、サウ云フコトニ於テ、自分ノ信念ト體験的ナモノヲ學生ニ始終植付ケルト云フコトニ依ツテ、講壇講義ノ弊ヲ是正シヨウト云フ方針ヲ段々執リツツアルノデアリマス、ソレニ付キマシテモ先程御話ノアリマス通り、適當ノ教授デナイ者ニ學生ヲ割付ケタラバ尙ホ惡イノデハナイカト云フ御反對モアルト思ヒマスガ、今仰セニナリマシタヤウニ段々サウナケレバナラズ、サウアルベキデハナイカト思ヒマス、無論適當ナラザルモノハ適當ニ注意スル、或ハ他ノ問題トシテ解決スルヨリ外ハナイ、ソレハ又別個ノ問題トシテ、適當ナル教授ノ下ニ學生ヲ十數名或ハ二十名ツツ始終接觸ヲサセナガラ、或ハ他ノ教授トノ連絡ヲ取リナガラ、唯教壇ノ講義デナク、實際ニ人間ガ觸レ合フト云フヤウナ方式ニ於テ教育ガ實踐サレルコトヲ希望シテ、今其ノ方ヘ專ラ努力ヲ致シツツアルノデゴザイマス

○佐藤(洋)委員 前ノ第一次世界戦争ハ千九百十四年ニ起ツタノデアリマスガ、アノ當時ノコトヲ思ヒ出シマス、ドイツノ學生ガ六方戰線ニ出テ、勇敢ニ祖國ノ爲ニ戦ツタト云フコトヲ聞カサレテ居リマス、又「ドイツ」ニ於ケル所ノ「アルバイツ・ディンスト」即チ勤勞生活、學生ニ皆勤勞ヲヤラセル、此ノ徹底シタル所ノ流汗鑄鍊ノ氣持ヲモウ少シ專門學校、大學ノ生徒ニ植付ケナケレバナラズ、此ノ勤勞ガ根本トシテ、ソコデ是ハ突飛ナ案カモ知レマセマスガ、學生ヲ一週武裝サシテ戦線マデ連レテ行ツテ見ル、或ハ萬一ノ場合ニハ此ノ學生軍ヲ以テ第一線ニ起タセルト云フヤウナコトマデ考ヘテ居ラレカドウカ、私ハ陸軍大臣ガ居ラレバ此ノコトモ陸軍大臣ニ承リタイノデアリマスガ、斯ウ云フ學生ノ高度國防ノ觀念ノ問題ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ラレマスカ

テ心身ノ鍛鍊ヲ致シテ見ヤウト思ツテ居ルノデアリマシテ、今御趣旨ノ幾分ハ實現シツツアルコトヲ申上ゲテ置キマス

○佐藤(洋)委員 私ハ最後ニ文部大臣ニ御伺ヒシトスル問題ハ、獨リ文部大臣ノ問題バカリデハナイノデアリマス、併シ日本ノ國策トシテ考ヘテ裁カサレバナラナイ問題デゴザイマスカラ、是ハ一ツ能ク御考ヘ置キテ願ヒタイノデアリマス、ソレハ日本ハ今凡ニルモノガ都會集中主義、中央集中主義デアル、此ノ弊ニ陷ツテ居ルノデアリマス、東京、大阪、名古屋ニ於テモ何處モ都會集中主義ニナツテ居リマス、此ノ弊ハ絶頂ニ達シテ居リマス、是ハ國家國防上カラ見マシテモ、國民ノ衛生保健上カラ申シマシテモ、自然最近ハ水ガ足りナイト云フヤウナコトヲ聞カサレ、歴大ニ殖エテ行ク東京市、是ハ考ヘサセラレノデアリマス、殊ニ教育ノ機關ガ都會ニ集中シテ居ルト云フ問題デアリマスガ、東京市ニハ——私ノ統計ハ古イノデアリマシテ、最近ノ統計ヲ文部省カラ頂戴シタイト思フノデアリマスガ、私ニハ十四年度ノ統計シカナイノデアリマス、東京ニハ官立大學ヲ除キマシテ、私立大學ガ十八アル、專門學校ガ三十三アル、官立大學ノ帝大ト商科大學ト工業大學ヲ入レルト官立大學デ二十校ニナリマス、五十四校ノ學校ガアリ、而モ東京府下ニハ各種學校ヲ入レバ六百校アルノデアリマス、專門學校ト大學ノ生徒數ハ官立學校ヲ入レナイデモ、十四年ニ九万二千九百人アリマス、是ハ帝大、商科大學、工業大學ヲ入レマスト十万以上ニナル、此ノ中ニ東京在住者ハ少數デアリマシ

テ、田舎カラ出テ參ル人ガ非常ニ多ク、先ヅ八割ハ田舎出デアリマス、斯ウ云フ實例ヲ見マシテモ、東京ニノミ教育機關ガ集中シテシマツタ、世界何レヲ見マシテモコンナ所ハナイ、「ニューヨーク」ヲ見マシテモ「ロンドン」ガ「ベルリン」バリア「タリ」モ一ツカ又ハ二ツ位シカナイノデアリマス、東京位教育機關ガ密集シテ居ル所ハナイ、此ノ弊害カラ色々ナモノヲ産ミ出シテ參ルノデアリマス、田舎カラヤツテ參リマスカラ、一人ノ遊學費用ト云フモノハ莫大ニ上ル、吾々チヨツト概算致シマシテモ年八百圓以上デアリマス、假ニ八万入ツテ來ルトシテ六千四百圓ト云フモノガ田舎カラ東京ニ落チテ、ソレハ田舎ニ還元シナイノデアリマス、之ヲ地方ニ分散スルナラバ地方ハ非常ニ繁榮ヲスルシ、教育モ落着イテヤレル、理科系統ハ別デアリマスガ、文科系統ハ田舎ニ移轉ヲ致シマスナラバ、法制ノヤウナモノヲ田舎ヘ持ツテ行クナラバ直チニ一萬二萬位ノ都會ニナリマス、衛生ニモ宜クテ落着イテ勉學ガ出來ル、誘惑モ少ク、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテモ、此ノ教育機關ノ都會集中ト云フコトハ其ノ弊害ノ極致デアル、文部大臣ハ之ヲ唯單ニ自テノ所管ノ問題トセズ、國策上ニ取上ゲテ之ヲ何トカ地方ニ分散スルコトヲヤウナ方法ヲ講ゼラレルトコトガ重大問題トシテ殘サレレドモハナイダラウカ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ承ルト同時ニ、ドウゾ今後私立大學ノ設立ヲアナナト所ニ認可ニ參リマシテ、田舎デナケレバ許可シナイト云フ程度ノ見識ヲ以テ臨シテ裁キタイト思フノデアリマスガ、之ニ對シマス意見ヲ御伺ヒシタ

○橋田國務大臣 只今學校都會集中ト云フコトニ付キマシテ、多々傾聴ニ値スル御話ヲ拜聴致シマシタ、洵ニ都會ニ學校ガ集中シテ居ルト云フコトニ依リシマテ、教育上ニモ甚ダ面白クナイ點ガ多クアリマスルコト御説ノ通りデアリマス、又日本ノ文化ハ廣ク普及スルト云フ問題ニ致シマシテモ、學校ガ唯都會ダケニ集マツテ居ルト云フ事柄ハ甚ダ面白クナイ、地方々々ニ立派ナ學校ガ澤山アルコトニ依ツテ、其ノ地方ガ其ノ文化ニ浴スルト云フヤウニ學校ト云フモノハアリタイモノダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ又一面ニ於キマシテハ學校ノ必要ト云フコト自體ガ教育ノ目的トシテ居ルモノデアハアリマスルケレドモ、教育サレテ者ガ實際活躍スルト云フ意味ニ於キマシテハ經濟産業、其ノ他トモ重要ナ關係ガアルモノデゴザイマス、其ノヤウナ施設ニ反映スルヤウニ學校ハ其ノ方面トノ聯繫ニ於テ場所ヲ決定スルト云フコトモ自ラアルノデアリマス、一面ニ於キマシテハサウ云フヤウナ方面ノ計畫、又モツト廣ク申シマスナラバ國土計畫ト相伴ツテ學校ノ設立ト云フヤウナコトハ計畫サレナケレバナラズト考ヘテ居ルノデゴザイマス、既ニ東京ニ於キマシテモ、大學自體ハ建物ノ關係等デ早急ニ移轉スルト云フ譯ニ參ラナイト存ジマスガ、豫科ナドニ於キマシテハ、新シク擴ガマス同時ニ、大抵ハ郊外ニ出テ居ルト云フヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、例ヘバ今追加豫算ニ依ツテ御協賛ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス東大ノ第二工學部ノ如キモノモ郊外ニ持ツテ參ル豫定デアリマス、其ノヤウナコトデアリマシテ、特別ノ事情ノアルモノハ是ハ別途ニ考慮シナケレバナリマセヌ

○橋田國務大臣 勤勞ヲ學生ノ修練ト云フコトノ重要目的トスルト云フコトハ、文部省ニ於キマシテ數年來其ノ方針ヲ進ンデ居ルノデアリマスガ、マダ十分徹底シテ居ルト申上ゲルマデハ參リマセスケレドモ、逐次其ノ方針ガ徹底スル方向ヘ進ミツツアルコトダケハ申上ゲテ置キマス、殊ニ夏休ニ滿洲、北支、中支、南支等ヘ學生ヲ勤勞報國隊トシテ派遣致シマシテ、或ル適當ナ場所ニ於キマシテハ餘程前線ニ近イ所、或ハ前線ノ後方勤務ト云フヤウナ點マデモ勤メサシテ貰ツテ居ルヤウナコトヲヤウテ居ルノデゴザイマス、是モ相當色々事情モアリマシテ、サウ思フ通りニハ參リマセスケレドモ、之ヲ順次擴充致シマシテ、實地ニ於ケル殊ニ大陸ニ於ケル實際ノ訓練ニ依ツ

○佐藤(洋)委員 前ノ第一次世界戦争ハ千九百十四年ニ起ツタノデアリマスガ、アノ當時ノコトヲ思ヒ出シマス、ドイツノ學生ガ六方戰線ニ出テ、勇敢ニ祖國ノ爲ニ戦ツタト云フコトヲ聞カサレテ居リマス、又「ドイツ」ニ於ケル所ノ「アルバイツ・ディンスト」即チ勤勞生活、學生ニ皆勤勞ヲヤラセル、此ノ徹底シタル所ノ流汗鑄鍊ノ氣持ヲモウ少シ專門學校、大學ノ生徒ニ植付ケナケレバナラズ、此ノ勤勞ガ根本トシテ、ソコデ是ハ突飛ナ案カモ知レマセマスガ、學生ヲ一週武裝サシテ戦線マデ連レテ行ツテ見ル、或ハ萬一ノ場合ニハ此ノ學生軍ヲ以テ第一線ニ起タセルト云フヤウナコトマデ考ヘテ居ラレカドウカ、私ハ陸軍大臣ガ居ラレバ此ノコトモ陸軍大臣ニ承リタイノデアリマスガ、斯ウ云フ學生ノ高度國防ノ觀念ノ問題ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ラレマスカ

○橋田國務大臣 只今學校都會集中ト云フコトニ付キマシテ、多々傾聴ニ値スル御話ヲ拜聴致シマシタ、洵ニ都會ニ學校ガ集中シテ居ルト云フコトニ依リシマテ、教育上ニモ甚ダ面白クナイ點ガ多クアリマスルコト御説ノ通りデアリマス、又日本ノ文化ハ廣ク普及スルト云フ問題ニ致シマシテモ、學校ガ唯都會ダケニ集マツテ居ルト云フ事柄ハ甚ダ面白クナイ、地方々々ニ立派ナ學校ガ澤山アルコトニ依ツテ、其ノ地方ガ其ノ文化ニ浴スルト云フヤウニ學校ト云フモノハアリタイモノダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ又一面ニ於キマシテハ學校ノ必要ト云フコト自體ガ教育ノ目的トシテ居ルモノデアハアリマスルケレドモ、教育サレテ者ガ實際活躍スルト云フ意味ニ於キマシテハ經濟産業、其ノ他トモ重要ナ關係ガアルモノデゴザイマス、其ノヤウナ施設ニ反映スルヤウニ學校ハ其ノ方面トノ聯繫ニ於テ場所ヲ決定スルト云フコトモ自ラアルノデアリマス、一面ニ於キマシテハサウ云フヤウナ方面ノ計畫、又モツト廣ク申シマスナラバ國土計畫ト相伴ツテ學校ノ設立ト云フヤウナコトハ計畫サレナケレバナラズト考ヘテ居ルノデゴザイマス、既ニ東京ニ於キマシテモ、大學自體ハ建物ノ關係等デ早急ニ移轉スルト云フ譯ニ參ラナイト存ジマスガ、豫科ナドニ於キマシテハ、新シク擴ガマス同時ニ、大抵ハ郊外ニ出テ居ルト云フヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、例ヘバ今追加豫算ニ依ツテ御協賛ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス東大ノ第二工學部ノ如キモノモ郊外ニ持ツテ參ル豫定デアリマス、其ノヤウナコトデアリマシテ、特別ノ事情ノアルモノハ是ハ別途ニ考慮シナケレバナリマセヌ

○橋田國務大臣 只今學校都會集中ト云フコトニ付キマシテ、多々傾聴ニ値スル御話ヲ拜聴致シマシタ、洵ニ都會ニ學校ガ集中シテ居ルト云フコトニ依リシマテ、教育上ニモ甚ダ面白クナイ點ガ多クアリマスルコト御説ノ通りデアリマス、又日本ノ文化ハ廣ク普及スルト云フ問題ニ致シマシテモ、學校ガ唯都會ダケニ集マツテ居ルト云フ事柄ハ甚ダ面白クナイ、地方々々ニ立派ナ學校ガ澤山アルコトニ依ツテ、其ノ地方ガ其ノ文化ニ浴スルト云フヤウニ學校ト云フモノハアリタイモノダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ又一面ニ於キマシテハ學校ノ必要ト云フコト自體ガ教育ノ目的トシテ居ルモノデアハアリマスルケレドモ、教育サレテ者ガ實際活躍スルト云フ意味ニ於キマシテハ經濟産業、其ノ他トモ重要ナ關係ガアルモノデゴザイマス、其ノヤウナ施設ニ反映スルヤウニ學校ハ其ノ方面トノ聯繫ニ於テ場所ヲ決定スルト云フコトモ自ラアルノデアリマス、一面ニ於キマシテハサウ云フヤウナ方面ノ計畫、又モツト廣ク申シマスナラバ國土計畫ト相伴ツテ學校ノ設立ト云フヤウナコトハ計畫サレナケレバナラズト考ヘテ居ルノデゴザイマス、既ニ東京ニ於キマシテモ、大學自體ハ建物ノ關係等デ早急ニ移轉スルト云フ譯ニ參ラナイト存ジマスガ、豫科ナドニ於キマシテハ、新シク擴ガマス同時ニ、大抵ハ郊外ニ出テ居ルト云フヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、例ヘバ今追加豫算ニ依ツテ御協賛ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス東大ノ第二工學部ノ如キモノモ郊外ニ持ツテ參ル豫定デアリマス、其ノヤウナコトデアリマシテ、特別ノ事情ノアルモノハ是ハ別途ニ考慮シナケレバナリマセヌ



ガ、少クトモ東京ノ真只中ニ大キナ學校ヲ新シク設立スルヤウナコトハ出來ルダケテ...

○佐藤洋委員 次ニ外務大臣ニ一御伺ヒ致シタト思ヒマス、野村大使が去ル六日...

○松岡國務大臣 御説ハ頗ル御同感デアツテ、既ニ委員ハ皆任命サレマシテ出來ル...

混合專門委員會ハ遲滞ナク開催セラルベキモ...

○松岡國務大臣 御説ハ頗ル御同感デアツテ、既ニ委員ハ皆任命サレマシテ出來ル...

○堀内委員 文部大臣ニ御伺ヒ致シマス、文部省ニ於キマシテハ昨年末カラ佛教新體...

佐藤君ノ御意見ノ通りニ非常ニ重キヲ置...

○松岡國務大臣 御答ヘ致シマス、宗教ノ各派ノ統合ト云フコトニ付キマシテハ、文部省ニ於キマシテ各宗派ノ代表ト云フベキ...

○堀内委員 只今御話ノヤウニ強制的ニヤ...

會ト云フ民間ニアルノハ、ソレハ固ヨリ...

○佐藤(洋)委員 日本ハ新ナル事態ニ入...

○堀内委員 只今申上ゲマシタ通り...

タヤウニ行クベキ道ハ決マツテ居ル、東亞...

○堀内委員 文部大臣ニ御伺ヒ致シマス、文部省ニ於キマシテハ昨年末カラ佛教新體...

○堀内委員 只今御話ノヤウニ強制的ニヤ...

○堀内委員 只今申上ゲマシタ通り...



デアリマス、斯ウ云フ際ニ佛敎ニ從事シテ居リマス所ノ僧侶ノ數ハ、大體十六萬人ト云フヤウナ多數デアルノデアリマス、是等ノモノハ平素ノ自分ノ職務上カラ考ヘマシテモ、思想問題ノ解決ニ猛進シ、活動シナケレバナラヌコト思フノデアリマス、所ガ色々ト團體行動ヲシテ居ル所モアリマス、サウ云フ活動モシテ居ル所モアルヤウデアリマスケレドモ、洵ニドウモ遅々トシテ振ハナイ、近來却テ各宗各派ノ合同等ニ大イニ奔走シテ、是ハ中々ヤウテ居ルヤウデアリマスガ、モウ一步進ンデ、思想問題ノ善導ト云フヤウナコトニ十六万ノ僧侶ヲ御指導ニナツテ、大イニ此ノ際時局ノ解決ニ活躍セシムベキデアリマス、其ノ解決ノ方アリマスガ、文部省ニ於カレマシテハ、是等ノ問題ニ對シマシテドウ云フ御方針ヲ御執リニナツテ居ルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○櫻田國務大臣 只今文部省ノ方デ勸誘指導シテ居リマス、統合問題モ實ハ宗教、殊ニ佛敎其ノ他モ當然デアリマスガ、宗教家トシテノ活躍ヲ十分ナラシメテ云フ企圖ノ下ニ行ツテ居ル状態デアリマシテ、多數ノ僧侶ガ我ガ國傳統ノ中ニ生キナガラ思想的ニ甚ダ無力デアルト云フコトハ、國家ノ上カラ見マシテモ、又僧侶自體カラ見マシテモ、甚ダ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマシテ、適當ニ統合ニ依ツテ全體ノ運動ト云フモノガ幾ラカデモヤリ易クナルヤウナ機會ヲ産ミマシタラバ敎學刷新ノ一助トシテ、大イナル活躍ヲシテ貰フヤウニ十分善處致シタイト思ツテ居ル次第デアリマス

シテ出征兵士ノ家族ヲ扶助サレテ居ル、其ノ扶助シマス所ノ給與額ガ、例ヘバ東京初メ六大都市ハ一人前六十錢トカ、或ハソレニ準ズル所ハ四十錢、三十錢トカ云フ風ニ三段位ニ等差ガ付イテ居ルヤウデアリマス、此ノ一人當リノ等差ヲ各地方ニ依ツテ付ケマスコレドモ、例ヘバ東京ニ於キマシテ一人前六十錢ト云フ給與額ハ、マシ場合ニ、ソレガ二人ニナレバ、其ノ次ノ人ハ五十錢、三人目ニハ四十錢ト、ソレハモウト大キナ割合ニナツテ居リマスガ、是ガ五人、六人トナリマス、其ノ五人目、六人目ノ人ハ、六人目アタリハ僅カニ一月一圓ト云フヤウニナツテ居リマスガ、サウ云フヤウニ、家族ガ多クナレバ其ノ金額ハ段々ニ減ツテ來ル、是ガ家賃ノヤウナモノデアリマシタラバ、一人デモ相當ノ所ニ入ラナケレバナラヌガ、人數ガ殖エバ幾カラ減ラシテモ生活出來ナイコトハナイノデアリマセウカ、是ハ食物ヲ食ヘル生活費デアリマセウカ、例ヘバ一日ノ米ハ何食ベルコト云フコトデ、却テ子供トハ大人ヨリモ餘計食フ場合モアル、之ヲ段々按分比トデモ申シマスガ、二人、三人ニナレバ段々減ルト云フ譯デ、結局多數家族ヲ持つテ居ル者ハ一人當リノ金額ガ非常ニ少クナリ、到底諸物價騰貴ノ折柄生活出來ナイ、元來此ノ軍事扶助法ガ先年審議サレマス時ニハ、六大都市及ビ各地方ノ狀況ニ依ツテハ、給與額ガ幾分一人當リガ違フカモ知レヌト云フ御説明デモアリ、又吾々其ノ積リテ審議ヲシタイト思ツテ居ルノデアリマス、人數ガ多クナレバ多クナル程度ニ金ガ減ルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラナカツタ、然ル

ニ愈、是ガ事變後實行サレルコトニナリマシテ、只今申シマシタヤウナ割合ヲ以テ給與スルコトニナツタノデアリマスガ、其ノ當時カラ吾々ハ是ハドウモ不公平デアルト云フコトヲ屢々陳情シタコトモアツタノデアリマスガ、今以テソレハ御改正ニナラス、諸物價ガ低下シテ生活費ニナルヤウナ時ニハ左程影響ハナイノデアリマスガ、段々物價騰貴ヲ致シマシテ、生活ノ苦痛ハ日ニ日ニ強マツテ來テ居ル、到底是デハ生活出來ナイ者ガ多クアル、之ニ對シマシテ結局一人當リ六十錢ナラバ、東京ニ居ル家族ハヤハリ幾人アツテモ一人前六十錢ト云フヤウニ御決メニナルノガ適當ラウト思フ、又近來厚生省ニ於カレマシテモ多産主義ヲ採ルトカ云ツテ、産メヨ殖ヤセヨト言フ御獎勵ニナツテ居ルヤウデアリマス、人ヲ増セバ却テ今ノヤウニ給與十分ニ賈ヘナイト云フヤウナコトハ、是ハ多産主義ノ障礙ニモナルノデアリマス、殊ニ出征シテ戰地デ命ヲ懸ケテ戰ツテ居ル兵士ガ、銃後ノ家族ノ生活ガ安定シナイト云フコトアレバ、自ら勇氣モ沮ルニシテ考ヘテハ、自ラ勇氣モ沮ルニシテ考ヘテハ、一人當リノ割合ヲ以テ、運減セザル所ノ一人前ノ金額ヲ與ヘルト云フコトガ適當デアラウト思ヒマス、是ハ全體ニ對シテサウ大シタ金デモナイヤウニ考ヘルノデアリマセウカ、一ツ御改正ノ英斷ヲ望ムノデアリマセウカ、厚生大臣ハサウ云フ御決意ヲ持つテ居ラレカドウカ、如何デスカ

○金光國務大臣 堀内君ノ御答ヘ申上ゲマス、軍事扶助法ニ依リ所ノ扶助費ハ家族數ノ増加ニ伴ヒマシテ遞減スルコトニナツテ居リマス、御説ノ通りデア

キマス  
今一點厚生大臣ニ伺ヒマスガ、昨年ノ夏頃デアリマスカ、職業部ガ厚生省ノ御管轄ニナリマシテ、各地方ニ職業課ト云フモノガ置カレタ、所ガ是ハ學務部ニ置イテアル、ドウシテ學務部ニ職業課ガ置イテアルカト云フコトヲ聽イテ見マス、學務部ニモト社會課ト云フモノガアツタ、其ノ社會課ガナツテ職業課トナツタト云フヤウニ聽イテ居ルノデアリマス、先般來此ノ席ニ於キマシテモ、轉失業問題ニ付テ盛ニ質疑應答ガ重ネラレタノデアリマス、又吾々各地方ヲ廻ツテ見マシテモ、是ハ縣廳アタリデモ色々ト意見ガアルヤウデアリマス、此ノ職業課ト云フモノハ、ドウシテモ經濟部ニ附屬セシメナケレバ便宜ノ措置ハ執レナイ、經濟部ニ於テ一般經濟上ノ施設ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、ヤハリ轉失業ノ問題ハ、經濟部ノ色々ノヤリ方ノ結果ニ於テ現ハレテ來ル場合ガ多ク、隨テ之ヲ救済スル上ニ於キマシテモ、ヤハリ經濟部ニ於テ其ノコトヲ考ヘナガラ、經濟部ノ機構ヲ運用シテ行クコトニナレバ、非常ニ其ノ間ノ連絡ガ旨ク取レルノデアリマス、所ガマルデ學務部ト經濟部ト別箇ノモノニナツテ居リマシテ、職業ノ方ヲ世話スルモノハ學務部ニアルト云フヤウナコトデ、非常ニ不便ノヤウニ聽イテ居リマス、斯様ナモノハ此ノ時局柄ヤハリ經濟部ニ屬スルヤウニナツタ方ガ轉失業ノ救済モ便宜ニナルシ、又職業課トシテノ性質カラ考ヘマシテモ、學務部デ職業ノ世話ヲスルト云フヤウナコトハ一寸ドウモ縁ガ遠イヤウニ思フ、是ハ一ツ早速御變ヘニナツテ、各府縣廳ノ職業課ヲ學務部ヨリ離シテ、經濟

部ニ御付ケニナツタ方宜カラウト思ヒマス、厚生大臣ニ御一考ナサレ御意思ガアリマセウカ、大體是等ノコトハ役所ノ方ニモ御報告ニナツテ御承知ノコトト思フノデアリマスガ、一應御伺ヒ致シテ置キマス

○金光國務大臣 地方廳ニ於ケル職業課ノ所屬ノ部ニ付キマシテハ、職業行政ノ沿革、業務ノ關聯性及ビ各部ノ事務ノ分量等ノ關係ヲ考慮致シマシテ、現在學務部ニ屬セシメテ居ルノデアリマシテ、既ニ四年ヲ經過致シテ居リマス、職業課ノ所管事務ハ御話ノ通り經濟部ニ關係スルコトガ少クナイノデアリマシテ、現ニ職業對策等ニ付キマシテハ職業轉換協議會ヲ設ケマシテ經濟部ト密接ニ連絡ノ下ニ處理致シテ居ルノデアリマスガ、今直チニ之ヲ經濟部ニ移スト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ考究ヲ要スル點ガアリマス、ミナラズ、地方廳ノ機構全體ニモ關係スルコトデアリマス、此ノ點ニ付テモ御意見ノ點ヲ參考トシテ今後十分研究致シテ見タイト存ジマス、左様御承知ヲ願ヒマス

ト云フヤウナコトヲ申シテ居ル、サウ云フ譯デアアルカドウカ知リマセウカ、ドウモ學務部ニ職業課ガアルノハ一向理由ヲナサナイ、能ク役所ニハ只今申上ゲタヤウナコトガ無キニシモアラズデアリマシテ、中々役所ノ機構ノ改革ハ民間ノ會社ノヤウニ簡單ニ行カナイ、行カナイノデアリマス、簡單ニヤラナイ、良イト思ツタラ直グヤラレタラ宜イト思フノデアリマスガ、色々ト厚生大臣ハ役所ノ御決裁、其ノ他ニ付キマシテ非常ニ便利ナ方法ヲ御指示ニナツテ改善ニ鋭意努力サレテ居ルヤウデアリマス、中心其ノ他只今ノ御意向ニ依リマシテモ、心中其ノ他ヲ能ク御諒解ニナツテ居ルヤウデアリマス、ドウゾ一日モ早ク御英斷ヲ以テ御實行下サレコトヲ希望致シテ置キマス、厚生大臣ニ對スル質問ハ是デ打切りマス

○堀内委員 一言大臣ニ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、今回經濟新體制等ノ要綱モ御發表ニナリマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ行政機構ノ不統一ノモノヲ統一スルコト云フヤウナ御方針ヲ御發表ニナツテ居ル譯デアリマス、色々今日マデノ困難モアルデアリマセウカ、中ニハ斯様ナコトヲ言フテ居ル、是ハ地方ノ縣廳アタリノ人ノ説デアリマスガ、學務部ト云フモノハドウモ仕事ガ少クテ困ルノダカラ、是カラ職業課ヲ取ツテシマフ、如何ニモ學務部ノ仕事ガ少クナツテシマフ、ダカラコトナモノデモ入レテ置カスト、學務部ガ一ツノ部ヲ成サナクナル

○堀内委員 一言大臣ニ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、今回經濟新體制等ノ要綱モ御發表ニナリマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ行政機構ノ不統一ノモノヲ統一スルコト云フヤウナ御方針ヲ御發表ニナツテ居ル譯デアリマス、色々今日マデノ困難モアルデアリマセウカ、中ニハ斯様ナコトヲ言フテ居ル、是ハ地方ノ縣廳アタリノ人ノ説デアリマスガ、學務部ト云フモノハドウモ仕事ガ少クテ困ルノダカラ、是カラ職業課ヲ取ツテシマフ、如何ニモ學務部ノ仕事ガ少クナツテシマフ、ダカラコトナモノデモ入レテ置カスト、學務部ガ一ツノ部ヲ成サナクナル

○中山委員 私人十分間程厚生大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、近來政府ハ總テノ點ニ於テ指導的ナ立場ヲ執ツテ居ラレタル譯デアリマス、隨テ事業經營者竝ニ從業員ノ關係ニ於キマシテモ、指導精神、或ハ勤勞精神、或ハ勞資一體ノ原理ト云ツタヤウナ色々御意見ヲ御發表ニナツテ、私共屢々新聞雜誌等ニ依ツテソレヲ拜見シテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ヲ普及徹底セシムル方法ニ付テ何等カノ具體的方策ヲ講ジテ居ラレラレトデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、此ノ點先ツ一點承ツテ置キタイト思ヒマス

○中山委員 厚生大臣ノ仰セラレマシタ通り、私產業報國會ノ出來タノハ能ク知ツテ居リマス、併シナガラ唯骨ダケ並バテ、丁度上野ノ博物館ノ「ミイラ」ヲ見ルヤウナ感じヲ與ヘラレテハ困ルノデアリマス、産業報告會ノコトハ能ク存ジテ居リマスガ、ドウカ早く肉ヲ付ケテ戴イテ、實際的ノ運動ニ入ツテ戴キタイ、此ノ事ヲ御願ヒシテ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

○中山委員 厚生大臣ノ仰セラレマシタ通り、私產業報國會ノ出來タノハ能ク知ツテ居リマス、併シナガラ唯骨ダケ並バテ、丁度上野ノ博物館ノ「ミイラ」ヲ見ルヤウナ感じヲ與ヘラレテハ困ルノデアリマス、産業報告會ノコトハ能ク存ジテ居リマスガ、ドウカ早く肉ヲ付ケテ戴イテ、實際的ノ運動ニ入ツテ戴キタイ、此ノ事ヲ御願ヒシテ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

○中山委員 私人十分間程厚生大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、近來政府ハ總テノ點ニ於テ指導的ナ立場ヲ執ツテ居ラレタル譯デアリマス、隨テ事業經營者竝ニ從業員ノ關係ニ於キマシテモ、指導精神、或ハ勤勞精神、或ハ勞資一體ノ原理ト云ツタヤウナ色々御意見ヲ御發表ニナツテ、私共屢々新聞雜誌等ニ依ツテソレヲ拜見シテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ヲ普及徹底セシムル方法ニ付テ何等カノ具體的方策ヲ講ジテ居ラレラレトデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、此ノ點先ツ一點承ツテ置キタイト思ヒマス

○中山委員 私人十分間程厚生大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、近來政府ハ總テノ點ニ於テ指導的ナ立場ヲ執ツテ居ラレタル譯デアリマス、隨テ事業經營者竝ニ從業員ノ關係ニ於キマシテモ、指導精神、或ハ勤勞精神、或ハ勞資一體ノ原理ト云ツタヤウナ色々御意見ヲ御發表ニナツテ、私共屢々新聞雜誌等ニ依ツテソレヲ拜見シテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ヲ普及徹底セシムル方法ニ付テ何等カノ具體的方策ヲ講ジテ居ラレラレトデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、此ノ點先ツ一點承ツテ置キタイト思ヒマス

○中山委員 私人十分間程厚生大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、近來政府ハ總テノ點ニ於テ指導的ナ立場ヲ執ツテ居ラレタル譯デアリマス、隨テ事業經營者竝ニ從業員ノ關係ニ於キマシテモ、指導精神、或ハ勤勞精神、或ハ勞資一體ノ原理ト云ツタヤウナ色々御意見ヲ御發表ニナツテ、私共屢々新聞雜誌等ニ依ツテソレヲ拜見シテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ヲ普及徹底セシムル方法ニ付テ何等カノ具體的方策ヲ講ジテ居ラレラレトデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、此ノ點先ツ一點承ツテ置キタイト思ヒマス







イヤウニ願ヒタイノデアリマス  
 其ノ次ニ御伺ヒシタイノハ、英國ノ「ロンドン」ニ根據ヲ構ヘテ居リマス。「ド・ゴール」政權、此ノ「ド・ゴール」政權麾下ニ入ツタ所ノ「アフリカ」ノ植民地デス、是マデ「ヴィシー」政府ニ歸屬シテ居ツタモノガ「ド・ゴール」政權ニ歸屬シテ居ツタモノガ「ド・ゴール」政權ニ歸屬シタモノガアル、今日日本ノ「アフリカ」沿岸貿易ノ關係デ、此ノ「ド・ゴール」政權麾下ノ所謂統治部分ニ於テ外交問題ガ起ツタ際ニハ日本ノ外務省トシテハ「ヴィシー」政府ヲ相手トシテ折衝ヲヤラレルノカ、或ハ實質上ノ權力關係ヲ持ツテ居ル「ド・ゴール」政權ヲ相手トシテ外交交渉ヲヤラレルノカ、若シ夫レ「ヴィシー」政府ヲ相手トシテ外交交渉ヲセラレタ所デ其ノ結果ガ事實行ハレナイト云フコトニナルノ「ド・ゴール」政權ニ返シテ「ド・ゴール」政權ヲ相手トシテ外交交渉ヲセラレラナラバ、法律上ノ效果ガナインノデアリマス、斯ウ云フ疑ヒヲ私共ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ對スル外務大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○松岡國務大臣 只今ノ所帝國政府トシテハ「ド・ゴール」政權ト云フモノヲ認メテ居リマス、認メテ居ルモノハ「ヴィシー」政府ダケデアリマス、荷クモ「フランス」ノ勢力下ニテ問題ニ付テハ只今ノ所「ヴィシー」政府ト事ガ起リマシタナラバ、交渉スル以外ニ手段ガナインデアリマスケレドモ、將來又此ノ「ド・ゴール」政權ノ發展ノ程度如何ニ依リ、又中山君ガ指摘サレマシタヤウニ、實際問題トシテハ「ヴィシー」トヤウテモ仕方ガナイント云フ時ニハ、是ハ能ク外交上アルコトデアリマスガ、事實上ノ問題トシテ「ド・ゴール」政府ガ或ル程度

マデト交渉スルニ足リ、又是ト交渉セザルヲ得ナイ程度マデノモノニナレバ又交渉スルコトモ出來ララウト考ヘテ居リマス

○中山委員 其ノ點ハ法律ト事實ノ問題トシテ、是ハ重大ナ影響ヲ將來ニモ及ボスモデアリ、先例ヲ殘スコトニナルノデアリマスカラ、御研究ヲ賜ハリタイノデアリマス

其ノ次ニハ外務省ニ私ハ御願ヒシテ見タイト云フ事柄デアリマスガ、先般「ラヴァ」ガ「ヴィシー」政府カラ引退セシメラレタ、其ノ關係上非常ニ獨佛ノ關係ガウルサクナツテ居ル、所デ只今「ボルトガル」首相トカ或ハ「フランコ」將軍トカ「ローマ」法王トカガ奔走シテ此ノ間ヲ何トカ斡旋シタイト努力シテ居ルヤウデアリマスケレドモ、一向效果ガナイント見エス、私ノ聞イテ居リマスル所デハ、内ニ入ツテ居ル人間ニハ「普ノ普ノ」ト云フ、外ニ入ツテ居ル人間ニハ「エル、ダカラ」是ダケ日本ハ歐洲カラ離レテ居リマスカラ、向フ「普ノ普ノ」日本ニ於テハ非常ニ能ク聞エス、其ノ點ヲ最モ能ク御聞キニナツテ居ル外務大臣ハ、此ノ際一役買ツテ、獨佛ノ紛争調停ノ立役者ニナツテ戴クト云フヤウニ思召ハゴザイマセヌデセウカ、承ツテ置キタイ

○松岡國務大臣 其ノ點モ亦中山君ト同意デアリマス、時ニ門外漢——直接コソカラカツテ居ラナイ有力者ガ調停ニ立ツ方ガ却テ效果ニナル場合ガアルト私モ考ヘマス、サウ云フヤウナ考ヘテ注視ハ怠ツテハ居リマセス、但シ一役買フニ致シマシテモ、極秘裡ニ買フカモ知ラマセス、相成バタハ斯ウ云フ問題ニ付テハ餘リ表面立ツテヤラス

方ガ宜イト私ハ考ヘル、又表面立ツコトガ必要ナ場合モアリマセウ、其ノ時ニハ表面立ツテヤラスコトモアリマセウガ、大體ノ方針ハ隱密ノ内ニ兩者ノ斡旋ヲナシ得ル場合モアリ、又其ノ方ガ却テ便宜デアル場合モアリマシテ、此ノ點ニ付テモ相當考慮ハ致シテ居リマス

○中山委員 其ノ次ニ御尋致シタイト思フハ本月ノ一日「メキシコ」ノ「グワイマス」發ノ電報ニ依リテ、「メキシコ」ノ西海岸ニ於ケル日本ノ漁業者ガ其ノ免許更新ト云フモノヲ禁ゼラレツアルヤウナ風ニ聞イテ居ルノデアリマスガ、是ハ外務省ニ於テ既ニ受信ヲサレマシタカ、又受信サレテ居ルト致シタナラバ、其ノ點ニドウ云フ風ナ御處置ヲ御執リニナツタカ、承ツテ置キタイ

○松岡國務大臣 私ハ詳シクハ知りマセヌガ、大體ハ知ツテ居リマス、若シ私ノ答辯ニ満足デアラナラバ、政府委員カラ答辯サセマスガ、私ノ知ツテ居ル所デ御答ヘ可ラシナイノデアリマス、所ガサウ云フコトハヨク前ニモアルコトデアリマス、漁期ノ際ニナツテ折合ヲ付ケテ、サウシテ漁業ニ從事シタ場合モ從前アツタ、ソレハ主ニ何處カラ來テ居ルカト申シマス、御承知ノヤウニ是ハ我が國ノ需要スル海老デアリマス、海老ノ値段ノ問題ガ餘程關係シテ居ル、サウシテ「メキシコ」政府カラ言フト、漁業者ガ大變ナ金額ヲ始終シテ居ル、其ノ割合ニ政府ニ納メ物ヲセスト云フヤウナ見方ヲ從前カラシテ居ルノデアリマス、此ノ問題ヲ總ツテ時々問着ガ起ル、私ノ聞キ及ンデ居ル所ニ依リマス、本年ハ海老ノ値段ガ半分ニ下ツタ、統制ノ關係デセウ、

ソコデ「メキシコ」政府ニモマダ許可說得ニ出マセスケレドモ、我が當業者モマダ積極ニ許可サスヤウニ工作ニ掛ツテ居ラス、ソレハ今年ハ獲ツテモ、モウ半分値段デハ引合ハヌダラウト云フ懸念ヲ以テ、從來ノヤウニ積極的ニ工作ニ掛ツテ居ラス、斯ウ私ハ承知シテ居ル

○中山委員 其ノ次ニ御尋致シマスガ、是ハ二月一日「ロンドン」發ノ電報ニ依ルモノデアリマス、「ロンドン」ニアリマス所ノ「オランダ」ノ政府ガ駐日「オランダ」公使ノ「バプスト」ニ電報ヲヤツテ、アナタノ一月二十一日ノ演說ノ中ニ、東亞共榮圈ノ確立、或ハ新秩序ノ設定ト云フヤウナ問題ハ、如何様ナ文句ガアラウトモ「オランダ」ノ政府並ニ蘭印ノ政府ト云フモノハ其ノ指導ノ下ニ於テ、東亞共榮圈ニ入ルコトハ御免蒙ルト云フコトヲ外務省ニ言ハシタト云フコトデゴザイマス、ソノ事實ガアツタノデセウカ、ナカウツノデセウカ、又アリトスレバ、此ノ二月一日「ロンドン」發ノ電報ト同ジヤウナ——東亞共榮圈内ニアル蘭印以外ノ他ノ國ガ、アナタノ指導ノ下ニ入ルコトハ御免蒙ル、東亞共榮圈ニ入ルコトハ眞ツ平ダト云フヤウナ態度ヲ同ジヤウニ執ツテ來タ場合ニ於テハ、ドウ云フヤウナ氣持デ以テ、ソレ等ノ事柄ヲ言明シタ國ニ對シテ對處セラレリデアルカ、之ヲ豫メ承ツテ置キタイ

○松岡國務大臣 今中山君ノ言及サレマシタヤウナ態度ヲ「オランダ」側デ執ツテ居ル、殊ニ蘭印側デ執ツテ居ルコトハ今度ニ始マツタコトデアリナイノデアリマス、之ニ對シマシテハ、過般此ノ席上私ガ答辯中ニ申シマシタヤウナ考ヘ、態度デ接シテ居

ルノデ、ソレハ指導權ナドト、日本人ハ何何權ト云フコトヲヨク言フ辭ガアリマス、ソレデ吾々モ指導權ト言ヒマスケレドモ、國際問題ニソノ權利ガ法理上存シテ居ル譯ハナイ、此ノ間申シマシタヤウニ指導權ト云フト耳觸リニナリマスガ、指導スルノ「度」モオモ五ニ繰返サヤウニ、八紘一宇ノ精神デ大東亞圈ヲ指導スル決心ヲ持ツテ居ル、否ソレヲ延長シテ言ヘバ、世界ヲ指導スル大理想ヲ吾々ハ持ツテ居ルノダ、斯ウ云フ言ヒ方ナリ、考ヘ方デ對シテ行ク、其ノ反面ヲ申シマス「アメリカ」デアラウガ「イギリス」デアラウガ「ドウカ」デアラウガ「フランス」人モ、自分ガ大東亞圈ナリ、世界ヲ吾々ト同ジヤウナ大理想デ指導スル資格アリト考ヘルナラバ、彼等ガ之ヲ主張シタカラト云ツテ、是ハ勝手デアツテ、何モノレヲ禁ズルト云フコトハナイ、結局ハ其ノコトヲ主張スル國民ナリ、民族ナリノ能力及ビ資格ノ問題デアリ、吾々大和民族ハ其ノ能力アリ資格アリ、二千六百年一ツノ傳統トシテ承繼イデ居ル、是カラ大和民族ノ言ツテ居ルコトガ本當ニ大和民族ノ外仕方ガ實現サレルカ、是ハ事實ニ徴スル外仕方ガナイ、私ハ斯様ニ考ヘテ居ル、之ヲ認メヌト仰シヤル方ガアルナラバ、ソレハ勝手デアアル、ケレドモ吾々ハ之ヲ實行シテ行クノダ、斯ウ云フ建前デ始終對應シテ居ルノデアリマス、ソレカラ中山君ノ特ニ指摘サレタコトハ多分、私ノ記憶デハ、先月三十日ニ日本ニ駐在シテ居ル「バプスト」公使ガ、外務次官ヲ訪ネテ來テ言ツタコトグラウト思フ、ソレハ主要點ヲ何處ニ置イテ居ツタカト云ヘバ、一體日本ハ「ロンドン」ニ在ル「オランダ」政府ヲ認メテ居ルノカ、居ラス

ノカト云フ質問デアリマス、ソレニ對シテハ大橋外務次官ハ、現ニ君ヲ斯ウヤウテ接見シテ居ルチヤナイカ、認メテ居ラスモノナラ其ノ國ノ公使ヲ接見スル譯ガナイ、認メテ居ルノチヤナイカ、ソレハ何ノ意味スルカト云フ極ク柔カイ問答デ、先方モ諒承シテ簡單ニ引取ツタノデアリマス

○中山委員 大變能ク分リマシタ、其ノ次ニ御尋致シタイト思ヒマス、此ノ日獨逸ノ軍事協定ト云フモノハ、大體カラ申シマス、思想的ニ言ヘバ、是ハ「アングロ」ロサクソン」ニ對スル思想的挑戰デアリマス、私共世界第一次戰ヲ結束ヲ付ケタ「ヴェルサイユ」條約ニ於テ、「アメリカ」大統領「ウィルソン」ガヤウテ參リマシテ、日本ノ人種平等案ト云フモノヲ否決シタト云フコトヲ知ツテ居リマス、今日日獨逸ノ關係カラ言ヘバ、今ノ中ニ人種平等ト云フコトヲ、此ノ日獨逸三國間ニ於テモ協定シテ置カレルコトガ將來ノ立場上、外交交渉ノ上ニ良イ結果ヲ齎スノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデスガ、如何ナモノデスカナ

○松岡國務大臣 私ハ「アングロ」ロサクソン」ノミナラス、何人種ニ對シテモ挑戰シタトハ思ツテ居ラス、唯併シ吾々ノ信スル八紘一宇ノ精神ヲ、初メ明カニシテ、偶々其ノ八紘一宇ノ、吾々ノ精神ト相容レヌ國ガアルナラバ、ソレハ「ドウカ」モ仕方ガナイ、彼等ハ挑戰シタト云フガ、コナラハサウ考ヘナイ、挑戰サレタト考ヘレバソレハ勝手デアリマセウ

ソレカラ之ニ引續イテ人種平等ト云フコトニ付テノ御説ガアリマシタガ、私モ頗ル同感デアリマシテ、徹頭徹尾我が日本ハ總テ

ノ人種ヲ平等ニ扱フノデアリマス、其ノ間ニ聊カノ差別觀モ持ツテハナラズ、是ガ私ハ又實ニ八紘一宇ノ理念ノ重要ナル一部デアルト思フ、ソレニ付テハ普段カラ思フノデアリマスガ、吾々自ラ先ツ人種的偏見ヲ持ツテ居ルナラバ取除イテ、籠ヲ垂レナケレバナラズトサヘ思ツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ日獨逸ノ間ニ、サウ云フコトヲ此ノ際持出シテ決メルカドウカ、私ハ今決メル考ヘハナイ、ソレハドウ云フコトカト申シマス、ソレハモウ無論ノコトカト云フ前提デ、アノ條約文ノ前文ニ八紘一宇ノ主義ヲ歐米人ニ理解スルコトガ出來ルヤウナ言ヒ表ハシ方デ記載シタ、ソレカラ更ニ例ヘバ世界改造ノ、又新秩序建設ノ世界的代替期ガ起リマシタナラバ、サウ云フ際ニハ私ハ「ヴェルサイユ」講和會議ニ於テ、日本ガ執リマシタ態度ヲ繼續シマシテ、モウ一段ノ眞劍ヲ持ツテ人種平等ト云フ主義及ビ觀念ニ向ツテ闘フベキデアルト存ジテ居ルノデアリマス

○中山委員 御善處ヲ御願ヒシマシテ、次ノ質問ニ移リマス、昭和十四年ノ一月ニ「チタ」ニ於キマシテハ「コミンテルン」ノ極東緊急會議ガ開カレテ居リマス、其ノ場合ニ採擇シタ事項ガ四ツアル、第一ハ重慶政府ニ對スル要請、第二ハ中國共産黨ニ對スル指令、第三ハ外蒙共和國ニ對スル指令、第四ハ極東軍ニ對スル建議ト云フコトニナツテ居リマス、而シテ此ノ「コミンテルン」ノ指令、要請建議ト云フモノハ、或ハ五月作戦トナリ、或ハ八月作戦トナリ、或ハ「モンハン」ノ事件トナリ、或ハ五原作戦ト云フヤウナ色々ナ問題ヲ惹起シテ居ルノデアリマス、而モ此ノ「コミンテルン」ト云フ

ハ、國際組織ヲ持ツテ居リ、國際組織ノ使デ「ロシヤ」ノ統治下ニアル、サウシテ色々ナ、斯ウ云フ風ナ要請、建議、指令ト云フヤウナモノヲヤツテ、我が國ニ對シテ相當ノ影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、是等ノ影響ニ付テ外交交渉ヲナサル場合ニ於テハ「ロシヤ」ノ政府ヲ相手取ツテオヤリニナルノデスカ、或ハ是マデ如何ナル態度ヲ御執リニナツテ居ツタノデスカ、此ノ點ヲハツキリ伺ツテ置キマス、「コミンテルン」ノ本據ハ向フノ統治下ニアル、サウシテ是ハ國際組織ガカラ俺ハ知ラズト述ゲテ居ルト云フヤウナ按梅デアアル、是非非常ナ重大ナ問題ダト思ヒマス、特ニ外務大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイ

○松岡國務大臣 先日モ此ノ席デ御答ヘシタコトガアリマスガ、我が政府ハ、共產主義ナリ又之ヲ世界的ニ遂行セントシテ居ル「コミンテルン」ナリヲ以テ、直チニ「ソ」聯政府トハ認メテ居ラスノデアリマス、其ノ間ニ一線ヲ引イテ居ルノデアリマス、ソレヲ大體基準トシテ、今御指摘ニナツタヤウナ事柄ニ對シテ居ルノデアリマスガ、併シ又中山君ガ御指摘ニナツタヤウニ事實「コミンテルン」ノ本據ハ「ソ」聯統治下ニアルノデアリマス、斯ウ云フ事實問題ヲ見マシテ、其ノ時々ノ事情ニ依ツテ適當ナル處置ヲ執ツテ居リマス、又執ラウト考ヘテ居リマス、過去ニ於キマシテモ、私ノ記憶デハ極カ第七回ノ「コミンテルン」ノ決議、其ノ他何デアツタカ記憶シテ居リマセウガ、昭和九年、續イテ昭和十年ニ「ソ」聯政府ニ抗議ヲシテ居リマス、其ノ效果ニ付テハ是ハ別問題デアリマスガ、兎モ角モ斯ウ云フ事柄ニ付テ、過去ニ於テモ少クトモ私ノ記



憶ノ中ニ二回モソノ聯政府ニ抗議シタコトハ事實デアリマス

○中山委員 モウ二點外務大臣ニ御伺ヒ致シマス、海外ニ賣出スト云ツテハ語弊ガアリマスガ、各大公使館ニ於テ日本ノ書籍ヲ上カ下マデ、約二萬圓位毎年買込シテ居ルコト云フ時ガアル、小學校以上ノ書物ヲ手當リ次第如何ナル種類ノモノデモ一切合計調べ上ゲテ、サウシテ色々ナ調査ヲヤツテ居ルサウデスガ、外務省ニ於テ斯ウ云フ書籍ガ向フニ渡ツテ、色々撰リ食ヒサレタ結果ト云フモノガ、我が對外關係ニ大影響ヲ與ヘルト考ヘテ居リマスガ、外人ニ對スル書籍販賣制限方法ト云フヤウナコトニ付テ政府ハ相當考慮セラレテハドウカト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスガ

○松岡國務大臣 私ハ實ハ其ノコトニ付テ知識ガアリマセソデ、今政府委員ニ聽イテ見タノデスガ、併シ今ノ御注意ハ有難ウゴザイマス、參考ニシテ一ツ私モ勉強シテ見マス

○中山委員 今朝ノ新聞デ見マス、佛印ノ「マレー」半島ノ中部ニアル「ケラントン」、私ガ此ノ間申シマシタ「ケラントン」ト「ピルマ」ノ國境ニ英國ノ大兵團ガ集結サレテ「シヤム」ニ對シテ恫喝ノヲ壓迫ガ加ヘテ居ルト云フコトデアリマシテ、是ハ東京ノ對佛印關係ヲ牽制スル意味モアルダラウト思ヒマスガ、ロンドンノ「只今ノ新聞ノ論調、或ハ「ワシントン」ノ新聞ノ論調、或ハ歐洲ニ於ケル戰時臨時閣議ニ英「ボバム」極東軍司令官ガ參列シタコト等、色々考慮シテ見マス、非常ニ外交的ニ英國ガ攻勢ヲ執ツテ來タ、此ノ英國ノ態度ト云フモノハ中々

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

食ヘスヤウナ氣持ガスルノデス、外務大臣ハ當分ノヲ默認シテ經過ヲ見テ、此ノ佛印竝ニ「タイ」間ノ調停役トシテノ立場ヲ御執リニ積リテアリマセウカ、如何ナモノデアリマスガ、是ガ最後ニ外務大臣ニ對スル御尋ネデアリマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○松岡國務大臣 吾々ノ方ニモ色々ナ情報モ入ツテ居リマスシ、又是ハ相當重要視シテ注視ヲ意ツテ居リマセ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ、此ノ席デ一寸申上ゲ蒙マセ、併シ之ニハ非常ニ重キヲ置イテ十分注視シ、且ツ考慮ヲ遂ゲテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス











テ考ヘテ見マスルト、近衛サンノ御話ノ中ニ「第五年ヲ迎ヘテ居リマス、尙ホ事變ハ解決ノ曙光ヲ見マセス」ト言ウテ御心配デアリマスガ、併シナガラ初カラ五年ヲ十年デ、是ガ解決スルト云フヤウナコトヲ御考ヘニナルコトガ間違ヒデアル、松岡外相ノ如キハ、三十年カ五十年カ分ラヌ、其ノ位ノ覺悟ヲ以テヤラナケレバナラヌト云フテ居ル、ダカラ五年經ツテ曙光ガ見エヌト云フテ御心配ニナルコトハナイ、私ハ又觀方ニ依ツテハ曙光ガ見エテ居ルト云フテモ宜イト思フ、三國同盟モ出來タシ、陸海軍ノ非常ナ勇猛ナル働キニ依ツテ、蔣介石モ相當ニ參ツテ居ルヤウデアリマス、又、アメリカ、ガ何ヲ言ツテモ、コッチニ決心ガアレバ、何モ驚クコトハナイ、又陸海軍大臣ハ此ノ事變ニ處シテ御心配ニ及バヌ覺悟ガアリマス、斯ウ御答ヘニナツテ居ル、デアリマスカラ私ハ近衛サンニサウ御心配ニナラズ、聖上陛下ノ日夜々ノ御軫念ヲ拜察致シマシテ眞ニ恐懼ノ極ミデアリマス」ト御述ベニナツタノデアリマスガ、近衛文磨ガ他在デアル間ハドウカ、陛下、御安心下サイマセ、斯ウ申上ゲテ此ノ席上デモ其ノ御決心ヲ御披露ニナルコトガ、大イニ私共御ハ同情ト云フヨリモ頼母シク、是デコソト云フヤウナ感ジヲ持ツ者デアリマス、近衛サンハ實ニ聰明ナ方デアリ、又一億國民ガ近衛サント思ツテ之ヲ支持致シテ居ルノデアリマスルカラ、モット大イニ勇猛心ヲ振起スルヤウニ、陸海軍大臣ガ大イニ近衛サンニ力ヲ付ケテ戴キタイ、斯ウ思フノデアリマス、陸海軍大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○東條國務大臣 先ツ第一點、政府一同ハ勿論、私ハ勿論今御話ノ如ク、此ノ重大ナル時難ニ際シマシテ、決シテ普通ノ決心ヲ以テ立ツテ居リマセス、又第二點、今近衛サンヲシツカリ支持シタラドウカト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、當然ノコトデアリマス、私ト云ハズ全開係、首相ノ十分支持シ、而シテ此ノ時難ノ克服、皇國ノ發展ニ微力ナガラ寄與致シテ居キタイ、斯ウ云フ風ナ積リテ居リマス

○江藤委員 詔書ニ特ニ「國體ノ觀念ヲ明徹ニシ深ク謀リ遠ク慮リ」ト仰セラレテアルノデアリマス、今近衛内閣ガ出來マシテ、此ノ非常時ヲ突破スル爲ニ、國民ノ新組織ヲ完成セバナラヌト云フヤウナ意味カラ、大政翼賛會ガ出來タノデアリマス、屢次ノ近衛サンノ御聲明ニモアリマス通り、此ノ大政翼賛會ノ精神ハ、國體ノ本義ニ即シテ行動ヲシナケレバナラヌ、其ノ他大政翼賛會トシテノ執ルベキ途ガ、此ノ席上ニ於テ明カニセラレタノデアリマス、併シナガラ私考ヘマスルノニ、サウ云フ風ニ此ノ大政翼賛會ガ進行シキマスル爲ニハ、大政翼賛會ノ人々ガ近衛サンノ心ヲ以テ中心トシテ居ル人デナケレバ、其ノ實現ハ難カシイト思フノデアリマス、大政翼賛會ノコトニ付キマシテハ、軍部モ其ノ健全ナル發展ヲ御希望ニナツテ居ル、是ハ其ノ通りデ御尤モナコトト思フノデアリマス、殊ニ私ガ心配致シマスルノハ、支那事變處理ニ最モ關係ノアリマスル大政翼賛會内ノ東亞部ノ人的要素デアリマス、東亞部長デアル龜井貫一郎君ハ、私モ至ツテ佩服ノ間柄デアリマス、斯ウ云フコトヲ申上ゲルコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、國家ヲ思フ私ノ至情ハ、ドウモ致シ方ガナイノデ已ムラ得ズ申上ゲナケレバナラヌノデアリマスガ、

龜井君ガ先般「ドイツ」ニ行カレタ際ニ「ドイツ」語ヲ以テ「ナチス」ニ於ケル日本精神史ノ一研究」ト云フ小冊子ヲ發行セラレタハ、翻譯シタモノデアリマス、翻譯シタ人ハ龜井君ト肩ヲ並ベテ著者、譯者ト署名シテ居ラレマス、之ヲ見マスガ、豫テ大臣モ御聽キ及ビノコトト思ヒマスガ、我が二千六百年ノ光輝アル紀元ヲ「ドイツ」ノ「ライプツヒ」大學ノ「ウエダーマイヤー」教授ハ、西曆前約百年ト確認シテキル、ダガ太田亮教授ハ、日本、支那オヨビ朝鮮ノ歴史ノ事實ノ根本ノナ比較研究ニヨリ、其ノ場合タダ文書ニ依據スルノミナラズ、又墓石、記念物ノ多クノ文字ニ依據シテ、日本帝國ノ建設ノ年ヲ西曆後八年ト確認スベキコトヲ提議シタ、建設ノ年トシテ一層後ノ年代ヲ假定スル學說ハ存在シナイ、ソレ故私ハ此ノ論文ニオイト日本歴史ヲ敘述スル場合ニ、太田亮教授ニヨツテ與ヘラレタ學說ニ立脚シタイト思フトアル、即チ日本ノ二千六百年ノ紀元ハ西曆後八年ト、斯様ニ此ノ學說ヲ承認シテ居ラルルノデアリマス、是ヲ前提ト致シマシテ、其ノ先ノ方ニハ、是モ譯文ニ依ツテ之ヲ見マス、私以下太田教授ニ依ル年代ヲ前置シタイ、斯ウ述ベテ、神武天皇ノ下ニ於ケル日本帝國ノ建設ハ西曆後八年、斯ウシテズト歴代ノ天皇ノ年數ヲココニ列舉シテ、推古女帝ノ時マダガ西曆後五百九十三年ト書イテアルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ此ノ本ニ御書キニナツテ居ル、而シテ又此ノ譯者ハ龜井君トチヤント肩ヲ並ベテ末尾ニ書イテアルノデアリマス、其ノ譯者ガ長タモ、天照大神様ノコトヲ「サウシテ彼女ハ」ト、申上

グルモ洵ニ長多イヤウナ言葉ヲ使ツテ居ルノデアリマス、神武天皇ノコトヲ北九州ニ於テ彼ハ「下」譯シテ之ニ書イテアルヤウナ次第デアリマス、斯ウ云フ方ガ東亞部ノ部長デアリマス、而シテ又此ノ方ハ副部長ト私ハ承知シテ居リマス、是ハ間違ツテ居リマシタラバ、私ノ誤リデアリマスガ、杉原正巳君デアリマス、此ノ人ノ著ハシマシタ「東亞協同體ノ原理」下云フ本ニ近衛サンガ序文ヲ書イテ居リマス、序文ノ末節ニ「日本ノ建設ノ任務ヲ、創造ノ知性ノ下ニ遂行スル爲ニ、貴重ナ勞作デアルト信ジマス」斯ウ云フ序文ヲ本ノ表紙ニマデ御書キニナツテ居ラレ、色々内容ニ付テハ澤山申上ゲタイコトガアリマスケレドモ、唯其ノ一ツヲ申上ゲマス、斯ウ云フコトガ書カレテアルノデアリマス、私共軍人ト致シマシテ、過去ノ戰役ヲ思フ時ニ、是ハ許シ難イコトト思フノデアリマス、支那事變ニヨツテ日支間ニ新シイ提携ノ基礎ガ生マレル以上、過去ノ資本主義ノ侵略時代ノ遺物デアアル、不必要ナル日本ノ對支權益ハ、日支兩民族ノ協同ヲ阻害スル前時代ノモノトシテコレヲ放棄スル必要ガアル」斯ウ書イテアルノデアリマス、過去ノ日本ニ資本主義ノ侵略時代ト云フモノハ斷ジテナカツタト、私ハ信ジテ居ルノデアリマス、(ヒヤヒヤ)是ハ當時ノ無産黨ノ諸君ハ、日清戰爭ヲ滿洲事變ハ資本主義ノ侵略戰爭ト云フテ、滿洲ヲ返セトマデ言ツタ日本人モ或ハアリマシタ、併シナガラ私ハ日本ノ戰爭ハ、所謂八紘一字ノ精神ニ依ツテノ聖戰デアアル、決シテ資本主義ノ侵略時代ノ遺物ト云フヤウナ對支權益ト云フモノハ一ツモナカツタト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、斯ウ云

フコトガ此ノ本ニ書カレテアリマス、是ハ昭和十五年十月二十五日デアリマスカラ、最近デアリマス、是ガ五版出テ居リマス、又同君ノ「國民組織ノ政治力」ヨク大政翼賛會ノ幹部ノ諸君ガ政治力々々ト仰シヤル、私ハ私ノ尊敬致シテ居リマス平沼先生ノ翼賛會ニ對スル政治力ノ御説明ヲ承リマシテ、大政翼賛會ハ政事結社デハナイガ、公事結社デアル、斯様ニ御説明下サイマシタノデ、歸リマシテ六法全書ヲ分ラヌナガラ見マシタ、併シドウモアソコニ書イテアルハ私ニハ常識的ニ受取レマセヌ、是ハ私ガ法律ノ頭ガナイカラデアアルカモ知レマセヌ、デアリマスルカラ、折角私ト同様ノ頭ヲ持ツテ居リマス國民ハ、折角平沼先生ガ御説明ニナリマシタケレドモ、私同様ニ之ヲ首肯致サヌデアラウ、國民ガ首肯ヲ致サナイ説明ハ、ヤ、リ効果ガナイト云フコトニナルノデアリマシテ、是ハ何トカハツキリサセルコトガ、此ノ場合必要デハナイカト思フノデアリマス、時間ガ長クナリマスノデ、此ノ杉原正巳君ノ本ノ内容ニ付テハ申上ゲマセヌ、是モ随分ヒドイコトヲ書イテアルノデアリマシテ、一國一黨ヲ認シ「一ツ」最高ノ權威ノ下ニ、忠誠ノ誠ニヨツテ貫カレタモノ、是ダケハ宜イノデアアル、是ガ私ハ「カモフラージュ」ダト思フ、「天皇ノ御委託ニヨツテ、天皇ノ大御心ヲ心トスル指導者ノ權威ト責任ハ生マレ、御名代トシテ」ト長クモ書イテ居ルノデアリマス、「御名代トシテ權威ハ、最高ノ指導者ニ、最高ノ指導者ノ委託者トシテ地位ノ指導者ヘト責任ハ委託サレ、順次ノ責任ト權威ノ委託ニヨツテ生マレル指導者組織ニヨラネバ

ナラナイ」ト指導者原理ト括弧シテ言ウテ居ルノデアリマス、是ハ全ク幕府以上ノ存在デアリマス、是ガ國民組織ノ政治力ト云フ本ノ組織ヲ説明スル所ノ内容ノ一部デアリマス、斯ウ云フ方ガ東亞部ノ首腦部ヲ占メテ居ラレ、而シテ最近昭和十五年十二月二十七日ニ、内閣ノ連絡委員會ノ幹事會ヲ思ツテ居リマスガ、其ノ決定デ大東亞新秩序建設ニ關スル啓蒙的思想運動ハ、大體翼賛會ヲシテ政府ト表裏一體ノ關係ニ於テ之ニ當ラシメル、是ガ爲メ本運動ノ關係諸團體ヲ適宜整理統合シ、大政翼賛會ト聯繫ヲ保持セシムル云々」ト云スカラ大東亞ノ新秩序建設ニ關スル啓蒙的思想運動ノ中心ハ、此ノ龜井君ナリ杉原君達ガ、其ノ指導ト云フテハ力ガ強過ギルカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角政府ハ大政翼賛會ト表裏一體ニナツテアル、之ニ當ラシムルト斯ウ決定シタ、斯ウアルノデアリマスガ、斯ウ云フ事實ガアルノデアリマスガ、ドウデアリマスガ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、又組織ヲ見マシテモ、總裁デアラセラレレル近衛サンハ、非常ニ思想的ニ重キヲ置イテ居ラレルニモ拘リマセヌ、又私ノ聞ク所ニ依リマス、常任總務ノ中ニ組織ノ中ニ思想局、敎學局ト云フヤウナモノヲ置カナケレバナラヌト云フテ主張シタケレドモ、遂ニ容レラレズ、ソレハ今日ノナイノデアリマシテ、サウシテ近衛サンハ大政翼賛會ト云フモノハ、自ラ計畫ヲ立テ、政策ヲ練ツテ、之ヲ天下ニ公表シ、是ハ政府ニ要求スルヤウナモノデハナイ、下意ヲ上達スルト云フコトハ、下意ヲ色々研究シテ、是ハ良イト云フコトヲ政府ニ言フノデアアル、決シテ天下ニソレヲ示スモノデハナイ、私ハ斯様ニ近衛公ガ仰シ

ヤツタト承知致スノデアリマス、所ガ企畫局ナリ政策局、サウ云フモノハ依然トシテ今日マデアルノデアリマス而シテ又サウ云フ人達ガ如何ナルコトヲナシテ居ルカト申シマス、近衛サンノ意思ニ反シマシテ、多分政策局ダト思ヒマスガ、官界新體制確立要綱ト云フモノヲ、特別委員デ持ヘマシテ、大政翼賛會ノ會報ニ堂々ト書イテアリマス、斯ウ云フコトヲアルト云フコトハ、私ハ近衛サンノ本旨デハナイト思ヒマス、ドウモ大政翼賛會ノヤルコトハ、總裁ナリ或ハ顧問デアラルル閣僚諸公ノ意ニ適ハヌノデハナイカト、斯様ニ思フノデアリマス、先刻モ同僚カラ相當恐レベキヤウナ宣傳ヲシテ居ルト申上ゲル所ガアツタヤウニ拜聽シテ居ツタノデアリマスガ、私ノ聞キマス所ニ依リマシテビマシテ訓練ヲ政シマシタ、長キハ二箇月短キハ二週間、ソレノ講師ニ「マルクス」主義ノ學者トシテ有名デアアル平貞藏博士ガ、反軍親「ソ」的講演ヲシテ、ソレヲ聽イテ憲兵ガ憤慨ヲシタ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、陸相ハ斯ウ云フ事柄デアリマスカラ、マダ御耳ニ入ツテ居ラヌカモ知レマセヌガ、御取調ベテ願ヒタイト思フノデアリマス、御尋ネシタイコトモ澤山アルノデアリマスガ、時間ガアリマセヌカラ、成ベク少クシテ申上ゲマス、大政翼賛會ハ國民ノ推進力ト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマスガ、私ハ後カラ行ツテ國民ヲ押出スカウナ推進力デハイカス、自分ガ前ニ立ツテソレヲ率キテ行ク、斯ウ云フモノデナケレバナラヌト思フノデアリマス、俺ノヤウニヤレ、言フマデモナク日本ノ陸軍

ガ非常ニ強イノハ、指揮官ガ先頭ニ立ツテ、サウシテ來イノト言ツテ部下ヲ差招クヤウニスル所ニ、強イ所ガアリマスガ、支那軍ノ弱イノハ、部下ヲ先頭ニヤツテ指揮官ハ後カラ押出シテ行ク、推進シテ行ク、サウシテ又ヒドイノニナルト督戰隊ト云フヤウナモノヲ設ケテ、第一線ガ下ツテ來ルト、ピストルヲ軍刀デ之ヲ脅ス、之ニ依ツテ第一線ヲ進メテ行ク、斯ウ云フヤリ方ヲシテ居ルノデアリマス、弱イノハ當然デアラウト思ヒマス、大政翼賛會ノ状態ヲ見マスルト、第一アノ家ガ大政翼賛會ノ家ニナツタト云フ時ニハ、私ハ驚キマシタ、東京デモ私共ハ滅多ニアソコニ飯ヲ食ヒニモ行ケヌヤウナ豪奢ナ殿堂デアリマス、口デハ貧乏ハ敵ナリトマデ酷ク言フ、是ハ共產黨ノ宣傳ノ言葉ダト云フコトデアリマスガ、私ハ知リマセヌ、併シナガラ私自身モ貧乏ハ敵ダト思ツテ居リマス、所ガ大政翼賛會ガアア云フ貧乏ナ所ニ居ル、此ノ間モ何時デシタカ、有馬總長初メ大政翼賛會ノ人達ガ、皇道精神ヲ發揚スル爲ニ、何か御集リニナツテ式ヲオヤリニナツテ居リマスガ、其ノ寫眞ヲ見ルト、實ニ天井ニハ斯ウ云フ「シャンデリア」ガブラ下ツテ居ツテ堂々タルモノデス、サウ云フ所デ式ヲオヤリニナツテ居ル、斯ウ云フ新聞ヲ見マシテ國民ガ果シテ大政翼賛會ト云フモノニ、信頼致スデアリマセウカ、又給料ヲ調査シタ資料ヲ受取ツテ見マスルト、資料モ甚ダ杜撰デアリマシテ、月給百圓ト云フヤウナコトガ書イテアリマス、サウ云フ月給ハ是ハ書キ損ヒデアリマセヌ、而シテ總長以下給仕ニ至ルマデノ俸給ノ平均ガ、百四十六圓トナツテ居ルノデアリマス、實ニ驚



タベキモノデアリマス、開ク所ニ依リマス  
 ルト、各省ノ修給ノ平均ハ八十圓位、地  
 方廳ノ平均ハ六十圓カ七十圓アル、念  
 ノ爲ニ陸軍ニ於ケル下士以下ノ修給ノ調  
 ヲ見テミマス、是亦實ニ憲兵ノ如キハ  
 極ク零細ナモノデアリマス、裁判所ノ廷下  
 ノ如キハ、今日デモ月給十八圓ト云フノガ  
 アルト云ツテ、此ノ議場デ其ノ増修ヲ要求  
 シテ居ツタノデアリマス、一體斯ウ云フコ  
 トデ是ガ國民ノ推進力トナリ、中核體トナ  
 リ得ルカ、陸軍、軍部ト致サレテハ、是ノ健  
 全ナル發達ヲ圖ルト仰シヤルノデスガ、健  
 全ナル發達ハ結構デス、先刻モ平沼先生ガ新  
 體制ハ正シイ日本ノ姿デアルト言ハレタ、  
 大政翼賛會モ正シイ日本ノ姿ニナレバ結構  
 デアリマス、此ノ豫算モ最初ハ一億圓ト云  
 フ噂デアツタ、是ハ朝日新聞カ何カ出デ  
 居ツタ切抜キデアリマスガ、當初三千七百  
 餘萬圓ヲ主張シ、之ニ對シ推進力方面デハ  
 三萬圓案アリ、此ノ推進力方面ト云フノ  
 ハ軍部ヲ指シテ居ルノデアリマス、大政翼  
 賛會ハ國民ノ推進力デアリ、軍部ハ大政  
 翼賛會ノ推進力ダ、斯様ニ官報ノ新聞ハ  
 認メテ居ル、(笑聲)他ノ一部ニハ二、千  
 萬圓案アリ、政府ハ大體一千七百萬圓  
 ニ在定シテ居ツタ、其ノ後議會ノ空  
 氣ニ鑑ミ、約八百萬圓ニサレタ、是ハ  
 私ハイカスト思フ、議會ノ空氣ナンカ  
 フナゼ御斟酌ニナルカ、ソナナ弱イコトデ  
 陛下ノ偉大ナ御聖旨ニ副ヒ奉ルコトガ出  
 來ルデセウカ、議會ガ何ト思ハウトモ、是  
 ハ入用ト御決心ニナルナラバ、御出シニ  
 ナルガ宜シイ、サウシテ其ノ必要ヲ堂々  
 デ御説明ニナルガ宜イ、議會ノ空氣ニ鑑ミ、  
 約八百萬圓ニ決定シタト云フヤウナコト

ガ書イテアリマス、此ノ推進力ト云フノハ  
 恐ラク陸軍ノ軍務局長ダト思フノデアリマ  
 スガ、陸軍大臣御承知デアルナラバ、御  
 答ヘテ願ヒタイト思フノデアリマス、簡單  
 ニ御示願ヒマス、三萬萬圓ヲ主張シテ推  
 進力デアリマス、(笑聲)笑ツテハイケナイ、  
 眞劍ナコトデス、大政翼賛會ノ内容デアリ  
 マス、モット色々私ノ知ラス點モ澤山アル  
 ダラウト思ヒマスガ、少クモ斯ウ云フコ  
 トハ事實ト思フノデアリマスルガ、如何デ  
 アリマスカ、御答ヘテ願ヒタイト思フノデ  
 アリマス

○東條國務大臣 御答ヘシマス、大政翼賛  
 會ノ點ニ關シマシテハ、過般總理カラ各其  
 ノ關係事項ニ付キマシテ、既ニ十分説明サ  
 レテ居リマスノデ、御諒解ヲ得タコトト私  
 ハ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ點ニ付  
 キマシテハ、私ハ言及ヲ避ケタイト思ヒマ  
 ス、又内容ニ付キマシテハ、私カラ中上ガ  
 ル限リデナイト考ヘマス、唯國體ノ破壞ト  
 云フヤウナ點ニ觸レル場合ニ於キマシテハ、  
 是ハ翼賛會ト何タルト問ハズ、且又御同  
 僚ノ方デアルト問ハズ、アリトスレバ  
 法規ニ基キマシテ斷乎タル政府トシテ處置  
 ヲ執ルノガ當然デゴザイマス、平氏ノ講演  
 ニ付キ、色々憲兵ノコトニ關シマシテ御話  
 ガアリマシタガ、反軍思想アルヤ否ヤト  
 云フ點ニ付キマシテ、私マダ報告ヲ受ケテ  
 居リマセヌ、其ノ點ニ付キマシテハ調査シ  
 テ見タイ、斯ウ考ヘマス

ソレカラ新聞ノ點ニ付キマシテ、色々推  
 進力云々ト云フ御話ガゴザイマシタガ、是  
 ハ私ハ新聞ニ付キマシテ、一々其ノ責任ノ  
 アル御答ヘテラスルコトハ避ケタイト思ヒマ  
 ス

○江藤委員 大體私ノ申シマシタ龜井君、  
 杉原君ノ著書ニ付テノ説明、又大政翼賛會  
 ノ内容ト云フコトニ付テハ、賢明ナル陸相  
 ノコトデアリマスルカラ、大體モ御見透  
 シハ付イテ居ルダラウト思フ、私ハ近衛サ  
 ンニ一近衛サンバカリデハナイ、各關係  
 ニ申上ゲタイガ、一編此ノ大政翼賛會ハ解  
 散ヲ致シマシテ、是ハ政黨ト比較ニモナリ  
 マセスケレドモ、五十年ノ歴史ヲ持ツテ居  
 ル政黨モ、此ノ時代ニ即シテ一旦解散ヲシ  
 マシタ、事實ハアルヤウデアリマスケレド  
 モ、兎ニ角形ガハ解散シタノデアリマス、  
 デアリマスルカラ、左様ナ俗ニ言フケチノ  
 入ツタ大政翼賛會デアリマスカラ、此ノ際  
 サラリト思切ツテ、過チヲ改ムルニ憚ルコ  
 ト勿レデ、解散ヲシテ之ヲ建直ス、サウシ  
 テ本當ニ近衛公ノ考ヘテ居ラレルヤウナ、  
 人的要素又ハ組織ニ變ヘテ出發直直ス、是  
 ガ私ハ一番國家ノ爲ダト思フノデアリマス、  
 其ノ位ノ決心ガナケレバナカスト思フノデ  
 アリマス、ヤリ掛ケタカラ、無理ニデモ何  
 トカシテヤラウト云フヤウナコトヲ考ヘル  
 シテ、イカスト思ヘバヤリ替ヘル、斯ウ云  
 フコトガ此ノ際執ルベキ處置デアナイカト  
 思フノデアリマス

次ハ此ノ非常時ニ對シマシテ、陸軍大臣  
 ノ御決心ト申シマセウカ、御態度ト申シマ  
 セウカ、サウ云フ點ニ付テニ、三承リタイ  
 ト思フノデアリマス、現時我ガ國民ハ、最  
 少ノ費用ヲ以テ最大ノ能力ヲ發揮スルコト  
 ニ努メマシテ、ソレガ爲ニハ小サイ小賣商  
 人、米屋ノ如キモ皆企業合同ヲヤツテ、サ  
 ウシテ最大ノ能力ヲ發揮シヨウト、所謂誠  
 私奉公ノ心ヲ以テ、失業ニモ堪ヘテヤツテ

居ルノデアリマス、斯ウ云フ時代デアリマ  
 スカラ、是ハ海軍大臣モオイデニナレバ同  
 時ニ承リタイト思ツタノデアリマスルガ、  
 オイデニナリマセスカラ政府委員カラ大臣  
 ニ御傳ヘテ願ヒタイト思ヒマス、是ハ私ノ  
 元々カラノ考ヘナシデアリマスガ、今回ノ  
 豫算ニ陸海軍ノ臨時軍事費ガ、陸海軍一本  
 ニナツテ出タ、是ハ今年初メ出タノデ、  
 今マデハ、臨時軍事費ガ陸軍ト海軍ト皆別  
 別ニ出タノデアリマスガ、之ヲ見マシテ  
 私ハ洵ニ是ナル哉ト思ツタノデアリマス、  
 ドウモ動モスルト同ジ 陛下ノ股肱デアアル陸  
 海軍ガ、對立ト言ツテハ語弊ガアリマスケレ  
 ドモ、マアソナヤウナ風ニ國民ガ誤解ス  
 ルヤウナ點モ、豫算等ニ付テナキニシモア  
 ラズデアツタノデアリマス、ソレガ今度ハ  
 一本ニナツテ出テ、ソレヲ適當ニ使ハウト  
 云フ、所謂陸海軍緊密ノ非常ニ良イ狀態ヲ、  
 茲ニ現ハシタト思ヒマシテ、實ニ私ハ敬意  
 ヲ表シタノデアリマス、如何ニ陸海軍ノ大  
 臣ガ苦心ヲシテ居ラレルカ、今此ノ事變處  
 理ノ爲ニ、決シテ一通リノ決心デアナイト云  
 フコトノ御答ヘガアリマシタガ、成程其ノ  
 通りデアリマス、其ノ片鱗ガ見エテ居リマ  
 ス、又兵種モ今マデ歩兵トカ砲兵トカ云ツ  
 テ居タノヲ廢シテ一ツニセラレタ、是モ結  
 構ナコトデアリマス、私ハ大イニソレヲ進  
 メテ、思切ツテ陸海軍ヲ合併シタラ宜イト  
 思フノデアリマス、斯ウ申シマスルト如何  
 ニモ突飛ナヤウデアリマスルケレドモ、私  
 ハ突飛トハ思ツテ居リマセヌ、一體我ガ國  
 ハ一方ニ太平洋ヲ控ヘ、一方ニハ大陸ヲ控  
 ヘテ居ルノデアリマシテ、我ガ國ノ作戦ト  
 シナケレバナラヌ狀態デアリマス、然ルニ

英國ヲ見テモ、英國ハ海ハアリマスケレド  
 モ陸ハナイ、ドイツハ陸ハアリマスケレ  
 ドモ海ハナイト云フヤウナ譯デ、是等ノ國  
 ハ陸海軍ガ、サウ緊密ニ協同作戰ヲスル  
 云フコトハ、日本程デアナイト私ハ思ヒマ  
 ス、而シテ又精神的ニ於テ、日本ハ 陛下ノ  
 股肱デアアル軍人ニ賜ツテ勅諭ハ、海軍ニ、  
 陸軍ニトハ賜ラス、軍人ニ賜ツテ居ル、サ  
 ウ云フ譯デアリマシテ、是ハ思切ツテ一ツ  
 ソコマデ進メル意思ガ陸海軍大臣ニ——今  
 直チニトハ言ハスガ、意思ハオアリニナラ  
 ナイデアリマセウカ、海軍ハ陸軍ニナツ  
 テ行ケバ、モウ陸軍ト同ジデアリマス、陸  
 軍ノ砲兵デモ少シ積古ヲスレバ、軍艦ニ乗  
 ヲテ大砲ヲ打テスコトハナイ、飛行機ノ如  
 キハ、是ハモウ大體同ジデス、海軍ノ飛行  
 機ガズツト支那ノ奥地マデ飛行デ行ツテ、  
 サウシテ陸軍ノ飛行機ガ却テ手前ノ方ニ飛  
 ンデ居ルト云フヤウナコトニナルト、是ハ  
 ヲカシイ、海軍ト云フモノハ海ノ軍デアリ  
 マスカラ、海ニ居ナケレバナラス、サウ陸  
 地ノ方マデモ假令飛行機ト雖モ、海軍ニ屬  
 シテ居ル飛行機ガ行クノハヨカシイ、無論  
 海軍ニ直接協力スル飛行機ト云フモノハナ  
 クテハナラヌノデスガ、國策的ニ使フ飛行  
 機、是等ハ私ハ一ツニシタラ宜イト思フ、  
 サウ云フ御意思ハナイノデアリマセウカ、  
 又少クモ私豫テ思フノデアリマセウカ、  
 品、是等ハ陸海軍一ツニシタラ宜イ、現實  
 ノ問題ト致シマシテ、國民ガ陸海軍ニ獻金  
 ヲ致シマスニシマシテモ、陸軍ト海軍トア  
 リマスルト、其ノ大小ノ比率ハ相當大キイ  
 ノデアリマス、然ルニ獻金ハ比率通りニハ致  
 シテ居リマセヌ、陸軍ニ十萬圓ナラ海軍ニ  
 五萬圓トカ、甚ダシキニ至ツテハ海軍ニ五

十萬圓、陸軍ニ五十萬圓ト同ジヤウニ獻金  
 スル、恤兵品デモ同様デアリマス、デアリ  
 マスカラ海軍ノ軍人ノ方ハ、恤兵品ガ豐富  
 デアツテ、陸軍ノ軍人ノ方ハ海軍ノ方ニハ  
 及バナイト云フコトハ、私ハ事實デアラウ  
 ト思フ、是ハ私ノ考ヘガ間違ツテ居レバ、  
 御修正ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、  
 其ノ他陸海軍ガ一緒ニナリマスルト、非常  
 ニ都合ガ好イト思ヒマスルモ若干アルノ  
 デアリマスケレドモ、ソレハ此ノ席上デ申  
 上ゲルコトハ、差控ヘタイト思フノデアリ  
 マス、今申シマシタヤウニ、サウ云フ心構  
 ヘデ、少シデモ合同ヲシテ能率ヲ上ゲテ行  
 クト云フヤウナ御考ヘハナイデアリマセウ  
 カ、陸海軍大臣ニ御意見ヲ御伺ヒタイト思  
 フノデアリマス

○東條國務大臣 御答ヘシマス、此ノ陸  
 海軍ノ緊密共同ト云フ點ニ付キマシテ  
 ハ、私鏡ニ海軍大臣モ勿論ノコト、當ニ其  
 ノ點ニ付キマシテハ深甚ナル配慮ヲ致シ、  
 其ノ完全ナル結果ヲ招カスルコトヲ念願シ  
 テ居ルノデアリマシテ、其ノ點ハ御安心ヲ  
 戴キタイト思フノデアリマス、且又軍ニ中  
 央部ハ勿論ノコト、出先ノ作戦的ノ協同ノ  
 ミナラズ、總テノ技術的ノ協同ニ至ルマデ、  
 具體的ニ各種ノ方途ヲ講ジツツアルノデア  
 リマス、唯茲ニ陸海軍ヲ一本ニスルト云フ  
 問題ハ、是ハ軍大ナ問題デゴザイマシテ、  
 目下ノ所、殊ニ本時局下ニ於キマシテ、此  
 ノコトニ付キマシテハ考ヘテ居リマセヌ、  
 御話中ニ陸海軍ノ航空隊ノ點ニ御觸レニナ  
 リマシタガ、陸軍ノ航空隊ニ付キマシテハ、  
 地上部隊ト密接ナ協力ヲシ、ソコニ綜合威  
 力ヲ發揮シテ、戰勝ヲ獲得スルト云フ點ニ  
 重點ガアルノデアリマシテ、此ノ點特ニ海

軍ノ地上部隊ト密接ナ協力ヲシ、其ノ綜合  
 戰力ヲ發揮スルト云フ點ニ於キマシテ、陸  
 上ノ特殊性ニ於テ遠ク點ガアルコトヲ御承  
 知ヲ戴キタイ、殊ニ現時戰場ニ於キマス所  
 ノ戰行爲ニ於テ、又治安ノ確立ニ於テ、  
 連日不斷ニ航空隊ガ見エザル努力ヲシテ居  
 ルト云フ點ニ付キマシテハ、共ニ御諒承ニ  
 ナツテ戴キタイト考ヘルノデアリマス

恤兵ノ點ニ付キマシテ色々合同シタラド  
 ウカト云フ御話デアリマシタガ、目下ノ所  
 其ノ點ハ私ノ方トシマシテハ考ヘテ居リマ  
 セヌ、唯私ハ好イ機會デアリマスカラ、此  
 ノ際ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスコトハ、  
 私ハ恤兵品ヲ頂戴スルコトニ付キマシテ、  
 國民ノ赤誠ニ對シマシテ常ニ深ク感謝ヲ致  
 シテ居ルノデアリマス、私ハ金額ノ多寡、  
 量ノ多寡ト云フコトヲ目當ニシテ居リマセ  
 ヌ、私ハ一錢ノ獻金ト雖モ、一品ノ品物ト  
 雖モ、國民ノ赤誠ヲ頂戴シタイト云フコトガ  
 重點デアリマシテ、茲ニ兵力ノ多寡ニ比較  
 シテ金ノ多寡ガドウ、或ハ物ノ多寡ガドウ  
 ト云フ點ニ付テハ、重點ヲ置イテ居リマセ  
 スノデ、其ノ點ハ併セテ御承知ヲ願ヒタイ  
 ト思ヒマス

○北時委員 一寸關聯シテ——サツキ同  
 僚江藤君カラ、翼賛會ノ東亞部長龜井君ノ  
 思想問題ニ付テ、立入ツタ質問ガアリマシ  
 タガ、陸軍大臣ノ御答ヘガナカツタ、平沼  
 内務大臣ハ遅ク來ラレタヤウデアリマシテ、  
 其ノ關係ハ御答ヘガナカツタヤウデアリマ  
 スガ、重大問題ダト考ヘルノデアリマス、昨  
 年皇紀二千六百年ノ國民的ノ祝典ヲ催シ、  
 「ドイツ」カラモ祝賀ノ電報ガ參ツテ、吾々  
 衆議院議員トシテモ一同招待シレタ、然ル  
 ニ定説ヲ覆シテ、太田亮教授ノ學說ヲ採用  
 シテ、日本ノ建國ハ二千六百年前デアナイ、  
 西曆紀元後八年デアルト云フコトヲ、自說  
 トシテ採用スルガ如ク書イテアル、サウ云  
 フ著者ガ翼賛會ニ於テ、東亞全體ノ思想ヲ  
 指導スルベキ地位ニ居ルト云フコトハ、ド  
 ウ御考ヘニナルカ、内務大臣ノ明確ナル御  
 答辯ヲ煩シタイ、モウ一ツハ、原文ノ翻譯書  
 ガ此處ニアリマスガ、私モ實ハ開覽シタノデ  
 アリマス、畏多クモ天照大神ヲ「彼女」ト書イテ  
 アル、神武天皇其ノ他ノ「天皇ヲ」ト書イテ  
 アリマス、英語デモ、「ドイツ」語デモ、「フラン  
 ス」語デモ、王様ニ對シテ代名詞ヲ用ヒル  
 コトハ習慣デアリマス、日本文ニ翻譯スル場合  
 ニ、恐ラクハ今マデノ如何ナル日本人デモ、外  
 國ノ天子様ノ場合デスラ、相當ノ敬意ヲ表ス  
 ルノデアリマス、日本ノ天子様ニ對シテ「彼」ト  
 カ「彼女」トカ書イテ居ル、内務當局ガ之ヲ檢  
 閲デ見送スト云フコトハ、一體怪シカラスト  
 思フノデアリマス、私ハ昨年ノ八月カラ此  
 ノ翼賛會ガ形ヲ整ヘ、ナイ時分デモ、近衛聲  
 明ニドウモ「ナチス」張リガアルト云フ考ヘヲ  
 持ツテ、自分ノ關係シテ居ル所ノ雜誌デ、  
 毎號批判致シマシタ所ガ、二十年來發賣禁  
 止セラレタコトノナイモノガ、翼賛會ノコト  
 ニ觸レバ直ツニ發賣禁止デアル、人ノ問  
 題ニ觸レテモ、組織ノ問題ニ觸レテモ、此  
 ノ議會ヲ述ベテ居ルコトガ全部發賣禁止デ  
 アル、政府ニ對スル批評ヨリモモツト辛辣  
 ナル筆壓ヲ加ヘル、勿論其ノ當時ノ内務大  
 臣及ビ警保局長ガ選ツテ、吾々ノ最も思想  
 的ニ信頼スル平沼男爵ガ内務大臣ニナラレ  
 テ、又ソレニ副フ陣容ヲ整ヘラレタノデ、  
 私ハ非常ニ安心致シテ居リマスガ、吾々ノ  
 言論ヲ片端カラ壓迫シテ、サウシテ荷モ翼  
 賛會ニ關係ノアル者デアラナラバ、財產率



















アリマシタガ、實際此ノ人口ノ増加ト云フモノガエライ勢ヒヲ以テ進ンデ居リマシテ、儘カ今ハ舊市ガ二百三、四十万位デアラウト思フ、所謂新市、前ニ郊外ト云フテ居ル、之ヲ大正八、九年頃カラ見マス、舊市ハ八、九、十分分ガ二百万人デ、今日ニ至ツテモ餘リ殖エテ居リマセス、新市ニ屬スルモノハ其ノ當時ニ百万位ノ人口デアツタモノガ、今四百四、五十万ニナツテ居ル、新市ノ膨脹ハ驚クベキモノデアラ、ソレデアリマスカラ、新市ト舊市ノ間ニ往來スル人間ガ多クナル、ソレハ輸送機關ニ依ル譯デアリマス、ソレデ東京市ガ特ニ輸送ニ付テ困難ヲ感スルコトニナツテ居ルト思フ、デアリマス、殊ニ最近事變前後カラ致シマシテ、堀内君モ御講解ガアルト思ヒマスガ、私ノ今述ベマシタ輸送ガ混雜スル原因ノ中ノ生産力擴充ト云フ方面カラ見マシテモ、東京市及ビ東京市ニ近接シテ居ル所、川崎、鶴見、横濱ニ至ルノ邊ハ生産力擴充ガ具體化サレマシテ非常ニ工場ガ出來、又ソコニ仕事ヲスルト云フコトニナルデアリマシテ、ソコガ見マシテモ生産力擴充ノ影響ヲ受ケテ、東京市ガ如何ニ多ク人ヲ運バナケレバナラス状態ニナツテ居ルカト云フコトガ御分リニナルト思ヒマス、ソコデ御話ニナツタ通勤者ノ問題、或ハ通學ノ問題、ソレガ「ラッシュ・アワー」ナカニ殺到致シマスノデ、或ハ御話ニナリマシタヤウニ時間ガ多少遅レルト云フヤウナコトモ起ツテ居ルモノトモ思ヒマス、併シ之ニ對シマシテ鐵道省ハ非常ニ力ヲ入レテ、出來ルダケノ能力ヲ發揮セシムルヤウニシテ居ルデアリマス、例ヘバ省線デ

車ヲ廻ハシテ居リマスノハ、殆ド技術ノアリダケテ盡シテ居リマシテ、二分間カ三分間ニ一ツノ車ヲ「ラッシュ・アワー」ニ出シテ居ルト云フヤウナコトモアルデアリマス、モウ是レ以上ニハ車ヲ入レル餘地ハナイノデアリマス、ソレ程輸送ニハ努力シテ居ルノデアリマスガ、今後ニ於キマシテモ人ノ殖エルノハ際限ノナイモノトモ思ハレマスノデ、ソレヲ解決スル爲ニ地下鐵道ヲ建設シヨウト云フコトデ、帝都高速度交通營團法案ト云フモノヲ提出シマシテ、御協賛ヲ願ツタ次第デアリマス、是モ勿論相當ナ年月ヲ要スルト思ヒマスガ、今計畫サレテ居ルモノハ七十「キロ」デアリマシテ、今日アル地下鐵道ハ十四「キロ」デアリマスガ、先ヅ計畫サレテ七十「キロ」ノ地下鐵道ヲ建設シヨウト考ヘテ居リマス、ソレモ急ナル所カラ初メテ行カウ、例ヘバ青山カラ四谷ヲ繋グト云フコトニナリマス、是ハ一番初メニナルコトニナルダラウト私ハ思ヒマスガ、餘程輸送ノ混雜ヲ打開シテ行クニ效キ目ガアルト思ヒマス。

恒久策ヲ御聽キナリマシタガ、恒久策ト致シマシテモ、斯ウ云フ所デハドウシテモ輸送計畫ケデハイカスノデ、帝都ヲドレダケ擴ゲルモノカ、即チ都市ノ規模ニ對スル一ツノ計畫、或ハ國土計畫、サウ云フヤウナモノト鐵道ノ交通計畫ト云フモノトヲ配合セテ考ヘナケレバナリマセス、サウ云フ見地カラ恒久ノ交通計畫ヲ立テヤウト考ヘテ居ルデアリマシテ、東京市モ其ノ中ノ一例ニナルト考ヘマス。

次ニ東海線線デアリマスガ、是ハ新幹線トシテ知ラレテ居リマスガ、東海線、山陽線ヲ貫キ、東京カラ下關ノ間ニ新幹線ヲ建設シヨウト云フコトデ、豫算モ御協賛ヲ願ツタ次第デアリマス、廣軌ノ鐵道デ九時間デ東京カラ下關ニ着ク、斯ウ云フ計畫モシテ居ルデアリマス。

ソレカラ改良ノ方ニ付キマシテモ、名古屋、枇杷島間ノ複線ヲ増設スルト云フヤウナ案モ出テ居リマシテ、改良等出來マス所ハ、非常ニ困難ニ切ツテ居ル所ヲ救フニ必要ナ改良工事ヲシテ居リマス。

尙ホ御聽レニナリマシタ寢臺ノコトデアリマスガ「アラム」ガ出テ大變ナコトデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、私共モ非常ニ苦慮致シマシテ、何分前ニ述ベマシタヤウナ事情カラ人ノ往來ガ多ク、殊ニ京阪神ト東京トノ間ニ夜ノ汽車ニ乗ツテ往來スル人が多クデアリマシテ、隨テ寢臺ノ要求ガ多ク、割當テラレタモノハ到底間ニ合ヒマセスカラ、ソコニ一ツノ内而ノ取引ガ行ハレルヤウナコトニナツタト考ヘマスノデ、之ヲ防グ爲ニ記名式ニ致シマシテ、寢臺券ハ名ヲ書キマシテ、其ノ人デナケレバイヤカス、或ル「プロカー」式ヲ取引ガ大分防ガレタヤウニ考ヘテ居リマス、此ノ問題ハ實ニ難カシイ問題デアリマスガ、サウ云フコトデ此「プロカー」式ノ取引ノナクナルヤウニ此ノ上トモ色々ノ方法ヲ講ジタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。

○堀内委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ御尤モノ點ガ多クデアリマスガ、私

リマス、高速度鐵道ノ如キモノモモツト早ク、既ニ東京市アタリニ於キマシテ認可ヲ取ツテ居ル路線モ相當長クアル、是等ノヤウナモノガ民間ノ仕事トシテモ結構デアリマス、又市ノ仕事トシテモ宜シ、國營トシテモ宜シ、モツト早く地下鐵道ノ完成ヲスルト云フヤウナコトニナツテ居リマシタナラバ、セメテモ今日ノ此ノ激増時代ニ相當緩和スルコトガ出來タト思フデアリマスガ、是モ今日トナツテ左様ナコトヲ申シテモ仕方ガナイ、唯此ノ上「ラッシュ・アワー」ヲ緩和スル、會社トカ、役所トカ、銀行トカ云フヤウナ所ハサウ云フ譯ニハ參リマセスデアリマセウ、時間ヲ制限スルト云フヤウナコトハ出來マスマイガ、セメテ學校ノ授業時間ナドハ何トカ少シ緩和ヲシテ、朝「ラッシュ・アワー」ヲ避ケテ、時間ヲ幾ラカ伸バストカ、縮メルトカ云フヤウナ方法モ出來ナイコトデハナカラウカト思フデアリマス、ソレ等ノ點ニ於キマシテハ篤ト他ノ官省トモ能ク御協議ヲ願ヒマシテ、鐵道ハ鐵道省デアルノダ、交通機關ハ鐵道省ノモノダト云フ風ニ一般ガ考ヘテ居リマスコトハ、是ハ大間違ヒデアル、此ノ交通程人生ノ生活ニ對シテ影響ノ多イモノハナイノデアリマスカラ、總テノ各省ニ對シマシテ、此ノ交通問題ハ非常ニ重要ノモノトナツテ居ルデアリマスカラ、篤トサウ云フヤウナ點ニ付テ御研究ヲ願ヒタイト思フデアリマス、唯東海線ノ問題ニ付キマシテ私ハ一ツ思見ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、東海線線ガ一番ヒドイ状態ニナツテ居リマスト云フコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマスガ、此ノ東海線線ハ日本ノ第一ノ幹線ト致シマシテ、僅カ

ニ複線ノ設備デアアル、只今大臣ガ御舉ゲニナツタ東京下關間ニ複線ヲ廣軌ニ於テモウ一本作ルト云フ御計畫ガアルデ、既ニ御着手ニナツテ居ルコト云フデアリマスガ、是ハ勿論善ク云フコトガナケレバナラス、併シ是カラ着手セラレマシテ何年先ニ開通スルコトニナルカ、恐ラク此ノ資材難ノ折柄デモアリマス、是ガ或ハ十年經ツテ開通スルカ、二十年經ツテ開通スルカ分リマセス、併シナガラ分ラナイカラト云ツテ打棄テ置ケバ、ドン／＼激増シテ交通ニ非常ニ支障ヲ來ス譯デアリマス、私ハ先年モ左様ナコトヲ申上ゲタコトガアツタカト思ヒマスガ、東海線線ハ往復一線ツツシカナイ、往キガ一本復リガ一本ノ一線路デアリマス、一線ノ中ニ特急ガアリ、急行ガアリ、普通列車ガ動イテ居ル、斯ウ云フ状態ニナツテ居ル、ソレガ而モ四十本ニ近イ所ノ旅客列車ケデモ往復動イテ居ル、只今御話ノヤウナ廣軌鐵道モ出來マシテ、其ノ方ヲ以テ高速度ノ運轉ヲスルト云フコトデアリマス、其ノ分野モ自ラ明ニナツテ來ル譯デアリマスガ、東海線線ノ一本ノ路線ノ中ニ、大阪マデ八時間行ケル所ノ特急ガアリ、又十二時間掛ル所ノ急行ガアリ、十四時間掛ツテ行クヤウナ普通列車ガ動イテ居ル、丁度一本ノ「レール」ノ中デ龜ト兎ガ競争ヲシテ居ルヤウナモノデアアル、特急ハ人ガ非常ニ利便ニ感ジマシテ、相當之ヲ利用シテ居ル人が多クデアリマス、多クデアリマスカラ、只今申上ゲマシタヤウナ特急案ニ「プレミアム」ガ附クト云フヤウナコトニナルノデアリマスガ、特急ガ運行シマス時ニハ、普通列車ハ待避シテ居ラナケレバナラス、甚

ダシキハ一瞬ニ二十五分、三十分ト云フヤウニ停タセラレ、其處ヲ急行ガ通ルト云フヤウナ状態ニナツテ居ル、デアリマス、カラ急行ノ通ル路線ト云フモノハ、非常ニ普通列車ニ障礙ヲ來シテ居ルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、私共ノ考カラ致シマシテ、鐵道ガ國營デアアル、公益事業トシテ國營ニ致シテ居ルコトハドウ云フコトデアアルカ、一般大衆ノ利便ヲ先ヅ第一ニ考ヘナケレバナラスコト思フデアリマス、一般大衆ノ乗ル汽車ハ三等普通列車ガ一番多クデアリマス、特急ニ乗ル者ハソレダケノ特急料金ト云フモノモ出シテ負擔ガ重クナルノデアリマスカラ、是ハ一部ノ上流階級ノ人ト見ナケレバナラス、此ノ人達ガ特急ヲ利用スル爲ニ、普通列車ヲ利用スル所ノ一般大衆ガ假ニ何時間デモ時間ガ遅レテ目的地ニ到達シナケレバナラスト云フヤウナコトハ、是ハ國營鐵道ノ趣旨ニモ反スルノデアリマスカラ、又一面カラ考ヘマスト、公益優先ト云フコトニモ甚ダ背反シテ居ルヤウナコトデハナカラウカト思フ、勿論此ノ東京大阪間ノ交通ニ付キマシテハ、今コソナ行詰リノ状態ニナツテシマツタノデアリマスカレドモ、十數年前ニ民間カラ高速度電車ノ出願ガアリマシテ、而モ其ノ出願ト云フモノハ數回ニ互ツテ出願シタ、何レモソレハ却下セラレタ實例ガアルノデアリマス、御取調ニナレバ分ルノデアリマスガ、其ノ時ニ何ノ爲ニ却下スルカト云フコトノ議論ガヤカマシカツタ位デアリマス、其ノ高速度電車ノ民間ノ企業ヲ却下スルト云フナラバ、鐵道省ニ於テ今度御計畫ニナツタヤウナ下關

東京間ノ廣軌鐵道デモ御計畫ニナツテ居ル、今日ソレガ開通シテ居ツタノデアリマス、又民間ノ企業ニ對シテ許可ヲ與ヘテ居ツタナラバ、ソレガ今日開通シテ居ツタウト思フ、ソレヲ徒ラニ一方ニ自分ノ方デ拵ヘヨウト云フ成案モナク、唯民間企業ヲ排斥スルノ餘リ、サウ云フ書類ヲ却下シタ、而モ是ハ數回ニ互ツテ出シテアルヤウデアリマスガ、何レモ却下ノ運命ニナツテ居ルト云フ状態デアリマス、只今大臣ノ御話ノ通り、全ク今日ノ状態ハ、是ハモウ人ノ力ヲ以テ及ブ譯デアリ程ノ急激ナ變化デアリマスカラ、此ノ際ノ「ドウ」シヨウト云フコトハ中々難問題デアアル、此ノ交通事業、總テ外ノモノモサウデアリマスカレドモ、殊ニ交通事業ナドノ經營ト云フモノハ、ドウシテモ十年二十年先ヲ考ヘテ、將來ドウ云フ風ニ増加スルデアラウカト云フコトヲ豫定ヲ考ヘテ、サウシテソレニ對應スル施設ヲ行カナケレバナラスト思フデアリマス、其ノ施設ガ日本ノ鐵道ニ於テ私ハ非常ニ缺ケテ居ルト思フ、細カイ例ノヤウデハアリマス、鐵道省ニ於キマシテ省營「バス」ヲ御始メニナツタ、鐵道ノ補助機關シテ「バス」ヲ使ハナケレバナラスト云フコトハ御尤モナコトデアリマス、省線ニ對シテ補助機關トシテ「バス」ヲ御使ヒニナルコトハ當然ナコトデアリマス、省線ニ對シテ、其ノ省營「バス」ト云フモノハ、民間ニ於テ帝都初メ到ル處ニ「バス」事業ガ開業サレマシテ、十四箇年經ツテ初メテ省營「バス」ガ現ハレタ、サウシテ其ノ時補助機關ナリト云フコトデ盛「バス」方々ニ手ヲ伸バシテ、省營「バス」ノ開業ヲサレヤウ



トシテ、其ノ時ニハモウ民間ノ「バス」業者ガ「バス」網ヲ張ツテ、津々浦々マデ指開業ヲサレテ居ルヲ「バス」ヲヤラウト云フコトトテ、隨分勇氣ニ大資本ヲ以テ仕事ヲシヨウト掛ツタノデアリマスルカ、民間ノ「バス」業者ト大ナル摩擦ヲ起シマシテ、省營「バス」反對同盟ト云フヤウナモノガ出来テ、何時モ議會ノ御厄介ニマデナツテ、色々質問應答等ノコトモアリマシテ、此ノ頃ハ餘リ摩擦モナイナウニ緩和ハシテ來タノデアリマスルガ、左様ナコトハ八年々留學生ナドヲ澤山ニ外國ヘモ御遣ハシテ來タノ居ルノデ、外國ノ例ヲ見マシテモ、此ノ「バス」事業ガドウ云フ状態ニ進歩シテ居ルカト云フヤウナコトモ能ク分ラナケレバナラス、左様ナモノガ民間ノ開業ヨリモ十數年モ遅レテカラ、省營「バス」ヲ省線ノ補助機關トスルナドト云フコトハ、餘リニモ遅レ過ギテ居ル、サウ云フヤウナコトハ先ニ御計畫ニナツテ、サウシテ却テ民間ノ交通ヲ指導スルト云フヤウナ見地ニ立ツテ載キタイト私ハ考ヘテ居ル、尙ホ又東海道線ニ於キマシテモ、今申上ゲマシタ通りノ事情デ、斯ウ云フ状態ニナツテ來タノデアリマスルガ、是ニ於テ一ツノ愚見ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、一體此ノ日本ノ交通事業ハ色々ニ分レテ居リマシテ、昨日モ内務大臣ニ御同ヒ致シタコトガアルノデアリマスルガ、例ヘバ道路ハ内務省デヤリ、飛行機ハ逓信省デヤツテ居リ、船舶モ逓信省デヤツテ居ル、自動車ト云フモノモ近來ニナツテ鐵道省ノ管下ニ屬スルコトニナツタ、自動車ナドハ前ニハ内務省ノ所管デアツタヤウニ思フ、サウ云フ風ニバラ／＼ニナツテ居ルノ

デアリマスルカ、ドウモ統制ガ執レナイ、ドウシテモ陸海空ト云フモノヲ一緒ニシテ考ヘナケレバナラヌト云フ點ハソコニアルノデアリマス、私ハ一體鐵道省ニ於テナゼ飛行機ヲ御使ヒニナラヌカ、飛行機ハ外國ヘ旅行ヲサレバ人ニ聞カヌカモナク、今日モウ一步外ニ出レバ殆ド飛行機旅行デアリス、飛行機ガ旅客機トシテ盛ニ御イテ陸海軍ニ於テハ洵ニ精銳ヲ以テ大ニ活動ナサレテ居ルヤウデアリマスルガ、民間飛行機ト申シマスルカ、飛行機ニ依ル輸送計畫ト申シマスルカ、飛行機ノ状態ハドウデアリマセウカ、今日ハ羽田カラ朝倉行ノ飛行機ガ一臺、午後普通ノ飛行機ガ一臺出ルト云フヤウナ状態デアアル、私ハ此ノ省線ノ特急車ナドト云フモノハ全廢シタ方ガ宜カラウ、全廢シテ特急車ハ皆飛行機輸送ニ依ツタラ宜カラウト思フ、只今申シマスルヤウニ特急及ビ急行等ガアル處ニ普通列車ガ非常ニ遅延ヲ來シテ、一般大衆ハドノ位迷惑ヲ感ジテ居ルカ分ラヌ、特急及ビ急行ヲ廢シテ、サウシテ普通列車ヲモウ少シ時間ヲ早メテ、東京大阪間十四時間ノモノヲ、十時間ニスルコトハ容易ダラウト思フ、同じ速力ヲ以テ行ケバ別ニ待避シテ居ルト云フヤウナコトモナシ、非常ニ便利ニナルノデアリマスカラ、特急ナドト云フモノハ廢メテシマツテ、一方ニ於テ飛行機輸送ヲヤリ、急行者ハ皆飛行機ニ乗セ、大キナ五十人乗位ノ旅客機ヲ造ツテ、サウシテ三分置キニデモ五分置キニデモ客ノアラン限リ幾テデモ出ス、運賃ナドモ二等級位位ヨリモ高ク取ラナイト云フヤウナ、本當ノ國家的施設ヲ致シマシテ、飛行機ヲ御使ヒニナルト云フコトガ一番宜イノデアナイカト思フノデアリマス、併シ其ノコトニ付テ何ツテ見マス、飛行機ハ逓信省ノ所管デアアルカラ、一寸工合ガ惡イト云フコトモ懸クノデアリマスルガ、今日ハ日滿支ヲ一環トシテ總テノ施設ヲヤラウト云フ際デアアルノデアリマス、逓信省ノ所管デアアラウガ、何處ノ所管デアラウガ、改善ヲ施ス爲ニ必要デアルト云フナヲ、所管ナドノコトヲ彼此レ言フベキモノデハナカラウト思フ、左様ナ状態ニ致シマシテ、東海道線ナドヲ緩和スルノミナラズ、東北、北海道ニ致シマシテモ、總テ日本ノ交通ニ於テ飛行機ヲ盛ニ御使ヒニナルト云フヤウナ御考ヘハナイデセウカ、民間飛行機ヲ盛ニスル、又飛行士ヲ養成シテソレニ乗セテ使ヒ、陸海軍ノ飛行機ト相俟ツテ民間ノ飛行機ヲ高メルト云フコトガ非常ニ便利デアナカラウト思フノデアリマス、モウ一ツ考ヘマスルコトハ、私ハナゼ飛行機ヲ利用シナラヌカト思フ、例ヘバ東京カラ六千、トシ位ノ船ヲ出シテ、其ノ船ヲ名古屋ニ着ケルトカ、大阪ニ着ケルトカ云フコトニシテ、鐵道ニ乗ル人ヲ船ニ乗セ、是モ鐵道省デ一轄ニ御經營ニナツテ、サウシテ只今ノヤウナ鐵道一本デ御考ヘニナツテ色々改良ヲナサレヨリモ、鐵道ト飛行機ト船、此ノ三ツヲ以テ計畫ヲ御立テニナルト云フコトデアリマシタナラバ、東海道線ナドノ省線ノ鐵道ト云フモノハ、相當ニ是れ緩和スルコトガ出來ルノデアナイカト思フノデアリマス、左様ナ見地カラ致シマシテ、ドウシテモ鐵道省ニ於テ先ニ御計畫ヲ御立テニナツテ、下關東京間ノ線路ヲ御拵ヘニナルト云フコトハ、是ハ是非必

分デアリマセウカラ、之ヲドレダケ早ク線ノ上ゲルカト云フコトハ申上ゲラレマセウカラ、レドモ、私ノ考ヘデハ十五年ト云フモノヲ短縮シテ、早ク大道ハ出來上ルヤウニシタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、資材ノ許ス時ニ於キマシテ十分速力ヲ進メテ行クヤウニシ、ソレマデハ土工トカ、其ノ他資材ニ餘リ依ラナクモ宜イト云フヤウナモノノ工事ヲ進メテ行クコトヲ考ヘ方デアリマス、併シ是ハ實通致シマセウカラ、假ニ堀内君ノ御話ノ東海道ナラバ東海道ノ或ル方面ガ出來マスレバ、其ノ輸送ノ混雜シテ居ルモノヲ打開シテ行クコトニ大ニ責スル所ガアルト考ヘルノデアリマス、次ハ特急ナリ普通列車ニ關シテノ御意見ガゴザイマシタガ、實ハ改良費ノ中ニ所謂鐵道道申シテ居リマス、即チ狹隘ニナツテ居ル道ト云フノデアリマスガ、是ハ道ガ狭クナツテ居ルト同ジデスガ、貨物及ビ客ガ非常ニ多イ所、サウ云フヤウナ所ハ、特ニ二ツノ線ノ所ハ四ツノ線ニモスルト云フヤウナ譯デ、是ハ改良ノ工事ノ上カラ相當サウ云フコトハ今日マデヤリ來ツテ居リマシテ、今度ノ豫算ニモサウ云フコトヲ考ヘテ居ルノガアルノデアリマス、總テノモノガ、東海道ノ東京カラ下關マデ、或ハ神戸マデ皆線ガ四ツニナラナケレバナラナイ、複々線ト云フモノハ悉クナラネバナラヌトマデ行カヌデモ、取敢ズ一番困ツタ所ヲ良クシテ行ク、斯ウ云フヤウナ方モアルノデアリマシテ、ソレヲ今色々ニヤツテ行ツテ居ルノデアリマス、次ニ特急ヲ廢メテ、サウシテ之ヲ飛行機ヲヤツタラドウカト云フ御意見デゴザイマシタガ、特急ニ付キマシテハ成程普通客ニ迷惑ヲ掛ケテ居ルト云フ見方モアリ

マセウガ、特急ハ必ズシモ社會ノ上流ノ人ノ便宜ダケト云フノデアリマセウデ、日滿支ノ交通連絡ヲ緊密化シテ行クト云フ、大東亞ノ共榮國ヲ確立スル大政策ヲ實行スル上ニ於キマシテハ、東京トバカリデハアリマセウ、日本ノ内地ト滿洲支那等ニ早ク行ケルコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマシテ、特急ハヤハリ其ノ一ツノ使命ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマシテ、必ズシモ之ヲ發達シテ社會ノ上流ノ人間ガ使ツテ居ルモノダト、サウ云フ風ニシテハ考ヘラレヌト思ツテ居リマス、併シソレナラバ飛行機デヤツタラ宜イデアナイカト云フ御意見デゴザイマスガ、飛行機モ結構デアリマシテ、レドモ、是ハ今日ノ現狀カラ申シマシテモ、飛行機ヲ製造スルニ付キマシテ、日ニ追ハレテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、今ノ特急ヤ急行ヲ皆廢シテハ、是ハ相當ノ人間ガ乗ツテ居ルノデアリマシタガ、ソレヲ皆飛行機ヲ備フツテ行カウト云フコトハ、一寸理想トシテハ宜シウゴザイマシタレドモ、現實ノ問題デハサウモ參ラヌト考ヘルノデアリマス、

次ニハ船ニ移シタラドウカト云フ御話デゴザイマスガ、實ハ其ノ船モ今日ノ造船力ト云フモノト、船ノ需要ト云フモノト、實ハ造船力ガ間に合ハヌト云フヤウナ事態デアリマシテ、ソレデ私ガ此ノ輸送ノ混雜シテ居リマス原因ノ中ニ、船ニ依ツテ輸送サレテ居ルモノガ陸上輸送ノ方ニ移ツテ來テ居ルト申シタヤウナ譯デアリマシテ、船ガ海山ニアレバ私ハ問題ハ大變都合方好イノダト思ヒマスガ、其ノ船ガ社會ノ需要ニ比シマスト十分デナイ、サウ云フ現狀デアリマシタガ、堀内君ノ言ハレルヤウ

トガ一番宜イノデアナイカト思フノデアリマス、併シ其ノコトニ付テ何ツテ見マス、飛行機ハ逓信省ノ所管デアアルカラ、一寸工合ガ惡イト云フコトモ懸クノデアリマスルガ、今日ハ日滿支ヲ一環トシテ總テノ施設ヲヤラウト云フ際デアアルノデアリマス、逓信省ノ所管デアアラウガ、何處ノ所管デアラウガ、改善ヲ施ス爲ニ必要デアルト云フナヲ、所管ナドノコトヲ彼此レ言フベキモノデハナカラウト思フ、左様ナ状態ニ致シマシテ、東海道線ナドヲ緩和スルノミナラズ、東北、北海道ニ致シマシテモ、總テ日本ノ交通ニ於テ飛行機ヲ盛ニ御使ヒニナルト云フヤウナ御考ヘハナイデセウカ、民間飛行機ヲ盛ニスル、又飛行士ヲ養成シテソレニ乗セテ使ヒ、陸海軍ノ飛行機ト相俟ツテ民間ノ飛行機ヲ高メルト云フコトガ非常ニ便利デアナカラウト思フノデアリマス、モウ一ツ考ヘマスルコトハ、私ハナゼ飛行機ヲ利用シナラヌカト思フ、例ヘバ東京カラ六千、トシ位ノ船ヲ出シテ、其ノ船ヲ名古屋ニ着ケルトカ、大阪ニ着ケルトカ云フコトニシテ、鐵道ニ乗ル人ヲ船ニ乗セ、是モ鐵道省デ一轄ニ御經營ニナツテ、サウシテ只今ノヤウナ鐵道一本デ御考ヘニナツテ色々改良ヲナサレヨリモ、鐵道ト飛行機ト船、此ノ三ツヲ以テ計畫ヲ御立テニナルト云フコトデアリマシタナラバ、東海道線ナドノ省線ノ鐵道ト云フモノハ、相當ニ是れ緩和スルコトガ出來ルノデアナイカト思フノデアリマス、左様ナ見地カラ致シマシテ、ドウシテモ鐵道省ニ於テ先ニ御計畫ヲ御立テニナツテ、下關東京間ノ線路ヲ御拵ヘニナルト云フコトハ、是ハ是非必

ナ風ニ特急ヲ急行ノ輸送ヲ船ノ輸送ニ移スト云フコトハ、現在ニ於キマシテハ中々容易ニ參ラヌコトト思フノデアリマス、

○堀内委員 一寸申上ゲマスガ、大變堀内君ハ懇切丁寧ニ御着クケラレマスガ、時間ノ都合ガゴザイマスカラ、大抵其ノ程度デ如何デゴザイマセウカ、内務大臣モ見エテ居ルノデ、西川君カラ前ニ内務大臣ニ對スル質問ガ殘ツテ居ルノデアリマシタガ、順次内務大臣ニ對スル質問ヲ許サナケレバナラヌノデアリマス、如何デアリマセウカ、モウ其ノ程度デ又他日ノ機會モアリマスカラ……

○堀内委員 一寸モウ一點……

○堀内委員 簡潔ニ言ツテ下サイ、大分アナタハ繰返シテ仰シタルカラ、長クナツテ困リマス、

○堀内委員 簡潔ニモウ一點同ツテ置キマスガ、今度政府ニ於キマシテ經濟新體制ト云フモノヲ御發表ニナツテ居ル、其ノ中ニ新體制ノ整備ニ關シテ關係行政機構及ビ其ノ事務ノ再編成ヲ行フト云フコトガ書イテアリマス、昨日内務大臣ニ一寸御伺ヒ致シタノデアリマスルガ、交通政策ガ今日ノヤウニバテ／＼ニナツテ居ツテ、道路ハ内務省デアルトカ、鐵道ハ鐵道省デアルトカ、飛行機船ハ逓信省デアルト云フコトニナツテ居リマス、ドウシテモ、斯ウ云フ際ニハ完全ナル發達ハ期セラレヌト思ヒマス、色々緊密ナル連絡ヲ取ツテヤルト云フコトデアリマスルケレドモ、役所ガ變レバヤハリ中々サウ云フ譯ニ參ラス、ソレカラ今日ノ新體制ノ趣旨ヲ順應シマシテ、道路、鐵道、船舶、飛行機ト云フヤウナモノヲ一ツノ省ニ纏メテ、所謂交通省ト云フヤウナ

要デアリマスルカラ、急イデヤツテ鐵道コトモ、又高速度交通營團ヲ至急御進メニナルコトモ、是モ洵ニ結構ナコトデアリマスガ、今對策トシテ東海道線其ノ他ニ付テ、飛行機ト船ト云フモノヲ一轄ニ御使ヒニナリ、サウシテ普通列車ノ運行ヲモツト早クスルト云フヤウナコトヲヤツタラドウカト思フノデアリマスガ、大臣ハ斯ウ云フヤウナ點ニ付テ關心ヲ御持チニナリマセウカ、伺ヒタイ

○小川國務大臣 堀内君ノ御意見ハ相當ノ理由ノアルコトト思ヒマス、ソレニ對シテ私共ノ只今考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲマス、第一「ラッシュ・アワー」ノ時ニ通勤者トカ、通學生ナドノ乗ル時間ノ調節ヲシタラドウカト云フ御考ヘデアリマシタ、是ハ此ノ前申シマシタ輸送ノ統制ト云フコトニ關聯シマスル一面デアリマシテ、貨物ニ於テモサウデアリマスガ、旅客ニ於キマシテモ、或ハ日ニ依リマシテ、又時間的ニ波動ガアルノデアリマス、其ノ波動ヲ平均サセヨウ、「ラッシュ・アワー」ノヤウニ雜沓シテ來ル時ト、サウデナイ時トアル、ソレヲ成ベク平均化シテ行カウト云フ考ヘノ下デ色々輸送統制ノ對策ガ考ヘラレルノデアリマス、即チ御指摘ニナツタ問題モ其ノ一ツデアリマス、併シ是ハ鐵道省ダケ決マリマセウゾ、關係スル所ハ甚ダ大ナルモノガアリマスノデ、斯ウ云フ問題ハ他ノ省トモ連絡シテ研究シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、

次ハ東海道線ノ問題デアリマスガ、第一ニハ、新幹線、彈丸列車ト云フモノガ容易ニ出來ナイデアナイカト云フ御話デアリマス、豫算ニハ十五年カラ昭和二十九年マデニ完成スルトシテデアリマシタレドモ、資材ガ十



ウシテ直チニ大陸ノ交通モヤリタイト云フコトデアリマシタノデ、既ニ其ノ事業ニハ取掛ツテ居ルトモ、マダ遅キトシテ計畫モ進マナイヤウナ有様デ、今後十五年ヲ經過シナケレバ完成シナイト云フヤウナコトデアリサウデアリマスカラ、洵ニ寒心ノ至リニ堪ヘマセヌ、是ハ早速促進シテ戴キタイト思フテ居リマス、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタ

第二ハ最近東京市ノ警視廳管下ニ於テ、若シ空爆ノアツタ場合ニハ六十五歳以上ノ人々ハ何處ヘ逃ケルカト云フコトヲ調べマスト、大體皆中央線ヲ逃ゲルト云フコトガ調査ノ結果ガ多クヤウデアリマス、サウシマスルト今日ノ中央線ハ迎モソレヲ賄フコトハ出来マセヌ、デアリマスカラ中央線ノ複線化ト云フコトト、名古屋マデノ電化ト云フコトガ必要ニナラウト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思フテ居リマス

第三點ハ高速度營團デアリマスガ、此ノ高速度營團ト云フコトハ、現在アリマス東京ノ地下鐵ヲ根本ニシテ、サウシテ今後工事ヲ進メマスト、是ハ迎モ其ノ「レール」モ狭イシ、深サノ點モ迎モ防空設備ニナリマセヌ、世界デ一番立派ナ地下鐵ハ最近出来マシタ「モスクワ」ノ地下鐵デアリマス、「モスクワ」ノ地下鐵ハ空爆ヲ見込メテヤツテ居リマスガ、兎ニ角相當ノ大キナ規模デ今後ヤツテ戴キタイ、今ノ地下鐵ヲ延長スルヤウナ意味ニ於テ政府ガヤラセマスルコトニナルト、將來ノ日本ノ地下鐵ノ進歩ニ對シテ故障ガ起リハシナイカ、一方ニ對シマシテハ空爆ニ對スル準備モ出来ナイ、斯ウ云フ點デアリマス、此ノ三點ヲ伺ヒタ

イト思フテ居リマス  
○小川國務大臣 第一點ノ新幹線デアリマスガ、是ハ豫算ニモ昭和十五年度カラ十五年間ノ繼續費ヲ御協賛ヲ仰イデ居リマシテ、本年ハ二千五百万圓ニナツテ居リマス、私ハ前説明シマシタヤウニ、此ノ十五年ハモツト早メヨウト考ヘテ居リマスケレドモ、今ノ資料ニ制約サレマスカラマデニ至ツテ居リマセヌ、考ヘ方ハ同ジヤウニ早クシタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點ノ空爆ニ對スル交通設備デアリマスガ、防空ニ付キマシテハ、鐵道ガケデナク、一般ニ色々ナ計畫ガアル譯デアリマシテ、今御指摘ニナリマシタヤウナコトニ付キマシテハ、或ハ避難ヲスルノニ中央線ナラ中央線ニ多クノ者ガ行クト云フコトデアレバ、ソレニ對シテノ鐵道ノ線多クシマストカ、色々ナ施設ヲスルコトガアルト思ヒマス、是ハ防空ノ計畫ト運輸ノ計畫ト云フモノガ相連繫ヲ持つテ決メルベキ問題デアリマシテ、防空計畫ハ色々他ノ省カラモソレヲ立ラレラヤウニナツテ居リマスノデ、ソレト一緒ニナツテ交通計畫モ之ヲ立テテ實現シタイト考ヘテ居リマス、第三點ノ地下鐵道デアリマスガ、是ハ技術ノ問題モアリマスノデ、何レ其ノ方面ノ衆智ヲ集メマシテ、防空ニモ十分心配ノナイ施設ヲシタイト考ヘテ居リマス、隨テ深度モ今日マデノ地下鐵道ノ深サデハ極ク常識カヲ考ヘマシテモ十分デナイ、モツト深クシナケレバナラヌコトニナルグラウト思フテ居リマス、幾ラノ深度デ宜イカト云フコトハ、是ハ技術家ナリ専門家ノ研究ニ俟タナケレバナラヌト思フテ居リマス、ソレカラ軌道ノ「レール」ノ問題デアリマス

ガ、此ノ事モ技術的ニ非常ニ考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、或ハ殺到シテ來マス時分ニハ地上ノ車ヲ地下ニ持ツテ行カナケレバナラヌコトモアリマセウカラ、其ノ軌道ノ廣サト云フコトハ、サウ云フコトヲ能ク考ヘテ決メタイト思フテ居リマス  
○笠井委員 十分御考慮願ヒマス、ソレデ結構デス  
○佐藤(洋)委員 議事進行デス——私ハ昨日思想取締問題ニ付テ内務大臣ニ御質問ヲ申上ゲタノデアリマシテ、赤ノ檢舉ノ内容ニ付テ詳細ニ御報告願ヒタイト云フ私ノ質問ニ對シマシテ、内務大臣ハ適當ナ機會ニ於テテ警保局長ナリ、何ナリカラ秘密會ニ於テ知ラセテモ宜イコト云フ回答デアリマシタ、今日午後ノ適當ナル機會ニ於キマシテ、政府ハ秘密會ヲ要求サレテ、此ノ檢舉ノ内容ニ付キマシテ詳細ナル御報告願ヒタイト思フテ居リマスガ、之ニ對シマシテ内務大臣御用意ガアリマスカドウカ、此ノ機會ニ於テ承ツテ置キタイノデアリマス  
○平沼國務大臣 其ノ御希望ガゴザイマスレバ、其ノヤウニ取計ラヒマス  
○佐藤(洋)委員 午後適當ナ機會ニ秘密會ヲ要求サレテ承リタイト思ヒマス  
○田中(耕)委員 外務大臣ニ簡單ニ一點ダケヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、先般外務大臣ガ在外同胞ニ呼ビ掛ケラレマシタ「ラヂオ」ノ放送ニ於キマシテ斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、海外ニ在留セラレル同胞諸君ニ於テモ、何卒諸君ノ祖國ノ此ノ傳統的的精神デアアル人類大道ノ大理念ヲ固ク把握シツツ、其ノ居ラレル各國民ト相和シ、又各國民ノ一部トナラレテ諸君ハ其ノ國ニ忠誠ヲ旨トシツツ、而モ祖國ノ大理想實現ニ協

カアラシコトヲ希望ス、斯ウ言ハレテ居リマス、日本人ガ外國ニ忠誠ヲ旨トスル、此ノ驚クベキ言葉ガ外務大臣ノ口カラナサレタト云フコトニ對シテ、私ハ非常ニ驚キ且ツ反對ノ意思表示ヲセザルヲ得ナイ、是ハ單ナル言葉ノ問題デアリナイノデアリマス、根本ノ名分ノ問題デアリマス、今日ハ各方面ニ於キマシテ名分ト云フコトガ亂レテ居リマスガ、結局名分ノ亂レガ世ノ亂レデ、特ニ外務大臣トシテ海外ノ同胞ニ向ツテナサレマスル世界ノ影響ヲ持つ演說ノコトデアリマスカラ、特ニ此ノ點ヲ御聽キスルノデアリマスガ、忠ト云フ文字ガ忠告、忠言、忠實、サウ云ツテ意味デ用ヒラレルノハ別ト致シマシテ、少クトモ忠誠、忠義、忠節ト云フヤウナモノニナリマスト、日本國民ト致シマシテ用ヒテ差支ヘナイノハ、天皇陛下ニ 天皇ノ國家ニ對シ奉ル場合、ソレ以外ニ於テハ斷ジテナイト思フデアリマス、忠誠ト云フコトハ日本國民ガ天子様ニ對シ奉ル根本的な態度デアリマス、一身ヲ犠牲ニシテモソレヲ喜ビトスル程ノ特異ナモノデアリマス、天皇陛下ニ對シ奉ル以外ニ現ハスコトノ出来ナイモノデアリマス、二心アルコトハ許サレナイト云フ純潔潔白ナモノデアリマス、此ノ觀念ガ外務大臣ニアリマスラバ、斯ウ云フ言葉ハ使ハレナイ管デアリマス、要スルニ言葉ノ問題ニアラズシテ、觀念信念ノ問題デアルト思ヒマスルカラ、御聽キスルノデアリマス、或ハ是ハ普通使ツテ居ル外交ノ慣用語デアルト云フカモ知レマセヌガ、忠ト云フ字ヲ忠義、忠節ナドト云フ言葉ハ勿論支那カラ來タモノデアアル、併シナガラ日本ニ參リマシテ、天皇ト臣民トノ關係ニ

於ケル忠ト云フコトニナリマスルト、是ハ支那ニハナイ所ノ特殊ナモノガ發生スルノデアリマス、支那ニ於キマス忠ト云フモノハ、其ノ時代ダケノ忠デアリ、其ノ國ダケノ忠デアル、唐ノ忠臣ハ宋ノ忠臣デハナイ、宋ノ忠臣ハ元ノ忠臣デハナイ、然レニ日本ノ天子様ニ對シ奉ル忠誠ハ千古ヲ貫ク忠誠デアリマシテ、ドンナ時代デアツテモ忠ハ忠デアリ、ドンナ事情ガアツテモ忠ハ忠デアリ、是方忠ノ根本ヲ委デアラウト思フノデアリマス、斯ウシタ態度ハ吾々日本國民ト云フ特別ナ事情カラ生ズルノデアリマス、此ノ特別ナ君臣關係ニ於ケル忠ト云フコトハ、天皇陛下以外ニ對シテ絕對ニ使フコトガ出来ナイノデアリマス、日本國民ニ在ツテハ唯 天皇陛下以外ニ使フコトノ出来ナイ言葉デアリマスガ、今外務大臣ニ依ツテ海外ニ在留セラレル各國民ノ一部トナツタ同胞ニ對シテ、其ノ國ニ忠誠ヲ盡セト云ハレタ言葉ニ接シテ、私ハ非常ニ驚キ、且ツ憤リヲ感ズル譯デアリマス、日本ニ於ケル君臣ノ道德ハ純潔デアリ、汚レナイモノデアルト云フコトニ於キマシテ、日本人ト致シマシテハ外國ニ對スル場合、例ヘバ斯ウシタ言葉ヲ使ハナケレバナイト致シマシテモ、何カ必ズ適當ナ言葉ガアルニ相違ナイ、言葉ノ使ヒ方ニ對シマシテハ十分注意セラレ、忠誠ト云フヤウナ、日本獨特ノモノヲ外務大臣トシテ海外ノ同胞ニ對シテ、言フベキモノデハナイト思ヒマス、詰リ大義名分ニ付キマシテ私ハ御伺ヒスル次第デアリマス

○松岡國務大臣 御答ヘ致シマス、只今御質問ニ於テ御述べニナリマシタ御意見ト私ハ全然御同感デアリマス、ソレハ少シ誤解

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十八回

昭和十六年二月十八日

ガ——言葉ガ短カイノデ、質疑者ニ於テ一寸見落サレタノデハナイカト思ヒマスガ、ソレハ例ヲ引ケバ例ヘバ「アメリカ」ニ生レタ日本人ノ子供ハ、「アメリカ」ノ憲法ニ依ツテ「アメリカ」市民デアル、其ノ市民ニオテ前等ガ「アメリカ」人ニナツタ以上、「アメリカ」デ忠誠デアレト云フコトヲ言ツタノデ、日本國民ニ向ツテ私ハ斷ジテ忠誠ト云フコトハ他國ニ盡セト、左様ナ言葉ヲ使フコトハナイ、ドウカ其ノ私ノ放送ヲモウ一度能ク御讀ミ直シテ願ヒタイ

○田中(耕)委員 勿論ソレハサウデアリマセウケレドモ、私共ハ例ヘバ滿洲ノ國民トナツテ滿洲ニ籍ハアリマシテモ、日本國民ガ其ノ純潔サカラ考ヘマシテモ、國籍ガミデアリマス、即チ私共ハ日本ノ天子様ニ對シ奉ル忠誠ト云フモノト、他ノ國ニ於テ使フ所ノ忠誠トハ本質ニ於テ違ツテ居ル、滿洲ニ居ラレル方ガ滿洲皇帝ニ對スル忠節ト、日本國民ガ日本ノ 天皇陛下ニ對シ奉ル忠節トハ本質ガ違フト思フ、ソレハ字ハ同ジ忠節デアリマシテモ、忠節ト云フ内容ガ違フトデアリマス、ダカラ其ノ點ハ今後日本ガ世界ニ發展スル場合ニ於テ、特ニ日本 天皇ニ對シ奉ル忠誠ト云フモノガ別ナモノデアルト云フコトヲ、ハツキリ分ルヤウニ言葉ノ上ニ用ヒテ戴キタイノデアリマス、ソレデナク世界ニ於テ全然違ツタ所ノ忠誠ト云フコトヲ日本以外ノ「レベ」ノ低イモノニ使ハレテシマフト、折角高イ所ノ意義ガ没却サレテシマフト、日本國家ニ於ケル 陛下ニ對シ奉ル國民ノ忠節ト云フモノハ、特別ナモノデアリマス、外國ニア

ル忠節トハ違フトデアリマス、之ヲ同ジヤウニ言ヒマスル時ニ、ソコニ折角ノ高イモノガ没却サレテシマフト云フコトガアルノデアリマスカラ、特別ニ斯ウシタ日本以外ニナイ忠誠ト云フ、純潔ナルモノニ對シマシテハ、今後御使ヒニナル時ニ十分御注意アラシコトヲ切望スル次第デアリマス  
○松岡國務大臣 ドウモ私ハ能クソレガ香ミ込メマセヌガ……例ヘバ「アメリカ」市民ニ忠誠ヲ誓ハシメル——固ヨリ吾々ノ 天皇陛下ニ對シ奉ル忠誠ト云フモノハ世界ニ比類アル道理ガナイ、ケレドモ、「アメリカ」市民ニナツテ居ル日本人ガ、一體ドウモ「アメリカ」ノ國家ハ各人ノ忠誠ヲ要求スルノデアリマス、其ノ言葉「私ハソコデ考ヘタノハ、ヤハリ外國ニ行キマスト、外國語ニ譯シマスト、ヤハリ「ローヤルティ」ト云ツテ居ル、「ローヤルティ」ト云フ言葉ハ、他ニ譯シヤウガナイノデアリマス、デアアルカドソウ斯ウ云フヤウニ御諒解ヲ願ヒタイ、此ノ忠誠ト云フ言葉ハ日本語ニシカナイ言葉デアリナイ、多クノ國ノ言葉ハヤリニ忠誠ト云フ言葉ハアルノデアリマス、併シ外國人ノ例ヘバ皇帝ニ忠誠ヲ誓フトカ、國家ニ忠誠ヲ誓フトカ云フノハ、同ジ字デ言ヒ表ハシテモ、吾々日本人ノ 陛下ニ對シ奉ル忠誠トハ、丁度眞疑者ノ申サレルヤウニソレハ類ガ違フト、深サモ廣サモ違フト、斯ウ云フ風ニ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレデドウモ外國ニハ忠誠ト云フモノハナイト云ウタ所デ、忠誠ト云フ字ガアルノデアリマス、ソレデ殊ニ私ハ日本國民ニ向ツテ言ツタノデハナイト云フコトヲ重ネテ申シテ置キマス、ド

ウゾ是デ御諒承ヲ願ヒマス  
○増田委員長 内務大臣ニ對スル質問ハ……  
○田中(耕)委員 ソレデハ是デ打切りマスガ、外國ニ忠誠ト云フヤウナ言葉ガアルト仰セラレマシタガ、外國語ヲ日本語ニ譯ス時ニハ、忠誠ト云フ風ニ譯サナイデ、外務大臣ガ御使ヒニナル場合ニモ適當ナ言葉ヲ使ツテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲマシテ、是デ外務大臣ニ對スル質問ヲ打切りマス  
○井上(良)委員 一寸一言關聯シテ此ノ際外務大臣ニ伺ツテ置キタイデスガ、最近ノ國際情勢ノ關係カラ、國內ニ於キマシテハ日米對立ノ空氣ガ極メテ激化致シテ居リマシテ、特ニ最近政府ガ地方廳ヲ通シマシテ、空襲下ニ於ケル要避難年長者ノ調査ヲ致シテ居リマス關係ニ、是方又非常ニ日米關係ノ惡化ニ拍車ヲ掛ケテ居ル現状デアリマス、ソコデ國民ハ何時日米ノ戦ヒガ展開スルダラウカト云フコトデ、非常ナ不安アリ——勿論壯ニ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ際斯ウ云フ公開ノ席デハドウカトモ考ヘマスガ、ソレハ「ドイッ」ノ英本土進撃作戰、此ノ見透シデアリマス、ナゼ私ガソレヲ伺フカト言ヒマス、最近「アメリカ」ニ於ケル武器貸與法案ト云フモノガ通過シテ居リマス、此ノ武器貸與法案ノ具體的な實施ト云フモノト、「ドイッ」ニ於ケル英本土上陸作戰ノ準備ガ全ク成ルト云フ問題トハ、實際的ニ重大ナル關係ヲ生ンデ來ルノデアリマス、其ノ場合ニ帝國ハ三國同盟ノ關係ニアルノデアリマスカラ、其ノ英本土上陸作戰ガ何時如何ナル方法ニ於テ行ハレルカ、或ハ又對英作戰ト云フモノハ今後ドウ云フ方向ニ進ンデ行クカト云フコトヲ、十分國

第一類第一號 豫算委員會議錄 第十八回

昭和十六年二月十八日

三七一











○西川委員 一、寸關聯シテ御伺ヒスルノデ  
 スガ、昨年ノ八月カラ中等學校ノ教科書ニ  
 對シマシテ、急ニ檢定事務ヲ停止サレテ、

○森田(福)委員 御答辯ノ趣旨ハ能ク分リ  
 マシタ、分リマシタガ、併シナガラ昨年ハ  
 文部省カラ通牒ガ來タノデアリマス、ソコ  
 ヲ誤解ナサライヤウニ願ヒタイ、文部省  
 カラ賞與ヲヤレト云フ通牒ガ來タノデアリ  
 マシテ、内務省カラ來タノデハナイ、文部  
 省カラ來タニ來テ、縣カラ町村役場ニヤツテ  
 來タ、デアルカラ御相談サレタノカドウカ  
 知リマセシガ、指圖ヲサツタノハ文部省  
 デアリマスガ、本年ハサウ云フ指圖ヲ  
 サラズニ、相談ハドノ省トナサラウト御隨  
 意デアリマスガ、從來オヤリニナル給料  
 賞與ニ付テハ、今年ハ昨年ノヤウナ惡イ例  
 ヲ御繰返シニナラナイヤウニ云フコトヲ  
 御願ヒシテ、私ハ文部大臣ニ對スル質問ヲ  
 終リマス

○西川委員 一、寸關聯シテ御伺ヒスルノデ  
 スガ、昨年ノ八月カラ中等學校ノ教科書ニ  
 對シマシテ、急ニ檢定事務ヲ停止サレテ、

五種目ニ之ヲ統制サレタ、其ノ爲ニ選ニ漏  
 レタモノハ、相當ノ「ストック」ヲ持ツテ居  
 タモノガ何等モ立タナクナツタ、出版ノ  
 書肆ハ非常ナル損害ヲ蒙ツタコトハ勿論  
 アリマスガ、此ノ資源ノ缺乏シテ居ル際ニ  
 非常ナル無駄ヲ資源ノ上カラシテモシタ  
 デアリマス、印刷用紙ガ非常ニ無駄ニナ  
 タ、何等ノ豫告モ與ヘズニ、之ニ對スル準  
 備ノ期間モ何モノイヘ、急ニソレヲオヤリ  
 ニナツタノハ、一體何ノ目的デアルカ、是  
 ハ教育上ニモ多大ノ支障ヲ來シテ居ル、  
 由ガアツテ、ソレヲナサツタノデアルカ、  
 將來中等學校ノ教科書ヲ國定ニナサル御  
 意ガアルカドウカ、若シ國定ニナサル際  
 ハ、現在教科書出版シテ居ル者ニ付テハ、  
 是ハドウ云フ風ヲ御扱ヒヲナサレルノデ  
 ルカ、此ノ三點ニ付テ一寸御伺ヒシテ置  
 キタイノデアリマス

○橋田國務大臣 中等學校ノ教科書ノ制限  
 ニ付キマシテハ、委細ノコトハ若シ必要ガ  
 アレバ、政府委員ヨリ説明致サセマスガ、  
 根本ハ丁度御趣旨ノ如ク、紙ノ不經濟ヲ是  
 正シヨウト思フツテヤツタコトデアリマス、  
 其ノ際ニモ色々「ストック」ニナツテ却テ無  
 駄ニナリハシナイカト云フヤウナ御話モ到  
 ル處デ、此處デハゴザイマセシガ、他ノ機  
 會ニ於テ御質問ガアツタヤウデゴザイマス  
 ガ、其ノ際ニ圖書局長ナドノ説明申上ゲマ  
 ス所デハ、大體サウ云フコトハ巷間傳ヘラ  
 レル程ノモノデハナイト云フヤウニ、私承  
 知致シテ居ル次第デゴザイマス、目的ハ尤  
 モ紙ノ問題ダケデアリマセシガ、實ハ從來  
 ノコトヲ申上ゲテ甚ダ恐縮ニ存ジマスガ、  
 檢定ガ爾ハバ少シ甘カワツタト云フヤウナ點

ガアリマシテ、モウ玉石混淆ト云フ状態デ、  
 教科書ノ種類ガ何百種ト云フモノガアリ  
 シタ、ソレヲ使用スルコトニ付テ、又色々  
 シタシキ問題ナドモ差起ツテ居ルノデアリ  
 マシテ、サウ云フモノモ同時ニ止メルト云  
 フヤウナ考ヘ、成ベク良イモノヲ選リ出ス  
 ト云フヤウナ考ヘ、二三ノサウ云フ觀點カ  
 ラ教科書ノ統制ト云フコトデ、檢定一時  
 止メルト云フコトヲ致シテ居ルノデアリマ  
 ス、是ハ昨年試ミタ問題デアリマシテ、ソ  
 レニ依ツテ實際ニ折角紙ノ節約ヲシヨウト  
 心得テ、却テ節約ニナラナカツタト云フヤ  
 ウナコトガ若シ事實起リマスレバ、是ハ又  
 考慮シナケレバナラス問題デアルト考ヘテ  
 居リマス

カモ知レマセシ、ソレヲ十分考究シナケレ  
 バナラスト思ヒマスケレドモ、出來レバ政  
 府自ラガハ印刷シテ行クベキモノデア  
 ルト考ヘテ居リマス

○北野委員 一、寸關聯シテ御伺ヒスルノデ  
 スガ、昨年ノ八月カラ中等學校ノ教科書ニ  
 對シマシテ、急ニ檢定事務ヲ停止サレテ、

○橋田國務大臣 文化或ハ科學ト云フコト  
 ニ付テ概念ノ議論ヲオモヒニ關ハスコトハ  
 何時間掛ツテモ盡キマセシカト存ジマスガ  
 ラ、極ク簡單ニ申上ゲマスガ、科學性ト云  
 フコトハ科學デハナイト思ヒマス、科學性  
 デアラウト思フコトガ既ニ科學性ノ一ツ  
 學ヲ離レテアルト一應ハ考ヘラレマスケレ  
 ドモ、其ノ素材ヲ如何ナルモノヲ採ツテ來  
 タラ宜イカ、鑿ハ之ヲドウ低イダラ如何ニ  
 切レルカト云フコトハ、科學的ニ考ヘテス  
 ル時ノ方ガ非科學的ニ考ヘタルヨリモ宜  
 イ、音樂ニシテモ、昔ノ素材ヲ撰ヘルコト  
 ヲ日本人ハ甚ダ忘レテ居ルヤウデアアルガ、  
 素材ヲ撰ヘルコトハ音樂ヲ撰ヘルコト  
 ノ點ガアル、音樂ヲ科學的ニ撰ヘテ來テ後  
 ニ音樂ヲ發達セシメル方法モアルト考ヘル  
 ノデアリマス、デアリマスカラ科學其ノモ  
 ノヲ總テノ場所ニ打込ムト云フノデハナ  
 ク、科學性ヲ失ハセナイヤウニ云フ意味  
 デアラウト了解シテ蓋支ヘナイノデアラウ  
 ト思フノデアリマス

○田中(耕)委員 陸海軍大臣ニ御質問申上  
 ゲタイノデアリマスガ、今日ハ御見エニナ  
 リマセシノデ、陸海軍政府委員ノ方カラ御  
 傳ヘラ御ヒ、又御答辯ハ政府委員ノ方カラ  
 御願ヒシテ宜イト思ヒマス、第一點ハ高度ノ  
 國防ヲ建設スルニ付テ、全世界ガ各、全  
 ヲ學ガテ居ルコトハ申スマデモナイコトデ  
 アリマスガ、其ノ最モ大切ナモノハ何ト云  
 フテモ科學兵器ノ充實デアルト思フノデア  
 リマス、今日ノ歐洲ノ戰爭ニ見マシテモ、  
 極言スレバ是ハ學問ト學問ト戰ヒデアリ、  
 科學ト科學ト戰ヒデアルト言ヒ得ルノデア  
 リマス、日本ノ防禦ト云フコトカラ見マシ  
 テモ、何時モ防空空襲ヲ致シマスルガ、私共  
 ハ 陛下ノ在シマス帝都ノ空ニ敵ノ飛行機  
 ノデアリマス、之ヲ防グ場合ニ今日ノヤウ  
 ナ消極的ノモノデアツテハナラナイ、即チ  
 敵ノ爆撃機ヲ戰闘機ヲ以テヤツケルトカ、  
 或ハ高射砲ニ依ツテ之ヲ撃チ落スト云フヤ  
 ウナコトデハ駄目ナノデアリマシテ、結局  
 ハ科學ノ力ニ依ツテ今日空想ト思ハレル所  
 謂殺人光線トカ、或ハ電氣ノ力ヲ射落スト  
 云フヤウナコトヲ、ドウシテモ考ヘテ行カ  
 ナケレバナラナイノデアリマス、又進ンデ  
 敵ヲ撃ツ場合ニ於キマシテモ、既ニ百ト  
 シ「戰車ガ出來ルト云フヤウナ場合ニ、其ノ  
 百ト」戰車ヲ撃チ抜クダケノ對戰車砲ダ

○田中(耕)委員 陸海軍大臣ニ御質問申上  
 ゲタイノデアリマスガ、今日ハ御見エニナ  
 リマセシノデ、陸海軍政府委員ノ方カラ御  
 傳ヘラ御ヒ、又御答辯ハ政府委員ノ方カラ  
 御願ヒシテ宜イト思ヒマス、第一點ハ高度ノ  
 國防ヲ建設スルニ付テ、全世界ガ各、全  
 ヲ學ガテ居ルコトハ申スマデモナイコトデ  
 アリマスガ、其ノ最モ大切ナモノハ何ト云  
 フテモ科學兵器ノ充實デアルト思フノデア  
 リマス、今日ノ歐洲ノ戰爭ニ見マシテモ、  
 極言スレバ是ハ學問ト學問ト戰ヒデアリ、  
 科學ト科學ト戰ヒデアルト言ヒ得ルノデア  
 リマス、日本ノ防禦ト云フコトカラ見マシ  
 テモ、何時モ防空空襲ヲ致シマスルガ、私共  
 ハ 陛下ノ在シマス帝都ノ空ニ敵ノ飛行機  
 ノデアリマス、之ヲ防グ場合ニ今日ノヤウ  
 ナ消極的ノモノデアツテハナラナイ、即チ  
 敵ノ爆撃機ヲ戰闘機ヲ以テヤツケルトカ、  
 或ハ高射砲ニ依ツテ之ヲ撃チ落スト云フヤ  
 ウナコトデハ駄目ナノデアリマシテ、結局  
 ハ科學ノ力ニ依ツテ今日空想ト思ハレル所  
 謂殺人光線トカ、或ハ電氣ノ力ヲ射落スト  
 云フヤウナコトヲ、ドウシテモ考ヘテ行カ  
 ナケレバナラナイノデアリマス、又進ンデ  
 敵ヲ撃ツ場合ニ於キマシテモ、既ニ百ト  
 シ「戰車ガ出來ルト云フヤウナ場合ニ、其ノ  
 百ト」戰車ヲ撃チ抜クダケノ對戰車砲ダ

○北野委員 一、寸關聯シテ御伺ヒスルノデ  
 スガ、昨年ノ八月カラ中等學校ノ教科書ニ  
 對シマシテ、急ニ檢定事務ヲ停止サレテ、

○橋田國務大臣 中等學校ノ教科書ノ制限  
 ニ付キマシテハ、委細ノコトハ若シ必要ガ  
 アレバ、政府委員ヨリ説明致サセマスガ、  
 根本ハ丁度御趣旨ノ如ク、紙ノ不經濟ヲ是  
 正シヨウト思フツテヤツタコトデアリマス、  
 其ノ際ニモ色々「ストック」ニナツテ却テ無  
 駄ニナリハシナイカト云フヤウナ御話モ到  
 ル處デ、此處デハゴザイマセシガ、他ノ機  
 會ニ於テ御質問ガアツタヤウデゴザイマス  
 ガ、其ノ際ニ圖書局長ナドノ説明申上ゲマ  
 ス所デハ、大體サウ云フコトハ巷間傳ヘラ  
 レル程ノモノデハナイト云フヤウニ、私承  
 知致シテ居ル次第デゴザイマス、目的ハ尤  
 モ紙ノ問題ダケデアリマセシガ、實ハ從來  
 ノコトヲ申上ゲテ甚ダ恐縮ニ存ジマスガ、  
 檢定ガ爾ハバ少シ甘カワツタト云フヤウナ點

ガアリマシテ、モウ玉石混淆ト云フ状態デ、  
 教科書ノ種類ガ何百種ト云フモノガアリ  
 シタ、ソレヲ使用スルコトニ付テ、又色々  
 シタシキ問題ナドモ差起ツテ居ルノデアリ  
 マシテ、サウ云フモノモ同時ニ止メルト云  
 フヤウナ考ヘ、成ベク良イモノヲ選リ出ス  
 ト云フヤウナ考ヘ、二三ノサウ云フ觀點カ  
 ラ教科書ノ統制ト云フコトデ、檢定一時  
 止メルト云フコトヲ致シテ居ルノデアリマ  
 ス、是ハ昨年試ミタ問題デアリマシテ、ソ  
 レニ依ツテ實際ニ折角紙ノ節約ヲシヨウト  
 心得テ、却テ節約ニナラナカツタト云フヤ  
 ウナコトガ若シ事實起リマスレバ、是ハ又  
 考慮シナケレバナラス問題デアルト考ヘテ  
 居リマス

カモ知レマセシ、ソレヲ十分考究シナケレ  
 バナラスト思ヒマスケレドモ、出來レバ政  
 府自ラガハ印刷シテ行クベキモノデア  
 ルト考ヘテ居リマス

○北野委員 一、寸關聯シテ御伺ヒスルノデ  
 スガ、昨年ノ八月カラ中等學校ノ教科書ニ  
 對シマシテ、急ニ檢定事務ヲ停止サレテ、

○橋田國務大臣 文化或ハ科學ト云フコト  
 ニ付テ概念ノ議論ヲオモヒニ關ハスコトハ  
 何時間掛ツテモ盡キマセシカト存ジマスガ  
 ラ、極ク簡單ニ申上ゲマスガ、科學性ト云  
 フコトハ科學デハナイト思ヒマス、科學性  
 デアラウト思フコトガ既ニ科學性ノ一ツ  
 學ヲ離レテアルト一應ハ考ヘラレマスケレ  
 ドモ、其ノ素材ヲ如何ナルモノヲ採ツテ來  
 タラ宜イカ、鑿ハ之ヲドウ低イダラ如何ニ  
 切レルカト云フコトハ、科學的ニ考ヘテス  
 ル時ノ方ガ非科學的ニ考ヘタルヨリモ宜  
 イ、音樂ニシテモ、昔ノ素材ヲ撰ヘルコト  
 ヲ日本人ハ甚ダ忘レテ居ルヤウデアアルガ、  
 素材ヲ撰ヘルコトハ音樂ヲ撰ヘルコト  
 ノ點ガアル、音樂ヲ科學的ニ撰ヘテ來テ後  
 ニ音樂ヲ發達セシメル方法モアルト考ヘル  
 ノデアリマス、デアリマスカラ科學其ノモ  
 ノヲ總テノ場所ニ打込ムト云フノデハナ  
 ク、科學性ヲ失ハセナイヤウニ云フ意味  
 デアラウト了解シテ蓋支ヘナイノデアラウ  
 ト思フノデアリマス

○田中(耕)委員 陸海軍大臣ニ御質問申上  
 ゲタイノデアリマスガ、今日ハ御見エニナ  
 リマセシノデ、陸海軍政府委員ノ方カラ御  
 傳ヘラ御ヒ、又御答辯ハ政府委員ノ方カラ  
 御願ヒシテ宜イト思ヒマス、第一點ハ高度ノ  
 國防ヲ建設スルニ付テ、全世界ガ各、全  
 ヲ學ガテ居ルコトハ申スマデモナイコトデ  
 アリマスガ、其ノ最モ大切ナモノハ何ト云  
 フテモ科學兵器ノ充實デアルト思フノデア  
 リマス、今日ノ歐洲ノ戰爭ニ見マシテモ、  
 極言スレバ是ハ學問ト學問ト戰ヒデアリ、  
 科學ト科學ト戰ヒデアルト言ヒ得ルノデア  
 リマス、日本ノ防禦ト云フコトカラ見マシ  
 テモ、何時モ防空空襲ヲ致シマスルガ、私共  
 ハ 陛下ノ在シマス帝都ノ空ニ敵ノ飛行機  
 ノデアリマス、之ヲ防グ場合ニ今日ノヤウ  
 ナ消極的ノモノデアツテハナラナイ、即チ  
 敵ノ爆撃機ヲ戰闘機ヲ以テヤツケルトカ、  
 或ハ高射砲ニ依ツテ之ヲ撃チ落スト云フヤ  
 ウナコトデハ駄目ナノデアリマシテ、結局  
 ハ科學ノ力ニ依ツテ今日空想ト思ハレル所  
 謂殺人光線トカ、或ハ電氣ノ力ヲ射落スト  
 云フヤウナコトヲ、ドウシテモ考ヘテ行カ  
 ナケレバナラナイノデアリマス、又進ンデ  
 敵ヲ撃ツ場合ニ於キマシテモ、既ニ百ト  
 シ「戰車ガ出來ルト云フヤウナ場合ニ、其ノ  
 百ト」戰車ヲ撃チ抜クダケノ對戰車砲ダ

○田中(耕)委員 陸海軍大臣ニ御質問申上  
 ゲタイノデアリマスガ、今日ハ御見エニナ  
 リマセシノデ、陸海軍政府委員ノ方カラ御  
 傳ヘラ御ヒ、又御答辯ハ政府委員ノ方カラ  
 御願ヒシテ宜イト思ヒマス、第一點ハ高度ノ  
 國防ヲ建設スルニ付テ、全世界ガ各、全  
 ヲ學ガテ居ルコトハ申スマデモナイコトデ  
 アリマスガ、其ノ最モ大切ナモノハ何ト云  
 フテモ科學兵器ノ充實デアルト思フノデア  
 リマス、今日ノ歐洲ノ戰爭ニ見マシテモ、  
 極言スレバ是ハ學問ト學問ト戰ヒデアリ、  
 科學ト科學ト戰ヒデアルト言ヒ得ルノデア  
 リマス、日本ノ防禦ト云フコトカラ見マシ  
 テモ、何時モ防空空襲ヲ致シマスルガ、私共  
 ハ 陛下ノ在シマス帝都ノ空ニ敵ノ飛行機  
 ノデアリマス、之ヲ防グ場合ニ今日ノヤウ  
 ナ消極的ノモノデアツテハナラナイ、即チ  
 敵ノ爆撃機ヲ戰闘機ヲ以テヤツケルトカ、  
 或ハ高射砲ニ依ツテ之ヲ撃チ落スト云フヤ  
 ウナコトデハ駄目ナノデアリマシテ、結局  
 ハ科學ノ力ニ依ツテ今日空想ト思ハレル所  
 謂殺人光線トカ、或ハ電氣ノ力ヲ射落スト  
 云フヤウナコトヲ、ドウシテモ考ヘテ行カ  
 ナケレバナラナイノデアリマス、又進ンデ  
 敵ヲ撃ツ場合ニ於キマシテモ、既ニ百ト  
 シ「戰車ガ出來ルト云フヤウナ場合ニ、其ノ  
 百ト」戰車ヲ撃チ抜クダケノ對戰車砲ダ

○北野委員 一、寸關聯シテ御伺ヒスルノデ  
 スガ、昨年ノ八月カラ中等學校ノ教科書ニ  
 對シマシテ、急ニ檢定事務ヲ停止サレテ、

○橋田國務大臣 中等學校ノ教科書ノ制限  
 ニ付キマシテハ、委細ノコトハ若シ必要ガ  
 アレバ、政府委員ヨリ説明致サセマスガ、  
 根本ハ丁度御趣旨ノ如ク、紙ノ不經濟ヲ是  
 正シヨウト思フツテヤツタコトデアリマス、  
 其ノ際ニモ色々「ストック」ニナツテ却テ無  
 駄ニナリハシナイカト云フヤウナ御話モ到  
 ル處デ、此處デハゴザイマセシガ、他ノ機  
 會ニ於テ御質問ガアツタヤウデゴザイマス  
 ガ、其ノ際ニ圖書局長ナドノ説明申上ゲマ  
 ス所デハ、大體サウ云フコトハ巷間傳ヘラ  
 レル程ノモノデハナイト云フヤウニ、私承  
 知致シテ居ル次第デゴザイマス、目的ハ尤  
 モ紙ノ問題ダケデアリマセシガ、實ハ從來  
 ノコトヲ申上ゲテ甚ダ恐縮ニ存ジマスガ、  
 檢定ガ爾ハバ少シ甘カワツタト云フヤウナ點

ガアリマシテ、モウ玉石混淆ト云フ状態デ、  
 教科書ノ種類ガ何百種ト云フモノガアリ  
 シタ、ソレヲ使用スルコトニ付テ、又色々  
 シタシキ問題ナドモ差起ツテ居ルノデアリ  
 マシテ、サウ云フモノモ同時ニ止メルト云  
 フヤウナ考ヘ、成ベク良イモノヲ選リ出ス  
 ト云フヤウナ考ヘ、二三ノサウ云フ觀點カ  
 ラ教科書ノ統制ト云フコトデ、檢定一時  
 止メルト云フコトヲ致シテ居ルノデアリマ  
 ス、是ハ昨年試ミタ問題デアリマシテ、ソ  
 レニ依ツテ實際ニ折角紙ノ節約ヲシヨウト  
 心得テ、却テ節約ニナラナカツタト云フヤ  
 ウナコトガ若シ事實起リマスレバ、是ハ又  
 考慮シナケレバナラス問題デアルト考ヘテ  
 居リマス

カモ知レマセシ、ソレヲ十分考究シナケレ  
 バナラスト思ヒマスケレドモ、出來レバ政  
 府自ラガハ印刷シテ行クベキモノデア  
 ルト考ヘテ居リマス







數ヲ出シテ、物價指數ハ昇ツテ居ナイト云フヤウナコトヲ實ハレテ居タガ、公定相場ノ下ニ於ケル物價指數ト云フモノハサウ動キマセズ、所ガ商品ノ取引ト品質低下ノ問題ヲ除外シテ大變デス、スフノ靴下ヲ買ヒ、スフノ洋服ヲ着タリシ居リマスガ、價值ハ純毛ノ時ト違ハナイ、併シ實際用化シタ場合ハ三分ノ一耐久力シカナイ、此ノ商品ノ品質低下ニ伴フ實質賃金ノ引下、物價ノ値上リニ目ヲ付ケテハナラナイ、之ヲ度外視シテ考ヘテ貰ツテハナラナイ、現實ノ勞働者ノ生活必需品ト云フモノハ日々トシテ、値上ニナツテ居ル、政府ハ一體何時マデ勞働賃金ヲ釘付ニシヨウトスルノカ、ソコデ例ヘバ最近國民勞働手帳制度ヲ實施シテ、其ノ勞働手帳ヲ持タナケレバ工場ニ雇ツテ貰ヘナイ、サウシテ勞働手帳ハ工場主ニ預ケルノデス、勞働者ノ生活ノ生殺與奪ノ權ヲ工場主ガ握ルコトニナル、是ハ重大ナコトデアアル、斯様ナ法律的、形式的解釋ニ依ツテ勞働者ノ生産能率ヲ高メルト考ヘルコトハ間違デアル、何故ニ勞働者ハ移動スルカト云フ原因ヲ考ヘナイ、此ノ弊々ト勞働者ノ生活ヲ壓迫シテ居ル現實ノ生活苦カラ勞働者ハ逃レタイ、サウシテ少クトモ高賃金ノ待遇ノ好イ所ニ行カウトスルノガ勞働者ノ氣持デアアル、之ニ對スル全面的ニ勞働對策ヲ講ゼズニ、唯勞働者ニ手帳ヲ持タシテ置ケバ間違ナイト考ヘテ居ツタナラバ大變ナ間違デス、此ノ法律ガ施行サレタナラバモット勞働能率ハ低下シマス、政府ハ既ニ藝妓ノ鑑札問題ヲ御承知デアリマセウ、藝妓ノ鑑札ガ樓主ナドニ持タレル爲ニ、如何ニ奴隷的ナ待遇ヲ彼女等方受ケテ居ツタカト云フコトカラ、地

方府縣ニ於テハ、樓主ガ藝妓ノ鑑札ヲ持ツコトハイヤケナイ、鑑札ハ本人ニ持タセルコトニシテ、藝妓ノ鑑札デサヘ本人ニ持ツコトニシテ、勞働者ノ生殺與奪ノ權ヲ工場主ニ預ケテ、勞働者ノ生活ヲ高メルコトデ此ノ與ヘルコトハ勞働能率ヲ高メルコトデ此ノ際政府ハ眞ニ重大時局ヲ考ヘラレ、勞働者ニ一塊ノ石ヲ投サセムコトヲ一棄ノ機ニシテ、多ク製造サセムコトヲ努力セシメルニハ、少クトモ物價ノ變動ニ應ジテ勞働賃金ヲ變更スルコトヲ立場ニナラナケレバ駄目デス、物價指數ノ變動ニ應ジテ勞働賃金モ變更スル、此ノ態度ヲ先ツ政府ガ執ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、政府ハ一年ニ一回カ三回、物價指數ヲ測ベテ、ソレニ伴フテ勞働賃金ヲ變更スル新シイ慣習ト申シマスガ、一ツノ制度ヲ持タレテ、賃金制度ニ對スル根本的對策ヲ立テラレル必要ガアルト思ヒマスガ、之ニ對スル大臣ノ御意見ヲ伺ヒマ

力休業ニ伴フ手當ヲ認メタリ、家族手當ヲ許シタリ、未經験勞働者ノ初給賃金ヲ改訂シタリ致シテ居ルデアリマス、賃金委員會ガ昨秋賃金統制令要綱ヲ決定致シマシテ以テ來開イテ居リマセウガ、近々平均時間制賃金、標準賃金等ヲ審議ヲ御願ヒスル苦デアリマス、是等ノ決定ノ結果ハ又賃金ノ適正化ニ資スル所ガ多ク存シマス、御尋ネノ勞働者ノ生活困難云々ト云フ點モ御尤モニハ存シマスガ、或ハ間ガ行ハレカト云フ品價ガ下ツテ居ルカラト云フコトヲ考慮ニ入レテ其ノ都度賃金ヲ引上ゲルコトヲ云フヤウナコトヲ致シマス、今度他方面デハ生産費ガ増大シタカラ之ヲ適正物價ニ引上ゲテ呉レト云フコトガ到ル處ニ行ハレルデアリマス、サウナリマス、今度又勞働者ノ方ハ物價ガ上ツタカラ賃金モ上ゲテ呉レト云フ、何處マデ行ツテモ飽ゴツコト際限ナイコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、世ノ中ハ「アラス・マイナス」ノ交錯連續デアリマスカラ、能ク其ノ邊ノ所ハ御考ヘ、併セテ願ヒタイト存シマス

米食時間ハ午後七時半マデアル、七時半マデ殘業シテ居ツテハ翌朝マデ飯ガ食ヘナイ、而モ飯屋デ食ハレハ非常ニ分量ガ少クナツテ居ル、腹一杯ノ飯ガ食ベラレナイ、若シ喰ベヨウトスレバ他ノ飯屋ニ又行カナケレバナラス巷ニハ梯子飯ト云ハレテ居、梯子飯ニ梯子飯ガ流行シテ居ル、此ノ事實ヲアナタハドウ御考ヘニナルカ、深刻ナ問題デス、腹一杯飯ヲ食ベテ元氣良ク働カウトスルノニ腹一杯飯ガ食ベラレナイイデヤナイカ、御飯ノオ代リヲ出シマセズ、飯ノオ代リヲ出シテ居ツテハ儲カリマセスカラ盛切リノ飯デ、代リノ註文ハオ断リスルノデスヨ、ソレデドウシテモ又別ノ飯屋ニ行カナケレバナラス、公定相場商品ヲ抑ヘテモ、別ノ所ニ行カナクテハナラスヤウデハ何モナラス、而モ餘計食ベルヤウニナル、斯ウ云フ機械的ナコトニ放任シテ少シモニ對スル對策ヲ講ジナイ、サウシテ少シ賃金ヲ上ゲテ呉レト云フモノハ物價全體ガ上ルカラ困ルト云フ、是ハ根本的ノ間違デ、考ヘ方ヲ直サナケレバイヤカス、今一ツ賃金ノ性質ヲ考ヘル場合ニ、日本ノ現在ノ賃金ト云フモノハ日本ノ産業ノ性質ニ依存ヲ致シテ居リマス、從來我國ノ産業ハ輕工業、家内工業時代ヲ經テ發展シテ來タムデアリマス、隨テ賃金形態ト云フモノガ輕工業ノ家内の、手工業時代ノ低賃金發展シテ來タムデアリマス、又其ノコトニ依ツテ日本ハ非常ニ安イ品物ガ出來、家内工業の生産物ヲ中心トシテ歐米ノ市場ニ輸出シテ居ツタコトハ事實デス、所ガ事變始ツテ以來ハ政府ガ現實ニ身ヲ以テ經驗セラレルヤウニ、我が國ノ産業形態ガ輕工業カラ重工業ニ根本的ナ質的發展ラシタ、勞働人口ヲ見マシテ重工業ノ

勞働人口ト輕工業ニ働ク人口ハ全然逆ニナツテ來タリ而モ重工業ハ新タナ國防充實ノ爲メ、新タナ軍需生産ノ發展ノ爲ニ其ノ技術ヲ高メナケレバナラスコトニナツテ來タリ、然ルニ賃金ハ手工業時代ノ輕工業的性質ヲ持ツタ賃金ヲ拂ツテ居ル、技術ノ科學ヲ基礎ニシ能率ヲ基礎ニシタ賃金デアリナイ、故ニ賃金標準ヲ決メル場合ニ御考ヘラ御ハナケレバナラス問題ガアル、之ヲ決メナケレバ「アメリカニ對シ、ロシアニ對シ」技術ノ振興ハ出來ナイ、少クトモ重工業ヲ基礎ニシタ科學技術ノ水準ヲ高メル爲ニ、賃金ノ性格ヲ新シク此ノ際考ヘ直ス必要ガアルト思フ、此ノ點ニ對スル大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フ

配給シテ居リマス場合ハ問題ハナイ、併シ外部カラ通動シテ居ル人々ハ、自分ノ要求スル「エネルギー」ガ攝レナイト云フコトニナツテ居ル、ガカラ少クトモ能率ヲ高メ、技術ヲ高メル爲ニハ、食ベル方ダケハ大體心配ノナイヤウニシテ、勤勞者ノ最低ノ生活ヲ保障シテヤルト云フ線ヲ引カナケレバナラス、サウシテ勞働者ニ致シマシテモ、或ハ「ゴム」靴ニ致シマシテモ、或ハ地下足袋ニ致シマシテモ、或ハ又手袋ニ致シマシテモ、完全ニ實物供給ヲ徹底致シマシテ、勿論ハ産業報國會ニ於テヤルベキコトデゴザイマスケレドモ、サウ云フモノニ對スル積極的ナ手當ヲ致サナケレバ、勞働者ノ移動ハ防止出來マセズ、若シソレヲ無理ニ防止シヨウトスルナラバ、一種ノ能率低下問題ガ起ツテ來マスカラ、實物供給ニ對スル對策ヲ十分講ジテヤツテ貰ヒタイ、ソレカラ今一ツソレヲ「カバ」スル問題ハ、福利施設、厚生施設ノ徹底デアリマス、現在厚生省ハ色々ナ福利厚生施設ヲ考ヘ、又勞働者ニ對スル年金制度ヲ御考ヘラ御ヒ、且又健康保險積立金制度等、色々ナ對策ヲ講ジテ戴イテ居リマスケレドモ、今度ノ年金制度ニ致シマシテモ、是ハ二十年、三十年先ノコトデ、今日ノ問題デナイ、是ハ一ツノ「インフレ」對策トシテ考ヘタト云ハレタ方ガ却テ明瞭デ、現實當面ノ問題デハナイ、政府ハ一ツノ豫算ガ通り、一ツノ制度ガ出來マス、役人ガ二十人ヤ三十人直ガ出來ル、地方ハドウナツテ居ルカ、地方ニ於テハ府ガヤル、市ガヤル、民間團體ガヤルト云フヤウナ譯デ其ノ横ノ連絡ト云フモノガ一ツモノナイ、殆ドナイト云フ宜イ、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ、モウ少シ福利機關ノ横ノ

連絡ヲ緊密ニサセテ、行ク／＼ハ之ヲ勤勞國民ノ生活協同體ニ結成スル方策ヲ取ツタナラバ宜イノチヤナイカト思フ、サウ云フ點カラ是非一ツ高度國防國家體制ノ確立ニ一番大切ナ國民ノ福利協同體ノ確立ト云フ點ヲ考ヘテ貰ヒタイ、高度國防國家體制ヲ完成スル爲ニハ生産力ノ擴充、生産力ノ擴充ノ爲ニハ勞働生産性ノ昂揚、勞働生産性ノ昂揚ノ爲ニハ勞働生活ノ安定ヲ目標トスル福利協同體、斯ウ云フコトニナリマスカラ高度國防國家建設ノ一環トシテ勞働者ノ生活安定ノ爲ニモ福利協同體ヲ作ル必要ガアリマス、ソレニハバ「デナシ」一ツノ體系ヲ持ツタモノニシテ、全國的ナ協同體ヲ御見ヨト思ヒマスガ、之ニ對シテ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ソレカラ其ノ次ノ御質問ノ中ニ現物供給ヲヤツテハドウカト云フヤウナ御意見モゴザイマシタヤウデスガ、是モ御尤モノコトデゴザイマシテ、厚生省ト致シマシテハ、成ベク現物ノ供給ヲシタ方ガ宜イト思フモノハ、出來ル限り其ノ給與ヲ致スコトニ致シテ居リマス、現ニ給與シテ居ルデアリマス、モウ少シ之ヲ擴大シタイト思ヒマスケレドモ、ヤハリ食料品ノ如キ殊ニ米ノ如キハ思フニ任セナイデアリマス、福利厚生施設ヲ統一シテ共同施設のニヤツテハドウカト云フヤウナ御意見モゴザイマシタガ、是ハ度々申スコトデアリマスガ、産業報國會ヲ通ジテ、成ベク統一ニ指導シテヤツテ行ク積リデゴザイマスカラ、大體ニ於テ御趣旨ニ副フヤウナコトニナルドラウト存シマス

○井上(眞)委員 戰時下國民ノ保健、體位向上、ソレカラ勞働生産力擴大ノ爲ニ一番大切デアル産業勞働部隊デアル産業戰士ノ指導ノ總指揮官ハアナタデアリマスカラ、アナタノ責任ハ非常ニ重イノデス、一ツ指導ヲ誤リマス、直接前線ノ將兵ノ使ヒマス兵器彈藥ニ影響スルノデアリマス、問題ハ「ソ」聯ノ近代技術ト日本ノ勞働者ノ持テル技術戰デアリマス、アナタノ御指導努力ニ依リマシテ、全國ノ生産勞働戰士ガ勇躍シテ國家ノ要請ニ赴キマス、併シ少シ下手ヲヤリマス、生産能率ガ下リマス、勞働ハ生キ物デスカラ、能ク御考ヘラ御ヒ

○金光國務大臣 大體只今ノ御質問ノ御意見ノ趣旨ニ從ツテヤリタイト云フ心構ヘデアリマス、ソレカラ只今食糧ガ足ラヌデ云々ト云フ御話モゴザイマシタ、是亦御尤モニ存シマスガ、是ハオノコトデ吾々ハ同ジ狀況ニアラナイデアリマス、併シ吾々ハ大シタ勞働モ致シマセスカラ我慢出來マセウガ、工場方面ノ勞働者ニ付テハ特別ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト云フ點ハ御同感デアリマス、賃金ニ關スル點モ御意見ノ御趣旨ノ通り御同感デアリマスカラ、其ノ方針デ考慮致シタイト思ヒマス

○井上(眞)委員 實際賃金ノ具體的ナ査定ヲ致シマシテ、ソレヲ各工場ニ實行サスマデハ容易ナラスコトデアリマス、然ルニ現實ノ問題ハ物價ガ高物價ニ進行シツツアリマスカラ、ドウシテモ此ノ際生活必需品供給制度ト云フモノヲ考ヘル必要ガアル、例ヘバ前ニ申シマシタ青少年ノ給食ノ問題ニ致シマシテモ、寄宿舎ヤ工場デ營養食ヲ

○金光國務大臣 是カラ御答ヘ致シマス  
○増田委員長 分リマシタ委員長カラモ其ノコトヲ伺ヒマス  
○金光國務大臣 委員長カラ只今御注意ガゴザイマシタ勞働手帳ノ事業主ガ預ツテ居ルト云フ點ニ付テ、御答ヘラ御ラシテ居ツタヤウデスガ、是ハ移動防止ノ爲ニ必要ナコトデアルト云フコトハ井上君モ御諒解ニナルコトト思ヒマス、併シ横暴ナ事業主ガ此ノ規定ヲ惡用シテ勝手方健ナコトヲヤル處ガアルト云フヤウナ御心配ヲラウト思ヒマスガ、其ノ場合ニハ救済ノ途ヲ講ジテアルデアリマス、國民職業指導所ニ申出マ

○井上(眞)委員 戰時下國民ノ保健、體位向上、ソレカラ勞働生産力擴大ノ爲ニ一番大切デアル産業勞働部隊デアル産業戰士ノ指導ノ總指揮官ハアナタデアリマスカラ、アナタノ責任ハ非常ニ重イノデス、一ツ指導ヲ誤リマス、直接前線ノ將兵ノ使ヒマス兵器彈藥ニ影響スルノデアリマス、問題ハ「ソ」聯ノ近代技術ト日本ノ勞働者ノ持テル技術戰デアリマス、アナタノ御指導努力ニ依リマシテ、全國ノ生産勞働戰士ガ勇躍シテ國家ノ要請ニ赴キマス、併シ少シ下手ヲヤリマス、生産能率ガ下リマス、勞働ハ生キ物デスカラ、能ク御考ヘラ御ヒ

○井上(眞)委員 戰時下國民ノ保健、體位向上、ソレカラ勞働生産力擴大ノ爲ニ一番大切デアル産業勞働部隊デアル産業戰士ノ指導ノ總指揮官ハアナタデアリマスカラ、アナタノ責任ハ非常ニ重イノデス、一ツ指導ヲ誤リマス、直接前線ノ將兵ノ使ヒマス兵器彈藥ニ影響スルノデアリマス、問題ハ「ソ」聯ノ近代技術ト日本ノ勞働者ノ持テル技術戰デアリマス、アナタノ御指導努力ニ依リマシテ、全國ノ生産勞働戰士ガ勇躍シテ國家ノ要請ニ赴キマス、併シ少シ下手ヲヤリマス、生産能率ガ下リマス、勞働ハ生キ物デスカラ、能ク御考ヘラ御ヒ



タイ  
ソコ此ノ際大臣ニ伺フテ置キタイノハ、御承知ノ通り事變勃發以來五年ニナリマシテ、此ノ事變ニ吾々ノ同胞兄弟ハ數十万人大陸ニ出動シ、身ヲ犠牲ニシテ戦ヒツツアル、金儲ケノ爲メヤ個人ノ名譽ヲ爲メ戦フテ居ルノデナイ、國家ト民族ト運命ヲ背負フテ戦ヒツツアル、此ノ爲メ今日マデ既ニ十數萬ノ英靈ハ靖國ノ神ニ祀ラレテ居ル、國民ノ地位ハ年々惡化シテ行クノハドウ云フ譯カ、國民生活及ビ國民地位向上ニ責任ヲ持タレル大臣トシテハモウ少シ國民生活ノ消費規正ニ對シテ徹底的ノ方針ヲ執ラレル必要ガアルノチヤナイカト思ヒマス、金サヘ出セバドンナ贅澤ヲ生活デモ出來ル、金サヘ出セバドンナ旨イモノデモ食ベラレト云フ現狀ニ國民生活ヲ放任シテ置イテ、一體ドウシテ此ノ不均衡ヲ是正シヨウトセラレカ、此ノ不均衡ヲ是正シ「インフレ」ヲ防止スル一ツノ手段ハ、國民生活ノ消費規正ノ徹底、切符制度ノ擴充デアリマス、斯ウ云フ立場カラ大臣トシテハ今少シク消費規正ノ徹底ニ努力シ、國民ノ生活水準ヲ統一シ、不公平ノナイヤウニシテ行クト云フヤリ方ヲ執ラレルコトガ必要デナイカト私ハ考ヘマスガ、消費規正ノ徹底及ビ切符制度ノ擴充ニ對シテ御所見ヲ此ノ際伺フテ置キタイト思ヒマス。

ナラヌモノト存シマス、ソレカラ生活ノ安定是亦當然ナコトデアリマシテ、其ノ生活ノ中ノ食糧ダケハ確保セネバナラスデハナイカ、之ニ心配サシテハナラスデハナイカト云フ點モ全然御同感デアリマス、寧ろ當然過キル程當然ナコトデ、古人モ申シマスヤウニ、「食ヲ足シ兵ヲ足セバ、民之ヲ信ズ」ト、是ガ政治ノ要諦デアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、併シ食ダケハ心配ノナイヤウニト云フ點ガ今非常ニ心配ヲ重ネツツアル點ダト云フコトモ、是亦御承知ノ願ヒタイト思フデアリマス、併シナガラ何トシテモ此ノ點ハ心配スルダケデドウニモナラヌト云フヤウナ香氣ナコトハ言ツテ居ラレヌデアリマスカラ、凡ユル方法ヲ講ジマシテ關係諸官廳トモ協同致シマシテ、一面ニハ生産ノ擴充ヲ徹底的ニ強化致シ、一面ニハ消費ノ規正ヲ致シマシテ、凡ユル方法ヲ講ジタイト存シマス。

大臣ハ僱ニ民營生命保險會社ノ重役カ社長ヲヤラレタ經驗ガアラレラ方デアリマスカラ、相當ノ抱負ヲ御持チテアラウト考ヘマスガ、私ノ調ベテ所ニ依リマス、本邦ノ生命保險會社總數二十六社、昨年末保險契約高三百七億圓、昭和十四年度一箇年ノ契約高六十億圓トナリ、其ノ保險料收入ハ十億圓ニ上ツテ居リマス、之ヲ假令今申シマシヤウナ國民ノ生活能力ニ應ジマシテ、一定ノ基準ヲ設ケテ強制加入セシメルコトニ致シマスナラバ、我が國國民ノ一年間所得ヲ假令三百億ト見積リマシテ、其ノ二割ヲ假令六十億ト見積リマシテ、其ノ二割ニナラバ、一年間六十億ト保險料收入ガアリマス、更ニ保險契約高ハ大體一千二百億圓内外ニナルノデス、我が國ノ富ト同ジ金高ニ上ルノデアリマス、更ニ現在ノドウニ二十六社ガ對立致シテ居リマス結果、各社ハ競争費ヲ一億二千萬圓カラ一億五千萬圓毎年支出シテ居リマス、斯クノ如キ點カラ公共的ノ國民地位ニ重大ノ關係ノアル事業ヲ、民營事業トシテ競争サセ、無駄ヲ競争費ヲ使ハセルコトヲ防止シナクテハナラス、更ニ生命保險ノ民間經營ノ妙味ハ實際何處ニアルカト言ヘバ、事變下ニハ殆ド其ノ經營ノ妙味ハナクナツタノデス、ナゼカト言ヒマス、民間保險經營ノ三大條件ハ、一ツハ資金ノ運用ニアリ、第二點ハ經營ノ合理化ニアリ、第三番目ハ被保險者ノ健康ヲ保持シ、死亡率ヲ食ヒ止メルコトデアル、所方第一ノ資金ノ運用ハ、御承知ノ通り資金調整令ニ依ツテ保險會社ハ勝手ニ收入保險料金タル資金ヲ動かカスコトハ出來ナクナツタ、一番大切ナ資金ノ活用ト云フ問題ガ資金調整令ニ押ヘ付ケラレテ、保險經營ノ妙

味ト云フモノハ此處デ全クナクナツテシマツタ、第二番目ハ經營ノ合理化デスケレドモ、生命保險ノヤウニ簡潔ナ事業ニ於テハ合理化ノ餘地ガナイデアリマス、而モ現在ノヤウニ對立シテ居ル所デハ、合理化シヨウトシテモ中々出來ナイ、合理化ト云フ問題ニナレバ、ドウシテモ企業ノ合同ヲスルヨリ仕方ガナイ、第三番目ノ被保險者ノ健康ノ問題、特ニ此ノ死亡率ノ低下ノ問題ニ付テハ、一營利會社デアル民間會社ガ之ヲ行フベキ筋合ノモノデアハナイ、是ハ國家的ニ厚生省ノ仕事ナノデアラ、サウ云フ點カラ考ヘテ見テ、民間保險經營ノ意義ト云フモノハナクナリ、今日本質的ニ國家經營ノ形ニ發展シテ居ルデアリマス、斯ウ云フ觀點カラ考ヘマシテ、私ハ「インフレ」防止ノ對策公債消化ノ對策、高國防國家ノ恆久の財源ノ爲ニ、此ノ際民間生命保險ヲ國營化スルコトガ種々ナ點カラ必要デアルト考ヘル、之ヲ買收スルトスレバ約二億五千萬圓程ノ金ガアレバ大體買收出來ルト睨ンデ居ル、保險ノ如キ危險デナイ仕事デ、而モ高率ナ利益配當ヲ得タ會社ゴザイマスカラ、サウ會社ノ方モ無理ヲ言ハナイダラウシ、總資産ヲ全部買上ゲテヤツタラ宜イノダカラ、二億五千萬圓ノ金ガアレバ買收出來マス、二億五千萬圓ノ云フ金ハ最前申シタ二十六社ノ一年間ノ利益金ガ一億二千萬圓カラ一億五千萬圓トナツテ居ル、若シ國營化シタラバ、翌一年ノ運營費買收費ハ回收出來ルノデアリマス、而モ將來非常ニ大キナ國家ノ財源ニナリ、且ツ國民自身ノ戰時及ビ將來ニ對シテ生活ガ保障サレルノデ、國家ノ財政ノ基礎ハ國民

ノ生活ト運命ニ結付クノデアリマスカラ、國家財政ハ非常ニ堅固ニナツテ行クト考ヘル、是ハ大藏大臣、商工大臣ノ意見モ伺ヒタイノデアリマスガ、國民ノ地位向上ニ重大ノ責任ヲ持タレテ居ル厚生大臣、特ニ保險經營ニ對シテ御經驗ノアラレル大臣ノ御所感ヲ伺フテ置キタイト思ヒマス。

○金光國務大臣 生命保險ノ國營ニ關スル御尋ネデアリマスガ、是ハ所管ガ商工省デゴザイマスカラ、商工大臣カラ御答ヘシテ方ガ適當デアルト存ジマスガ、私カラモ私ノ見ル所ダケヲ申上ゲマス、保險ニハ共濟的ノ部分ト、貯蓄的ノ部分ガアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、其ノ共濟的ノ部分ニ付テ厚生省ガ關心ヲ持ツテ居ルト云フコトハ當然デアリマスガ、厚生省ト致シマシテハ成ベク社會政策的ノ部分ヲ先ヅ考慮セナケレバナラスト思フデアリマス、ソコデ社會保險トカ、若シクハ少額保險ト云フモノハ是ハ厚生省所管トシテ國營ニスルコトガ當然デアルト思フデアリマス、相高ノ關係ニ立ツテ行ク性質ノモノデアリマスカラ、必ズシモ之ヲ國營ニ移サネバナラスト云フ理由ハ成立タナイト思フデアリマス、ノミナラス民間ノ生命保險ハ國家ノ特別ノ保護ヲ受クルコトナクシテ發達シテ來タノデアリマス、其ノ歴史、沿革ト云フモノモ、或ル程度尊重セネバナラスト思フ、又之ヲ國營ニ移スコトニ依ツテ其ノ資産ノ運用上、例ヘバ株券社債等ヲ之ヲ國營ニスレバ賣却セネバナラス、ソレガ一般財界ニドウ云フ影響ヲ及ボスカ、ソレガ目下ノ生産擴充ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フヤウナコトモ考慮セネバナラセヌカ

ラ、種々ノ觀點カラ考慮シテ決定スベキモノデアラウト存ジマス、殊ニ現内閣ノ方針ト致シマシテハ、御承知ノ通り先般決定セラル經濟新體制基本要綱ニモ示シタルガ如ク、一般ノ企業ハ民營ヲ原則トシテ、已ムヲ得ザル場合ノ外國營ハヤラナイコトニナツテ居リマス、隨テ此ノ方面カラモ考究セネバナラスト存ジマス、私ノ意見ダケ申上ゲテ置キマス。

○井上(夏)委員 政府ハ去月三月二十五日勞務管理調査委員會ヲ開キマシテ、生活安定ニ關スル方策ヲ決定致シテ居リマス、是ガ具體的ナ實行ニ付テ、一段ノ御努力ヲ御願ヒシテ置キタイト同時ニ、此ノ際特ニ厚生大臣ノ御意見ヲ承ツテ置キタイ、問題ハ勤勞大衆ノ娛樂ト、生鮮食品ノ配給ノ問題デアリマス、是ハ農林省ニ多少關係ガアリ、一方ニハ内務省、文部省ニモ關係ガアルカ分リマセヌカ、今日勤勞大衆ハ娛樂機關ヲ十分ニ利用出來ナイ、而モ都市ノ勤勞者ノ集中ノ結果、娛樂熱ハ非常ニ高イデアリマスガ、之ニ對スル對策ハ十分立テラレテ居ナイ、健全娛樂ト云フコトヲ盛ニ放送シマスガ、ソレガ少シモ大衆ノ中ニ育タナイ、大衆ノ生活ト結付キ、今日ノ時局ニ結付カナケレバナラスノデアリマス、此ノ間大政覽會ト情報局ガ主催シテ、情報局ト愛國演劇ト試演會ヲ催シタ、吾々モ聴キニ行ツタガ、アノ内容ヲ愛國演劇ト云フノハ泣キタナル、或ル演劇ノ如キハ、官金ヲ濫用シ叛軍ノ軍資金ニ充テルト云フ内容ノモノヲ口演シタ、アレド愛國演劇ト云フノデアレバ以テノ外デアル、少クモ今日ノ大衆娛樂ト云フモノハ、大衆ノ生活ノ中ニ育ツモノデアレバ何ニモナラス、唯上カラ

天降リ的ニ決メテヤルノガ、アナタ方ノ惡イ癖デス、ドレガ良イカト云フコトハ、大衆ガ一番能ク知ツテ居ル、大衆ノ生活ニ結付イタ娛樂デナケレバ、何等意味ガナイ、映畫ニシテモ芝居、浪花節ニシテモ、殆ド大部分ハ戀愛問題ヲ扱ヒ、美人ト美男ガ出て來テ戀愛スル所カラ始マル、ソレカラ人情物、更ニ甚ダシキハ依然トシテ歐米思想崇拜宣傳ノモノガアル、政府ハ生活ニ勞働ニ疲レ切ツタ勤勞大衆ノ飢エテ居ル娛樂ヲ、ドウ導キ與ヘントスルカ、私ノ具體的ナ考ヘトシテハ、現在既設ノ大衆娛樂場ヲ、第一ハ軍需工場ノ労働者ニ優先的ニ切符制度ヲ觀劇セシメル、砲兵工廠デアルトカ、造船會社デアルトカ、是等ノ軍需品ヲ造ツテ居ル労働者ニ優先的ニ觀セル、其ノ次ハ輸出品ヲ造ツテ居ル者ニ觀セル、國民生活必需品ヲ造ツテ居ル者ニ觀セルト云フ方針ヲ採ルノデス、斯ク云フ對策ヲ執ラナケレバナラスト思フ、サウシナケレバ此ノ間ノ新聞ニ出テ居リマシヤウニ、日劇ノ前ニ何万人ノ人ガ譚ノ分ラヌ歌ヲ聴キニ集マツタ、此ノ事實ヲ政府ハ一體ドウ見テ居ルカ、新聞ノ報道スル所デハ、是ハ大部分勤勞大衆ガサウデアル、政府ノ新シイ大衆娛樂ニ對スル具體的ナ、積極的ナ對策ガ足ラヌカラダ、之ニ對スル大臣トシテ御所見ヲ伺ヒタイ

○金光國務大臣 娛樂ニ對スル内容ノ改善ニ付テハ御意見御尤モ存ジマス、内容ガ惡イ、之ヲ改善スルト云フコトハ當然デアリマス、尙ホ労働者ニ對スル娛樂ニ付キマシテハ、度々申上ゲルヤウニ、産業報國會ニ於テ是ガ實施計畫ニ付テ、既ニ計畫ヲ進メテ居ルデアリマス、殊ニ軍需工業トカ、石炭其ノ他ノ重要鑛山等ニ對シテ特別ノ考

慮ヲ拂ツテ、現ニ石炭坑ニ對シテハ、最近實施致シテ居ルノデアリマシテ、之ヲ段々擴充シテ參リタイト存ジテ居リマス。

○増田委員 井上君ニ御注意致シマスケレドモ、用語ニ十分御注意アツテ御質疑ヲ進メラレントラ望ミマス。

○井上(夏)委員 昨年ノ夏以來大都市ニ於ケル生鮮魚ノ缺乏ハ甚ダシイモノデス、殊ニ東京、大阪ニ於テハ此ノ需給關係ガ益々惡化シテ、昨今ノ如キハ全く鮮魚飢饉ヲ呈シテ居リマス、其ノ原因ハ一體ドウ云フ譯デアラウカト云フノデ、色々調ベテ見マシタ所ガ、ソレハ勿論勞力、資材ノ不足、或ハ金融ノ不圓滑ト云フヤウナ種々ノ缺陷ノ爲コヘ「インフレ」ノ關係デ、都市農林ニ於テ生鮮魚ノ需要ガ非常ニ高マツテ來タ、更ニ其ノ上ニ全魚聯ガ大都市ニ進出シテ、是ガ中央市場ヲ通サズニ別ニ賣出シタト云フ問題ガ起リ、又漁業ニ於ケル直接賣出メナドデ、鮮魚ノ取引狀態ハ大混亂ヲ來シタノデアリマシテ、是ガ國民ノ地位ニ及ス影響ハ重大ナノデアリマス、此ノ間ノ如キハ、大阪ノ中央市場ニ僅カニ一日九百貫シカ魚ガ入ツテ來スト云フノデ、大問題ニナツタノデス、漁場ノ方ハ大料理屋ガ直接買ヒニ來ル、或ハ中央市場ノ問屋口錢ガ高イトカ、取引ガ面倒デアルトカ云フコトカラ、漁場デ賣ツテシマフ、斯ウ云フヤウナヤリ方デ、大衆ノ口ニハ全然生鮮魚ガ入ラナイ、之ハ農林省所管デアラカト云ツテ、厚生大臣ハ吞氣デハ居ラレヌ、少クモ中央市場ノ機構ノ改革問題、或ハ漁獲サレタ鮮魚類ヲ、都市ニ供出セシメル問題ニ對シテハ、網元、漁場ヘハ何處ヘドノ方面ヘドレダケ供出



○米運委員 最近農林省米米ノ配給機構ヲ一元化スル方針ヲ執ツタト見エマシテ、各府縣へ命令致シマシテ、商業組合ヲ中心トシタ米ノ配給機關ヲ、急速ニ設立スルヤウニ獎勵シテ結果、工場別、或ハ地區別、的ニ労働者ニ依ツテ組織サレテ居ル所ノ消費組合ガ、此ノ米ノ配給ガ出來ナイ、更ニソレガ進シテ、現在大工場ニ於テ飯盒、或ハ夕飯ニ所謂營養食ヲ供給シテ居ルガ、今後ハ之ヲ配給且ツ附ツト云フコトガ出來ナイト云フ方針ヲ執リツツアル縣ガ多ク、此ノ間農林省ノ中央カラノ指令ト、是等ノ關

○米運委員 井上君ノ質問中労働者ト食糧ニ關スル問題ハ、極メテ重要ト思ヒマスカラ、關聯質問ヲ御許シテ願ヒマス

○米運委員 極メテ重要ト御願ヒ致シマス

○米運委員 最近農林省米米ノ配給機構ヲ一元化スル方針ヲ執ツタト見エマシテ、各府縣へ命令致シマシテ、商業組合ヲ中心トシタ米ノ配給機關ヲ、急速ニ設立スルヤウニ獎勵シテ結果、工場別、或ハ地區別、的ニ労働者ニ依ツテ組織サレテ居ル所ノ消費組合ガ、此ノ米ノ配給ガ出來ナイ、更ニソレガ進シテ、現在大工場ニ於テ飯盒、或ハ夕飯ニ所謂營養食ヲ供給シテ居ルガ、今後ハ之ヲ配給且ツ附ツト云フコトガ出來ナイト云フ方針ヲ執リツツアル縣ガ多ク、此ノ間農林省ノ中央カラノ指令ト、是等ノ關

係府縣ニ於ケル取扱ヒ方トノ間ニ、相當ノ配給ノアルコトハ認メマスガ、大體ニ於テサウ云フ傾向ニ向ツテ進ミツツアル、私ノ住ンデ居ル兵庫縣ニ於キマシテモ、例ハ百川崎重工業株式會社ハ、一万人分ノ營養食ヲ晝及ビ夜ニ於テ、職工ニ給與シテ居ルノデアリマスガ、尙サウ云フ方針ガ確立サレルト云フコトヲ聞キマシテ、自發的ニ之ヲ止メル、鳴尾ノ川西飛行機工場モサウ云フコトノ影響ヲ受ケテ、是モ止メル、其ノ他兵庫縣ニ散在スル軍部ト密接ナ關係ノアル所ノ工場ガ、今マデ其ノ工場ノ賄ヒニ依ツテ給與シテ居ル所ノ營養食、及ビ其ノ他ノ食糧ヲ止メルト云フ傾向ヲ現シテ居ル、是ハ重大ナル問題ト、私ガ言フマデモナク生産力擴充ト云フコトト密接ナル關係ガアリ、今日ノ労働者ガ果シテ生産力擴充ノ國策ニ副フガレバ、カローリヲ有スル食糧ヲ得ツツアルカドウカト云フコトハ、是ハ極メテ疑問デアリマス、私ハ關聯質問ノ關係上、極メテ簡單ニト云フ委員長ノ御注意デアリマスカラ、其ノ點ニ付テハ多ク言ヒマセマスガ、是ハ極メテ重要ナル問題ト、而モ農林省、厚生省、内務省、其ノ他軍部兩省トノ間ニ於テ、十分ナル連絡及ビ協議ガナイヤウニ私ハ思フ、此ノ農林省メ方針ヲ押シ進メテ行キマスナラバ、陸軍及ビ海軍ノ工廠ニ働イテ居ル人達ニ供給スル所ノ食糧、即チ其ノ工廠自體ニ於テ給與シテ居ルモノモ止メナケレバナラナイト云フコトニナル、ソレカラ陸海軍兩省ガ指定シテ居ル所ノ大工場モ止メナケレバナラズ、農林省ノ意向トスル所ハ、本人ハ家庭ニ於テ商業組合ヲ通ジテ、一人前幾ト云フコトヲ家族數ヲ申請シテ居ル管デアルカラ、家庭米ノ配給

ヲ受ケル、更ニ工場へ行ツテ食フト云フコトニナルト、是ハ重複スル、此ノ點ニ於テ上記ノヤウナ配給方針ヲ執ルト云フコトデアリマスガ、ソレカラ官吏ハ皆養食ハヤハリ役所食ベルカ、或ハ食事ノスル所ニ行ツテ食ベル、日本ノ國民ノ大部分ト云フモノハ皆外デ働イテ居ル、ソコマデ追究シテ行ク積リデアアルカ、是ハ本來ハ農林省關係ノコトデアリマスガ、此ノ労働者ノ營養食ヲ云フコトハ、生産力ノ擴充ニ重大ナル關係ガアリマスカラ、厚生大臣トシテハ、斯ウ云フ方針ガ是ナリトスルカ、或ハ非ナリトスルカ、若シ非ナリトスルナラバ、此ノ労働者ヲ本位トシテ組織セラレ、消費者階級ニ極メテ密接ナ關係ヲ持ツテ居ル消費組合、購買組合ト云フモノノ活動ヲ、依然トシテ認メテ行ク御方針デアアルカドウカ、又軍部兩省政府委員ニ對シテハ、軍トシテハ軍ノ工廠、或ハ軍部ト密接ナル關係ノアル工場ニ於テ、此ノ農林省ノ方針ハ果シテ宜イモノト御認メニナルカ、或ハ軍部外例ヲ御求メニナルカ、實ハ農林省ハ十二月二十七日付ヲ以テ次官通牒ヲ出シテ居ル、是ハ極ク短イカラ朗讀致シマス、生活必需品配給機構整備ニ對スル市街地購買組合ノ取扱方針ニ關スル件ト云フノ、近來米穀未炭其ノ他生活必需品ノ適正回滑ナル配給ヲ期スル爲各地ニ於テ之カ配給機構ノ整備行ハレツツ有之候處市街地購買組合ハ從來消費者トノ特別ノ關係ノ下ニ之等物資ノ配給ニ關シテ多年ノ經驗ヲ有スル次第ナルヲ以テ之ヲ活用スルニ於テハ配給ノ回滑ヲ期シ得ル場合妙カラスト思料セラレ候ニ付テハ市、區、町等ニ於テ地區の一元配給ノ機構ニ整備スル場合ニ於テハ當分ノ内左記事項

○米運委員 陸軍ト海軍ノ政府委員ニ先程御質問申上ゲタ點ニ付テ、簡單ニ御答へ願ヒタイト思ヒマス

○武井政府委員 始めテ承リマシテ實情ガ分リマセスカラ調ベタ上デ要スレバ御答へ致シマス

○米運委員 陸軍ト海軍ノ政府委員ニ先程御質問申上ゲタ點ニ付テ、簡單ニ御答へ願ヒタイト思ヒマス

御了承ノ上購買組合ノ實績ヲ認メ業者ト相五ニ提携セシメ共同シテ配給ノ任ニ當ラシムル様適當御措置相成度依命此段及通牒候也トハ御答居リマス、此ノ中ノ左記事項ト云フハ朗讀ヲ略シマス、斯ウ云フモノガ出テ居ルニ拘ラス、地方ニ於テハ此ノ次官通牒ノ精神ガ無視サレテ、アレハ御破算デアルト云ツテ、所謂商業組合中心ノ偏重主義ヲ採ツテ居ル傾向ガ多クアルノデアリマシテ、兵庫縣ノ如キハ八市四十二箇町村ノ消費組合今日アルニ拘ラス、之ニ非常ナ動搖ト影響トヲ與ヘテ居ル、此ノ點ニ付テ厚生大臣ト陸軍及ビ海軍ノ政府委員ノ御意見ヲ承リタイ

○米運委員 陸軍ト海軍ノ政府委員ニ先程御質問申上ゲタ點ニ付テ、簡單ニ御答へ願ヒタイト思ヒマス

○米運委員 陸軍ト海軍ノ政府委員ニ先程御質問申上ゲタ點ニ付テ、簡單ニ御答へ願ヒタイト思ヒマス

○米運委員 陸軍ト海軍ノ政府委員ニ先程御質問申上ゲタ點ニ付テ、簡單ニ御答へ願ヒタイト思ヒマス

就キマシテハ議員及ビ關係政府委員外ノ御方ハ退席ヲ願ヒマス

○増田委員長 是デ秘密會ハ終リマシタ

○増田委員長 是デ秘密會ハ終リマシタ

○増田委員長 是デ秘密會ハ終リマシタ

コトゾ今後ノ企業計畫ハ總テ御實行ニナルモノノヤウニ考ヘテ居ツタノデアリマスルガ、段々其ノ後今期議會ニ御提案ニナリマシタ法案ヲ見マス、非常ニ澤山ノ國策會社ト申シマス、特殊會社ト申シマス、サウ云フモノガ出テ來テ居ル、一寸拾ツテ見マシテモ、日本憲法統制會社、樺太開發會社、帝都高速度交通團、東亞海運會社、帝國石油會社、住宅營團、日本木材會社、斯ウ云ツタヤウナ新シキ特殊會社ガ七ツ、殊ニ從來ノ特殊會社ノ改正案ガ四ツ出テ居リマス、殊ニ驚キマスコトニハ、日本發送會社ニ關係致シマス事業ト致シマシテ、日本ノ全部ノ發電、配電ヲ一ツニ集メテ、之ヲ八ツノ統制會社ヲ作リマシテ統制シヨウト云フコトノヤウニ伺ヒマシタ、所ガ是ハ甚ダ財界ニ大キナ「ショック」ヲ起シマシテ、大分苦情ガ多クツタ爲ニ、此ノ提案ヲ御見合セニナルト云フコトデアツタノデス、所ガ何ゾ知ラン、ルト思ツテ居リマシタ、所ガ何ゾ知ラン、是ハ國家總動員法ニ依ツテハハ御實行ニナル、斯ウ云フコトノヤウニ、是ハ通信大臣カラモ日本發送會社法ノ委員會等ニ於テ御質問ニナツテ居ル、サウ云フコトニナリマス、一體企業體制ハ民營ヲ主トスルト云フヤウナコトハ何處ニアルコトニナリマセウ、却テ以前ニ増シテ斯ノ如ク特殊會社ガ多ク出來ルト云フヤウナコトハ、其ダ其ノ御聲明ニ逆行スルヤウナ狀態ニナツテ來タト思フノデアリマス、故ニ民間ニ於キマシテハ非常ニ其ノ點ニ危懼ノ念ヲ抱イテ居ル、ソコデ只今私ハ二點ノ質問ヲ申上ゲル次第デアリマス、ドウゾソレニ對シマシテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○星野國務大臣 御答へ申上ゲマス、經濟新體制確立要綱ニ書イテゴザイマスル事項ニ付キマシテハ、ソレハ政府ノ方針ヲ發表シテ次第ゴザイマスガ、出來マスモノニ付キマシテハ直チニ其ノ方針ヲ實行致シマス、ソレハ法律其ノ他ニ依リマスモノハ法律其ノ他ヲ出シテ參リタイ、斯ウ存ジテ居ル次第デアリマス、今御答ニナリマシタ要綱ノ如キハ、其ノ當時ヨリ今日ニ至ルマデ之ヲ方針トシテ執ツテ居ルノデゴザイマス、サウシテ其ノ内容ハ特別ノ必要アル場合ノ外ハ企業ハ原則トシテ民營ヲ以テスルコトヲ強イ原則ト致シマシテ、國營又ハ國策會社ニ依ルハ必要アル場合、而モ其ノ必要アル場合モ國營又ハ國策會社ニ依ラナケレバ今日ノ事態ニ應ズルコトガ出來ナイト云フ特別ノ必要アル場合ニ限ルト云フヤウナ趣旨デゴザイマス、ソレニ關聯致シマシテ、尙ホ今回ノ法律案其ノ他特殊會社、所謂國策會社ト云フ分ガアルノデハナアカト云フ御話ニ付キマシテハ、洵ニ左様デハゴザイマスガ、是モ特別ノ必要アルモノト認メテ御協賛ヲ御願ヒ致シテ居ルヤウナ次第ナリデゴザイマス、尙ホソレニ關聯致シマシテ、配電會社トコトニ付テ御話ガゴザイマシタガ、之ニ付キマシテハ、今日全國ノ配電ノ組織ニ付キマシテ、將來電氣ノ供給ノ「プラン」ヲ取リテヤウナ場合ガ考ヘラレ、隨テ一面ニ於キマシテ、出來ル限リ發電ノ増加ニ努メナクチャナラズ、一面ニ於キマシテハ出來ルダケ合理的ニ配電ヲシナケレバナラズト云フヤウナ所カラ、色々ナ處置ヲ執リテナラズ、サウ云フコトニ付テハ政府ト致シマシテモ其ノ通リト思ツテ居リマスガ、如何ナル方法デ以

テ其ノ趣旨ヲ達成スルカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ適當當局ヲ中心ト致シマシテ官民各方面ノ御意見ヲ十分聽イテ新シイ方法ヲ執ツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、必ズシモ總動員法ニ依ツテ國策會社ヲ作ルト云フ風ニハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○堀内委員 經濟新體制ノ問題ニ付キマシテハ、當委員會ニ於キマシテモ色々ト抽象的ナ論議ガ爾ハサレタヤウニ承ツテ居リマスガ、唯私ハ少シ具體的ノ問題ニ入ツテ御同ヒシテ見タイト思フノデアリマス、特別ノ必要アル場合ニ限ルト云フコトハ、何カ原則的ナ定義トデモ申シマセウカ、是レノモノハ民營ニ任セルコトハ出來ナイノダ、是ハ國策會社ヲ國營事業ニシナケレバナラナイノダト云フヤウナ御決定ハナイモノデアリマセウカ、サウ云フモノガアリマシテ、此ノ新體制ノ御趣旨ガハツキリ致シマシテ、其ノ分野ガ明カニナルト思フノデアリマス、只今御話ノ其ノ必要アルモノハト云フコトニナリマス、今日マデモ其ノ時々ノ必要ニ應ジテ或ハ國營事業ヲ營ミ、特殊會社ヲ營ム等色々ノコトニナルノデアリマスガ、今回斯様ナ新體制確立要綱ト云フモノヲ御決定ニナリマス以前ナラバ、ソレハ宜シウゴザイマス、併シ斯ウ云フモノガハツキリ御決定ニナリマシタ以上ハ、成程斯ウ云フモノガ國營事業ニナルノダトカ、國策會社ニナルノダトカ云フヤウナコトガ聽ケマス、財界デハ大變ニ安心スルカダラト思ヒマス、何ガドウ云フコトニナルコトニナルト、大分疑懼ノ念ヲ抱クノデハナイカト考ヘルノデアリマスカラ、ソレヲ御同



ヒシテ居ル譯デアリマス、甚ダ諄イヤウデアリマスガ、若シサウ云フ風ナ何カハツキリシテ御決定ガアリマスナラバソレヲ具體的ニ御伺ヒシタイ、斯ウ云フ譯デアリマスガ、如何デアリマスカ

○星野國務大臣 重ネテ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス、先程申上ゲテ通り出來ル限リ民營ノ會社ニ、生産擴充其ノ他ノ仕事ニ當ツテ戴キタイト云フ積リデゴザイマス、要スルニ特別ノ必要ト云フコトハ、必要アリ而モソレガ特別ノ必要ト云フコトデ、政府ノ方針ト致シマシテハ出來ル限リ國策會社ニ依ルコトヲ避ケヨウト云フ趣旨デゴザイマス、ソレ以上具體的ト云フコトニナリマシテモ、結局其ノ心持ヲ茲ニ表明シタコトニナル譯デアリ、將來之ニ從ヒマシテ今日モ之ニ入ツテ居ルノデアリマスガ、國策會社其ノ他ヲ作りマス、時ニハ、特ニ深基ナル注意ヲ拂ツテ、ソレガ本當ニ必要デアルコト云フコトヲ檢討スル、又今日存在シテ居ル國策會社其ノ他ニ付キマシテモ、更ニ經濟團體其ノ他ノ成立ニ伴ヒマシテハ檢討ヲ能ク加ヘマシテ、必要ノナイモノニ付テハ、ソレハ處置ヲスルト云フヤウナコトモ考ヘテ居ルノデアリマス

ト、民營ノ會社モ、國營ノ事業モ皆同ジモノナツテシマツテ、又此ノ新體制下ニ於キマシテ同ジヤウニ指導監督ヲナサコトニナルノデアリマス、是ニ於テ考ヘマスルコトハ、只今ノ企業院總裁ノ御話ハ、私ハ洵ニ結構ナコトト思フノデアリマスルガ、進ンデ特殊會社國營事業等ニ向ツテモ檢討ヲ重ネ、サウシテモ民營ニ移スヤウナ必要ガアレバ民營ニ移ス、ソレデナケレバナラヌト思フノデアリマス、即チ今日ハ殆ド官民一體ノ事業經營ヲスルコトニナルノデアリマス、ソレデ其ノ御方針ニ付テ御伺ヒ致スノデアリマスガ、日本ニ於テハ官營事業及ビ特殊會社ヲ分アル、此ノ價格ヲ一評價シマシタナラバ、少クモ四百五百億圓ニ達スルガラウト考ヘル、斯ウ云フモノヲ檢討シテ民營ニ移スト云フヤウナ御英斷ガアリマスナラバ、一舉ニシテ方針ヲ御決定ニナリ是カラ出來ルモノハ民營ニスルコト云フバカリデナク、今日存在シテ居ル國營及ビ特殊會社事業モ民營ニ返サセルト云フコトガ、洵ニ私ハ時宜ヲ得タルコトデアラリマスルガ、積極的ニサウ云フ御考ヘデハアリマス、積極的ニサウ云フ御考ヘデ之ヲ實行ニ移シテ急進ニサラウト云フ御決定ガ政府ニオアリデアリマセウカ、申上ゲルマデモナク、日本ハ今開闢以來初メテ出會ツタヤウナ時局ニ際シテ居リマス、生産擴充ヲ今血ミドロニナツテヤラナケレバナラヌ、非常ニ急ヲ要スルモノデアリ、唯徒ラニ論議バカリシテ居ル時期デハナイ、實行ガ何ヨリ必要デアラウト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ御決意ヲモウ一度伺ツテ置キタイト思ヒマス

○星野國務大臣 大體御尤モト思ヒマス、左様ナコトモ考慮ニ入レマシテ將來進ミタイト思ツテ居リマス

○堀内委員 堀内君ニ注意致シマスガ、ドウモ御話ハ或ハ通信大臣或ハ大藏大臣ニ對スルコトデアツテ、マダ企業院總裁ニ對スル質疑ノ通告者ハ數名殘ツテ居リマスカラ、ドウモ簡潔ニシテ戴キタイ、抱負ヲ御述ベニナツテハ困リマス、質疑クニ止メテ下サイ

○堀内委員 堀内君ニ注意致シマスガ、ドウモ御話ハ或ハ通信大臣或ハ大藏大臣ニ對スルコトデアツテ、マダ企業院總裁ニ對スル質疑ノ通告者ハ數名殘ツテ居リマスカラ、ドウモ簡潔ニシテ戴キタイ、抱負ヲ御述ベニナツテハ困リマス、質疑クニ止メテ下サイ

○堀内委員 堀内君ニ注意致シマスガ、ドウモ御話ハ或ハ通信大臣或ハ大藏大臣ニ對スルコトデアツテ、マダ企業院總裁ニ對スル質疑ノ通告者ハ數名殘ツテ居リマスカラ、ドウモ簡潔ニシテ戴キタイ、抱負ヲ御述ベニナツテハ困リマス、質疑クニ止メテ下サイ

○堀内委員 堀内君ニ注意致シマスガ、ドウモ御話ハ或ハ通信大臣或ハ大藏大臣ニ對スルコトデアツテ、マダ企業院總裁ニ對スル質疑ノ通告者ハ數名殘ツテ居リマスカラ、ドウモ簡潔ニシテ戴キタイ、抱負ヲ御述ベニナツテハ困リマス、質疑クニ止メテ下サイ

○堀内委員 堀内君ニ注意致シマスガ、ドウモ御話ハ或ハ通信大臣或ハ大藏大臣ニ對スルコトデアツテ、マダ企業院總裁ニ對スル質疑ノ通告者ハ數名殘ツテ居リマスカラ、ドウモ簡潔ニシテ戴キタイ、抱負ヲ御述ベニナツテハ困リマス、質疑クニ止メテ下サイ

○堀内委員 堀内君ニ注意致シマスガ、ドウモ御話ハ或ハ通信大臣或ハ大藏大臣ニ對スルコトデアツテ、マダ企業院總裁ニ對スル質疑ノ通告者ハ數名殘ツテ居リマスカラ、ドウモ簡潔ニシテ戴キタイ、抱負ヲ御述ベニナツテハ困リマス、質疑クニ止メテ下サイ



○星野國務大臣 御答へ致シマス、只今ノ御質問及ビ之ニ關係シテ御意見ハ洵ニ仰尤モデアリマス、結局今日ノ事態ニ於キマシテ如何ニシテ此ノ時局ヲ突破スルカト云フ、其ノ必要ヲ爲シ各般ノ統制法規モ出テ居ル譯デアリマス、併シ其ノ根本ハ統制ガ主チヤナドアルアリマシテ、國民各自ガ眞ニ時局ヲ知テ十分ナル働キヲスルト云フコトガ一番大切ナコトデアリマス、唯平時ノ状態ヨリ戰時ノ状態ニ移リ、其ノ移リ變リノ際ニ於テ色々ナ過程ヲ經ナケレバナラス、又物資其ノ他ノ十分我ガ國ニアル所ノ物資、人力ト云フモノヲ完全ニ活用致シマシテ、最モ其ノ國力ヲ發揮スルト云フ上ニハ、又必要ナル所ノ統制、又之ニ基テ綜合的計畫ノ下ニ統制モヤラナケレバナラス、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ統制ガ主チヤナク、ヤハリ國民ノ活力ヲ各人ガ十分ニ働カセルト云フコトニ根本ガナケレバナラスト思フデアリマス、左様ナ趣旨ニ於テ統制ガ行ハレコトニ於テハ、出來得ル限り常ニ國民ノ活力ヲ失ハシメナイヤウニ考ヘテヤラナケレバナラスト思フ、隨ヒマシテ、之ニ關聯致シマシテ國策ガカラト云ツテ人ニ強ヒルト云フコトハソレハイケナイコトデアリ、結局廣イ意味ノ國策ト云フコトダケヲ以テ色々ナコトヲヤルノハ非常ニ危險ナコトデアリマス、ヤハリ國策ナリト云ツテ今日ノ如キ統制ヲナサナケレバナラスト云フ具體的ノ理由ヲ明カニシテ、能ク瞭解セシメテ諸般ノ統制ト云フモノヲ行ツテ行カナケレバナラスト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○増田委員長 田中君ニ申上ゲマスガ時間ガアリマセスカラ、ドウゾ簡潔ニ要旨ヲ御

給ノ話申シマシタヤウニ、僅カノ肥料ヲ一日掛ツテ貰フト云フヤウナコトヲ實際ニヤラナケレバナラナイ、農村ノ人達ハ其ノ爲ニ非常ニ手間ヲ費スノデアリマス、此ノ位ナラ結局商人ノ手カラ買ツタ方ガ宜イト云フヤウナコトヲ今ニナツテ言ツテ居リマス、要スルニ今日ハ此ノ統制ニ依リマシテ一切組合デヤツテ、問屋ハ殆ドナクナツテシマフト云フヤウナコトニナリ、商人ハ前途ドウナルドラウカ——所謂企業院アタリノ計畫ハ商人ト云フモノハ此ノ世カラ消エテ無クナルト云フヤウナ方針デヤツテ居ルノカト云フヤウナ、非常ナ不安ヲ持ツテ居ルノデアリマス、斯ウシテ不安ニ對シマシテ全國ノ商人ノ安心ノ出來ルヤウニ、計畫ノ總元締デアリマス企業院總裁ノ明確ナ御答辯ヲ承リマシテ私ノ質問ヲ終リマス。

○星野國務大臣 諸般ノ統制ガ色々巧ク行カナイ點ガアル、其ノ爲ニ却テ生産ノ増進ニモ障礙ガアル、又國民ニ對シテモ色々迷惑ヲ掛ケル、左様ナコトモ多イト云フコトヲ承知致シマシテ、私達モ洵ニ残念ニ存スルノデゴザイマス、其ノ處置ト致シマシテハドウスルカト云フコトヲ千思萬考致シマシタ末、經濟新體制ト云フヤウナコトモ考慮致シマシテ、出來ルダケ各業者ト云フモノガ進んで此ノ經濟責任ヲ持ツトゴザイマス、併シサウナルマデノ間ト致シマシテモ、統制ノ色々ナ不備ノ點ニ付キマシテモ、私達ノ責任デゴザイマシテ、出來得ル限リ宜ク致スヤウノ努力ヲ致シタイと思ヒマス、尙ホ最後ニ御述ベニナリマシタ點ニ付キマシテハ、是ハ先般ノ閣議決定ノ趣旨ニモ明瞭デアリマス通り、決シテ中小ノ商人ヲ

排除スルトカ、或ハ今御話ノヤウニ問屋組織ヲ排除スルト云フヤウナ考ヘハ頭持ツテ居リマセス、出來ル限リ有用ナル働キヲサセルヤウ指導スルノガ一番宜イト、斯様ニ考ヘテ居リマス、其ノ點ハ一ツ十分御諒解ヲ願ヒタイと思ヒマス。

○増田委員長 井上良次君——井上君ニ申上ゲマスガドウゾ簡潔ニ御願ヒシマス。

○井上(良)委員 時間ガアリマセスノデ要點ダケ質問申上ゲタイと思ヒマス、第一ハ政府ノ技術振興ニ關スル方針デアリマス、政府デハ豫算其ノ他ニ於キマシテ時局下ニ於ケル技術振興ガ如何ニ重大デアルカト云フコトヲ考ヘラレテ相當積極的ノ意見ヲ持ツテ居ラレルヤウデゴザイマスガ、併シソレガ現實ノ舞臺ニ適用セラレル時ニハ殆ド駄目ニナツテシマフ、具體的ニ言ヒマス、從來日本ノ技術ト云フモノガ外國模倣デ、日本獨自ノ性格ヲ持ツタ餘所ノ眞似ノ出來ナイ技術ト云フモノガ案外少ナカッタ、ソレヲ日本トシテハ至急ニ拵ヘナケレバナラス、日本ノ土地ト日本國民ノ頭ノ中デ考ヘ出シタ、餘所ノ眞似ノ出來ナイ技術ト云フモノヲ作り上ゲナケレバナラナイ、是ガ日本トシテハ絕對必要デアリマスガ、ソレガ爲ニ各所ニ分散シテアリマス所ノ各ノ研究所、或ハ又ソレニ伴フ機關ト云フモノヲ統合スル必要ガアル、サウシテ研究員ノ適材適所ノ配置、或ハ又優秀ナル機械器具ノ交換ト云フヤウナコトニ付テモツト積極的ニ企業院ガ方針ヲ立テ實行スルコトガ必要デアルト思ヒマス、問題ハ實行デス、内閣總理大臣ノ下ニ科學技術ノ振興ノ綜合機關ヲ設タル必要ガアルト思ヒマスガ、之ニ對スル企業院總裁ノ御所見ヲ伺ヒタイ。

○星野國務大臣 御答へ致シマス、仰セノ通りデアリマス、ソレニ付キマシテハ一方ニ先般御協賛ヲ經マシタ總動員法ノ第五條、第十四條、兩條ノ規定ヲ設ケマシテ、一方ニ於キマシテハ技術ヲ最も有效ナル方面ニ實施セシムル途ヲ開キ、又其ノ爲ニハ總動員法ノ規定ニ依リマシテ必要アル場合ニハ技術ノ援助ヲ政府デ命令スルト云フヤウナ規定ヲ設ケテアリマス、又其ノ根本ニ於キマシテ科學ノ統制、各種ノ科學技術ト云フモノヲ統一一致シ、研究ヲ綜合シテ其ノ效果ヲ發揮スルト云フヤウナ目的ノ爲ニハ只今井上君ノ仰シヤウナ機關ヲ設タル必要ガアルデハナイカト云フノデ、現在色々準備致シテ居リマス、其ノ爲ニ各界ノ研究ノ代表者其ノ他ヲ集メマシテ既ニ四五回開キ合セテ色々御相談ヲ致シマシテ、現在多少ノ成案モ得テ居リマス、日ナラズソレヲ公ニスルコトガ出來ルドラウト思ツテ居リマス。

○井上(良)委員 技術ノ振興ヲ圖ル爲ニハ、ソレガ實用化サレ、社會化サレト云フコトナラデス、實用化、社會化ト云フ間題ハ其ノ技術ヲ實際利用スルコトニ依ツテ利益ガアルカナイカト云フ種ニ掛ケラレナケレバ、ソレガ社會化サレナイ、茲ニ非常ニ技術ノ普及發達ヲ妨害スル問題ガ横タハツテ居リマス、ソコデ非常ニ日本の性格ヲ持ツタ優秀ナ技術ガ發見サレ、ソレガ工業化サレ、社會化サレヨウトスル場合ニナリマシタ時ニハ、積極的ニ政府ガ之ニ援助ヲ與ヘマシテ、ソレノ普及發達ヲ圖ラナケレバナラス、殊ニ生産品揚立場カラ、其ノ技術ヲ使ヘバ、非常ニ資材ノ節約、能率ノ増進ト云フ點ガアルニ拘ラズ、色々ナツツ

○田中(耕)委員 時間ガアリマセスカラアト一點ダケ御質問申上ゲテ止メマス、統制ノ現狀ト云フモノハ私共國民ノ代表ト致シマシテ、斯ウ云フ所十分御話致サナケレバナラスノデアリマス、憤激ニ堪ヘナイコトガ幾多ゴザイマス、例ヘバ農村デ馬ヲ挽イテ肥料ヲ取リニ行ツタ、サウシテ一日掛ツテ肥料ノ配給ヲ受ケタ、所ガ結局歸リニハ其ノ肥料ヲ懐中ニ入レテ來タト其ノ人ハ泣イテ私ニ語リマシタ、肥料ガ澤山來ルト思ツタカラ馬ヲ挽イテ能一日潰シテ行ツタ所ガ、一人ノ配給ガ百何十匁、ソレデ懐中ニ入レテ來タト云フヤウナ状態デアリマス、是ガ日本ニ國力ガナクテサウナウテ居ルノナラバム得ナイガ、サウチヤナイ、國力ハアル恐ラク私共今日ノ日本ノ國力ハ、ドイツイニ何倍スル國力ガアルト思ツテ居ル、然ルニ此ノ状態ハヤハリ統制ナラ統制ト云フコトガ、机上デ考ヘテ實情ニ即サナイコトニ缺陷ガアルト云フコトヲ先ツ第一ニ考ヘナケレバナラス、私共ノ方ニ於キマシテハ馬ガドンノ米ヲ食ツテ居ツタ、不思議ナヤウナ話デアリマスケレドモ、馬ニ與レルベキ馬糞ガナイ、豆ヲ與レヤウトスルト、米ヨリモ高イ、又麥ヲ與レヤウトシテモ米ヨリモ高イト云フノデ、結局馬ヲ馬ニドンドン與レテ居ツタ、斯ウ云ツタ状態ニアルノデアリマスガ、此ノ配給ニ付キマシテ一ツ申上ゲタイコトハ、企業院總裁ノ心持トシテ、商人ト云フヤウナ中間ノモノハ廢メテ、他ノ配給デヤラウト云フ御心持デアリマセウカ、要スルニ今日ノ配給ニ致シマシテモ、配給機構ノ不備ノ爲ニ手間ヲ潰スコトハ大變ナモノデアリマス、先程ノ肥料ノ配

シイ法規命令ニ轉ラレテ、ソレガ實用化サレテ居ナイモノガ澤山アル、具體的ナ例ヲ申シマス、例ヘバ鑄物工場ニ於キマシテハ舊式「キーボラ」ト云フ鑄造設備ガゴザイマスガ、之ヲ廢シテ新式「キーボラ」ヲ設備致シマス、コトクニ燃料ガ三割近ク節約出來ル、今日石炭不足デ、電力問題、其ノ他動力ノ問題ガヤカマシク言ハレテ居リマスニモ拘ラズ、此ノ「コトク」ノ使用上三割ノ節約ヲ來ス新式「キーボラ」設備ノ据付ニ對シマシテハ鑄造設備制限令、機械設備制限令ト云フモノガアリマシテ、之ヲ据エ付ケサセナイ、現ニ埼玉縣ノ川口市ノ中小鑄物工場ハ是非非常ニ困ツテ居ル、又關西ノ方面ニモサウ云フ例ガアリマス、何故生産設備ヲ新式ニ變更サスコトヲ政府ハ助成シ努力シナイカ、斯ノ如キ制限令ヲ速カニ撤廢シテ、實際其ノ能率ヲ高キ設備ヲ急設サス必要ガアルト思ヒマスガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒマス。

ソレカラ今一ツハ現在中小工業ノ機械工場ナドニ於キマシテ技術ガ非常ニ惡クテ下請ヲサセラレナイト云フ意見ガアルノデゴザイマスガ、此ノ中小工場ノ技術ヲ一定ノ水準ニマデ高メテ行カナケレバナラス、其ノ爲メ又ソレガ實際良イ技術カドウカニ付テ調査研究スル國立ノ技術研究所ト云ヒマスカ、或ハ製品ノ検査制度ト云フヤウナモノヲ新設シテ設ケマシテ、材質ノ調査研究或ハ製品ノ検査制度ヲ設ケマシテ、非當ニ中小工業ノ技術水準ガ高マルト考ヘマスガ、之ニ關シテ御意見ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス。

○星野國務大臣 洵ニ御尤モナ御意見ト思ヒマス、原則トシテハ全ク同意致シテ居リ

マス、唯具體的ノ問題ニ付キマシテハ、私ガ此處デ直チニドウスルト云フ御答辯モ出來ネマスノデ、後刻ニツクリ御話ヲ伺ヒタイ、サウシテ處置ヲ致シタイと思ヒマス。

○井上(良)委員 最後ニ企業院總裁兼國務大臣ト云フ立場ニ於ケルアナタノ御意見ヲ伺フモノガ個々ノ場合ニ最初一ツノ革新案ヲ發表サレル、サウナルソレニ利害關係ヲ持ツテ居ル業者ガ、政府ニ苦情ノ陳情スル、サウナルト今度ハ又革新案ガ緩和サレルト云フヤウナ状態ガ非常ニ多イ、例ヘバ次官通牒ヲ出ス、其ノ次官通牒ガ新聞ニ出ルト、業者ガ大變ト云フノデドンノ東京ニ集マツテ來ル、サウシテ當局ニ對シテ猛烈ナ反對陳情ヲヤル、サウナルト今度ハ又次官通牒ヲソレヲヤラナイ、具體的ニ問題ニナツテ居ルノハ、中小工業ノ整理統合ノ問題デアル、今大臣ガ問屋トカ何トカ云フモノハ無茶ナ整理ハシナイト云ハレテ居リマスガ、併シナガラ今同ノ轉廢業ノ問題ハ國防完成ト軍需品ノ圓滑迅速ナル生産ヲ確保致シ、他面ニハ國民ノ最低生活ヲ保障スルニ足ルダケノ生活物資ノ生産ト配給ヲ確保スル爲メ、ドウシテモ從來ノ自由主義的ノ無統制ノ状態デハイケナイ、又サウ云フ性格デハイケナイト云フ所ニ轉廢業問題ノ本質ガ起ツテ居ルノデス、是ハドウシテモ整理統合シナケレバナラナイト云フコトニナツテ居ル、ナツテ居ルノニ、アナタガ今言フヤウナコトヲ言フモノダカラ、國民ハ空模様ヲ見ル積リデ、デット待ツテ居ヨウ、其ノ中ニ何トカ片ガ付タラウト考ヘテ待ツテ居ル、方針ハ示シタラシタ通りニドンノヤラナケレバイケカス、



具體的ナ話ヲ申シマスルト、昨年ノ十一月二十七日デシタカ、十二月二十七日デシタカ、ハツキリ憶エテ居リマセウガ、商工次官ノ通牒ノ中ニ機械工業ノ設備整理要綱ト云フモノヲ各府縣知事ニ通達シテ居リマス、之ニ依ルト機械工業設備ノ整理統合ヲスル所ノ具體的ノ指示ガ出テ居ル、所ガ商工省ガ中小工業ノ整理統合デハナイ、維持育成ヲヤルノダト言フモノノダカラ、地方ノ役人ハドツチニシタラ宜イノダト云フノデ迷ッテ居ル、役人ガ迷フノハ宜イケレドモ、現實ニソレデ生活シテ、飯ヲ食ツテ行カナレバナラヌ中小工業者ハ、政府ノ方針ハ一體ドツチニ行クノカト言フテ非常ニ迷ッテ居ル、斯ウ云フヤウニ業者ヲ迷ハシテ置イテ、結局少シモ明確ナ線ヲ示サナイノデ、企業院總裁ノ責任ガ取ラレマスカ、實際ドウデスカ、而モ今日ノ轉廢業ノ問題ト云フモノハ、國防完成ト軍需品ノ圓滑迅速ナル生産ヲ確保スル共ニ、他方國民ノ最低生活ヲ保障スルダケノ生活物資ノ生産ト供給ト消費ノ圓滑ニヤラナケレバナラヌト云フ所カラ起ツテ居ル、ヤラナクテモ宜イト政府ハ御考ヘデスカ、最近商工大臣ノ考ヘ方ヲ聽イテ居リマシテモ、ドウモ此ノ問題ニ付テハ生緩クテ分ラヌ、具體的ニ政府ノ方デハ整理統合ノ方針デ、當該省デアル商工省ガ昨年ノ暮ニ出シタ機械工業ノ整理統合ノ指令ノヤウニアア云フ線デ明確ニ整理シヨウトスルカ、ソレトモ中小工業者ハ日本特有ノ存在デアルカラ、之ヲ維持育成シテヤルガ、其ノ内ニ行ケナイノハ行ケナイデ、何トカナルダラウト云フヤウニ蛇ノ生殺シノ如キ状態ニ放任シマスカ、ソレトモ維持育成スルニ付テハ、具體的ニ此ノ重點主義ヲ強化

ニ依ル資材不足、物資不足ノ中デ喘イデ居ル中小工業者ノ生キル途ヲ明確ニ御示シタルカ、私ハ後者ヲ特ニ御願ヒシ、企業院總裁兼國務大臣ニ對シテノ質問ハ是デ終リマス

○星野國務大臣 只今井上サンノ御意見ヲ御尤モデアリマス、中小工業者ニ付キマシテハ、先般此ノ席上デ申シタルノデゴザイマスガ、勿論今日國家ノ重要ナル生産配給ノ部而テ持ツテ居ルノデアリマスガ、又一面ニ於キマシテハ國民大多數ノ一ツノ生活體ト言フベキモノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ處置ニ當リマシテハ、單ニ是ガ配給上ノ宜イ、或ハ是ガ能率上宜イト云フ立場ノミナラヌ、ヤハリ其ノ業者自體ノ生活ト云フモノヲ十分ニ考慮シナケレバナラヌ、ソコデ抽象的ニ中小工業ト云フモノニ對シテ、先ガイカスカラ整理スルト云フヤウナ方針ヲ決メルト云フコトニナリマスレバ、ソレガ却テ現實ノ場合ニ於テハ、各地方ニ行キ、又各末端ニ參リマスルト冷チカナ當リガ行クノチナナイカ、是ハイカスカラチヤナイカ、ヤハリ中小工業ニ付テハ之ヲ維持育成スルト云フ政府ノ心持、此ノ心持ヲ飽クマデモ徹底シテ、而シテ其ノ根本ニ於キマシテ、御話ノヤウニ一方ニ於テハ配給生産其ノ他ノ關係上整理セザルヲ得ザル問題、或ハ物動計畫、其ノ他ノ關係上、物資其ノ他ノ減少ニ伴ヒマシテ自然ニ維持スルコトガ困難ナモノガアルノデアリマス、ソレ等ニ對シマシテハ出來ルダケニ是等ヲ維持育成スルト云フ心持ノ下ニ、仕事ノ點ニ於キマシテハ出來ル限リ配給生産ノ組織ノ一部門ヲ分擔セシムルヤウニ導クト共ニ、已ムヲ得ズ轉廢業セザルヲ得ナイト云フ者ニ付キマシテハ、政府トシテハ諸般ノ施設ヲ

講シマシテ、サウシテ比較的犧牲少クシテ轉移スルヤウニシナケレバナラヌ、政府ノ先ヅヤラナケレバナラヌコトハ、轉移シマスル場合ニ順調ニ轉移スルコトガ出來ルヤウニ力ヲ致スト云フコトガ大切デアル、其ノ力ヲ致スト云フコトニ先ヅ力ヲ注グベキデアラウ、一方ニ於キマシテ抽象的ト云フテハカシイカモ知レマセウガ、全國的ニ中小工業ハ斯ウ云フ風ニ整理スルノダト云フコトヲ示スコトハ、却テ現實ノ當リトシテハ冷チイ當リガアリ、而モ趣旨ガ往々ニシテ逸脱サレテ、却テ效果ヲ擧ゲナイト云フコトガアル、隨ヒマシテ根本ノ心持ト致シマシテハ、ヤハリ一方ニ於テハ之ヲ成ベク維持育成スル心持、一方ニ於キマシテハソレ等ガドウシテモ移リ變ラナケレバナラヌト云フ場合ニ於ケル處置ト云フモノニ政府ハ寧ろ力ヲ入レヨウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論ハ中小工業ト雖モ我ガ國ノ産業ノ重要ナル部門ヲ成スモノデアリマス、是ガ出來得ル限リ能率的ニ實行セラレ、又有用ナル役割ヲナシテ行クト云フコトノ必要ハ勿論デゴザイマスガ、併シヤハリ中小工業ソレ自體ヲ生カシテ使フト云フコトニ出來得ル限リ思ヒヨシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ積リテ居ルノデアリマス

トニナツテ來タ、サウ云フ觀點カラ考ヘマス、國家ノ今要求シテ居ル目的ハ、直接ニハ軍需品デアリマス、ソシテソレハ極メテ高度ノ技術ヲ要スル、ソレガ今マデノヤウナ中小工業ノ仕組デハ逆モイケナイ、是ハヤハリ重點主義ナラ重點主義、國家ノ方針ナラ方針ノ下ニ整理統合シテ、統合サレタ中小工業者ニ對シテハ、下請制度ハ斯ウシテヤルト云フ、此ノ整備統合ヲスル線ヲ明確ニ規定シテ、サウシテソレニ依ツテ維持育成ノ具體的方針ヲ決メテヤルト云フコトガ、親切ナル中小工業ノ轉廢業對策デハナイカト考ヘマス、其ノ事ヲ少シモ言ハズシテ、唯維持育成々々々ト云フカラ、俺達ノ爲ニヤツテ呉レルカト思ツテ居ル、片方厚生大臣ノ方デハ、商賣ハ今マデノ考ヘデハイカスカ、今マデ通りノ仕事ノヤリ方デハイカスカ、轉廢業ナル覺悟ヲ決メ、覺悟ヲシテ來タラ仕事ハヤル、斯ウ言ハレ行ツテ宜イヤラ分ラヌヤウナ状態ニ置イテオイテ、唯出テ來イト言フ、ソレハ詰リ商工省ノ所管デアル、コチラハ出ス方デス、コチラハ中デ引受ケル方デアツテ、是ガ厚生省、之ヲ始末スル軍需工場ハコチラニアカマシク言フ、火ガ付イテ來ルト思ヒマスカラ黙ツテ居レト云フコトデ、出來ルダケ轉廢業ナドハ言ハヌヤウニシテ居ル、此ノ頃ハ轉廢業ト云フテ名前カラ變ツテ來テ居ル、政府ノ方針デ勿論失業ナドハ今日ノ時代ニハアリマセウシ、又從來ノ資本主義的失業ナドト云フモノハナイカラ、ソレハソレデ宜シイガ、兎モ角私ハ本質的ニ日

本ノ國家ト民族ノ發展ノ線ニ於テ中小工業ガ是非統合サレナケレバナラヌ所ノ本質的ノ相ヲ持ツテ居ルガ、ソレヲ政府ノ方デ、カムフラージュシテ、是ハ大事ダカラ一ツ置イテオクト云フケレドモ、技術ノ振興、科學ノ振興ハ現在ノ家内工業、手工業的ノ家族子供ヲ相手ニシテヤツテ居ル時ニ於テハ如何ニシテモ變ヘナケレバナラヌ、其ノ明確ナ線ヲ引イテヤツテ、サウシテ本當ニ國策ノ線ニ沿ヒ、時局ノ線ニ沿ウテ中小工業ノ機能ヲ發揚スル爲ニ必要ナル維持育成ノ具體政策ヲ技術的ニ、金融的ニ、或ハ又教育的ニ對策ヲ講ジテヤルコトガ政府トシテヤラナケレバナラヌノデアリマス、此ノ點ニ對スル明確ナル線ヲ引イテヤラヌト、ソレハ徒ラニ半失業状態ニ於テ戰時下重要ナル労働員ヲ妨害シ、或ハ又一ツノ惡影響ヲ受ケル色々ナ不堅實ナ面ガ出テ來マスカラ、速カニ之ニ對スル明確ナル整理統合ノ方針ヲ決メテヤル、尙ホソレノ業種別統合ノ線ノ内容ト云フヤウナモノニ付テ、積極的ナ御對策ヲ御願ヒ致シテ置キタイト思フノデアリマスガ、之ニ對スル企業院總裁ノ御答辯ヲ今一應承ツテ置キタイト思ヒマス

成スルト云フコトノ内容ト致シマシテハ、ヤハリ大キイ工場トノ連絡ヲ執ルナリ、或ハソレ等ノ任務ヲ適當ニ整理統合ヲ行フナリ、或ハ新シイ仕事ヲ之ニ與ヘテ行クナリシテヤツテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ通りデアリマス、ソコデ其ノコトニ付キマシテハ、私ハ只今御話ノヤウナ面ニ付キマシテハ、是ハヤハリ軍需産業擴充、國力増強ト云フ點ニ付テモ相當思ヒ切ツタ處置ヲ執ル、其ノ方向ニ於テヤハリ維持育成ヲヤラナケレバナラヌト思ヒマス、併シ一般ノ中小工業ト云フモノニ付キマシテハ、先程申シマシタヤウナ心持ヲ行カナケレバナラヌト思ヒマス、是ガ兎角抽象的ニ中小工業ノ將來ハモウ自信ガナイト云フヤウニ持ツテ行クト云フコトニナリマス、是ガ全體ノ世相ニモ影響シマスシ、又生産或ハ配給ニモ影響ヲ致シテ參リマス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、御趣旨ノヤウナ點ニ付キマシテハ勿論十分考慮シマシテ、維持育成ヲスル方法ヲ講ズル、斯ウ云フ心持ヲ根本ニ置イテ、各商業、工業、又其ノ工業ノ種類ニ依ツテ勿論異ルト思ヒマスカラ、適切ナル處置ヲ取ツテ行カナケレバナラヌト存ジテ居リマス

○増田委員長 本日ハ此ノ程度ニ於テ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後五時五十七分散會

○星野國務大臣 能ク分リマシタ、多少井上サンノ考ヘテ居ラレル範圍ト、私ノ考ヘテ居ル範圍トハ違ツテ居ツタノダラウト思ヒマス、私ハ中小工業全部ノ問題トシテ引括メテ行カナケレバナラヌト思フ、併シ只今井上サンノ御話ヲ段々承ツテ居リマス、例ハバ重要ナル軍需産業ノ一部分ヲ扱ツテ居ル工場、是ハ中小ト云ヒマシテモ或ル程度大キイモノモアリマスガ、是等ニ付キマシテハヤハリ只今御話ノヤウニ本當ニ維持育

(參照)  
佐藤委員要求ノ參考資料  
一、治安維持法改正委員會ニ政府ヨリ提出シタル資料



昭和十六年二月十九日印刷

昭和十六年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第一號)

第七十六回帝國議會 豫算委員會議錄(速記)第十九回

(二〇六)

會議

昭和十六年二月十九日(水曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 増田 義一君
- 理事 伊禮 肇君 理事 小笠原三九郎君
- 理事 佐藤洋之助君 理事 田中 好君
- 理事 西川 貞一君 理事 古田喜三太君
- 理事 三浦 虎雄君 理事 三宅 正一君
- 理事 宮澤 胤勇君 理事 森田重次郎君
- 理事 矢野庄太郎君

- 青山 憲三君 井上 良次君
- 石坂 豊一君 一ノ瀬俊民君
- 泉 國三郎君 今井 新造君
- 江藤源九郎君 小野 謙一君
- 大本貞太郎君 加藤 綱一君
- 笠井 重治君 勝 正憲君
- 川崎 克君 木村 正義君
- 岸田 正記君 北 吟吉君
- 久山 知之君 島田 俊雄君
- 助川啓四郎君 多田 滿長君
- 高田 松平君 武田德三郎君
- 津雲 國利君 長野 長廣君
- 鶴見 祐輔君 末松備一郎君
- 東郷 實君 米窪 滿亮君
- 中島彌次君 中田 儀直君
- 中山 福藏君 松本治一郎君
- 松村 光三君 一松 定吉君
- 平川松太郎君 田中 耕君
- 深澤 吉平君 藤本 捨助君
- 古屋 慶隆君 堀内 良平君

出席國務大臣左ノ如シ

- 河野 密君 三善 信房君
- 木暮武太夫君 森田 福市君
- 横川 重次君 依光 好秋君
- 一宮房治郎君

- 內務大臣 男爵平沼騏一郎君
- 厚生大臣 金光 庸夫君
- 拓務大臣 秋田 清君
- 陸軍大臣 東條 英機君
- 文部大臣 橋田 邦彦君
- 大藏大臣 河田 烈君
- 農林大臣 石黒 忠篤君
- 鐵道大臣 小川郷太郎君
- 國務大臣 星野 直樹君
- 司法大臣 柳川 平助君

出席府委員左ノ如シ

- 企畫院次長 小畑 忠良君
- 企畫院部長 三浦 一雄君
- 企畫院部長 藤澤 威雄君
- 外務次官 大橋 忠一君
- 外務書記官 武内時之助君
- 內務次官 萱場 軍藏君
- 內務省警保局長 橋本 清吉君
- 內務省土木局長 成田 一郎君
- 內務省計畫局長 藤岡 長敏君
- 內務省計畫官 三好 重夫君
- 大藏次官 廣瀨 豊作君
- 大藏省主計局長 谷口 恒二君
- 大藏省理財局長 竹内 新平君
- 大藏省銀行局長 相田 岩夫君
- 大藏省爲替局長 原口 武夫君

- 大藏書記官 梅北 末初君
- 大藏書記官 氏家 武君
- 大藏書記官 植木庚子郎君
- 大藏書記官 日下部 滋君
- 大藏書記官 河野 一之君
- 大藏書記官 福田 勉夫君
- 大藏書記官 坂口 芳久君
- 大藏書記官 山際 正道君
- 大藏書記官 野田 卯一君
- 大藏書記官 山住 克巳君
- 大藏事務官 中村孝次郎君
- 預金部資金局長 入江 昂君
- 營繕管理局長 花田 政春君
- 專賣局長 石川半三郎君
- 陸軍主計中將 武藤 章君
- 陸軍少將 石川半三郎君
- 海軍主計中將 武井 大助君
- 海軍少將 岡 敬純君
- 海軍少將 保科善四郎君
- 司法書記官 石田 壽君
- 司法書記官 太田 耐造君
- 文部省專門學務局長 永井 浩君
- 文部省普通學務局長 中野 善教君
- 文部省實業學務局長 關口 勳君
- 文部省體育局長 小笠原道生君
- 農林省農政局長 岸 良一君
- 農林省水產局長 平岡 梓君
- 農林省食品局長 辻 謹吾君
- 農林省資材部長 重政 誠之君
- 農林書記官 岡本 直人君

- 食糧管理局長 湯河 元威君
- 商工省總務局長 椎名悦三郎君
- 商工省鑛產局長 鈴木 英雄君
- 商工省化學局長 永田彦太郎君
- 商工省監理局長 長谷川公一君
- 特許局長 大貝 晴彦君
- 逓信省經理局長 山田 良秀君
- 鐵道省經理局長 鈴木 清秀君
- 鐵道省鑛品局長 平山 孝君
- 鐵道省鑛品局長 堀木 謙三君
- 拓務省管理局長 北島謙次郎君
- 拓務省殖產局長 植場 鐵三君
- 拓務省拓北局長 今吉 敏雄君
- 拓務省拓南局長 森部 隆君
- 拓務書記官 中野 勝次君
- 朝鮮總督府政務總監 大野謙一郎君
- 朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
- 臺灣總督府總務局長 齋藤 樹君
- 臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君
- 樺太廳長官 小川 正儀君
- 南洋廳長官 近藤 駿介君
- 厚生省體力局長 佐々木芳遠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

(第一號)昭和十五年度歲入歳出總豫算追加案

(第二號)昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(第三號)昭和十五年度歲入歳出總豫算追加案

(特第三號)昭和十五年度特別會計歳入歳出案











ニ依ツテ愈々實現ノ第一歩ヲ印シタ、人類ノ世界ニ於テ會テナイニ大事業アリマス、即チ明治ノ維新ハ明治ノ四十五年間ノ維新デハ斷ジテナイノデアリマス、七百年ノ長イ間政治ノ權、兵馬ノ權ガ武家ノ手ニ握ラレテ居ツタモノガ、天皇ノ御親政ニ復シタノデアリマス、是レ以上ノ變革ハナイノデアリマス、政黨ノ解消、經濟新體制ト云フヤウナ程度ノモノトハ比較ニナラナイノデアリマス、然レニ大正時代ニハ大正維新、昭和ノ御代ニハ昭和維新ヲ言フ、是ハ同僚議員カラ聞イタコトデアリマス、ガ、實情ハ人ガ地方ヘ行ツテ、大正維新ノ出来ナカツタノハ議會ノ罪デアリマス、フヤウナコトヲ言ツタサウデアリマス、大正維新、昭和維新、斯ウ云ツタコトハ言フベキ言葉デハアリマセス、殊ニ明治維新以上ノ變革ト云フコトハ何事デアリマセウカ、國民ト致シマシテハ謹ンデ御詔勅ニ御應答ヲ奉體スルト云フコトガ基準デアルト存ジマス、大正天皇ガ長クモ皇考中興ノ宏願ヲ繼承シテ肯テ庶ラサラムコトヲ庶幾シ「ト仰セ遊バサレタ、今上天皇陛下ニ於カセラレマシテハ朝見式ノ御詔勅ニ於キマシテ「維新ノ宏願ヲ顯揚センコトヲ懋ムヘシ」ト宜ハセラレタノデアリマス、即チ大正時代モ、昭和ノ御代モ明治維新ノ宏願ヲ顯揚シ奉ル時代デアリマス、陛下御自ラ斯ク仰セ遊バサレテ居ルニ拘ラス、臣下ガ昭和維新ト云ヒ、或ハ明治維新以上ノ變革ノ時デアルト云フヤウナ言葉ハ、大義名分ヲ索ルモ甚ダシト思フノデアリマスガ、之ニ對シマシテ總理大臣ニ代ツテ内務大臣ヨリ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

ナケレバナラヌ時期デアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、唯徒ラニ現狀ニ拘ハリマシテ、革新ノ實ヲ擧ゲヌト云フヤウナコトデアリマシテハ、此ノ世界ノ大勢ニ對應スルコトハ出来マセス、革新ト云フコトノ必要ハ勿論デアリマス、唯此ノ革新ヲ斷行スルニ付キマシテ、細心ノ注意ヲ用ヒナケレバナラヌコトハ、必申スマデモナイコトデアリマス、革新ノ必要アルコトハ、ハ明瞭デアリマス、唯之ヲ維新ト云フコトハ、今日世間デ改新、維新、斯ウ申シマスノハ、其ノ意義ヲ申シテ居ルコトハ、勿論大義名分ヲ索リマス、ルガ如キ言動ハ、政府トシマシテハ嚴重ニ取締リマシテ、大義名分ノ重キ所以ハ官民共ニ能ク之ヲ理解シマシテ、誤リノナイウニ致サナケレバナラヌト、斯ク確信致シテ居リマス

ノ支部長トナル、是デハ折角作ツテ見テモ同ジデハナイカ、縣知事、町村長ハ支部長ナラズトモ其ノ縣、其ノ町村ニ於テ最大ノ責任ガアリマス、丁度近來首相ガ大政翼賛會ノ總裁トラストモ、日本ニ於キマスル國民ノ最大ノ責任者デアルト同ジデアリマス、徒ラニ煩瑣ナル機構、ソレハ唯屋上屋上ノ架スルニ過ギナイノデアリマス、徒ラニ煩瑣ナル手數、ソレハ唯實行ト違ザカルニ過ギナイノデアリマス、今日ノ日本ニ必要ナモトハ強大ナ實行力デアリマス、殊ニ今日ヤツテ居ル地方ノ組織ト云フモノハ官製ノモノデアツテ、唯組織ヲ變ヘテ見ルニ過ギナイ、組織ノ遊戯デアルトスラ言ハレテ居リマス、本當ノ君民一體ノ國民組織ハ、國民ノ忠誠カラ出發スル自發的熱意ニ俟タナケレバナラナイと思フ、故ニ政府ハ此ノ際ニ無形式ノ組織ヲ作ツテ、徒ラニ此ノ際ニ來スコトヲ止メテ、唯其ノ大本ヲ示シテ、後ハ國民ノ間ニ起ル正シイ運動ノ自發的發生ニ俟チ、專ラ支那事變ノ處理ニ邁進スベキモノデアルト思ヒマス、第一次近衛内閣ノ當時國民再組織ト云フコトガ言ハレマシタ、此ノ時ハ國內ノ問題ニ日ヲ費シテ居ル時デアリカ、專ラ支那事變ノ處理ニ邁進スル、國內ノコトハ後述シヌルト云フコトヲ申シマシタ、然レニ支那事變第五年ヲ迎ヘ、事變解決ノ曙光モ見エナイト政府ハ仰シヤツテ居ル、此ノ時ニ國內ノ組織機構ノ問題ニ没頭シテ居ルト云フコトハ洵ニ遺憾ニ思フノデアリマス、而モ是ガ爲ニ中央ニ於テハ政府ト議會ノ間ニ摩擦ガ起リ、地方ニ於テハ政府ト議會ト協力會議ト、地方議會トニ對立紛糾ヲ來シテ居ル、此ノコトハ洵ニ遺憾デアリマス、日本ノ現狀ハ果シテ如何

デアリマセウカ、八紘一宇ヲ言フナラバ早ク支那事變ヲ解決シテ、第三ニ備ヘナケレバナラナイノデアリマス、「ドイトツ」ハ二十年前ノ戰敗國デアリマス、復興シタリト雖モ完全ナモノデハナイノデアリマス、而モ尙ホ英國ニ對シテ勝々タル戰果ヲ收メテ居リマス、日本ハ「ドイトツ」ニ數倍スル國力ヲ有シナガラ、今日ノ如キ狀態ニ在ルコトヲ、政府ノ關係各位ハ如何ニ御考ヘニナラレカ、洵ニ國民トシテ悲憤ノ淚抑ヘ難キモノガアリマス、斯カル時ニ唯組織機構ノ煩雜ナコトニ日ヲ暮スコトハ國家最大ノ憂患デアリマス、政府ハ宜シク國民ヲ信頼シテ、其ノ自發的發生ニ委ネ、專ラ支那事變ノ處理、國民生活ノ不安除去ニ全力ヲ集中シ、以テ、上陛下ノ御宸襟ヲ安シ奉ルベキモノト思ヒマス、之ニ對シマスル大臣ノ誠意アル御答辯ヲ戴キタイノデアリマス

○平沼國務大臣 或ハ私ガ御意ヲ誤解シテ居ルカモ知レマセウガ、私ノ只今述べラレタ點ニ付テノ意見ヲ簡明ニ申上ラデ置キタイト思ヒマス、我が國ニ於キマシテ天業ヲ盡スト云フコトハ、御承知ノ通りニ大御心ヲ奉體シ大御心ヲ「各、其ノ職分ヲ盡スト云フコトデアルト思ヒマス、萬民總テ翼賛ノ責任ヲ持ツテ居リマス、各、其ノ職分ニ依ツテ翼賛ノ實ヲ擧ゲル、是ガ即チ御上ノ萬民ニ對シテ御望ミニナル所デアリト思フノデアリマス、國家ノ機關トシテハ、ソレニ「憲法ニ定メラレタルモノガ定マツテ居リマス、是ハ各、其ノ職分ニ依ツテ御奉公致スノハ當然ノコトデゴザイマス、萬民ノ翼賛モ亦各、自己ノ職分ニ依ツテ御奉公スルト云フコトデアリマスカラ、是モ日本國民總テノ責任デアラウト考ヘルノデアリマス、之ヲ盡サセセル爲ニ相當ナ技ニ組織ヲ設ケルコトハ、是ハ當然ノコトデアラウト思ヒマス、何モ之ニ依ツテ憲法ニ定メラレタル機關ノ職權ヲ侵スト云フコトハ更ニナイノデアリマス、各自職分ニ依ツテ御奉公スルト云フコトハ、是ハドウシテモ其ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト考ヘルノデ、是ガ即チ大御心ニ副ヒ奉ル所以デアラウト自分ハ確信致シテ居リマス

○田中(耕)委員 只今内務大臣ノ仰シヤルノハヤハリ近衛總理ノ仰シヤルコト同ジデアリマス、近衛首相ガ貴族院ニ於キマシテ答辯シテ居リマスノヲ見マス、大政翼賛會ハ憲法上ニ據ル大政翼賛ト、一般ノ大政翼賛トニツアルト解釋シテ宜シイデハナカラウカト言ハレテ居リマス、先程私ノ申シマシタヤウニ自分ノ考ヘデ宜シイデハナカラウカト云フヤウナアヤフヤナ考ヘデ、

タニ集マツテ來ルデゴザイマセウ、併シ是デハ革新ノ推進ナド思モ寄ラナイノデアリマス、假ニモ挺身ト云ヒ、滅私奉公ト云フナラバ、宜シク無報酬デモヤルベキモノデアル、政府カラ出サレマシタ資料ヲ見マス、大臣、大將ニ近イ俸給ヲ貰ツテ居ル者ガ七人、局長級ガ二十三人、又既ニ支出費ガ二十四萬圓、事業費ガタツタ十二萬圓デアリマス、人件費ノ爲ノ事業デハナク、事業ノ爲ノ人件費デアルトト思ヒマス時ニ、事業費ヨリモ人件費ガ多イト云フコトハ遺憾デアリマス、斯ウシタ状態ヲ國民ガ知ツタナラバドウ思フカ、滅私奉公ト云ヒナガラ、挺身ト言ヒナガラ、滅私奉公ト云フノ國民ガ果シテ許スデアラウカト私ハ思フノデアリマス、私自身ハモウ過去十數年殆ド一切ノ犠牲ニシテヤツテ來テ居リマス、私ノ歳費三千圓モ立憲養正會ノ運動ニ皆出シテ居リマス、要スルニ犠牲ノ精神ト云フコトガ根本デナカラウカト存ジマス、明治二十六年ノ日清戰爭ノ前ニ於キマシテ、長クモ 明治天皇ハ「力ノ耐ヘ心ノ及ハム限リハ節約ヲ重スヘシ」ト仰セ遊バサレマシテ、毎歲三十萬圓ノ國防費ヲ御下附遊バサレタコトヲ拜承シテ居リマス、當時ノ役人ハ皆俸給ノ一割ヲ騰出シテ國防費ニ充テタト申シマス、若シ政府ニ重大ナル決意ガアリマスナラバ、大官ノ人々等ハ俸給ノ幾割デモ自發的ニ高度國防建設ノ爲ニ出シテ國民ニ範ヲ示スコトガアツテモ然ルベキデアリト思フノデアリマス、況シテ滅私奉公ト云ヒ挺身ト云ヒ、其ノ範ヲ示スベキ爲ニ出來タ國民指導ノ翼賛會ト致シマシテハ、此ノ明治天皇ノ「力ノ耐ヘ心ノ及ハム限リ

ハ節約ヲ重スヘシ」トノ聖旨ヲ體シテ實踐スル行スベキモノデアルト思ヒマスガ、之ニ對シマスル所見ヲ承リタイト存ジマス

○平沼國務大臣 官民共ニ私ヲ去ツテ公ニ奉ズルト云フ精神デナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、政府トシテハ國民全體ノ生活ノ安定ヲ講ジマスルコトハ固ヨリ異論ハゴザイマセウ、唯金錢デ事ヲスルト云フヤウナコトハ決シテ政府ハ致シテ居リマセウ

○田中(耕)委員 最後ニ一點伺ヒマス、ヤハリ名分ノ問題デアリマスルガ、我等國民ノ行動ハ一切 天皇陛下ノ恩召ヲ基準トシナケレバナラナイト云フコトハ先程申上ラデタノデアリマス、即チ憲法發布ノ御詔勅ニ「朕カ意ヲ奉體シ朕カ事ヲ獎勵シ」ト仰セ遊バサレテ居リマス、大業翼賛ト云フコトモ、其ノ意義ヲ最モ的確ニ言フナラバ、天皇ノ御意ヲ奉體シ 天皇ノ御事ヲ獎勵シ奉ルコトデアリマス、苟クモ翼賛ト云フナラバ、臣道實踐ト云フナラバ、決シテ私意私情ヲ以テ物事ヲ考ヘテハナリマセウ、殊ニ舊體制ノ政治組織ヲ改メテ、新シキ政治體制ヲ作ルト云フヤウナ重大ナ場合ニ於キマシテハ、此ノ點ヲ特ニ注意シナケレバナリマセウ、自分ノ考ヘ等ニ依リマシテ輕々シク國家ノ大事ヲ議シ、制度組織ノ上ニ淺薄ナ組織ヲスラナラバ、革新ドコロデハナク、却テ事態ヲ惡クスルノデアリマス、即チ自分ノ智慧ヲ覺ラ特ニミトセズ、一切 天皇ノ御言葉、御詔勅ヲ基準トシテ考ヘナケレバナリマセウ、即チ大業翼賛ノ方法、大業翼賛ノ機關ニ付テハ、既ニ明治二十六年「朕又議會ヲ開キ公議ヲ盡シテ大業ヲ翼賛セシムルコトヲ期シタリ」此ノ御詔勅ニ依ツテ明カ

ニ大業ヲ翼賛シ奉ル機關、方法ハ議會デアルト云フコトガ御示シ遊バサレテ居リマス、天皇ガ臣民ニ大業翼賛ヲ期待シ給フ所ハ別ノ所デハナイ、議會デアリマス、必ズ議會デナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ今マデノ日本ニ於キマシテハ、議會ガ大業翼賛ノ機關デアルト云フコトヲ悟ラズ、議會ハ民意ヲ述ベル所、民權ヲ護ル所ト考ヘテ、民主主義ノ國デアル英國ノ議會ヲ手本トシテ來タコトガ誤リデアリマス、併シナガラ今マデノ議會ガイケナカツタト云フテ外ノモノヲ作ラウ、政府ノ答辯ニ依レバ補助機關ヲ作ラウト云フコトハ又誤リデアリマス(ヒヤ)議會ヲ眞ニ大業翼賛ノ機關ニ直セバ宜イ、憲法上ノコトニ付テハ既ニ川崎委員カラ述べラレテ居リマスカラ、私ハ省略致シマスガ、立憲養生會ノ總裁ハ昨年養生時評ニ於テ此ノコトヲ警告致シテ居ルノデアリマス、私ハ陛下ノ御聖旨ニ基キテ云フコト、此ノ一ツカラ言フノデアリマス、ヤハリ明治二十六年ノ御詔勅ニ「朕ハ閣臣ト議會トニ倚リ立憲ノ機關トシ」ト明カニ仰セ遊バサレタ、御詔勅ニ依レバ大業翼賛ノ機關ハ別ニアツテハナリマセウ、假令議會以外ニ於テ日本國民ノ大業ヲ翼賛スルコトガアツタト致シマシテモ、ソレハ臣民個々ノモノデアツテ、國民齊シク大業翼賛ノ姿ヲ示スノハ必ラス議會ト云フ形式、議會ト云フ方法、議會ト云フ場所デナケレバナラヌノデアリマス、補助機關ト云フコトハ、明カニ此ノ御詔勅ノ御精神ニ反スルモノデアルト思フガ、此ノ點ヲ如何ニ御考ヘニナリマスカ、承リタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 或ハ私ガ御意ヲ誤解シテ居ルカモ知レマセウガ、私ノ只今述べラレタ點ニ付テノ意見ヲ簡明ニ申上ラデ置キタイト思ヒマス、我が國ニ於キマシテ天業ヲ盡スト云フコトハ、御承知ノ通りニ大御心ヲ奉體シ大御心ヲ「各、其ノ職分ヲ盡スト云フコトデアルト思ヒマス、萬民總テ翼賛ノ責任ヲ持ツテ居リマス、各、其ノ職分ニ依ツテ翼賛ノ實ヲ擧ゲル、是ガ即チ御上ノ萬民ニ對シテ御望ミニナル所デアリト思フノデアリマス、國家ノ機關トシテハ、ソレニ「憲法ニ定メラレタルモノガ定マツテ居リマス、是ハ各、其ノ職分ニ依ツテ御奉公致スノハ當然ノコトデゴザイマス、萬民ノ翼賛モ亦各、自己ノ職分ニ依ツテ御奉公スルト云フコトデアリマスカラ、是モ日本國民總テノ責任デアラウト考ヘルノデアリマス、之ヲ盡サセセル爲ニ相當ナ技ニ組織ヲ設ケルコトハ、是ハ當然ノコトデアラウト思ヒマス、何モ之ニ依ツテ憲法ニ定メラレタル機關ノ職權ヲ侵スト云フコトハ更ニナイノデアリマス、各自職分ニ依ツテ御奉公スルト云フコトハ、是ハドウシテモ其ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト考ヘルノデ、是ガ即チ大御心ニ副ヒ奉ル所以デアラウト自分ハ確信致シテ居リマス

○田中(耕)委員 只今内務大臣ノ仰シヤルノハヤハリ近衛總理ノ仰シヤルコト同ジデアリマス、近衛首相ガ貴族院ニ於キマシテ答辯シテ居リマスノヲ見マス、大政翼賛會ハ憲法上ニ據ル大政翼賛ト、一般ノ大政翼賛トニツアルト解釋シテ宜シイデハナカラウカト言ハレテ居リマス、先程私ノ申シマシタヤウニ自分ノ考ヘデ宜シイデハナカラウカト云フヤウナアヤフヤナ考ヘデ、



大キナ組織ヲ作リ、議會マデモ其ノ一部ニシヨウト云フナラニ組織ヲ作ル、是ハ御案...

○河田國務大臣 農林省ノ御要求ガ至當ナリト認メマシレバ、農林省ノ要求通りニ...

○高田委員 農林大臣ハ大體必要ナル金額ヲ三千万圓程度ト仰セラレマシタガ、無論...

○石黒國務大臣 只今高田サンノ御尋ネノ第三點、肥料ノ増産、之ニ關シマシテハ、...

マシガ、衆議院全體ニ於カレマシテハ尙ホ此ノ點ニ關シマシテ御不滿ノ點ガ多ク...

○河田國務大臣 高田君ノ御質問ノ要旨ノ只今學ガラレマシタ二ツノ事項、食糧増産...

○高田委員 農林大臣ハ大體必要ナル金額ヲ三千万圓程度ト仰セラレマシタガ、無論...

○石黒國務大臣 只今高田サンノ御尋ネノ第三點、肥料ノ増産、之ニ關シマシテハ、...



相當ニ大キイモノト考ヘマス、併シナガラ  
是ハ極メテ大キナ問題デゴザイマシテ、米  
價、一般物價、其ノ他各般ノ事情ニ聯關  
致シマシテ、考究ヲ要スル點ガ多クアリマ  
スルノデ、私ト致シマシテハ慎重考慮ノ上  
ニ善處致シタイト考ヘテ居ル次第アリマス  
○秋田國務大臣 高田サンノ御質問ニ基キ  
マシテ、農林大臣及ビ大藏大臣ヨリ御答  
申上ゲマシタコトハ、主トシテ内地ニ於ケ  
ル主要食糧増産ニ關係致シマシテ、政府ノ  
所信ヲ御答ヘ申上ゲタ次第デゴザイマス  
ガ、御質問ハナカウタノデアリマスケレド  
モ、此ノ際特ニ私ガ外地統治ノ責任者ト致  
シマシテ申上ゲマス、此ノ問題ニ付キマシ  
テハ、外地ニ於キマシテモ、内地ニ於ケル  
施策ニ順應致シマシテ、固ヨリ外地ニ於  
ケル特殊ノ事情ハ、内地同様ニ申ス譯ニ  
ハ參リ兼ネルト存ジマスケレドモ、精神ニ  
於キマシテハ全ク内地同様ニ、隨テ特殊  
ノ事情ヲ考慮シツツ之ニ順應致シマシテ、  
増産目的達成ニ必要ナル施策ヲ遂行シテ參  
リタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルト云フコト  
ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、固ヨリ  
之ニ要シマスル豫算關係等ハ、當然大藏大  
臣ノ諒解アルモノト含ミテ以テ、此ノ言  
明ヲ致シテ置キマス

○高田委員 實ハ拓務大臣ニコチカラ質  
疑シヨウト思ツテ居ツタ所、先ニ答ヘラレ  
タ、マサカニ苦勞人デアリマス、敬服致シ  
マス、只今農林大臣ヨリ政府ヲ代表シテ御  
答辯ガアリマシタ、御答辯ノ趣旨ヲ實行ス  
ベク最善ノ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、  
殊ニ助成金ノ問題ヲドウ云フ形ニスルカ、  
是ハ大臣ノ御シヤル通り頗ル難カシイ問題  
デゴザイマスカラ、適當ナ時ニ萬豫算ナキ

對策ヲ立テラレシコトヲ與エモ御願ヒ致シ  
マス、尙ホ此ノ際希望ヲ申上ゲテ置キタイ事  
柄ハ、第二項ノ「増産」指導ヲ徹底スル爲メ農業  
技術員ヲ充實シ農家ヲ動員スルト共ニ督  
勵員ヲ全部充實シ指導監督機關ヲ完備ス  
ル期スルコトハ此ノ問題デアリマス、實ハ最早  
二月モ半ニ過ギマシテ、彼等ニナレバ場所  
ニ依ツテハ種ノ選擇モ致サンケレバナラズ  
時期ニ相成ルト思ヒマス、所ガ種ヲ選キ、  
苗代ヲ作ツテカラ後デ、督勵員ガ働キ出シ  
タノデハ、其ノ效果ガ鈍イト思フ、ヤハリ  
種ヲ選バ時カラ督勵員ガ世話ヲスルヤウニ  
シナケレバイケマセス、ソレガ爲メ政府ガ  
篤農家ヲ動員スルニ付テハ、其ノ選任ヲ誤  
ラザルコト、此ノ選任ヲ誤ルト却テ惡イ結  
果ニナル、大政翼賛會ナドモ相當選任ヲ誤  
ツテ居ルコトガ地方ニハアリマス、地方ノ  
ゴロツキノヤウナ者ヲ翼賛會ノ指導員ニシ  
テ、其ノ爲メ非常ニ翼賛會ノ信用ヲ失ツテ  
居ル、私ハ翼賛會ヲ非難スルノデハナイガ  
ソレガ一番困ル、ソレト同意味デ、督勵  
員モ之ヲ選任スルニ當ツテ、無論地方長官  
及ビ地元ニ於テハ町村長等ガ「選任」ト云  
フ形式ハ執リマス、無難農林大臣ガ推  
薦スルヤウニナリマセウケレドモ、主トシテ  
地方長官及ビ町村長ノ意見ガ主ナルモノニナ  
ルト存ジマスカラ、是ハ餘程御注意ナサラン  
ト惡結果ヲ來スヤウナコトモアリマスカラ、  
其ノ選任ニ付テ御注意アルコトト、尙ホ其  
ノ選任ノ時期ハ是非三月中、少クモ彼岸  
前ニ全國的ニ篤農家ヲ推薦シテ、サウシテ  
大臣ノ方ガラ辭令デモ渡スト云フコトニ御  
願ヒスル必要ガアルト思ヒマス、遅クナツ  
テハ餘リ效果ハアリマセス、此ノ點ハ與  
モ御注意ヲ願ヒタイト存ジマス、尙ホ部落

助成金ノ問題、是モ頗ル監督ヲ嚴ニ致シマ  
セスト、此ノ時代、此ノ食糧ガ足りナイ時  
期ニ、助成金ヲ完全ニ使ハナイヤウナ人ハ  
ナイ筈デゴザイマスケレドモ、併シ人間ハ  
ウバカリ行キマス、此ノ助成金ガ無益ニ  
ナルト云フコトニナリマシテハ國家ノ大損  
デアリマスカラ、此ノ助成金ノ交付ニ付キ  
マシテモ嚴重ナル命令ヲ付ケル、サリトテ  
餘リヤカマシク言フト動キガ付キマセス  
ラシテ、實業宜シキヲ得テ、一錢デモ無駄  
ノナイヤウニ、増産ノ實ヲ擧ゲラレシコト  
ヲ與エモ御願ヒスル次第デアリマス、尙ホ  
拓務大臣ニ申上ゲマス、先程ノ御話デ、此  
ノ決議案ノ精神ニ從ツテ、内地ニ於テ實行  
スル通り外地ニ於テモ之ヲ實行スルト云フ  
コトデ、洵ニ結構デゴザイマス、併シ見ヤ  
ウニ依ツテハ、先程ノ話デハ事情ガ違フカ  
ラ、是等ノ政策ヲ實行スルノニ困難デア  
ルカノ如キ御話モゴザイマシタケレドモ、又  
見ヤウニ依ツテハ實行スルノニ極メテ容易  
デアルトモ見ラレシコトデアリマス、即チ臺  
灣ニ於キマシテハ、相當ニ私共ノ見ル所デ  
ハ、或ル作物ヲ稻作ニ轉換サセテ事例モア  
ルヤウデゴザイマスカラシテ、朝鮮ニ於テ  
モ、臺灣ニ於テモ、出來ルダケ増産ノ爲メ  
御盡シアラシコト切ニ御願ヒシテ置ク次  
第デゴザイマス、私ノ質問ハ是デ打切リマ  
ス

以テ決議致シマシタ食糧増産、生産擴充ノ決  
議案ノ中ニ、政府ニ對シテ科學振興ニ關スル  
具體案ノ樹立ヲ、要請シタノデアリマス、然  
ルニ遺憾ナガラ今日ニ至ルマデ、吾々ノ要請  
ハ所期ノ目的ヲ達シテ居ラナイ、之ヲ豫算  
面カラ見マシテモ、本豫算ニ於テ僅カニ一  
千万圓餘、其ノ大部分ハ文部省ノ所管デア  
リ、農林省ノ如キハ僅カニ十八萬圓、洵  
ニ貧弱ナ科學振興ノ豫算デアリ、尙ホ又陸  
海軍ハソレノ相當ノ研究費ヲ取ツテ居  
レルガ、尙ホ十分ノハ勿論言ヒ兼ネル、追  
加豫算ニ於テハ僅カニ十八萬圓バカリヲ、  
工業獎勵ノ名ニ於テ出シテ居ラレル位デア  
リマシテ、我ガ國ノ此ノ科學振興ニ關スル  
コトハ、豫算ノ上カラ見テモ、更ニ其ノ機  
構體制ノ上カラ見テモ、洵ニ十分デア  
ルコトハ申上ゲルマデモナイト思フノデア  
リマス、ソコデ此ノ際ドウシテモ我ガ國ノ科  
學技術ノ體制ヲ再編成シテ、科學ノ劃期的  
振興ト、技術ノ躍進的發達ヲ圖ルト共ニ、  
其ノ根本タル國民ノ科學精神ノ作興ヲ圖ツ  
テ、東亞共榮圈內ノ資源ニ基キ科學技術ノ  
自主的獨立ト云フコトヲ期セバナラズト  
思フノデアリマス、斯ウ云フ根本ノ趣旨ニ  
基キマシテ、議會ハ農ニ科學振興小委員會  
ト云フモノヲ持マシテ、其ノ決議ヲ致シ  
テ居リマス、其ノ決議ノ結果政務調査ニ於  
テモ之ヲ中心ニ採用致シテ居リマス、  
此ノ決議ヲ織込ミマシテ、質疑ヲ致シ  
ト考ヘテ居リマス、私ノ方カラ大體ノ具體  
案ヲ申上ゲマシテ、先ヅ軍部大臣ノ所見ヲ  
質シタイト考ヘテ居リマス、ソレハ四項目  
デアリマスガ、軍部大臣ノミナラズ、尙ホ  
企業院總裁ニモ全部關聯ヲ持ツテ居リマス  
ノデ、其ノ意味ニ於テ御聽取ヲ願ヒタイ

第一ハ科學技術院ト假ニ名前ヲ付ケマス  
ガ、サウ云フヤウナモノヲ創設シマシテ、  
之ヲ内閣ニ直屬セシメテ、科學技術行政ノ  
參謀本部ヲシメルコトデアリマス、今日  
各省ニ割據シテ居リマス所ノ助長行政デハ、  
到底我ガ國ノ科學技術ノ根本的振興ハ望  
マレマセヌ、此ノ際各方面ニ割據シテ居  
リマス科學技術ニ關スル行政事項ヲ、出來  
得ル限リ綜合、企畫、連絡統一シテ、又研  
究機關ノ如キモ出來得ル限リ之ヲ綜合的ニ  
整備統制スルト云フコトガ第一、其ノ爲メ  
ハ各方面ノ研究會ナドヲ出來得ル限リ綜合  
シテ、科學技術院ト云フモノヲ創設スルト云  
フコトガ第一デアリマス

第二ハ第一ノ科學技術院ノ下ニ、科學技  
術審議會ト云フガ如キモノヲ構成シテ、斯  
界ノ權威者並ニ各方面ノ知識經驗者ヲ網羅  
シテ、科學技術ニ關スル重要事項ヲ調査審  
議スルト云フコトデアリマス

第三ハ科學技術院綜合的中樞研究機關ヲ  
新シク設ケルコトデアリマス、産業ノ自主的  
發達、殊ニ現下ノ東亞共榮圈內ニ於テノ、物資  
ヲ中心トスル産業の自主的發達、之ニ必要ナ  
ル優秀技術ノ創造ノ爲メハ、ドウシテモ科學  
ノ基礎的研究ガ必要デアリ、之ヲ國家目的ニ  
集中活動セシムル所ノ研究ガ、當然ナケレ  
バナラナイ、殊ニ限ラレタル研究能力ヲ最  
大限度ニ發揮スル爲メハ、ドウシテモ此ノ  
基礎科學ノ研究ヲ指導ト密接ナル連絡中樞  
機關ガナケレバナラナイ、斯クノ如キ綜合  
的中樞機關ヲ設ケルコト云フコトデアリマ  
ス、例ヲ「ドイツ」ニ採リマスナラバ、「ドイ  
ツ」ノ「カイザー・ウィルヘルム・インスチテ  
ュー」ノ如キモノヲ、設備シタラドウカト  
云フ問題デアリマス、第四ハ日獨伊樞軸ノ

間ニ專門委員會ト云フモノガ出來テ居ル、  
是ハ勿論以上ノ專門委員會ニ於テ、漸次是  
カラ各方面ノ協力ガナシ得ルコトハ考ヘ  
テ居リマスガ、此ノ專門委員會ノ外ニ別ニ  
新タニ官民ノ經濟委員會ト云フモノヲ設ケ  
ラレタラドウカ、幸ヒ民間ニハ早タモ此ノ  
議ガアリ、斯ウ云フ計畫ガ大分アルカラ、  
此ノ民間ノ計畫ト政府ノ計畫トヲ綜合統制  
サレテ、日獨伊ノ經濟委員會ト云フモノヲ  
拵ヘテ、サウシテ三國ノ間ノ科學者、技術  
者ノ交流——我ガ國カラ向フニ派遣シ、又  
向フカラ特殊ナ者ヲ派遣シテ貰フト云フヤ  
ウナ、交流派遣ノ問題ヲ計畫的ニ立テタラ  
ドウカト云フ問題デアリマス、此ノ四ツノ  
項目ニ對シマシテ先ヅ陸軍大臣、海軍大臣  
ガ御見ニナツテ居リマセヌカラ、海軍省  
ノ政府委員カラ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマ  
ス

○東條國務大臣 御答ヘ致シマス、科學技  
術ノ振興ニ付キマシテ、色々御心配ニナツ  
テ居リマス、國防ノ高度科學化ヲ圖ル必要  
性ト云フ點ニ付キマシテハ、陸軍ト致シマシ  
テモ重要視致シテ居ルノデゴザイマシタ  
是ガ爲メ科學技術ノ劃期的飛躍ヲ今日所期  
スルコトガ、最モ急ナルモノデアルト考ヘ  
テ居ルノデゴザイマス、特ニ只今御話ノ中  
ニモ見エマシタル如ク、東亞共榮圈內ノ資  
源ニ依リマスル所ノ自給方策ヲ確立致シマ  
シテ、國防ノ根柢ヲ絕對鞏固ナラシムル  
要スルコトハ、殊ニ今日現下ノ情勢ニ於キ  
マシテ、實ニ重要ノ問題ト考ヘテ居ルノデ  
デアリマス、陸軍ト致シマシテモ此ノ見地ニ  
於キマシテ、御質問ノ如キ科學技術體制ノ  
確立ニ關シマシテハ、夙ニ深甚ナル關心ヲ

持ツテ居ルノデゴザイマス、從來廣關係  
ト協議ヲ致シ、具體的措置ヲ進ムベク努力  
中デゴザイマス、是ガ具體的方策ト致シマ  
シテ提示サレマシタル科學技術ノ振興、統  
制ノ中樞機關ノ整備強化ニ關シマシテハ、  
其ノ御趣旨ニ於キマシテ全額ノ賛意ヲ表  
スル所デアリマス、既ニ同様ナル事項ニ關シ、  
關係廳ト協議シツツアル次第デアリマス、  
又日獨伊經濟委員會ニ依リマシテ、科學技  
術ノ交流ヲ所期スルコトモ、亦其ノ御趣旨  
ニ於テ御同意デゴザイマス、其ノ措置ノ一  
部ハ既ニ實行ニ着手シツツアルノデアリマ  
ス、今後御質問ノ御意見ニ關シマシテハ一段  
ト努力ヲ拂ヒマシテ、急速ニ目的ヲ達シタ  
イト思ツテ居ル次第デアリマス

○岡政府委員 科學技術ノ進歩向上ニ關シ  
マシテハ、海軍軍備ノ整備上至大ナル關聯  
ヲ持ツテ居リ、海軍ト致シマシテハ、此ノ  
點ニ付テハ昔カラ深甚ナル注意ヲ拂ツテ居  
ル次第デアリマス、殊ニ今日ノ如ク高度國  
防國家建設ノ爲メハ、資源ノ自給自足、自  
主的技術ノ確立ヲ必要トスルモノデアリマ  
シテ、殊ニ技術ノ向上ハ凡ニ資源ノ不足  
ヲ克服致シマシテ、國防並ニ生産力ノ擴充  
ヲ期シ得ルモノト考ヘテ居リマス、斯カル  
意味ニ於キマシテ海軍ト致シマシテハ、我  
ガ國ノ科學技術ノ綜合化ヲ圖リ、科學技術  
體制ヲ根本的ニ確立サセマシテ、方策ヲ講  
ジ、是ガ速カナル實現ヲ切望シテ居ル次第  
デアリマス、御質問ノ科學技術院ヲ構成シ  
テ、内閣ニ直屬セシメテ科學技術本部ヲシメ  
タラドウカト云フ御質問ニ對シマシテハ、科  
學技術ノ行政組織ノ完備ニ付キマシテハ、  
殊ニ國防技術ノ急速的向上ヲ圖ラシムル爲  
メ、十分ナル機構ヲ整備スルノ必要ヲ認メ

テ居リマス、科學審議會ヲ構成シタラドウ  
カト云フ御質問ニ對シマシテハ、科學技術  
行政ノ圓滑ナル運用ヲ期スル爲メ、斯様ナ  
ル措置ヲ必要ト考ヘテ居リマス、次ニ科學  
技術ノ綜合的中樞研究機關ヲ創設シテハド  
ウカト云フ御質問ニ對シマシテハ、其ノ御  
趣旨ハ御尤モデアルト考ヘテ居リマス、次  
ニ日獨伊ノ經濟委員會ヲ設ケテ科學者、技  
術者ノ交流派遣等ニ付テ計畫シタラドウカ  
ト云フ御質問ニ對シマシテハ、目下此ノ技  
術協力ニ關シマシテハ、著々兩國ノ間ニ協  
議ヲ進メテ居リマス次第デアリマス

○松村(光)委員 關係各方面ノ明快ナル御  
答辯ヲ得マシテ、關係ノ爲メ洵ニ結構ト存  
ジマス、是ハ相當難シイコトデアリマシテ、  
殊ニ今日マデ澤山各方面ニ分割シテ居ル所

見ヲ求メマス

○星野國務大臣 松村サンノ科學技術振興  
ニ對スル洵ニ御熱心ナ御所見ニ對シマシテ  
ハ、萬幅ノ賛意ヲ表スルモノデアリマス、  
是ガ具體的ノ方法ト致シマシテ、只今科學  
ノ中樞的機關ヲ設ケ、或ハ中樞的ノ審議會  
ヲ設ケルコト云フヤウナ點ニ付キマシテモ、  
ソレハ恐ラク適當ナ方法ダラウト存ジテ居  
リマス、昨日モ御答ヘ致シマシタヤウニ、  
現在如何ニシテ具體的ニ之ヲ實現シテ參  
カト云フコトニ付キマシテ、各學界ノ代表  
者、或ハ研究會ノ先進ト云フヤウナ人ニ御  
集マリテ願ヒマシテ、今色々案案ヲ練ツテ  
居ル所デゴザイマス、要スルニ先程御話ノ  
アリマシタヤウニ、日本ノ科學技術ト云フ  
モノヲ集中活動シテ、強力ニ生産擴充其ノ  
他ノ爲メ立ツヤウニト云フ組織ヲ、考  
慮シテ居ル状態デゴザイマス

○松村(光)委員 關係各方面ノ明快ナル御  
答辯ヲ得マシテ、關係ノ爲メ洵ニ結構ト存  
ジマス、是ハ相當難シイコトデアリマシテ、  
殊ニ今日マデ澤山各方面ニ分割シテ居ル所







テ居ル状態デアリマスノデ、斯ウ云フモノヲ綜合スルコトソレ自身ニモ、相當問題ガアルノデハナイカト思ヒマス、之ニ對シマシテドウ云フ處置ヲ講ズルカト云フコトハ、大藏省トシテモ整理統合ニ付テハ、財務當局ノ見地カラ致シマシテ滿腔ノ協力ハ致シマスガ、其ノ結果ヲ見タ上デナケレバ、ドウスルト申上ゲルコトノ出来ナイコトハ、松村君御察シテ通りデアリマス、大藏當局ガ科學振興ニ付テ何モ金ヲ出シ置ルヤウナ意味ハ毛頭ナイノデアリマス、各種ノ經費ノ中、限リアル資金ヲ以テ按配シテ居ル次第デアリマスガ、必ズシモ之ニ付テ高方少イカラドウト云フ意味ハ毛頭ナイノデアリマス、今申上ゲタ通りニ、成案ガ出来タ上デナケレバ、之ニ對シテハ何トモ申上ゲ兼ネルト思ヒマス

○松村(光)委員 私人申上ゲルコトハ、大藏大臣ガ出シ置ルコト云フ意味デアリマセス、從來第一準備金ノ支出ノコトニ付テ、兎角財政技術的ナコトニ因ハレテ居ルコトハ、切迫セル時局ノ急ニ應ズル上ニ於テドウカトモ考ヘラレマスノデ、餘リ財政技術的ナ問題ニ因ハレズ、内閣トシテハ急遽議ヲ決セラレテ、サウシテソレニ要スル經費ハ、差當リ方法ガアリマセスカラ、已ムラ得ズ第二準備金ヲ以テ支辨スルノ外アルマイ、斯ウ考ヘラレマスノデ、折角内閣ニ於テハ議ヲ進メラレマシテ、全體ノ議トシテ之ヲ進メラレンコトヲ切ニ要望致シマシテ私人質疑ヲ終ルコトニ致シマス

○小笠原(三)委員長代理 笠井君、關聯質問ハ簡單ニ願ヒマス

○笠井委員 文部大臣ニ御質問申上ゲタイト思ツテ居リマスガ、只今ノ松村君ノ科學振興ニ關スル御質問ハ洵ニ機宜ニ適シタモノト思ヒマス、科學振興ハ目下ノ急務デアリマシテ、文部當局、陸海軍當局ノ當ニ此ノ方面ニ對スル御努力ニ對シテハ多大ノ敬意ヲ表シマス、御承知ノ如ク我が國ハ資源ガ乏シイ上ニ、殊ニ近代科學ノ進歩ガ餘程後レテ居ルノデアリマスガ、既ニ松村君モ言ハレタヤウニ、前歐洲大戰中ニ於テドイツノ「カイゼル・ウーレム・インスチテュート」ノ如キ非常ナル進歩ヲ致シ、又其處テ勉強致シテ我が國ノ田丸博士ノ如キ人々ガ歸ツテ參リマシテ、理化學研究所ノヤウナモノガ出来テ居リマスケレドモ、此ノ研究所モ、只今松村君カラ申サレマシタ通りニ、今日費用ガ少クテ十分ノ研究モ出来ナイ有様ニナツテ居ルコト承ツテ居リマス、又一方我が國ノ各帝國大學ノ學者ガ院ヲ鳴ラシテ今次事變ニ際シテハ自分達ハ科學振興ノ任ニ當ラウト思ツテ努力致シテ居リマスルガ、其ノ原因ガ那邊ニアルカ知リマセスケレドモ、恐ラクハ只今申サレマシタ整理統合ト云フ方面ニ於テ居ル爲デアリマスルカ、或ハ又費用ガ足ラナイ爲デアリマスルカ、彼等ガ希望致シテ居リマスルガ如キ愛國ノ精神ヲ十分ニ發揮スルコトガ出来ナイヤウナコトニナツテ居ルコト云フコトヲ屬々學者ノ間カラ聞カサレマシテ、私ハ遺憾ニ思ツテ居ル次第デアリマス、而シテ一方今回ノ豫算ヲ見マスルト、文部大臣ガ科學ノ振興ニ付テハ十分御經驗モアリマスルシ、興味ヲ御持チニナツテ居ル結果トシテデアラウト思ヒマスガ、相當ニ豫算ハ組ンデアルヤウデアリマスケレドモ、能ク檢討シテ見マスルト、極メテ少イデゴザイマス、デアリマスルカラ、此ノ方面ニ付テハ、只今大藏大臣モ相

當ニ出シテモ宜カラウト云フ御答辯デアリマスルガ故ニ、文部大臣ハ此ノ方面ニ一段ノ馬力ヲ御掛ケニナツテ、全國ノ學者ヲ動員スルノミナラズ、其ノ方面ニ經驗ノアリマスル「エキスパー」ト云フ動員シテ、此ノ戰時日本ヲ救済スルノハ科學ノ進歩ニアルト云フコトヲ、彼等自身ノミナラズ、國民ニ對シテモ之ヲ教ヘテ必要ガアルノデハナイカト思ツテ居リマス、此ノ點ニ付テハ先程文部大臣カラ御説明モアリマシタケレドモ、マダ「ソレナラバ」ツツツカリヤツテ見ヨウト云フ風ナ意氣込ガ私ニハ見エマセスノデ、此ノ場合ニ於テ一段ノ奮起ヲ願フト共ニ、之ニ對スル大臣ノ御所見ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○井上(真)委員 此ノ際私ハ大藏大臣ニ公債ノ消化、「インフレ」ノ防止、高度國防國家ノ建設ニ備ヘル財政計畫ニ付テ簡單ニ伺

○河田國務大臣 石炭ノ増産ニ補助ノ方法ヲ以テシテ居ルコト云フコトハ、屬々御話申上ゲマシタ通りデ、現ニ茲ニ追加豫算ガ出テ居リマス、其ノ補助金ガ有効適切ニ使用セラレナイコトハ豫算ノ實行ニ於テ大イニ遺憾ト致ス所デアリマス、申上ゲルマデモナク若シ只今井上君ガ指摘サレマシタヤウナ事實ガアルト云フコトデアラナラバ、其ノ距離或ハ産額ニ對スル補助金ノ使用ノ方法ニ付キマシテ、政府ノ企圖セル所ニ副ハナイコトガアルト云フヤウナ御説ノヤウニ伺ヒマシタケレドモ、是ハ増産ノ目的ヲ達成スルヤウニ、豫算ノ目的通りニ使用サセルト云フコトヲ申上ゲルヨリ外ゴザイマセス、私ハ一々炭坑ニ行ツテ見タコトハゴザイマセスガ、其ノ妨ノ責任者、當局十分御注意スルト共ニ、注意ヲ與ヘルコトニ勿論努メテ參リタイト思ヒマス

○井上(真)委員 私人申上ゲマシタノハ、低物價政策ト増産獎勵トノ喰違ヒ、此ノ矛盾ヲドウ一體解決スルカ、政府ノ執ツテ居ル所ハ増産ニサウ云フ獎勵金ヲ出シテ、低物價政策ヲ執リナガラ單價ヲ引上ゲルコトヲ認メテ居ル、政府ノ方針ハ可及的増産ノ要求ニ對シテハ、唯獎勵金、補助金、補助金ノ手段飽マデ行ツ積リテアルカ、ソレ見タイト思ヒマス

會社、工場其ノ他ニ於キマシテハ國債消化ニ對シテ非常ニ熱烈ナ協力ヲ示シ、又半年賞與其ノ他一時ニ多額ノ金ヲ賞與場合ニ於キマシテハ、其ノ賞與ノ一部分ヲ公債ヲ以テ支拂ヒマシテ、公債消化ニ協力ヲシテ居リマスケレドモ、如何セシテ大多數ノ勤勞者ハ日々ノ生活ニ追ハレテ居リマス關係上、一年ニ一度カニ度實ヒマス所ノ賞與ヲ以テ色々必需品ヲ買ハナケレバナラヌト云フコトデ、切角午前ニ賞ヒマシタ公債ヲ午後ニハ債券屋ニ賣ツテ金ニ換ヘテ居ルト云フ事實ヲ吾々ハ多ク知ツテ居ルノデアリマス、此ノ債券屋ニ簡單ニ賣ラレテ行キ居ルコト自身ヲ、政府ニ於テハドウ御考ヘニナルカ、他方又公債ノ増發ト通貨ノ膨脹ニ對比致シマシテ、物資ノ供給ガ極メテ不圓滿デアル爲ニ、徒ラニ全體的ナ購買力ヲ高メテ居リマス、或ハ又重要物資ノ増産ニ對シテ交付シテ居リマス所ノ獎勵金、補助金補償金等ノ年々ノ増額ハ實質的ニアトノ物價ノ値上ラ促進シ、政府ノ低物價政策ノ堅持ヲ突破シテ、「インフレ」ニ進行シテ居ル、此ノ事實ヲ一體政府ハ如何ナル對策ヲ以テ之ヲ防止シヨウトスルカト云フ點デアリマス更ニ現下時局ニ於キマシテハ絕對ニ低物價政策ヲ堅持シナケレバナラヌ、低物價政策ノ堅持ト云フ問題ト増産ト云フ問題ト矛盾ノ點デアリマス、應大ニ豫算ヲ遂行シ、國民生活ヲ安定セシメ此ノ時難ヲ克服突破スル爲ニハ、如何ナル困難ガアツテモ低物價政策ヲ堅持シナケレバナラヌト云フコトハ吾々ガ此處デ詳シク申上ゲルマデモナイコトデアリ、併シナガラ一方ニ可及的ニ重要物資ノ増産ヲヤラナケレバナラヌ、而モ増産ヲヤラウトスル所ノ生産活動ト經濟活

動トノ性格ハ、利潤追求ノ性格ヲ持ツテ居ルノデアリマス、利潤追求ノ性格ノ下ニ可及的増産ノ要請ガ高マツテ居リマスルカ、必然ニ生産物ニ對スル値上ノ要求トナツテ現レテ來ルノデアリマス、此ノ事實ハ本議會ニ於テ或ハ電力ノ値上ヲ要求シ、或ハ鐵ノ値上ヲ要求シ、或ハ石炭ノ値上ヲ要求シ、或ハ米ノ値上ヲ要求シテ居ルコトヲ吾々ハ澤山聞キマス、値上ヲシテ實ハナケレバ増産出來ナイ、此ノ低物價ト増産ト矛盾、喰ヒ違ヒカラ、政府ハ之ヲ防止セントシテ石炭ノ如キニ對シテハ、十六年度ニ於テ一億圓ヲ突破スル獎勵金補助金ヲ交付シテ居リマス、併シナガラ現實ニ於テ然ラバ石炭ハ増産サレテ居ルカト云フト、實際ハ補助金ノ割ニ増産ハサレテ居リマセス、アノタハ帝國ノ大藏大臣トシテ、財政當局ノ責任者トシテ、一億ノ大金ヲ石炭ノ増産ノ爲ニ補助シテ居リマスガ、北九州ノ炭田ニ、或ハ常磐ノ炭田ニ、北海道ノ炭田ニ、アノタ入ツテ御覽ナサイ、政府カラ渡シタ所ノ補助金ハドウ云フ工合ニ使ハレテ居ルカ、坑道ノ採掘ニ當ツテ其ノ延長距離ニ依ツテ補助金ヲ出シテ居ルカラ、唯徒ラニ新シイ坑道ガケラドン／＼掘ツテシマツテ、若シ豐富ナ炭田ニ當リマシタ場合ハ其處ハ其ノ儘ニシテ置イテ、又別ノ方面ニ坑道ヲ掘ツテ居ル、或ハ又増産ニ對スル手當ケラ出シテ居リマスカラ、結局ハ「インフレ」ガ多クナレバ宜イト云フコトニナルカラ、燃エナイ石炭ヲ送リ／＼送リ出シテ居ルチヤナイカ、現實ニ一億圓ノ補助金ヲ出シテ居ルケレドモ、一億圓ニ相當スルダケノ増産ハ出來テ居ラナイ、何故出來テ居ナイカト云フ原因ヲア

○河田國務大臣 屬々申上ゲマシタ通り、政府ノ低物價政策維持ノ方法ト致シマシテハ、價格ノ引上ゲヲ致シマセスデ、「コスト」ノ引合ハナイ場合ニ於テハ、今御指摘ニナリマシタヤウナ方針ヲ執ツテ參ツテ居ルコトハ度々申上ゲテ居ル通りデアリマス

○井上(真)委員 私人結局獎勵金制度、補助金制度ト云フモノガ逆ニ「インフレ」ニ持ツテ行クコトヲ見透シテ持ツテ居ル、サウ云フ行キ方デナシニ、少クとも政府ハ國民生活ノ消費規正ヲ徹底シ行ツテサウシテ生産配給ノ全領域ノ統制ヲ強化シテ、切符制ヲ擴充スルコトガ絕對必要デアラウト思フ、斯ウ云フ國民生活ノ消費規正ヲ徹底シ行フ、生産配給ノ全領域ノ統制ヲ強化シテ、凡ユルモノガ「ツ」線ニズツテ流レテ行クト云フ、大藏大臣ノ机ノ上ニ全國ノ物價ノ動キガ、何處ノ倉庫ニハドウ云フモノガ、一ト眼見レバ大藏大臣ノ机ノ上デ分ルコト云フ任組ヲ執ツテ置カナケレバ、低物價政策ノ堅持ハ出來ナイ、「インフレ」ノ防止ハ出來ナイト思フ、低物價政策ノ見地カラ、ハインフレ」ノ防止ノ見地カラ、或ハ又公債消化ノ見地カラ、又大藏大臣トシテ、財政當局者トシテ、今私ノ申上ゲマシタ全國國民生活ノ消費規正ヲ徹底セシメ、且ツ切符制ヲ擴充スル御意思ガアルカナイカト云フコトヲ承ツテ見タイト思ヒマス

ハ却テ「インフレ」ニナルノデハナイカト云フ質問ヲシテ居ルノデアリカラ、其ノ點ニ對スル低物價政策ト、國家ガ要求シテ居ル所ノ増産ノ火ノ付カヤウナ要求ト、政府ハドウ一體歩調ヲ合ハシテ居ルカ、之ヲ具體的ニ承リタイ

○河田國務大臣 屬々申上ゲマシタ通り、政府ノ低物價政策維持ノ方法ト致シマシテハ、價格ノ引上ゲヲ致シマセスデ、「コスト」ノ引合ハナイ場合ニ於テハ、今御指摘ニナリマシタヤウナ方針ヲ執ツテ參ツテ居ルコトハ度々申上ゲテ居ル通りデアリマス

○井上(真)委員 私人結局獎勵金制度、補助金制度ト云フモノガ逆ニ「インフレ」ニ持ツテ行クコトヲ見透シテ持ツテ居ル、サウ云フ行キ方デナシニ、少クとも政府ハ國民生活ノ消費規正ヲ徹底シ行ツテサウシテ生産配給ノ全領域ノ統制ヲ強化シテ、切符制ヲ擴充スルコトガ絕對必要デアラウト思フ、斯ウ云フ國民生活ノ消費規正ヲ徹底シ行フ、生産配給ノ全領域ノ統制ヲ強化シテ、凡ユルモノガ「ツ」線ニズツテ流レテ行クト云フ、大藏大臣ノ机ノ上ニ全國ノ物價ノ動キガ、何處ノ倉庫ニハドウ云フモノガ、一ト眼見レバ大藏大臣ノ机ノ上デ分ルコト云フ任組ヲ執ツテ置カナケレバ、低物價政策ノ堅持ハ出來ナイ、「インフレ」ノ防止ハ出來ナイト思フ、低物價政策ノ見地カラ、ハインフレ」ノ防止ノ見地カラ、或ハ又公債消化ノ見地カラ、又大藏大臣トシテ、財政當局者トシテ、今私ノ申上ゲマシタ全國國民生活ノ消費規正ヲ徹底セシメ、且ツ切符制ヲ擴充スル御意思ガアルカナイカト云フコトヲ承ツテ見タイト思ヒマス







裕金ノアルモノハ公債ヲ持タセマス、併シ  
積立金ニシテモ、昨今ノ場合ハ之ヲ  
之ヲ生産擴充ニ充テルト云フコトモ必要デ  
アツテ、公債ノミガ目的デハナイ、八十五  
億ノ公債ヲ出ストシテ、餘裕ガアルモノハ  
是ヲケノ公債ヲ引受ケト云フコトハ、サ  
ウモ言ヘナイ事情モアル、何レニ致シマシ  
テモ公債強制保有ト云フ考ヘゴザイマセス、  
ソレカラ生命保險ノ國營問題デアリマス、  
生命保險ノ一部ハ御承知ノ通り、既ニ簡易  
保險、郵便年金法モ一種ノ養老保險デア  
ル、之ニ依ツテ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ル  
ガ、今日民間ヲ經營致シテ居ル所ノ生命保  
險業ヲ國營ト致スコトハ考ヘテ居リマセス、  
但シ生命保險ノ資金ト云フモノハ、御話ノ通  
リ非常ニ多クナリマシテ、既ニ今日於テハ  
生命保險會社ハ、金融機關ト致シマシテ、金  
融協會ノ「メンバー」ニナツテ居リマス、相  
當ニ金融政策ニ對シテ努力、協力致シテ居  
ト云フ事實ハ、自治的ニ自分ノ心カラデモ  
アリマス、又政府カラモ頼ミマシテ協力シ  
テ居リマス、併シ何レニ致シマシテモ、民間  
保險會社ヲ國營ニ致ス考ヘゴザイマセス、  
色々儲ケ過ギルモノガアルト云フ例ヲ擧ゲレバ、  
利益ヲ擧ゲルモノガアルト云フ例ヲ擧ゲレバ、  
サウ云フモノガアリマス、ソレヲ利用  
スレバ、國家ノ財政ガ非常ニ良イデハナイ  
カト云フコトハ、洵ニ尤モデゴザイマセス、  
ソレ是レ考ヘマシテ私ハ只今ノ狀態ニ於テ  
ハ、此ノ國家總動員法ノ發動ニ依リマス所  
ノ會社經理統制令ガ、最モ適當ト考ヘテ居  
リマス

○増田委員長 長野長廣君  
○長野(長)委員 私人文教問題ニ付キマシ  
テ、文部大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒ  
マス、文部大臣ハ新任尙々三大教學刷新  
ルモノヲ發表セラレマシテ、其ノ中ニ「自  
我功利觀念ヲ排絶スル」ト論セラレテ居  
マス、此ノ自我功利觀念排絶ニ對スル具體  
策トシテハ、如何ナルコトヲ實行サレテ居  
ノデアリマスカ、又將來如何ナル事項ニ付  
テ御腹案ヲ有スルノデアリマセウカ  
○橋田國務大臣 御答ヘ致シマス、教學ノ  
根本方針ハ、我が國ニ於キマシテハ、團體  
ノ本義ニ徹スルコトニアルコトハ當然ノコ  
トデゴザイマス、而シテ團體ノ本義ト徹スル  
所ニ、直チニ自我功利ノ思想ト云フモノハ  
無クナツテ來ルル信ジテ居ルノデゴザイ  
マス、ソレナクシテ唯徒ラニ自我功利ノ思  
想ヲ理窟ノ上カラ排除シヨウト致シマシテ  
モ、私ハ決シテ排除出來ルモノデハナイト  
考ヘテ居リマス、我が國ニ生ケル喜ビ、我が  
國ニ生ケルガ故ニ國ニ報ヒナケレバナラズ  
心構ヘ、ソレニ徹シテ參リマスルコト云フ  
自ラ自我功利ト云フ思想ハ解消スルコト考  
テ居ルノデアリマス、其ノ間ノ對策ト致シ  
マシテハ、色々方策ハ、是ハ時々其ノ時ニ  
應ジ、其ノ所ニ應ジテ教育者ガ努メナケレ  
バナラス問題デアリマシテ、豫メ斯クノ如  
クシテ自我功利ノ思想ヲ排除スベシ、斯ク  
ノ如クシテ如何ニ致スベシト云フ案ガ立チ  
マシテ所ガ、ソレハ寧ろ空論ニ陥リハシナ  
イカト信ジテ居リマス、其ノ意味ニ於キマ  
シテ、自我功利ノ思想ヲ排除スルコト云フ  
トノ根本ハ、眞ニ我が國ノ教育ヲ充實スル  
ト云フコトニアルト考ヘテ居ルノデアリマ  
ス

○長野(長)委員 文相ノ根本方針ハ、御尤  
モ存ズルノデアリマス、併シナガラ凡ソ  
リマシテ、學生ノ根本修練組織ナルモノガ  
行ハレテ居リマス、一層此ノ學校長ノ  
銜衛ト云フコトニ付テハ、留意セラレテ  
居ルコトト存ズルノデアリマス、從來學校  
長ヲ御銜衛ニナリマシタ御方針、竝ニ此ノ  
學生ノ根本修練組織ニ伴フ全國官立學校、  
或ハ又其ノ他ノ學校ニモ通ズルノデゴザイ  
マス、主トシテ文部大臣ノ直接御  
監督ニナツテ居リマス、是ニ於テ、御意  
見ヲ承リタイと思ヒマス

○橋田國務大臣 學校長ノ人選ト云フコト  
ガ極メテ重大ナルコトハ、從來トモ同  
様デゴザイマス、又現下ノ時局ニ即シマシ  
テ、是亦特ニ重要ナルコトハ御説ノ通り  
デゴザイマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ、  
人知レズ苦慮シテ居ル次第デゴザイマス、  
將來トモ十分ナル考慮ヲ拂ヒタイト存ジ  
テ居リマス

○長野(長)委員 其ノ御考慮ニナツテ居  
マス、主要ナルモノヲ、御差支ヘナイ範圍  
デ御示シテ願ヒタイと思ヒマス

○橋田國務大臣 校長トシテ必要ナル條件ト  
シマシテハ、先ツ十分ニ人ノ師表トナルベ  
キ者デナケレバナラナイコトガ一つト存ズ  
ルノデゴザイマス、併シ一方ニ於キマシテ  
ハ、現狀ノ學校組織ヲ以テシマシテハ、行  
政的ニ相當力ノアル人ヲ必要トスルノデア  
リマス、又一面ニ於キマシテハ、唯消極的  
ニ人カラ師表ト仰ガレト云フ外ニ、積極  
的ニ進シテ教員並ニ學生生徒ニ對シマシ  
テ、其ノ教化ヲ及ボスコトノ出來ルガク  
力ヲ持ツテ居ル者デナケレバナラナイト考  
ヘテ居リマス、又其ノ際ニ於キマシテモ、  
色々學校長ト云フモノハ、只今ノ行政的ナ  
方面ノ問題等ガアリマス、學校ノ自

體ノ色々ノ特殊性ニ鑑ミマシテ、其ノ點ニ  
付テ、或ハ其ノ他ノ點ニ付キマシテモ、種々  
其ノ場合々々ニ即應ジマシテ、十分考慮シ  
ナケレバナラナイ點モ多クアラウト思ヒマ  
スケレドモ、根本ハサウ云フ方針ヲ進ミタ  
イト考ヘルノデアリマス

○長野(長)委員 御示シナリマシタコト  
ハ御尤モ存ジマス、然レニ尙ホ重要ナルコ  
トガアルト思ヒマス、即チ私ハ文相ガ「俱  
學俱進」ト云フ標語ヲ御指示ナリマシテ、  
學校教育ノ效果ヲ擧ゲルベク御計畫ヲセラ  
レテ居ルコトヲ併セ考ヘマシテ、更ニ三、  
四ノ考慮ヲ要スベキ點ガアリハスマイカト  
思フノデゴザイマス、其ノ一つハ、勿論教  
育者ハ其ノ年齢ガ高クナルニ從ツテ經驗モ  
増シ、又其ノ人ニ貫練ガ加ハリ、又人ノ師  
表トシテ立ツベキ大切ナル諸要素ヲ具ヘテ  
來ルモノデゴザイマス、私ハ此ノ學校  
長ガ單ニ年齢ニ依ツテ淘汰セラレト云  
フコトニ付テハ、絕對反對デアリマス、勿  
論老年ノ方ヲ大ニ尊重スル考ヘテ持ツテ居  
ルノデアリマス、併シ老齡其ノ職  
ニ地ヘズ、殊ニ俱學俱進ニ生徒學生ト共  
ニ活動スルニ地ヘナイヤウナ老年ノ學校長  
ガ尙ホ相當ニアリハシナイカ、又是ハ教師  
ニ於テモ同様デアリマシマス、今一ツハ名義ノ  
ミノ學校長ガアリハシナイカ、月ニ一回、  
甚ダシキハ殆ド一箇年間學校長トシテ學生生  
徒ノ前ニ立チ得ナイヤウナ他ニ繁劇ノ用務  
ヲ持ツテ居ル人ヤ、或ハ單ナル名譽校長ト  
デモ言フベキ性質ノ者モアリマシテ、文相  
ノ言ハレバ俱學俱進ハオホカ、學校ノ内部  
情勢ハ全然知ラナイヤウナ實例モアリハ  
シナイカト私ハ憂ヘル者デアリマス、是等  
ニ付テ既ニ御調査ガアツテ居ルノデゴザイ

マセウカ、アツテ居レバ御示シテ願ヒタイ  
シ、又之ニ對スル御意見ヲ承リタイ、今一  
ツハ行政的手腕ヲ有ル學校長ヲ選ブト云  
フコトハ、勿論必要デゴザイマセウケレドモ、  
教育界ニ於テ文部省ノ學校長選任ニ付テ相  
當ノ非難ガアル、ソレハドウ云フコトカト  
申シマス、最近ノ學校長ノ用務ハ殆ド  
行政事務アル、事務ノ出來ル人ナラ學校  
長ハ勤マラス、ソレハ又何故カト申シマ  
ス、全國官立學校ノ經營ニ付キマシテ  
ハ、文部省ノ中ニ於テ事務官ガ机上デ「ブラ  
ン」ヲ立ル、又色々ノ方針モ拵ヘル、之ヲ  
地方ノ學校ニ傳達スル、學校長ハ之ヲ巧  
ク處理シナケレバナラズ、又之ニ伴フ各種  
ノ行政的業務モ起ツテ來ル、斯カル煩雜ナ  
コトニ腕ガ利キ頭ノ勤ク校長デナケレバ評  
判ガ惡イト云フヤウナ非難ガアルノデス、  
私ハ必ズシモ之ヲ信ズル者デハアリマセウ  
ガ、最近ニ於ケル文部省ノ校長更迭ノ跡ヲ  
眺メテ見マス、或ハ然ラント考ヘラレ  
ルモノモナイデハナイノデアリマス、是等  
ニ付テ文部大臣ハ如何ナル御所見ヲ持ツテ  
居ラレマス、又多少アリトスレバ、將  
來大ニ改メラレル御考ヘデアリマス、  
ソレガ一つ、今一ツノ對策トシマシテハ、  
只今申上ゲマシタ此ノ文部省ノ事務當局ガ  
机上デ計畫スルコト云フコトノ問題デアリ  
マス、學校教育ナルモノハ、學校長ノ人格ガ  
其ノ學校ニ治博スル所ニ自ラ無言ノ間ニ教  
育ガ行ハレナケレバナラナイ、大臣ガ時々  
御答ヘニナツテ居ラレマス、人ノ人格ト  
ノ接觸アル、其ノ學校長ノ全人格ガ其ノ  
學校ニ治博スル、否、其ノ學校以外ノ環境  
ニマデ治博致シマシテ、故ニ自ラ學校教育

教育行政ナルモノニ付キマシテハ、幾多ノ  
懸案ガ殘ツテ居リハセウカト思フノデアリ  
マス、先ツ第一ニ今日ノ學校教育ヲ眺メテ  
見マス、下ハ小學校ヨリ、上ハ大學ニ  
至ルマデ、試驗ヲ以テ生徒ヲ選シテ居ル  
所謂試驗ニ依ル威嚇教育ト申シテモ、過言デ  
ナイカ、如キ實情ニアルト思フノデアリマ  
ス、又此ノ試驗ガ根本トナリマシテ、其ノ  
兒童、生徒、學生ノ運命ヲ決スル關係カラ  
致シマシテ、動モスレバ不正ノ方法ニ依ツ  
テ、受験スルノ風ヲ助長致シテ居リハセ  
ウカ、現ニ教育當事者或ハ文教其ノ他ノ立  
場ニ居ル人々ノ申ス所ヲ調査致シテ見マシ  
テモ、此ノ試驗ニ關ルハ男性的デナイ、極  
メテ非道德的ナル所ノ惡風ガ横行セント  
致シテ居ルカ、如ク承知シテ居ルノデアリ  
マス、又此ノ外ニ學校ノ訓練ノ上ニ於キマ  
シテモ、東京府下ノ某公立學校ノ一例ヲ舉  
ゲマシレバ、教科書ヲ忘レル、或ハ文具ヲ  
忘レル、其ノ忘レタ過失ノ回数ニ依ツテ、  
例ヘバ二回忘レタナラバ是ヲ懲罰、五回  
忘レルト云フガ如キ、苛酷ノ訓練方法ヲ採  
ルモノガアル、隨ヒマシテ生徒ハ、自分ノ  
稍上ニ居ル友人ノ物ヲ忘レ、或ハ遅刻ヲス  
ルト云フガ如キコトヲ、手ヲ打ツテ喜ンデ  
居ル爲ニ、其處ニ學一優秀ナル生徒ノ如  
キハ、斯ノ如キ醜態場所ニ學ヲ潔シトセ  
ズ、現ニ自宅ニ引籠ツテ居ルト云フ事實  
サヘルノデアリマス、私ハ勿論我が國ノ教  
育ニ斯カル訓練方法ヲ瀟灑シテ居ルトハ申  
シマセス、是ハ極端ナ一例デアリマセウケ  
レドモ、是ハ今日ノ訓練方法ヲ其ノ儘ニ抛  
置スベカラザル、適當ノ指導ヲ與ヘナケレ  
バナラス、考慮ヲサセラレバ實例アルノ

デアリマス、今一ツハ、最近入學試驗ニ小  
學校ノ成績ヲ根本トスル方法ガ採用サレテ  
居リマス、小學校兒童ノ中ニハ、他ノ  
友人ノ成績ノ落ちルコトヲ希望スル、然ラ  
ズル者モ從來共ニ勵マシ、共ニ手ヲ携ヘテ  
勉學ヲシテ居リマシタ者ガ、是ニ於テ友人  
ノ成績ノ劣惡ナルコトヲ喜ブト云フ風習ノ  
アルコトモ、亦是レ昭々トシテ吾々ハ認  
メテ居ル所デアリマシマス、斯様ナ事柄  
ヲ初メトシテ、今一ツ改善ヲシナケレバ  
ラスト思ヒマス、最近厚生省ノ御  
考ヘデアリマセウカ、俸給生活ヲ爲ス者、  
此ノ俸給生活ヲスル者ノ俸給、隨テ地位ト  
云ヒマス、ソレガ卒業學校ノ種類ニ依ツ  
テ、又其ノ學校程度ニ依ツテ決定セラレ  
ル、如何ニ俊拔ナ人材ト雖モ、此ノ一定ノ  
規定ノ下ニ、其ノ發展、其ノ活動ヲ制縛セ  
ラレト云フコトニ相成ツクノデゴザイマ  
ス、是レ亦勢ト父兄、兒童、生徒ト致シマ  
シテ官學ヲ選ブトカ、或ハ或ルノ學校ヲ選  
ブト云フヤウニ、教育ノ根幹ヲ離レテ、其  
ノ將來ノ榮達ノ爲ニ學校ヲ選擇スルコト云フ  
惡弊ヲ助長シツアルト云フコトモ、亦見  
逃スベカラザル事實デアリマス、斯様ナ  
事實ヲ眺メマス、是等ヲ矯正セズシテハ、  
ドウシテモ文相ノ仰セラレル自我功利ノ觀  
念ヲ排絶スルコトハ出來ナイ、寧ろ自我功  
利ノ觀念ヲ助長スルコトト相成リハシナイ  
カト考ヘルノデアリマス、是等ノ問題ニ對  
スル文相ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス



ト云フモノガ徹底ヲスル、是ニ於テ學校長ノ選任ニ付キマシテハ、事務ト云フコトハ第二デア、寧ろ其ノ人格、其ノ識見、之ヲ私ハ尊重スル必要ガアリハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアアリマス、ソレガ第四デアリマス、今一ツノ對策トシマシテハ、此ノ學校長ノ任命ニ當ツテ、文部省ニ在リテスル局、課長、之ヲ地方ノ學校ニ押出シテ居ル、勿論是ハ惡イコトデハゴザラセス、大イニ宜シイコトデゴザイマセウケレドモ、然ラバ地方ノ學校ニ適材ハナイカト申シマス、各專門學校、大學ニハソレノ人材ガ居ル、ソコデソレ等ノ人材ハアタラ埋レテシマフノデアナイカ、是ハ教育行政上決シテ當テ得タモノデハナイト考ヘマス、殊ニ最近此ノ校長選任ニ對スル教育界ノ世評ト言ヒマス、非難ト言ヒマス、ソレハ地方ノ學校長へ出ルト云フト、左邊ヲセラレルヤウナ風ニ感ゼラレテ居ル、文部省カラ外へ左邊ヲセラレル場合ニ、局、課長ヲ學校長ニ出ス、斯様ナ意味ニ解セラレテ居ルト云フコトハ、ヤハリ是亦文部省ノ教育行政ヲ行ハルルニ餘程御反省ニナル必要ガアリハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、具體的ニ申上ゲマスルコトハ時間其ノ他色々意味カラ私ハ控ヘマスルガ、是等ニ付テ大臣ハ如何ナル御考ヘヲ持タレドモ、デゴザイマセウカ

○橋田國務大臣 我就任シテ參リマシテカラ、學校全體教育ノ一元化ヲ企圖致シマシテ、少クトモ學校長モ與ニ進ム氣持ヲ教育ニ從事シナケレバナラスト云フ方針ヲ定メタノデアリマス、ソレ以來其ノ方針ニ即應スルヤウ種々ノ點ヲ刷新スルヤウ、準備ハ着々進メテ居ル次第デアリマス、一

一ニ付キマシテハ此處申上ゲ兼ネル點ガアルコトヲ御承知ヒマス、又先程學校長ノ行政的ナモノガ必要ダト申シマシタノハ、ソレガアレバ宜シイコト云フコト申上ゲテハ決シテナイトデゴザイマシテ、文部省ニ於キマシテモ、先年來學校ニ配屬致シマス事務官ヲ漸次増員シツツアリマシテ、行政的ナコトハ專ラ事務官ガヤル、其ノ大綱ヲ校長ハ理解スルガケノ立場ヲ十分持ツテ居レバ宜シイコト云フ方針ヲ以テ進んで居ルノデアリマシテ、此ノ點モ御承知ヒキヨリヒタイト考ヘマス、又文部省カラ折々地方ノ高等專門學校へ校長トシテ出テ參リマシモノハ、決シテ左邊ト云フコトデアリマセス、少クトモ私ノ考ヘテ居リマス所デハ、寧ろ或ル意味ニ於ケル優遇トマデハ行キマセドモ、十分其ノ價值アルガ故ニ、地方ノ學校長トシテ任命セシムル、ソレヲ云フ方針ヲデゴザイマシテ、文部省ニ置イテ工合ガ惡イカラ地方ニヤル、サウ云フコトハ斷シテデゴザイマセウカ

○長野(長)委員 科學振興ニ對スル方策トシテ先日私ガ御承知申上ゲマシタコトニ對シテ、文部大臣ハ主トシテ官立學校ノ科學設備ノ擴張並ニ學生ノ養成ト云フコトニ付テ御説明ヲ戴イタノデアリマス、又今日松村君ノ科學振興ニ關スル御質問ニ對シマシテモ、主トシテ左邊ナ方面ニ御話ガアツタヤウニ考ヘルノデアリマス、併シ私ハ科學振興ト云フコトハ、國民全體ガ科學ヲ尊重シ、又科學ノ陶冶ノ基礎ヲ持ツテ居ルト云フコトヲナクテハナラズト申シ、之ニ付テ如何ナル御見解ヲ持ツテ居ラレマスカ

○橋田國務大臣 其ノ點ニ付キマシテ、數回此處デモ申上ゲ、他デモ御答辯申上ゲテ

居ル通りデアリマス、又先刻松村君ノ御質問ニ對シマシテモ、御答辯申上ゲタノデアリマス、先ツ科學ノ振興ニ重要ナルコトハ、科學教育ノ普及デアアルト云フ御趣旨カト存ジマスガ、是ハ全ク御同意デアリマス、先程申シマシタガ、科學者ノ科學トシテ科學ガ普及スルヤウニ、國民ノ科學トシケレバナラナイト云フ事柄ハ、前申上ゲテ居ル通りデアリマス

○長野(長)委員 然ラバソレニ付テドウ云フ具體策ヲ執ツテ居ラレマスカ

○橋田國務大臣 科學教育ノ普及ト云フコトニ付キマシテ、一面具體的ナ經濟的ナ方策トシマシテハ、本年度以來中等學校等ニ向ヒマシテ、其ノ設備ノ充實ヲ圖ル爲ニ、僅カデ甚ダ十分デアリマスケレドモ、或ル程度ノ補助費ヲ出スルコトモ考ヘテ居リマス、併シ普通教育ニ於キマス科學ノ振興ト云フ事柄ハ、今蓋當リ設備ノ充實ト云フコトヲ、十分圖ラナケレバナラスデアリマスケレドモ、從來ノ科學教育ノ根本方針ガ抽象的ニ隨シテ居ツタノヲ、具體的ナ實踐ニ於テ科學ト云フモノヲ理解サセ、把握サセルト云フ方針ニ向ヒマスレバ、現在ノ狀態ニ於キマシテモ、數等充實シ進歩スルモノト確信シテ居ルノデアリマス、例ハ國民學校等ニ於キマシテモ、從來ハ四年カ五年頃ニナツテカラ、漸ク理科ノ授業ト云フモノガ、唯單個ノ理科トシテ別個ニ始メラレタノデアリマスケレドモ、今國民學校、於テハ、一年生カラ自然觀察ト云フコトヲ、機會アル毎ニ訓練スルト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、其ノヤウナ實地訓練コソハ、科學普及ト云

フコトニ最モ重要ナコトデアラウト考ヘマシテ、單ニ國民學校ノミナラズ、中等學校等ニ於テモ、教授要目其ノ他ノ點ヲ改正致シマシテ、先ツ其ノ點ヲ徹底スルヤウニ圖リタイト今考ヘテ居ル所デアリマス

○長野(長)委員 此ノ科學思想ノ普及ハハ小中學ニ於ケル理科ノ教員ガ必要デアリマス、ソレカラ專門學校以上ニナリマス、又ソレノ分科ニ於テ教師ヲ要スルノデアリマス、然ルニ教師ノ問題ニ付テハマダ承ラナイノデアリマスガ、私ノ調査シタ所デハ、產業界ノ好景氣ニ誘ハレマシテ、中等學校ノ理科、或ニ理科的專門學識ヲ有スル教師、或ニ專門學校教授ニ至ツテハ、新人ヲ得ントシテモ容易ニ得ラレナイト云フヤウナ實情ニアルヤウデアリマス、是等ニ對シテ如何ナル對策ヲ執ラレテ居ルデアリマセウカ

○橋田國務大臣 教員ノ不足ト云フ點ニ付キマシテハ、甚ダ問題ノ重大ナルコトヲ感ジマシテ、殊ニ中等學校ノ理科教員ノ養成ニハ、特殊ナ養成所ヲ作りマシテ、ソレニ依ツテ急速ニ充實致シタイト云フ計畫ヲ今立テテ居リマス、又高等專門學校等ニ於キマス教師ノ不足シテ居リマスノハ、從來大學ヲ卒業スル者ノ數ガ少カツタノニ、需要ガ急ニ増加シタト云フ點ガ、最モ主ナ原因デアルト思ヒマス、併シナガラ其ノ方面ニ於キマス生徒ノ増養ヲ、出來ルダケ凡ニ組織ヲ利用シテ致シ、又高等學校等ニ於キマシテモ、理科ノ方面ノ學生ノ増養ナドヲ今致シテ居リマス、サウ云フモノガ充實シテ來レバ、是ハ一兩年ニ其ノ結果ガ現レテ來ルト思ヒマス、全然緩和サレルトハ申シマセウケレドモ、餘程緩和サレテ來ルト

存ジマス、又其ノ間ニ適當ニ大學其ノ他等ト能ク協議ヲ進メマシテ、學校ノ教員ガ不足シナイヤウニ、出來ルダケ努力シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○長野(長)委員 科學ノ振興ニ付テ、私ハ特ニ應用科學ノ研究ヲ盛ニスル必要ガアルト申シ、之ニ付テハ先日モ亦今日ノ御答辯ノ中ニモ、私ノ満足スルダケノ御意見並ニ御策ヲ承ルコトガ出來ナカツタノデアリマス、特ニ我が原始産業タル農業、林業、水産業等ニ付テハ大學專門教育ヲ、一層振興スル必要ガアリハシナイカ、此ノ意味ニ於テ現在存在シテ居リマス所ノ私立學校ニ向ツテ、當局トシテハ相當力ヲ加ヘル必要ガナイカト思フノデアリマス、然ルニ現在ニ於テハ御計畫ノ中ニ之ヲ十分ニ認メルコトガ出來ナイノデアリマス、大臣トシテハ此ノ問題ニ付テ如何ナル御考ヘヲ持タレドモ、デアリマセウカ

○橋田國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ十分ニ關心ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマシテ、私立ノ實業學校ノモノナドハ、十分ニ充實スルヤウニ、コチカラ助成ヲシナケレバナラズト申シテ居ルノデアリマス、其ノ助成等ノ方策ニ付キマシテ、聊カ考慮シテ居ルノデアリマスケレドモ、今度ノ豫算ニ其ノ具體的ノ方策ヲ提出スルマデニ至ラナカツタコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジマス、必ズ近イ中ニ適當ノ方策ガ案サレルコトト考ヘテ、著々進メテ居ル次第デアリマ

ニ觸レテ居ナイノデアリマス、私ハモウ少シ具體的ニ申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ例ハ我が國ガ農業、水産等ニ關スル私立大學ト云フモノハ、中々出來ニクイノデアリマス、性質上困難デアリマス、ソコデ現ニ存在スルモノアリトスレバ、之ニ對シテハ私ハ相當徹底的ニ力ヲ入レナケレバナラズト思フノデアリマス、明治二十四年ニ創立セラレテ、現ニ東京市內ニ存在スル東京農業大學ハ、一千八百名ノ在學生ヲ有シ、而シテ卒業生ノ如キモ以テ算ヘテ居ル、更ニ軍人ノ再教育モ此處デヤツテ居リ、其ノ終了ノ如キモ一何千名ヲ算ヘテ居ル、然ルニ其ノ卒業生ハ如何デアリカト云フト國內ニ於ケル凡ニ農業ニ關シタル機構ニハ、此ノ卒業生ガ入ツテ居ルト云フテ差支ヘナイ、又官廳、學校等ニ於ケルソレノ地位ニ就キマシテ、我が國ノ農業實業ノ教育、開發興隆ニ盡心シテ居ル所ハ莫大デアリマス、更ニ又海外ニ發展ヲ致シマシテ、移民的ノ開拓ヲ挺身隊トナツテ、第一線ニ立ツテ活動シテ居ルト云フコトモ亦事實デアリマス、斯クテ如ク過去ニ於テ、又現在而シテ將來ニ於テハ、之ニ依ツ所大ナルベキデアルニ拘ラズ、文部當局トセラレテハ、極メテ關心ヲ持ツテ居ナイカノ如キ狀態ニアルノデアリマス、一例ヲ取レバ、農林ニ關スル應用科學研究ノ生命トモ言フベキ研究練習設備ノ欠イテ居ル、例ハ濱濱林ノ如キ寸地ダモナイノデアリマス、是ガ歴代ノ文部大臣ニ依ツテ看過セラレテ居ル、私ハ最モ科學ニ御理解ヲ持ツテ居ル橋田文相ノ御在任中ニ於テ、斯クテ如クアツタノ方針ト全ク反對ノ實情ニ泣イテ居ル學生ノ一團ノアルコトヲ御忘レニナラナイヤウニシ

テ、速カニ此ノ施設ノ完備ニ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、如何デアリイマセウカ

○橋田國務大臣 十分調査ノ上善處致シマス

○長野(長)委員 只今大臣ハ御答辯ヲ御願ヒスル必要ハナイト申シマシタケレドモ、此ノ機會ニ御答シタイト思ヒマスコトハ、私立大學ハ勿論コト、專門學校ニ對シマシテモ、是非相當ノ經費ヲ與ヘラレタイ、現ニ私立專門學校ニハ補助金ハナイノデアリマス、此ノ時局下最モ重要ナル青年教育ノ機關デアアルコトハ同様デアリマス、殊ニ專門ノ勉強ヲスル學校ナルガ故ニ大學ト同様ニ專門學校ノ補助金一ツ認メテ戴キタイ、同時ニ只今文相ノ聲明セラレマシタ私立大學ノ設備充實ニ付テハ、次回ノ豫算査定ノ際ニハ、文部當局ヨリ提出セラレマシタル所ノモノヲ、十分活カシテ戴キタイト思フノデアリマスガ、如何デアリイマセウカ

○河田國務大臣 只今ノ御質問ハ、專門學校並ニ大學ニ對スル助成ノ問題デアリマスガ、私ノ記憶致ス所ニ依リマス、私立大學助成金ト云フモノガ既ニ計上セラレテ居リマシテ、年々基本金デゴザイマシタカ、大學令ニ基キ基本金ノ積立ニ要スル經費ヲ補助スルコトヲ、數十年或ハ十數年來致シテ參ツタ存ジマス、或ハ專門學校ニハマダ及ンデ居ラナイト存ジマス、時勢ノ進運ニ依リマシテ、其ノ必要ハ起ルコトカモ知レマセウカ、併シナガラ一面カラ考ヘマシテ、收テ國ノ助成ヲ得ストモ、粒々積立テタリ、設備ナリヲナシ得ル私立大學モ相當アルコトヲ思ヒマス、時勢ノ進

運ニ應ジテ所謂積立金ト申シマスカ——徒ラニ舊態ニ泥マズト云フ趣旨カラ申シマスル、ソレ等ノ點ハ十分整理統合致シマシテ、要ラザルモノヲ唯舊態ニ泥ンデスルト云フノデアリマス、能ク統合スルヤウニ、皆其ノ氣持ヲ以テ進んで行キタイト考ヘテ居リマス、只今例示セラレマシタル東京農業大學ニ對シテ、文部當局ヨリト云フ案ヲ御出シデアリマスガ、明年ノ豫算ノ査定ニ付トマシテハ、未ダ私カラ一言モ申上ゲルコキハ出來マセウカ

○長野(長)委員 先程同僚ノ委員カラ御尋ネテ致シタコトノ中ニ、科學ト文化ノ關係ニ付テノ事項ガアツタヤウニ思フノデアリマス、私ハ科學トカ、藝術トカ、道德トカ、經濟ト云フヤウナ、各種ノ學科目ノ教育ニ對シテハ心構ヘテシテハ、大體文部大臣ト同様ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シ茲ニ御尋ネ申上ゲタイト思フコトハ、ソレ等ノ科目ヲ眞ニ活カシテ教育スル爲ニハ、如何ナルコトヲナスベキカ、ト同時ニソレニ對スル教育行政ノ立場ニ於テ、如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ラレカ、之ヲ承リタイ

○橋田國務大臣 先ツ根本ノ問題ト致シマシテハ、教育者自ラガ教育者デアラ建前ヲハツキリ自覺シテ參リマスレバ、凡ニ學術、思想、文化ヲ其ノ力量ニ應ジテ自己ニ持込シテ、渾然タルモノヲ作り上ゲタ上ニ自己ノ專門ノ領域ニ向ツテ子弟ヲ教ヘルト云フコトニ、自然向ツテ行クベキ管ダト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、又教育者ヲ養成スル場所ニ於キマシテハ、其ノ個々ノ學術ガ、唯個々ノ學術或ハ藝術トシテ教ヘラレナイデ、渾然トシテ教ヘラレルモノノ一體ナル勵キトナツテ把握サレ



ルヤウニ指導スルコトガ、最も重要ナ方針デアラウト存ズルデアリマス、從來唯或ル學科ヲ羅列シテ、ソレニ適當ナ時間ヲ配當シテ、ソレニ依ツテ教育者タルベキ者ノ教育方針ヲ居ツタヤウニ考ヘラレタ節モナイデハナイト存ジマスガ、其ノヤウナ分難併合ノ學問ノ授與ト云フモノヲ出來ルダケ排除致シマシテ、全體ガ統一綜合サレタ立場ニ於テ學ヲ把握シナガラ、各自己ノ得意トスル專門ノ領域ニ向ツテ自己ヲ發展セシメルト云フヤウナ方法ニ、學校ノ教育制度、又教ヘル人ノ心構ヘガ向ツテ行カナケレバナイト存ズルデアリマス

○長野(長)委員 其ノ渾然一體トシテ觀メルト云フ、其ノ纏メル歸結點ハ何デアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○橋田國務大臣 纏メル最後ノ一點ハ、吾等ニ於キマシテハ國體ノ本義ニ徹シマシタ真ノ心ト云フコトノ外ニナイト存ジマス

○長野(長)委員 其ノ通りダト思ヒマス、然ルニ今日ノ教育行政ノ上ニ是ガ果シテ現ハレテ居ルデアリマセウカ、詰リ、藝術、産業、經濟、科學、之ヲ渾然一體トシテ歸一スルモノハ即チ信ノ教育デナケレバナラス、我ガ國ノ信ハ是レ即チ忠デアアル、忠ニ一體歸結スルト云フコトガ必要デアルト思フデアリマス、然ルニ今日全國ノ小學校、或ハ青年學校、少年團ニ至ルマデ、此ノ兒童、青年ニ對スル指導ノ中ニ於テ忠ト云フ言葉ヲドウ使ツテ居ルカ、例ヘバ部屋ヲ分ケルノニ忠、孝、信、愛、仁ト言ツテ、全ク是等ノ道德ト同列ニナツテ居ル、是ハ惟神ノ日本帝國トシテハ絕對ニ受容レラレザルモノデアルト思フ、此ノ根本ノ觀念ガ過マツテ居ルト考ヘマス、文相ノ御考

ヘニナツテ居ルコトニハ洵ニ敬意ヲ表シ、贊成デアリマス、ケレドモ、ソレガ全國ノ小、中學乃至ハ大學ニ於テ行ハレテ居ル實際ヲ眺メマスルト、全然之ニ背反スル場合ガアリハシナイカ、少クモソレニ副ウテ居ナイト私ハ考ヘマス、是ニ於テ此ノ指導ヲドウスルカト申シマス、私ハ教員ノ養成ニ當ツテ日本學、日本國體學ト云フモノヲ、ハツキリ頭ノ中ニ打込ム特別ノ工夫ガ必要デアナイカト考ヘルデアリマス、之ニ對シテ如何ナル御意見ヲ御計畫ガアリマセウカ

○橋田國務大臣 全ク同感デゴザイマシテ、例ヘバ今後ノ着手スベキ師範學校ノ教育内容ノ改善等ハ、全ク其ノ趣旨ニ向ツテ進ミタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、從來ノ教育ノ形式ヲ一舉ニシテ打破シヨウト云フ事情ハ、誰人ヲ以テシテモ一朝ニ出來ナイコトダト思フデアリマス、方針ヲ十分ニ確立スルコトニ於テ出來ルダケ早ク向クベキ方ヘ向ハセルコトニ萬全ヲ期スベク努力シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○長野(長)委員 以上御尋ね申上ゲマシタ所ヲ要約歸結スル點ハ、結局私ハ教員ノ養成問題ダト思ヒマス、教育問題ノ根本ハヤハリ教員ノ養成デアアル、然ルニ今日ノ教育者ハ、其ノ學校ヲ受ケタル教育ハ如何デアリマセウトモ、勿論ソレ々卒業後ニ熱心ニ修養研鑽ヲ積マレテ努力サレテ居リマス、此ノ點ハ私ハ敬意ヲ表シ、又ソレヲ認メルニ咨カデナイデアリマスケレドモ、今後ノ世運ニ伴ヒ、又我ガ國ノ大抱負ニ基キ國策ヲ練テ沿フテ活動スベキ優秀ナル教員、一粒擲リノ教員ヲ作り上ゲルコト云フコトニ

付テハ、私ハ此ノ現狀デハ到底出來ナイデハナイカト思フデアリマス、然ラバ如何ナル點ニ向ツテ改革ヲ加ヘ、如何ナル新シキ施設ヲ行フカト云フコトガ問題ナラドゴザイマスガ、我ガ帝國ノ明日ノ教育問題ノ中樞トモ言フベキ教員養成ノ方法等ニ付テ、如何ナル改革意見ヲ持ツテ居ラレマセウカ、ソレヲ承リタイ

○橋田國務大臣 教員養成ノ具體的ナ方策ト致シマシテハ種々アラウカト存ジマスガ、一ハ先刻申シマス師範教育ノ改善ト云フコトハ、モウ近々着手シテ、出來ルダケ早ク目的ニ副フヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、旁、出來ルダケ多數ノ教員ノ再教育ト云フコトヲ目的トシテ居ルデアリマス、其ノ再教育ト云フ事情ヲ先程申シマシタヤウニ一舉ニシテ行フコト云フ譯ニハ參リマセウカ、出來ルダケ多數ノモノニ向ツテ、出來ルダケ正シク再教育ヲ施スト云フコトニ於テ、又ソレヲ總ト致シマシテ總テモノノ向フ方向ヲ先ツ定メサセルヤウナ方針ヲ進ミタイト考ヘテ居ルデアリマス、又一面ニ於キマシテハ私ハ深く我ガ日本國民ノ忠誠ニ信賴スルモノデゴザイマシテ、一タビ眞實我ガ國體ノ本義ニ徹シテ、從來持ツテ居ル知識、技能其ノ他十分ニ發揮スル能力ヲ有スルコトヲ信ジテ疑ハナイデアリマス、其ノ信念、信ナル心ヲ得セシメルト云フコトハ、又唯一片ノ言葉ダケニ依ツテハ出來ナイ問題デアリマスケレドモ、ソレヲ以テスレバ、唯設備、方策ト云フヤウナコトダケニ依ラナイデモ、或ル程度マデ吾々ノ希望ヲ充タスコトガ出來ル

ト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○長野(長)委員 ドウモ御信念ダケノ御發表デアリマシテ、今少シ具體的ナ御意見ヲ承リタイト思ヒマシタガ、其ノ點ハ遺憾ニ存ジマス、ケレドモ御信念ニ對シマシテハ全ク同感デゴザイマス、茲ニ一ツ御意見ヲ承リタイト思フコトハ、凡ソ今日ノ世界情勢カラ眺メマシテ、兵力ノ戰爭ト對立シテ文化戰爭ト云フコトハ、吾々ガ心ヲ引緊メテ考ヘナケレバナラス問題ダト思ツテ居リマス、此ノ意味ニ於テ文武一體ノ精神、高度國防ノ見地カラ思想戰爭ノ益、熾烈ナルニ用意スル必要ガアル、是ガ爲ニハ教員ノ養成ニ付キマシテハ、私ハドウシテモ、軍方一人々々ノ將校ヲ作ルノニ精魂氣魄ヲ打込シテ居ルヤウニ、教員養成ノ學校ニ於キマシテハ、一人々々ノ肩ノナ、優秀ナル教員ヲ作り上ゲルコト云フコトハ、力ヲ入レナケレバナラスト思フデアリマス、詰リ難駁ナ押出シノ教育デハナイ、眞ニ鍛錬ヲ加ヘ、前申上ゲタヤウナ教員職ヲ打込シテ一粒擲リノ教員ヲ作り上ゲルコト云フ教育方針ヲ立テル必要ガアリハシナイカ、是ガ一ツデアリマス、ソレカラ今一ツハ士官學校、兵學校等ヲ軍方國體經營シテ居リマスヤウニ、文部省ガ師範學校、青年學校教員養成所及ビ師範大學、是等ノモノヲ國體ヲ以テヤルト云フ必要ガアリハシナイカ、假令三億、四億ノ金ガ要リマシテモ、是カラ先明日ノ文化戰爭ヲ考ヘル時ニ於テ問題デハアリマセウ、一師範學校ヲ作り上ゲルニハ、十數發ノ大砲ヲ撃ツ費用ニ依ツテモ價比得ルデアリマス、勿論兵器ノ充實ハ必要デアリマスカラ、ソレト殊更比較輕重ヲ論ズルノデアリマセウガ、一人々々ノ優秀教員ヲ

作ツテ、サウシテ優良ナ國民ヲ作り上ゲルコト云フ點ニ於テ決シテ兵器彈藥ニ使フ金ト教員養成ニ使フ金トハ差ハナイト私ハ信ジマス、此ノ意味ニ於テ私ハ教員養成機關ハ全部之ヲ國營トナシ、而シテ文化戰爭ノ將校養成ト云フ觀念ヲ以テヤルコトガ必要デアルト考ヘル者デアリマス、文部大臣ハ之ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持タレテ居リマセウカ

○橋田國務大臣 只今ノ御趣旨ニ傾聴ニ値スル所ト拜聴致シマシタ、唯教育組織ノ問題ニ致シマシテモ、從來ノ傳統ヲ必ズシモノ一舉ニ打破スルト云フ譯ニハ參ラナイ點ガ色々アルデアリマス、御趣旨ノ點ハ能ク諒承致シマシタ、十分考慮研究ノ上、例ヘバ師範學校等ヲ官立ニスベキカ、或ハ從來ノ通りニスベキカト云フヤウナ事情ハ、十分考慮ノ上適當ニ善處シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

ル、此ノ意味ニ於テ大教育者トシテ把持スベキ所ノモノヲ此處ニ於テ打込ム、之ヲ打込マレタ者ガ即チ師範專門學校、師範大學ノ卒業生デアアル、斯ウ云フコトニナル、而シテ凡ソ小學校ニハ少クモ教員ノ半數ハ師範專門學校ノ卒業生ヲ以テ充ツルコトヲ一日モ早クスル、又中學校以上ノ學校ノ教師ハ少クモ其ノ半數ハ師範大學ヲ卒業シタル者ヲ以テ充ツルコト云フ時期ヲ早クシナケレバナラスト思フ、文部大臣ハ先日私共ニ小學校教員待遇問題ニ付テ御意見ヲ吐カレタ中ニ、自分ノ身ヲ以テ之ヲ敢行スルデアラウ、一身ヲ犠牲ニシテヤルデアラウト云フコトヲ仰セラレタ、私ハ本當ニ感激ノ氣魄ヲ以テ當ツテ敬キマスナラバ、議會史アツテ以來、此ノ教員待遇問題ヲ解決セラレタト同ジヤウニ、只今マデ申上ゲタ一トシテ閣下スルコトノ出來ナイ最要緊ノ文獻問題ハ立チドコロ私ハ解決スルコト云フ處ニ大膽大臣トシテオ坐リニナツタト云フコトハ、洵ニ私ハ敬意ノアルコトダト思フ、ドウカ大臣ハソレダケノ氣魄ヲ以テ當ラレルモノダト云フコトヲ此處デ御明言ヲシテ戴キタイ、如何デゴザイマセウカ

○橋田國務大臣 師範ノ興隆ト云フコトガ教學ノ刷新、又教育ノ刷新ニ於テ根本デアルコトハ多年主張シテ居ル所デアリマス、又文部大臣ニ就任ヲ致シテ以來モ主張シ、又文部大臣ニ就任ヲ致シテ以來モ主張シテ居ル所デアリマス、若シ師範興隆ト云フコトガナケレバ他ノ凡ソ施設ガ其ノ意義ヲ失フコト云フマデニ考ヘテ居ルデアリマシテ、先程カラ申シマス通り、教員養成ノ問題ナドノ點ニ付キマシテモ此ノ師範ノ興隆ト云フコトヲ目指シテ進ミ

黨ニ歸ツテ吾々ヲ教育シテ戴イタ小學校ノ先生ノ前ニ跪イタ時ニ、果シテ吾々ハ先生ガ正遇セラレテ來タカト云フコトニ付テ平素持ツテ居ル疑問ハ直ク解ケルデアリマス、正遇セラレテ居ナイデアリマス、先シテ永ク一學校ニ勤メタ人、或ハ訓練トシテ永ク一學校ニ勤メタ人、是等ノ人ハ各學校ノ名譽校長、名譽訓導トシテ置クノ制度ヲ設クベキデアリカト考ヘルデアアル、大學、專門學校ニハ其ノ制度ガアリマスケレドモ、小學校ニハソレガナイ、凡ソ一國ノ風潮、國民精神ハ、假令頭ニ白髮ガ生エテモ、郷里ニ歸ツテ其ノ小學校ヲ訪レタ時ニ、尙ホ健全デアラセラレ先生ノ肖像ノ額ガ名譽校長トシテ懸ツテ居ルコトガ、ドレダケ國民精神ヲ啓蒙シ、又其ノ人々ノ上ニ無言ノ教育ヲスルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、今日名譽校長、名譽訓導ノ制度ノナキ我國初等、中等學校ハ、實ニ寂シ味ヲ感ゼザルヲ得ナイ、ソコデ速カニ文部當局トシテ此ノ制度ヲ作ルコトニ付テ、研究ヲ進メラレテハドウカト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、又小學校校長ニ委任待遇ノ途ヲ開ケタ時、教育界ハ大ニ喜ンダデアリマス、一般識者モ亦ソレヲ喜ンダデアリマス、必ズシモ其ノ官等ヲ高ク上ゲルト云フコトガ宜イト云フデアリマセウガ、今日官界ニ於テ、官等或ハ位階勳章等ノ現存シテ居ル事實ニ比較シテ見マス、今日小學校校長、教員トシテ多年功績ノアル人々ガ待遇セラレテ居ル所ヲ眺メテ見ルト、是ハ決シテ公平ナモノデアリナイト思フ、此ノ意味ニ於テ私ハモツト校長及ビ訓導或ハ青年學校校長及ビ青年學校教員等ノ精神ノ待遇ヲ正遇スルヤウ



ニ研究ヲ進メテ載キタイノデアリマス、ソレカラ是ハ待遇ト稱シテヤウデアリマシガ、學校ノ教員又ハ學校長ガ其ノ子供、或ハ時ニハ孫ニモ比スベキ行政官カラ一種ノ官權的待遇ヲ受ケ、之ニ泣イテ居ル事實ハ少カラズアルノデアリマス、前々議會ニ於テ文部大臣ハ之ヲ是正スルト聲明セラレマシタガ、其ノ後尙ホ私ハ徹底セザルモガアルト思フノデアリマス、是等ニ付テ考ヘテ見マシテモ、餘程考ヘナクテハナラズ、或ル縣ニ於テハ學務課長ガ會テ學ビシ校長先生ニ殆ド靴ヲ掛ケルガ如キ態度ヲ執ツタト云フ事實モアル、是ハ教育行政官ガ教育實際家ニ對シテ誤レル一種ノ優越感ヲ感シ過キテ居ルカラデアル、是ハ恰モ往々ニシテ事務官ガ技師、技手等ニ對シテ一種ノ優越感ヲ感ジテ居ルノト同ジコトデアル、彼等ハ待遇官デアアル、彼等ハ單ナル先生ダ、俺ハ權力ヲ持ツテ居ル本官ダ、此ノ氣持ガ不知不識ノ間ニ現ハレルモノト思フ、是ニ於テ私ハ教育行政官ノ氣持ヲ是正スルヤウナ方法ヲ執ラナケレバイカスト思フ、ソレハドウスルカト申スト、校長或ハ訓導等ノ間ニ優秀ナル者ガアルナラバ、此度官吏任用制度ノ改正セラレマスルヲ幸ヒニ、ソレ等ノ人ノ中カラ、是等ヲ學務部長、課長、文部省ノ行政官トシテノ立場ニ拔擢シテ、其ノ人格、其ノ豐富ナル經驗、學識等ヲ以テ一般教育者ニ對シテシメルコトガ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、是等ニ對シテ若シ文部大臣ノ御意見ヲ承ルコトガ出來レバ結構デゴザイマス

○橋田國務大臣 御趣旨ノアル所全ク同意デゴイザマス、優遇ト云フ言葉ガ當ラナイコトハ、既ニ是正シナケレバナラヌコトガ

アルコトニ依ツテモ御承知ノ通りデアリマス、尙ホ地位ノ待遇ニ付キマシテハ、官吏制度其ノ他ノ關係デ、果シテ私共ガ理想トシテ居ル所マデ到達スルヤ否ハ別問題デアリマスガ、既ニ目下十分考慮中デモアリ又將來ニ向ツテ十分考慮シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ地方ノ學務課長ト云フヤウナ若者ガ、往々ニシテ老練ナル校長等ニ對シテ十分ノ尊敬ヲ拂ハナイト云フコトハ、必ズシモナカウツタノデアリナシテ、其ノ點ニ付テハ既ニ、或ル機會ニ左様ナ者ガ集マリマシタ時ニ於テモ、十分警告ヲ發シテ居ル次第デゴザイマス、管ニ學務課長ノミナラズ、地方長官ナドモ、老練優秀ナル校長ノミナラズ教員ニ對シテハ心カラ尊敬ノ念ヲ拂ツテ居ルモノデアリニト云フコトヲ切ニ望ムデ居ルモノデアリマシテ、此ノ教育ノ振興ト云フコトニ付テハ色々違モアリマセウガ、左様ナコトハ殊ニ學風ヲ向上スルニ最モ重要ナル要件ノ一ツデアラウト考ヘテ居ルノデアリマシテ、出來ルダケサウ云フ方向ニ進メタイト考ヘテ居ルモノデゴザイマス、隨ヒマシテ學務課長ノ任命等ニ付キマシテ十分ニ考慮致シタイト存ジマス

○増田委員長 平川松太郎君ヨリ關聯質問ノ御發言ガアリマスカラ、此ノ際之ヲ許シマス、平川君

○平川委員 文部大臣ト、幸ヒ大藏大臣ガオイデゴザイマスカラ、此ノ兩大臣ニ極ク簡單ニ質問シタイト思ヒマス、先程長野君ハ、私立學校助成ノ件ニ付テ質問セラレマシタ、併シソレハ主トシテ私立大學ノ件ノヤウニ拜承致シマシタ、私モ勿論私立大學ノ助成ハ必要デアルト存ジマスガ、私立中等學校ノ助成ガ今日ハ非常ニ急務デアルト考ヘルノデアリマス、現在中等學校並ニ高等女學校ノ入學試驗ニ際シテ、或ル所デハ文部大臣御承知ノ通り、此ノ中等學校ニ希望スル所ノ生徒ガ殺到シテ、二倍、三倍、四倍、五倍ト云フヤウニ定員ヲ超過シテ居ルノデアリマス、之ヲ一體ドウシテ緩和スル積リデアルカ、私ハ是ハドウシテモ學校ノ増設以外ニ方法ハナイト思フ、而シテ官立學校ハ經費ノ都合上一時ニ澤山増設スルコトハ出來マセウカラ、ドウシテモ私立學校ノ増設ヲ獎勵スルヨリ外ハナイ、併シナガラ今日ノヤウナ私立學校デハ到底満足スルコトハ出來マセウ、ソコデ私ハ私立中等學校ノ刷新並ニ教員ノ待遇ノ件ニ付テ、四點簡單ニ私ノ意見ヲ申上ゲ見タイ、第一ハ學校法人法ノ制定デアリマス、文部省ニ於テモ斯ウ云フ法案ヲ立案セラレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレハ私立學校ノ營利化ヲ排撃スルコトデアリマス、是ハ最モ必要デアリマス、今日營利ノ爲ニ設ケラレテ居ル所ノ私立學校ハ可ナリアルノデアリマス、是ハ大ニ排撃シナケレバナラヌ、此ノ法案ハ私ハ恐ラタサウ云フ趣旨ノ法案デアラウト思フノデアリマスガ、此ノ議會ニハ勿論御提出ニナル日ガゴザイマセウ、ソコデ勅令カ何カヲ以テ、斯ウ云フヤウナ方法ヲ御執リニナル御考ヘハアリマセウカ、第二點ハ私立中等學校ノ教員ノ優遇、主トシテ精神的方面ノ優遇デアリマセウ、今日ノ全國ノ中等教育ノ殆ド三分ノ一ハ、私立學校ガ其ノ任務ヲ遂行シテ居ルト考ヘマス、ソコデヤハリ此ノ私立中等學校ノ職員ニ對シマシテハ、官立學校ト總テ同一ニ待遇シテヤラナケレバナラヌト思ヒ

マス、先ヅ一例ヲ申シマス、是ハ、陛下ノ恩召ニ依ルコトデアリマスカラ、吾々ガ兎ヤ角申ス筋合デハアリマセウガ、彼位級動等モ全國私立中等學校ニ及ボサウナ方法ヲ御考ヘニナルコトハ出來マセウデセウカ、ソレカラ若シモ是ガ出來ナイトシレバ、文化勳章ニ準ズルヤウナ制度ヲ御設ケニナル考ヘハアリマセウカ、是ガ第二點、第三點ハ、教員ノ俸給ノ補助デス、東京府デ申シマス、府下ノ官立學校ノ教員ノ平均給料ガ百二十五圓ニナツテ居ル、私立中等學校ハ百圓デ、東京府デハ專任教員ニ對シマシテハ最近毎月十圓ノ補助ヲシテ居ルサウデアリマス、斯ウ云フ點カラ申シマシテモ、ドウシテモ國家ガ相當ニ之ニ補助シテヤル必要ガアルト思フ、此ノ點ニ對シマシテハ大藏大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソコデ補助制度ヲ確立スルコトカ、或ハ年功加俸制度ト云フヤウナモノヲ定ムルコトカ、斯ウ云フ方法ヲ執ラナケレバ私立學校ノ教員ハ殆ド他ヘ轉業シテシマヒマス、ソレカラ第四點ハ恩給制度ノ確立デアリマス、恩給制度ハ言フマデモナク畏クモ恩賜金ガアリマシテ、此ノ恩賜金ヲ基本トシテ、大正時代ニ私立中等學校ニ恩給財團ト云フモノガ設ケラレタ、所ガ是ハ實際ハ十五年勤続者ニ對シマシテ年々僅カニ三百圓、是ハ陸軍ノ下士官ノ程度デアアル、斯ウ云フ風デハ到底教員ガ安シテ居ル職ニ居ルコトハ出來ナイト思ヒマスカラ、モウ少シ恩給制度ヲ確立スル方法ハナイカ、此ノ四點ニ付テ簡單ニ御答辯願ヒマス、豫算ニ對シテハ大藏大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス

○橋田國務大臣 御質問ノ四點ニ付キマシテハ、既ニ吾々ノ考慮中ノモノモゴザイマ

ス、恐ラク近キ將來ニソレガ實現スルモノト考ヘテ居リマスガ、其ノ他ノ點ニ付キマシテモ御趣旨ノアル所ハ同意ニ存ジマスノデ、其ノ點ニ付キマシテ十分ニ考究ヲ致シタイト存ジマス

○河田國務大臣 平川君ノ御質問ニ大藏當局ノ立場カラ御答ヘ致シマス、私立中等學校ニ對シマシテ國ガドウ云フコトヲスルカト云フコトハ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、唯國ガ補助サヘスレバ宜イト云フコトハ、私ハ贊成致シマセウ、私ノ記憶致シマス所デハ、中等學校ハ體カ公立ノ建前ニナツテ居ルト思ヒマス、申スマデモナク府縣トカ市町村トカ、其ノ他私立デアリマス、國立ノ中等學校ハ多分七年限ノ高等學校ニアル普通科、ソレカラ文理科大學ノ附屬中等學校ト云フヤウナモノ、二三デアツテ、國立ノ中等學校ト云フモノハ私ノ今記憶スル所デハ他ニハナイト思ヒマス、國立ノ中等學校ノ建前ハ、サウ云フヤウニナツテ居ル所ヘ、私立中等學校ニ國ガ直接補助スルト云フコトハ、ソレハ必要カモ知レマセウガ、輕々シク決定スベキ問題デナイト思ヒマス、今日國費アリ、府縣費アリ、各地方自治團體ト云フモノガ各、財政團體トシテヤツテ居リマス、何事モ國ガ補助スレバ宜イト云フヤウナコトハ、私ハ贊成致シ兼ネルノデアリマス、但シ中等學校ニ付テハ、私一寸記憶ハ致シテ居リマセウガ、大正何年カニ中等教員恩賜財團ト云フモノガ出來マシタ、ソレハ或ハ例外ニ補助シタカモ知レマセウガ、私ハハツキリ記憶シテ居リマセウ、併シ文部當局方面ノ御意見モゴザイマセウシ、此ノ點ハ時代ノ推移ニ依リマシテ、サウ云フ時期ガ參リマセウレバ、

格別ノコトデアリマスガ、十分考究ハ致シマシテ、御趣旨ノアル所、良キ方面ニ進行スルコトハ無論希望スル次第デゴザイマスガ、尙ホ十分調査スベキ問題ガ多ク殘ツテ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス

○増田委員長 明日ハ午前十時三十分ヨリ會議ヲ開キマス、尙ホ午前十時ヨリ懇談會ヲ開催致シマスカラ、遅刻ナク御出席ヲ希望致シマス、本日は是ニテ散會致シマス

午後六時二十七分散會



昭和十六年二月十九日印刷

昭和十六年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局

(第一類 第一號)

第七十六回帝國議會 院 豫算委員會議錄(速記)第二十回

(二二八)

會議  
昭和十六年二月二十日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 增田 義一君

理事伊禮 肇君 理事小笠原三九郎君

理事佐藤洋之助君 理事田中 好君

理事西川 貞一君 理事古田喜三太君

理事三浦 虎雄君 理事三宅 正一君

理事宮澤 胤勇君 理事森田重次郎君

理事矢野庄太郎君

青島 憲三君 井上 良次君

石坂 豐一君 一ノ瀬俊民君

泉 國三郎君 今井 新造君

江藤源九郎君 小野 謙一君

大本貞太郎君 加藤 綱一君

笠井 重治君 勝 正憲君

川崎 克君 木村 正義君

岸田 正記君 北 吟吉君

久山 知之君 島田 俊雄君

助川啓四郎君 多田 滿長君

高田 紘平君 武田德三郎君

津雲 國利君 長野 長廣君

鶴見 祐輔君 末松備一郎君

東郷 實君 米窪 滿亮君

中島彌團次君 中田 儀直君

中山 福藏君 松本治一郎君

松村 光三君 一松 定吉君

平川松太郎君 田中 耕君

深澤 吉平君 藤本 拾助君

古屋 慶隆君 堀内 良平君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 男爵平沼騏一郎君

厚生大臣 金光 庸夫君

拓務大臣 秋田 清君

文部大臣 橋田 邦彦君

大藏大臣 河田 烈君

逓信大臣 村田 省藏君

農林大臣 石黒 忠篤君

海軍大臣 及川古志郎君

鐵道大臣 小川郷太郎君

國務大臣 星野 直樹君

司法大臣 柳川 平助君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 富田 健治君

法制局參事官 森山 鏡一君

企業院次長 小畑 忠良君

企業院部長 沼田多稼藏君

企業院部長 柴田彌一郎君

企業院部長 三浦 一雄君

企業院部長 竹内 德治君

企業院部長 中島 清二君

企業院部長 小松 茂君

企業院部長 藤澤 威雄君

對滿事務局次長 荒川 昌二君

在滿事務部長 岩松 五良君

情報局總裁 伊藤 述史君

情報局長 久富 達夫君

情報局情報官 吉積 正雄君

情報局情報官 福本 柳一君

興亞院部長 鈴木 貞一君

興亞院部長 松村 憲君

興亞院部長 宇佐美珍彦君

關東局司政部長 森重 千夫君

關東局事務官 松尾 俊次君

外務次官 大橋 忠一君

外務省東亞局長 山本 熊一君

外務省歐亞局長 阪本 瑞男君

外務省亞米利加局長 寺崎 太郎君

外務省南洋局長 齋藤 晉次君

外務省調查部長 高瀬 眞一君

外務省通商局長 水野伊太郎君

外務省條約局長 松本 俊一君

外務書記官 武內時之助君

內務次官 萱場 軍藏君

內務省地方局長 留岡 幸男君

內務省警備局長 橋本 清吉君

內務省土木局長 成田 一郎君

內務省計畫局長 藤岡 長敏君

內務書記官 三好 重夫君

大藏次官 廣瀬 豐作君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

大藏省理財局長 竹内 新平君

大藏省銀行局長 相田 岩夫君

大藏省爲替局長 原口 武夫君

大藏書記官 梅北 末初君

大藏書記官 氏家 武君

大藏書記官 植木庚子郎君

大藏書記官 日下部 滋君

大藏書記官 河野 一之君

大藏書記官 秋元 順朝君

大藏書記官 福田 勉夫君

大藏書記官 坂口 芳久君

大藏書記官 山際 正道君

大藏書記官 野田 卯一君

大藏書記官 山住 克巳君

大藏事務官 中村孝次郎君

預金部資金局長 中村孝次郎君

營繕管財局理事 入江 昂君

國民貯蓄獎勵局長 栗原 修君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍省法務局長 大山 文雄君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

海軍大佐 高木 敏吉君

海軍省法務局長 潮見 茂樹君

司法書記官 太田 耐造君

文部次官 菊池豐三郎君

文部省專門學務局長 永井 浩君

文部省社會教育局長 細瀬 彌三君

文部省體育局長 小笠原道生君

文部省宗教局長 阿原 謙藏君

農林次官 井野 碩哉君

農林省總務局長 周東 英雄君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省山林局長 井出 正孝君

農林省水產局長 平岡 梓君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

農林省食品局長 辻 謹吾君



農林省資材部長 重政 誠之君	厚生省資材部長 兒玉 政介君
農林書記官 岡本 直人君	厚生省體力局長 佐々木芳遠君
馬政局長官 栗屋 仙吉君	厚生省衛生局長 加藤於菴丸君
馬政局次長 橋淵 龍一君	厚生省豫防局長 高野 六郎君
食糧管理局長官 湯河 元成君	厚生省社會局長 熊谷 憲一君
食糧管理局次長 石井英之助君	厚生省労働局長 持永 義夫君
商工省化學局長 永田彦太郎君	厚生省職業局長 内藤 寛一君
商工省纖維局長 梶原 茂嘉君	厚生省書記官 生悅住求馬君
商工省監理局長 長谷川公一君	厚生省書記官 高橋 敏雄君
商工書記官 木永 衛君	厚生省書記官 中島 賢藏君
燃料局長官 東 榮二君	厚生省書記官 吉武 恵市君
燃料局事務官 牧 楢雄君	厚生省書記官 樋口 詮三君
燃料局事務官 波野野 繁君	厚生省書記官 川村 秀文君
燃料局事務官 柳原 博光君	厚生省書記官 木村 清司君
燃料局事務官 山田 龍雄君	厚生省書記官 前田 穰君
燃料局事務官 藤井 崇治君	厚生省書記官 藤井 穰君
燃料局事務官 尾關 將玄君	厚生省書記官 誠也君
燃料局事務官 山田 良秀君	厚生省書記官 三島 誠也君
燃料局事務官 田村謙治郎君	厚生省書記官 曾我 梶松君
燃料局事務官 米田富士雄君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 鈴木 清秀君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 北島謙次郎君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 植場 鐵三君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 今吉 敏雄君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 森部 隆君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 中野 勝次君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 大野藤一郎君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 水田 直昌君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 齋藤 樹君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 中嶋 一郎君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 小川 正儀君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 近藤 駿介君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君
燃料局事務官 近藤 駿介君	厚生省書記官 櫻井安右衛門君

臨時第一號臨時陸軍材料資金豫算追加案

○増田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此ノ際特ニ委員長ヨリ一言致シタイト思ヒマス、委員會議ニ於ケル質疑ハ大政覽覽會ニ關スル以外ハ、本日ヲ以テ終了致シタイト思ヒマス、所ガ質疑者ノ申込ハ非常ニ多クデアリマス、到底之ヲ皆許スト云フコトニ致シマスニハ、時間ニ制限ヲシナイ以上ハ不可能ニ終ルノデアリマス、委員會議ニ於ケル質疑ハ一人三十分程度ニ止メラレタト思ヒマス、尙ホ時間超過ノ場合ハ委員長ニ於テ發言ヲ止メルコトヲ致シマス、而シテ本日ハ關聯質問ハ一切之ヲ許サナイコトニ致シマス、併セテ御諒承ヲ願ヒマス、深澤吉平君

○深澤(吉)委員 本日ノ質問ハ企畫院ト農林當局デアリマス、マダ御見エニナラナイノデ、御見エニナツテカラ致シタイト思ヒマス

○増田委員長 ソレデハ其ノ以外ハナイノデ、陸軍ニ御同ヒシタイト思ヒマス

○増田委員長 ヲウ云フコトハ今日ハ出来マセ、アナタノ御都合ノ好イヤウナコトハ出来マセ

○深澤(吉)委員 ソレデハ農林大臣ニ伺ヒマス、農林大臣ト企畫院ヲ御呼出シテ願ヒマス

○増田委員長 承知致シマス、質疑ヲ致サレ方デ大臣ノ出席ヲ要求サレテ御方ハ、中島君ノ外ナイヤウデスカラ、中島君

○中島(彌)委員 私人三十分デハ出来マセ、此處デ三十分ナリマシテモ、其ノ次ニ

農林省資材部長 重政 誠之君

農林書記官 岡本 直人君

馬政局長官 栗屋 仙吉君

馬政局次長 橋淵 龍一君

食糧管理局長官 湯河 元成君

食糧管理局次長 石井英之助君

商工省化學局長 永田彦太郎君

商工省纖維局長 梶原 茂嘉君

商工省監理局長 長谷川公一君

商工書記官 木永 衛君

燃料局長官 東 榮二君

燃料局事務官 牧 楢雄君

燃料局事務官 波野野 繁君

燃料局事務官 柳原 博光君

燃料局事務官 山田 龍雄君

燃料局事務官 藤井 崇治君

燃料局事務官 尾關 將玄君

燃料局事務官 山田 良秀君

燃料局事務官 田村謙治郎君

燃料局事務官 米田富士雄君

燃料局事務官 鈴木 清秀君

燃料局事務官 北島謙次郎君

燃料局事務官 植場 鐵三君

燃料局事務官 今吉 敏雄君

燃料局事務官 森部 隆君

燃料局事務官 中野 勝次君

燃料局事務官 大野藤一郎君

燃料局事務官 水田 直昌君

燃料局事務官 齋藤 樹君

燃料局事務官 中嶋 一郎君

燃料局事務官 小川 正儀君

燃料局事務官 近藤 駿介君

燃料局事務官 近藤 駿介君

テ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○増田委員長 宜シウゴザイマス

○森田(彌)委員 私人大臣ガ御見エニナツテ居ル關係上、私ノ番ガ廻ツテ来テ居ルノデハアリマセ、簡單ニ時間ノ關係上拓務大臣ニ御同ヒ致シマス、朝鮮ノ政府委員ガ居ラレト極ク宜イノデ、朝鮮ノ政府委員ノ買上ノ昨年ノ一月ノ末ニナツテ、是ハ此ノ席上デアツタカドウカ、其ノ代金ノ支拂ノコトデ質問シテ答辨モアツタノデ、其ノ答辨ニハ、金ヲ拂ツタヤウナ意味ノ答辨ガアツタノデ、所ガ實際ハ昨年ノ十一月ニ出シタ米ノ代金ヲ十二月ニハ拂フコト云ツテハ、一月ニモ支拂ワセズ、今日ニ至ルマデ支拂ワセズ、朝鮮ノ農民及ビ土地ヲ持ツテ居ル地主ナドハ、御承知ノアノ水利組合ナドニ掛金ガ大變要ルノデ、サウ云フ問題デ困ツテ居ルノデ、結局三月ニ精白ニシテカラ農林大臣ニ金ヲ支拂フコト云フコト、今日ナツテ居ルト云フデアリマス、ドウ云フ順序ニナツテ居ルカ私ハ知りマセ、是ハ朝鮮總督府ガ一時金ヲ立替ヘテヤツテ居ルノカ、ドウ云フ機關デヤツテ居ルノカ、私ハ知ラナイノデ、知ラナイガ兎ニ角、總督府ノ世話デヤツテ居ルコトハ間違ナイノデ、ソレガ今ニ農民地主ニ、十一月ノ末カラ十二月ノ初メニ出シタ代金ガ行渡ラスト云フコトハ、私ハ今後米ヲ増産シヨウト云フヤウナ場合ニ、其ノ要ヲ得タルモノトハ考ヘラレヌノデ、是ハ何トカ振替ヘル方法ナリ、是ハ内地ノ分デモ農林大臣ニ話シタノデ、一體米ナドト云フモノハ現金引換ニスベキ筋合ノモノデスカラ、昔カラ米

商人ガ米ヲ賣ツテ、何箇月モ賣掛ケニスルコト云フヤウナコトハアリマセ、白米ノ小賣トハ違フノデ、然ルニ朝鮮デハ十一月カラ十二月ニ出シタ米ガ、今尙ホ金ニナラナイデ、三月ニ精白ニシテカラ金ニナリト云フヤウナコトハ、是ハ甚ク宜クナイト思フ、是ハドウ云フ風ナ經過ニナツテ居ルカ、大臣モマダ御承知ナイカトモ思ヒマス、御調ベニナツテカラ宜シイガ、兎ニ角現在ハサウ云フ風ニナツテ居ルコトダケハ、私ノ所ニ二月ノ十七日ニ朝鮮ノ地主カラ懇ヘテ来テ居ルノデアリマスカラ間違ヒナイ、デアルカ何トカ一ツ現在ノ分ノ金ヲ速カニ農民ニモ拂ツテヤリ、地主ニモマデ引張ラレ、來年ノ増産對策ノ爲ニ三月御聽キスルノデアリマス

○秋田國務大臣 森田サンノ御察シ下サレテ、實ハ私實情ヲ承知致シマス、又御質問ノ御趣意ハ洵ニ御尤モト存ジマス、直チニ取調ベマシテ明瞭ニ御説明スルコトニ致シマス

○増田委員長 御報告致シマス、昨日總理大臣ノ出席要求ヲ申込シテ置キマス、所、只今書記官長見エラレテ、其ノ返事ガ参リマシタ、昨日私ノ代理ニ宮澤君ガ書記官日ノ宮澤理事ノ御申出ニ對シマシテ御返事申上ゲマス、近衛内閣總理大臣ハ御承知ノ通り過日來引續ツテ居ラレマス、醫師ノ勸告モアリ、尙ホ數日間療養ヲ要スルコトデアリマス、隨テ尙ホ數日間醫院ハ困難ト存ジマス、何卒右御諒承ノ上御禮ニ付キマシテ、此ノ上トモ何分一層御配慮ヲ願ヒタイト存ジマス、又近衛内閣總理大臣缺席中ハ平沼内務大臣ガ代ツテ御答辨ニ當リタイト存ジマス、斯ウ云フ返事ガ参リマシタカラ、此ノ段御報告致シテ置キマス、大藏大臣、農林大臣、企畫院總裁ハ他ノ委員會議答辨中デアルカラ、終リ次第直チニコチラヘ出席サレマス

○森田(彌)委員 司法大臣ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、昨年物價統制令其ノ他ニ關聯致シマシテ、相當嚴重ナ處罰ノ方針ガ立テラレテ居リマス、而モソレガ司法官ニ依ツテ非常ニ嚴重ニ守ラレテ居ルト云フノガ日本ノ實情デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ色々方面カラ議論シナケレバ、ナイ問題ガアルト思ヒマス、併シ日本ノ國ニ於テ低物價政策ヲ堅持シテ行クコト云フコトガドウシテモ執ラレナケレバ、ナイ現實ト云フコトニナリマス、與ヘテレタル法令ノ嚴重ニ守ツテ行クコト云フ所ガ司法官ノ一ツノ責務デアルト考ヘマス、御苦心ノアル所ハ非常ニ同情ニ堪ヘナイモ、ガアルノデアリマスケレドモ、併シ一面カラ考ヘテ見マス、私等ハ司法省トシテハ相當考ヘナケレバ、ナイ多クノ問題ヲ持ツテ居ルト思フデアリマス、ソレハドウ云フ點デアルカト云ヒマス、例ハ八九一八ト云フヤウナ總「スト」令ト云フモノガ出タ、當時此ノ九一八ガ出タ實情ニ鑑ミテ見マス、是ハ當時一々細カイモノマデ全部公定價格ヲ定ムルト云フコトハ非常ニ困難ナ實態ニアツタ、ソコデハドウシテモ一過止メテ置イテ、後ニナツテ適當ナ方法ガ公定價格ヲ定メ、サウシテ民ニ其ノ倚ル所ヲ與ヘヨウ、斯ウ云フ爲ニ設ケラレテ居ツタコトハ、大藏大臣ニ於テモ能ク御

存ジノ所デアラウラウト思フノデアリマス、然ルニ其ノ後幾多ノ變遷ト日時ヲ經テ居ルニ拘ラズ、此ノ總「スト」令ト云フモノガ必ズシモ凡ニ物價ニ行互ツテ訂正セラレテ居ラナイト云フノガ日本ノ實態ナノデアリマス、ソコデ此ノ九一八等ノ法令ヲ嚴重ニ行フト云フコトニナリマス、隨所ニ破綻ヲ生ジマシテ、此ノ爲ニ洵ニ悲惨ナ一ツノ社會的現象ヲ生ジテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、是ハ關係各廳ニモ責任ガアルノデアリマシテ、私ハ獨リ司法省ニミ其ノ責任ガアルトハ考ヘテ居リマセ、寧ロ其ノ根據ヲ定メルノハ他ノ官省ニアルノデアリマスカラ、サウ云フ方面デハ、是ハ十分ニ日本ノ實情ニ合フヤウナ基準ヲ速カニ定メナケレバ、ナイモノダト私等ハ思ツテ居ルノデアリマス、併シ如何ナル理由ニ依ルノデアリマス、是等ノ點ニ付テハオ上ノ方ニ相當ノ怠慢ガアツタ關係上、今日ト雖モサウ云フモノガ定メラレテ居ラナイ、隨テ價格ハ何ニ依ツテ決マツテ来ルモノデアラカト云フト、個人々々ノ實情ト云フヤウナモノ、其ノ當時ノ實情ト云フモノニ依ツテ定マルト云フヤウナル、個人ノ實情ト云フモノハ非常ニ偶然性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、社會ニ一般的ナ物價ト云フモノトハ凡ソ距離ノアルヤウナ形定メラレテ、而モソレガ全然場所ニ依ツテ價段ト云フモノガ違ツテ来ルト云フヤウナ實情ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ個人ニ依ツテ價格ガ違ヒ、ソレカラ場所ニ依ツテ非常ナル差異ガアル、サウ云フモノヲ基準ニ致シテ定メテ置イテ、一方又木炭ナドニ例ヲ取ツテ見マシテモ、一般家庭用ノ木炭ト云フモノハ、







テ、土地と最モ連絡ガアツテ、天地自然ト融合ノ生産ニ當ル所ノ農民、農家ト云フモノガ、ヤハリ國民ノ生成發展ノ根幹デアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、是非トモ將來ノコトヲ考ヘテ、農民ノ國民全體ニ對スル割合ハ、相當ノ高イ割合ヲ持テ續ケルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、是ガ人口問題ノヤハリ一ツノ重大ナル要點デアルト同時ニ、又國土計畫ト云フコトニ付キマシテモ、ドウシテモハ一ツノ大事ナ手段ヲラウト思フノデアリマス、併シナガラ一方ニ於キマシテハ只今御話ニナリマシタヤウニ現在我國ニ於テハ鑛工業ノ擴充ト云フコトガ非常ニ重大ノモノノ一ツデゴザイマスガ、ソレト同時ニ我が國內ニ於キマシテハ農家ノ農業可能ノ面積ト云フモノガ非常ニ少イノデゴザイマスガ故ニ、現在ニ於キマシテモ農家ノ非常ニ折角ノ勤勉、又ハ努力ニ拘ラズ、其ノ生産ト云フモノニ付キマシテハ比較ノ學ガルコトガ少イ、只今御話ニナリマシタヤウニ、ドウシテモ比較ニマシテ農家ノ數ガ割合ニ多イニ拘ラズ、尙ホ比較ノ其ノ數量ヲ學ガルコトガ少イト云フヤウナ狀況ニナツテ居ル譯デアリマス、是ハ獨リ、ドウシテモ比較ニマシテモ私ガ今マデ關係致シテ居リマシタ滿洲アタリニ較ベテ見マシテモ、日本ノヤウニ非常ニ優レタ技術、又非常ニ優レタ能力ヲ持ツテ居ル農民デゴザイマスガ、之ヲ農家一戸當リノ生産數量カラ見マスルト、滿洲ト日本ト餘リ大差ナイ、寧ろ滿洲ノ方ガ多イト云フヤウナ場合モ出テ來ル譯デゴザイマス、是等ハ何カト云フト、要スルニ只今御話ノヤウニ農家一戸當リノ面積ト云フモノガ少イ、隨ヒマシテ之ニ對シテ努力デアアル

トカ、或ハ他ノ動力デアルトカ云フモノヲ用ユル餘地ガ比較ノ少イト云フコトモ當ルノデハナイカト思ヒマス、ソコデ其ノ結論ト致シマシテハドウ云フコトカト申シマス、ヤハリ今日ハ大陸ニ於キマスル土地、ソレ等ヲ日本ノ農民ノ土地ト云フ風ニ考ヘマシテ、之ヲ併セマシテ、サウシテ我が國ノ將來ノ農業發展ノ土地、之ニ依ツテ食糧増産ノ基礎ヲ形ツタルト共ニ、又我國ノ最重要ナル農家ト云フモノノ保持安定ヲ圖ラナケレバナラズ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ將來ノ構想ト致シマシテハ、ヤハリ從來ノ國策ニ從ツテ行ク譯デゴザイマスガ、先ツ取敢ズノ處置ト致シマシテハ、滿洲ニアリマスル所ノ、約二千万町歩ノ未開ノ土地ト云フモノニ對シマシテ、日滿兩國力ヲ協セマシテ、交通其ノ他諸般ノ設備ヲ整ヘルト共ニ、是等ノ土地ガ眞ニ可耕地ニナルヤウニシ、之ニ對シマシテハ日本ノ沿革其ノ他ニ類ミマシテ、現在一戸當リ十町歩、其ノ他ノ放牧地三、四町歩ト云フコトヲ原則ト致シテ居リマスガ、此ノ從來ノ計畫ニ從ヒマシテ土地ヲ整備シ、此ノ整備シタ土地ニ我國ノ農民ガ逐次相當ノ計畫ノ下ニ、分付計畫、其ノ他ヲ樹テマシテ、其ノ後ノ農村ト云フモノニ對シマシテハ、分付計畫結果却テ或ハ耕地ノ面積ヲ増加シ、之ニ對シテ努力或ハ動力ト云フモノヲ利用スルコトガ出來ルヤウニ、色々整備致シテ行クト共ニ、滿洲ノ廣イ土地ニ日本ノ從來ノ優レタル所ノ農業精神、又農民ノ技術ヲ持ツテ行ツテ、而シテ之ニハ多少廣イ所デゴザイマスガ故ニ、外國ノ色々ナヤリ方、其ノ他モ考慮致シマシテ、機械或ハ畜力ヲ十分利用致シマ

シテ、日本ノ内地ニ於キマスル所ノ農村モ、今日以上ニ農家ガ其ノ技術能力ヲ發揮スルコトガ出來ルヤウニ、又大陸ニ於キマシテモ十分發揮スルヤウナコトニ致シタイ、斯クシテ其ノ理想ト致シマシテハ、是ハ國土計畫ノ人口問題トシテ發表モ致シテ居リマス、此ノ前此處デモ申シテ居ツタノデスガ、少クとも日本、大和民族ノ四割ト云フモノヲ、農家トシテ生成發展サシテ行クコトガ出來ルト云フコトヲ目標トシテ進ミタ、之ヲ目標ト致シマシテ、日本ノ國土計畫、或ハ日滿支ヲ通ズル國土計畫ト云フモノヲ樹テテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

海道土功組合員ト云フモノハ非常ニ窮屈ト困難ヲ感ズル、是ハ生産擴充ニ對シテ非常ナ心配ガ多イノ元アリマス、東京ノ商品デナク地元デ消費スル米デアラガ故ニ、北海道ノ米價ニ對スル市場中心ノ等級、銘柄ヲ撤廢致シマシテ、北海道ノ農家ガ米ヲ生産擴充スルノニ不便ト困難ノナイヤウニ、此ノ市場中心ヲ撤廢シテ戴キタイト云フノガ私ノ質問ノ要點デアリ、又要望スル所デアアルノデアリマス、詳シク申上ゲル時間ガアリマセスガ、以上二點ヲ御伺ヒシテ質問ヲ終リマス

シテ、是ハ開墾ヨリモ早ク收穫ノ増加ト云フ效果ヲ持テ來シ得ル面積ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ一期ノ計畫ガ豫定ノ通り、若クハ幸ヒニシテ豫期以上ニ進ミマシタラバ、第二期ノ計畫ヲ更ニ追進ケテ立テマシテ進行致シタイ、斯ウ云フ考ヘテ持ツテ居リマス、御諒承願ヒタイト思ヒマス

第二ノ點ノ北海道ノ産米ニ對シマスル米價ノ問題デアリマスガ、御承知ノ通りニ最近マデハ都市ノ消費地ニ於キマスル米穀商業者ノ立テテ居リマシタ市場ニ於キマシテ、是等ノ價格ガ商品トシテ價格ノ決定ガサレテ居ツタノデアリマス、其ノ爲ニ商業者ト致シマシテハ、其ノ市場ニ現ハレテ來ナイ米ニ關シマシテハ、ドウシテモ之ニ對スル良イ價格ヲ盛ラナイト云フコトハ、已ムヲ得ザル傾向デアラウト思フノデアリマスガ、北海道ノ米ハ大體道内ニ於テ消費セラレルトハ御話ノ通りデアリマス、其ノ爲ニ東京ノ市場ニ於テ是等ガ決シテ好過サレテ居ラナカツタ、寧ろ輕視サレテ居ツタ、問題ニナラナカツタト云フヤウナ状態ノ爲ニ、其ノ評價ガ十分ニサレテ居ラナカツタノハ已ムヲ得ナイコトト思フノデアリマス、併シナガラソレ等ノ機構ガ急變シマシタ今日ト致シマシテハ、米ノ價格ニ關係ノアリマスル銘柄等級ノ定メ方ノ均衡ヲ得サセルト云フコトノ上ニ、新シイ考慮ヲ拂ハナケレバナラズト云フ必要ハ、當局ニ於テ十分認メテ居ルノデアリマス、尙ホ北海道ノ産米年々逐ヒマシテ改善セラレテ來テ居ルノデアリマス、ソレ等ノ事實モ相當ニ考フベキ事實ガアルト考ヘテ居リマス、唯サウ云フ事情ノ下ニ置カレテ居リマスル米ハ北海道ニ限リマセス、其ノ他ノ縣モア

ルノデアリマス、ソレ等ノ關係ヲ廣ク全國的ニ見マシテ、適當ニ機構ヲ改善、統制ノ強化ト云フコトト關聯ヲ致シマシテ、慎重研究ノ上ニ善處致シタイト考ヘテ居リマス

項目ニ付キマシテハ御待チヲ願ヒタイト思ヒマス



點ガアルコトモ世間周知ノ事實デアリマスガ、サリトテ此ノ安イ米價ヲ此ノ儘ニ据置キマスレバ、米ノ生産ニ非常ナ影響ノアリマスルコトモ是亦言フマデモナイコトデアラウト思フデアリマス、ソコデ十五年度ノ産米ニ對シテハ絶對ニ値上ヲサレナイ、又上値以外ニ補償其ノ他ニ依ル生産者ニ對スル利益ノ増加ハ圖ラナイト云フ農林大臣ノ御意思モ明瞭ニナツテ居ルデアリマスガ、併シ十六年度産米ニ對シテハ、何カノ方策ヲ講ゼネバ増産ドコロデハナイ、現在ノ産額モ保持スルコトガ困難ナ譯デナイカト思フデアリマスガ、之ニ對シテ十六年度産米ニ付テハ相當ナ御考慮ヲサレル御考ヘガアリマスカドウカ伺ヒタイト思ヒマス

○石黒國務大臣 十六年度産米ニ關シマシテ非常ナ御心配ガアリマス結果ガ、先般ノ生産獎勵金ヲ追加豫算ヲ提出スルヤウニト云フ御要望デアラウト考ヘルデアリマス、ソレニ對シマシテ昨日私ガ申上ゲマシタノニ、十六年度産米ト云フモノニ對シテノ生産獎勵費、是ハ米價、物價、其ノ他各般ノ方面ニ重大ナル關係ヲ多ク持ツテ居ルデアラカラ、ソレ等ノ點ニ付テ考究スベキコトガ多クアル、故ニ私トシテハ慎重考究ノ上ニ善處シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、是ハ十六年度産米ニ關シテノ御要望デアリ、ソレニ對スル御答ヘデアルデアリマス、之ニ依テ御承諾願ヒタイ

○大本委員 次ニ御伺ヒシタイノハ食糧品ノ消費規正ニ關シテデアリマスガ、昨年來食糧ノ消費規正ガ行ハレテ居ルデアリマシガ、併シ是マデハ主要食糧ノ消費規正ガ

行ハレマシテモ、相當代用食ガ潤澤ニアツタノデアリマスガ、現在デハ代用食ハ頗ル供給ガ不調ニナツテ居ルデアリマス、例ヘバ東京ナドモ來月カラ愈々本格的ノ米ノ消費規正ニ入ルサウデアリマスガ、甲種ニ屬スル市民ノ大部分ノ者ハ、一日ガ二合三勺ニ決定シテ居ルサウデアリマス、所デ不足ヲ補フ麥デアルトカ、或ハ「パン」トカ、饅頭トカ左様ナモノノガアレバ宜シイデアリマスガ、現在ノ所デハ斯ウ云フ品物モ頗ル窮乏ヲシテ容易ニ手ニ入ラナイデアリマス、殘所ハ足ラヌ場合ニハ市中ノ飲食店ノ食ヒニ出掛ケルト云フヨリ外ニ方法ガナイコトニナツテ居ルデアリマシガ、左様ナコトハ長ク續ケラレル譯デモナイデアリマス、之ニ對シテ農林大臣ハドウ云フ風ナ御考ヘデ居ラレルデアリマシカ、御意見伺ヒタイト思ヒマス

○石黒國務大臣 食糧消費規正ニ關シマシテハ、御指摘ノ通りニ非常ニ是ハ各種ノ困難ヲ伴ツテ居リマスガ、都會ノ消費規正ヲ十分ニヤレト云フコトハ非常ニ前カラ要望サレテ居ルデアリマス、當局者ト致シマシテハ相當ノ準備ニ掛ラナケレバナラヌ必要上、御要望ニ應ジ兼テ居ツテデアリマス、今日ト雖モ準備ガ完了致シテ、サア來イト云フ状態ニハナリ兼テ居ル所モアルデアリマス、併シ他面色々ナ事情カラ最早其ノ機ニナツテ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、ソコデ規正ノ數量ヲドウスルカト云フコトハ、凡ル方面ノ統計ヲ取ツテ見マシテ適當ニハ相違アリマセシガ、其ノ窮屈ヲ成ベタ少シシモ緩和スルヤウニト云フコトハ、十分ニ努メナケレバナラヌデアリマシカ、全國的ニソレ等ノ資料ヲ

整ヘマシテ、善處ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレデモ今日マデ自由ニ食糧ヲ消費シ得タモノヲ、規正ヲ一律ニ致スト云フコトニナルデアリマス、此ノ移リ變リノ時ハ實ニ市民諸君ニハ、十分ノ自覺ヲ持ツテ耐ヘテ戴カナケレバナラヌコト考ヘテ居ルデアリマス、一面私共ト致シマシテハ、御指摘ノ補充ニ何カ出來ルダケ多クノモノヲ供出ヲ致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマスガ、ソレ等ニ付キマシテモ、及バズナガラ出來ルダケノコトヲ圖ツテ居ルデアリマス、先々ニナリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ、尙ホ只今ノ施設デハ足リマセヌコト、是ガ先般衆議院御決議ヲ得マシタ米穀緊急措置ノ法律案ノ改正、米穀供給特別會計法ノ金額増加、範圍ノ擴張、アレニ依リマシテ芋類其ノ外雜類等ノ購入供給ヲ手配ヲ漸ク得マシタ譯デアリマス、之ニ依リマシテ善處ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○大本委員 此ノ問題ハ非常ニ私ハ緊要デアラウト思フデアリマスガ、只今ノ農林大臣ノ御話ニ依リマス、農林當局トシテモ非常ニ御心配ニナツテ、色々方法ヲ講ゼラレテ居ル譯ダト思ヒマスガ、若シ色々御考究ニナツテ居ル方法ガ具體化スレバ、之ニ越シタコトハアリマセシガ、若シ不幸ニシテサウ云フコトガ具體化セスト云フ場合ニハ、例ヘバ今日無水アルコトノ製造ノ原料ニ使ハレテ居リマス甘藷ノ如キモ、之ヲ食糧品ニ廻シテ是等ノ補充ヲ付ケル、又其ノ他ニ於キマシテモ凡ル方法ヲ講ジテ、是ガ對策ヲ講スルコトガ必要デアルト考ヘルノデゴザイマシテ、此ノ點ニ付テハ深甚

ナル御考慮ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

次ニ御伺ヒシタイノハ、十五年度ノ産米ノ數量ニ關シマシテ、統計ニ現ハレマシタモノノ上ニ、尙ホ農村ニ米ガアルダラウト云フコトハ、吾々モ屢々聞カサレ、御質問モ屢々受ケタデアリマス、左様ナモノガ決シテナイトハ、私モ考ヘマセヌ、只今御指摘ノ層米ト云フヤウナモノハ、是ハ無論相當ニアルト考ヘマス、併シ層米ノ名ニ於テ、層米ナラザルモノガアルカナイコト云フ問題ニ對シマシテハ、私ハサウ云フモノハ澤山ハナイト考ヘテ居リマス、豐作ノ年ニ於キマシテハ、米ノ數量ガ總計ニ於テ餘計デアルト同時ニ、米ノ穗ノドノ粒モ總テ充實スルノガ、豐作ノ年ノ現象デアリマス、作ノ惡イハ、總體ノ數量ハ少イガ、併シ同時ニ層米ノ量ハ非常ニ餘計出來ル、割合ガ餘計ニナル、斯ウ云フガ實際ノ事實デアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、昨年ノ作ガ不幸ニシテ良クナカッタノデアリマス、氣候ガ御承知ノ通りノ状態デアラッタ、其ノ爲ニ病害モ出來、蟲害モ蒙ツタ、斯ウ云フ狀況デ

御協賛ヲ得テ居ル次第ナラデアリマス、サウ云フヤウニ行カナクチャナラヌコト、ソコデ睡眠利益ト云フヤウナモノヲ、先祖傳來ノ仕事ニ代ルデアラカラ、永遠ニ之ヲ保障スルコト云フコトハ、是ハ到底出來ルコトチヤナイト思フ、其ノ變遷ヲドウ云フヤウニシテ行カト云フコトニ付テ、非常ニ苦心シテ居ルデアリマス、斯様ナ時ニ於キマシテ、一時ニ失業轉業者ヲ放出サセルコト云フコトハイケナイ、成ベクサウ云フコトヲナカシメルヤウニスル中小商業者ノ保護ト云フモノモ、考ヘテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ趣旨カラ何モ彼ニモヤラナケレバナラヌ時機ニ於キマシテ、一度ニ色々ナコトノ變動ガ、社會事象ト致シマシテ、放出スルコトヲ避ケル爲ニ、是ハ認メテ行クデアラツテ、將來適當ナ風ニ是ハ轉換ヲ致シ、變遷ヲシテ行カナケレバナラヌコトト私ハ考ヘテ居リマス、然ラバソレ何時ヤルカ、何年ト云フコトヲ限ツテ言ツテ置ク方ガ宜イチヤナイカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ事實上非常ニ難カシイコトデアリマス、社會事象ト致シマシテ、滑ラカニ移リ行クヤウニ導イテ行クコト云フガ、政治ヲ致スコトノ要道ヲラウカト考ヘテ居ルデアリマス

○大本委員 今ノ御答辯ニ對シテモ私ハ意見ガアルデアリマスガ、時間ガゴザイマセヌカラ止メテ置キマス

次ニ御伺ヒシタイノハ、硫酸、石灰、窒素其ノ他ノ肥料ノ製造ニ要スル電力ハ、石炭ト共ニ優先供給ニナツテ居ルト、私共ハ承知シテ居ツタノデアリマスガ、先般此ノ委員會ニ於ケル選任大臣ノ御話ニ依リマシタ、必ズシモサウ行ツテ居ラナイ、斯ウ云フ

アツタノデ、總量ガ少イト同時ニ、成熟不十分ノ種實ガ、層米トシテ出テ來ル割合モ相當ニ多イ、斯ウ云フ事實アルコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、併シソレ等ノモノモ無論食糧ニハナシ得ルモノデアリマシカ、農村ノ食糧バカリデナク、斯様ナ時ニ於テハ、地方都市等ニ於キマシテ十分ニ消費シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、ソレ等ニ對シマシテハ、今後十分善處致シテ供出ヲシテ貰フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○大本委員 私ハ相當ニ層米ノ名ニ依ツテ米ガアルト考ヘルデアリマス、ソコデ御願ヒヨシテ置キタイノハ、今回御計畫ニナツテ居リマス、部務總動員、或ハ農家動員ノ對象トシテ、此ノ點モ御留意ニナツテ置イテ貰ヒタイト思フデアリマス、單ニ増産ノミナラズ色々ナ方法ニ依ツテ、生産地ニ殘ツテ居リマス層米ヲ、供出サスコトニ付テモ、此ノ部務總動員並ニ農家動員ノ對象物トシテ、十分ニ其ノ機能ヲ發揮セシムルヤウニ御考ヘヲ願ヒタイト思フデアリマス

次ニ伺ヒタイノハ先般此ノ委員會ニ於キマシテ、三善委員ノ質問ニ對シテ、農林大臣ハ、配給業者ノ合同ニ關聯シテ、睡眠利益ニ付テハ過渡期ノ一ツノ對策トシテ、之ヲ默認シテ置キヨリ外ハナカラウ、斯ウ云フ御答辯ガアツタノデアリマス、私モ過渡期ノ一ツノ方法トシテ、農林大臣ノ言ハレル通りニ、當分睡眠利益ヲ認メテ置クコトハ、必要デアルト思フデアリマスガ、茲デ考ヘネバナラヌノハ、例ヘバ農林大臣ノ御答辯下ニアリマス、米穀商ニ致シマシテモ、又肥料商ニ致シマシテモ、木炭商ニ

致シマシテモ、其ノ合同ノ中心ハ何ニナツテ居ルカト申シマス、此ノ睡眠利益ノ分配ガ中心ニナツテ合同ガ行ハレテ居ルデアリマス、例ヘバ東京ニ於テ一何ボノ米穀商ガ合同ヲシテ、何百軒カニナツタト云ハレテ居リマスガ、併シ此ノ一萬ニ達スル所ノ合同シタ米穀商ハ、實際ハ嚴格ナ意味カラ申シマスレバ、失業シタノデハナイデアリマシテ、唯商賣ヲ合同シタ、サウシテ以前ノ實績ニ依ツテ、相當ノ利益分配ヲ受ケテ居ル、即チ今マデハ糖ニマシレテ利益分配ヲ受ケルコトガ出來ル、斯ウ云フコトガ中心ニナツテ合同ガ行ハレテ居リマシカ、御承知ノ通りデアラウト思フデアリマス、此ノ合同ヲシタ業者ノ心持ヲ聽イテ見マス、此ノ睡眠利益ノ分配ハ永遠ニアル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ合同ヲシテ居ルデアリマス、若シ一年、二年ニ睡眠利益ガ承認サレヌコトニナリマシテ、利益分配ガナイコトニ相成リマスレバ、先祖傳來ノ營業ヲ捨テテ、サウシテ折角期待ヲシテ居ツタ利益分配ハナクナル譯デアリマシテ、忽チ是等ノ人々ハ路頭ニ迷ハネバナラヌト思フデアリマス、ソコデ此ノ睡眠利益ヲ永遠ニ認メテ御考ヘデアラカ、若シ永遠ニ認メテ御考ヘガナイトスレバ、何年間ハ斯ウ云フ利益ヲ認メテヤルガ、ソレカラ後ハ認メルコトハ出來ナイト云フコトヲ、此ノ際御明示ニナツテ置カネバ、是等ノ人々ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケルト思フデアリマスガ、農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

方面以外ニ努力ヲセシムルト云フ御考ヘニ付キマシテハ、同じク同感デアリマシテ、是ハサウ云フ方面ニモ十分ニ努力ヲシテ貰ヒタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、農家保有人ト致シテ認メマシタモノヲ、ソレ等ノ人ノ盡力ニ依リマシテ、農家カラ進ンデ消費者方面ニ供出シテ貰フコト云フヤウニナリマス、是ハ全ク御同感デゴザイマス

次ニ配給業者ニ對シマシテ、今日此ノ際睡眠利益ノモノガアルト云フコトハ、已ムヲ得マイト云フコトヲ申シタノハ、御指摘ノ通り、唯是ガ合同ノ中心ニナツテ居ルデアリマシカ、之ヲ永遠ニ認メルト云フコトデアリマシカ、非常ナ影響ガアルト云フコトデアリマシカ、家業ノ先祖傳來ト云フコトモ、米屋サンノ家業ハサウ長イコト、ドノ家モ皆ヤウテ居ルト云フコトハナイヤウニ私ハ思フ、寧ろ地方カラ出テ來テヤラレテ居ル、長イノハ少イノデアラツテ、先づ一、二代ノ所ガ大多數ハナイダラウカ、斯ウ私ハ考ヘマス、假ニ先祖傳來デアリマシテモ、此ノ時勢ノ變化ニ依リマシテ、經濟機構ガ國ノ必要上改メザラザラ得ナクナツテ改メツテ來タト云フ時ニハ、是ハ他ノ適當ナルモノニ仕事ヲ變ヘテ、サウシテ一家ヲ立テ國家ニ奉スルト云フ途ニ轉換シテ行クノガ、然レベキ措置ダト考ヘルデアリマス、其ノ事ガ國家ノ必要上起ツタト云フ場合ニ對シマシテハ、國家ハ之ニ對シテ十分ノ御世話ヲスルコト云フコトニナラナケレバナラヌ、又ソレヲスル積リデ、今回色々其ノ施設ヲ厚生省關係等ニ於テ

御協賛ヲ得テ居ル次第ナラデアリマス、サウ云フヤウニ行カナクチャナラヌコト、ソコデ睡眠利益ト云フヤウナモノヲ、先祖傳來ノ仕事ニ代ルデアラカラ、永遠ニ之ヲ保障スルコト云フコトハ、是ハ到底出來ルコトチヤナイト思フ、其ノ變遷ヲドウ云フヤウニシテ行カト云フコトニ付テ、非常ニ苦心シテ居ルデアリマス、斯様ナ時ニ於キマシテ、一時ニ失業轉業者ヲ放出サセルコト云フコトハイケナイ、成ベクサウ云フコトヲナカシメルヤウニスル中小商業者ノ保護ト云フモノモ、考ヘテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ趣旨カラ何モ彼ニモヤラナケレバナラヌ時機ニ於キマシテ、一度ニ色々ナコトノ變動ガ、社會事象ト致シマシテ、放出スルコトヲ避ケル爲ニ、是ハ認メテ行クデアラツテ、將來適當ナ風ニ是ハ轉換ヲ致シ、變遷ヲシテ行カナケレバナラヌコトト私ハ考ヘテ居リマス、然ラバソレ何時ヤルカ、何年ト云フコトヲ限ツテ言ツテ置ク方ガ宜イチヤナイカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ事實上非常ニ難カシイコトデアリマス、社會事象ト致シマシテ、滑ラカニ移リ行クヤウニ導イテ行クコト云フガ、政治ヲ致スコトノ要道ヲラウカト考ヘテ居ルデアリマス

○大本委員 今ノ御答辯ニ對シテモ私ハ意見ガアルデアリマスガ、時間ガゴザイマセヌカラ止メテ置キマス

次ニ御伺ヒシタイノハ、硫酸、石灰、窒素其ノ他ノ肥料ノ製造ニ要スル電力ハ、石炭ト共ニ優先供給ニナツテ居ルト、私共ハ承知シテ居ツタノデアリマスガ、先般此ノ委員會ニ於ケル選任大臣ノ御話ニ依リマシタ、必ズシモサウ行ツテ居ラナイ、斯ウ云フ



ヤウニ承ツクノデアリマスガ、是ハドウナツ  
テ居ルノデゴザイマセウカ、肥料ノ供給確  
保ノ上ニ於テ、非常ニ重大ノ關係ガアルノ  
デゴザイマスガ、御話ヲ承リタイト思フノ  
デアリマス

ソレトモウツハ農村電化ニ關スル御考  
ヘヨ伺ヒタイノデアリマスガ、今日農村勞  
力ガ非常ニ不足シテ居リマスコトハ、御承  
知ノ通りデアリマスガ、是ガ調節ノ方法ト  
致シマシテモ、農村ノ電化ト云フコトハ必  
要ナコトニナツテ居ルノデアリマス、所ガ  
電燈線ハ全國ノ農村ノ八割、九割マデ普及  
シテ居ルト思ヒマスガ、動力線ハマダ全  
農村ノ五割モ架設サレテ居ラスノデアリマ  
ス、デゴザイマスルカラ、農繁期ニツイ  
馬力カニ馬力ノ補助機ヲ使ハウト思ヒマ  
シテモ、是ガサウ云フ風ニ參ラスヤウニナ  
ツテ居ルノデアリマスガ、殊ニ現在ト致  
シマシテハ動力線ガ通ツテ居リマセスト、  
實間ノ「ラチオ」ヲ聽クコトガ全然出来ナイ  
ヤウナ關係ニナツテ居ルノデアリマス、ラ  
チオ」ト申シマスルモノハ、御承知ノ通り  
ニ今日ハ實業ノ娛樂ノ對象物デハナクテ、  
日常生活ノ上ニ必要ナモノトナツテ居ルノ  
デアリマスルシ、殊ニ國民組織ガ段々強化  
サレテ行キマスル「ラチオ」ハ所謂上意下  
達ノ唯一ノ役目ヲスルヤウナ、絕對ニ必要  
ナモノニナツテ來マスルノデ、理想カラ申  
シマスルト一戸一臺ヲ目標トシテ是ガ普及  
ヲ圖ラネバナラスノデアリマス、所ガ只今  
申上ゲマシタ通りニ、農村ノ約半分ハ夜間  
ハ「ラチオ」ヲ聽クコトが出来マスルガ、晝  
間ハ聽クコトが出来ナイト云フヤウナ状態  
ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ノ普及  
ニ對シマシテハ、農林當局トシテハ相當ナ

御考ヘテセラレバナラヌト思フノデアリ  
マスガ、只今ノ肥料ノ電力ニ對スル問題、  
農村電氣ノ普及ニ關スル問題ニ付テノ御所  
見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石黒國務大臣 只今ノ確定ニ對シマスル  
電力ノ優先配給ト云フコトハ、是ハ實際ヤ  
ツテ居リマスノデアリマシテ、軍需品ノ製  
造工場ト同地位ニ置キマシテ、第一ニ配給  
ヲ致シテ居ルコト云フコトハ、モウ既定ノ事  
實デヤツテ居ルノデアリマス

ソレカラ農村電化ノコトニ關シマシテ御  
述ベニナリマシタノデアリマスルガ、政府  
ニ於キマシテモ農村ニ電力ヲ供給致シ、又、ラ  
チオ」等モ普及ヲ致スト云フコトハ、最も適  
當ナコトト考ヘテ居リマスノデ、極力之  
ヲ努力積リテ居リマス、農村電化ニ關シ  
マシテハ、先般提出ヲ致シマシタ選信省經  
費ノ豫算ノ中ニモ、相當額ノ計上ヲ致シマ  
シタ次第デアリマシテ、只今マデノ動力線  
ノ配置ノ狀況ハ、御指摘ノ如ク不満足ノ狀  
態ニアリマセウケレドモ、是等ハ選信省ノ  
要求致シマシタ經費ニ依リマシテ、至急適  
當ニ改善ヲ得ルコト存スルノデアリマス

○大本委員 宜シウゴザイマス  
○前田房委員 議事進行ニ關シテ——先  
刻近衛内閣總理大臣御出席ニ關スル富田書  
記官長ノ申出ガアリマシタ、近衛内閣總理大  
臣閣席中ハ、平沼内務大臣ガ代ツテ御答辯  
ニ當リタイト存ジマス、斯ウ云フ御答ヘガア  
ツクノデアリマス、併シナガラ臨時内閣總  
理大臣代理ヲ設置セザル限り、平沼内務大  
臣ガ代ツテ答辯スルコト云フコトデハ、法制  
上何等ノ意味ヲナサナイト思フノデアリマ  
ス、隨テ私共ノ希望ニ副ハザルモノアリト  
考ヘマスルカラ、此ノ點ニ於テ至急善

處セラルヤウ、委員長ヨリ政府ニ御申出  
アラシコトヲ要請致シテ置キマス  
○増田委員長 承知致シマシタ、此ノ程度  
デ休憩致シマシテ、午後一時カラ開會致シ  
マス  
午後一時十五分休憩  
午後一時十分開議

○増田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ  
マス——長野長廣君  
○長野(長)委員 政府ハ農地開發法案ヲ提  
出セラレテ、農地ノ開發ニ新シキ施策ヲセ  
ラルヤウデゴザイマス、之ニ付キマシテ  
現在地方ノ實情ヲ眺メテ見マス、殆ド各  
町村ニ荒蕪地ガナイモノハアリマセウ、詰  
り田畑ガ荒レマシテ、或ハ草ガ生エ、或ハ  
植林ヲスルコト云フヤウナモノ、甚ダシキハ  
一町村ニ或ハ四、五町歩、十町歩ト云フ風ニ  
存在シテ居ルコト云フコトハ、先般私共ガ覽  
覽會調査班トシテ全國ヲ調査シタ結論ニナ  
ツテ居ルノデアリマス、斯様ニ現在ノ熟田  
畑ガ努力其ノ他ノ不足、或ハ收支ノ償ハナ  
イ等ノ理由ニ依ツテ荒蕪シテ居ル、此ノ場  
合新タニ開發セラレルト云フコトハ、殆  
ド意味ヲナサスデハナイカト云フ風ニ考  
ラレルノデアリマスガ、農林大臣ハ如何ナ  
ル點ニ可能性ヲ認メテ之ヲ實行セントセラ  
レルノデアリマセウカ

○石黒國務大臣 御承知ノヤウニ只今付作  
ヲセラレズシテ、放置セラレテ居ルモノ  
アリマスコトハ事實デアリマス、之ニ關シ  
マシテハ、毎々申上ゲマスルヤウニ、政府  
ト致シマシテモ、色々施設ヲ講ジテ、其ノ  
付作ヲ致シヤウニ努力ヲ致シテ居ル譯デア  
リマスガ、尙ホ其ノ點ニ關シマシテ、政府

ノ施設ヲ以テ足レリトセズシテ、先般衆議  
院全體ノ御希望ト致シマシテ、部落總動員、  
指導網ノ完成ト云フヤウナ方面ニモ力ヲ入  
レルヤウニト云フ御要望ガアツクノデアリ  
マス、至極御尤ノコトト思ヒマスノデ、政  
府モ御協力ヲ得マシテ、此ノ方面モ施設ヲ  
進メテ參リ、此ノ目的ニモ十分ニ努力ヲシ  
テ貰ヒタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソ  
レ此レノ施設ヲ以テマシテ、荒蕪地付作ニ  
對シマシテハ、一段ノ努力ヲ致シタイト考  
ヘマス、而シテサウ云フ半面農地ノ開發ニ  
對シマシテ計畫ヲ立テテ進行スルコトト致  
シマシタ所以ハ、御承知ノ如ク農地開發ノ  
中ニハ一期五十町歩ノ開發ヲ考ヘテ居ル  
ノデアリマスガ、同時ニ二十數方町歩ノ水  
利ノ改良、土地ノ改良ヲ計畫ノ中ニ入レテ  
居リマス、差當リノ開發計畫トシマシテハ、  
其ノ後者ニ自ラ重キガ置カレマシテ、土地  
ノ改良、水利ノ改良ト云フコトニ依リマシ  
テ、増産ヲ致シテ行クコトニナル譯デアリ  
マシテ、是ガ寧ろ大キナ部分ヲ占メルノデ  
ハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、  
是ハ只今アリマスル既耕地ニ對シマシテ水  
利ノ便ヲ與ヘルノデアリマスカラ、耕作ノ  
上ニ於キマシテモ裨益スル所ガ多ク、荒蕪  
地等ノ生ズルノヲ開發ニ防退スル所以ニナ  
ラウカト思ヒマス

○長野(長)委員 只今ノ御答辯ニ依リマシ  
テ私ノ心配ノ大半ハ解決シタノデアリマス、  
水利其ノ他ノ改良ニ依ツテ荒蕪地ガ殖エナ  
イコトハ愚カ、却テ開發ノ可能性ヲ持ツト  
云フコトニ付テハ私モ贊成ヲスル所デアリ  
マス、併シナガラ茲ニ私ノ意見ヲ申上ゲテ  
御回答ヲ戴キタイト思ヒマスコトハ、其ノ  
荒蕪シテ居ル土地ハ何故ニ荒蕪シテ居ルノ

カ、之ヲ究メルコトガ必要デアアル、農林省  
ノ一政府委員ハ日本ノ現在ノ農村努力ハ十  
二分デアアル、從來ヨリモ却テ増加シテ居  
ル、斯ウ云フ御意見ヲ述ベテ居ラレヤウ  
デアリマスガ、之ニハ俄ニ贊成出来マセ  
ヌ、農村ニ於テハ努力ハ益、心配ヲシナケ  
レバナラス状態デアアルガ、農地ヲ新タニ開  
發スル上ニ於テ尙ホ考ヘネバナラスノハ、  
肥料及ビ耕作ニ直接必要ナル資材デアリマ  
ス、肥料ノ配給ノヤリ方ニ付テハ更ニ検討  
ヲ加ヘル必要ガアリハシナイカ、ソレ  
ハドウ云フ點カト云フト、日本ノ北ハ樺太  
カラ、南ハ臺灣ニ至ルマデノ土地ニ對スル  
肥料ノ割當ハ、從來ハ主トシテ田及ビ畑ノ  
面積ニ比例シテ居リマスガ、是ハ一考ヲ要  
スルノデハナイカ、北海道ノ如キハ年ニ一  
回シカ作ラナイ、然ルニ中部以南ニナリマ  
スト、稻ト麥ト年ニ二回作ル、又地方  
ニ依ツテハ稻ヲ年ニ二回作ル所モアリ、  
一層高度ニ利用スル所ニ於キマシテハ、野  
菜類ヲ作ルノデ、年五回作リマス、假ニ一  
町歩耕作スル農家ガアツテ、平均年三回作  
付ラスルトスレバ、作付延反別ハ三町歩ニ  
ナリマス、ソコデ肥料モ三回施サネバナラ  
ヌコトニナルノデアリマス、故ニ肥料其ノ  
他資材ノ配給ト云フコトハ、土地ノ面積積  
ニ依ツテ配給スルガ如キハ、洵ニ農業ノ實  
態ニ即セザルコト甚ダシイモノデアリマス、  
宜シク作付延反別ヲ基礎トシテ配給シナケ  
レバナラス、此ノ點ニ最モ重キヲ置ク必要  
ガアリハシナイカト思フ、サウスル中部  
以南ノ地方ニ多ク肥料ガ配給セラレテ荒蕪  
地ガ少クナルノデハナイカト考ヘルノデア  
リマス、從來私共ガ政府ニ要望シテ居ル點  
ニ對シテ、或ル程度マデ考慮ヲ拂ハレテ居

ルコト云フ御答ヘガアルカモ知レマセウガ、  
肥料ノ實情ヲ調べ見マス、甚ダ不徹底  
デアリマス、之ニ對シテ如何ナル御見解ヲ  
持ツテ居ラレマスカ

○石黒國務大臣 只今長野サンノ御答、  
肥料ノ配給ニ對シテ、反別ニ割當テヤル  
ト云フコトハイカス、作付回數モ地方ニ依  
リテ違フカラ、ソレ等十分ニ考慮シナケレ  
バナラスト云フコトデアリマスガ、大體ノ  
肥料配給ノ基準ハ、十三年度ノ地方々々ニ  
於ケル肥料消費ノ實績ヲ基礎ト致シマシテ  
後ニ土地ノ作付回數ガ餘計ニナツタト云フ  
地方デアリマスナラバ、ソレハ十分ニ其ノ  
點ヲ考慮致シマシテ、將來ハ増スヤウニシ  
ナケレバナラスト思ヒマスガ、其ノ時マデ  
二作ヤツテ居ツタトカ、或ハ三作ヤツ  
テ居ツタト云フヤウナ所ハ、既ニ其ノ實績  
ニ於テ大體現ハレテ居ルモノデアリマスガ  
ラ、ソレヲ基礎ト致シマシテ配給ノ率ヲ定メ  
テ居ルノデアリマシテ、甚シイ差支ヘハナ  
カラウカト考ヘテ居リマス、併シ御指摘ノ  
ヤウニ、斯ウ云フ事情デアリマスカラ、食  
糧農産物ノ生産ニ重キヲ置カレバナラ  
ヌト云フコトヲ考ヘマシテ、米麥ト云フモ  
ノニ肥料ノ配給ヲ餘計ニスル、又畑作物ニ  
於キマシテモ、甘蔗、馬鈴薯ニ重キヲ置ク  
ト云フヤウナコトニ依リマシテ、作物ノ重  
點主義デ配給ヲ致シテ居ル次第デゴザイマ  
ス、地方的ノ土地利用ノ回數ニ付キマシテ  
ハ十分ニ注意ヲ致シマシテ、只今マデモキ  
ツテ居ル積リデアリマスガ、ソレガ徹底シ  
テ居ラスト云フ實情ト云フ御指摘デアリ  
マスカラ、左様ナコトガアツテハ本意デハ  
アリマセウカラ、十分ニ徹底サセルヤウニ

注意ヲ致シマス  
○長野(長)委員 次ニ現在耕作シテ居リマ  
ス全國田畑ノ中デ、永小作關係ニアルモノ  
ガ相當多イノデアリマス、殊ニ地租法ノ中  
デ規定セラレテ居リマス、永小作權ニ付其  
ノ設定ノ當時舊來ノ慣行ニ依リテ小作料支  
拂ノ外當該田畑ノ地租ノ金額ヲ永小作權者ニ  
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ永小作權者ヲ所有  
者ト看做シテ前項ノ規定ヲ適用スト云フ規  
定ガアリマス、詰リ永小作權者ヲ以テ土地  
中ニ現在シテ居ルノデアリマス、而シテ是  
ハ民法施行法第四十七條第二項ニ於キマシ  
テ民法施行ノ日ヨリ五十年限リテ永小作權  
ヲ喪失シテシマフ、斯ウ云フ規定ニ屬スル  
永小作地デアアルノデアリマス、實業ヲ換  
テ申シマス、明治初年以前ニ於テ設定ヲ  
セラレタル所ノ永小作權地ノ中デ、最も深  
刻ナモノハ永小作人ガ税金ヲ拂ツテ居ルト  
云フガ如キ種類ノモノガ、コト五年ノ後ニ  
此ノ權利ヲ喪失スル、而モ其ノ面積ハ從來  
高知其ノ他、二縣デアルト云フコトデア  
リマシタケレドモ、幸ヒニ農林當局ガ私共  
ノ意見ヲ容レテ下ツテ御調査戴イタノデ、  
相當全國ノ廣クアルコトヲ知ツテ戴イタノ  
デアリマス、例ヘバ熊本縣ノ如キハ一町村  
殆ド全部ガ此ノ永小作地デアアル、南北十  
幅三哩ニ亘ル所ノ大面積ノ農村ノ殆ド大半  
ガ此ノ種類又ハ此ノ種類ニ極ク近イ所ノ永  
小作地デアアル、又富山縣ノ東西礪波郡ノ如  
キハ全面的ニ是デアアル、其ノ他全國約二十  
府縣ニ互ツテ散在ヲ致シテ居ルノデアリマ  
ス、農林當局ハ幸ヒニ昨年調査ヲシテ戴キ  
マシタガ、私ガ更ニ地方支縣當局ノ他當

事者等ノ意見ヲ聽キマシタ所ガ尙ホ漏レテ  
居ルモノモアル、ソコデ此ノ所有權ト同等  
ト認メラレヤウナ、而モ事實ニ於テハ其  
ノ土地ガ千圓スルナラバ九百圓或ハ八百圓  
ガ永小作人ノ持分ニ屬シテ居ルト云フモノ  
デアリマス、是ガ五年ノ後ニ權利ヲ失フト  
云フコトニナルノデアリマス、農林當局ハ  
相當御調査ヲ進メラレテ居ルヤウデアリマ  
スルガ、速カニ之ニ對シテ何等カノ救済方  
法ヲ執ラレ御意思ガアルカ、又更ニ一層  
深刻ナ御調査ヲサツテ、全國恐ラク二十  
万ニ近イ永小作人ヲ救済スル御意思ガアル  
カ、之ヲ一ツ承リタイ

○石黒國務大臣 民法施行法ノ規定ガ永小  
作權ノ權利ノ期限ノ點ニ於キマシテ、施行  
後五十年ノ後ニ、先ヅ地主ガ買取り、之ヲ  
買取ラザリシ場合ニ於テ小作人ガ買取ルベ  
シト云フヤウナ規定ニナツテ居ルコトハ當  
ヲ得テ居ラスモノデハナイカト云フ問題ニ  
關シマシテハ、永年小作調査會又當業議院等  
ニ於テ論議サレタ所デアリマシテ、何等カノ  
適當な方法ヲ執ラナケレバナラスト云フ風  
ニ考ヘテ居リマス、衆議院ノ御要望ニ依リ  
マシテ農林省ガ調査シテ居ルコトハ只今御  
指摘ノ通りデアリマス、マダ全部ノ調査ノ  
結果ヲ聽メテ居リマセウガ、調査ノ極クア  
ラマシノ點マシマシタ所ニ依リマスルト、  
從來想像致シテ居リマシタヨリモ、設定永  
小作權及ビ賃借永小作權ノ總計ノ面積ハ狹  
ク少クナツタヤウニ考ヘラレルノデアリマ  
ス、是ハ年來、小作爭議ノ調節、ソレニ自  
作農制定ノ施設ヲ運用ヲ致シマシテ、永小作  
權關係ノ解消ノ努力ヲ致シマシテ、アリマス、  
例ヘバ徳島縣ノ一部ノ如キ、比較的大面積ニ互  
和歌山縣ノ一部ノ如キ、比較的大面積ニ互



リマシテ所ヲ權利關係ノ整理ヲ致シマシテ、之ヲ解消シテ自作農ニ致シタト云フ團體大キイ所モアルノデアリマス、サウ云フコトノ結果トシテ少クハナツテ居リマスガ、併シテ居ル所モ相當多クデアリマス、之ニ對シマシテハ適當ナル解決ヲ期シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 尙ホ之ニ付テハ意見モアリマスケレドモ、時間ノ關係モアリマスシ、此ノ際ハ省略ヲ致シテ置キマスルガ、御調査漏レト云フモノガ相當アルヤウデアリマスカラ、更ニ一ツ御調査ヲ希望致ス次第デアリマス

次ニ國策會社ニ付デアリマスガ、農林省ハ今回又幾ツカノ國策會社ヲ計畫セラレテ居ルヤウデアリマス、先ツ承リタイノハ經理統制令等ニ依リマシテ會社ノ利益ハ八分乃至一割程度ト思フテ居リマスガ、假ニ手數料ガ八分以上ニナルヤウナコトニ相成ツ場合ハ、是ハ現在在地方で經營シテ居リマス所ノ木材業者、或ハ森林業者、製材業者等ハ殆ド死活ノ窮地ニ陥ルヤウニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ八分以上一割或ハ一割以上ト云フヤウナ手數料ハ、絕對ニ國策會社トシテハ取ツテハナラヌヤウニ思フノデアリマス、之ニ對スル農林大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○石黒國務大臣 木材統制會社ニ對シマシテハ、只今御承知ノ通り法案ノ委員會ニ於テ手數料ノ點等ニ對シマシテモ詳細ナル御檢討ヲ願フテ居ル次第デアリマス、農林當局ト致シマシテハ、ソレニ對シマシテ出來ル限り低率ノ手數料ニ止メルヤウニ指導監督シテ参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

デ此ノ問題ニ付テハ相當質疑ヲ重ネマシテ、本日農林大臣並ニ商工當局及ビ企業院總裁ノ御意見ノ程ヲ承リタイト思フテ御尋ネシテ居ル譯デゴザイマスガ、今回政府ノ計畫セラレタ日本木材統制株式會社、其ノ下ニ地方木材統制株式會社、其ノ下ニ林業組合、木材組合、製材業者等々ノ企業者、斯ウ云フ層ガアツテ、即チ林業者ノ上ニ三ツノ層ガゴザイマス、更ニ年々或ハ七、八百萬石輸出ヲ致シテ居リマスル輸出木材ニ關シマシテハ、商工省關係ニ於テ東亞木材貿易株式會社ト稱スルモノガアルノデアリマス、其ノ上ニヤハリ之ニ直接連絡シタル東亞輸出組合會社ト云フモノガ在ルノデアリマス、更ニ其ノ東亞木材貿易會社ヲ構成シテ居ル三十八ノ代行商社ガアルノデアリマス、斯ウナリマスルト森林業者、木材企業者、製材業者等ノ上ニ五ツノ階級ガアル、斯ウ云フ風ニ重疊重疊ヲ加ヘルコトニナツテ來ル、サウシテ其ノ取ル手數料ハドレダケカト申シマス、地方木材株式會社ガ四分乃至六分、日本木材統制株式會社ガ二分乃至五分、合セテ六分乃至八分取ルノデアリマス、尤モ日本木材統制株式會社ハ、或ハ賣買ニ參畫シナイカモ知レナイ、ケレドモ爲スコトヲ得ルコトニナツテ居ルカラ、是ハナハスモノト考ヘナケレバナラヌ、其ノ上ニ東亞輸出組合會社、即チ輸出木材ニ付キマシテハ五厘、ソレカラ東亞木材貿易株式會社ガ二分乃至五分、代行者三十八名ト云フ輸出賣買者ノ團體ガアリマシテ、是ノ手ヲ潜ル、サウスルト是ガ一分五厘乃至二分、併セテ商工省關係ノ會社ト三分五厘乃至六分取ルコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ純粹ノ手數料ダケデ農林省關係ノ會社ト商工省關係ノ會社ト合シテ一割四分トナツテ居ル、其ノ上ニ東亞貿易株式會社ヲ通ジテ輸出シマスル木材ノ貿易ニ關シテ留保金ト云フモノガ二割位取ラレルコトニナツテ居ル、サウスルト三割四分ト云フ手數料及ビ之ニ類スルモノガ中デ搾リ取ラレルコトニナル、只今農林大臣ハ私ノ質問ニ對シテ手數料ハ成ベク少クセバナラヌト云フ意味ニ御答ニナリマシタ、就テハ少クモ經理統制令ノ八分ノ四倍以上ニモ過ダス所ノ手數料ヲ取ツテ居ルト云フコトヲ御覽ニナリマスレバ、是ハ御驚キニナルコトデハナイカト思フノデアリマス、而モ是ハ農林大臣ト商工大臣トノ對立ト云フト語弊ガアルカモ知レヌガ、出來タ結果ハ一種ノ對立ニナツテ居ル、三割四分ト云フヤウナモノヲ御取リニナルト云フコトハ、是ハ下ハ林業者ヲ壓迫シ、一方又外地ノ需要者ヲ壓迫スル、而モ木材ハ公道定價ヲ付セント抑ヘテ居ル、ダカラ公道定價ヲ付セント抑ヘテ居ル、ナイ、サウスルト木材業者ハ斷ジテ之ヲ伐出スコトハ出來ナイ、而モ公用木材、軍需ニ必要ナルモノヲ含シテ居リマスガ、是等ノ供給ハ恐ラク杜絶スルト私ハ考ヘル、斯ウ云フ虞ガアリマス、農林大臣ハ御所管ノ株式會社ニ對シテモ少シ率ヲ下ゲルコトニ付テ誠意アル再檢討ヲナサレル御意思ハナイカ、同時ニ商工省ノ管轄ニ屬シ昨年十二月設立ヲ致シマシタ東亞木材貿易株式會社ナルモノヲ果シテ之ヲ其ノ儘ニ存續セシメテ宜イカドウカ、此ノ點ニ付テ御回答ヲ戴キタイト思ヒマス

統制ヲ強化シテ參ラウト致シマスル本旨ハ、軍用材、鑛山ニ要シマスル枕木材、又農業勞働者ノ住居ニ供シマスル建築用材ト云フヤウナ、時局下必須ノ木材供給ニ事缺カナイヤウニ致スコトヲ主眼ト致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ木材ノ生産者ニ對シマシテ其ノ保護育成ヲ農林省トシテハ本來ノ責務トシテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ害スルヤウナコトノナイヤウニ、而シテ現下ノ非常ニ緊急ナル需要ニ適應スルヤウナ伐採及ビ木材ノ配給ヲ致シテ行クヤウニ云フ考ヘデ居ルノデアリマス、此ノ兩者ヲ調節シテ統制ノ配給ノ目的ヲ達セル爲ニ拵ヘルノデアリマスカラ、此ノ會社ヲ拵ヘマシテ以上手數料等ニ關シマシテ出來ルダケ御指摘ノヤウナ弊害ノナイヤウニ云フコトヲ努メテ參ルコトハ當然ノ責務デアリマス、地方木材會社等ニ於キマスル手數料問題ニ對シマシテモ、其ノ方針ヲ以テ極力臨ミタイト考ヘテ居リマス、東亞木材貿易會社ト云フモノヲ經ルト云フコトニ只今致シテ居リマスガ、其ノ方面ノ手數料關係ト云フヤウナモノモ是ハ商工省ト十分協議ヲ致シマシテ、手數料ニ多クノモノヲ取ラレテ、其ノ爲ニ森林所有者、木材業者等ガ壓迫ヲセラレルヤウナコトノナイヤウニ出來ルダケ努メルノハ當然ナコトデゴザイマス、此ノ木材統制會社ガ出來マスルト、既ニアル機構ニ對シテ統制ノ目的ノ一番進シ組織ガ出來ルノデアリマスカラ、調和ハウント取ラナケレバナリマセヌガ、色々省ケル點モ出來テ參ルコトト考ヘテ居リマス、要ハ森林所有者及ビ木材關係業者ニ對シテ出來ルダケ負擔ヲ少カラシメテ、現下必需ノ木材ヲ滯リナク流レサセルト云フコトニ主眼

ヲ置キマシテ努メテ行カウト考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 農林省所管ノ點ニ付テハ満足ヲ致シマス、ドウゾ一ツ其ノ實ヲ舉ゲテ戴キタイト思ヒマスガ、凡ソ既出木材七百方石ガ三割四分ノ手數料及ビ手數料ニ類似スル形ニ依ツテ搾取サレルト云フコトハ、我が日本ノ林業界及ビ林業企業界ニ對スル實ニ理不盡ナ施策ナリト言ハナケレバナラヌト思ヒマス、就キマシテハ、商工當局並ニ企業院當局ニ於カレマシテモ、此ノ東亞木材貿易會社並ニ之ニ關聯スル農林省關係ノ系統會社ノ兩社ガ國民ニ向ツテ此ノ驚クベキ常識ヲ外レタ處置ヲ執ラレナイヤウニ一層深刻ナル御研究ヲ戴イテ適當ノ機會ニ是正方針ヲ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

尙ホ委員長ノ御許シヲ得マシテモウ一ツダケ御尋ネヲ申上ゲテ置キマス、是ハ商工省關係デゴザイマス、我が國ノ紙ハ一ツハ機械造キ、一ツハ手漉キ和紙ト云フ風ニナツテ居リマス、所ガ現在其ノ機械造キヲ政府ハ殆ド本位ト致シマシテ、凡ユル委員等其ノ他民間ノ代表者ヲ採ル政府機關ハ殆ド全部機械造キデアアル、サウシテ手漉キノ方ハ現在唯一ノ名ヲ舉ゲラレテ居ルダケデアリマス、隨テ其ノ結果現ラレテ居ル弊害ハ、彼ノ紙ノ原料デアアル、マニラ、麻ノ如キハ全然今日ハ手漉キ業者ニ行カナイデ、機械造キノミニ偏シテ居ルノデアリマス、又紙ノ價格ヲ付ケルニ致シマシテモ、全然和紙ハ賤付ケラレテ來タ、此ノ爲ニ或種和紙ハ製造ヲスルコトガ出來ナイヤウニ陥ツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ弊害ヲ是正シテ戴キタイト思フノデアリマス、

御意見ハ如何デアリマスカ、同時ニ最近新聞其ノ他子散見スル所ニ依リマスルト、全國ノ製紙業ヲ一元ノ統制ヲスルコト云フコトデゴザイマス、若シ假ニ此ノ一元ノ統制ヲシタトスルナラバ、全國一萬五千ニ垂ントスル手漉キ業者、而モ其ノ產額ハ八千萬圓、所ガ機械造キノ方ハ僅カニ三百、其ノ產額約一億四、五千萬圓ト相成ツテ居リマスガ、此ノ三百ノ資本製紙業者ニ依ツテ一萬五千ノ和紙製業者ヲ壓迫スル、茲ニ考ヘナケレバナラヌ、現在在軍ノ使ツテ居リマス或ル種ノ紙ハ、手漉キデナケレバ絕對ニ出來ナイモノデアリマス、殊ニ國民ノ日常生活ニ必要ナル紙ハ殆ド手漉キニ依ツテヤウテ居ル、障子紙、「タイプライター」用紙ト云フモノガソレデアリマス、故ニ此ノ和紙ヲ保護スルコト云フコトハ、國民ノ日常生活ヲ保護スルコトデアアル、同時ニ和紙トカ、書道紙、日本ノ文化ト云フモノハ此ノ日本獨特ノソレノ形式紙質ノ紙ヲ用ヒルコトニ依ツテ表現サレテ居ル、此ノ意味ニ於テ和紙ハ日本文化ノ或ル分野ヲ背負ウテ立ツテ居ルモノト云フモノモ差支ヘナイ、此ノ意味ニ於キマシテ唯無條件ニ和紙手漉業ヲ益シレ以上盛ニセヨト云フコトハ申上ゲタイケレドモ、是ハ他トノ調和ガアルカラソレハリ致シマシテ、少クモ現在ノ狀態ヨリ衰頹スルヤウナ政策ヲ執ラレルコトハ非常ニ誤リト思ヒマス、就キマシテハ此ノ機械造キノ販賣會社ト云フモノハ別々ニ關係ヲスル販賣會社ト云フモノハ別々ニ考ヘル必要ガアリハシナイカ、サウシテ中央ニ於テハ一元ノ統制ヲ爲スニ一種ノ協會ノヤウナモノヲ作ルノモ宜シウゴザイマセウ、斯クノ如ク致シマシテ、日本ノ

最モ今日愛撫シナケレバナラヌト思ハレル和紙ノ手漉キノ保護ニ力ヲ致サレル意味ニ於テ、和紙手漉キノ會社ヲ特ニ御考ヘニナルコトガ出來ルカ、此ノ點ニ付テ御回答ヲ得タイト思ヒマス

○梶原政府委員 御答ヘ致シマス、手漉キ和紙ノ特ツテ居リマスル特色ノ良イ特徴ノアリマスルコト御説ノ通りト思ヒマス、紙ノ全體トシテハ統制ガ漸次整備強化致シテ參ルノデアリマスガ、其ノ過程ニ於キマシテ從來ノ和紙ニ關係致シマスル各方面ニ相當ノ窮屈ノ度ガ増シテ參リマスルコトハ是ハ已ム得ナイコトト思フノデアリマス、唯現在在是等ノ配給方面ニ於テハ機械造キノ省ト致シマシテ考究致シテ居ルノデアリマスガ、機械造キト合セテ二ツニ致シマスルカ、或ハ兩者ヲ分ケテ二ツニ作ツテソレヲ一ツニ纏メルカト云フ風ナ點ニ付キマシテハ、現在在色々研究ヲ重ネテ居ル譯デアリマス、未ダ結論ヲ得テ居ラナイノデアリマス、唯サウ云フ統制機構ヲ整備致シマスル上ニ於テ、御説ノ如ク出來得ル限り手漉キ和紙等ノ持ツテ居リマスル良イ所ヲ損ハナイヤウニ出來得ル限り其ノ特質ヲ生カサユウニ努メタイト考ヘテ居リマス、尙ホ各種ノ專門委員等ニ機械造キ方面ト手漉キ方面トノ人選關係等ニ付テハ御話ガアリマシタガ、勿論商工省ト致シマシテモ不公正ニ扱ツテ居ル譯デハナイノデアリマス、ソレノ實際ニ應ジテ適正ニ選定ヲ致シテ審議ヲ進メテ居ル譯デアリマス、尙ホ今後トモサウ云フ點ニ付キマシテモ十分慎重ニ考慮ヲ加ヘテタイト考ヘテ居リマス

○増田委員長 青山憲三君  
○青山委員 私ハ目下重大化シテ居リマス

ル食糧問題ノ一部デアアル水産業ニ關係致シマシテ、三ノ御尋ネヲ致シタイノデアリマス、生産確保ノコトニ付キマシテハ、米麥等ノ農産食糧ノ増産ニ關シテ色々支出モアルヤウデアリマス、又現ニ昨日關係大臣ヨリ御聲明ニナリマシタ三千万圓ノ食糧増産ノ如キハ、私共モ非常ニ結構ナコトトシテ感謝致シテ居ルノデアリマス、唯水産食糧ノ確保、又其ノ増産ニ對シマシテハ、私共現在ノ所ニ於テ農林當局ガ如何ナル御用意ガアルカト云フコトヲ知ラナイノデアリマス、仍テ私ハ此ノ際大臣ヨリ是等ニ對スル御所信ヲ承リタイト思フノデアリマス

○石黒國務大臣 只今ノ青山サンノ御尋ネノヤウニ、水産物ハ農産物ニ次グ國民食糧トシテ非常ニ重要ナモノデアアルコトハ論ガナイノデアリマス、此ノ供給ヲ十分ニ致シテ參ルコト云フコトハ、特ニ我國ノ國柄カラ致シマシテ、外國ニ於ケル畜産物以上ニ、國民食糧トシテ重要ナ位置ヲ占メテ居ルハ考ヘルノデアリマス、然ル所最近ノ國情ハ御承知ノ通りノ非常時ニナリマシタ爲ニ、漁獲ニ要シマスル重油等ハ、昭和十二年ニ百デアツタモノガ、十五年ニハ八十四程度シカ漁業方面ニ供給シ得ナイト云フヤウナ状態ニナツテ居リマスルコトハ、洵ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、尙ホ其ノ他漁業資料ノ供給ニ關シマシテモ、當業者ト致シマシテハ多ク御不滿ナコトガアルト考ヘルノデアリマスガ、ソレ等ニ對シマシテ、農林當局トシテハ物數計畫ニ於テ出來ルダケノ供給ヲ圖ツテ居ル次第デアリマスガ、食糧問題ノ重要ト云フコトハ各方面

第一類第一號 豫算委員會議錄 第二十四回 昭和十六年二月二十日



ニ於テモ認メテ居ル次第アリマスルカ  
能フ限リノコトハ只今ヤツテ居リマス  
ドモ、今後ハ一層努力致シタト考ヘテ居  
リマス、其ノ他ノ施設ニ於テ、水産方面ノ増  
産ヲ致スト云フコトハ、漁獲ニ關シテハ只  
今申上ゲタヤウニ出漁ノ方法ガ必要資料  
限ラレテ居ル、ノミナラズ漁業者ノ出征、  
其ノ他漁船及ビ漁船員ノ徴用ト云フコトモ  
是ハ明確ニ申上ゲルコトハ出来ヌノデアリ  
マス、相嘗ニ上ツテ居リマス、廣  
ク出漁ヲ致シテ漁獲ノ生産ヲ上ゲルコトハ、  
此ノ際右様ノ事情ヲ困難デアルト考ヘルノ  
デアリマス、ソコデ成ベクヤウ云フ資料ヲ  
要セザル、又内水方面ノ水産増殖ト云フコ  
トニ向ツテ施設ヲ進メテ居ルノデアリマス  
ガ、決シテ御満足ヲ願フ譯ニハ行カスト考  
ヘテ居リマス、當局ト致シマシテモ満足  
シテ居ル譯デハナイノデアリマス、資料ヲ  
要セザル方面及ビ方法ニ依リマシテ、水産  
食料品ノ増加ヲ是非進メテ参リタト云フ  
コトニ、將來一層ノ努力ヲ致シタト考ヘ  
テ居リマス

○青山委員 只今大臣ノ御答ヘデゴザイマ  
スルガ、我が國ノ食糧問題ヲ解決スル場合  
ニ於テ、水産ヲ忘レテハナラヌト私ハ思フ  
ノデアリマス、只今資料ノ關係ニ付テ御  
話デゴザイマシタガ、生産ノ維持、又増  
産ニ付テ資料ノ供給、配給ニ萬全ノ處置ガ  
ナケレバナラヌコトハ申スマデモナイノ  
デアリマス、只今大臣モ仰セノ如ク、漁業  
資料ハ輸入ニ依ツモノガ非常ニ多イノ  
デアリマス、當業者モ出来ルダケノ我慢ハシ  
テ居ルノデアリマス、今日デハ  
殆ド漁業ノ全能力ヲ擧ゲルコトニ對シマシ  
テハ、非常ニ遺憾ガアルノデアリマス、

○石黒國務大臣 海洋國家ノ日本ト致シマ  
シテ水産ニ重キヲ置クト云フコトハ、私ハ  
誰人ニモ負ケナイ信念ヲ持ツテ之ニ重キヲ  
置イテ居リマス、率直簡明ニ一言ヲ以テ御  
答辯ヲ申上ゲマス、然ルニ私ハ水産漁業ニ  
對シマシテハ從來行政上ノ經驗ヲ持ツテ居  
ルコトガナイデハナイノデアリマス、ケレド  
モ、極メテ古クアリマシテ、又薄イノデア  
リマス、デ此ノ衝ニ當リマスノニハ此ノ點  
私ハ資格ガ缺ケテ居ルト考ヘタノデアリマ  
ス、其ノ爲ニ之ヲ補フノニハ多年其ノ方面  
ノ行政ノ經驗モアリ、又斯業ノ實際ニモ當  
ツテ實ヒマシタ井野君ヲ、刺キ難イ所ヲ割  
イテ實ヒマシテ次官ニシテ實ヒマシタ、之  
ニ依リマシテ將來十分ニ計畫ヲ立テ、海洋  
國家デアアル所ノ日本ノ將來ノ漁業水産政策  
ヲ確立致シテ参リタト云フ考ヘヲ持ツテ  
居リマス

○中島國務大臣 中島彌圓次君  
軍部當局ニ對シテ、本追加豫算及ビ是ト同  
時ニ提出サレマシタ豫算外國庫ノ負擔トナ  
ルベキ契約ノ件ニ關シマシテ、主ナルモノ  
ニ付テ質問ヲ致シマス、御承知ノ通りニ  
六年度ノ一般會計ハ六十八億六千三百万圓  
デアリマシテ、之ニ對スル臨時軍事費ハ別  
ト致シマシテ、豫算外國庫ノ負擔トナルベ  
キ契約ノ件ハ十億五千万圓、一般會計ヲ合  
マシテ九億五千万圓位シカナイノデアリマ  
ス、本追加豫算ニ於キマシテハ、機械的ニ  
之ヲ集メテ見マシテモ、豫算外契約ト云フ  
モノガ一般會計ニ於テ十七億七千万圓程  
ナリマシテ、特別會計ハ十五億八千万圓  
ナリマシテ、合計致シマシテ三十三億五千  
一百万圓餘ニナリマスガ、是ハ大體ノ數字  
デアリマスガ、兎ニ角ニモ三十億ニ餘ツタ

○青山委員 洵ニ大臣ノ率直ナル御言葉ヲ  
拜承致シマシテ、私共快ク感スルノデアリ  
マス、私ノ以上御質問申上ゲマスルノモ、  
是非一ツ此ノ水産ト云フモノヲ御忘レノ  
イヤウニ引立テテ載キタイト云フコトニ盡  
キテ居ルノデアリマス、私ハ洵ニ申スモ  
長多イコトデゴザイマスガ、本年ノ御勸  
「漁村」ト云フ問題ヲ御選定ニ相成リマシタ  
トハ、吾々津々浦々ニ居ル漁民ニ對シテ非  
常ニ大御心ノ程ヲ垂レサセ給ウタコトニ對  
シマシテ、全國數百万人ノ漁業者ハ非常ニ  
喜ビト非常ニ覺悟ヲ以テ其ノ業ニ勵ンデ  
居ルノデアリマス、故ニ此ノ憐レナ漁業  
者ニ對シテハ、大臣初メ當局ニ於カセラレテ  
一入ノ御同情ト御理解ヲ御持チニナラン  
トヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ハ是レ終  
リマス

○石黒國務大臣 青山君ノ資料ニ關シマ  
スル御要望、洵ニ私共モ漁業家ノ實情ハ其  
ノ通り存ジマス、此ノ上トモ十分  
ノ努力ヲ致シマシテ、少シデモ資料ノ配給  
ヲ宜ク致スコトニ極力努メマス

○中島國務大臣 中上ガルマデモナク、豫  
算外契約ハ果シテ國ガ發出トスルヤ否ヤ  
極メテ未定ナリ、ナノデアリマス、今中島  
君ガ指摘セラレマシタ通り、本年ノヤウナ  
場合ハ其ノ未定ノ性質ヲ有スル所ノモノガ  
非常ニ多イノデアリマス、之ヲ發出トシテ  
計上スルニハ至ラナイガ、國ガ損失ヲ補償  
スルトカ云フヤウナモノハ、ドウモ豫算外  
契約ニ依ツテ其ノ債務ヲ負擔スル外ニハ途  
ガナイノデアリマス、サウ云フ意味デ今年  
ハ第一段ニ仰セノ通り非常ニ多クナツテ居  
リマスガ、之ヲ假ニ後段御話ニナリマシタ  
ヤウニ、實際國ガ支拂ハナケレバナラヌモ  
ハ豫算外契約ニ依リナイ譯ニハ参リマセ  
ヌノデ、隨テ公債ノ増減トハ影響ナイモノ  
ト御承知ナリマス

○青山委員 只今大臣ノ御所見ハ承リマシ  
タガ、私共平素感シマスルコトヲ率直ニ申  
上ゲマスルト、政府ノ水産ニ對スル施設方  
策ニハ根本ガ決マツテ居ラスヤウニ思フ  
ノデアリマス、斯ク申上ゲマスルノモ、先  
般農林行政機構ノ改革ヲ斷行セラレマシタ  
戰時食糧確保ノ重要性カラ、食糧行政ヲ一  
元化セラレタノデアリマス、是ハ當然ノコ  
トト思ヒマスルガ、此ノ問題ノ爲ニ水産局  
ガ今日多少縮小セラレタノデハナカラウカ  
ト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ナゼナラ  
バ水産局ノ從來ノ機能ト云フモノガ食糧局  
ノ方ト分散ヲ致シマシテ、斯様ナ風デ私ハ  
海洋國家デアアル所ノ我が國ノ水産政策ノ確  
固タル御方針ガ立ツカドウカト云フコトヲ  
深ク憂ヘル者デゴザイマス

ナル地位ヲ占メテ居ルコトハ明白デアリマ  
スガ、其ノ水産政策ノ基礎ヲ確立スル  
所ノ用意ヲ見出し得ナイノデアリマス、是  
是ハ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、是等  
ノ點ニ對シテ御所見モ承リタイト思フノ  
デアリマス、農林水産ノ新體制ノ一覽デア  
ル所ノ農林水産團體ノ統合ニ致シマシテモ、  
水産團體ノ獨自性が甚ダ至メラレテ居ルヤ  
ウニ考ヘルノデアリマス、政府ノ此ノ方  
面ニ對スル理解ト同情ヲ缺除シテ居ルコト  
ノ感ヲ深クアルデアリマス、要スルニ政  
府ハ高度國防國家建設上、海洋國家デア  
ル我が國ノ水産業ノ現在及ビ將來ニ對シテ如  
何ナル政策ヲ有シテ居ラレルノデアリカ、  
明カニスルコトガ出来ヌモノデアリマセウ  
カ、私ハ是等ノ點ニ對シテ大臣カラ率直簡明  
ナル御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○河田國務大臣 中上ガルマデモナク、豫  
算外契約ハ果シテ國ガ發出トスルヤ否ヤ  
極メテ未定ナリ、ナノデアリマス、今中島  
君ガ指摘セラレマシタ通り、本年ノヤウナ  
場合ハ其ノ未定ノ性質ヲ有スル所ノモノガ  
非常ニ多イノデアリマス、之ヲ發出トシテ  
計上スルニハ至ラナイガ、國ガ損失ヲ補償  
スルトカ云フヤウナモノハ、ドウモ豫算外  
契約ニ依ツテ其ノ債務ヲ負擔スル外ニハ途  
ガナイノデアリマス、サウ云フ意味デ今年  
ハ第一段ニ仰セノ通り非常ニ多クナツテ居  
リマスガ、之ヲ假ニ後段御話ニナリマシタ  
ヤウニ、實際國ガ支拂ハナケレバナラヌモ  
ハ豫算外契約ニ依リナイ譯ニハ参リマセ  
ヌノデ、隨テ公債ノ増減トハ影響ナイモノ  
ト御承知ナリマス

○中島國務大臣 中上ガルマデモナク、豫  
算外契約ハ果シテ國ガ發出トスルヤ否ヤ  
極メテ未定ナリ、ナノデアリマス、今中島  
君ガ指摘セラレマシタ通り、本年ノヤウナ  
場合ハ其ノ未定ノ性質ヲ有スル所ノモノガ  
非常ニ多イノデアリマス、之ヲ發出トシテ  
計上スルニハ至ラナイガ、國ガ損失ヲ補償  
スルトカ云フヤウナモノハ、ドウモ豫算外  
契約ニ依ツテ其ノ債務ヲ負擔スル外ニハ途  
ガナイノデアリマス、サウ云フ意味デ今年  
ハ第一段ニ仰セノ通り非常ニ多クナツテ居  
リマスガ、之ヲ假ニ後段御話ニナリマシタ  
ヤウニ、實際國ガ支拂ハナケレバナラヌモ  
ハ豫算外契約ニ依リナイ譯ニハ参リマセ  
ヌノデ、隨テ公債ノ増減トハ影響ナイモノ  
ト御承知ナリマス

○中島國務大臣 中上ガルマデモナク、豫  
算外契約ハ果シテ國ガ發出トスルヤ否ヤ  
極メテ未定ナリ、ナノデアリマス、今中島  
君ガ指摘セラレマシタ通り、本年ノヤウナ  
場合ハ其ノ未定ノ性質ヲ有スル所ノモノガ  
非常ニ多イノデアリマス、之ヲ發出トシテ  
計上スルニハ至ラナイガ、國ガ損失ヲ補償  
スルトカ云フヤウナモノハ、ドウモ豫算外  
契約ニ依ツテ其ノ債務ヲ負擔スル外ニハ途  
ガナイノデアリマス、サウ云フ意味デ今年  
ハ第一段ニ仰セノ通り非常ニ多クナツテ居  
リマスガ、之ヲ假ニ後段御話ニナリマシタ  
ヤウニ、實際國ガ支拂ハナケレバナラヌモ  
ハ豫算外契約ニ依リナイ譯ニハ参リマセ  
ヌノデ、隨テ公債ノ増減トハ影響ナイモノ  
ト御承知ナリマス



第一類第一號 豫算委員會議錄 第二十二回  
 昭和三十六年二月二十日

シ今日此ノ通過セル時局ニ對處スル上ニ於  
 キマシテハ、豫備金(豫算外國庫)ノ負擔ニ  
 ナルベキモノデモ入レテ置イタラ、ドウデ  
 アリマセウカ、此ノ點ニ付テハドウ御考ヘ  
 デアリマスカ

○河田國務大臣 豫備金ヲ以テ支辨スルモ  
 ノハ當初カラ全然分ツテ居ラナイ、豫算外  
 國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル  
 件ハ、事柄ハ明瞭ニ分ツテ居リマス、唯是  
 ガ從來ノ例ニ依リマシテモ、ドノ程度ノ負  
 擔ニナルコト云フコトハ分リマセズ、未必デ  
 アリマス、各ノ性質ガ違フノデアリマシ  
 テ、豫算外ノ負擔トナルベキ契約ノ件ヲ豫  
 備金ノ程度ニシテ置クコトハ出來難イ、又  
 今御示シナリマシタ通り、第二豫備金ヲ  
 増額スルコトハ、全然サウ云フ想像シナイ  
 事實ガ起ツタ場合ニハ之ヲ適用出來ルノデ  
 アリマスガ、豫算外契約ノ件ニ當ルモノハ  
 全然未必ノモノニハ適用出來ナイ、各、其ノ  
 性質ヲ異ニスルノデアリマスカ、一方ヲ  
 以テ一方ヲ掩フコトハ出來ナイコト  
 ガト思ツテ居リマス

○中島(彌)委員 豫備金ノ中ニモ特殊豫備  
 金ト云ウテ、滿洲事件ノ時ニ作ツタノデ、  
 豫想ガ出來ル豫備金モアリマス、日露戰爭  
 ノ豫算デアツタカ、其ノ他ニモ特殊豫備金  
 トシテ、一定ノ事項ヲ想像シテ置イテ豫備  
 金ヲ作ツタコトモアルノデ、是ハヤルコト  
 ガ出來ルト思フガ、如何デスカ

○河田國務大臣 中島サンノ今ノ御質問ノ  
 臨時事件豫備金ヲ以テシナイコト云フコト  
 ハ、具體的ニ申スト私モサウ思ヒマス、ソ  
 レハ一ツノ考ヘ方ダト思ヒマス、率直ニ申  
 上ゲマス、今回ノ追加豫算ニ於テ一億數  
 千万圓ノ第二豫備金ノ増額ハ、私ハ考ヘノ

過程トシテハ、全部デハアリマセウガ、  
 一部ハ臨時事件豫備費トシテ計上スベキガ  
 至當デナイカトモ考ヘタコトモゴザイ  
 マス、併シナガラ從來ノ例ニ依リマス、  
 純然タル法理論ヲ致シマス、憲法ノ會計  
 ノ章ニ、豫備費ヲ設ケルト云フコトガアリ  
 マシテ、臨時事件豫備費ト云フモノハ元々  
 第二豫備金ニ準ズベキモノデ、慣例上發生  
 シテ來タモノト見ナケレバナラヌト思ヒマ  
 ス、而シテ臨時事件豫備費トシテ掲ゲタ以  
 上ハ、臨時事件ニ何等關係ノナイ所ノモノ  
 ニハ之ヲ支出スルコトガ出來ナイ、往々ニ  
 シテ臨時事件ニ關係ナイコトガ突發シナイ  
 トモ限ラナイデアリマスガ、便乘シテ  
 臨時事件豫備費トシテ出スコトハ、是ハ而  
 白クナイ、臨時事件豫備費ヲ補充スル件ニ  
 第二豫備金カラ支出シタト云フ例モアリマ  
 ス、ソコニ混淆ヲ生ジタ例モアリマス、而  
 シテ第二豫備金ト致シマシテハ、其ノ突發  
 シタル事件ハ、臨時事件ニ關係アルナシニ  
 拘ラズ、兩方ニ適用出來マスノデ、臨時事  
 件ニ關係スルコトヲ第二豫備金カラ支出ス  
 ルコトモ出來ルノデアリマスカ、ヤハリ  
 經メテ第二豫備金トシテ掲ゲテ置ク方ガ、  
 此ノ場合適當デアルカト考ヘ直シマシテ、今  
 回ハ臨時事件豫備金ノ目ヲ置カナカツタノ  
 デアリマス、併シナガラ事變發展ノ途上ニ  
 於キマシテ、ドウ云フ風ナ臨時事件豫備費  
 ヲ設ケタ方ガ至當デアル事態ガ起ラナイト  
 モ限リマセウ

○中島(彌)委員 此ノ點モ突達ミタイガ、  
 時間ノ關係上詳シク突達ミマセズ、ソレカラ  
 外國爲替損失補償金五億デアリマスガ、此  
 ノ五億ノ算出ノ根據如何、又其ノ五億ヲ  
 ウ云フ場合ニ使フノデアリマスカ、サウシ

テ輸出損失補償金ノ四億ト、モウ一ツ戰時  
 保險ノ方ノ三千万圓デアリマシタカ、此ノ  
 三ツノ適用ニ付テハダブツテ居ル點モアラ  
 ウト思ヒマスガ、ドウ云フ場合ニ此ノ外國爲  
 替損失補償金ヲ使ヒ、ドウ云フコトガ算出  
 ノ根據ニナツテ五億ノ彈出シタノデア  
 ルカ、輸出損失補償金ノ四億ハ何ヲ基礎トシテ  
 作ツタノデアルカ、サウシテ此ノ二ツノ場  
 合ハドウ云フ場合ニ使ヒ分ケテ行クノデア  
 リマスカ、其ノ點伺ヒマス

○河田國務大臣 外國爲替損失補償、輸出  
 損失補償ト、ソレカラ戰時保險ト、各、分野  
 ガ違ツテ居リマス、又補償ノ程度ガ違ヒ、  
 補償セラルル相手モ違フコトモ、併シ  
 今ノ三者ト云フモノハ極メテ密接ナル關係  
 ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、而シテ五億、  
 四億ト見込ミマシタノハ、洵ニ條件ガ密接  
 ナノデ、定メニクイノデアリマス、其ノ根  
 據等ニ付テハ私ガ申上ゲルヨリモ、政府委  
 員ヨリ御答ヘテ方ガ宜イト思ヒマスカ、  
 政府委員ヨリ御答ヘ致セマス

○原口政府委員 外國爲替損失補償金ハ、  
 大體申上ゲマシテ二ツノ目的ヲ持ツテ居  
 マス、一ツハ御指摘ニナリマシタヤウニ、  
 輸出補償ノ制度、其ノ他同様ノ目的ヲ持ツ  
 テ居リマス戰時保險、斯ウ云フモノノ補完  
 ノ作用ヲ目的ニシテ居リマス、他、一ツハ  
 外國爲替損失補償金ニ獨自ノ分野ヲ持ツテ  
 居リマス、輸出補償法ノ問題ニ付キマシテ  
 ハ、商工省ノ政府委員カラ申上ゲルコトニ  
 致シマシテ、唯輸出補償法ノ方ハ輸出手形  
 ヲ銀行ガ買取リマシテカラ、手形ガ落ちマ  
 スマデノ様々ノ事項カラ生ズル危險ヲ政府  
 ニ於テ一部負擔スル、斯ウ云フ仕組ニナツ  
 テ居リマス、然ルニ此ノ輸出貿易ヲ振興致

シマス爲ニハ、唯其ノ期間内ノ危險ヲ負擔  
 スル制度ノミデハ不十分ナノデアリマシテ、  
 銀行ガ手形ヲ買取リマス前ニ、ヤハリ爲替  
 上ノ取引ガ起ツテ參リマス、尙ホ又手形ガ  
 落ちマシタ後デモ、銀行ト致シマシテハ、  
 外貨資金其ノ他ノ關係ニ於テ、今日ノ國際  
 情勢ニ於キマシテハ、多分ノ危險ガゴザ  
 マス、ソレ等ノモノヲ補完的ニ危險ヲ「カ  
 パ」スル、斯ウ云フ意味ガ外國爲替損失  
 補償金ノ一ツノ目的デアリマス、ソレカラ  
 モウ一ツノ獨自ノ分野ト申シマスノハ、爲  
 替ノ損失補償ノ方ハ全ク貿易ニ關係ナク生  
 ズル場合ガ多クゴザイマス、本邦側ノ外貨  
 資産、外貨債券、斯ウ云フモノニ付キマシ  
 テ今日ノ前途不安ナル國際情勢ノ下ニ於キ  
 マシテ、色々ノ危險ガ豫想サレマスノデ、  
 ソレ等ヲ「カバ」ル、斯ウ云フ意味合ヲ  
 持ツテ居リマス

ソレカラ五億圓ノ算出ノ基礎ニ付テ御尋  
 ネガアリマシタガ、實ハドウ云フ危險ガ、  
 ドウ云フ種類、ドウ云フ事態ニ於テ生ズル  
 カト云フコトニ付キマシテ、中々豫測ノ致  
 シ難ナル事項モ多クゴザイマス、大體私共  
 想像シテ居リマスノハ、只今申上ゲマシタ  
 ヤウニ、爲替ノ豫約取極メカラ生ジマス相  
 場ノ變動、又銀行等ガ持ツテ居リマス海  
 外ノ財産、外貨債券、外貨資金、斯ウ云フ  
 モノニ依ツテ生ズル損失ト云フヤウナ、大  
 キナ項目ニ付キマシテ、從來ノ實績カラ計  
 算致シマシテ、サウシテ今後ノ見透シヲ付  
 ケマシテ、大體五億程度ノモノデ十分デア  
 ル、斯様ニ存ジマシテ立案致シタ次第デア  
 リマス

○中島(彌)委員 原口爲替局長ノ御答辯ニ  
 依ツテ大體分リマシタガ、サウスルト斯ウ

云フ場合ハ適用ガアリマスカ、今ノ輸出制  
 度ノ方ハ、爲替ノ豫約ヲシテ品物ヲ送ツテ  
 銀行ガ爲替ヲ持ツタ、ソレカラ後ニ買フベ  
 キ人ガ英領デアツタナラバ「ドイ」人ニ攻  
 メラレテ、ソコデモウコツチノ品物ガ送レ  
 ナクナツテシマツタト云フ場合ニ、今度銀  
 行ガ持チニナル、サウスルト其ノ持チニナ  
 ツタ銀行ガ救済シテヤル、斯ウ見テ宜イノ  
 デスカ

○原口政府委員 御言葉ノ通りト存ジテ居  
 リマス

○中島(彌)委員 ソレガ澤山ニ殺到シテ來  
 タ場合——爲替銀行ヘサウ云フ手形ガ集中  
 サレテ來タ時ニハ、此ノ五億圓デ足リマスノ  
 カ、貿易ガ非常ニ危險デ「シンガポール」ノ  
 水雷敷設デアルトカ、「アメリカ」ノ立入禁  
 止デアルトカ、色々ナ大キナ問題ガ起ツテ  
 來テ居ル、此ノ第三國貿易ガ十六億ガ二十  
 何億カアル、其ノ間ニ於ケルモノガ非常ナ  
 危險ニ曝サレテ來テ、銀行ガ御持チニナツ  
 ト云フ場合ニ、此ノ五億圓デ足リマスカ

○原口政府委員 今日見透シ得ル範圍ニ於  
 キマシテ、又見透シ得ル限度ニ於キマシテ、  
 過去ノ實績カラ大體算定致シマシテ五億圓程  
 度十分デアアル、斯ウ思ツテ居リマス

○中島(彌)委員 ソレカラ南洋ヤ「アメリ  
 カ」邊リニ同胞ガ仕事ヲシテ居ル、ソレニ  
 引揚ゲテ來イト引揚命令ヲ出セバ、其ノ人  
 達ハ持ツテ居ル財産ヲ「ドン」安ク賣ツテ  
 來ナケレバナラナイ、ソナ場合ニ於ケル  
 損失モ見テアリマスカ

○原口政府委員 御言葉ノ場合モ本法ノ海  
 外財産ノ處分ト云フコトニナリマスカ、  
 此ノ制度ニ依ツテ補償シ得ル場合ガアリ得  
 ルト豫想シテ居リマス

○中島(彌)委員 ソレカラ輸出補償金ノ方  
 ハ四億圓ニナツテ居ル、「アメリカ」ニ對ス  
 ル問題ガ起ツテ來タ時ニ、米國ノ生絲ノ手  
 形ナドガ或ハ最後ニ於テハ救済シテヤラ  
 ナケレバナラヌヤウニナルカモ知レズ、斯ウ  
 ナツテ來ルト迎モ四億ノ輸出補償金デハ足  
 ラナイト思フ、斯ウ云フ場合ニモ輸出補償  
 制度ガ補充作用トシテ適用サレマスカ、米  
 國ノ生絲ノ問題モ是デ見テ居リマスカ

○石黒政府委員 吾々ト致シマシテハ生絲  
 ノ輸出ニ付キマシテモ、今回ハ輸出補償ノ  
 適用ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ只  
 今此ノ金額十分カト云フ御質問デゴザイ  
 マスガ、吾々ト致シマシテハ、大體之ニ依  
 ツテ「カバ」ル得ルト考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 ソレカラ輸入ノ前貨  
 「ニューヨーク」「ロンドン」等ニ於ケル日本  
 ノ諸銀行ノ支店ガ輸入ノ前貨金ヲ輸入業者  
 ニシテ居ル、其ノ場合ニ於キマシテ、荷物  
 ガ日本人ノ手ニ入ラナカッタリ、或ハ「エン  
 パー」サレタリ、封鎖サレタリシ場合  
 モ、ヤハリ之ヲ救済シテヤリマスカ

○原口政府委員 昨今ニ於キマシテハ、御  
 話ノヤウニ輸入ノ場合ノ前貨ノ實例ガボツ  
 ボツアリマス、左様ナ場合ニ於キマシテハ、  
 ヤハリ爲替ノ問題ガ生ジテ參リマスカ、  
 多クノ場合此ノ制度ニ依ツテ危險ヲ「カバ」  
 シ得ル、斯ウ思ツテ居リマス

○中島(彌)委員 ソレカラ「ドイ」ガ英國  
 ニ敵前上陸シテ、英國ガ没落ヲシ「ポンド」  
 全體ガ暴落スルヤウナ場合モ「ポンド」爲替  
 ニ對シテ救済シ得マスカ、又此ノ中ニ見テ  
 アリマスカ

○原口政府委員 「ポンド」爲替ノ前途ニ對  
 スル危險ヲ補償スルト云フコトモ、此ノ制

度ノ主ナル目的ノ一ツニナツテ居リマス

○中島(彌)委員 ソレカラ米國ノ資金凍結  
 令ト云フモノガ出テ居ルノデアリマシテ、  
 「ヨーロッパ」十箇國ガ此ノ中ニ入ツテ居ル  
 ノデアリマスガ、日本ガ何時入レラレルカ  
 ノデアラシクモアルノデアリマス、南米其ノ  
 他トノ貿易ハ米國ニ依ツテ決済スルコトニ  
 ナツテ居リマスガ、凍結令ガ突然ニ發動サ  
 レタ場合ニ於キマシテモ、相當日本ノ貿易  
 ハ打擊ヲ受ケルデアラウト考ヘマスガ、此  
 ノ場合ニ於テモ此ノ制度ニ依ツテ救済サレ  
 マスカ

○原口政府委員 米國ノ資金凍結令ニ付キ  
 マシテハ、マダ政府ト致シマシテ何等確實  
 ナ情報ヲ得テ居リマセズ、隨ヒマシテ何時  
 出マスカ、或ハ如何ナル形ニ於テ發動サレ  
 ルカト云フコトハ全然豫想ガ付キ難ナマス  
 ガ、昨今ヤウナ國際情勢ノ下ニ於キマシ  
 テハ、前途ニ色々ノ變化ガ豫想致サレマス  
 ノデ、御話ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、  
 或ル場合ニ於テハ本制度ノ活用ニ依リマシ  
 テ——尙ホ本制度デ不十分ナ場合ニハ、今  
 日出來ルダケノ措置ハ既ニ講ジテ居ル積リ  
 デアリマス

○中島(彌)委員 今マデ申上ゲマシタ點ニ  
 付テハ、非常ニ是ハ大キナ金ガ要ルヤウニ  
 思フノデス、若シ日米戰爭ガ開カレトス  
 レバ、五億デ足リルデセウカ、ソレカラモ  
 ウ一ツハ、是ハ豫算外國庫ノ負擔トナルベ  
 キ契約ノ件トナツテ居リマスガ、是ハヤハ  
 リ豫備費ニデモ見積ツテ置カナケレバ、斯  
 ウ云フ事態ガ來タラ直ダ金ヲ右カラ左ニ出  
 シテヤラナケレバナラヌ、併シ豫算外國庫  
 ノ負擔ノ時ニハ、豫算ヲ組ンデ十七年度ニ  
 拂ツテヤラナケレバイカヌガ、其ノ間ニ貿

易上ニ於テ非常ニ大キナ支障ガ來ハセヌデ  
 セウカ、又銀行中營業者ガ困リハセヌデセ  
 ウカ、斯ウ云フ點カラ考ヘルト、是モ特殊  
 ノ豫備金デモ作ツテ入レテ置イタ方ガ貿易  
 ガ進展シ、安心シテ此ノ非常時局ヲ乘切リ  
 得ルノデアリマセウデセウカ

○河田國務大臣 ソレガ非常ニ必須ノ條件  
 ナルガ故ニ豫算外國庫ノ負擔トナル契約ノ  
 途ヲヤリタイト思ツテ居ルノデス、一例ヲ  
 申セバ、先刻政府委員トノ御問答ヲ聽イテ  
 居リマス、ト「ポンド」爲替ヲ銀行ガ買フノヲ  
 豫約シタ場合ニ、ソレガ皆全部「キャンセ  
 ル」シテシマハナケレバナラヌヤウナ場合  
 例ヘバ「シンガポール」ナリ、南阿ナリニ地  
 モ危險デ行ケナイト云フコトガ見エテ居ル  
 時ニハ、ソレニ「ドン」ノ輸出ハシナイデセ  
 ウ、中島サンノ御説ハ通常ノ場合バツト來  
 タラ足リナイ、ズツト輸出シテ置イテ五  
 億、十億ニナツタ時ニ、ソレガ直ダ來ルト  
 云フコトニナレバ、相當ノ損失ガ起ルカモ  
 知レマセウガ、サウ云フコトハ——サウ云  
 フ意味ニ取レタノデスガ、サウ云フ意味デ  
 ハナカツタデセウカ、中島サンガ言ハレタ  
 ヤウニ、輸出爲替ノ豫約ヲシテ置イテ、今  
 度バツト一遍ニ飛ンデシマツタナラバ非常  
 ニ損失モ大キナルデセウケドモ、サウ  
 云フ形勢ニナツテ來レバ輸出ガ自ラ減ツテ  
 來ル、ソコニ色々輸出ノ轉換ガアリマス、  
 ソレレヲ考ヘテ行ケバ、ソレハ敢テ十億、  
 二十億——百億モナケレバ「カヴァ」スル  
 コトハ出來ナイデアリマセウガ、サウドウ  
 モ豫想ノ付カヌ所マデト云フコトハ、私ハ  
 必要ハナイダラウト思フ、五億デハ悉クノ  
 損失ノ「ケース」ヲ集メテ見レバ足リナイト



云フ御説アレバ、足りナイカモ知レマセスガ、サウナルマデハ自ラ徑路ガアラウト思フノト、又之ヲ豫備費ノ方ニ設ケルト云フコトニナルト、十億、二十億ト云フモノヲ更ニ計上シナケレバナラヌコトニナル、而モ此ノ見透シノ付キ難イ問題ニ付テ豫算ガ非常ニ難ク云フコトハ、必要ノナイコトデハナイカ、唯併シサウ云フ場合ニ實際政府ガ豫算ヲ多ク取ラナケレバ支拂ハ出来マセスガ、是ハ何モ十七年度ヲ待ツ必要ハナイノデアリマス、或ハ本年度内ニ是非必要デアルト云フコトデアラナラバ、本年度ニ追加豫算デモ出スコトニナルカモ知レヌ、必ズシモ十七年度ト決マツコトデアリナイノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ、サウ云フ必要モアラウト私ハ考ヘテ居リマス

○石川(半)政府委員 今御尋ネノ陸軍ノ方ハ五億圓デアリマス、此ノ内四千万圓バカリ使ヒマシテ、アトハ使ツテ居リマセス  
○武井政府委員 海軍ノ分ハ二億五千万圓ト仰シヤイマシタガ、二億七千万圓デアリマス、全額既ニ契約済デアリマス  
○中島(彌)委員 海軍ガ使ツテ、陸軍ガ四千万圓使ツテ、アト大部分、四億六千万圓程使ツテ居リマスルガ、サウスルト今ノ十億八千万圓ト云フハ大蔵大臣ハ四項ニ付ケタト言ハレタガ、サウスルト今マデノ陸軍ノ方ハ使ツテ居ル分ハドウセラレノデスカ、是ハ使ツテ居ル分ハドウセラレノデスカ、是ハ十五億八千万圓ノ中ニ入ツテ居ルカ入ツテ居ナイカ何ヒマス  
○石川(半)政府委員 使ヒ殘リノ四億六千万圓ハ是ハ第一項所屬ノモノデアリマシテ、是ハ不用ニスル積リデアリマス  
○中島(彌)委員 サウスルト、今マデノ四億八千万圓ト云フ使ヒ殘リハ不用ニシテ、更ニ十五億八千万圓ト云フモノヲ使ヒ付ケタノハ、是ハドウ云フ理由デスカ、會計ノ區分ヲ明カニスル爲メデスカ、其ノ理由ハ何處ニアリマスカ、ソレ等ハ今マデノモノヲ使フコトニシテ置イテ、此ノ十五億八千万圓カラ四億六千万圓ヲ引イテヤツタ方宜イヤウニ思フノデスカ

○谷口政府委員 只今ノ御尋ネノ件ハ御存ジノ通りニ、今回第四項ト致シマシテ臨時軍費ヲ置キマシタノデアリマスカ、ソレニ合ヒマスカウニ豫算外契約ノ方モ整理致ス、斯ウ云フ趣旨デアリマス  
○中島(彌)委員 一寸分リニカクツタノデアリマスカ、サウスルト四億六千万圓ト云陸軍ノ方ハ不用ニ立テテ、不用ニ立テテ、其ノ外ニ別ニ十五億八千万圓ト云フモノヲ第四項ニ付ケタ、是ハナゼ不用ニ立テテ第四項ニ付ケルヤウナコトヲシテ居ルノカ、ソノ細々シヤヤコトヲイコトヲナゼスルカト云フコトヲ聽クノデスカ  
○谷口政府委員 處理ノ仕方ハ仰セノ通りデアリマス、ナゼサウ云フヤウニ致シマシタカト申シマス、前ニ五億圓ノ方ハ陸軍臨時軍費ノ方デ云々ト云フコトニ御協賛ヲ得テ居ルノデアリマスカ、今回第四項ニ於キマシテハ、單ニ臨時軍費ト云フコトニ處理致スコトニ相成リマシタノデ、其ノ點ヲ合致セシメルヤウニ、今回ノヤウナ措置ヲ致シタノデアリマス、前ノ時ニハ陸軍臨時軍費ト斯ウ云フ風ニ言ツテ居ルノデアリマス、今回ハ單ニ臨時軍費ニ於テト申シタノデアリマス  
○中島(彌)委員 サウシマス、會計法ニハ所轄事項ト云フコトガ澤山書イテアリマスカ、今度陸軍軍費ガ分ラヌヤウニナツテシマツテ、四項デ陸軍軍費モ共ニナルト云フノデスカ、會計法ノ主管大臣ト云フモノハ、ドウ云フ風ニシテ區別サレレルノデスカ、隨テ此ノ臨時軍費ノ執行ニ關スル憲法上ノ補綴ノ責任ハ、ドウ云フ風ニシテ分ケラレレルノデスカ

○河田國務大臣 臨時軍費ハ普通ノ第二豫備金トハ違ヒマシテ、別ニ先刻申上ゲタ通り會計法ノ第九條ト思ヒマスカ、ソレニハ臨時軍費ト云フモノハアリマセス、臨時軍費ノ支出ノ仕方ハ、日清戰爭以來ノ慣例ニ依リマシテ、ヤハリ此ノ實際ノ支出ニ當リマシテハ、上裁ヲ經テ軍部當局カラ大蔵省ニ要求ガアリマシテ、大蔵大臣ガ國庫大臣トシテ上裁ヲ經テ支出シテ居ル、此ノヤリ方ハ是ハ中島君先刻御承知ノコトト思ヒマス、其ノ方法ハ豫備金ノ支出ト同様ニ正當ナリト今日マデ實際上認メテ居ルノデアリマス、其ノ從來ノ慣例ニ依リマシテ、ヤハリ此ノ臨時軍費モ將來同ジ方法デ行カウト思ツテ居リマス、其ノ時ニ支出ニ當リマシテハ陸軍大臣、海軍大臣ノ所管ガ明瞭ニナルノデアリマス、第二豫備金ハ豫メ大蔵省所管ニ計上シテアリマスカ、之ヲ支出スル時ニハ各省ノ所管ニ分レテ居リマス、臨時軍費モ一本ニナツテ居リマスガ、支出スル場合、豫算執行ノ時ニハ陸軍ト海軍ト明瞭ニ分ケレコトニナルノデアリマス、斯ウ云フヤリ方ハ日清戰爭以來ノ仕來リガサウナツテ居ルノデアリマシテ、寧ロ陸軍ト海軍トノ軍費ヲ分ケテ要求シタノハ今回ガ初メデアリマス、前例ニ對シテハ批評ハ別ト致シマシテ、從來ノヤウナ型ニ戻ツタ、斯ウ御承知ヲ願ヒマス  
○中島(彌)委員 サウシマス、支出ノ時ニ所管大臣ガ分ツテ、此ノ豫算編成ノ時ニハ所管大臣モ分ラヌト云フコトハ能ク分リマシタ、ソレカラ御説明ニ依リマシテ、「軍ノ需要ヲ充足ス爲メ兵器、被服、糧秣其ノ他ノ製造、調達等ニ付テ臨時軍費十五億八千万圓ヲ限リ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ給フヲ要ス」ト書イテアリマスカ、サウスルト兵器ノ製造調達デアリマスカラ、是ハ相當ナル物資モ要ルノデアリマスカ、其ノ物資ノ引當ハドウナツテ居リマスカ、ソレカラ又製造調達ト云フコトニナリマス、工場ノ計畫トカ、是ハ相當ナ時間ヲ要スルモノデアラウト思ヒマス、是ハ十六年度ニ於テ使ハルベキモノデアラウト思ヒマスカサウデアリナイノデアリマスカ

○河田國務大臣 大體ハ十六年度中 概ネ十六年度支出ト云フコトニナルカモ知レマセスガ、相當期間ノ長イモノハ後年度ニ互ルモノモアラウト想像シテ居リマス  
○中島(彌)委員 アトタツタ一點デアリマス、私ダケ長ク喋ルノモイケマセス、五分過ギテ居リマスカ、深澤君ガ十分、大本君ガ十分、長野君ガ十分過ギテ居リマスカ、其ノ慣例ニ從ヒマス(笑聲)ソレカラ國民學校及ビ青年學校ノ臨時手當ト致シテ十月圓、三千八百萬圓ヲ出シマシタノハ、大蔵大臣ノ御説明ニ依ルト餘リニ均衡ヲ得テ居ナイイカト仰セラレマシタガ、其ノ均衡ヲ得テ居ナイト云フノハ何ガ標準ニナツタノデアリマスカ、本豫算ニ於テ選省管內ニ於ケル所ノ選省管ノ下級選省管員ニ付キマシテハ、千二百萬圓ノモノヲ上ゲテアリマシテ、郵便集配人ノ三百八十圓ト云フノガ四百五十圓ニナツテ居ル、ソレカラ是等ノ者ハ月ニ三圓乃至五圓ツツ上ゲテアリマスカ、其ノ時ノ説明ニ依ルト厚生省デ昨年秋ニ作ラレタ御承知ノ通りノ無經驗労働者ノ初級賃金ト云フモノガアル、ソレガ大體普通ノ労働者デアツテ年額四百六十圓、炭坑労働者デアツテ九百三十圓見當ニナツテ居リマス、是ガ標準ニナツテ居ルノデアリマセウカ、大蔵大臣ガ仰シヤラレタ標準ハ何デアリマセウカ、均衡ヲ得テ居ナイイカラ月十圓ヤツタト云フ、其ノ均衡ヲ得テ居ナイト仰シヤラレタノガ、何ガ標準トシテ月十圓ノ手當デ、三百八十圓出サレタノデアリカ、此ノ支出ハ本當ニ結構ナ支出デアルト思フノデ、吾々ハ賛成デアリマスカ、外ニモ影響スルコトデアリマスカラ、御伺ヒ致シマス

○河田國務大臣 展申上ゲマシテ、給與ノ均衡ト云フモノハ、非常ニ複雑多岐ナ問題デアリマシテ、中々一朝一夕ニ机上デ以テ、簡單ニ決スルコトハ出来ナイノデアリマス、本豫算ニ計上致シマシタ通信従業員等ニ付キマシテハ、只今御指摘ノ通り相當考究ノ結果、アノ程度ノ増給ハ、其ノ必要ヲ認メマシテ計上致シマシタ、通信従業員ノミナラズ、一々私覺エテハ居リマセガ、餘リ均衡ヲ得ザルモノト認メタルモノニ付キマシテハ、二、三少々ノ引上ガ政府ニハアルノデアリマス、而シテ小學校ノ教員ニ付キマシテモ、是ハ國費デ直接支拂ハ致シマセウカ、全額ヲ國庫ガ負擔ヲシテ居ルコトデゴザイマス、併シナガラヤハリ警察官ナリ、市町村ノ吏員ナリ、其ノ他ノ比較的薄給ノ者ニ對スル權衡ヲ見マシテ、研究シテ參ツテ、對アリマシテモ、中々成案ヲ得マセス、今日ニ於キマシテモ木俸ヲ得位ニ引上ゲルカ、或ハ倍額ニセヨトカ、或ハ三分ノ二増額セヨトカ云フ色々議論ガアルカト云フコト、隨テ其ノ本俸ヲ幾ラ引上ゲルカト云フコトニ付キマシテハ、今成案ヲ得テ居ラスノデアリマス、併シナガラ生計ヲ立テテ行カ上カ見マシテ、又小學校訓導トシテ、體面ヲ維持シテ、國民教育ノ薄ニ過ギルト云フ點カラ、他ト餘リニ均衡ヲ得テ居ナイ、斯ウ云フ意味ニ於テ申上ゲタノデゴザイマシテ、取敢ズ臨時手當トシテ支給スルコトニナツテ居リマス、併シ本俸ノ決定ト云フコトニナリマス、他ト均衡ヲ見テ更ニ一層十分ナ研究ヲ遂ゲナケレバ、致シ得ナイノデアリマス、左様御

○河田國務大臣 展申上ゲマシテ、給與ノ均衡ト云フモノハ、非常ニ複雑多岐ナ問題デアリマシテ、中々一朝一夕ニ机上デ以テ、簡單ニ決スルコトハ出来ナイノデアリマス、本豫算ニ計上致シマシタ通信従業員等ニ付キマシテハ、只今御指摘ノ通り相當考究ノ結果、アノ程度ノ増給ハ、其ノ必要ヲ認メマシテ計上致シマシタ、通信従業員ノミナラズ、一々私覺エテハ居リマセガ、餘リ均衡ヲ得ザルモノト認メタルモノニ付キマシテハ、二、三少々ノ引上ガ政府ニハアルノデアリマス、而シテ小學校ノ教員ニ付キマシテモ、是ハ國費デ直接支拂ハ致シマセウカ、全額ヲ國庫ガ負擔ヲシテ居ルコトデゴザイマス、併シナガラヤハリ警察官ナリ、市町村ノ吏員ナリ、其ノ他ノ比較的薄給ノ者ニ對スル權衡ヲ見マシテ、研究シテ參ツテ、對アリマシテモ、中々成案ヲ得マセス、今日ニ於キマシテモ木俸ヲ得位ニ引上ゲルカ、或ハ倍額ニセヨトカ、或ハ三分ノ二増額セヨトカ云フ色々議論ガアルカト云フコト、隨テ其ノ本俸ヲ幾ラ引上ゲルカト云フコトニ付キマシテハ、今成案ヲ得テ居ラスノデアリマス、併シナガラ生計ヲ立テテ行カ上カ見マシテ、又小學校訓導トシテ、體面ヲ維持シテ、國民教育ノ薄ニ過ギルト云フ點カラ、他ト餘リニ均衡ヲ得テ居ナイ、斯ウ云フ意味ニ於テ申上ゲタノデゴザイマシテ、取敢ズ臨時手當トシテ支給スルコトニナツテ居リマス、併シ本俸ノ決定ト云フコトニナリマス、他ト均衡ヲ見テ更ニ一層十分ナ研究ヲ遂ゲナケレバ、致シ得ナイノデアリマス、左様御

○河田國務大臣 全般的ニ極メテ低イ給料ニ對シテ、幾分ナリトモ支給シナケレバナラヌト云フコトガ、先刻申上ゲマシタ意味ニ於ケル、他トノ權衡ヲ見マシテ其ノ必要ヲ認メマシタ上ニ、豫算ニ計上シタ所ノ經費デアリマスカ故ニ、豫備金ノ支出モ辭サナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、今豫備金支出ヲ決定スルコト云フコトヲ、折角考究シテ居ル次第デアリマス  
○中島(彌)委員 是デ終リマスカ、アト五分間位外務大臣ニ對スル緊急質問ヲシタイカラ、其ノ點ダケハ御許シテ願ヒマス  
○増田委員長 森田市君  
○森田(彌)委員 内務大臣ニ御尋ネ致シタノデアリマスカ、此ノ間文部大臣ニ御尋ネシタ時、内務省トモ關係ガアルカラト云フ御答辯デアツタノデアリマス、ソレハ外デモアリマセス、小學校教員ノ賞與ノ問題デスカ、小學校教員ノ賞與ノ節季ニ十割ヤツテ與ルト云フ通牒ヲ、府縣ノ學務



ウデゴザイマス  
 ○増田委員長 今井君  
 ○今井(新)委員 容易ナラス此ノ時局ヲ乘切リマスノニハ、一億一體ニナツテ本當ニ命懸ケテ進マナケレバナラナイコトハ、中スマデモナイデアリマス、現在ノ日本ノ立場ニ於テハ此ノ間松岡外務大臣私ノ御尋ネニ對シテ、萬難ヲ排シテ吾々ハ東亞ノ共榮國ヲ確立シナケレバナラナイ、如何ナル困難ガアツテモ、大和民族トシテ是レダケハ斷行シナケレバナラナイ、斯フ云フ明確ナル御答ヘガアツタデアリマスガ、其ノ際ニ松岡サンノ御話ニモ、併シ此ノ目的ヲ貫クコトハ容易ナラスコトデ、日本ノ本當ノ姿、強イ實力、國民ノ決意ト云フモノガ外國ニ十分反映シナケレバ、外國ノ侮リヲ受ケテ、外交モ目的ヲ達成スルノニ困難ナルヲ見テ居ルカト云フト、例ヘバ外務大臣ガ幾ラ強イコトヲ言ツテモ、日本ノ國內ガ精神ノ亂レテ居ルデハナイカ不統一デハナイカ、三國同盟ニシテモ、三國同盟ハ結ンダケレドモ、日本ノ國內ニ密カニ異論ヲ唱ヘタリ、反對ノ氣持ヲ持ツテ居ル者アル、ガカラ外務大臣ガ強イコトヲ言ツテモ、英米ガ強ク出レバ日本ハ四圍ノチヤナイカ、日本ノ腰ガ折レルデハナイカ、斯フ云フヤウニ英米ナドニ見ラレルト、日本ノ南進政策ト云フモノモ思フヤウニ行カナイ、ガカラ是ハ國民ガ奮、結束シテ、サウ云フヤウニ誤解ヲ外國ニ受ケナイヤウニ進マナケレバナラナイ、斯フ云フ御話ガ外務大臣カラアツタデアリマス、私ハ勿論此ノ外務大臣ノ御話ニ對シテハ、御同感デアリマスガ、是ハ日本ノ斯ウ云フ世界無比ノ尊イ國體ト

カ、吾々國民ノ 天皇陛下ニ對シ奉ル忠誠ノ氣持ガ全ク、國體ノ邊ヲ外國人ニハ分ツテ居ラスカラグラウト思フ、苟モ三國同盟ヲ締結シマシテ、畏多イコトデアリマスガ、御勸語マデ賜ハリマシテ、國家ノ進ムベキ道、吾々國民ノ盡スベキ道モ御諭シテ戴キタノデアリマス、一タビ詔ヲ拜シタ以上、過去ハ見エ、現在ニ於テハ吾々國民ノ間ニ苟モ三國同盟ニ異論ヲ唱ヘタリ、反對ノ心ヲ持ツヤウナ者ガアツテハ斷行シテナラナイ、私ハサウ信ズル、併シ三國同盟ガ締結サレタマデノ經過ト云フモノハ私共考ヘルト、日本ノ國民ノ中ニ三國同盟ニ反對シテ來タ者ガ相當アル、國民ノ大多數ハ三國同盟ニ贊成デアツタケレドモ、ドウ云フ階級ニ屬スル者ガ、三國同盟ニ反對シテ來タカト云フト、私ハ主ニ上層部デアラウト思フ、上層部ノ所謂親英親米外交ニ終始シテ居ツタ者、ソレカラ資本家財閥、親英米ノ政治家、サウ云フヤウニ英米ニ主トシテ深イ關係ニアツタ者ガ、三國同盟ニ反對シテ參ツコトハ動カスベカラザル事實デアル、現ニ三國同盟ハ平沼サンガ總理大臣ノ時カラ、ボツ／＼話ガ始ツタデアアルガ、私共當時平沼内閣ニ對シテ、三國同盟ヲ速カニ締結シタラドウカト云フコトヲ申上テ、遂ニ三國同盟ノ話ガ離ラナイ間ニ、突如トシテ獨／＼ノ不可條約ガ成立シタ爲ニ、所謂歐洲ノ情勢ハ複雑怪奇デ分ラナイト云フ御言葉ヲ殘シテ、アナタガ内閣ヲ御辭メニナツタ、サウ云フ經過ヲ考ヘテ見マス、日本ノ國民ノ忠誠心トカ、陛下ニ對シ奉ル吾々國民ノ氣持ガ、能ク分ラナイ外國人ニ取ツテハ、三國同盟ハ締結シタケレドモ、

歴代ノ内閣ガ三國同盟ニ反對シテ來タ、而モ國民ノ上層部ノ政治ノ權ヲ握ツテ居ル者ガ、反對シテ來タノガカラ、一タビ三國同盟ガ締結サレテモ、肚ノ中デハ三國同盟ニ對シテ、快カラズ思ツテ居ル者ガ日本ニ相當アル、ガカラ外務大臣ガ南進政策ヲ唱ヘテモ、ソレハ掛懸ダケデ、依然トシテ「アメリカ」ヤ英國トノ摩擦ヲ虞レルヤウナ者ガ、日本ノ上層部ニアル限り、日本ノ南進政策ト云フモノハ斷行出來ナイイダラウ、斯ウ云フ風ニ高ヲ括ツテ彼等ガ臨ンデ居ルト云フコトモ、一面想像ニ難クナイ所デアリマス、斯ル事情ヲ考ヘマス、假ニモ「アメリカ」ヤ英國ニ、日本ノ國內ニモ三國同盟ニ異論ヲ唱ヘテ居ル者ガアル、快カラズ思ツテ居ル者ガアル、而モソレガ上層部ニアルト云フヤウナコトヲ、今尙未波等ニ思ハシテ居ルトスルナラバ、斯ウ云フ機會ニ於テ、斷行シサウ云フコトハナイ、一タビ御勸語ヲ賜ハツタ以上、一億一體トナツテ、日本ノ南進政策ヲ斷行スルノデアル……  
 ○増田委員長 今井君ニ御語り致シマスガ、内務大臣ハ三時ニドウシテモ據ルナイ用事ガアツテ、御出掛ニナラレルノデスガ、其ノ御積リデ願ヒマス  
 ○今井(新)委員 五分程デ済ミマス、此ノ鐵ノ決意ヲ強ク示スベキデアアルガ、就中此ノ場合近衛内閣ノ内務大臣トシテ、御苦勞ナサツテ居ル平沼内務大臣ハ、平沼内閣當ノ時、三國同盟ヲ結ビ得ルカウツ立場カラシテモ、國民及ビ殊ニ外國ノサウ云フ誤解ヲ解ク爲ニ、然ルベキ御聲明ガアツテ欲シ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、如何デゴザイマセウ  
 ○平沼國務大臣 三國同盟ノ締結セラレマ

シタ理由ハ、能ク御承知デアラウト存ジマス、殊ニ三國同盟締結ニ際シテハ、有難イ詔ヲ賜ハツテ居リマス、此ノ御趣意ニ依ツテ、官民共ニ誤ルコトノナイヤウニ致サンケレバナラヌト云フコトハ、當然ノコトデアラウト思ヒマス、三國同盟ヲ結ビマシタ理由、三國同盟ヲ基礎トスル今後ノ我方國ノ外交ノ方針、是ハモウ定マツテ居リマス、之ニ反スルコトハ出來マセズ、故ニ國民トシテモ此ノ精神ノ下ニ、此ノ方面ニ進ンデ參ラナケレバナラヌデアリマス、此ノ點ハ現内閣ニ於キマシテハ、詔勸ノ御趣意ヲ體シテ、確乎不動ノ方針ヲ持ツテ居リマス、唯具體的ニ是方如何ニ現ハレルカト云フコトハ、是ハ時場合ニ依ツテ異リマス、此ノ事ヲ申上テ爾譯ニハ參リマセズ、大體ノ方針ハ一定ヲ致シテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス  
 ○今井(新)委員 色々御尋ネ致シタイコトハアリマスガ、御答ニヤウデアリマスカラ、アト一點ガ御尋ネ致シマスガ、問題ハ官界ノ肅正ト云フコトデアリマス、此ノ議會ニナリマシテカラ、殆ド衆口一致官界ノ新體制デアルトカ、官界ノ肅正シナケレバイカナイト云フコトガ唱ヘラレマシテ、ソレニ對シテ十分其ノ點ニ付テハ善處スル、考慮スル、斯ウ云フ政府ノ御話ヲ承ツタノデアリマスガ、私ハ細カキコトハ一切申シマセズガ、實際ハ大臣ガ御考ヘニナツテ居ル以上、官吏ノ不親切、怠慢等ニ對スル民間ノ不平、不滿ノ聲ハ漲ツテ居ル、高度國防國家ヲ建設スル爲ニモ、一日モ早ク改善シテ、官民ノ一致ト云フコトヲ圖ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ例ヘバ教學ノ刷新ニシテモサウデス、

官界ノ肅正ニシテモサウデス、斯ウ云フコトハ今更唱ヘラレタコトデナクシテ、歴代ノ内閣ノアロニセザルハナイ、而モ實績ハドウデアアルカト云フト、一向學ツテ居ラナイノミナラズ、官界ノ紊亂ト云フモノハ、愈甚シキヲ加ヘテ參ツタノガ、私ハ蓋シ現狀デハナイカト思フ、第一次近衛内閣ノ時モ、近衛サンハ口ヲ極メテ官界ヲ肅正スルト仰シヤツタ、國家總動員法案ヲ吾々ガ議決スル時ニ、斯様ナ官吏ニ重大ナル權限ヲ持タセル法案ヲ議決スルノガカラ、今後官吏ト云フモノハ、一層自肅自戒シテ、國民ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナコトガアツテハナラヌカラ氣ヲ付ケテ實ヒタイト云フコトガ、附帶決議ニナツテ居ツタ、ソレニモ拘ラズ、政府ハ議會ノ時ニハ考慮スルトカ、善處スルトカ云フコトヲ仰シヤルケレドモ、今日マデ官界ノ肅正ト云フヤウナコトニ乘出シテ、如何ナル具體的ノコトヲ實行ナサツタカ、私ハ寧ろニシテ未ダ聞カナイデアリマス、私共ハ議會ノ時ニ政府ガ考慮スルトカ、善處スルトカ云フコトハ、無責任ノ代名詞チヤナイカトサヘ考ヘラレル、モウ一年十二年ノ問題チヤナイノデスカラ、官吏ノ肅正トカ、官界ノ刷新ト云フコトニ付テハ、斯ウ云フヤウニヤツテ官吏ヲ再教育スルトカ、不都合ノ官吏ガアツタラ、斯ウ云フヤウナコトニ依ツテ處罰スルト云フ具體的ノ案ガ、政府ニナケレバナラナイガ、未ダ此ノ議會ニ、斯ウ云フヤウニヤツテ官界ヲ肅正スルト云ツタヤウナ、具體的方法ヲ御示シニナツテ居ラスコトハ、私ハ甚ダ残念ニ思ヒマス、ドウカ此ノ場合具體的ノ方法ヲ御持チナラバ、御示シテ願ヒタイ  
 ○平沼國務大臣 官吏制度ニ付キマシテハ、

政府ニ於テモ深く考慮致シテ居リマス、全體ニ付キマシテ十分調査ヲ遂ゲマシテ、此ノ歩ヲ進メル積リデ居リマスガ、只今御示シ致シマスル具體的ノコトハゴザイマセズ、何レ今後十分ニ其ノ點ハ考慮致シ積リデアリマス、附加ヘテ申上テ置キマスガ、官吏ニ對シテ色々不平、不滿ガアルト云フコトモ承ツテ居リマス、併シ同時ニ現今ノ官吏ガ職務ノ爲ニハ、非常ニ勉勵ヲ致シテ居リマスコトモ、能ク御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス  
 ○今井(新)委員 只今現在ノ官吏ガ時局ニ際シテ非常ニ奮勵努力シテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、吾々ハ勿論ソレヲ認メマス、サウシテ國家ノ爲ニ眞剣ニ職務ニ盡シテ下サツテ居ル官吏ニ對シテハ、私共ハ心カラ尊敬ヲ捧ゲテ居リマス、ソレハ言ハスデモ當リ前ノコトデアリマス、唯如何セン不良ノ官吏ガ多過ぎル、此ノ間モドナツカラ御話ガアリマシタガ例ヘバ監察官ノヤウナ制度ヲ設ケテ限ニ餘ルヤウナ官吏ハ取締ツテ、鹹ル者ハバン／＼鹹ル、斯ウ云フ制度ヲ設ケルノモ一ツノ官界肅正ノ具體方法ト思ヒマス、優良ナル官吏モアレバ、不良ナル官吏モアル、玉石混濁デアアル、ガカラ行政ノ長官タル者ハ信實必罰デ、善イ者ハドン／＼拔擢スル、惡イ者ハ假借ナダ戒メル、斯ウ云フ態度ニ出ラレナケレバ官界ノ肅正ハ私ハ斷行ヘナイト思ヒマス、ドウカシツカリト善處願ヒタイト云フコトヲ申上テ置キマス  
 ○増田委員長 森田君  
 ○森田(福)委員 先程ノ内務大臣ノ御答辯ニ附加ヘテ、内務省ノ政府委員カラノ御説明ヲ伺ヒタイ

○留閣政府委員 小學校教員ノ賞與ノ點ニ付テノ御尋ネデゴザイマシタガ、御承知ノ通り小學校ノ教員ノ俸給ト赴任旅費ハ、道府縣廳ノ支辨ニナツテ居リマス、其ノ他賞與手當ハ市町村支辨ト云フコトニ、只今ノ法令デハナツテ居ルノデゴザイマス、六月十二月ニ賞與ヲ出サウニト云フ通牒ガ、縣カラ市町村ニ行ツタノデ、町村ガ非常ニ困ツテ居ルト云フ御話デゴザイマスガ、御承知ノ通り家族手當モ一人ニ付テ一回ノ國庫ガ持チ、後ハ町村ノ財政ノ狀況ニ依ツテ、ソレニ足シテモ足サナイデモ宜イ、斯ウ云フ方針ヲ各地方町村ニ通牒シタノデアリマス、町村吏員ノ手當、又一般ノ賞與ニ付テモ、必ず十割ヲ出スト云フコトハ、私ノ方デハ強要致シマセズ、是ハ各町村ノ財政ニ順應シテ行カナケレバナラズ、又必ズシモ全國一萬一千ノ町村ガ、同様ノ經濟狀態ト考ヘラレナイノデアリマスカラ其ノ點ハ強要致ス考ヘハ持ツテ居リマセズ、總旨トシテ成ベク國ノ官吏ニ準ジテ出シテ行キタイ、是ガ望マシイコトデアリマシテ、ソレニ付キマシテハ出來ルダケ財源ヲ與ヘルヤウニ、工夫致シテ居ルノデアリマス、若シサウ云フ強要ガマシイヤウナコトガゴザイマスレバ、十分取調メマシテ善處シタイト思ヒマス  
 ○森田(福)委員 今ノ御答辯デ分ツタノデ、私ハ是レ以上重ネテ質問致シマセズガ、別ニ去年ノコトヲ御調ベニナラズデモ、文書ニ明瞭ニ殘ツテ居ル、唯本年モサウ云フコトヲ繰返サナイヤウニト云フコトヲ申上テタノデアリマスカラ、内務省ノ政府委員ハ御承知置キテ願ヒタイ、尙未内務省ノ政府委員ハ御承知ノ置キテレドモ、去年ノ稅

ノ移管ノ時ニ、地方ノ町村役場ニハ財源ガ殘ツテ居ルカウツ、何ヲ財源トスルカト云ヘバ、繰越金ニ依ル外ハナイガ、其ノ繰越金モナイノデス、ドウゾ十六年度ハ、サウ云フコトヲ繰返サナイヤウニト云フコトヲ申上テ置キマス、ソレカラ選任大臣ニ問ヒタイノデスガ、選任大臣ガ御見ニナラナケレバ、選任省ノ政府委員ニ御答辯願ヒタイ、先般豫算總會ノ始マル時ニ、私ガ選任大臣ニ御尋ネ申上テ、小船主ヲ壓迫シテ小船主ノ自營ヲ困難ナラシメルヤノ風評ガアルガ、其ノ點ハドウデアアルカ、若シサウ云フコトガアルナラバ、從來我方國ハ小船主ニ依ツテ海運界ガ發達シテ來タノデアアルカ、無暗ニ大船主ニ集中サセルヤウニシテ行クコトハ、將來ノ國策ニ副フ所以デアアルマイト云フ意味ノ御尋ネヲ、私ガ申上テ置キマス、選任大臣ハ其ノ通りデアアル、決シテ壓迫シタリナドシテ、小船主ヲ虐待スルヤウナコトハシナイト云フ御答辯デアリマシタ、然ルニ昨日ノ新聞デアリマシタガ、總動員法ヲ發動シテ、小船主ヲ持ツテ居ル船舶ヲ、大キイ運航業者ニ委託經營ヲサセ、サウシテ五分ノ手数料ヲ取ラセルト云フヤウニスルコトヲ意味ノコトヲ、新聞ニ依ツテ私初メテ知ツタノデアリマス、若シ果シテサウナラバ、是ハ小船主トシテハ致命傷デ、自營ガ出來ヌヤウニナリ、委託經營ヲシナケレバナラヌヤウニナラヌ、ソレハ五ト云フ手数料ヲ取ラレルナラバ、ソレハ五ト云フコトニナル、百分ノ五チヤナイ、從來同漕店ニ船主ガ委託シテ、荷物ヲ集メテ積上ガテ居ツタコトハ、管船局ノ各位ハ御承知



デナケレバナラヌ管デアリマスガ、放ツテ置イテ二分五厘ノ手数料デ、從來海運業者ガ荷物ヲ扱ツテ居ツタガ、ソレヲ斯ウ云フ總動員法ヲ出シテ、其ノ倍額モノ委託手数料ヲ取ルト云フコトハ、果シテ新聞紙ノ報ズル通り事實デアラカドウカ、私ハ事實デアラナラバ肯定致シ兼ね、ソレハ讀ンテ字ノ如ク一覽、二覽ヲ持ツテ居ル者ハ、ソレヲ上手ニ運管シテ、漸ク經營シテ行ツタノデアリマス、今度選信省ガ計畫シテ居ル所ノ、四月一日カラデアリマシタカ、實行シヨウト云フ「ブロック」ヲ分ケテ、荷物ノ配給運送ヲ取扱フ所ノ、八ツダツト思ヒマスガ、其處各入レテ共同計算運賃ニ依ルト云フコトハ、結果ガ良イカ悪イカ、今後ヲ見ナケレバ分ラヌカラ、ソレヲ巨ム者デアリマセヌ、併シナガラ其處ニ抛リ込ム前ニ、モウ一ツ小船主ヲ委託經營ニ持ツテ行ツテヤラスト云フコトニナツタラ、二重ニナツテシマフ、オマケニ從來二分五厘デアツタモノヲ五分ニシテ、小船主カラ大船主ガ搾取スル、委託經營ニ依ツテ大キナ船會社ニ、小サナ船會社ガ持ツテ行ツコトニナルト、經營ノ持テル管ガナイ、即チ是ガ私ノ言フ小船主ヲ壓迫スルヤウナコトガアツテハナラヌガ、ドウデアラカト云フ質問ナノデアアル、選信省ノ主管廳ノ役人トシテハ、成ベク手数料省キタイト云フコトカラ、サウ云フ考ヘモ出ルデセウガ、併シナガラ手数料省キタ、サウ云フ小サナ船主ヲシテ、自營シテ立行カレナイヤウニスルコトガ、今日此ノ場合宜イデアリマセウカ、假ニ一覽、二覽、三覽持ツテ居ル者ガ、大キナ船主ニ委託經營ヲシナケレバナラヌヤウニナルト、從來自營ヤウツテ

居タノガソレガ爲ニ從業員ハ悉ク失業シテ行カナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスカラ、此ノ點ハドウ考ヘテ居ラレルノデアラカ、選信大臣ノ此ノ間ノ答辯ニ關聯シテ、明瞭ナ御答ヘガ願ヒタイノデアリマス

○尾關政府委員 御答ヘ致シマス、從來ノ小船主ノモノヲ備船シテ、他ノモノガヤツテ居タノヲ、委託經營デヤルト云フノデアリマシテ、必ズシモソレハ小船主ニ對シテ、不利益ナモノバカリデハナイト思ツテ居リマス

○森田(福)委員 一向當局ノ説明ハ分リマセヌ、備船シテ居ルモノヲ今度委託經營ニシヨウト云フノハ、今ノ答辯ノヤウナコトモ一應肯定セラレマスガ、サウデハナイ、私ノ間フテ居ルモノハ、一覽、二覽ノ小サイ船主ガ、自營シテ行ツテ行ツテ維持ガ出來テ行ツテ居アル、是ハ時ニ備船ニ出シ、時ニ自營スルノデアリマス、自營專門ニアラズ、「チャーター」専門ニアラズ、機ニ臨ミ變ニ應ジテ船主ハ有利ナ方法ヲ執ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ規則的ニ一ツノ所ニ釘ケニスルト云フコトハ、イケンナイ、若シサウ云フ計畫ガアルナラバ、新聞紙デ傳ルヤウニ、而モ百分ノ五ト云フ平生ノ倍ノ委託手数料ヲ取ツテヤラセヨウト云フ考ヘデアレバ、誰カノ話デハナイガ、事變後ニハ日本ニハ大キナ金持ト、貧乏人バカリニナルデアラウト云フコトガ出テ居ルガ、サウナツテ行ツテ、小サイ者カラ大キイ者ニ持ツテ行ツテ、從來ノ倍額ノ手数料ヲ取ルト云フコトハ、私ハ肯定致シ兼ね、此ノ間選信大臣ハ小船主ヲ壓迫セスト云フテ置キナガラ、新聞紙ナドヲ見ルト、次第ニボ

ツリボツリ瓜ハ仲バシテ來タト云フコトガ明瞭デアリマスカラ、是ハ此ノ機會ニ明確ニシテ置カナケレバナラヌ、斯ウ云フ質問デアリマスカラ、アナタハ御應キニナツテ居ラナカウツデアリマセウケレドモ、能ク打合せテ御答辯願ヒタイ

(委員長退席、小笠原委員長代理着席)

○村田國務大臣 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマスガ、若シ間違ツテ居リマシタラ、又後デ御質問願ヒタイト思ヒマス、備船カラ委託經營ニサセル、ソレニ對シテ五分位ノ口錢ヲヤルト云フコトガ、新聞ニ出テ居ツタガ本當カ、斯ウ云フ御質問ダト思ヒマス、ソレハ寧ろ小船主ノ利益ノ爲ニ備船デモ宜シ、委託經營デモ宜シ、ドチラデモ宜イト云フノデアリマスカラ、却テ小船主ノ方ハ、其ノ兩者何レカ良イ方ヲ御選ビニナルコトガ出來ルヤウニナルト思ヒマス

○森田(福)委員 備船ニ決ツテ居ツタモノヲ委託經營ニスルモ宜シ、二者何レヲ選ブト云フコトヲ私ハ間フテ居リマセヌ、私ガ此ノ間アナタニ御答申上ゲタノハ、小船主ヲ壓迫シテ大船主ヲ保護シテ行ツヤウナコトハイカヌデハナイカト言フタラ、サウ云フコトハセスト仰シヤツタ、然ルニ今アナタハ備船シテ居ルモノヲ委託經營ニ直ス、其ノ何レヲ執ツテモ宜イト云フガ私ガ間フテ居ルモノハ、今マデ小サイ船主ハ船主貨シテ居ツタ時モアリ、自營ヲ致シテ居ツタ時モアル、船主ト云フモノハ必ズシモ「チャーター」ヲスルトハ決ツテ居ラズ、又必ズシモ自營ヲスルトハ決ツテ居ラヌノデアリマス、デアラカラ其ノ時ニ臨ンデ「チャーター」スル時モアルシ、自營シテ運航スル

コトモアルノデアリマス、其ノドチラデモヤラシテ行クベキデアアルニモ拘ラズ、之ヲ委託ニシテ百分ノ五ヲ取ルト云フ方法ヲ執ツテ、一覽、二覽、三覽ノ船主ニハ自營ハ認メスト云フヤウナコトガアルカラ、私ハサウ云フコトガアツテハ相成ラズ、アルベキ筋合ノモノデハナイ、但シ選信省ガ八ツカ九ツノ「ブロック」ヲ作ツテ、其處デ荷物ノ配給ヲ掌ツテ、共同計算デ運賃ヲ拂フト云フコトハ、ヤツテ見ナケレバ良イカ悪イカ分ラヌカラ、今後ヤツテ見テ良カウ改善改善ヲ加ヘルベキデアアルガ、サウデハナクシテ、既ニ自營シテ居ル船主、シタコトノアル小船主、若クハ「チャーター」シテ居ツタモノニハ、其ノ何レカ一方ニ決メルコトヲセズ、其ノ時ニ臨ンデ其ノ「ブロック」デ扱フノガカラ、何ノ差モアルナラバ、小船主ニ自營ヲヤラセ、或ハ「チャーター」方ガ利益ナラバ「チャーター」ヲヤラセル、ドチラニシテモ荷物ノ運航ニ對シテハ「ブロック」デ扱フノガカラ、何ノ差モナイデハナイカト云フ私ノ質問デアリマス

○村田國務大臣 御答ヘ申上ゲマス、自營船主ト云フノハ、會テ自營シタモノヲ自營船主トシテ認メテ居リマスノデ、「チャーター」或ハ委託ノミヲヤツタ者ハ、今自營ヲシタイト云フコトデ願ヒ出テモ、ソレハ出テ來ナイト思ヒマス、自營シテ居リマシタ者ハ、從來ノ通り自營ヲサセル積リマシタマス、隨テ要スルニ此ノ組合ヲ作リマシテ一ツノ編成ヲ致シマシタ趣意ハ、限リマシテ船主ヲ以テ、重要物資ヲ運送シヨウト云フ根本觀念カラ出テ參リマシタノデ、

出來ルダケ大トナリ、小トナリ船主ノ利益ハ尊重致シマスガ、若シ大局的ニ見マシテ其ノ趣意ニ適ハナイ場合ハ、是ハ多少我慢シテ貫ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、左様御承知願ヒマス

○森田(福)委員 選信大臣ハ誠意ヲ以テ仰シヤツテモ、アナタガ何ヲ仰シヤツテ居ルノカ、私ニハ頭ニ入ラナイ、私ノ間フテ居ルコトト答辯ガ違フ、私ハ初メカラ自營ガアリ、又「チャーター」ガアル、其ノ何レデモ、時ニ臨ンデ便利ナヤウニ船主ガヤツテ居ル、アナタノ今ノ答辯ハ、委託經營シテ居ツタモノハ、動かシテハイカヌ、動かシテ宜イカ悪イカ、イカヌト云フノハ何處カラ出テ來ルカ知ラヌガ、大抵ノ船主ハ自營ヲヤル、貨船モヤル、委託經營モヤツテ居ルト思ヒマス、長年ノコトデアリマスカラ、サウ云フ經驗ヲドチラモ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フモノニ對シテハ、其ノ何レナリトモ選擇シテヤラストノガ宜イデハナイカ、サウシテ船主ノ利益ヲ保護シテヤルベキデアツテ、大船主ニ委託經營サセテ、百分ノ五ト云フモノヲ無理ニヤラヌデモ宜イデハナイカ、百分ノ五ト云フハ隨分大キナ金デス、而モドウ云フ利益ガアルカト云フコト、選信大臣ハ御承知デアラウト思ヒマスガ、百分ノ五ト云フハ五分デアリマス、殆ド利益ノ大部分ヲ取ラレシマフノデスカラ、ソレデハ小船主ハ經營ガ出來ヌ、百分ノ五デモヤツテ貫ヒタイト云フノハ、設備ノナイ船主デアリマス、荷物モ自營シテヤルダケノ設備モ持ツテ居ラヌ船主デス、サウ云フ者ニハサウ云フヤウナ方法モ便利デアリマセウ、是ハ私モ認メマス、併シ相當ニ荷ヲ集メタリ、色々ナ代理店トカ總テ

機關、從業員ヲ持ツテ居ル者ハ、百分ノ五ヲ出シテ委託スルヨリ自分デ經營シタ方ガ有利ダ、永年ノ船主ハ何レモ委託經營「チャーター」、自營ノ三ツノ經驗ヲ持ツテ居リマス、サウ云フ場合ニ其ノ選ブナリニヤラズベキモノデアツテ、選信省ガ事務ノ都合デ、之ヲ命令ヲ以テ一ツノ大キナ船主ノ委託經營ニヤラヌヤウナコトハ宜クナイ、サウ云フコトヲヤラストニ依ツテ、海運界ノ發達ヲ阻止スルヤウニナリハセヌカ、斯ウ云フ質問デアリマス

○村田國務大臣 私人申上ゲガ惡カウツカト思ヒマスガ、只今御話ノヤウニ、設備ヲ持チ、運管ヲ自分デシテ居ルト云フヤウナ船主ニハ無論運管ヲ任セマス

○森田(福)委員 運管ヲ任ス、ソレハ宜シイ、ヤツタコトノアツタ者デ、現在ヤウツテ居ラヌカラト云ツテモ、其ノ設備ガ機關ヲ持ツテ居ル者ナラバ、宜イト承知シテ宜シイカ

○村田國務大臣 餘リ抽象的ニナリマスカラ、現實ノ問題デ一遍能ク御話シマセウ、其ノ方ガ一番宜イト思ヒマス

○森田(福)委員 現實ノ問題ヲ聞キマセウ、現實ノ問題ヲ選信大臣ガ話スト仰シヤルカラ承リマセウ、何ナリト例ヲ引イテ、ドウノ御話シ下サイ、私ノ言ツテ居ルノハ、屢々申上ゲテ居ルヤウニ、皆三ツノ場合ノ經驗ハ持ツテ居ル、サウ云フ者ニハ自由ニ選擇サシテヤラシテ宜イデハナイカ「ブロック」ニ入レルコトハ宜イガ「ブロック」ニ入レル以外ノコトハ、自營ニシヨウガ「チャーター」ニシヨウガ、委託經營ニシヨウガ、ソレハ其ノ經驗ヲ持ツテ居ル者ノ選擇ニ一任スレバ宜シイノデハナイカト云フ質問デアリ

マス、アナタノ今仰シヤツタノハ、サウ云フ機關ナリ、設備ノアルノハ宜イト仰シヤツタガ、私ノ間フテ居ルノハ、ソレハ現在ト云フ意味カ、サウ云フ三ツノ經驗ガ過去ニアツタノデモ宜イトデスカ

○村田國務大臣 大分話ガ込入ツテ來マシタガ、サウ云フモノヲ過去ニ於テ持ツテ居ルト云ツテモ、何時頃持ツテ居ツタトカ、假ニ十年前五年前ニ持ツテ居ツタライカヌシ、サウ云フコトハ現實ノ問題デ御話シタ方ガ宜イデハナイカト思ヒマス、詰リアナタノ方カラ現實ニ仰シヤツテ戴イテ、ソレハドウデアラカト云フコトヲ申上ゲタ方ガ宜イ、此ノ場デ申上ゲテモ宜シ、或ハ他ノ機會ニ申上ゲテモ、ドチラデモ宜シイ

○森田(福)委員 此ノ場デナケレバイケマセヌ、此ノ場以外デアナタガ仰シヤルコトハ、又下ノ方デ違ヒガ出來テ來ル、此ノ間アナタガ仰シヤルコトガ違ヒガ出來カケタカラ、シツカリアナタト話ヲ決メテ置キタイト思フカラ、質問シテ居ル、アナタノ方カラ仰シヤツタ宜シイ、サウ云フ經驗ハ何年以内デアツタラ宜カラウトカ、サウ云フコトヲ仰シヤレバ宜イ

○村田國務大臣 アナタガ御質問ノ點ガアリマシテ、御質問ニナツタノデアリマスカラ、アナタカラ仰シヤツテ貫ツタ方ガ、私ノ方ハ答ヘ易イト思ヒマス

○森田(福)委員 アナタノ方デハ其ノ打合せハナイノデスカ、何年位前ニ「チャーター」シ、或ハ委託シ、或ハ自營ヲシテ居ルモノハ、斯ウ云フ風ニシヨウト云フ目算モ、計畫モナシニ、斯ウ云フ風ニ新聞記事ニ出スノデスカ、今アナタノ仰シヤツタノハ、十年昔デアツタカ、五年昔デアツタカ分ラ

スガ、三年デモ、五年デモ十年デモ宜シイ、其ノ程度ノモノナラバ何レモ宜シイト云フガ、モウ五年ヨリ古クテハイカヌト云フヤウニ、具體的ニアナタノ方針ガ決マツテ居ナイノデスカ、決マツテ居ルナラバ、ソレヲ伺ヒタイ

○村田國務大臣 選信大臣ハ其ノ新聞ニ出タコトハ餘リ存ジマセヌ、若シ御必要ガアリマシタナラバ、政府委員カラ答辯サセマス

○米田政府委員 御答ヘ致シマス、其ノ新聞記事ニ付キマシテハ、私達モ全然知ラナイノデアリマス、唯備船ヲ委託ニ變ヘルト云フコトニ付キマシテ、先程選信大臣ガ此處デ御答ヘ致シヤウナコトヲ、私達ハ考ヘテ其ノ通りニ實行致シタイ、其ノ範圍ニ於テハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ超エルヤウナコトガ、今仰シヤルヤウニ、新聞ニ出テ居リマシタトスレバ、ソレハ私達ノ存ジナイコトデアリマス

○森田(福)委員 ドウモ選信省ノ態度ハ不親切デイカヌ、ドウシタノデスカ、益々ハツキリシタ答辯ガ出來ナイ、答辯ガ出來ナイナラ、出來ナイト云フヤウニ言ツタラ宜イ、不親切極マルデハナイカ

○米田政府委員 ソレデハモウ一遍敷衍致シマス、備船ノコトト委託ノ關係ニ付キマシテハ、御承知ダラウト思ヒマスガ、前年ノ四月カラト思ツテ居リマス、一應備船ヲサセテ船主ニ付テハ、成ベク其ノ備船者ヲ變ヘテ呉レルナト云フヤウナ通牒ヲ出シタコトガゴザイマス、ソレカラコトヲ、ズツト船主ト其ノ備船シテ居ル備船者トノ間ノコトニ付キマシテハ、成ベク其ノ關係ヲ付ケサシテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リ



マ、所ガ段々備給料ト、ソレカラ實際ノ船主ノ方ニ、詰リ今度ハ備給者ト船主ノ方トノ利害關係ト申シマス、收入ガ大分變ツテ參ツタノデアリマス、端のニ申シマス、備給者ハ少シ儲ケ過ギルノデハナイカト云フ風ナコトガ、能ク聞カレルヤウニナリマス、私達モ段々調ベテ見ラシテ所ガ、サウ云フコトガナイデハナイ、之ヲ一ツ救済スル手段ト致シマス、委託ト云フ風ナ制度ヲ設ケマシテ、サウ云フ風ナ不均等ヲ取除イタラドウダラト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、其ノコトガ今大臣ガ申上ゲタヤウナコトデアリマス、又私達ト致シマシテモ、サウ云フ風ナ方法デ不均等ヲ取除キタイト云フ氣持デ居ツタノデアリマス、御答ヘニ合ツテ居リマス、カドカ知リマス、新開ニ付キマシテハ大體サウ云フ風ナコトガ何カノ形デ傳ヘラレタノデハナイカ知ラント云フ風ニ、私達ハ考ヘテ居リマス

○森田(福)委員 過去ノコトヲ御話ニナリマシタカラ、過去ノコトヲ私ノ知ツテ居ルコトヲ申上ゲマス、ソレハ斯ウ云フコトガアル、昨年ノ話デアラガ、或ル「チャーター」専門ノ船會社ノ社長ト選任省ノ高級ノ役人ト、名前ハハッキリ申シマセマス、ソレガ同志ノ友達アル關係上、自分ノ家ニ工合好ク備ウテ居ル船ヲ、解約ニナラナイヤウニスル爲メ、今ノヤウナコトヲ御ヤリニナツタコトト、私ハ承知シテ居リマス、ソレヲ小船主ニ色々々異動ガアツテ、小船主ガ解約シテ、自營ヲシヨウトシテモ、選任省ガ自營ヲサセマイトシテ居ル、是ハマダ明確ニ仰シヤレト云ヘバ、私ノ知ツテ居ル範圍ヲ全部申上ゲテモ宜イガ、

斯ウ云フ席上デアラカラ、私ハ努メテ御遠慮申上ゲテ居リマス、ソレガ私ハイケナイト云フノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲシテ、大キナ備給會社ノ中ニ、一艘ノ船モ持つテ居ラズニ、全部アチラコトノ小船主ノ船ヲ集メテ營業シテ居ルノガ、非常ニ有利デアラ、所ガ今度ノ會社デ船主ハ非常ニ不利ニナツテ來タカラ、取戻シテ自營ヲヤラウト云フコトニナツタノニ對シテ、ソレヲ取戻サセナイヤウニ、今アナタノ仰シヤツタヤウニ選任省ハ網ヲ張ツテ、成ベクソレヲサセヌヤウニシナケレバナラズ、過去ノコトハソレデ御分リニナツタト思ヒマス、私ハ是レ以上申シマセマス、現在ノ所デハハナリ統制ヲ執ル爲メ、「プロック」ヲ設ケテヤツテ居ルコトニハ、私ハ異論ガナイ、サウ云フ風ニシナケレバ統制ハ執レヤセズ、「プロック」ニ入レルニハ自營デ入レヨウト、「チャーター」デ入レヨウト、委託デ入レヨウト、ソコマデハ干涉セズニ御ヤリニナルガ宜イノデハナイカ、大キナ所ニ備給セセナケレバナラズト云フコトハアリマス、少トモ今日ノ選任省ニハ、サウ云フコトハナイト信ズルガ、昨年ハサウチヤナカツタ、ソレデアラカラ、サウ云フヤウナコトヲヤラレナイ方ガ宜イト云フ意味ノコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、大抵御分リニナツタト思フ、ガカラ選任省モ奥齒ニ物ヲ挟ツタヤウナ言ヒ方デナク、モツト率直明快ニ言ツテ貰ヒタイ

○米田政府委員 御意見ノ程ハ能ク分リマシタ、御承知デハゴザイマセウガ、海運ノ統制ニ付キマシテ、一應今御話ノヤウナハツツノ「プロック」ニ分ケテ、其ノ「プロック」別ニ統制ヲ執ツテ、更ニソレヲ全國的ニ統制ヲ執ツテ方法デ、輸送ノ遺憾ナキヲ期シタイ、斯ウ云フ風ニ今一生懸命ニナツテ努力シテ居ルノデアリマス、其ノ「プロック」ノ構成ノコトニ付キマシテ、只今森田君ガ仰シヤツタヤウナ小船主モ、ヤハリ運バト云フコトニ付テハ同ジデアラカラ、ソレヲ其ノ儘ニシテ置イテ、運送業者トハ離レト置イテモ宜イデハナイカト云フヤウナコトゴザイマスガ、是ハ程度問題デハナイカト云フ風ニ考ヘマス、ヤハリ「プロック」ヲ作リマシテ、其ノ「プロック」デヤツテ行クト云フコトニナリマス、其ノ「プロック」内ノ統制ト云ヒマス、調和ガ出來ルガケ旨ク取レテ行クヤウニシテ行カケレバナイノデアリマシテ、是ガ爲メハヤハリ或ル程度ノ數ト云フモノデ行ツタ方旨ク行ケルノデアリマシカ、斯ウ云フ風ニ私達ハ一應ハ考ヘテ居リマス、ソコマ今仰シヤツタ過去ノコトニ付キマシテハ、私ハ全然サウ云フコトハ存ジマセマス、又サウ云フコトハナイダラウト思ヒマスガ、兎ニ角斯ウ云フ方面ニ一ツ運航ヲヤラシテ、後ノ船主ノ方々ハサウ云フ方面ニ運航ヲ任シタラドウカト云フ風ナ方針ヲ、一應執ツテ見テ、ソレガ段々或ル程度不均等ガ出テ來タ、其ノ不均等ハ結局先程モ申ス通り、小船主ノ爲メハ不利益ナ不均等デアリマス、其ノ不均等ハ是レ正ルト云フヤウナ方法ヲ、一面ニ於テ執リナガラ、一面ニ於テ此ノ「プロック」デヤツテ行キマス、所ノ海運統制ヲ、何トカ旨ク遂行サシテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ考ヘテ持つテ居リマス、餘リ極端ニバテバラニナツテ行キマス、却テ統制ガ執リニタイト云フコトガアリ得ルノデハナイカ、ソコマ私達トシテハ疑懼ヲ抱イテ居ル

ノデゴザイマス

○森田(福)委員 時間ガアリマセスカラ簡單ニ申上ゲマス、今ノ御話ノ筋ハ分リマシタ、大體選任省デハナイガ、政府ハ斯ウ云フコトヲ考慮シナケレバナラズノデハナイカ、近來統制ノ爲メ色々々組合ガ澤山出來テ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、サウ云フ組合、詰リ船會社言フナラハ海運協會其ノ他ノ統制組合ノ幹部ハ、悉ク大會社ノ代表者デアラコトハ、御承知デラウト思フ、是ハ否マレズ事實デアラ、郵船會社、商船會社其ノ他大キナ會社ノ役員ガ、代表トシテ出テ居ルノデアリマス、之ニ一艘、二艘ノ小サイ船主ヲ選任省デ加ヘテヤラバ、政府當局ノ意見モ其ノ役員會ニ臨ンデ分ル、ソレヲ大キナモノバカリヲ役員ニ任命ナサツテ、ソレノ意見ヲ聽イテ選任省ガ參考ニサレルト、今ノヤウナ話ガ出テ來ルコトニナル、是ハ統制組合ノ大キナ弊害ダト思フ、小サイモノノ利害ヲ代表シテ發言スル者ガナイ、政府ハサウ云フ大キイモノヲ代表スル役員ノ意見ヲ參考ニシテ立案スルカラ、小サナモノノ意見ガ分ラズ、ガカラ今ノ話デモ、大キイモノニサセテ方宜イダラウト、サウシテ委託經營ニシテ百分ノ五ヤレバ宜イダラウト云フヤウコトハ、是等ノ統制組合ノ役員ハ言ウタカモ知レマスガ、ソレハ自分等ノ田ヘ水引引ケ爲メ言ウ話デアツテ、水揚收入カラ百分ノ五ノ手數料ヲ出シタノデハ、到底維持出來ヌト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ル、今統制組合ガ澤山出來テ居ルヤウデアリマスガ、ソノ役員ハ悉ク大船主デス、是ハ選任省當局モマレヌダラウト思フ、サウ云フ人ガ集ツテ來タ時ニハ、小船主ニ便宜ヲ與ヘヤウ管ハナイ、

○村田國務大臣 只今ノハ御希望デアリマス、私カラ御答ヘスル必要ハナイト思ヒマス、ケレドモ、役員ノ點ニ關シマシテハ、小船主代表ヲモ加ヘテゴザイマス、ソレカラ單ニ代表或ハ役員ト面會スルノミナラズ、私ハ時々小船主ノ人トモ、大船主ノ人トモ膝ヲ突合セテ話ヲシテ居リマス、御希望ノ點ハ御懸念ノナイヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○小笠原委員長代理 森田君、モウ時間ガ來マシタカラ簡單ニ願ヒマス

○森田(福)委員 今ノ問題ハ、選任大臣ノ答辯デ、時間ガナイカラ兎ヲ付ケマスガ、幾ラ話ヲ聽イタツテ御用ヒニナラナケレバ、何ニモナラズノデアリマス、其ノコトヲ選任當局ニ警告ヲシテ置キマス、次ハ商工省ニ簡單ニ御尋ネシタイノデスガ、ドナタカ居ラレマス

○小笠原委員長代理 ソレデハ選任大臣ニ對スル質問ヲ許シマス——北君

○北(時)委員 私ハ外務大臣ニ質問スル積リデアリマシタガ、大臣モ次官モ居マセスカラ、簡單ニ選任大臣ニ一ツ御尋ネヲ致シタイト思ヒマス、昨年ノ秋頃デスガ、集金郵便制度ヲ突如トシテ廢シマシタ、アレハ臨時ノヤウニモ承ツテ居リマス、又半永久的ノヤウニモ承ツテ居リマス、ドウ云フ御意思ノモノデスカ、一寸御洩シ願ヒタイ、或ハ大臣ガ分リマセヌナラ、政府委員デモ宜シウゴザイマス

○藤井政府委員 御答ヘ申シマス、御承知ノヤウニ時局ニナリマシタカラ、非常ニ努力不足ヲ來シマシテ、郵便局ニ於キマシテモ、集配人ノ手不足ヲ感ジマシテ、一方ニ於テ時局産業方面ノ貨銀方昂騰致シマシタ爲メ、サウ云フ方面ニ對スル轉職ナドガ、相當多クナツテ參リマシテ、ドウシテモ郵便局ノ仕事ヲ、或ル程度戰時下ノ體制ニ對應スルヤウナ工合ニ整理スルコトヲヤラナケレバ、到底時局ガ乗切レナイト云フヤウナ情勢デアリマシタノデ、差向キ集金郵便アルトカ、或ハ代金引換郵便アルトカ、特ニ非常ニ集配人ノ手數ヲ要スルヤウナモノヲ、一時此ノ時局下ニ於テ取扱ヲ停止スル、斯ウ云フ意味合デゴザイマス、永久ニヤルコト云フノデハゴザイマセ

○北(時)委員 其ノ事情ハ誰デモ常識デ察セラレルノデスガ、實ハ官廳ノ手ヲ省クト云フコトハ、ソレニ依ツテ大ニ出來ルト思ヒマスガ、民間ノ方考ヘマス、吾々ノ田舎ノ方ニ行キマス、雪ナド降ツテ居ル、小學校ノ先生ノヤウナ職ニ在ル者ガ、三圓カ五圓位ノ金ヲ送ルノニ、集金郵便ノ制度ガアレバ、家ニ居ツテ金ガ送レルノデスガ、ソレヲ十町モ十五町モ送ルコト郵便局マデ行カケレバナラズ、小學校ノ先生アタリト、日曜ハ休息シテ郵便局ハ閉メテ居ル、民間ノ各家庭ノ努力ヲ考ヘマスレバ、非常ニノデアラト思フ、私ハ選任省ノ方デ金ガ足りナケレバ、モウ少シ金ヲ要求シテモ宜イト思フ、丁度今各家庭デハ、米モ中々米屋ガ配達シテ呉レナイカラ、家人ガ取りノ行カケレバナラズ、直接物ヲ買フ分量モ大分減エテ居ル、吾々デモ色色ナ會ニ關係シテ居リマスガ、振替デヤツ

テ來ルト郵便局ノ方ハ拂ケレドモ、二三三日經テバ忘レシマフト云フノガ多イノデアリマス、此ノ民間ノ不便ト云フコトヲ考ヘマス、此ノ集金郵便制度ニ依ツテ、仕事ヲ營ンデ居ルモノガ多イト思フガ、是等ノ不便ト云フコトト官廳ノ便宜ト云フコトト天秤ニ掛ケテ見ルト、差額ハ非常ニ大キイノデナイカト思フ、ソコマ御考ヘニナラレタノデアリマセウカ

○藤井政府委員 御答申上ゲマス、私實ハ直接關係ヲ致シテ居リマセヌノデ、私ノ存ジテ居ル程度申上ゲマス、只今申上ゲマシタヤウニ、郵便局ノ集配人ニ非常ニ手不足ヲ來タシマシタノデ、ソレヲ此ノ儘ノ狀態デ放置シマシテ、郵便事業全般ニ對スル能率ガ低下シマシテ、其ノ爲メ強ク申シマスレバ、郵便事業ノ基礎ヲ危クスルヤウナ感ジガアリマス、ソコマ出來ルルダケ色々々種類ヲ包含シテ居ル郵便事業ノ中デ、成ベク全般的デナイヤウナ種目ヲ選定致シマシテ、サウ云フモノヲ一時停止スル、サウ云フコトニ依リマシテ、郵便事業全般ノ能率ガ、出來ルダケ低下致サナイヤウニ、勿論サウ云フ整理ヲ致シマシタカト申シマシテ、全體ノ事業ガ今マデヨリモ宜クナルト云フヤウナコトマデ、保證ヲ致スト云フコトハ中々今日デハ困難デゴザイマスガ、少シデモ一部ノ人ニ不便ヲ忍ンデ戴イテ、全體ノ能率ヲ出來ルダケ維持スル、郵便事業ト致シマシテハ、今日ハ兎ニ角事業ノ現狀ヲ出來ルダケ維持シテ行ク、是ガ重要デゴザイマシテ、ソレヲ極力ヤツテ居ル次第デアリマス、私共ト致シマシテ、從事員ノ勞ヲ厭フトカ云ツタ意味デ、整理ヲシテ居ル譯デハナイノデゴザイマシテ、

○石坂(豐)委員 私ハ選任大臣ニ極力僅カノ時間ヲ、割愛シテ戴キマシテ二、三點御伺ヒ致シタイノデアリマス、先ツ第一ニ日本發送電株式會社ノ利子補給デアリマスガ、是ハ昨年モ二千萬圓カ出マシテ、當議會ニ於テ大分問題ニナツタノデアリマス、此ノ發送電會社創立日尙ホ淺ク、經營上思ツタ通りニナラナイコトハ、何人モ考ヘル所デアリマスガ、併シ之ニ付テ内部的ニ色々々噂モアリマシタ、現大臣ハ就任以來、此ノ會社ニ大ナル刷新ヲ加ヘラレル勇氣ヲ持タレテ、既ニ總裁モ取變ツテ居ルコトデアリマス、今後大ニ國民ノ期待ニ副ハレルコト存ジマスガ、今年度亦一千何百萬圓カノ補償金ガ出テ居ル、勿論是ハ法律上ノ結果デアリマス、何トモスルコトハ出來ナイノデアリマセウカ、補償年限中何時モ幾ラデモ受ケラレルノデアル、受ケラレルノハ當然ノ權利デアルト考ヘテ、會社ガ其ノ經營ニ付テ落度ガアルヤウナコトニナツテハ、國民ニ對シテ相濟マスト考ヘルノデアリマス、元々吾々ハ本法ノ成立當時ニ於テハ、非常ニ反對ヲシテ居ツタモノデアリ、同ヒマス、選任大臣モ其ノ當時ハ反對ノ急先鋒デ居ラレタヤウデアリマスガ、ソレハ兎モ角ト致シマシテ、當時ハ斯様ナ莫大モナイ補給金ヲ取ルト云フコトハ、當局ハ言ハナカツタノデアル、全ク是ハ國民ヲ欺イタ法律デア



ノデアリマシテ、今ニ於テ吾々ハ之ヲ非常ナ惡法ナリト考ヘテ居ル、ケレドモ成立シマシタ以上ハ、惡法ト雖モ法デアリマスカラ、國民ハ之ニ泣ク／＼服従シテ行カナケレバナラスコトデアリガ、併シハ何年間斯ク云フコトガ續クノデアリマセウカ、大臣ハ近キ將來、若クハ明年度位カラ斷ジテ斯レナコトハサセナイト云フ御決心ガアルカ、ソレニ付テノ大臣ノ御抱負ヲ伺ヒタイ

○村田國務大臣 日本發送電會社ノ成績ヲ向上サセタイト云フコトハ、御同感デアリマス、御同感ノミナラス、私トシテハ責任上カラ致シマシテモ、何トシテモハ建直シテシナケレバナラスト考ヘテ居リマス、唯出來ルダケ早ク云フコトハ考ヘテ居リマスガ、何年間ニドウシヨウト云フコトハ、今ノ所ハ申上ゲニタイト思ヒマス、補給トハ申シナガラ、ヤハリ國庫カラ金ヲ出シテ居ルノデアリマス、其ノ補給額ヲ成ベク少クスルヤウニ、又ナクスルヤウニ、更ニ自力デアリテ出來マスナラバ、四分ナリ五分ナリノ配當ヲシ、同時ニ發送電其ノモノノ使命ヲ果サセタイト考ヘテ居リマス、是ハ私ノ責任ヲ以テ致シタイト考ヘテ居リマスコトデアリマス、ドウゾ御助力ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石坂(豊)委員 御決心ノ程ハ洵ニ私共サウアルベキコトト考ヘマス、國民ニ誓ハレタ國家的誓約ヲ何處マデモ履行シテ行カレルコトニ、萬全ノ御努力ヲ仰ギタイトデアリマス

此ノ縣營ハ全縣民ガ否應ナシニ、今日ノ言葉デアリマス所謂營團ニ加ハツテ居ルト同ジコトニナツテ居ル、而シテ此ノ縣營工事は日本發送電會社ノ法律ノ出來ナイ前ハ、是ハ縣營トシテ各會社ニ賣ル、或ハ又個人ニ販賣スルコト云フ風ニシテ縣ノ財政ニ資シテ居ツタ、所ガ途中ニシテ此ノ法ノ結果、否應ナシニ發送電ニ是ガ買收サレルコトニ相成ルノデアリマス、目下縣ニ於キマシテハ約六千万圓バカリノ豫算額ノ中既ニ一千二百万圓モ消費シテ居リマス、今後昭和二十年、二十一年ニナルト完成スルコトデアラウト思ヒマスガ、其ノ間ニ於テ殆ド額リノナイ工事を致シテ居ル、出來テモ自分ノモノデハナイ、人ノ處ヘヤラナケレバナラス、幾ラニ販賣スルカ其ノ契約モ出來テ居ラス、斯様ナコトヲシテ公共團體土地地方自治體ニ一ツノ下請ヲサセテ居ルト云フヤウナ有様ニナツテ居ルノデアリマス、世間ニ是レ程不盡ナコトハナカラウト思フ、一万圓カ二万圓ナラモ角、數千萬圓、殆ド縣民ノ雙肩ニ擔ヒ切レナイ程ノ大ナル工事を、自分ノ利益デアリコトノ爲ニ營マナケレバナラス、斯ウ云フコトニナツテ居ル、是ハ速ニ發送電會社ニ收容セラレマシテ、發送電ハ各所ニ於テ工事を致シテ居ルノデアリマスカラ、資材ナリ努力ガソレム、彼此レ流用スルコトガ出來ル、縣デアリマスト一ツシカナイ工事をデアリマスカラ、資材關係、努力關係ガ非常ニ困難ノ伴フコトハ當然デアリマス、又之ヲ監督シテ居ル者、其ノ他ニ之ニ從事シテ居ル者モ此ノ工事が出來上ルト、ソレデオ拂ヒ箱ニナルノデアリマスカラ、前途ニ希望モ少イ譯デアリマス、發送電ニ收容ナサルト是等ノ職員ガ全部安

心シテ、工事が出來上ツテモ他ノ方面ニ行ツテ既應ノ經驗ヲ基礎トシテ、自分ノ手腕ヲ發揮スルコトガ出來ルノデアリマス、サウ云フ關係デアアルニ拘ラズ、當局ニ於テ之ヲ發送電ニ未ダニ收容ヲ命ジテ居ラレヌヤウデアリマス、當然是ハ發送電ノ方ヘ行クコトニナラウト思ヒマスガ、速ニ之ヲ發送電ニ御移シニナツテ、縣民ヲ安心セシメラレルコトガ當然ノコトノヤウニ考ヘマス、縣營電氣ニ於テハ局長ト云フ職ガアリマスカラ、サウ云フ方面ニ選任當局、發送電當局ト御打合せノコトトハ思ヒマスケレドモ、縣民ガ非常ニ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ事ニ付テ大臣ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウカ、確タル御決心ノ程ヲ伺ヒタイトデアリマス

ナク、極メテ公平嚴格ニオヤリニナツテ居ルコトト考ヘマスケレドモ、近時世人ノ傳ブル所ニ依リマス、選任省ハ兎ニ角他ノ各省ヨリハ一層技術的ノ官廳デアアル、假令技術デナクモ其ノ職タルヤ多年練達技能ノ士デナクテハ其ノ術ニ當ルコトハ出來ナイ、人デナケレバ其ノ術ニ當ルコトハ出來ナイ、然ルニモ拘ラズ幹部ノ人ニシテ船務ノ事ヲ少シモ知ラナイ者ガ突然トシテ船務局長ニナル、或ハ又稅關長ノヤウナ職務ノ人ガドウ云フ所ヘ來ルト云フヤウナコトヲ兎角申スノデアリマス、是ハ敢テ御非難申スノデアリナイ、人事ニ關スルコトデアリマスカラ、斯ノ如キ席ニ於テ輕率ニ申スコトハ致シセマスケレドモ、私ハ左様ナ世人ノ噂ヲ聞イテ選任大臣ノ爲ニ默ツテ居ル譯ニハ行カナイ、知ツテ告ゲザルハ不忠ナリト申シマス、此ノ點ニ付テ選任大臣ハ確タル御決心ヲ御持チニナリ、又部内ノ肅正等ニ付テ御拔カリナキ御實行ガ出來テ居ルノデアリマセウカ、私共選任行政ト申シマス、此ノ時局柄最モ關係ノ大ナル役所デアアルト思ヒマス、私ハ昨年遠ク南米ニ參ツタノデアリマスカラ、船ノ關係ナドニ付テ今更思ヒテ新タニシタヤウナ譯デ、實ニ選任省ト云フ所ハ戰爭ト密接ナ關係ヲ持ツテ居ルモノデアアル、陸海軍ニ次イデノ大ナル職場ヲ持ツテ居ルモノデアアル、斯様ニ考ヘマシテ此ノ世人ノ風評ニ對シテ輕々ニ私共ハ開流ス譯ニ參ラスノデアリマス、此ノ場合大臣ニ對シテ苦言ヲ呈スルヤウデアリマスカラ、サウ云フ意味デアリナイノデアリマシテ、眞ニアナタノ部内ノ關係ニ付テ左様ナコトガアツテハ相成ラヌカラ、此ノ場合大臣ノ御決心ヲ伺ツテ置キタイ

○石坂(豊)委員 今一ツ……私共選任大臣ノ選任行政ニ對スル御抱負、御經驗ニハ深信信ヲ拂ツテ居ルノデアリマシテ、又選任大臣ニ於カレテモ人事ノ點ニハ御拔カリ

○村田國務大臣 仰セノ通り人ガ中心デアリマシテ、人事ニ對シテハ最モ注意スベキモノト考ヘラレマス、選任省ニ於キマシテモ其ノ意味ニ於キマシテ色々ノ事ヲ考ヘマシテ人事ヲ致シテ居ル次第デアリマス、併シ御注意ノ點ハ重々尊敬致シマシテ將來考ヘタイト思ヒマス

○石坂(豊)委員 私人選任省ニ關スル質問ハ終リマス

○石坂(豊)委員 今一ツ……私共選任大臣ノ選任行政ニ對スル御抱負、御經驗ニハ深信信ヲ拂ツテ居ルノデアリマシテ、又選任大臣ニ於カレテモ人事ノ點ニハ御拔カリ

○河田國務大臣 今日ハ時局ノ變轉洵ニ端倪スベカラザル状態ニアルノデ、豫算モ御承知ノ通り厄大ニナツテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ時勢ニ於キマシテハ、先刻中島君カラモ御質問ノアリマシタヤウニ、或ハ臨時豫備金ノ計上モ一方法デアルト考ヘタルト云フコトハ好マシキコトデアリマセウカ、此ノ時局ノ變轉ニ應ズル爲ニ、相當額ノ豫備金ヲ計上致シタイトデアリマス、第一豫備金、第二豫備金ヲ通ジテ一億五千万圓ノ追加要求ヲ致シマシタ後、相當豫備金支出ヲシナケレバナラスヤウナ事項ガ、點々發生シテ參ツテ居リマス、併シナガラ其ノ事項ノ内容ガ凡ソ見込ガ付キマシレバ飽クマデ調査ヲ致シマシテ、追加豫算ニ計上スベキデアリマスカラ、其ノ暇ガナク、隨テ此ノ一億五千万圓ガドウ云フコトニ使ハレルカト云フ其ノ内容ニ付テハ、何等腹案ハゴザイマセウ

○石坂(豊)委員 私人豫算ノ各款ニ付テ詳細ヲ御尋ね申上ゲ兼セルノデアリマスカラ、大體ニ於テ私共洵ニ見象バカリニ申上ゲル上ゲマスカラ、是ハ大藏大臣バカリニ申上ゲル譯デアリマセウカ、大藏大臣ハ國有財産全部ニ付テノ監督權ヲ御持チニナツテ居リマスカラ申上ゲマスカラ、此ノ追加豫算、一般特別各會計ヲ通ジマシテ、災害費ノ中デ火災ニ罹ツテ居ルモノガ非常ニ多イ、無論オ手許ノ大藏省ガ雷火ヲ受ケテ燒ケタノハ全ク論外デアリマシテ、是ハ避クベカラザル

○小笠原委員長代理 石坂君ニ申上ゲマス、大藏大臣ハ總テ御見エニナリマスカラ、其ノ前ニ政府委員デアシケレバ此ノ場合アナタノ質問ヲ御進メニナツテ如何デスカ

○石坂(豊)委員 ソレデハ極ク簡單デアリマス、今回ノ追加豫算ハ十六年一般會計ダケニ於キマシテ一億三千万圓ヲ超シテ居ル大豫算デアリマシテ、其ノ内部ヲ見マシルト如何ニモ察スルベク得ヌヤウニモ考ヘマスガ、又之ヲ掘下ゲテ能ク調ベテ見マシト、ドウモ追加豫算ノ性質ニ該當シナイヤウナモノガ甚ダ多イノデアリマス、他ノ委員諸君カラモ質問ガアツタヤウデアリマスカレドモ、如何ニモ擧キ集メテ以テ要求ハ勝手次第ニ應ゼラレト云フヤウニ吾々ハ一寸窺ハレル、是ハ嚴格ナル査定ヲセラハル大藏省ノ爲ニ頗ル惜シムノデアリマスカレドモ、時局柄重點主義ヲ要求セラレル所ノ豫算ニ對シテ極カシ御査定困難デアツタコトデセウカラ其ノ點ハ御察シ致シマスカラ、併シドウシテモ通常豫算ニ入ツテ來ナケレバナラスヤウナモノガ、其ノ實例ヲ舉ゲロト仰シヤレバ擧ゲマスカラ、即チ國民更生金庫ト云フヤウナモノガアリマスカラ、是ハ現ニ出來テ居ル、尤モ是ハ財團法人デアリテ居ルノデアリマシテ、更ニ是ハ法律

○石坂(豊)委員 ソレカラ是ハ誰カ御聽キニナツタカモ知レマセウケレドモ、今度第一豫備金、第二豫備金ヲ通ジテ大體把一億五千万圓ヲ要求シテアルノデアリマス、斯ウ云フコトハ、是ダケノ金ヲ用意シテ置カナケレバナラスト云フ御計畫デアラナラバ、其ノ見當ノ付イタ所デ、ソレム、款項目ニ其ノ金ヲ編込シテ御要求ニナルコトガ當然デアツテ、斯様ナコトヲ政府ノ勝手次第ニ使フコトニナルコト云フコトハ、議會ノ審議權ニ非常ニ關係ヲ持ツモノト考ヘマス、是ハ嚴格ナ大藏省ノコトデアリマスカラ、是ハ輕易ニ積算ナスツタコトデアリマスカラ、餘リニモ空前ノ巨額デアリマスカラ、之ニ付テ大體ノ見當ハ斯ウ云フ所ニアルノデアリ、例ヘバ昨日食糧ノ増産等ニ付テ御答辯ニナツタガ如ク、アノ一口ダケデモ

ウ三千万圓出ルノデアリマスカラ、サウ云フコトガ他ニ幾ツモアルト云フコトデアラナラバ、大體ソレヲ例示シテ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河田國務大臣 今日ハ時局ノ變轉洵ニ端倪スベカラザル状態ニアルノデ、豫算モ御承知ノ通り厄大ニナツテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ時勢ニ於キマシテハ、先刻中島君カラモ御質問ノアリマシタヤウニ、或ハ臨時豫備金ノ計上モ一方法デアルト考ヘタルト云フコトハ好マシキコトデアリマセウカ、此ノ時局ノ變轉ニ應ズル爲ニ、相當額ノ豫備金ヲ計上致シタイトデアリマス、第一豫備金、第二豫備金ヲ通ジテ一億五千万圓ノ追加要求ヲ致シマシタ後、相當豫備金支出ヲシナケレバナラスヤウナ事項ガ、點々發生シテ參ツテ居リマス、併シナガラ其ノ事項ノ内容ガ凡ソ見込ガ付キマシレバ飽クマデ調査ヲ致シマシテ、追加豫算ニ計上スベキデアリマスカラ、其ノ暇ガナク、隨テ此ノ一億五千万圓ガドウ云フコトニ使ハレルカト云フ其ノ内容ニ付テハ、何等腹案ハゴザイマセウ

○村田國務大臣 仰セノ通り人ガ中心デアリマシテ、人事ニ對シテハ最モ注意スベキモノト考ヘラレマス、選任省ニ於キマシテモ其ノ意味ニ於キマシテ色々ノ事ヲ考ヘマシテ人事ヲ致シテ居ル次第デアリマス、併シ御注意ノ點ハ重々尊敬致シマシテ將來考ヘタイト思ヒマス

○石坂(豊)委員 私人選任省ニ關スル質問ハ終リマス

○石坂(豊)委員 今一ツ……私共選任大臣ノ選任行政ニ對スル御抱負、御經驗ニハ深信信ヲ拂ツテ居ルノデアリマシテ、又選任大臣ニ於カレテモ人事ノ點ニハ御拔カリ

○河田國務大臣 今日ハ時局ノ變轉洵ニ端倪スベカラザル状態ニアルノデ、豫算モ御承知ノ通り厄大ニナツテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ時勢ニ於キマシテハ、先刻中島君カラモ御質問ノアリマシタヤウニ、或ハ臨時豫備金ノ計上モ一方法デアルト考ヘタルト云フコトハ好マシキコトデアリマセウカ、此ノ時局ノ變轉ニ應ズル爲ニ、相當額ノ豫備金ヲ計上致シタイトデアリマス、第一豫備金、第二豫備金ヲ通ジテ一億五千万圓ノ追加要求ヲ致シマシタ後、相當豫備金支出ヲシナケレバナラスヤウナ事項ガ、點々發生シテ參ツテ居リマス、併シナガラ其ノ事項ノ内容ガ凡ソ見込ガ付キマシレバ飽クマデ調査ヲ致シマシテ、追加豫算ニ計上スベキデアリマスカラ、其ノ暇ガナク、隨テ此ノ一億五千万圓ガドウ云フコトニ使ハレルカト云フ其ノ内容ニ付テハ、何等腹案ハゴザイマセウ

○石坂(豊)委員 私人豫算ノ各款ニ付テ詳細ヲ御尋ね申上ゲ兼セルノデアリマスカラ、大體ニ於テ私共洵ニ見象バカリニ申上ゲル上ゲマスカラ、是ハ大藏大臣バカリニ申上ゲル譯デアリマセウカ、大藏大臣ハ國有財産全部ニ付テノ監督權ヲ御持チニナツテ居リマスカラ申上ゲマスカラ、此ノ追加豫算、一般特別各會計ヲ通ジマシテ、災害費ノ中デ火災ニ罹ツテ居ルモノガ非常ニ多イ、無論オ手許ノ大藏省ガ雷火ヲ受ケテ燒ケタノハ全ク論外デアリマシテ、是ハ避クベカラザル

○小笠原委員長代理 石坂君ニ申上ゲマス、大藏大臣ハ總テ御見エニナリマスカラ、其ノ前ニ政府委員デアシケレバ此ノ場合アナタノ質問ヲ御進メニナツテ如何デスカ

○石坂(豊)委員 ソレデハ極ク簡單デアリマス、今回ノ追加豫算ハ十六年一般會計ダケニ於キマシテ一億三千万圓ヲ超シテ居ル大豫算デアリマシテ、其ノ内部ヲ見マシルト如何ニモ察スルベク得ヌヤウニモ考ヘマスガ、又之ヲ掘下ゲテ能ク調ベテ見マシト、ドウモ追加豫算ノ性質ニ該當シナイヤウナモノガ甚ダ多イノデアリマス、他ノ委員諸君カラモ質問ガアツタヤウデアリマスカレドモ、如何ニモ擧キ集メテ以テ要求ハ勝手次第ニ應ゼラレト云フヤウニ吾々ハ一寸窺ハレル、是ハ嚴格ナル査定ヲセラハル大藏省ノ爲ニ頗ル惜シムノデアリマスカレドモ、時局柄重點主義ヲ要求セラレル所ノ豫算ニ對シテ極カシ御査定困難デアツタコトデセウカラ其ノ點ハ御察シ致シマスカラ、併シドウシテモ通常豫算ニ入ツテ來ナケレバナラスヤウナモノガ、其ノ實例ヲ舉ゲロト仰シヤレバ擧ゲマスカラ、即チ國民更生金庫ト云フヤウナモノガアリマスカラ、是ハ現ニ出來テ居ル、尤モ是ハ財團法人デアリテ居ルノデアリマシテ、更ニ是ハ法律

○石坂(豊)委員 ソレカラ是ハ誰カ御聽キニナツタカモ知レマセウケレドモ、今度第一豫備金、第二豫備金ヲ通ジテ大體把一億五千万圓ヲ要求シテアルノデアリマス、斯ウ云フコトハ、是ダケノ金ヲ用意シテ置カナケレバナラスト云フ御計畫デアラナラバ、其ノ見當ノ付イタ所デ、ソレム、款項目ニ其ノ金ヲ編込シテ御要求ニナルコトガ當然デアツテ、斯様ナコトヲ政府ノ勝手次第ニ使フコトニナルコト云フコトハ、議會ノ審議權ニ非常ニ關係ヲ持ツモノト考ヘマス、是ハ嚴格ナ大藏省ノコトデアリマスカラ、是ハ輕易ニ積算ナスツタコトデアリマスカラ、餘リニモ空前ノ巨額デアリマスカラ、之ニ付テ大體ノ見當ハ斯ウ云フ所ニアルノデアリ、例ヘバ昨日食糧ノ増産等ニ付テ御答辯ニナツタガ如ク、アノ一口ダケデモ

ウ三千万圓出ルノデアリマスカラ、サウ云フコトガ他ニ幾ツモアルト云フコトデアラナラバ、大體ソレヲ例示シテ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河田國務大臣 今日ハ時局ノ變轉洵ニ端倪スベカラザル状態ニアルノデ、豫算モ御承知ノ通り厄大ニナツテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ時勢ニ於キマシテハ、先刻中島君カラモ御質問ノアリマシタヤウニ、或ハ臨時豫備金ノ計上モ一方法デアルト考ヘタルト云フコトハ好マシキコトデアリマセウカ、此ノ時局ノ變轉ニ應ズル爲ニ、相當額ノ豫備金ヲ計上致シタイトデアリマス、第一豫備金、第二豫備金ヲ通ジテ一億五千万圓ノ追加要求ヲ致シマシタ後、相當豫備金支出ヲシナケレバナラスヤウナ事項ガ、點々發生シテ參ツテ居リマス、併シナガラ其ノ事項ノ内容ガ凡ソ見込ガ付キマシレバ飽クマデ調査ヲ致シマシテ、追加豫算ニ計上スベキデアリマスカラ、其ノ暇ガナク、隨テ此ノ一億五千万圓ガドウ云フコトニ使ハレルカト云フ其ノ内容ニ付テハ、何等腹案ハゴザイマセウ







ノデ、此ノ點ニ付テ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フデアリマス

○河田國務大臣 武田君ノ御質問ノ前提トナツテ居リマス所ノ其ノ一ツデアル租稅收入ノ見込額、大體十五年度ノ現計ト同ジデアルト云フコトハ其ノ通りデアリマス、武田君ハ只今減少ニナツテ居ルコト云フ御話デアリマスガ、少シ減少ニナルデゴザイマセウ、一千万圓位ナモノデゴザイマスカ、千二百万圓位ナモノデゴザイマスカ、大體同額附近デアルト思ヒマス、豫算ノ形式上ハ四億バカリノ自然増収ニナリマスケレドモ、今日ノ昭和十五年度ノ收入見込ト比較致シマスト、大體十六年度ノ收入見込ハ昭和十五年度分ト同ジト見テ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ今日此ノ豫算ノ收入ハ確保シ得ルモノト考ヘテ居ルデアリマス、併シレハ、大體國民ノ所得、租稅ノ上カラ見タル點ニ於テハ大體收入ハ同ジデアルト云フコトハ、十五年度ト大體同ジ程度ノ生産其ノ他經濟事情ガアルモノト、斯ウ見テ居ルノデアリマシテ、非常ニ是ヨリ惡クナルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセス、同時ニ武田君ノ言ハレル通り非常ニ多クナルトモ考ヘテ居ラス次第デアリマス、然ルニ茲ニ私ハ純計ノコトハ能ク報告ハ受ケテ居リマセスノデ幾ラニナルカ知リマセスガ、ソレハ二十億ニナリマスカ、十億ニナリマスカ、増加シテ居ルダラウト思ヒマス、隨テ國家ノ經費ガソレダケ殖エテ居ルコトハ是ハ爭ヘナイコトト思ヒマス、然ルニ一方大體十五年度ト經濟狀態ガ同ジデアルニ拘ラス、國ノ歳出ガソレダケ殖エテ行クカラシテ、資材等ハドウナツテ行クカト云フ御話デアリマスガ、度々申上ゲマス通り繰延

其ノ他ノ方法ヲ以テマシテ九億圓ノ要求減ヲ致シテ居リマス、是ハ一般會計ニ付テ假リニ例ヲ取ツテ申上ゲマスト、ヤハリ是ハ物動計畫等トモ睨ミ合ハセマシテ、資材ガ到底得ラレナイト見タモノニ付テ、多ク繰延ベテ致シテ居ルデアリマス、七億乃至八億ノ一般會計ニ於ケル増加ニ付キマシテモ、ソレハ國債費ノ増加等ノ事務費ニ屬スルモノガ増加致シテ居ルデアリマシテ、必ズシモ資材ヲ要スルモノノミガ増加シテ居ルコト云フコトハナイノデアリマス、又資材ノ多ク要ル所ノモノノ豫算ノ増加ト云フモノハ、ヤハリ何ト申シマシテモ今日ノ場合主トシテ軍需品等ノモノデアリマシテ、サウ云フ結果カラ申シマシテ、而モ物資ノ方ハ前年度通りニ行カナケレバ民間ノ方ノ資材ナドガ窮乏ニナラダラウ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレハ相當覺悟シナケレバナリマセス、假リニ多クノ生産ヲ期待シ得ナクテモ、同等ノ物資ト致シマシテ所デ、相當軍需品等ニ廻サナケレバナリマセスカラ、先ヅ第一ニ軍需品、次ニ俗ニ官需民需ト申シマスガ、官需ニ於テハ極力節約ヲ致シテ居ル次第デアリマス、民需官需ハ窮乏ニナルト云フコトハ是ハドウモ已ムテ得ナイコトト存ジマス、唯併シ民需ガ今武田君ガ申サレマスヤウニ、非常ニ壓迫ヲ加ヘラレルト云フヤウナコトデハ國民ノ意氣ニモ關係シマシ、國民ノ生活ヲ安定セセル意味ニ於ケル物資ト云フモノハ十分ニ考究シテ行キタイト考ヘテ居リマスケレドモ、普通ノ建築トカ土木ノ土木ハ尤モ其ノ努力ガ不足デアリガ、建築營造物ト云フヤウナモノニ對シテハ相當窮

屈ニナルト云フコトヲ覺悟シナケレバナラヌ、斯ウ思ツテ居ル次第デアリマス、ソコデ今實行豫算ト云フモノハ大々的ノ實行豫算ヲ編成シナケレバナラヌチヤナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ屬申上ゲマシテ通り、何ト申シマシテモ物動計畫ハ金錢會計ト違ヒマシテ、貿易ノ狀態其ノ他ノ事情ニ依リマシテ時々刻々ニ變化スルモノデアリマシテ、是ハ四半期ナラ四半期、三半期ナラ三半期、三月ナリ四月ト云フヤウニ、物動計畫ノ實行ト云フモノハ相當國ノ歳出モ按配シテ參リタイト思ヒマスガ、ソレニ依リマシテ自然費用ノ出ルコトモゴザイマセウガ、當初カラ大々的實行豫算ヲ編成スル必要ハナイモノト考ヘテ居リマス、尙ホ物資ノ問題ニ付キマシテハ今申上ゲマシタ程度デアリマスガ、相當今申上ゲマシタ軍需等ノ關係ニ於キマシテハ、或ル方法ニ依リマシテ單純ニ昭和十六年度ニ於テ生産スベキ所ノ資材以外ニ、或ル程度軍需等ニ充テル資材ハ用意シテアルコトヲ一言附ケ加ヘテ置キマス

○武田委員 御分リニナラヌトスレバ仕方ガナイノデアリマスガ、從來豫算ノ場合ニ人件費ト物件費ノ割合ヲ參考資料トシテ御提出ニナツタコトハアルノデアリマス、唯私ハ此ノ際殊ニソレヲ伺ツタノハ、此ノ豫算ノ内容ヲ見マスルト、從來ノ政府カラ御報告ニナツテ居ルヨリハ、物件費ガ餘計ニナリシナイカト云フ懸念ガアツタカラソレヲ伺ツタノデアリマスケレドモ、御調ベガナイトアラバ仕方ガナイガ、ドウモ少シク私共ニハ變ニ考ヘラレルノデアリマス、普通ノ物動計畫ト見合ハシテ豫算編成ヲシナイ時デモ、大藏省ガサウ云フコトヲ御調ベニナツテ御報告ニナツテ居ル、況ヤ物動計畫ト嚴重ニ睨ミ合セテ豫算ヲ編成スルト云フ場合ニ、豫算全體ノ物件費ト人件費ノ割合ヲ御調ベニナラナイデ、ドウシテ此ノ物動計畫トノ睨ミ合セガ適當ニ出來タカト云フコトヲ私ハ寧ろ疑フ位デアリマス、ケレドモ既ニ御調ベニナラナイト云フモノヲ私ハ強ヒテ今承ラウトハ思ヒマセスガ、ソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ次ニ伺ヒタイノハ、一般會計ノ豫算並ニ追加豫算ヲ拜見致シマスルト、隨分補助金ガ多クナツテ居ルノデアリマス、補助金トカ補償金ト云フモノガ多クナツテ居ルコトハ、思フニ政府ノ政策上カラ出タモノデアラツテ、即チ低物價ヲ維持スル爲ニ値段ヲ上ゲルカ、然ラズンバ補助金若クハ補償金ヲ

與ヘテ低物價ヲ維持スルト云フ此ノ二ツニ對シテ、政府ハ低物價ヲ維持シテ其ノ代リニ補助金ヲ以テ低物價ヲ維持スル所ノ力ニスルト云フ御方針ノ下ニ是ガ出タモノト思ヒマス、私ハ此ノ低物價維持ニ對シテ、此處デ補助金ガ宜イカ、物價ノ値上ガ宜イカト云フ問題ニ觸レヨウト云フデアリマセス、唯要點ハ低物價維持ノ爲ニ要スル所ノ補助金ヲ、如何ナル財源デ賄フカト云フコトハ、是ハ重大ナル問題デアツテ、此ノ低物價維持ト云フ觀點カラ見マスルト、率直ニ私ノ意見ヲ申上ゲレバ、是ハドウシテモ増稅デ賄フベキモノデアルト私ハ思フデアリマス、是ハ昨年ノ豫算委員會ニ於テモ、私ハ其ノ當時大藏大臣ニ其ノコトヲ申上ゲタノデアルケレドモ、大體御尤モダト云フヤウナ御話デ、明確ナル御答辯ガナクツタノデアリマス、昨年ヨリハ本年ハ一層此ノ補助金ガ多クナツテ、此ノ低物價ト補助金トノ關係ハドウ云フコトニナルカト申シマスレバ、私ガ多クノ説明ヲ申シマスマデモナク、低物價ヲ維持スルト云フコトハ所謂惡性インフレーションヲ回避シヨウト云フ目的カラ出タノデアリマスカラ、一面ニ於テ低物價ヲ維持シツツ、一面ニ於テ補助金ノ名ヲ以テ政府カラ信用ノ創造シテ澤山ノ通貨ヲ放出致シマスルナラバ、依然トシテ物價ヲ高クナラシメルト同様ナル「インフレーション」ヲ誘發スルコトハ、是ハ當然ノ理窟ト思フデアリマス、ソレニ低物價維持ノ爲ニ補助金ヲ増額シヨウト仰シヤレバ、ドウシテモ其ノ補助金ハ増稅デ賄フコトヲナケレバ、是ハ論理ガ合ハヌ、辻褄ガ合ハヌト私ハ思フデアリマス、此ノ點ヲ大藏大臣ニ伺フデアリマ

ス、尙ホ序デニモウツ附加ヘテ斯ウ云フコトヲ申上ゲテ大藏大臣ノ御説明ヲ伺ヒタイ、ドナタカノ質問ニ對シテ増稅ハヤラス積リデアル、總ベテ増稅ヲヤルコトハ面白クナイ、斯ウ云フ御意見デアリマシタカラ、大藏大臣ハ増稅ヲヤラスト云フ御決心ダト云フコトハ分ツテ居リマスカラ、敢テ私ハ其ノ點ヲ重ネテ伺ハヌケレドモ、本年ハ増稅ハ勿論オヤリニナラヌコトハ、御答辯ニ依ツテモ亦今日ノ事情ニ於テモ明白デアリマセウ、併シナガラ私ハ今申上ゲタイインフレーションヲ回避スル意味ニ於テ、補助金額ヲ増稅デ賄フ方ガ理論的ニモ相當デアリ、實際的ニモ適切デアルト考ヘルノミナラズ、今日ノ稅制ニ於テ「私ハ昨年ノ稅制委員會ニ於テモ私ノ卑見ヲ一應ハ申上ゲタノデアリマシタガ、政府ノ御取上ゲ得ルコトハ出來ナカッタガ、今日ノ我が國ノ稅制ニ於テ相續稅ト云フモノハ洵ニ理窟ニ合ハナイ稅デアルト實ハ思フデアリマス、是ハ稅制ノ問題ニナリマスガ、長イコト申シテ居ルコトハ出來マセスガ、結論的ニ申上ゲレバ、私ハ相續稅ト云フモノハドウシテモ租稅理論トシテハ成立タヌモノダト思フデアリマス、ソレデ既ニ相續稅ヲ求ムル以上ハ財產稅ヲ取ルベキモノデアル、サウシテ相續稅ヲ廢止スベキモノデアル、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルデアリマス、相續稅モ決シテ是ハ所得カラ取一種ノ「キャピタル・ロビー」デアリマス、サウシテ私ハ或ル財產ガ相續財產トシテ移轉スル時、其ノ機會ノミヲ押ヘルト云フ理論ハ、ドウシテモ稅制理論カラ成立タヌト思フ、ソレ故ニ私ハ一般財產稅ト云フモ

ノヲ設置シテ、相續稅ヲ御廢止ニナルナラバ、一面ニ於テ稅額ハ相當増スルミナラズ、又稅制ノ組織的ニスル上ニ於テモ適當デアルト思フデアリマス、偶、今ノ補助金ノ問題ハドウシテモ増稅デ賄フベキ理論ノモノト信スル關係上其ノコトヲ申上ゲテ、明年度ノ豫算編成ニ對シテ大藏大臣ハ私ノ今申上ゲタ點ニ付テ御考慮ヲ下サルコトガ出來マセウカ、ドウデアラウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○河田國務大臣 各種ノ補助金ノ財源ハ稅ヲ以テ充テルト云フコトノ方ガ、公債財源カラ來ルト云フコトヨリ理論的デアルトハ私モ認メマス、併シナガラ此ノ追加豫算ニ於テハ、公債ノ財源ト見合フヤウニナツテ居リマスケレドモ、之ヲ一段總豫算ト合ハセマシテ考慮致シマス時ハ、無論前ニ例ニ引カレマシタヤウナ計數上ノ自然増收ト云フモノモゴザイマス、其ノ他ノ專賣益金收入等ノ増收モアリマス、必ズシモ全體ヲ合セマスト追加豫算ニ出マシタ所ノ助成金ガ悉ク一時的ノ公債財源ヲ以テ充テテ居ルト云フ譯デモナイト思ヒマス、併シナガラ又此ノ助成金ト云フモノモ、是ハ一部ノ臨時ノ經費デゴザイマスカラ、悉ク經常歲入トシテ租稅ニ依リマスカラ、云フコトモ言ヘナイカト思フデアリマス、尤モ只今租稅收入ハ臨時利得稅ノ臨時收入モゴザイマス、ソレ等ノモノハ總豫算ノ追加豫算ト合ハセマシテ考慮致シマスレバ、此ノ助成金ガ全部公債財源ニ依ツテ居ルト見ルノモ如何ナモノデアラウカト思ヒマス、借テ又本年ニ於テ増稅ヲスル意思ナシト云フコトハ、既ニ御諒承ニナツテ居ルノデアリマスガ、相續稅ヲ廢止シテ一般財產稅ヲ起ス意思ナ



○河田國務大臣 只今ノ昨年ノ民間資金ガ...

○武田委員 今私ノ事業資金九十億ト申シ...

○河田國務大臣 只今御質問デハナカ...

○河田國務大臣 只今御質問申スカ...

思ヒテ致シテ零細ナル貯蓄ヲ致シテ居ル向キ...

設ケマシテ、株價ノ維持ト云フコトニ乗出...

題デハナト考ヘマスルノデ、大藏省ニ於...

アリマス、若シ左様ナコトガ大藏當局ノ御...

ハ昨年ハ六十億デアツタノデアリマスカ...

○武田委員 今ノ問題ハ、私ハ單ニ金融業...

上ゲルト云フノガ目的デアルカ、或ハ將來...

○河田國務大臣 只今御質問申スカ...



令ヲシテケレバナラヌコトモ起リマセウト  
覺悟致シテ居リマス、但シソレヲ何處  
程度ニ致シマスカト云フヤウナコトニ付キ  
マシテハ、今此處デ明言致スマデニ固マツ  
テ居ナイモノダト、斯ウ思フテ居リマス、  
併シ今武田君ノ言フ、事態ニ依ツテハ融資  
命令ヲスルヤウナコトガ起ルコトハ覺悟ヲ  
致シテ居リマス、覺悟ト申シマスカ、考  
ヘト申シマスカ、考ヘテ居リマスノデ、要  
スルニ決シテ輕視ヲシテ居ルノデハナイ、  
惡クハナイカラ其ノ儘ニシテ置イタノダト  
云フ、サウ云フ態度デナイコトハ明カデア  
リマス

○武田委員 御釋明ヲ了承致シマシタ、今  
大藏大臣ハ場合ニ依レバ命令融資モシナケ  
レバナラナイト云フ御話デゴザイマシタ  
ガ、サウシマス、是ハ多少金融界ノ機微ニ  
關スルコトデアラカラ色々御注意ニナツタ  
點モアルカモ知レマセウケレドモ、融資  
命令ヲスルコト云フコトニ致シマスレバ、是  
ハ法律ノ命ズル所ニ從ツテ、政府ハ其ノ補  
償ニ立ツ譯デアリマス、國庫ノ負擔ニ  
關スルコトデアリマス、ソレ故ニ凡ソレラ  
位ノ資金ガアツタラ、政府ノ目的トセラ  
レルコトニ足ルカト云フコトノ見當モ御  
付ケニナラナケレバナラヌコトデアリマス、  
隨テ又融資ヲスルコト云フ意味ニ於テハ、  
是ハ國家ノ負擔ニ於テ融資ヲスルコト云フ  
コトデアリマス、其ノ見當ヲ付ケ  
ナケレバナラヌコトデアリマス、隨テドウ  
ナルカ分ラヌ、マダソコマデ話ガ進ンデ居  
ナイトスレバ、今日何フコトハ出來ナイカ  
モ知レマセウガ、新聞ナドニ現ハレタ所ニ  
依レバ、大凡二億圓ト云フヤウナ説ガアリ  
マス、ソレデ何ヒマスガ、一體株價ノ維持

ヲスルコト云フ目的ハ、申スマデモナク昨年  
ノ秋以來非常ニ暴落ヲ致シテ、適當ニ株價  
ノ位置ヲ保ツテ居ラナイカラ、之ヲ維持ス  
ルコトハ當然ノコトデアリマスガ、併シナ  
ガラ荷クモ政府ノ意圖ヲ織込シテ社會ハ、  
實質的ニ半官半民ノ會社トモ言フテ然ルベ  
キヤウナ性質ヲ持ツコトト私ハ思フノデア  
リマス、株價ノ維持ノ爲ニ株式取引ニ政府  
ノ手ガ伸ビタト見ナケレバナラヌコトデア  
リマス、サウシマス、一體株價ノ適正ノ位  
置ト云フモノハ、位デアアルカト云フコト  
ヲ先ツ先決シナケレバ、ドレダケ資本ガア  
ツタラ其ノ維持ガ出來ルト云フ結論ハ、私  
ハ出テ來ナイと思フ、ドノ位ナ程度ヲ以テ  
大藏大臣ハ、勿論株價ハ始終上下スルモノ  
デアリマス、是ハ釘付ケニスル譯ニハ  
行キマス、利便ヲ得ルコトトシテドノ位ノ株  
價ニ維持スル御見込デアリマス、ドノ位  
アルカ、隨テ其ノ維持ヲスルノニ、ドノ位  
ノ資金ガアツタラ宜イコト認メニナルノデ  
アリマセウカ、ソレヲ何レバ仕合セタト  
思ヒマス

○河田國務大臣 今日ノ生産擴充ノ爲ニ株  
價ノ位置ヲ、ドノ程度以上ニ少トモ維持  
スルコトヲ必要トスルカ、隨テ其ノ利便リ  
ガドノ位ニナルコトガ最も適當デアルカ、  
其ノ結果何處ノ資金ガ要ルカト云フコトハ、  
私ニハ分リマセウ、カルガ故ニ先刻申上  
テマシタヤウニ、其ノ道ノ專門家ガ十分考  
究シモシタ上ニ、其ノ必要ニ應ジマシテ  
ハ、尤モト思ヒマス、金額ニ付テハ融資命  
令亦辭セズ、斯ウ申上ルガ宜イコト云フコ  
トハ、其夕殘念デゴザイマスガ、私ノ知識  
トシテハ、其ノ程度ヲ申上ルコトハ出來ナ

コトヲ構ハス見テオイデニナツテ、サウシ  
テ政府ノ負擔ニ於テ、政府ノ責任ニ於テノ  
ミ株價ノ維持ヲ御圖リニナラウト云ツテモ、  
ソレハ私ハ見當違ヒデハナイカト思フノデ  
アリマス、今日私ノ見ル所ヲ以テ致シマス  
レバ、此ノ株價ノ値段ニ最近著シク影響ヲ與  
ヘタモノハ、何デアアルカト申シマスレバ、  
例ノ經濟新體制ノ發表ニ當リマシテ、公益  
優先、總テノ企業ヲ公益優先ニ依ツテ決  
ルト云フヤウナ考ヘ方、是ガ少カラヌ影響  
ヲ私ハ與ヘテ居ルと思ヒマス、又更ニ資金  
ト經營ノ分離ト云フヤウナ説ガ、一時非常  
ニ行ハレタ、企業院方面、商工省方面ニ經濟新  
體制ヲ打建テルニ當ツテ、經營ト資本ヲ分離  
ノ方針ニ依ツテヤルノダト云フヤウナ評判  
ノ立つタ時、著シク株價ガ下ツタト云フコト  
ハ、大藏大臣モ御承知ノコトダト思フ、其ノ  
後大蔵大臣御加ハリニナツテ、所謂經濟關係會  
議ニ於テ、ソレガ多少緩和サレタモノガ世  
ノ中心ニサレタ時、ソレニ依ツテ經濟  
人ノ心理ヲ鎮靜セシメマシテ、一舉ニシテ完  
全ニ回復シタト申セマセウガ、或ル程度  
マデ株價ノ回復ガ出來タト云フコトモ、是  
モ御承知ノコトデアリマス、サウシマス  
ト、斯ウ云フ點ガ經濟界ノ安定、隨テ又株  
價ノ維持ニ、重大ナル關係ガアルト、私ハ  
思ヒマス、又斯ウ云フコトモ極メテ重大ナル  
關係ガアルト思フ、經濟新體制ノ要綱ニ  
依リマス、最後ノ條項、政府ハ大政翼  
贊會ト連絡ヲ取ツテ、經濟團體ノ組織ヲ  
監督スルコト云フヤウナ意味ノコトガアリマ  
ス、監督ト云フ言葉ヲ使ツテアツタカドウ  
カ知リマセウガ、兎ニ角サウ云フヤウナ言  
葉ガアル、サウシマス、其ノ經濟團體、隨  
テ經濟團體ヲ通シテ企業ヲ指揮監督スルモ

ノハ、政府デアアルト同時ニ、一面ニ於テハ大  
政翼贊會デアアル、然ルニ其、大政翼贊會ノ  
首腦部ニ、財産奉還ト云フヤウナコトヲ主  
張スル者ガ居ルコト云フコトデ、是ガ經濟人  
ニ非常ナル脅威ヲ與ヘルト云フコトハ、私  
ハ動カスベカラザル事實デアアルト思フ、私  
ハ經濟人カラ厲クサウ云フコトヲ聞イテ居ル  
ノデアリマス、而シテ私ハサウ云フコトハ  
コトハ、富山縣アタリデサウ云フ「ボス  
ター」ヲ出シタト云フ話ヲ聞イテ居リマス  
レドモ、ソレハハツノ間道ツコトデアラ  
ツ、大政翼贊會ノ首腦部ニ左様ナ亂暴ナコ  
トヲ言フ者ハアルト、私ハ其ノ時辯解  
ヲ致シテ居リマス、其ノ後私ハ色々ナ文  
人デ、明カニ自分ノ名ヲ署シテ、財産奉還  
ヲ主張シテ居ルノデアリマス、斯様ナ危險  
ナ人物ノ居ル所ノ大政翼贊會ニ、企業家自  
身ガ指揮監督セラレルト云フコトデアリマ  
シタナラバ、經濟人ガドウシテ安心ヲ致シ  
マセウ、イツ何時ドナコトニナルヤラ分  
ラヌト云フ恐怖ノ念ヲ抱タコトハ、無理カラ  
スノデアリマス、況ナ一面ニ於テハ、政府  
ノ方針ハ利潤ヲ統制シナケレバナラヌ、而  
シテ適正價格ヲ實行シナケレバナラヌト仰  
シヤツタ、其ノ適正價格トハ、何ノ程度ノモ  
ノデアアルカト云フコトハ、マダ御示シナサ  
ラナイ、今日ニ於テ價格ノ暴騰ハ自由自在  
ニ放ツテ置イテ宜イコト云フヤウナ意見ノ  
人ハ、ソレハ或ハ一、二アルカモ知レマセ  
ウガ、殆ドナカラウト思ヒマス、或ル程度  
ノ適正ナル訂正ヲ加ヘルト云フコトニ付テ  
ハ、異論ハナカラウト思フ、併シ私ハ政府  
ハ適正價格ト云フケレドモ、其ノ適正價格

トハ何デアアルカト云フハ、抽象的ノ説明シ  
カナイノデアリマス、買フ者ニモ宜シク、  
生産スル者ニモ宜シク價值ト云フモノヲ以  
テ、適正價格ト云フツテ居ラレル、サウ云フ  
抽象的ノコトデアハ、私ハ經濟人ハ安心シ  
イト思フ、即チ原價計算ノ要綱ト云フモノ  
ヲ、海陸軍省デ發表シテ居リマス、大藏省  
デモソレハ御研究ガト云フコトデアリマス  
ルガ、是ハ學說的ニモ、實際的ニモ研究シ  
テ決メルコトハ、ソナニ困難ナコトデア  
アリマス、唯適正價格トハ、其ノ定  
ラレタル原價計算ニ、ドノ位ナ利潤率ヲ加  
ヘテ、ソレヲ適正價格トスルノガ適當カト  
云フ、其ノ程度ガ決マラナケレバナラヌト  
思ヒマス、序ナガラ若シ其ノ程度ニ付テモ、  
大藏大臣ノ御意見ガアツタナラバ、ソレモ  
承リタイ、財界人ノ安心ヲ得ル爲ニ、隨テ  
又株價ノ適當ナル維持ヲスル爲ニ、色々  
ル施設ニソレニ影響スル所ノ條件ヲ、マ  
ダ二、三指摘シテ申上ゲタイノデアリマス  
ガ、餘リニ長クナルヤウデ恐縮デアリマス  
カラ、主ナル點ヲ指摘シテ申上ゲタイノデア  
リマス、今申上ゲタ點ニ付テ、一ツ御意見  
ヲ承レバ仕合セタト思ヒマス

ハ何カ浮動株ト云フヤウナコトヲ申シマス  
ケレドモ、私ハ理論的ニ考ヘルト、必ズシ  
モ今日ノ浮動株ハ明日ノ浮動株デハナイト  
思ヒマス、現ニ最近ノ東京株式取引所ノ發  
表ニ依リマス、現在ノ我方國ノ株式ノ昨  
年ノ秋カラ暮ニ掛ケテノ評價ハ、一番高ク  
評價シタ時デ四百億圓、安ク評價シタ時デ  
三百五十億圓ト發表シテ居リマス、三百五  
十億圓乃至四百億圓ト評價サレタ多數ノ株  
式ヲ、二億圓乃至三億圓ノ端々金デ、之  
ヲ適當ニ價格ニ維持スルコト云フコトハ、  
所謂ハ木ニ縁ツテ魚ヲ求ムルヤウナモ  
ノデハナイカト云フ風ニ私ハ考ヘルノ  
デアリマスガ、私ハソレハソレト致シマ  
シテ、今大臣ノ仰シヤツタ通り、大臣ハ  
素人デ分ラナイカラ、專門家ガ今折角  
研究シテ居ルカラ、其ノ研究ノ結果ニ依ツ  
テ適當ニ思フナラバ、其ノ金ダケハ命令  
融資ヲシテヤル決心ダト云フ御話デアリマ  
スカラ、其ノ點ハ其ノ程度ニシテ置クヨリ  
仕樣ガアリマセウガ、ソレニ續イテ私ノ同  
ヒタイト思フ重點ハ、是カラ申上ゲル事柄  
デアリマス、私ノ考ヘル所ニ依リマス、  
若干ノ資金ヲ以テ投入レニ買入レタト云フ  
コトデアハ、一時的ニハ勿論値上リマセウ、  
又賣出シタナラバ下リマセウ、サウ云フコ  
トハアリ得ルト思ヒマス、併シナガラ私ノ  
考ヘガ正シケレバ、私ハ株價ノ値段ト云フモ  
ノト、物ノ値段ト云フモノハ同ジ原理デ動  
カスト思フノデアリマス、是ガ若シ違ヒマ  
スナラバ、大藏大臣カラ御説明ヲ願ヒタイ  
ノデアリマスガ、物ノ値段ハ自由主義經濟  
ノ場合ニ於テハ、所謂需要供給決マルノ  
デアリマスケレドモ、株價ノ値段ト云フモノ  
ハ、需要供給デハ、即チ市場ニ於ケル株價ハ、



ノ價格ノ維持ハ、即チ投資家ノ爲ニ利益ガアル、隨テ生産ノ活潑ヲ來ス所以デアルト云フコトノ爲ニ、株價ノ維持ヲ非常ニ欲シテ居ルニモ拘ラズ商工當局其ノ關係ノ人ノ行動ガ、之ニ反シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスレバ、是ハ飽クマデモ訂正シテ行カナケレバナラズト存ジマス、

商工當局ナリ企業院當局ハ、決シテサウ云フ積リデハナイノデゴザイマセウガ、時ニ御批評ヲ受ケルヤウナコトガアリマスレバ、其ノ點ハ十分訂正シテ行カナケレバナラズト思ヒマス、併シナガラソレヲ先ヅ根本的ニ直シテ參ツテ、一方株價ノ高低ハ、自然トソレニ依ツテ直ルコトヲ俟ツト云フ譯ニモ參ラスカモ知レマセシ、況ナ國際情勢ノ變化ノヤウナコトカラ生ズル株價ノ高低ト云フモノハ、是ハ避ケ難イノデハナイカ、丁度今日ノ中小商工業者ニ對シマスル政府ノ施設ガ、出來ルダケ轉失業者ノ如キモノヲ發生セシメナイヤウニ致シマシテモ、他ノ事情カラ已ムヲ得ズ發生スルト云フコトハ、アリ得ルト同様デアリマス、隨ヒマシテ横道ニ入りマスケレドモ、此ノ轉失廢業者ガ出來レバ、之ニ對シテハ國民更生金庫、或ハ其ノ他ノ指導機關ト云フモノヲ設ケナケレバナラス、國民更生金庫ガ出來ルシタカラト云ツテ、轉失業者ヲシテ「ワツ」作ツテ、國民更生金庫ノ繁昌スルト云フヤウナコトハ、無論出來ナイ、一方ニ轉失業者ガ出來ナイヤウニ致シマシテモ、已ムヲ得ザル他ノ事情カラ生ズルモノハ、之ヲ救済シナケレバナラスト同様ニ株價ノ維持ニ付キマシ

テモ、已ムヲ得ザル關係カラ、餘リ下落スルト云フヤウナコトヲ防グ爲ニ、故ニ一ツノ操作ノ會社ヲ作ルト云フコトハ、其ノ意味カラ申シマシテ、無意味デアラト仰シ存ジマス、武田君モ無意味デアラト仰シヤツタ譯デアリマセウガ、或ハ將來ソレヲ必要トスルノデハナイカト思ヒマス、併シ根本的ニ株價ノ維持ノ方策ニ向ツテ、常ニ深甚ナル注意ヲ拂ツテ居ルコトハ申上ケルマデモナイコトデアリマス、而シテ最後ノ具體的ノ御質問デアアル適正價格、隨テ適正ナル利潤ト云フコトニ付キマシテハ、今原價計算ト云フコトハ、多分重層工業ニ付テハ實行シテ居ラレコトデアリマセウガ、一般的ニマダ其ノ案ハ發表シテ居リマセウ、是ハ色々計算ノ仕方モ伺ツテ居リマセウレドモ、故ニ之ヲ施行スルマデノ成案ハマダ得テ居ラナイノデアリマシテ、其ノ途中ニ於テ、私ガ輕々シク申上ケルコトハ、却テ市場ヲ亂スコトト思ヒマスノデ、實行シ得ル成案ヲ得マセウガ、發表致スコトハ御猶豫ヲ願ヒマス

○武田委員 私人質問ハ是デ終リマス

○増田委員 河野君

○河野(密)委員 私人質問ハ是デ終リマス

○河野(密)委員 河野君

御尋ね申上ゲタイと思ツテ居リマスガ、外務大臣モ、次官モ政府委員ノ方モ殆ドイラツシヤナイヤウデアリマス、ソコデ大藏大臣ニ質問シテ居リマシテ、若シ外務大臣ガイラツシヤウナラバ、外務大臣ニ質問致スコトヲヤウニ、御願ヒ致シマス

私ハ殆ド質問ガ盡サレテ居リマスノデ、要點タケ申上ゲマス、今度ノ議會ニ於ケル質問アズツト通觀シテ見マスト、私ハ明カニ二ツノ流レガアルヤウニ感ズルノデアリ

マス、此ノ流レハ極メテ重要ナ問題デアリマスケレドモ、ソレニ直接觸レルコトハ止メマシテ、具體的ノ問題ニ付テ御尋ね致シタイト思ヒマス、大藏大臣御存ジノヤウニ昨年ノ九月ニ日獨伊ノ三國同盟ガ締結致サレマシタガ、其ノ三國同盟條約ノ前文ニ「大東亞及ビ歐洲ノ地域ニ於テ各其ノ地域ニ於ケル當該民族ノ共存共榮ノ實ヲ舉ゲルニ足ルベキ新秩序ヲ建設シ、且ツ之ヲ維持セシコトヲ根本義ト爲シ、右地域ニ於テ此ノ趣旨ニ據レル努力ニウキ相互ニ提携シ且ツ協力スルコトニ決意セリ」斯ウアリマシテ、三國條約ノ締結ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ新秩序ヲ建設致スコトハ、此ノ同盟條約ノ中ノ第一條ニ於テモ、日本ハ「ドイツ及ビイタリア」ガ「ヨーロッパ」ニ於テ新秩序ヲ建設スルノ指導ヲ認メ、獨伊ハ東亞ニ於テ日本ガ新秩序ヲ建設スルノ指導スルコトヲ認メ、斯ウ云フ意味ノコトガ書ビテアルノデアリマス、私ハ勿論外交ノコトヲ存ジテ居ル譯デアリマセウガ、斯ウ云フ同盟條約ト云フモノハ、頗ル異例ニ屬スル同盟條約ト云フモノデアリマス、新秩序トハ何ソヤト云フコトヲ、少シモハツキリシテ居ラナイノデアリマス、ケレドモ、此ノ新秩序ト云フ意味ハ、是ハ決シテ單ナル軍事的ナ意味、或ハ外交的ナ意味ノモノデハナイカラウト思フノデアリマシテ、此ノ新秩序ニハ、大藏大臣ノ管轄ニ屬スベキ事項ガ、最も多ク含まレテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、ソコデ私ノ御尋ねシタイト思フノハ、此ノ三國同盟條約ニ依ツテ日本ハ獨伊ガ「ヨーロッパ」ニ於テ新秩序ヲ建設スルノヲ認メ、獨伊ハ日本ノ東亞ニ於テ新秩序ヲ建設スルノヲ認メルト云フ、此ノ獨伊

ガ「ヨーロッパ」ニ於テ建設セントスル新秩序ノ指導理念ト、日本ガ東亞ニ於テ建設セントスル所ノ指導理念トハ、是ハ恐ラク同ジモノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、大藏大臣ハ國務大臣トシテ、此ノ點ニ付テハドウ御考ヘニナツテ居リマスガ、私ハ是ガ實ハ今日日本ニ於ケル所ノ凡ル議論ノ根本デアリ、又議會ノ中ニ流レテ居ル者ヘノ根本ニナル點デハナカラウカト考ヘルノデアリマス、「ドイツ」ハ「ヨーロッパ」ノ新秩序ヲ建設スルニ當リマシテ、御承知ノヤウニ「フランク」經濟相ノ名ヲ以テ「ヨーロッパ」ニ於テハ金ヲ使ハナイ經濟ヲ建設スル、斯様ニ申シテ居リマス、金ヲ使ハナイ經濟トハ一體何デアルカ、私ハ之ニ對シテハ自ら其ノ意味ガアルト存ズルノデアリマス、日本ハ東亞ノ共榮圖ヲ建設スルニ當ツテ、此ノ金ヲ使ハナイ經濟、先般大藏大臣ハ「ドウ御考ヘニナルカ、先般大藏大臣ハ當委員會ニ於キマシテ、東亞ニ於テハ開貨ヲ以テ通貨トスル積リデアル、併シソレハ直グニハ出來ナイカモ知レナイガ、將來サウスル積リデアル、斯ウ云フ意味ノコトヲ申サレテ居リマス、私ハ是ハ洵ニ適切ナコトダト思ヒマスガ、其ノ點ハ私ハ重大ナ根本理念ヲ含シテ居ルモノダト思フノデアリマスガ、大藏大臣ノ金ヲ使ハザル經濟ト云フコトニ付テノ御考ハドウデアルカ、極メテ抽象的ノコトヲ聽クヤウデ恐縮デアリマスガ、恐ラク大藏大臣ハ能ク御分リノコトト思フノデ、私ハ伺ヒタイト思フノデアリマス、是ハ御存ジト存ジマスガ、先般「ヒトラー」總統ガ、「ドイツ」軍需工場ニ於テ演説ヲ致シテ居リマスガ、其ノ演説ノ中ニ於テ、此ノ「ヨーロッパ」ノ戰爭ハ、英米

ノ資本主義ニ對スル戰ヒデアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、私ハ原文ヲ見タノデアリマスガ、其ノ中ニ今マデノ經濟ハ金ヲ土臺トスルカライケナイノダ、諸君ノ敵ハ金ダ、斯ウ云フコトヲハツキリト言ツテ居ルノデアリマス、是ハ新聞ニモチラツト出マシタケレドモ、私ハ原文ヲ見マシタガ、ハツキリトサウ云フコトヲ申シテ居リマス、私ハ決シテ「ドイツ」ノヤリ方ヲ、ドウトカ云フコトヲ申上ケルノデハナイノデアリマシテ、少クトモ三國同盟ガ締結サレ、「ヨーロッパ」ニ於テハ獨伊ノ新秩序ノ指導權ヲ認メ、東亞ニ於テハ日本ノ新秩序ノ指導權ヲ認メ、斯ウ云フコトニ付テハ、恐ラク根本的ナ斯ウ云フ點ニ付テノ相當ノ理解ナリ、諒解ナリ、或ハ認識ナリト云フモノガアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ大藏大臣ノ率直ナル御見解ヲ、先ヅ承リタイト存ジマス

○河田國務大臣 三ツニ分ケテ御答辯致シタイト思ヒマス、三國同盟條約ノ條約文ニ書イテアリマス新秩序ノ建設ト云フ意味ハ、河野君ノ御話ノ通り、其ノ點ハ同様ト心得テ居リマス、「ヨーロッパ」ニ於ケル新秩序ノ建設、東亞共榮圖ニ於ケル我が新秩序ノ建設ト云フコトノ、其新秩序ハ同様ノ意味ト心得テ居リマス、東亞共榮圖ニ於ケル我が國ノ經濟的地位カラ考ヘマシテ、出來ルダケ開通貨ニ依ツテ、國際決済ヲスルコトニシタイト云フコトヲ、理想ニ持ツテ居ルト云フコトハ、先般申上ゲマシタ通りデアリマス、私ハ是ガ爲ニハ我が國ハ相當ヤハリ金ト云フモノノ必要ナルコトヲ認メテ居リマス、ソレカラ第三段ニ「ドイツ」ノ「ヒトラー」氏ノ申シマシタ、或ハ「フランク」氏ノ申

シマシク言葉ニ付キマシテハ、私ハ聊カ研究致シテ居ル積リデアリマスガ、之ニ對スル批評ハ、此ノ場合避ケタイト思ヒマス

○河野(密)委員 私人質問ハ是デ終リマス

新秩序トソレカラ東亞トノ新秩序ト云フモノノ理念ガ、同ジデアルトスラバ、ヨーロッパ」ニ於テ金ヲ使ハナイ經濟ヲヤルンダト云フコトモ、又日本ニ於テモソレヲ或ル意味ニ於テ肯定スルカ、或ル意味ニ於テハ之ヲ認識シテ居ルノデハナイカ、サウ云フ前提ノ下ニ、其ノ同盟條約ト云フモノハ結バレテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ點ヲ御尋ねテ致シタノデアリマシテ、之ニ對スル大藏大臣ノ所見、御批評ヲ伺ツタ意味デハ、毛頭ナイノデアリマス、サウ云フ新秩序ノ内容ニ付テノ、經濟的ナ御檢討ト云フモノハナカウタノデゴザイマセウカ、重ねテ伺ヒマス

○河田國務大臣 歐洲ニ於ケル新秩序ノ建設、東亞ニ於ケル新秩序ノ建設、其ノ新秩序建設ト云フコトニ於テ、意味ハ同様デアルト先刻申上ゲマシタ、是レ以上ハ私カラ御答ヘ致シ兼ねマス

○河野(密)委員 無理ニ御尋ねシヨウトハ存ジマセウ、ソレデハ別ノ問題デ御尋ねシタイノデアリマスガ……

○増田委員 一寸河野君ニ御諮リ致シマスガ、大藏大臣ハ他ニ約束ガアツテ、御急ギデアリマスカラ、大藏大臣ニ關スル質疑ヲ續ケテヤツテ載キタイ

○河野(密)委員 宜シウゴザイマス、極メテ簡單ニ申上ゲマス、此ノ議會更ニモウ一ツ問題トナツタ點ハ、戰時低物價政策ト生産力擴充トノ矛盾如何、斯ウ云フ問題デアリマス、是ハ繰返シ言ハレマシタノデ、私

ハソレヲ申上ゲマセウ、唯議會ノ大體ノ空氣ハ、此ノ際或ル程度マデ物價ヲ上ゲナケレバ、増産ハ出來ナイノデハナイカ、生産力擴充ガ出來ナイノデハナイカト云フ大勢デアリマス、是ハ私モ決シテ否定スルモノデハアリマセウ、先般星野企業院總裁モ亦ト思ヒマスガ、低物價政策ノ堅持ト云フ點ハ、是ハ當然デアルケレドモ、兎ニ角低物價政策ト云フモノハ、一應ノ段階ニ到達シタ、一應成功ヲ收メタ、此ノ物價ト云フモノガ、此ノ基準ニ釘付ケニナツタカラシ、モウ是レ以上ハ、多少或ル部分ニ於テ物價ヲ上ゲテモ、其ノ爲ニ全般的ナ物價ノ變動ヲ來スト云フヤウナコトハナイヤウナ段階ニ到達シタカラ、或ル點ニ於テハ増産獎勵金ヲ出スコトカ、或ハ物價ヲ上ゲルトカ云フヤウナ點ハアツテモ差支ヘナイト、サウハツキリハ申サレマセウケレドモ、サウ云フ意味ノ御答辯ガアツタノデアリマス、私ハ是ハ客觀的情勢ノ認識ニナルノデ、議論ニナルカモ知レマセウガ、要スルニ低物價政策ガソレダケノ成功ヲ收メテ、モウ多少ノ部分的ニ、局部的ニ物價ヲ上ゲテト、客觀的情勢ヲ見カナイカト云フコトノ違ヒガ、ソコデ統制ト云フモノガ行キナラバ、ソコデ統制ト云フモノガ行キナツテ居ルトスラバ、何モ物價ヲ上ゲナツテモ、外ノ要素ニ生産擴充ト云フモノガ出來ナクテハナラズ管ダ、ソコガ統制經濟ノ担ヒ所ダト思フ、物價ヲ上ゲナケレバ、生産擴充ガ出來ナイト云フナラバ、私ハマダ其ノ統制經濟ト云フモノハ、成功シテ居ルトハ言ヘナイト思フノデアリマス、然ル

ニ其ノ統制經濟ハ一應ノ成功ヲ收メタリトシテ、而モ成功ヲ收メテ居ルカラ、或ル局部ニ於テ物價ヲ上ゲテモ、石炭、或ハ米、或ハ何ト云フ物ノ物價ノ動カシテモ、全般的ナ物價ノ變動ハ起ラナイ状態ニマデ到達シテ居ルト云フ意味ノ御意見ガアツタノデアリマス、私ハ企業院總裁ガイラツシヤレバ、企業院總裁ニモ伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ見方ノ違ヒデアリマスケレドモ、私ハ日本ノ統制政策ト云フモノハ、ソコマデ行ツテ居ラト思フ、先刻大藏大臣自身ニ強制的ナ貯蓄ハサセナイ、斯ウ仰シヤツテ居リマスガ、此ノ統制政策ガ、ソコマデ成功ヲシテ居ルト云フ風ニ御考ヘニナツテ、物價ヲ動カシテモ宜イト考ヘラルナラバ、私ハ是ハ聊カ現實ノ事態ニ對スル認識ヲ誤ツテ居ナイカ、是ハ將來ノ問題デアリマスカラ、勿論分リマセウケレドモ、私ハサウ考ヘルノデアリマス、是ハ一番今度ノ議會ニ於テ問題トナツタ點デアリ、同時ニ一ツモ解決サレテ居ナイ問題デ、僅カニ大藏大臣ナリ、企業院總裁カラ、或ル程度ニ過去ノ統制政策ガ成功シテ居ルカラ、局部ノ物價ヲ動カシテモ、全般的ナ物價ノ變動、或ハ「インフレーション」ト云フヤウナ懸念ハナイト云フ意味ハ、謂ハバ氣休メノ御答辯シカナカウタノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ私ハサウハ思ハナイノデアリマス、蒙ラ啓イテ載ケバ結構デアリマス

○河田國務大臣 河野君ノ御所論ニ依リマスト、統制經濟ハ完成シテ低物價政策ニ付テモ、既ニ一部ノ物ハ値上リ認メテモ影響ハナイダケニ徹底シテ居ルト云フヤウニ取レルト云フ御話デアリマシタガ、私ハサウ云フ意味ノコトヲ申上ゲタ記憶ハナイノデ



アリマス、或ハ速記録等ヲ見マシタラ、サウ警ク所ガアツタカモ知レマセヌガ、ドウモ私自身ハサウ申上ゲタ記憶ハナイ、今日マダ物價ノ公定等ニ付キマシテモ、商工省ニ於テ未定ノ點モアルト云フヤウナコトヲ承ツテ居リマス、今日總テ「レベル」ト申シマスカ、一旦落着イテ、格テ其ノ「レベル」ニ落着イタカラ、一部分ニ付テ物價ヲ上ゲテモ、低物價政策、國民ノ生活安定ト云フコトニハ、些ノ心配ガナイト云フコトニマデ行ツテ居ルトハ、私實ハ思ツテ居リマセヌ、サウ云フ風ニ響イタカモ知レマセヌ、カレガ故ニ政府ハ考究致シマシタガ、ヤハリ價格ノ引上ト云フコトニアラズシテ、重要物資ニ付キマシテハ石炭、鐵鋼等ナハリ價格ヲ引上ゲナイ補助政策、之ニ付テマシテハ御議論モアリマセウシ、可ナリ檢討スベキ點ハゴザイマセウガ、今日ノ場合相當研究致シマシタ結果、ヤハリ助成政策ニ依ツテ居ル次第アリマシテ、價格ノ引上ヲ一部ニ付テシテモ差支ヘナイ程度ニ、今日既ニ物價統制ガ完成サレテ居ルトハ、遺憾ナガラ私ハマダ思ツテ居ラナイデアリマス

○河野(密)委員 斷片的ニナリマスガ、其ノ點ニ付テ企業院總裁ハ、ハツキリト此ノ席上デ以テ私ガ今申シタヤウナ意味ノコトヲ申サレテ居リマシタノデ、企業院ノ政府委員ノ方カラ、後デ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

今一ツ大藏大臣ニ御尋ネシタイノハ、今度日本銀行ノ兌換券發行條例ノ臨時條例ヲ設ケラレマシテ、完全ナル管理通貨制度ト云フモノヲ實現サレ、其ノ年々ニ於ケル最高ノ發行限ト云フヤウナモノハ、年ノ初メニ大藏大臣ガ之ヲ御決メニナル、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、當然ノ處置ト言ヘバ當然ノ處置デアリマス、是ハ金融ノ非常ナル新體制デアルト存スルノデアリマス、之ニ付テ私ハ二ツ程御尋ネ申上ゲタイノデアリマス、ソレハ斯ウ云フ風ニ管理通貨制度ニナル場合ニ於テ、日本銀行ノ機構ト云フモノハ、現在ノ儘デ宜シノダラウカ、現在殆ド國立銀行ト云フ形ハ其ヘテ居リマス、實質的ニハマダ株式會社ニツイテ御存積ニナル積リデアルカ、是ガ妥當デアルト御考ヘニナルノデアリマセウカ、モウ一ツハ此ノ年ノ初メニ、通貨ノ發行ノ最高限ヲ御決メニナルト云フコトハ、是ハ一面カラ言ヘバ物價ノ問題、或ハ生産擴充ノ問題、或ハ生産資金ノ問題、貯蓄ノ問題、其ノ他總テノモノガ、其ノ年初ニ於ケル最高限ニ依ツテ、恐ラク左右サレルトナリ、言ヒマスナラバ、大藏大臣ノ掌中ニ、日本ノ財政經濟ニ關スル生殺與奪ノ權ト云フモノガ、握ラレル結果ニナルノデアリカト思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ、勿論大藏大臣ガ御決メニナルノガ妥當デアリマスガ、大藏大臣ガ之ヲ御決メニナル付テ、各方面ノ意見ヲ徵スル意味ニ於テ、審議會ト云フヤウナモノヲ御設ケニナルノガ、妥當チヤナイカ、是ハ餘リニ影響スル所ガ大キイノデ、民間人ヲ加ヘ、出來ルナラバ貴衆兩院議員ノ代表ト云フヤウナモノヲ加ヘ、一種ノ審議會ヲヤウナモノヲ御作リニナリ、ソレニ諮問シテ御決メニナルト云フノガ、私ハ妥當デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御考ヘ、

以上二點御伺ヒ致シマス

○河田國務大臣 第一點ノ日本銀行ノ組織、是ハ河野君ノ、中央銀行モ特殊銀行デアラガ、ト云フ御口振リカラ言ヒマス、全クノ國家的ノ銀行ニスルニヤウシタラドウカト云フ風ニ、響キマシタノデアリマス、是ハ大キニ考ヘナケレバナラヌ問題デアラノデアリマシテ、サウ云フコトモ一ツノ方法カト、私個人ハ申ササウ考ヘタコトモゴザイマス、併シナガラマダソコマデニ致シマセヌ、但シ日本銀行ノ制度ト云フモノハ、今日既ニ大分時勢カラ外レテ居ルノデアリカ、之ニ付キマシテハ相當改正ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ、痛感致シテ居リマス、他日十分考究致シマシタ上ニ、時勢ニ合ヒマスヤウニ改正スル必要ガアルノデアリカト思ツテ居リマス、今日兌換券發行條例ノ臨時條例ニ關スル法案ヲ提案致シマシタノハ、飽クマデ臨時的デゴザイマシテ、根本的ニ相當ノ改正ヲスル時期ガ到來致シテ居ルノデアリカ、隨ヒマシテ是ノ用意ヲ致ス必要ガアルト思ヒマスガ、是ハ恒久的ノ制度ト致シマシテハ、餘程十分ニ研究致シマセヌト、臆ヲ囁ム結果ニナルトイケマセヌ、今少シ時ヲ假シテ研究致シテ戴キタイト思ツテ居リマス、ソレカラ兌換券發行ノ最高限ト云フコトデアリマスガ、私ノ今考ヘテ居リマス所デハ、十分ニ民間人、專門家等ノ意見ニ付テハ、尊重シテ參考ニ供シタイト存ジテ居リマスケレドモ、審議會等ヲ設ケルト云フコトハ致サナイ積リデ居リマス、併シナガラ其ノ額ヲ定メルニ當ツテハ、十分ニ慎重ニ調査致シマス、單ニ實質的ナ獨斷デハ致シマ

セヌデ、十分慎重ニ考究致シマシテ決定致ス腹組デ居リマス

○小畑政府委員 先程河野君ノ、企業院總裁ノ物價ニ關スル見解ノ問題デゴザイマスガ、私此處ニ居リマセヌデゴザイマシタノデ、總裁ガドウ云フ風ニ發言セラレマシタカ能ク存ジ上ゲナイノデアリマス、併シ日々總裁ニ接シテ居リマシテ、物價ノ問題等ニ關シマシテ、何時モ御話ヲ伺ツテ居リマス、其ノ見解ニ依リマス、先程河野君ガ御尋ネシヤウナ、物價ハ既ニ或ル安定點ニ達シテ居ルカラ、少シ位或ル程度ノモノヲ引上ゲテモ、一般ニ影響ヲ及ボスコトハナイダラウ、ト云フヤウナ見解ヲ聽イタコトハナイノデアリマシテ、物價ニ關スル見解ハ先程大藏大臣ガ御答デアルト云フコトヲ、確信致シテ居リマス、企業院ト致シマシテモ、其ノ方針デ物價ニ對處致シテ居リマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○河野(密)委員 外務省ノ政府委員ノ方ガ御見エニナリマシタカラ、御尋ネシタイト思ヒマス、極ク簡單ナ點デアリマスガ、第七十三議會ニ於キマシテ、當時ノ有田外務大臣ガ斯ウ云フコトヲ申シテ居リマス、日滿支三國ノ互助連環ニ依リ、新タナル東亞建設ニ乘出ス以上ハ、三國ノ國防及ビ經濟的自主達成ニ、重大ナル影響ヲ及ボスベキ必要ガアルガ、其ノ以外ニ於テハ、門戶ノ開放セラレベキモノデアルト云フ意味ノコトヲ述ベテ居ツタノデアリマス、其ノ後今度駐米大使ニ行カレタ野村サンガ、揚子江ノ開放セラレテ、是ガ「アメリカ」アタリニ非

常ニ好影響ヲ與ヘタト云フコトハ、其ノ當時傳ヘラレタ所デアリマス、其ノ後ノ情勢ハ極メテ變轉ヲ致シテ居リマスガ、此ノ最近ハ吾ノ耳ニ入ル點ニ於テ野村大使ハ同ジヤウナ方針ヲ貫カレル意味ガアルノデアリカト云フコトガ傳ヘラレテ居リマスガ、此ノ點ニ付テノ外務省ノ御方針ハドウ云フヤウニナツテ居ルノカ、差支ヘガアルナラバ勿論是ハ重大ナ折柄デアラカラ、言ヘナイト仰シヤツテ置イテモ結構デスガ、若シ差支ヘナケレバ御傳ヘガ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツ此ノ間、或ル新聞紙ノ報道スル所ニ依レバ、日本ノ外務次官ノ話ニ依ツテ、日本ハ今度ノ世界戰爭ニ對シテ調停ト云ヒマス、韓旋ト云フカ、サウ云フコトニ乘出ス用意ガアルト云フコトヲ外務次官ガ御尋ネシヤウナ出テ居ツタノデアリマス、吾々モ野村大使ガ「アメリカ」ニ行カレル場合、野村大使ガ「アメリカ」ニ於テ先ツ第一ニ聲明スルコトトシテ、日本ガ今日ノ國際情勢ニ鑑ミマシテ「アメリカ」ト相共ニ世界會議ヲ開催シタラドウカ、世界會議開催ノ提唱ヲシタラドウカト云フヤウナ議ガ一部デハ相當ニ傳ヘラレタノデアリマス、是ト思ヒ合セマシテ此ノ外務次官ノ新聞ニ現ハレマシタ談話ト云フヤウナモノト、何等カノ關係ガアルノデアリカト云フヤウニ考ヘラレレ、デアリマス、私ハ自分ノ意見ヲ申上ゲルコトハ差控ヘマス、唯具體的ノ事實ニ付テドウ云フコトガアルノカ、其ノ實際ノ點ヲ若シ差支ヘナインナラバ明カニシテ戴キタイト思ヒマス

○寺崎政府委員 只今河野君ノ御質問ノ第一點ニ付キマシテハ、當時有田外相ガ言ハレマシタ方針ハ、適當ナル修正ヲ要スル

場合ニハ修正ヲ加ヘマシテ、引續キ實施サレテ居ルノデアリマス、御言葉ニ廿ヘル次第デハゴザイマセヌガ、目下ノ事情ガ極メテ緊迫シテ居リマス、此ノ位ノ所デ御討論ヲ願ヒタイト思ヒマス、第二ノ點ニ付キマシテハ、只今河野君ハ外務次官居リニ於テハ、情報局ノ石井部長ガ言ハレタヤウニ承知シテ居リマス、私モサウ云フ話ガアリ、少クモサウ云フ御意見ヲ持ツテ居ラレル方ガ御アリニナルコトヲ耳ニ致シマシタガ、差當リ野村大使ガ行カレマシテカラ、マダ具體的ナ訓令ヲ與ヘテ居リマセヌ、又外務省ト致シマシテモ此ノ點ヲ深ク掘下ゲテ考ヘテ見ル段階ニハ達シテ居リマセヌ、是ダケ申上ゲテ置キマス

○河野(密)委員 内務省ノ政府委員ハ居ラレマセウカ、實ハ治安維持ノ問題ニナルノデ、警務局長ヲ御尋ネシタイノデスガ、マダ御見エニナラヌヤウデス、皆サンモ御疲レノヤウデス、モウ一ツ企業院ノ政府委員ノ方ハ御尋ネシテ、私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマス、今度ノ議會デ一ツノ問題トナツタ點ハ、買頭ニ申シマシタヤウニ、日獨伊同盟ノ締結ニ引續イテ、東亞ノ新秩序、歐洲ノ新秩序、世界ノ新秩序ガ何ヲ意味スルカト云フ見解カラ、ズツト凡ニ内外ノ政策ニ關スル意見ガ非常ニ問題トナツテ居ル、此ノ點ガ凡ニル機會ニ取上ゲラレテ來テ、經濟新體制ニ對スル批判ト云フモノニナツテ居ルガ、之ニ付テ一ツモ政府ノ意圖ト云フモノガ明カニサレテ居ラナイ、然ルニ私ハモウ最後デアリマシテ、之ニ付テ價スベキ時機ハナイノデアリマシタ、是ハ巴ムヲ得ナイコトデアラカ、私トシテハ

非常ニ此ノ點ニ付テ遺憾千萬ニ思フノデアリマス、併シ之ヲ有耶無耶ニシテ置クコトガ却テ國民ニ疑惑ヲ與ヘルノデアリカ、國民ガ色々ナ事情ヲ知ラセヨト云フノハ何モ物資ガドレダケアルカトカ、物動計畫ノ内容ガドウナツテ居ルカト云フコトヲ知ラセヨト云フノデアリカ、政府ハ一體内政政策ノ基調トシテドウ云フコトヲヤラウトシテ居ルカ、何處マデノコトヲヤラウトシテ居ラウトシテ居ルカ、之ヲ私ハ國民ガ知ラセヨト云フテ居ルノダト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ御檢討ガアツタヤウニ思ヒマスガ、少シモハツキリトナツテ居ラナイノハ非常ニ残念ダト思ヒマス、何等カノ機會ニ於テ明カニスルコトガ出來マシラバ、委員長カラ然ルベク御取計ヒ願ヒタイト存ジマス

最後ニ企業院ノ政府委員ニ御尋ネ申上ゲルノデアリマスガ、先般商工省デ低物價政策ト云フモノガ問題ニナリマシタ時ニ、現在ノ物價ト云フモノニハ三ツアル、政策的ナ價格、ソレカラ「プール」平準價格、ソレカラ生産價格ト、此ノ三ツノモノガ現在アル、之ヲ配合ハセテヤウツテ居ルヤウニ言ハレテ居ツタノデアリマスガ、此ノ政策的ナ價格、「プール」平準價格、生産價格ト三ツガ問題トナルノハ、適正價格ト云フモノヲ今日決メルト云フコトハ不可能ナコトデ、今ノ適正價格ハ適正價格デアリ、一種ノ政治的價格デアリ、政治上ニ於テ斯ウスルコトガ諸般ノ情勢上最モ宜シト云フ價格ガ、是ガ今日ノ適正價格デアリ、之ヲ決メルコトガ物價委員會ノ任務デアリ、之ヲ決メルコトガ今日ニ於テ必要デアリ、斯ウ云フ

風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ政策的價格、「プール」平準價格、或ハ生産價格、色々ナ要素ガアル、此ノ中ニ於テドウ云フ點ヲ根本トシテ物價ヲ御決メニナラウトシテ居ルノデアリカ、又ソレヲ決メ、ソレヲ實行シテ行ク上ニ於テ現在ノ物價形成委員會ノ構成ガ妥當デアラカドウカ、モツト物價對策ニ付テ機構ノ點カラ考ヘル餘地ガアルノデアリカ、此ノ點ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス

○小畑政府委員 只今御質問ニ關シマシテ、企業院ノ政府委員ト致シマシテ御答辯申上ゲルノハドウカト思フノデスガ、唯企業院ト致シマシテハ、物價ニ付テドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フコトダケヲ申上ゲタイト思ヒマス、企業院ト致シマシテハ、適正物價ト云フコトニ付キマシテハ、仰セテ通り自由經濟ノ時代ニハ、要スルニ需要供給ノ「バランス」ヲシタ所ノ値段ト云フモノガ適正物價デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ナ統制經濟ト申シマス、計畫經濟ト申シマス、價格ガ政府ノ方カラ公定セラレト云フヤウナ時代ニ於キマシテハ、適正價格ト云フノハ要スルニ政府ガ決メテ價格、公定價格ト云フノヲ適正價格ト思フヨリ仕様ガナイノデアリマス、ソコデ公定價格ト云フモノガ果シテ適正デアリト云フコトヲ判斷ハ、前ノ全ク自由經濟デアリマシタ時代ニハ、需要供給ノ「バランス」ト云フヤウナ概念カラ離レテ居ララウト思フノデアリマシタ、大體ニ於テ政策的ニ最モ都合ノ好イ公定價格ガ適正價格ト云フコトニナルノデアリカト思ツテ居リマス、ソコデ政策的價格デアラカ、或ハ「プール」平準價格デアラカ、或ハ生



産費ヲ基準トシタ價格デアルトカ、色々價  
格算定ノ基準ヲ分ケルコトハ出來ルト思ヒ  
マスケレドモ、結局ハ政策的價格ト云フモ  
ノニ落着クモノデハナイカト思フテ居リマ  
ス、サウ云フコトニナリマス、企畫院ト  
致シマシテハ、適正價格ト云フ言葉ニ少シ  
曖昧ナ意味ガ出テ参リマス、寧ロ安定  
價格ト云フコトヲ希望シテ居リマス、適正  
價格ト云フ言葉ガ原價ヲ基礎トシテソレニ  
適正利潤ヲ加ヘタモノト云フコトニナリマ  
ス、非常ニ簡單ニ聞エルトゴザイマス  
ガ價原、ト云フモノハ甚ク曖昧ナ言葉デゴ  
ザイマシテ、原價ハ時ニ依ツテ非常ニ違ヒ  
マスシ、所ニ依ツテモ違ヒマスシ、サウ云  
フ基準トナリマスモノニ一寸採ルベキ所ガ  
ナイト云フヤウナコトモアリマス、要スル  
ニ價格ノ公定セラレマス時ニ、何ガ適正ナ  
リヤト云フコトハ當時ノ社會情勢、當時ノ  
社會ノ要求ト云フコトカラ判斷致シマシテ  
其ノ價格ガ能ク必要ナ需要ニ應ジ得ルダケ  
ノ供給ヲナシ得ルモノデアリヤ否ヤト云フ  
コトヲ考ヘテ、政策的ニナサルベキモノデ  
ハナイカト思フテ居リマス、ソコデ先程モ  
大藏大臣ガ言ハレマシタヤウニ、價格ノミ  
デ以テ需要供給ヲ、バランス、スルコトガ出  
來ナイ當節ニ於キマシテハ、或ハ補助金デ  
アルトカ、其ノ他ノ色々ナ方法ヲ以テ價格  
ヲ按配シテ参リマス、自然適正價格ト  
云フモノハ常ニ政策價格ト云フコトニ落着  
イテ來ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ觀察  
ヲ致シテ居リマス、尙ホ價格形成委員會ナ  
ドノ問題ニ付キマシテハ、所管デゴザイマ  
セヌノデ御答ヘヲ御遠慮申上ゲテ置キマス  
○河野(密)委員 私ハ是デ質問ヲ終リマス、  
先刻申上ゲマシタ公益優先デアルトカ、或

ハ金融ノ國營ト云フヤウナコトハ取締ルト  
仰シヤル内務大臣ノ意見トカ、サウ云フ點  
ヲ委員長カラヤハリ何等カノ機會ニ御確カ  
メニナル方ガ妥當デハナイカト私ハ思フノ  
デアリマス、之ヲ申上ゲテ置イテ私ノ質問  
ヲ一應打切りタイト思ヒマス  
○増田委員長 一般問題ニ關スル質疑ハ之  
ヲ以テ一應終了致シマシタ、明日ハ午前  
十一時豫算委員懇談會ヲ開催致シマス、午  
後一時ヨリ豫算委員會ヲ開會スルコトニ致  
シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後六時二十五分散會

昭和十六年二月二十日印刷

昭和十六年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第一號)

第七十六回帝國議會 豫算委員會議錄(速記)第二十二回

會議  
昭和十六年二月二十一日(金曜日)午後五時  
三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 増田 義一君

- 理事伊禮 肇君 理事小笠原三九郎君  
理事佐藤洋之助君 理事田中 好君  
理事西川 貞一君 理事古田喜三太君  
理事三浦 虎雄君 理事三宅 正一君  
理事宮澤 胤勇君 理事森田重次郎君  
理事矢野庄太郎君

- 井上 良次君 池田 秀雄君  
石坂 豐一君 今井 新造君  
江藤源九郎君 小野 謙一君  
加藤 剛一君 笠井 重治君  
勝 正憲君 川崎 克君  
木村 正義君 岸田 正記君  
北 吟吉君 助川啓四郎君  
多田 滿長君 高田 耘平君  
武田徳三郎君 津雲 國利君  
長野 長廣君 鶴見 祐輔君  
末松借一郎君 東郷 實君  
米窪 滿亮君 中島彌次君  
中田 儀直君 中山 福藏君  
松本治一郎君 松村 光三君  
一松 定吉君 平川松太郎君  
田中 耕君 深澤 吉平君  
藤本 捨助君 古屋 慶隆君  
堀内 良平君 河野 密君  
三善 信房君 森田 福市君  
横川 重次君 依光 好秋君

一宮房治郎君

○増田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

○古屋委員 本日ハ大分時間モ遅クナリマ  
シタカラ、是ニテ散會セラレントノ動議  
ヲ提出致シマス  
(「贊成」ト呼ブ者アリ)

○増田委員長 本日ノ議事進行ニ付キマシ  
テ種々懇談ガアリマシテ、簡單ニハ参リマ  
セヌノデ、今マデ時間ガ掛リマシタガ、モ  
ウ大抵話ガ纏マツテ居ルモノト思ヒマス  
(武田委員)委員長議事進行ニ付テ發言  
ヲ求メマス「ト呼ビ、動議ガ出テ居ル」  
「動議ヲ採決シ」其ノ他發言スル者多  
シ

○増田委員長 動議ノ採決ハ暫時保留致シ  
テ置キマス、是ニテ休憩致シマス  
午後五時四十分休憩

午後六時十分開議

○増田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ  
マス、先刻古屋君ヨリ散會ノ動議ガアリマ  
シタケレドモ、採決ヲ致シマセヌデシタカ  
ラ、改メテ採決致シマス、古屋君ノ動議ニ  
贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス  
(贊成者起立)

○増田委員長 大多數ヲ以テ可決致シマシ  
タ、本日ハ是ニテ散會致シマス、次會ノ日  
程ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス  
午後六時十二分散會

頁 三三四  
段 三三三  
行 三三〇  
誤 王導 王道  
正 已德 已德

衆議院豫算委員會議錄第十七回  
中正誤



昭和十六年二月二十一日印刷

昭和十六年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類第一號)

第七十六回帝國議會 豫算委員會議錄(速記)第二十二回

(三三〇)

會 議  
昭和十六年二月二十二日(土曜日)午前十時  
二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 増田 義一君

理事伊禮 肇君 理事小笠原三九郎君  
理事佐藤洋之助君 理事田中 好君  
理事西川 貞一君 理事古田喜三太君  
理事三浦 虎雄君 理事三宅 正一君  
理事宮澤 胤勇君 理事森田重次郎君  
理事矢野庄太郎君

青島 憲三君

池田 秀雄君

一ノ瀬俊民君

今井 新造君

小野 謙一君

加藤 鯛一君

勝 正憲君

木村 正義君

岡田喜久治君

島田 俊雄君

多田 滿長君

武田德三郎君

長野 長廣君

末松僧一郎君

米窪 滿亮君

中田 儀直君

松本治一郎君

一松 定吉君

田中 耕君

藤本 捨助君

堀内 良平君 河野 密君  
清水徳太郎君 三善 信房君  
木暮武太夫君 森田 福市君  
横川 重次君 依光 好秋君  
一宮房治郎君

二月二十日委員泉國三郎君辭任ニ付其ノ補  
闕トシテ同月二十一日西方利馬君當選セリ  
同月二十一日委員北村吉君及前田房之助君  
辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十二日岡田  
喜久治君及清水徳太郎君當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 男爵平沼騏一郎君  
厚生大臣 金光 庸夫君  
拓務大臣 秋田 清君  
陸軍大臣 東條 英機君  
文部大臣 橋田 邦彦君  
大藏大臣 河田 烈君  
逓信大臣 村田 省藏君  
海軍大臣 及川古志郎君  
鐵道大臣 小川郷太郎君  
國務大臣 星野 直樹君  
司法大臣 柳川 平助君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 富田 健治君

法制局長官 村瀬 直養君

法制局參事官 森山 鏡一君

企畫院長官 小畑 忠良君

企畫院部長 三浦 一雄君

對滿事務局次長 荒川 昌二君

情報局長官 久富 達夫君

情報局情報官 藤本 柳一君

外務次官 大橋 忠一君  
外務省東亞局長 山本 熊一君  
外務省歐亞局長 阪本 瑞男君  
外務省通商局長 水野伊太郎君  
外務省條約局長 松本 俊一君  
外務省書記官 武内時之助君

內務次官 萱場 軍藏君

內務省地方局長 留岡 幸男君

內務省警保局長 橋本 清吉君

內務省土木局長 成田 一郎君

內務省計畫局長 藤岡 長敏君

內務省書記官 三好 重夫君

神祇院副總裁 飯沼 一省君

北海道廳部長 鈴木 脩藏君

大藏次官 廣瀬 豐作君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

大藏省理財局長 竹内 新平君

大藏省銀行局長 相田 岩夫君

大藏省爲替局長 原口 武夫君

大藏書記官 梅北 末初君

大藏書記官 氏家 武君

大藏書記官 植木庚子郎君

大藏書記官 日下部 滋君

大藏書記官 河野 一之君

大藏書記官 野田 卯一君

大藏事務官 山住 克巳君

預金部資金局長 中村孝次郎君

營繕管財局理事 入江 昂君

專賣局長官 花田 政春君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍少將 武藤 章君  
陸軍主計大佐 森田 親三君  
海軍次官 豊田貞次郎君  
海軍主計中將 武井 大助君  
海軍主計少將 岡 敬純君  
海軍主計大佐 爲本 博篤君  
海軍大佐 高木 惣吉君  
司法書記官 太田 耐造君  
文部次官 菊池豊三郎君  
文部省社會教育局長 柳瀬 彌三君  
文部省圖書局長 柴尾 長造君  
文部省書記官 松尾 直君  
教育部部長 堀池 英一君  
農林次官 井野 碩哉君  
農林省水産局長 平岡 梓君  
農林省蠶絲局長 吉田 清二君  
農林省食品局長 辻 謙吾君  
農林省資材部長 重政 誠之君  
農林書記官 岡本 直人君  
農工次官 小島 新一君  
農工省總務局長 椎名悦三郎君  
農工省蠶絲局長 鈴木 英雄君  
農工省化學局長 永田彦太郎君  
農工省纖維局長 梶原 茂嘉君  
農工省監理局長 長谷川公一君  
農工省振興部長 堀 義臣君  
農工書記官 末永 衛君  
特許局長官 大貝 晴彦君  
貿易局長官 石黒 武重君  
逓信次官 山田 龍雄君  
逓信省郵務局長 藤井 崇治君



Table listing members of the Budget Committee (豫算委員會) and their respective positions, including the Chairman (委員長) and various members (委員).

Text discussing the committee's agenda, including the review of the 1926 budget and the handling of special accounts (特別會計).

Text discussing the committee's agenda, including the review of the 1926 budget and the handling of special accounts (特別會計).

Text discussing the committee's agenda, including the review of the 1926 budget and the handling of special accounts (特別會計).

デアリマセウカ

Text discussing the committee's agenda, including the review of the 1926 budget and the handling of special accounts (特別會計).

Text discussing the committee's agenda, including the review of the 1926 budget and the handling of special accounts (特別會計).

Text discussing the committee's agenda, including the review of the 1926 budget and the handling of special accounts (特別會計).

Text discussing the committee's agenda, including the review of the 1926 budget and the handling of special accounts (特別會計).



ラ度々申シテ居リマスルヤウニ、下情ヲ上  
通スル、即チ現在民間ニアリマスル希望  
アルトカ、或ハ場合ニ依リマシテハ不平ト  
云フヤウナモノヲ上ニ通ジマシテ、サウシ  
テ國策ノ樹立ニ付テ十分參考ニ供スル、是  
方國策樹立ニ對シテ協力貢獻スルコト云フ  
意味デゴザイマス、國策ノ遂行ニ對シテ協  
力貢獻スルコト云フハ、決定セラレタル  
國策ヲ國ノ隅々マデ徹底ラシ、浸透セシメ  
ル、是モ只今マデ度々申上ゲマシタ通り  
ゴザイマス、隨テ是等ノ性質ヲ綜合致シマ  
シテ、此ノ大政翼賛會ト云フモノハ治安警  
察法ノ政事結社ニハ該當シナイ、是亦只今  
内務大臣カラ御話申上ゲマシタ通りデア  
リマスルガ、繰返シテ申シマスルナラバ、  
治安警察法ノ政事結社、即チ政事ニ關スル  
結社ト云フハ、一般ノ學說ニ從ヒマスレ  
バ、政治ニ影響ヲ及ボスコトヲ目的トスル  
結社、即チ政策ノ決定ニ對シテ影響ヲ及ボ  
スコトヲ目的トシテ結社ガ作ラレテ居ル、  
斯ウ云フ場合申シマスルモノハ、只今  
内務大臣カラ申シマシタ通り、其ノ要件ハ  
全然具ヘテ居ナイノデゴザイマス、而シテ  
治安警察法ノ政事結社ト申シマスルモノハ、  
公事ニ關スル結社、政事結社ニ該當シナ  
イモノヲ總テ包含ヲ致シテ居リマスルノデ、  
自然大政翼賛會其ノモノハ、其ノ意味ニ於  
テ公事結社ニ該當スルモノデアル、斯様ニ  
解釋ヲ致シテ居リマス

○村瀨政府委員 國策ノ樹立遂行ハ御話ノ  
通りデゴザイマス、大政翼賛會トシテ、國  
策ノ樹立遂行ニ對シテ貢獻スルコト云フノ  
デゴザイマシテ、樹立遂行其ノモノデハナ  
イノデゴザイマス

○一松委員 國策ノ樹立遂行ハ、憲法第四  
條ノ所謂統治權行使ノ一作用デアルト云フ  
コトヲ御話ニナリマシタ、サウ致シマス  
ルト、憲法第四條ノ統治權ノ行使ハ、此ノ憲  
法ノ條規ニ依リテ行フト明カニ規定シテ  
居リマス、此ノ規定ハ憲法ノ條規ニ依ツテ  
定メラレタ機關ヲ通ジテ行フト云フコトニ  
私ハ解釋ヲ致シマス、憲法ノ條規ニ定メラ  
レザル他ノ機關ニ依ツテ行フコトハ憲法第  
四條ニ反スルト解釋致シマス、故ニ此ノ憲  
法第四條ノ統治權行使ノ場合ニ於テ、憲法  
ニ定メラレタ各機關ヲ通ゼズシテ國家機  
關ノ協力貢獻スルコト云フコトハ、憲法第四  
條ノ規定ノ精神ニ反スルモノナリト考ヘマ  
ス(拍手)何トナレバ、憲法第四條ノ明文ニ  
ハ、明カニ憲法ノ條規ニ依ツテ行フコトヲ  
制限シテ居ルノデアリマシテ、間接タルト  
直接タルトヲ問ハズ、此ノ統治權行使ニ反  
スル行爲タルト、助力シ貢獻スル行爲タル  
トヲ問ハズ、第四條ハ絕對ニ左様ナ行爲ヲ  
排斥シテ居ルモノデアルト考ヘルノデゴザ  
イマス、此ノ意味ニ於テ只今ノ法制局長官  
ノ御答辯ハ私ト所見ヲ異ニ致シテ居リマス、  
此ノ統治權行使ノ憲法ノ條規ニ依ツテ之ヲ  
行フト云フコトハ、憲法ニ定メラレ  
タ以外ノ機關ニ依ツテ間接ニ協力貢獻ス  
ルト云フコトヲ含ムノデアルトノ御説明デ  
アリマスルガ、然ラバ其ノ法律上ノ根據ヲ  
承リタイノデゴザイマス

付テ御質問ガゴザイマシタガ、之ニ付テ私  
共ハ次ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、  
本來臣民ノ義務ト云フ問題ハ、我が國ノ極  
メテ重要ナル特色ニナツテ居ルノデアリマ  
ス、即チ我が國ハ萬民義務ノ國デアリマス  
コトハ申スマデモゴザイマセス、憲法ニ於  
キマシテハ新シキ方法、形式ニ依リ義務ノ  
道ヲ定メテ居ルノデアリマス、是ガ即チ憲  
法上ノ機關ニ依リ義務ヲ定メテ居ルノデゴ  
ザイマシテ、是ハ憲法發布ノ時ノ御告文ノ  
中ニ「臣民義務ノ道ヲ廣メ」ト書イテアル  
コトニ依ツテ明瞭デアルト信スルノデアリ  
マス、臣民ノ義務ト云フモノハ、此ノ法律  
上ノ義務ヲ以テ盡キルモノデハナイノデゴ  
ザイマス、法律上ノ義務ノ外ニ一般ノ義務、  
即チ萬民ノ義務ガ存在ヲ致シテ居リマスル  
コトハ申スマデモゴザイマセス、即チ一億  
一心、萬民義務ノ新國民組織ヲ作りマシテ、  
臣民義務ノ實行ニ力ヲ盡シテ居ルノ展開致シ  
マスルコトハ、決シテ憲法ノ精神ニ反スル  
モノデナイ、斯様ニ確信ヲ致シテ居リマス、  
而シテ何ガ故ニ斯ノ如キ運動ガ必要デア  
ルコト云フコトニ付テハ、改メテ申スマデモ  
ナイト存ジマスルガ、實際ノ事實ニ付キマ  
シテ申シマスレバ、例ヘバ議會ガゴザイマ  
シテ、議會ノ外ニ政黨派ト云フモノガゴ  
ザイマス、又行政官廳ガアリマスル場合ニ、  
其ノ下ニ各種ノ協力團體ガゴザイマシテ、  
翼賛ノ行動ヲ致シテ居リマスルコトハ顯著  
ナル事實デゴザイマス、即チ一般ノ義務ト  
云フモノガ決シテ憲法上ノ機關ニ依リマス  
ル義務ト矛盾、抵觸スルモノデモナイト存  
ジテ居リマス、尤モ一般ノ義務ト云フモノ  
ハ、憲法上ノ機關ニ依リマスル義務ノ下ニ  
アルベキモノデアルトハ申スマデモゴザ

イマセス、隨テ憲法上ノ機關ニ依リ義務ヲ、  
其ノ以外ノ義務ニ依ツテ或ハ拘束ラシ、抑  
制ラシ、妨害スルコト云フヤウナコトノア  
ルベカラザルコトハ申スマデモナイ所デア  
ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○一松委員 只今ノ法制局長官ノ御答辯ハ、  
近衛總理大臣ガ貴族院ニ於テ岩田由造氏ノ  
質問ニ對シテ御答ヘナリマシタ所ノ大政  
翼賛ニハ、憲法上ノ機關ニ依リ大政翼賛ト、  
一般ノ大政翼賛トノ二ツガアル、而シテ憲  
法上ノ機關ニ依リ大政翼賛ト云フモノハ、  
勿論憲法上ノ機關ヲ以テ行ヒマスルケレド  
モ、一般ノ大政翼賛ト云フモノハ萬民ガ之  
ヲ實踐シ得ルモノデハナイカト云フ風ニ考  
ヘテ居リマスト述ベラレマシタ、其ノ近衛首相  
ノ御答辯ト一致スルヤウニ承知致シタノデ  
ゴザイマス、又此ノ點ニ對シマシテ平沼内務  
大臣ハ、川崎委員ノ質問ニ對シマシテ斯ウ  
云フコトヲ答ヘラレテ居リマス、「萬民義務  
ト云フコトハ我が國家ニ於キマシテハ古ヨ  
リ今日ニ至リマスルマデ漸ラザルコトデア  
リマス、古ヨリ皇室ハ萬民ノ輔翼ヲ望マセ  
給ヒ、萬民ハ常ニ輔翼ノ責任ヲ盡シ來ツタ  
ノデアリマス、此ノ關係ハ古ヨリ今日ニ至  
リマスルマデ少シモ漸ラナイノデアリマス、  
又今日以後モ決シテ漸ラナイノデアリマス、  
ムルト云フコトハ、總テノ人ガ各、其ノ職  
分ニ依ツテ輔翼ノ誠ヲ盡スト云フコトデア  
リマス、斯ウ答ヘラレテ居リマス、ソコデ  
私ハ近衛内閣總理大臣ノ御答ヘニナツタコ  
ト、平沼内務大臣ノ御答ヘニナツタコトヲ  
綜合シテ大政翼賛ニハ憲法上ノ機關ニ依  
ル大政翼賛ノ外ニ一般ノ萬民義務ガアル、而シ  
テ其ノ一般ノ萬民義務トハ何デアアルコト

ハバ職權奉公デアルト云フコトニナルト思  
フノデアリマス、只今村瀨法制局長官ノ御  
答ヘニナリマシタ所謂一般ノ大政翼賛ト云  
フコトハ此ノ職權奉公ノコトヲ指スノデア  
ルカドウカ、此ノ點ヲ承リタイノデアリマ  
ス

○村瀨政府委員 只今仰セニナリマシタ職  
權奉公ノ誠ヲ盡スト云フコトハ、一般ノ大  
政翼賛ノ最重要ナル事柄デアルト、斯様  
ニ考ヘルノデアリマス

○一松委員 職權奉公ハ一般ノ大政翼賛ノ  
重要ナル事柄デアル、能ク分リマシタ、然  
ラバソレ以外ニ尙ホ一般ノ萬民義務ノ方法  
ガゴザイマセウカ、ソレヲ一ツ承リタイ  
○村瀨政府委員 職權奉公ハ其ノ最重要  
ナルモノデアルト申シマシタガ、勿論ソレ  
ヲ以テ盡キルモノデハゴザイマセウ、其ノ  
以外ニ色々ゴザイマス

○一松委員 色々アル、ソレガ承リタイノ  
デゴザイマス、ソレヲ明カニシテ戴キタイ、  
サウセスト質問ガ進メラレマセウ

○村瀨政府委員 臣民ガ 天皇ノ大御心ニ  
歸一シ奉リマシテ、臣道ノ實踐ヲ致シマス  
ルコトハ、總テ是ハ萬民義務デゴザイマス

○一松委員 サウ致シマスルト臣道實踐ハ  
職權奉公ヨリモ範圍ガ廣イノダト仰セニナ  
ルヤウニ思ハレル、ソレナラバ職權奉公以  
外ニドウ云フ臣民義務ガアルカ、ソコヲ承  
リタイノデアリマス

○村瀨政府委員 臣民ノ義務ト申シマスル  
モノハ其ノ以外ニ色々ゴザイマス、例ヘ  
バ納稅ヲ致シマスルコトモ其ノ一ツデア  
リマス、又……(發言スル者アリ)職權奉公以  
外ニト云フ御質問デゴザイマスカラ——其  
ノ以外ニ色々ゴザイマス、即チ例ヘバ納稅

ヲスルコトモ勿論其ノ翼賛ノ場合デアルト  
斯様ニ考ヘマス

○一松委員 職權奉公以外ノ臣道實踐ト云  
フ中ニハ納稅ガアルノダト云フ、納稅ノ義  
務ハ憲法第二章ノ第二十一條ニ規定シテ居  
リマシテ、是ハ憲法ノ範圍内ニ於ケル臣民  
ノ權利義務デアリマシテ、是ガ憲法ノ範圍  
外ニ於ケル萬民義務ニ入ツテ居ルノデア  
リマスカ

○村瀨政府委員 只今憲法ノ機關以外ノ色  
色ノ義務ト云フコト申上ゲテ居リマスノ  
デアリマス、尙ホ其ノ外ノ例ト致シマシテ  
色々デゴザイマセウカ、例ヘバ隣組ニ於キ  
マシテ五分十分ニ其ノ機能ヲ發揮スルヤ  
ウニ努メテ參リマスト云フヤウナコトモ、  
其ノ顯著ナル場合デアラウト、斯様ニ考ヘマ  
ス

○一松委員 隣組ガ各、其ノ仕事ヲ發揮スル  
ト云フコトハ、憲法第三章ノ臣民ノ權利義  
務ノ範圍ニ於テスルノデハゴザイマセウカ、  
如何デス

○村瀨政府委員 ソレハ總テ權利義務ノ範  
圍ニ於テナシマスモノト思ヒマス

○一松委員 サウ致シマスルト、職權奉公  
ハ結局憲法第二章ノ臣民ノ權利義務ニ於テ  
職權奉公ヲスル、臣道ノ實踐ハ憲法第二章  
ノ範圍内ニ於テ臣道實踐ヲスルト云フコト  
ニハ開連シハゴザイマセウカ

○村瀨政府委員 憲法第二章ノ範圍内デア  
リマスコトハ申スマデモアリマセウ

○一松委員 能ク分リマシタ、臣道實踐、  
職權奉公ハ憲法第二章ノ臣民ノ權利義務ノ  
範圍内ニ於テ行フモノデアラ、サウ致シマ  
スルト所謂憲法第二章ノ範圍外ニ逸脱スル  
コトハ許シマセウ、アナタノ御説明ニナツ

タコトガ開連シナイト致シマスルナラバ、  
大政翼賛運動ハ即チ憲法第二章ノ臣民ノ權  
利義務ノ範圍内ニ於テ行ハネバナラヌト云  
フコトハ御話ニナリマシタ思ヒマスガ、如何  
デゴザイマスカ

○村瀨政府委員 左様デアルト考ヘマス

○一松委員 サウ致シマスルト、憲法ノ範圍  
内ニ於ケル臣道實踐、憲法ノ範圍内ニ於  
ケル職權奉公、サウスルト憲法ノ範圍内ニ於  
ケル憲法ノ規定ニ背クコトハ出来マセウ、  
然ラバ第四條ノ所謂統治權ヲ總括シ給ウ  
テ——其ノ統治權ノ行使デアアル國策ノ遂行  
樹立ハ憲法第四條ノ規定ニ依ツテ之ヲ行フ、  
即チ憲法ノ規定ノ中ニハ明カニ第二章臣民  
ノ權利義務ガ規定セラレテ居リマス、ソレ  
ナラバ此ノ憲法ノ規定内ニ於テ行フ義務ト、  
憲法ノ規定以外ニ於テ行フ義務トニツアル  
ト云フコトハ御訂正ニナリマスカドウカ

○村瀨政府委員 先程申シマシタノハ、憲  
法ノ機關ニ依リ義務トサウデナイモノト、  
斯様ニ申シマシタノデアリマス

○一松委員 憲法ノ機關ニ依リ大政翼賛ハ  
第四條デアル、憲法以外ノ大政翼賛ハ第二  
章ノ臣民ノ權利義務ノ範圍内デアラ、然ラ  
バ第二章ノ臣民ノ權利義務ノ中ニ、統治權  
ノ行使ニ直接間接ニ影響ヲ及ボス仕事ガ出  
來ルト云フ規定ガ何處ニゴザイマセウ、法  
的根據ヲ御示シ願ヒマス

○村瀨政府委員 憲法ノ規定ニハ御承知ノ  
通り請願ヲ致シマスルコトモ認メテゴザイマ  
スルシ、又色々ノ結社ヲ作ツテ翼賛スルト  
云フコトモ認メテ居ルノデアリマス

○一松委員 段々分ツテ參リマシタ、ソコ  
デ私ハ結局臣道實踐ハ法律ノ範圍内ニ於ケ  
ル臣道實踐デナケレバナラヌト云フコトニ

歸著スルト考ヘマス、サウ致シマスル其ノ  
所謂法律ノ範圍内ニ於ケル臣道實踐ハ憲法  
第三十條ノ規定ニ、アナタノ仰セニナリマシ  
タヤウニ請願ヲナスコトガ出来マス、是ガ  
即チ請願權ノ行使ト云フコトニ於テ職權奉  
公ガ出来ル、ソレカラ憲法ノ第五十條ニ兩  
院ハ臣民ヨリ呈出スル請願書ヲ受クルコ  
トヲ得「トアリマスカラ、是ハモウ間違ヒハ  
ゴザイマセウ、請願令ノ第一條ニハ「請願ハ  
法律勅令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外  
本令ニ依リテ之ヲ爲スヘシ」トアル、サウスル  
ト請願ハ請願令ノ第一條ノ規定ノ範圍内ニ  
於テシナケレバナラマセウ、デゴザイマス  
カラ今アナタノ御舉ゲニナリマシタ請願ハ  
之ニ依ツテシナケレバナラマセウ、之ニ依ツテ  
各官衙ニ向ツテスルコトガ出来マス、ソレ  
ハ請願令ノ第十條ニ依リマシテ「天皇ニ  
奉呈スル請願書ハ封皮ニ請願ノ二字ヲ朱書  
シ内大臣府ニ宛テ其ノ他ノ請願書ハ請願ノ  
事項ニ付職權ヲ有スル官公署ニ宛テ郵便ヲ  
以テ差出スヘシ」トナツテ居ルノデゴザイ  
マス、デゴザイマスカラアナタノ仰セニナ  
ラタコトハ此ノ所謂法規ニ據リ請願デナケ  
レバナラマセウ、又其ノ以外ニ町村ガ政府  
ニ意見ヲ申述ベルコトガ出来マス、ソレハ  
町村制ノ第四十三條ニ規定シテ居リマス、  
又市制ノ第四十六條ニ意見書ヲ其ノ監督官  
廳ニ提出スルコトガ出来マス、又府縣制ノ  
第四十四條ニモ同ジク府縣會ノ意見ヲ其ノ  
上級官廳ニ申出ルコトガ出来マス、又農會  
法ノ第五條ニ依リマスルト、農會ハ農業ニ  
關スル事項ニ付テ行政廳ニ建議スルコトヲ  
得、「即チ下情上通デアリマス、二項ニ農會  
ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ」、即チ諮  
問ハ上意下達、答申ハ下情上通デゴザイマ



ス、商工會議所法ノ第八條ニハ「商工會議所ハ商工業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得」即チ下情上通デアリマス、

答ヘナリマシタ我々古ヨリ萬民贊養ノ精神ヲ以テ皇室ニ仕奉リ皇室又ソレヲ望ミテ給フト申サレマシタコトハ其ノ通りデ

シテ、イヤ、サウデハナイ、認メルノダト云フコトガアリマスナラバ、其ノ法ノ根據ヲ御示シテ頂キヒタ

マセ文、ソレヲ採用スルモセモ勝手手デアリシ、サウシテソレハ即チ表裏一體ノ立場ニ於テ協力貢獻スルノデアアリマセカ

トニナルト云フデアリマスカラ、是ガ職域奉公デアルト云フコトハ理解出來ヌノデアリマス、何トナレバ、百姓職域ヲ「エー、商人ノ職域ヲ「ビー、大工ハ「シー、左官ハ「ドイ、斯ウ云フ風ニナルト假定ス

ガ集マリマシテ眞ニ家族會議ノ形式ヲ以テ致スノデゴザイマシテ、其ノ會議ノ内容ハ協議シ懇談スルト云フ事實上ノ働キヲナ

シテ、イヤ、サウデハナイ、認メルノダト云フコトガアリマスナラバ、其ノ法ノ根據ヲ御示シテ頂キヒタ

ヘデハ、大政翼賛會ハ今ノ儘デハ公事結社デハナイ、今ノ儘ナラバ政事結社デア



ヒマス、是非御考慮ニ入レテ裁キタイノデアリマス、以上申上ゲマシヤウニ必要ナシトモ、機構ハ全部御改メ下サイマシテ、私共ガ安心出來ルヤウナ公事結社ニ改組セラレナクニレバナリマス

其ノ次ニハ人的要素ノ改革デアリマス、大政翼賛會ニハ革新的人ヲ入レナケレバナラズ、斯ウ云フコトガ頻リニ宣傳セラレ、又實際ノ上ニ行ハレテ居ルノデアリマスガ、私ハ大政翼賛會ガ臣道實踐デアリ、職權奉公デアラナラバ、革新的氣分ヲ持ツテ居ル人デナケレバナラズト云フコトガ分ラナイノデアリマス、臣道實踐ハ革新的ナ考ヘテ持ツテ居ル人ニ限リマス、臣道實踐ハ年ノ老若ニ關係ヘアリマス、眞ニ臣道ヲ實踐スル人ハ、我ガ日本國民殆ド全部デアリマス、デアリマスカラ四十歳以上ノ者ハ駄目ダ、或ハ議會人ハ駄目ダト云フヤウナコトヲ言フテ居ルヤウデスガ、斯ノ如キ考ヘハ排斥シナケレバナリマス、斯様ナ間違ツタ考ヘヲ以テ革新的人ヲ入レレバ爲ニ赤ノ轉向者ガ加入シタリ今マデ國體ニ對シテ反對ノ態度ヲ執ツテ居ツタ者ガ、政府ノ彈壓ヲ喰ツテ俄カニ轉向シタヤウナ人ガ加入シタリ、或ハ轉向シタルガ如ク偽裝シタヤウナ人ガ加入シテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ此ノ大政翼賛會ニ對シテ赤デアルト云フヤウナ疑惑ヲ世間ニ持タシメルニ至ツタコトヲ、私ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、故ニ今後ハ臣道實踐、職權奉公ニ熱烈ナ人デアツテ、國體觀念ニ徹底シ、一身一家ヲ君國ニ捧ゲルト云フ熱アリ、實行力アル人デアラナレバ、革新的人タルコトヲ要シナイト確信スルノデアリマス、ダカラ此ノ點モ一ツ御考慮ニ入レテ、改組ノ時ニ御注意アラントラ希

望シテ置キマス  
ソレカラ尙ホ一ツ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、本年一月一日發行ノ週報ノ中ニ、斯ウ云フコトガ書イテアリマス、九頁ノ二段目ノ五行目デス「上下左右ノ差別的觀念ヲ揚棄サセ」云々、上下左右ノ差別的觀念ヲ日本國民ハ捨テテシマフノダ、是ハ甚ダ宜シクナイコトダト思フノデアリマス、尤モ冒頭ニ「君萬民ノ國體ノ本義ヲ明徴シ」云々ト書イテゴザイマス、併シ是ハ關係諸公ニ於テモ御承知デアリマセウガ、我ガ國現時ノ時局ヲ好機トシテ、所謂共產主義ノ宣傳實行ヲスルコトガ非常ニ激烈ニナツテ居ルトコトデアリマス、是ハモウ争ヒノナイ所デゴザイマス、サウ云フ人ガ我ガ國ノ國體ヲ壞ハス爲ニ、各種ノ方面ニ種々ノ方法ヲ以テ入込シテ、サウシテ我ガ國體ニ副ガガ如キ態度ヲ裝フテ、國體ヲ破壞シヨウト云フ運動ヲ續ケテ居ルノデアリマス、此ノ事ハ警保局長カラ、私共ニ御話ガアツタノデ承知シテ居リマスガ、具體的ノコトハ申上ゲマセ、斯ノ如キ人物ガ翼賛會ニ加入シテ居ルノデアリマス、コンナ赤ノ人ガ組織ノ内ニ深ク喰ヒ込メテ上下左右ノ差別的觀念ヲ乘テ居ルダト云フガ如キ不都合ナ思想ヲ、官報ニ等シキ週報ノ記事ニ織込シテ、思想ヲ混亂セシメントスルガ如キコトハ甚ダ怪シカラコトダト思フノデアリマス、教育勸諭ニ依リシマテモ、父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭謙ニ己ヲ持シ……夫婦相和シ朋友相信シ恭謙ニ己ヲ持シ……ト御言葉ヲ拜スルコトガ出來ルノデアリマス、我ガ國ハ聖國ノ始メヨリ上下左右ノ區別トハ秩序整然ト國民ノ間ニ守ラレテ居ルノデアリマス、所謂長上ニ對シテハ之ヲ尊敬シ、恩愛ヲ受ケタ人ニ對シテハ、報恩ノ實ヲ

舉ゲ召使ハ主人ニ、弟子ハ先生ニ、ソレノ禮儀ヲ盡スト云フコトハ、我ガ國民ノ傳統的精神デアリ、我ガ國家ノ秩序維持ノ基礎デアリ此ノコトハ今後無窮永遠ニ維持セラレナケレバナラズト信スルノデアリマス、ソレノ何ゾ上下左右ノ差別的觀念ヲ揚棄スルノダト云フガ如キハ、甚ダ不都合ナ思想デアリマス、彼ノ日露漁業ニ於テ不都合ナル演説ヲ爲シタル佐々木某ノ演説中ニ、之レト同意旨ノ意見ヲ發表シテ居ルノデアリマス、即チ願主ニ對シテ頭ヲ下ゲルコトハ要ラス、下官ハ上官ニ對シテ頭ヲ下ゲル必要ハナイ、對等ダト云フ思想デアリマス、斯ウ云フ考ヘヲ持ツト云フコトハ、我ガ國體ヲ破壞スルノミナラズ、上下左右ノ差別ヲ撤廢スルコトヲ云フコトナリ、恐懼ニ地ヘナイヤウナ事ガ起ラナイトモ考ヘラレ、實ニ恐縮ノ至リデアリマス、即チドウカスウ云フ點ニ付テモ一ツ十分ニ御考慮ノ内ニ入レラレシコトヲ希望シテ置キマス  
其ノ次ニハ昨年十二月十一日ニ發行ナリマシタ週報ノ五頁下段ニ現在我ガ國ガ要求シテ居ル政治ハ、從來ノ自由主義ヤ民主主義ヲ脱却シテ政治云々ト斯ウ云フコトガ書イテアル、斯様ナコトハ斯ウ云フコトガ自由主義、民主主義ト云フヤウナコトハ排斥シナケレバナラズト貴族院ヤ當豫算總會等ニ於テ思ハレ、御意見ヲ御發表ニナツテ居ラレラウニ思ハレ、私ノ尊敬スル平沼内務大臣デゴザイマス、決シテ思想上少シモ疑ハ持チマセヌガ右ノ言葉ハ誤解ヲ招ク虞ナキニシモアラズデアリマス、カレノ之ヲ明ニ致シテ置キタイノデアリマスガ一體我ガ日本帝國ノ臣民ハ所謂自由主義ダトカ、民主主義ダトカ云フヤウナ考ヘハ持ツテ居ラスト思フノデアリマス、憲法第二章ノ臣民

ノ權利義務ノ範圍内ニ於テ自由デアリ、憲法ノ範圍内ニ於テ職權奉公スルコトニ付テハ何等ノ制裁ヲ受ケナイ、之ヲ自由ト云フノデアリマス、少シモ非難攻撃致スコトハ出來マレナラバ、少シモ非難攻撃致スコトハ出來マレナイ、此ノ第二章ニ於テ與ヘラレタ臣民ノ權利義務ノ範圍内ニ於テ吾々ガ自由ニ行動スルコトヲ若シ自由主義デアルトシテ排斥スル者ガアルナラバ、是ハ明カニ憲法違反ノ行動デアリ、陛下ノ大御心ヲ冒瀆シ奉ル言動デアルト信スルノデアリマス(拍手)  
又民主主義ト云フモノガ、若シ人民戰線ノヤウナ意味ニ使ハレル者ガアルナラバ、此ノ民主主義ハ明カニ治安維持法ニ依ツテ處罰セラレナケレバナラズ、サウ云フヤウナコトヲ取リ除イテ見ルト、我ガ國民ノ一部ニ所謂我ガ日本ノ國體ニ副ハナイヤウナ歐米流ノ民主主義ヲ持ツテ居ル者ガアルカモ知レ、サウ云フ者ハ極小ノ部分デアツタト致シマシテモ、ソレヲ以テ國民全體ヲ誣ヒルト云フガ如キコトハ是ハ斷ジテ許スコトハ出來ナイト思フノデアリマス(拍手)  
ドウカ此ノ自由主義ダトカ、民主主義ダトカ云フコトノ用語、其ノ他ニ付キマシテ私ノ尊敬ヲ拂ツテ居リマス、内務大臣カラ、此ノ際御聲明ヲ願フテ置イテ、ソレヲ此ノ大政翼賛會改組ノ時ニ御參考ニ供シテ裁キタイト思フノデアリマス、取敢ズ自由主義、民主主義ト云フコトニ付テノ御答辯ヲ内務大臣ニ求メマス  
○平沼國務大臣 自由主義民主主義ハ我ガ國ニ於テ執ルベカラザル思想デアルト云フコト私ハ申シテ居リマス、併シナガラ國民ノ自由ヲ奪フノデアルトカ、人民ノ權利ヲ認メナイノデアルトカ、斯ウ云フ趣意

デハ無論ゴザイマセヌ、我ガ國ノ一君萬民ノ國體ニ基キマシテ、御上ニ於テ總テノ國民ハ其ノ所ヲ得ルヤウニ御觀念ニ相成ツテ居リマス、此ノ御仁惠ノ御趣意ヲ拜禮致シマシテ、總テノ國民ニ各、其ノ所ヲ得セシムルト云フ所ニ政治ノ方針ヲ向ケナケレバナラズノデアリマス、隨テ今一松君ノ御述ベニナリマシタ自由、又人民ノ權利、是ハ十分ニ認メ、之ヲ保護シテ行カナケレバナラズト云フコトハ明カデアリマス、其ノ意味デアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス  
○一松委員 能ク分リマシタガ、ドウカサウ云フ誤解ヲ受クルヤウナ言葉ハ將來ハ御使ヒニナリマセヌヤウニ御願ヒヲシテ置クノデアリマス  
ソコデ此ノ憲法第二章ニ於テ吾々ニ御與ヘ下サイマシタ權利義務ハ、是ハ 天皇陛下ガ御持子遊バサレテ居ラレル所ノ統治權ノ御行使ノ一部ヲ 天皇陛下御自ラ御制限遊バサレ、サウシテ吾々ニ此ノ範圍内ニ於テ行動スルコトハ認メルゾト宣ハセ給フタノデアリマス、其ノ範圍内ニ於テ言論ハ自由デアリ、其ノ範圍内ニ於テ所有權ノ處分ハ自由デアリ、其ノ範圍内ニ於テ宗教ノ自由ガアリ、其ノ範圍内ニ於テ言論出版等ノ自由ガアルト云フコトデアリマス、其ノ範圍内ニ於ケル自由ハ、陛下ノ大御心ニ反スルナソト云フ言動ヲ爲ス者ガアレバ、ソレハ全ク此ノ憲法第二章ノ精神ヲ知ラナイ所ノ愚論デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ斯ウ云フコトハ今此處デ議論ヲスルノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付テノ御考慮ニ御取給ヲ願フテ置クノデアリマス  
其ノ次ニ同ジ週報ノ中ニ斯ウ云フコトガ

ゴザイマス、「民主主義的ナ多數決ヲ行ハズ」  
「萬機公論ニ決スベシ」トハ、本來「公論ニ憑ヘテ正論ヲ採ル」ノ意デアツテ「云々ト云フコトガアリマシテ、是ハ先著川崎委員ガソレハトシテモナイ間違ヒデアリ、我ガ國ハ萬機公論ニ決スルコトヲ御趣旨ハ所謂多數決主義デアリ、ソレハ公議所、集議院、斯ウ云フヤウナ官制ヲ御發布ニ相成リマス、御勸諭、ソレカラ憲法ノ規定、議院法ノ規定、斯ウ云フ所カラ見レバ、所謂多數決デアルト云フコトハ一點疑ヒヲ容レル餘地ガナイノデアリマス、此ノ明カナル陛下ノ御意思ヲ、公論ニ憑ヘテ正論ヲ採ルノデアリカラ、多數決ニ決メテハイケナイノダ、衆議院裁決ナケレバナラズノダト云フヤウナコトハ言語道斷デアルト私ハ思フ(拍手)  
斯ウ云フコトハ改組ノ時十分ニ御考慮ニ入レラレシコトヲ希望シマス、此ノ點ニ付テ過日近衛總理大臣ハ最後ニ決斷ヲ御採リニナルノハ、陛下デアラセラレ、故ニ吾々ガ多數決ニ依ツテ決メタコトデモ、ソレヲ御裁可アラセラレナケレバ即チ決マラナイノデアリ、故ニ帝國議會ハ法律案ヲ協贊シ豫算案ヲ協贊シテモ、ソレハ多數決ニ依ツテ決マツタノデアリケレドモ、其ノ決マツタノハ最後の結論デハナイノダ、陛下ガ御裁可遊バサルコトニ依ツテ決マルノデアリ、其ノ意味ニ於テ所謂此ノ大政翼賛會ノ衆議院裁決ト云フコトモ其ノ意味デアラノダト云フヤウニ御答ヘニ相成リマシタ、ソレナラバ私ハソレハ甚ダドウモ不都合ナ考ヘデアルト思フノデアリマス、萬機公論ニ決スルコトヲ云フコトヲ衆議院裁決デアルトシテ、其ノ衆議院裁決ハ誰ガ決メルカト云フバ、總裁ノ近衛總理大臣ガ決メルト云フノ

デアリカラ、是ナラバ我ガ國ニ於テ總テノ公論ヲ最後ニ御決定遊バサレルノハ上 陛下御一人以外ニアリマセヌ、ソレト同ジコトヲ總理大臣ガヤルト云フコトハ甚ダ怪シカラ、此ノ點ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラツヤウナカ、御答辯ヲ願ヒマス  
○平沼國務大臣 政府ノ機關、殊ニ議決機關ハ總テ多數決ニ依ルト云フコトニ相成ツテ居リマス、併シ其ノ他ノ機關、即チ議決機關衆議院、貴族院、是ハ多數決ニ依ルト云フコトハ明瞭デゴザイマス、其ノ他ノコトヲ採決スルニ當リマシテハ是ハ必ずシモ多數決ニ依ルト云フコトニハナツテ居リマセヌ、其ノ區別ハ色々アラウト思ヒマス、蓋シ翼賛會ノコトニ付キマシテハ、色々御説モゴザイマセウガ、多數決ニ依ラヌカラハハイカヌト云フコトハ必ずシモ斷定出來ナイト考ヘテ居リマス  
○一松委員 私人多數決ニ依ラヌカライカスト云フ意味デヤナイノデス、五箇條ノ御誓文ハ是ハ多數決主義デヤナイノダ、衆議院裁決主義ダト云フヤウナコトヲ書イテ國民ヲ惑ハシテ、サウシテ五箇條ノ御誓文ノ神聖ヲ傷ツケルヤウナ人ガ此ノ大政翼賛會ノ中ニ居ルカラ、是ガイケナイノダ、此ノ點ニ付テ御考慮ヲ願フ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレハ如何デゴザイマセウカ——併シモ此ノ點ハ餘リ追究ハ致シマセヌ、大體御分リデアリマセウ  
ソコデ最後ニ申上ゲマスガ、以上ニ依リマシテ私人疑ツテ居リマス、コトハマダマダ解ケテ居リマセヌ、併シソレハ今度改組ナサレ、機構ヲ變ヘル、人的要素ヲ取替ヘル、規約ヲ改メ、サウシテ公事結社ニ間違ヒナク、ソレニ反シタ時ニハ取給ル、ソ

レガ爲ニ機構ヲ改メ、費用ガ要ラヌヤウニナレバソレハ實行豫算ヲ編マセル、餘レバ返ハサセル、斯ウ云フヤウナ御趣旨デアリマス、ソレヲドウカスルカ、斯ウスルカト云フコトハ、私ガ聽カナクテモ他ノ委員ガ聽クデアリマセウカラ私ハ止メマス、デアリマス、サウ云フ今申上ゲタノハ、斯ウ云フ吾々ノ持ツテ居ル疑ヒヲ一掃シテサウシテ本當ニ公事結社デアリ、萬民翼賛ノ實ノ舉ガルヤウニシテ裁キタイト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデアリマス、之ニ依リ私ノ質問ヲ切リマスガ、此ノコトハ私人ノ言葉デハゴザイマセヌ、是ハ此ノ大政翼賛會ニ關スル多クノ人ガ疑問ヲ持ツテ居リマス、デアリマス、サウ云フコトハ是非御實行アラントラ希望シマシテ、最後ニ一ツダケ内務大臣ニ御確カメ致シマス  
貴族院ニ於ケル豫算委員會速記第六號ノ第十八頁ニ斯ウ云フコトガ大河内子爵カラ確カメラレテ居リマス、ソレハ詰リ新體制ト云フコトニ付テノ何カ取給ヲヤウデゴザイマスガ、四ツダケ警保局長ガ全國ノ知事警察部長ニ内訓ヲ發シテ居ル、一ハ、高度國防國家體制ノ完遂ヲ目標トスル國內新政治體制ハ中樞役員決定セラレ既ニ發會式ノ舉行ヲモ見ルニ至リ萬民齊シク大政翼賛ノ理念ニ徹シ、職分奉公ノ臣道ヲ完ウセザルベカラズ、而シテ之ガ完成ニハ軍官民一致ノ協力の協力ヲ要スベキモノナルヲ以テ、(イ)政府發表ノ國民組織ハ國體ニ反ストナシ又ハ憲法ニ抵觸スト爲ス等國民組織ヲ否認シ又ハ之ニ反對スルガ如キ言論、(ロ)國民組織ヲ無力ナリトシ又ハ實現不可能ナリトシテ國民ノ信賴ヲ失墜セシムルガ如キ言論、







ノガ、今日ノ結果ニナツタノデハナイカ、向ホ斯ウ云フコトガアル、人ノ採用ニ對シテ、入ツテ居ル某部ノ副部長ニ林某ナル者ガアル、曾テ是ハ共產黨員デアリ、其ノ當時ハ「オロラ」協會ノ五月會ニ關係シテ居ツタ者デアリ、サウ云フヤウナ者デアリガ、之ヲ何故採用シタカト言フナラバ、是ハ軍部ノ推薦ガ採用シタト云フヤウナコトヲ稱ヘテ居ル、斯ウ云フコトヲ言フテ居ルガ、恐ラク大政翼賛會ニ軍部ガサウ云フ人物ヲ推薦シヨウ管ハナイ、サウ云フ肩書付ノ人間ヲ推薦シヨウ管ハナイ、サウ云フ風ナヤリ方ハ軍部ノ名ヲモ私ハ損ズルモノデアルト考ヘルノデアリマス、隨テ人ノ採用ニ關係シテハ明確ナル調ベヲヤツテ、サウ云テ萬國連ヒナキヲ期セラレヌカラ、斯ウ云フ間達ヒナキ端カラ起ツテ來ル、今後刷新シテ後ノ問題ニ關係シテハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ、承リタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 今後機構改革ノ際ニハ今御述ベノコトハ十分考慮シマス

○森田(福)委員 是ハ内務大臣ニ御尋ネスルノデアリマスガ、地方ニアツテハ大政翼賛會同志會、其ノ他種々ナル名稱ノ會ガ翼賛會ノ分派ナリト稱シテ跋扈シテ居ルノデアリマスガ、政府ハ今度一切是等ヲ解消サシテ統一スル考ヘガアルカドウカ、此ノ點ヲ參考ニ承リタイ

○平沼國務大臣 一寸聽キ漏ラシマシタガ、ドウ云フモノデゴザイマセウカ

○森田(福)委員 地方ニアツテハ大政翼賛會同志會、其ノ他種々ナル名稱ノ會ガ翼賛會ノ分派ナルト稱シテ跋扈シテ居ルノデアリマス、是等ハドウ云フ風ニ統制ヲシテ行カレル積リデアリマスカ

○平沼國務大臣 地方デドウ云フコトニナツテ居リマスカ、實ハ私ハマダ能ク調査致シテ居リマスガ、サウ云フ言アリマスヤウナ團體ハ無論ハ止メナケレバナリマセウ

○森田(福)委員 ソレデハ政府委員カラデモ宜シイカラ、此ノ調ベガ付テ居ラス答ハナイ、今日到ル處ニ出來テ居ルノデアリマス、ソレガ内務大臣ガ御承知ナイトスルナラバ、下僚ノ人ガマダ報告シテ居ラスノデアリマセウカラ、知ツテ居ル方カラ答辯ヲセラレテ宜シ

○増田委員 政府委員デ御答辯致シマス

○村瀨政府委員 色々地方ニ於テ事實上ノ團體ガアリマス存ジマス、是等ノモノハ勿論其ノ趣旨ニ於テ適當ナルモノハ適當ナルモノト致シ、然ラザルモノニ付テハ十分之ヲ取締ル必要ガアリマスコトハ申スマデモナイト存ジマス

○森田(福)委員 政府委員デ結構デスガ御伺ヒ致シマス、適當ナルモノト仰シタルノハドウ云フモノガ適當デアツテ、ドウ云フノガ適當デアナイカ、具體的ニ承リタイ

○村瀨政府委員 現實ノ場合ニハ色々ノ會ガゴザイマセウ、是ハ現實ニ具體的ニ一ツツノ會ヲ調ベナイト御答ヘ出來ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○森田(福)委員 要スルニサウ澤山會ガ出來タノデハ、本當ノ統制ガ取レテ行カナイカラ、趣旨ニ反シテ來ルヤウナ結果ニナリハシナイカト思フ、其ノ點ハ十分御注意ノ上取締ラント希望シテ置キマス

次ハ假令公事結社ト致シマシテモ、政治性ヲ持ツタ以上ハ、人的機構トシテ警察ノ

官吏トカ、軍人トカ、檢事トカ、或ハ裁判官ト云フヤウナ人ハ、現行ノ法令ノ下デハ此ノ大政翼賛會ノ申ニ加ハルベキ筋合ノモノデハナイト思フガ、其ノ點ハドウ御考ヘニナリマスカ

○平沼國務大臣 法律ヲ禁ジテ居リマスモノハ政事結社デ、公事結社ニ付キマシテハ、法律ニ禁ジテ居リマセウモノハ、總テ是ハ入ツテモ差支ヘナイト考ヘテ居リマス

○森田(福)委員 公事結社デアラナラバ、サウ云フ役人ガ入ツテモ差支ヘナイ、若シソレガ只今一松若ガ話シタヤウニ、政治的ノ運動ヲスルヤウニナツタナラバ、其ノ時ニハ出ルノデアリマスカ

○平沼國務大臣 ソレハ治安警察法ニアリマスル所謂政事結社ノナスベキ政治活動ヲ致シマスレバ、是ハ當然法律ニ依ツテ處分ヲシ、取締ラセシメナラヌト考ヘマス

○森田(福)委員 尙ホ私ハ大政翼賛會ノ職ニ就イテ居ル人々ノ前任ノ給料ト、今度新ニ大政翼賛會ニ入ツテカラ後ノ給料ト調ベテ提出シヨウモガ出テ參リマセウ、副部長以上ノモノハ出テ居リマスガ、ヨリ以下ノモノハサウ大勢ノ人デアリマス、今日下ノモノハ出テ來ナイノデアリマス、ドウ云フ譯ニ出來ナイノデアリマセウカ、他ノ官廳ノガ出テ居ルニ拘ラズ、獨リ大政翼賛會ノガ副部長以下ノ者ノ調ベガ付カスト云フノハ、ドウ云フ理由デアリマスカ、念ノ爲ニ御伺ヒ致シマス

○谷口政府委員 只今ノ御尋ノ件ハ、昨日決算委員會デ申上テガデアリマスガ、此ノ條給料コトニ付キマシテハ、前職ノ會社等ニ於キマシテモ發表シテ居ラナイモノ

モアルノデアリマス、ソレデ調査ヲ只今要求ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、マダ調査ガ出テ參ラナイト云フ關係ニアリマス

○森田(福)委員 サウスルト履歷書一本モ取ラズニ御採用ニナツタノデスカ、何モ發表セストカ何ト云フコトヲ申スノデハアリマセウ、履歷書ニハ幾ラ給料ヲ貰ツテ居ツタト云フコトガ書イテアルシテ居リマス、然ラバ履歷書モ取ラズニ採用シタト云フ風ニ私ニハ見エルノデアリマス、前職ノ給料ガ分ラナイ、是ハ前職ノ會社ガ發表セスト所ニ照會スル、サウシテ辭メル時ノ給料ガドウデアツタカ、或ハ其處ニ居タ時ノ性行、素行ガドウデアツタカト云フヤウナ詳細ニ問合セヨスル、ガカラ問合セテ初メ前任時代ノ給料モ分レバ、勤メ振リモ分ルノデアリマス、一體ドウ云フ調ベ方ニ依ツテ人ヲ御採用ニナツタカ、ソコマダ答辯ナサル以上ハ分ツテ居ル管デアリマス

○谷口政府委員 先程私ガ申シマシタノ方ヲ申込デアリマスケレドモ、未ダ提出ガナイト云フコトニ歸スルノデアリマス、ソレカラ採用ノ場合ニ於キマシテハ、ソレハ履歷書等ヲ取ルノガ普通ノヤリ方デアラウト考ヘテ居リマス

○森田(福)委員 ソレナラ能ク分ル、サウアルベキ管デアリマスガ、サウスルト大政翼賛會ハハ通融シタガ、今日此ノ問題ガ審議セラレテ居リ、相當問題ガ紛糾シテ居ルコトモ、大政翼賛會當局ハ能ク知ツテ居ル者デアル、ニモ拘ラズ大政翼賛會ガ今日マデ

政府ガ請求シテモ出サス、サウ云フモノニ、此ノ補助ヲシテヤラナケレバナラヌト云フ政府ノ考ヘ、氣ノ置キ方ヲ一ツ承リタイ、洵ニ不都合ダト私ハ思フ、自分ノ所ニ使ツテ居ル者ノ前職ノ給料ノ調ベスラ出來ナイヤウナ所ニ、此ノ大キナ八百萬圓ノ豫算ヲドウシテ鶴呑ミニヤツテ必要ガアルカ、ドウ御考ヘニナルカ、ソレヲ承リカ

○平沼國務大臣 マダ翼賛會カラ出シマセヌ、何レ受取リマシタラ何時デモ……

○森田(福)委員 内務大臣ノ總理大臣代理トシテノ答辯ニ付テ、ソコマダ御打合せガ出來ナカッタカラ或ハ出來ナイノカモ知レマセウガ、ソレデハ甚ダ不親切デアル、然ラバ私ハ大藏大臣ニ御尋ネスルガ、國費ハ百万圓ノ補助ヲ議會ニ御要求ナサツタノデアリマスカラ、ソレシキノコトハ至レリ盡セリノ調査ガ出來テ居ラナケレバナラヌ管デアリマスガ、豫算委員カラ資料ノ請求ヲシテモソレガ出テ來ナイ、資料スラ出テ來ナイデハナイデスカ、即チ其ノ資料ヲ豫算委員會ニ提出スル前ニ、アナタノ所ニ十分取寄セラレテ居ル管デアリマス、是ハ私ガ申上ゲルマデモナク、御承知ノ通り今日色々ノ團體ニ國費ノ補助ヲスルニ當ツテ、其ノ使途ニ付テハ微ニ入り細ニ入ツテ調査ナサレ、若シ得心ガ行カケレバ其ノ國費ノ補助ハ與ヘナイノデアリマス、然レニ事致ニ至ツテモ此ノ問題ハ、具體的ニ言ヘバ、例ヘバ前職時代ニ百圓乃至百十圓取ツテ居ツタ者ガ、二百五十圓乃至三百圓取ツテ居ル、アナタノ方カラ御出シニナツタ參考資料ヲ見テ平均給料百五十幾圓ニナツテ居ル、之ニ對シテ一般官廳ハ總理大臣以下各大臣ヲ加ヘテ平均給料八百圓足ラズデアリ

マス、即チ倍カラノ平均給料ニナツテ居ルノニ、其ノ内譯モ取ラズニ豫算ノ査定ヲオヤリニナツタノデスカ、又一面アナタハ會社經理統制令ト云フモノヲ出サレテ、大學ヲ卒業シタ者ノ初任給ヲ八十五圓ト定メラレ、其ノ儘七〇以上ノ昇給ハ許サナイ、斯ウ云フコトニサレテ、又前職ヲ持ツタ人間ヲ採用スル場合ニハ、前任ヲ辭メタ時ノ給料ヲ標準トシテ新ラシク雇フヤウニト云フコトニナツテ居ル、然レニ此ノ大政翼賛會獨リ此ノ時局ニモ拘ラズ、斯ウ云フコトハ全然無視シテ、今ノヤウニ二倍三倍モノ給料ヲ出ス、而モ、豫算委員ガ參考資料ヲ要求シテモソレラ之ヲ提出シナイ、サウ云フモノニ一體八百萬圓ト云フ大キナ補助ヲ出スコトニ付テ、國民ノ代表デアアル再々ガソレヲ鶴呑ミニシテ然レベキ筋合ノモノデアラウカドウカ、アナタノ御氣持ヲ率直ニ伺ヒタイト思ヒマス

○河田國務大臣 豫算ノ内容ハ先般御配リ申シタヤウナ次第デアリマス、多分森田君ノ言ハレル通りニナツテ居ルト私ハ記憶シテ居リマス、併シナガラ給與ノ豫算ノ立テ方ト云フモノハ、民間ノ中小商工業等ノ會社ガ致シマセウニ、實給ヲ致シテ居ルノデハアリマセウ、國ノ豫算ソレ自身ガ總テ各階級ニ應ズル所ノ平均俸行ツテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ補助ノ率ト云フモノ、ドウ云フ人ニハドウ云フ給與テ行カト云フコトハ、平均大體ノ目途ヲ付ケテヤツテ居ルノデアリマシテ、實給額ヲ一々計算シテ居ルモノデハナイノデアリマス、唯併シ其ノ平均給ニ於テ、今ノ計算ニ依リマスト百五十六圓ト云フノハ高過ギルデハナイカト云フ、是ハ政府全體、總理大臣カラ小

者マデ平均取ツテ比較スルガ正シイカ、一概ニモ言ヘナイカト思ヒマス、又平均俸ノ立テ方ガ官吏ト同様デ宜シイカ、官吏ノ待遇ニ、官吏以下ノ待遇モ必ズシモ良イモノトハ存ジマセウノデ、ソレト比較シテ直チニ高過ギルト云フコトノ御批評モ如何カリ思ヒマス、今日ノ場合百五十六圓ノ平均給ト云フモノハ、官吏ノ平均俸例ヘバ官吏ノドウ云フ階級ニ當リマスカ、サウ不權衡ナモノトハ私ハ存ジテ居リマセウ、將來ノ昇給等ニ付キマシテハ、大政翼賛會ノ從業員ガ獨リ桁外レテ昇給ヲ多クスルト云フヤウナコトハ、是ハ實際ノ事務ヲ監督スル監督官廳ニ於テ十分監督致スベキ筋合デアリマシテ、世間一般トノ權衡ヲ得ナイヤウナコトヲサセナイノガ當然ダト存ジテ居リマス

○森田(福)委員 私ハ大藏大臣ノ答辯ハ肯定致シ兼ねマス、大政翼賛會ト云フモノガ出スノデアアルカラ、政府ノ官吏トノ給料ガ均衡ガ取レヌコトガアツテモ已ムヲ得ヌト仰シタルガ、然ラバ政府ガ一文モ補助ヲ與ヘヌ銀行會社ニ對シテハアナタハ干渉ナサツテ居ルデヤアリマセウカ、給料ハ是レ以上出シテハイカス、政府ガ一錢一厘ノ補助ヲ與ヘヌ銀行會社ノ就職者ニハ干渉シ、政府ガ數百萬圓ノ補助ヲ與ヘル大政翼賛會ノ給料ニ關係シテハ、政府ノ平均給ガ高カラウガ、民間ヨリ高カラウガ、ソレハ構ハス、唯昇給ノ時々ケ注意ヲスル、ソレハ昇給ハセヌデモ宜イデセウ、三倍五倍モ出シテ居ルルカヤ、當分昇給ノ必要ノナイコトハ私モ認メマス、雇入レル時ニ社撰ナコトヲヤツテ居ルデヤアリマセウカ、而モアナタハ平均給料ヲ豫算ヲ査定シタト仰シ

ナルガ、平均給料ヲ豫算ヲ査定スルコトハ宜シイガ、補助ヲヤル時ニハ別々ニ取ツタデセウ、補助ヲヤル時ニハ從來ノ例ニ依ツテト云フコトヲ取ルデアリマセウカ、詰リ職ニ依ツテ斯ウ云フ風ニヤル、アア云フ風ニヤルト云フコトヲ一々アナタノ方デ御取リニナツテ、サウシテ詳細ヲ決メナケレバ補助金ハ一錢一厘モ交付シテ居ラス慣例ガアルデヤアリマセウカ、アナタハモウ少シ眞面目ニ答辯ナサラヌトイケマセウ

○河田國務大臣 ニツニ分ケテ御答ヘ申上ゲマス、會社給與令等ニ付テノ給與ノ詳細ノ調ベト云フモノハ、何ト云フ言葉ヲ使ツデアリマシタカ、一寸用語ヲ忘レマシタガ、總額ヲ規定シテアリマスノデ、昇給其ノ他ハ一種ノヤハリ平均俸ノ式ニナツテ居リ、個人ガ幾ラノ昇給ヲスルカ、幾ラノ賞與マデ與ヘルカト云フコトハ、全體ノ額ニ付テ一種ノ平均俸式ノ方式デアリマシテ、個人ノ一人々々ニ付テノモノハヤツテ居リマセウ

第二段ノ補助ノ問題ニ付キマシテハ、取分ケ給料等ニ付テ或ル人間ハドウ云フ程度ノ平均俸ヲ給スルト云フコトニ依ツテ補助ノ率ヲ決メテ居リマスガ、其ノ補助ハ飽クマデ補助ノ性質ガアリマスノデ、私ノ記憶スル所デハ一々個人々々ノ實際ノ實給額ヲ調ベテ補助シテ居ルトハ私ハ記憶シテ居リマセウ、サウ云フ經驗モナイト思ヒマス、或ハ是ハ思違ヒカモ知レマセウガ、サウ云フコトハナイ管デアリマス、併シ今御説ノ通り採用ノ時ニ相當ニ取ツテ居ルカラ昇給シナクテモ宜イデヤナイカト云フコトハ申上ゲマシタガ、ソレハ昇給其ノ他ニ



付十分均等取レト申上ゲタ積リデア  
リマス、餘リ高過ギルト云フヤウナ實績ガ  
ゴザイマスレバ、之ヲ是正スルト云フコト  
ハ自然生ジテ来ルノデアリマス、或ハ昇給  
ヲヤメサセルトカシテ、要スルニ均等取  
レヌヤウナ實績ガソコニ現ハレマスレバ、  
之ヲ是正スルト云フコトモ無難致ス云フ  
ル者ガ是正スルト云フコトモ無難致ス云フ  
意味マデ含シテ居ル積リデアリマス

○森田(補)委員 高過ギルトハ減俸スル  
ト早ク仰シヤレバ要領ヲ得タノデス、ア  
ナト仰シヤルノハ増俸ダト云フカラ、此  
ノ増俸サレタラ増俸ト思フタノデス、能  
ク調ベテ見テ前職時代ノモノヨリ高過ギ  
ラ、サウ云フヤウナコトヲナルノガ本筋ダ  
ナイカ、採用スル時ニ能ク前職ノ給料カラ  
總テ百パーセント、サウシテ餘リニモ突飛  
ナコトヲヤラナイヤウニ願ヒタイ、某副部  
長ノ如キハ千二百五十圓取ツテ居ツタ  
ガ、四千五百圓ニナツテ居ル、是等ハ三  
倍、名前申上ゲテモ宜イ、私ノ方デハ  
能ク分ツテ居ル、サウ云フ風ニ二倍三倍  
云フヤウナ給料ヲヤルコトハ、官吏軍人ハ  
勿論ノコト、會社員銀行員等一般國民ニ  
ボス思想上ノ影響ハ大キナ問題デアリマス、  
大政翼賛會ハ今日マデノ質問應答ノ結果カ  
ラ見ルト一種ノ教化運動デアル、サウ云  
フニ從事シテ居ル人々ガ元來日本一ノ建  
物ニ入ツテ、日本一ノ給料ヲ取ツテヤル  
コトヲ日本ノ國民ガ肯定致シマセウカ、  
此ノ邊ヲ注意ナサツテ、サウシテ此ノ議  
會ニト云フヨリ、速カニ其ノ資料ヲ出サ  
ナケレバナラス、本當ヲ言フナラバ、議員  
俱樂部ニハ仰シヤツカドウカ知ラヌ  
ガ、副部長以下ノモノハ勘辨シテ與レト云

フ風ノ御話ガアツクサウデスガ、何ノ爲ニ  
勘辨スルノカ知ラヌガ、私ハ勘辨スルコト  
ガ出来スカラ、必要ナモノハ御出シニナ  
ラ宜シイ、サウシテ私ハ此ノ點ヲ十分今日  
國民ガ、殊ニソノ會社經理令ニ對シテハ非常  
ニシツクヲ受ケテ居ル、アナタハ今斯ウ云  
フコトヲ仰シヤル、個人々々ノ給料ヲ算給ハ  
束縛シテ居ラヌト云フ、ソレハ個人々々ニ對  
シテハナサツテハ居ラヌスカ知ラヌガ、總額ノ  
給料ヲ集メテ、其ノ七〇%ヨリ上ニ上ゲテハ  
イカスト云フ、個人々々ニ對シテ七〇%ヨ  
リ上ゲテハイカスト云フノハドウ云フノデ  
カ、若シ是ガ政府ノ言フヤウナコトナラバ、  
甲一〇%上ゲル、サウ云フ人ガ出来レバ、  
ソコニ一人四〇%シカ上ゲラレヌ人ガ出来  
ル、アノナト答辯ハイケンナイ、ソレデハ一  
人ノ人間ニ對シテ、十分ニ努力シテ居ル  
ヲ認メヨウト云フニハ、一人ヲ落シテ行カ  
ナケレバナラス、平均七〇%以上上ゲテハ  
ハ決シテ誰モ肯定ノ出来ルヤウナ答辯デハ  
ナイ、ドウゾ此ノ點ニ關シテハ今後刷新  
ル時ニハ、又人ヲ採用スル時ニハ、意表ニ  
出ナイヤウニ注意セラレンコトヲ希望シテ  
私ノ質問ヲ終リマス

○増田委員 此ノ場合休憩致シマシテ、  
一時三十分カラ開會致シマス、丁度一時間  
ノ休憩デアリマスカラ、ドウゾ時間ヲ正  
ニ御守リ願ヒマス

午後一時三十分開會  
○増田委員 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ  
マス、内務大臣ヨリ一松君ノ先程ノ御質疑  
ニ對シテ答辯致シタイト云フ申出ガアリマ

ス—内務大臣  
○平沼國務大臣 休憩前ニ一松君ヨリ警保  
局長ノ通牒ニ付テノ御質問ガゴザイマシタ、  
取調ベマシタラ昨年八月正ニ一松君ノ御  
述ベノヤウナ通牒ガ出テ居リマシタ、是ハ  
其ノ當時其ノ必要ヲ認メテ發シタモノト考  
ヘマスガ、時ノ推移ニ依リマシテ、色々考  
慮ヲ費シマシテ、今後ノ處置ニ付キマシテ  
ハ内務大臣ノ見ル所ニ依ツテ然ルベク處置  
ヲ致ス積リデアリマスカラ、左様御諒承願  
ヒマス

○武田委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メマ  
ス—只今一松君ノ質問ニ對スル内務大臣  
ノ御答辯ニ關シテ伺ツテ置キタイノデア  
リマスガ、近來大政翼賛會ノ嚴正批判ニ對  
スル警察ノ監督ハ地方ニ於テ今日尙ホ善  
ガ見テ其ダシク不必要ノ程度ニ嚴格デア  
ト感ズルコトガ多クアリマス、尙ホ其  
ノ文書等ニ於テモ何故ニ發禁サレルノカラ  
殆ド諒解ニ苦シムヤウナ程度ガ往々ニシテ  
ルノデアリマス、就キマシテハ貴衆兩院ノ  
豫算委員會、其ノ他ニ於テ大政翼賛會ニ關  
スル論議ガ極メテ熱心ニ交換サレテ居リマ  
ス、其ノ速記録ヲ熱讀致シマスルト、何レ  
令ニ違反スルカ否ヤノ問題、或ハ法律、勅  
令ニ違反スルカ否ヤノ問題、或ハ大政翼賛  
會ノ行動ガ臣民翼賛ノ實ヲ得ル機構デ  
アルヤ否ヤノ問題、若シクハ國民總和  
實ヲ學ゲルニ足ルカ否ヤノ問題、斯様ナ問  
題デ、刻下ノ時局ニ對スル極メテ重要ナ質  
問應答ガ交ハサレテ居ルノデアリマス、就  
キマシテハ議會終了ノ後ニ是等ノ速記ヲ新  
聞、其ノ他ニ轉載スルヤウナコトガアリ得  
ルト思ヒマス、若シクハ之ヲ何等カノ出版  
物トシテ出ス場合モアルト思フノデアリマ

ス、假ニ左様ナコトガアリマシテモ、是ハ  
國家ノ秩序ヲ何等モ損ナシトナシ、ミナ  
ズ、寧ロ大政翼賛會ノ性格、政府ノ意圖セ  
ラルル所ヲ國民ニ周知セシムル、所謂寧ロ  
政府ノ考ヘテ居ラレル上意下達ノ非常ナ助  
ケニナルベキコトデアリヤウニ思フノデア  
リマスガ、サウ云フ場合ニ内務大臣ハ如何  
ナル御取扱、御取調ヲナサレ御考ヘデア  
リマス、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイ

○平沼國務大臣 秘密會ニ屬シマセス議會  
ノ言論ハ、公ニサレルコトハ當然デアリマ  
ス、之ニ對シテ政府トシテハ何等ノ干渉ス  
ベキ理由ハゴザイマセス

○増田委員 古屋慶隆君  
○古屋委員 古屋慶隆君  
大臣ニ、極ク簡單ニ二ツノ點ヲ御伺ヒ致シ  
タイト思ヒマス、先刻來同僚ノ一松君、森  
田君等カラ、各觀點カラ見テ御答ネガアツ  
タノデアリマスカラ、成ルタケ其ノ御答  
ニ重複シナイヤウニ、簡明ニ御答ネ致シ  
タイト思ヒマス、先ツ第一ニ御答ネシタイ  
トハ、只今一松君ノ御答ニ對シテ内務大  
臣ハ、昨年八月ノ何日トカニ警保局長ノ  
名前ヲ以テサウ云フ通牒ヲ出シタケレドモ  
無論此ノ通牒ハ時代ノ推移、事變ノ見透シ  
凡ニル方面カラ、ドウ云フ風ニ改正スルカ  
ト云フコトハ御言明ニナラナカッタガ、平沼  
國務大臣ノ無任所大臣トシテ就職セラレテ  
以來ノ旅行中ノ談話、其ノ他凡ニル機會ニ  
於ケル御答辯等ヲ拜察致シマス、必ズサ  
ウ云フ通牒ハ有害無益ノモノデアルト云  
フ意思ヲ表明セラレタモノト、私ハ判斷シ  
テ差支ヘナイト思ヒマスガ、序ニ此ノ點ハ  
尙ホ一應平沼國務大臣ノ御答辯ヲ承リタイ  
ト思ヒマス

○平沼國務大臣 只今森田君ノ御質問ニ對  
スル私ノ答ヘテ御承知願ヒタイト思ヒマス、  
此ノ點ハ言論ノ取締ニ關スルコトハ、内務  
大臣ニ御任セラ願ヒタイノデアリマス

○古屋委員 只今ノ御答辯大體分リマシ  
タガ、先刻ノ覽覽會ハ公事結社デアル、斯  
ウ云フ政府ヲ代表シテノ御答辯ト、言論取  
締ノ職務ヲ持ツテ居ル國務大臣ノ立場カラ、  
無論只今ノ簡明ノ御答辯デ、私ハ政府ノ意  
ノアル所ヲ諒承致シマシテ、是レ以上御答  
ネシヨウトハ思ヒマセス

第一ニ御答ネシタイコトハ、大政翼賛會  
ハ申上ゲルマデモナク非常ニ厄大ナル組織  
デアル、而シテ此ノ幹部ナリ要職ニ居ル諸  
君ハ、恰モ政府ニ對シテハ治外法權ノ立場  
ニアルガ如キ言論ヲ志ニ致シテ居ルカノ感  
ガアル、私ハ此ノ點ニ付テ、世間有識者、  
一般ノ國民ハ非常ニ危惧ノ念ヲ抱イテ居  
タト云フコトハ、是ハ寧ロ當然ナコトデア  
ルト思フ、然ルニ先刻政府ヲ代表シテノ平  
沼國務大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、恐ラク  
是等ノ危惧モ、實ハ人事サハ斷乎トシテオ  
ヤリニナリマスナラバ、大體ニ於テハ雲散  
霧消スルノデアアルマイカト、私共ハ信ジ  
テ居ルノデアリマス、申スマデモナク大政  
翼賛會ガ昨年八月デアリマシタカ、出來  
タ當時ニ於キマシテハ、内政ノ方面ニ於テ  
斯ウ云フ大變革、國民ノ再組織ヲヤル、幹  
部ノ諸君ハ、明治維新ニモ比シベキ大問  
題、大事業デアル、昭和維新ヲ標榜セラレ  
テ、凡ニル機會ニサウ云フ聲明ヲセラレ  
ノデアリマスカラ、一般國民ガ或ル程度ノ  
刺戟ト衝動ヲ受ケタト云フコトハ私ガ申上  
ゲルマデモナイ、今日デハ地方ノ方面ハ完  
成シタカドウカ知リマセスケレドモ、中央

竝ニ地方ノ方面ガ完成致シマス、其ノ人  
員ダケモ貴族院ノ速記録ヲ讀ソシテ見マス  
ト、殆ド陸海軍ヲ除ケバ、他ノ各省ニモ劣  
ナイ、否各省ヨリ以上ノ厄大ナル組織デア  
ルト云フヤウナ御答ネモアリマシテ、政府ハ  
ソレニ對シテ否定モシテ居ラヌノデアリ  
マスカラ、無論其ノ組織ハ厄大デアルト思  
フノデアリマス、果シテ然ラバ先刻一松君  
カラ十分御答ネニナリマシタヤウニ、斯ウ  
云フ厄大ナル組織、而モ計畫ノ組織ヲ以  
テ、政府ノ機關ノ、議會ヲ除ケバ、其ノ他  
ノ機關ノ以上ニナルヤウナ大イナル組織ヲ  
何等ノ法律ノ根據ナクシテ、斯ウ云フコト  
ヲヤツテ宜イモノデアラカドウデアルカ、  
而モ其ノヤリ方ガ、宣傳等ニ依リマス、  
全然政府ノ支配ヲ受ケテ居ラナイ、治外法  
權ト云フヤウナ立場デ政府ヲ指導シ、監督  
スル、斯ウ云フヤウナコトヲ申サレテ居  
ノデアルカラ、私ハ一松君ノ言ハレタ憲法  
第四條ノ規定カラ見テ如何カト思フコト  
コトハ、是ハ一松君ノミデハナイ、大體ノ  
法律家ハ是ハ憲法違反ダト云ツテ居ルノデ  
アル、先刻ノ說明ヲ承ラズシテ、而シテ先  
刻ノ政府ヲ代表シテノ御答ヲ承ハラナイト、  
是ハ無論憲法違反論デアルト云フコトハ確  
カデアラウト、私ハ確信ヲ致シテ居リマシ  
タガ、政事結社デアリ、公事結社デアルト  
云フ、政府ヲ代表セラレタ意見ヲソレ  
綜合シテ考ヘテ見ルト、是ハ蓋シ憲法上ニ  
於ケル統治權ノ發動ニ對シテハ無論憲法第  
四條ノ規定ニ依ルノガ勿論デアル、併シテ  
ガラ憲法第四條ノ規定ノ中ノ憲法上ノ統治  
關係ヲ外ニシテ、モウ少シ廣イ意味ニ於テ  
ノ政治關係ト云フカ、一般行政關係ト云フ  
カ、正確ナ言葉ハ分リマセスガ、少クとも

憲法上ノ統治機關以外ニモ輔翼スベキモノ  
ガ多クアルノデアル、ソレ等ニ對シテ輔  
翼ヲスルノデアル、斯ウ云フ風ニ私ハ解  
釋ヲ致シタイトデアル、是ニ於テ私ハ御同  
意シタイコトハ、大政翼賛會ノ所謂大  
政ト、憲法上ノ統治權トノ關係ハドウデア  
ルカ、全ク同一デアルカ、或ハ其ノ範圍ニ  
差異ガアルノデアルカ、又ハ大政ト云フモ  
ノハ統治權ヲ包含シテ居ルモノカドウカ、  
若シソレガ同一モノデアリ、若シクハ大政  
ハ統治權ヲ包含スルモノト致シマスナラバ、  
大政翼賛會ノ如キ機關ノ設立ト云フモノハ  
憲法上差支ヘナイト云フヤウナ御意思ノヤ  
ウニ私ハ承ツタノデアリマス、果シテ此ノ  
通りデアリト致シマスレバ、事實行爲ヲ澤  
山ヤル者ガアルノデアル、是ヲ以テ政府ヲ  
援ケルノダ、是ヲ以テ政府ヲ指導スルノダ、  
其ダシキニ至ツテハ是デ政府ヲ監督スルノ  
ダ、斯ウ云フヤウナ者ガ續々出テハ相成ラ  
ヌカラ、此ノ點ニ付テ私ハ只今申上ゲタヤ  
ウニ憲法上ノ統治權トドウ云フヤウナ關係  
ガアルカ、同一モノデアルカ、其ノ範圍  
ニ差異ガアルカ、若シ差異ガアリトスレバ  
ドウカ、包括的ナモノデアラカドウデア  
ルカ、此ノ點ヲ先ツ平沼内務大臣カラ御説明  
ヲ願ヘレバ結構デアリマススケレドモ、先刻  
ノ關係上法制局長官デモ宜シウゴザイマス  
先ツ此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○平沼國務大臣 大體ノコトヲ私カラ御答  
ヘ致シマス、大政ト云フ字ハ蓋シ廣イ意味  
ニ用ヒテ其ノ名稱ヲ定メタモノト考ヘテ居  
ルノデアリマス、要スルニ國家ノ統治ハ憲  
法ノ輔翼機關ニ依ツテ輔翼セラレマスモ  
ト、ソレカラ一般ニ謂ハレル職分奉公ト申  
シマスカ、其ノ他ノコトモゴザイマセウカ、

其ノ方面デ覽覽セラレマスモノト、此ノ二  
樣デアリマスルコトハ、午前ニ法制局長官ガ  
述ベマシタ通りデゴザイマス、憲法上ノ機  
關ニ依ツテ輔翼セラルル方面ニ對シマシテ、  
他ノ者カラ之ニ關與スル、是ハ出來ナイコ  
トデアリマス、是ハ職權ヲ侵スコトニナル、  
併シソレ以外ニ於キマシテ覽覽ノ途ハ開カ  
レテ差支ヘナイ、是ガ大體ノ趣意デアリマ  
ス、左様御承知願ヒタイノデアリマス

○古屋委員 大體分リマシタ、別ノ言葉カラ  
言ヘバ、憲法上ノ機關ニ依ル大政翼賛ト然  
ラザルモノトノ二ツガアル、斯ウ云フ風ニ  
解釋シテ差支ヘアリマセウカ

○平沼國務大臣 御述ベノ通りデアリマス  
次ニ伺ヒ致シタイコトハ、政府ト表裏一體  
ノ關係ト云フノハ一體ドウ云フコトヲ言フ  
デアルカ、私ハ政府ト云フコトハ政治ノ中樞  
ニ對スル一般概括的ノ總稱デアツテ、憲法、  
議院法、其ノ他ノ規定ヲ見テ見マス、畏多  
クトモアルシ、ソレカラ輔翼ノ國務大臣ヲ  
指シテ居ルコトモアルシ、又内閣ヲ指シテ  
居ルコトモアルシ、何レニシテモ政府ト云フ  
ノハ限ラレテ居ル、其ノ關係ト表裏一體ヲ  
ナスト云フコトハ一體ドウ云フコトデア  
ルカ、私ハガドウモハツキリ分ラナイ、私  
團體デアリ覽覽會ガ自ラ政府ト表裏一體ト  
ナルト云フヤウナコトハ、一體ドウ云フ風  
ニ解釋スベキモノデアラカ、私ハ表裏一體  
デハナイ、政府ト協力ト云フ意味デハナイ  
カト思フ、隨テ表裏一體ト云フ文字ハ甚ダ  
不適當ナル文字デアルト思ヒマスガ、平沼  
國務大臣ハ其ノ點ニ付テドウ御考ヘデア











ニ限ツテ言論ノ中止、禁止ヲ命ズルノダ、大政翼賛會ト云フモノノ性質ヲ明カニシ、今マデハ斯ウ云フコトデアツタガ、是ハ今回改メラレテ非常ニ良クナツタノダト云フヤウナコトヲ、吾々ガ議會終了後ニ議會報告演説ノ時ニシヨウトスレバ、ソレヲホト差止メルト云フコトニナレバ、國民ハ眞ニ大政翼賛會ガ斯ウ云フ性質ノモノデナケレバナラヌト云フコトハ理解シテ居リマセス、政府ガヤルノダカラ何デモ彼デモ宜イノダ、其ノ政府ノヤツテ居ルモノニ一體反對スル者ガ舊態依然タルモノデ、自由主義デアルト云フヤウナコトヲ言ツテ、今日憲法ノ解釋ガ分ラヌデ新聞ノ記事等ニ於テ非難スルヤウナガアルノデアリマシテ、此ノ點ヲ取締ハ餘程注意シナケレバナラヌコトデアリ、尙ホ大政翼賛會ノ性格ガ此ノ程度ニ明カニナリマシタラバ、昨年八月頃ニ於ケル大政翼賛會ニ對スル國民ノ考ヘ、今後ニ於ケル大政翼賛會ニ對スル國民ノ考ヘハ違ツテ來タト私ハ確信致シマス、サウ致シマスレバ、言論ヲ御取締ニナル地位ニ居ラレル平沼内務大臣ハ、今後ノ情勢如何ニ依ツテ云々ト云フコトヲ申サレリヨリモ、要スルニ此ノ治安警察法第八條、第十條ニ悖ツテ治安秩序ヲ紊亂スルヤウナ言論アレバ、ソレハ治安警察法ノ第八條、第十條ニ依ツテ取締ルノダ、サウデナケレバ勿論取締ルト云フコトハ出來ナイノダ、サウデナイモノヲ取締ルト云フコトハ、憲法ニ依ツテ言論ノ自由ヲ保障シテ法ノ精神ニ悖ルカライケナイノダト云フヤウナコトガチヤント明カニ警察官ニ分ルヤウニナシテ、サウシテ其ノ訓令ヲモウ少シ具體的ニ改メ、吾々ガ選舉區ニ歸ツテ議會報告演説ヲスル

時ニ、サウ云フヤウナ誤リノナイヤウニ、又國民ガ大政翼賛會ノ問題ニ付テ色々ナ講談論議ヲスル時ニ間違ヒノ起ラナイヤウニ、一面ハ又新聞紙ヲ取締ル、是モ治安警察法ノ禁テ禁止シテ居ルノデアリマスカラ、今茲ニ列強政シマシタイ、ロ、ハ、ニ、ホ、マデト云フモノハ、是ハ餘程注意シマセヌト、ソレガ爲ニ却テ憲法ニ於テ保障サレタ臣民ノ權利義務ガ、法律ヲ十分ニ辨ヘテナイヤウナ警察官——警察官全部デハアリマセスガ、サウ云フヤウナ人ノ爲ニ徒ラニ言論ノ自由ヲ抑壓サレルコトニナリマスカラ、其ノ點ニ對シマシテ、私ハ内務大臣ノ明快ナル御答辯ヲ此ノ際承ツテ置キタイノデアリマス

アリマシテ、斯様ナ國家未嘗有ノ困難ニ直而シテ居ル場合、政局ヲ擔當サツテ居ラルル閣僚各位ハ、空ク決死不動ノ決意、信念ヲ以テ臨マナケレバナラナイト存ジテ居リマス、此ノ翼賛會ノコトヲ論ズルニ當ツテハ、勢ヒ翼賛會ト表裏一體アルト稱スル現内閣ニ對スル自分達ノ氣持ヲ申述ベマセスト話ガ進マナイコトニナリマスカラ、私共ハ此ノ未嘗有ノ困難ニ際シテ、徹頭徹尾近衛内閣ヲ援助シテ、近衛内閣ニ此ノ困難克服ノ先達ニナツテ貫ヒタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、隨テ吾々ガ支援スル近衛サシガ此ノ翼賛運動ナクシテハ高度國防國家ガ建設出來ナイ、斯ウ仰シタルノデアリマスカラ、吾々モ微力デハアリマスガ、翼賛會ノ育成、大成ニ付テハ及ズナガラ御援助申上ゲタイ、斯ウ云フ考ヘヲ私共ハ持ツテ居ル、然ルニ吾々ガ左様ナ考ヘヲ持ツテ居ルニ拘ラズ、政府ノ此翼賛會ニ對スル態度ト云フモノハ果シテ政府ニドレダケノ熱意ガアリ、ドレダケノ眞切サガアルカト云フコトニ私共ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、現ニ本日モ各委員内務大臣ト、質疑應答ヲ承ツテ居リマシテ、私ハサウ云フ感シガ致シテナラナイノデアリマス、吾々ハ翼賛會ガ憲法ニ低觸スル、憲法ニ違反スルト云フ説ト、斷ジテ違反シナイト云フ政府ノ御答辯トヲ拜聴致シテ居リマシテ、其ノ點ニ對シテハ不敏ニシテ未ダ明確ナル判斷ガ私自身ニハ付キ兼ねテ居リマスケレドモ、此ノ運動ナクシテハ高度國防國家ノ建設ガ出來ナイト近衛サシガ仰シヤツテ居ル、其ノ點カラ致シマシテモ私共ハ眞ニ國家ヲ救フ翼賛會デアリ、國家ヲ救フ運動デアリマスカラ、ソコニ法的ノ疑義ガ殘ツテ居ツテ

モ、國家ヲ救フ爲ナラバ、國民ハ全力ヲ盡シ此ノ運動ノ健全ナル發展ヲ期シタイ、斯ウ國民ハ考ヘテ居ラウト思フ、吾々モ其ノ一人デアリマス、然ルニ吾々ガサウ考ヘテ居リマスノニ、二月八日此ノ席上デ近衛總理大臣ガ翼賛會ニ關スル性格其ノ他ニ付テ、吾々ニ對シテ御聲明ガアツタ、其ノ近衛サシノ御聲明ヲ聽イテ居ルト、翼賛會ハ高度ノ政治性ヲ持ツテ居ルト仰シタル、吾々モソレデ宜シト思フ、翼賛會ガ精勤ト等シヤウナモノニナツタノデハ、私共千圓ハオロカ百圓デモ左様ナ無力ノモノニ國費ヲ費スコトハ反對デス、高度ノ政治性ガアツテ眞ニ一體、臣道實踐ノ實ヲ擧ゲルヤウナ高度國防國家ノ建設スル爲ノ運動デアラカラ私共贊成スルノデアル、豫算ハ八百萬圓御出シニナツタケレドモ、是ガ眞ニ國家ヲ救フ運動デアラカラ吾々國民ハ一錢一厘デモ之ヲ無駄ニ使フナラバ斷ジテ許スベキデナイケレドモ、ソレガ眞ニ救國ノ運動ニ徹スルナラバ二千萬圓デモ、三千万圓デモ國民ハ欣然トシテ協賛スルト思フ、近衛サシハ高度ノ政治性ヲ持ツテ實踐運動ニ當ルノダト仰シタル、然ルニ今日ノアナタノ此ノ席上ニ於ケル御話ヲ聽イテ居ルト、翼賛會ハ政治運動ハシナイト仰シタル、高度ノ政治性ト云フコトハ少クトモ高度ノ政治運動ヲヤルカラ高度ノ政治性ガアルト云フ言葉ガ出テ來ル、近衛サシノ仰シタルコトト、アナタノ仰シタルコトト違フノチヤナイカト私ニハ思ハレル、其ノ點ニ付テ先ヅ諒解ノ行キマスヤウニ御説明ヲ願ヒタイ

○平沼國務大臣 近衛總理大臣ノ聲明、治安警察法ニ所謂政事結社ヲナスベキ政治活

動ハシナイ、サセナイ、今日私ノ申述ベマシタコトモ同様デアリマシテ、此ノ間何等ノ齟齬低觸ハゴザイマセス

○今井(新)委員 翼賛會ヲ精勤ノ如ク致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ル方モアリマス、其ノ點ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ御持チデアリマセウカ

○平沼國務大臣 翼賛會ハ全ク精勤ト同ジ性質ノモノデアリマセヌノデ、唯精勤ノ精神運動ケケハ翼賛會ノ目的ハ違シマセスカラ、ソレデ近衛公方之ニ政治性ヲ持チセル、斯ウ言ハレタノデアリマス

○今井(新)委員 モウ一度諄イヤウデスガ御説明ヲ願ヒタイ、近衛公ノ仰シタル高度ノ政治性ノ意義ヲモウ一度御説明ヲ願ヒタイ

○平沼國務大臣 ソレハ前ニモ申述ベテアルノデアリマス、政治上ノ活動ヲスルト云フコトト、政治性ト云フコトトハ意味ガ違ヒマス、翼賛會ハ政府ノ樹テマシタ政策ヲ補助致スノデアリマシテ、其ノ點ニ於キマシテ全クノ精神運動トハ違ヒマス、ソレヲ政治性ト云ハレタノデアリマス

○増田委員長 今井君ニ注意致シマス、先程委員長ガ確カメテアルノデアリマスカラ、其ノ以外ニ互ラヌヤウニ御注意シマス

○今井(新)委員 其ノ意味ハ諒承シマシタカラ宜シウゴザイマスケレドモ、高度ノ政治性トハ何ゾヤト云フコトデ今御尋ネシテ居ルノデアリマス、ソレハ委員長ガ先程御尋ネニナツテハ居ラナイコトデアリマス、ソコデ内務大臣ニ重テ御尋ネ致シマスガ、翼賛運動ノ本旨眼目ニ付テデアリマスルガ近衛公府ハ此ノ非常時局ヲ突破克服スル爲ニ國民ノ全體ノ力ヲ結果スル高度國防國家

ヲ建設スルノデアル、其ノ高度國防國家ヲ建設スル爲ニ此ノ翼賛運動ハ生レタノデアリ、斯ウ云フヤウニ仰シヤツタト承ツテ居リマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○平沼國務大臣 ソレハ御述べノ通りデアリマス

○今井(新)委員 高度國防國家ヲ建設スルト云フコトハ言葉ヲ換ヘテ申シマス、舊體制ヲ打破改善シテ所謂新體制ヲ確立スルコトデアルト、左様ニモ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

(發言スル者多ク議論騷然)

○平沼國務大臣 其ノ點ハ色々説ガ...、(發言スル者アリ)文字ノ意味ハアナタ方ノ御解釋ニ任セマスガ、高度國防國家ト云フコトト、新體制ト云フコトトハ必ズシモ同ジモノト云フヤウニハ符合ハ致シマセヌモノハ、國民ノ總力ヲ遺憾ナク發揮出來ルヤウナ體制ガ高度國防國家デアルト解釋シテ居ル、サウスルナラバ此ノ高度國防國家ヲ建設スルニ妨害トナルベキ過去ニ於ケル政治、經濟、教育一切ニ互ツテノ弊害ヲ改善スル、サウシテ所謂サウ云フ弊害ノアル舊體制カラ脱却シテ、本當ノ國民ノ總力ヲ發揮出來ルヤウナ新シイ體制ヲ建設スルコトダ、斯ウ云フヤウニ解釋シテ居リマス、若シサウ云フ解釋ニシテ當ツテ居ララバ、此ノ大政翼賛會ノ運動ト云フモノハ現狀維持ノ考ヘデハ此ノ運動ガ出來ナイト云フコトニ私ハナルダラウト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 是ハ前回ニモ申シテ置キマシタガ、今日ノ世界ノ大勢カラ考ヘマシテ、今日ハ革新ノ時機アルト云フコトハ

申スマデモゴザイマセス、唯現狀若シクハ舊制ニ泥ンデ居リマシテハ到底此ノ難局ノ突破ハ出來マセス、改革ノ必要ナルコトハ是ハ論ハナイ所デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○増田委員長 今井君ニ注意シマスガ、大政翼賛會ノ範圍ニ質問ヲ止メテ置イテ貰ヒタイ

○今井(新)委員 今日ノ世ノ中ハ革新ヲ必要トスル世ノ中デアルト云フ内務大臣ノ御言明ヲ得マシテ、私ハ欣快トスル所デアリマス、ソコデ翼賛會ノ改組ニ付テハ、當局モ力強ク御言明ガアツタノデアリマスガ、私共ハソコヲ心配スルノデス、改組ガ改悪ニナツテハ困ル、假令一切ノ機構、組織ヲ如何ニ改メマシテモ、之ヲ運用スルノハ人ニアルノデアリマスカラ、眞ニ大政翼賛會ニ改革ニ當ラレルニハ、其ノ人宜シキヲ得テ、適材ヲ適所ニ置カケレバナラナイト私ハ思フ、大政翼賛會ノ中ニ團體觀念ノ缺如シヤウナ所謂其意思想ニカブレタヤウナ者ガ相當アルト云フコトヲ承ツテ居リマスカラ、是等ノ輩ヲ徹底的ニ掃蕩スルコトハ勿論必要アル、必要デアリマスケレドモ、此ノ現狀打破ノ革新運動ノ中核トナルベキ翼賛會ノ樞要ノ地位ニ、萬一現狀維持ノ勢力下ニアルヤウナ人物ガ乘込シテ行ツテ、此ノ現狀維持ノ思想デ大政翼賛會ヲ牛耳ルト云フヤウナコトガアツタラバ、其ノ結果ハ私ハ大政翼賛會ノ運動ハ唯死滅スルノミダト考ヘテ居リマス、此ノ議會ニナリマシテ、大政翼賛會ノ問題ガドウ云フヤウニ國民ノ間ニ傳ツテ居ルカ、新聞ノ傳ヘル所ニ依レバ、議會人ガ赤ノ人々ヲ追出シテ、其ノ後ニ乘込ムノダ、サウシテ大政

翼賛會ノ乘取リヲ策スルノダト云フコトヲ堂々ト書イテ居ル、其ノ新聞ヲ見マシテ國民ガ一體議會ニ對シテ、ドウ云フヤウナ觀念ヲ今持ツテ居ルノデアリマセウ、私ハ恐ラク私共ノ敬愛スル所ノ此ノ議員ノ仲間ニハ、一人デモ左様ナ不純ナ考ヘヲ持ツテ居ル者ガアルベシトハ思ハレナイ、思ハレマセヌケレドモ、私ハ人事ノ改革ト云フコトハ、實ニ難カシト思フ、私ハ近衛サシガ今日御出デニナツタナラバ、近衛サシニ能ク御話シタイト思ツタノデスガ、一體此ノ内閣ノ組閣ノ時カラ今日マデ所謂近衛人事ナルモノハ權勢ニ阿附スル小人ノ輩カ、然ラザレバ、力ヲ以テ、迫ルヤウナ者ダケガ用ヒラレルト云フヤウナ聲サヘ聞エテ居ル、デアラカラ政府デ大政翼賛會ノ改革ニ當ラウトサレマシテモ、一タビ人事ノコトニ至ルト、事容易ナラズト私共ハ考ヘテ居ル、今地方ノ純真ナル青年ハ、大政翼賛會ノ運動ニ共鳴シテ本當ニ愛國ノ信念、烈々燃ユルガ如キ熱情ヲ以テ此ノ舉國ノ運動ニ參加シテ居リマス、其ノ青年達ハ東京ニ參リマシテ、東京會館ニ行ツテドウ云フ感シヲ受ケテ歸ヘルカ、自分達ハコシナニ一生懸命ニヤツテ居ルケレドモ、一タビ東京會館ニ來テ、アノ中ノフヤケ切ツタ眞剣デナイ空氣ヲ見テ、實ニ失望ノドン底ニ墜落サレタヤウナ氣持ヲ持ツテ歸ツテ行ク、併シソレハ獨リ大政翼賛會本部ノ人達ノミデハナイ、此ノ翼賛會ヲ根本的ニ改革スルト云フニハ殊ニ人事ニ付テハ政府ガ何等ノ情實、何等ノ運動ニ動かサレルコトナク、本當ニ政府獨自ノ御考ヘヲ以テ此ノ改革ニ當ラナケレバ、私ハ純真ナル幾多ノ地方青年ヲ泣カシメルノ結果ニナルノデアリナイカ







昭和十六年二月二十三日印刷

昭和十六年二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第一類 第二號)

第七十六回帝國議會 衆議院 豫算委員第一分科(外務省、司法省、拓務省所管)會議錄(速記)第一回

會議

昭和十六年一月三十日(木曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

- 主査 依光 好秋君
- 鶴見 祐輔君
- 窪井 義道君
- 石坂 豊一君
- 伊禮 肇君
- 中島彌圓次君
- 笠井 重治君
- 井上 良次君
- 一松 定吉君
- 高田 耘平君
- 川崎 克君
- 平野 力三君
- 前川 正一君
- 三善 信房君
- 森田重次郎君
- 武田徳三郎君
- 佐藤洋之助君
- 中山 福藏君
- 平川松太郎君
- 依藤洋之助君

同日第五分科所屬員高田耘平君及第六分科所屬員森田重次郎君ハ執レモ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 拓務大臣 秋田 清君
- 外務大臣 松岡 洋右君
- 司法大臣 柳川 平助君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 外務次官 大橋 忠一君
- 外務省東亞局長 山本 熊一君
- 外務省歐亞局長 阪本 端男君
- 外務省亞米利加局長 寺崎 太郎君
- 外務省南洋局長 齋藤 晋次君
- 外務省通商局長 高瀬 眞一君
- 外務省條約局長 水野伊太郎君
- 外務書記官 松本 俊一君
- 武内時之助君

司法次官

- 三宅正太郎君
- 坂野 千里君
- 秋山 要君
- 金澤 次郎君
- 中島 弘道君
- 石田 齋君
- 北島謙次郎君
- 副島 勝君
- 植場 鐵三君
- 今吉 敏雄君
- 森部 隆君
- 中野 勝次君
- 大野綾一郎君
- 水田 直昌君
- 齋藤 樹君
- 中嶋 一郎君
- 小川 正儀君
- 近藤 駿介君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案中外務省、司法省及拓務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スル要スル件中外務省及拓務省所管

(第一號)昭和十五年歳入歳出總豫算案追加案中外務省所管

○依光主査 是ヨリ開會致シマス、開會ニ先ダチマシテ一言御注意ヲ申シタイコトガゴザイマス、本分科ハ外務、司法、拓務ノ三省關係ノ豫算ノ審議デアリマスルガ、御承知ノ通り本議會ハ時局ノ重大性ニ鑑ミテ、豫算總會ニ於キマシテモ僅カ一週間足ラズ

外務次官

デ質疑ヲ打切ツテシマツタ次第ゴザイマス、本分科ニ於キマシテモ、本日ト明日、即チ三十日ト三十一日ノ兩日ヲ以テ質疑ヲ打切リタイト思ツテ居リマス、尙ホ出來ルナラバ、本日一日デ此ノ三省關係ノ豫算ヲ打切リタイト思ツテ居リマスガ、出來マセス場合ハ明日ニ掛リタイト思ツテ居リマス、二月一日ニ總豫算ノ態度決定トナツテ居リマスノデ、本分科ニ於キマシテモ、質疑應答ハ出來ルダケ簡潔ニ御願ヒシタイと思ヒマス、質疑者モ答ヘル者モ、要點主義デ御進ミ下サイマシテ、成ベク自己ノ意見ヲ多ク織混ゼナイヤウニ御願ヒシタイと思ヒマス、質疑ノ順序ト致シマシテ、本日ハ先ツ外務省關係ノ豫算カラ審議シテ行キタイト思ヒマス——外務大臣

○松岡國務大臣 昭和十六年度外務省豫算ニ付テ大要ヲ説明致シマス、外務省ハ豫算昭和十六年度歳出豫算トシテ一億餘万円ヲ計上要求致シマシタガ、現下ノ國際情勢ニ照シ、高度國防國家體制建設ノ絕對喫緊ノ要務ナルニ鑑ミマシテ、其ノ要求中新規事項ニ付キマシテハ、比較的不急ノ施策ハ之ヲ後日ニ譲リ、外交政策遂行上不可缺ノ事項ノミ實行スルコトトシ、又既定ノ經費ニ付キマシテモ、荷モ不急ト認メラルモノハ之ヲ削減シ、緊急重要ナル費途ニ振向ケル等、重點主義ヲ發揮シ編成致シマシタ、其ノ結果昭和十六年度外務省所管豫算要求額ハ、歳出經常部二千三百八十七万五千五百三十六圓、歳出臨時部四千六百六十四万二千八百十八圓、合計七千五百一十七万七千六百

外務次官

五十四圓デアリマシテ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマスルト、經常部ニ於キマシテハ九万三千三百五十七圓ヲ減少シマシタガ、臨時部ニ於キマシテ百二十三万四千四百七十五圓ヲ増加シ、結局總額ニ於キマシテ百十四万四千八百十八圓ノ増加ト相成リマシタ

今茲ニ其ノ新規要求事項中主ナルモノヲ説明致シマスレバ、第一ハ外務本省機構充實ニ要スル經費十五萬餘圓デアリマス、是ハ現下ノ國際情勢ニ對處シ、帝國外交政策遂行ノ圓滑ヲ期スル爲メ、本省調査部、電信機關等ヲ充實整備致シマス外、外交官、領事官ノ訓練ニ當ラシムル爲メ、訓練所ヲ設置セントスルモノデアリマス

第二ハ、在外公館機能充實ニ要スル經費百三十一萬餘圓デアリマス、是ハ國際關係益々複雜化ナル現狀ニ鑑ミマシテ、在在外交通商機能ノ充實ヲ圖ル爲メ、濠洲公使館ヲ初メ、總領事館及ビ領事館各一館、總領事館分館三館ヲ新設シ、又既設公館ノ昇格充實等ヲ行ハントスルモノデアリマス

第三ハ、臨時外交使節ニ關スル經費千四百十四萬餘圓デアリマス、今ヤ世界ハ一大轉換期ニアリマス、此ノ間ニ處シ外交機能ノ全幅的活動ヲ期スルコトノ極メテ緊要ナルヲ認メマシテ、外交機能ノ充實強化ニ必要ナル經費、竝ニ強力外交發揮上不可缺ノ機密費、旅費、電信料等ヲ計上シタ次第デアリマス

第四ハ、歐洲事變ニ關スル經費百五十三萬餘圓デアリマス、是ハ歐洲事變ノ推移ニ即應シ、諸般ノ外交事務處理ニ當ラシムル

第一類第二號 豫算委員第一分科會議錄

第一回 昭和十六年一月三十日

(111)



爲ス、増置シマシク職員ノ維持ニ事變ニ關シ必要ナル電信料、事務費等アリマス...

第六八、戰時通商經濟ノ強化ニ關スル經費百三十二萬餘圓デアリマス、今次歐洲大戰ハ世界經濟ニ又一大變革ヲ招來致シ...

第七八、在外邦人子弟教育補助費ノ増加ニ關スル經費百五十萬餘圓デアリマス、邦人ノ海外發展、殊ニ事變後ノ支那ニ進出セル邦人ノ激増ニ伴ヒマシテ是等子弟モ亦著シク増加致シ...

第八八、移民保護指導ニ要スル經費七十八萬餘圓デアリマス、海外邦人ノ發展方國運ノ伸張ニ資スルコトノ少ナカラザルモノ...

第九八、國際文化事業ニ關スル經費四十五萬餘圓デアリマス、悠久二千六百年ノ歴史ヲ有シ、躍進的發展ヲ遂ゲツツアル皇國ノ文化ヲ海外ニ宣揚スルコトハ、國際和協ニ資スル所少ナカラザルモノアルヲ認メ...

第十八、營繕ニ要スル經費二百十八萬餘圓デアリマス、是ハ張家口總領事館ノ給水施設、在滿大使館官舎其他ノ修繕、上海、河内兩總領事館及在支領事館警察署監獄官舎ノ新築並ニ在ソ、大使官邸ノ修繕等ニ必要ナル經費デアリマシテ、此ノ内上海總領事館新築費ハ六十六年度以降三箇年度ニ互リ...

第十一八、爲替相場ノ變動ニ基テ經費ノ增加六百七十萬圓デアリマス、我が對外爲替相場ハ依然トシテ低調ヲ續ケテ居リマス結果、在外公館經費並ニ職員給與等ニ臨時増額又ハ増給ノ必要ガアリマス爲メ計上シタ次第デアリマス...

他方減少ノ事項ト致シマシテハ、既定經費ノ節約、在外公館ノ廢館等ヲ行ヒマシテ百五十六萬餘圓、在外公館ノ昇格等ニ伴ヒマシテ三十八萬餘圓ヲ削減又ハ要求減額致シマシテ外、事業ノ繰延ニ依リ三十七萬餘圓、事項終了等ノ爲メ三千八百二十三萬餘圓ヲ減少シマシタ...

○中山委員 次ニ御尋ね致シマスガ、外相ハ近衛氏ヲ首班トセル南京政府トノ合流促進ヲ企圖シテアリマスガ...

○中山委員 次ニ御尋ね致シマスガ、外相ハ近衛氏ヲ首班トセル南京政府トノ合流促進ヲ企圖シテアリマスガ...

○中山委員 次ニ御尋ね致シマスガ、外相ハ近衛氏ヲ首班トセル南京政府トノ合流促進ヲ企圖シテアリマスガ...

○中山委員 次ニ御尋ね致シマスガ、外相ハ近衛氏ヲ首班トセル南京政府トノ合流促進ヲ企圖シテアリマスガ...

○中山委員 次ニ御尋ね致シマスガ、外相ハ近衛氏ヲ首班トセル南京政府トノ合流促進ヲ企圖シテアリマスガ...

○中山委員 次ニ御尋ね致シマスガ、外相ハ近衛氏ヲ首班トセル南京政府トノ合流促進ヲ企圖シテアリマスガ...

○中山委員 次ニ御尋ね致シマスガ、外相ハ近衛氏ヲ首班トセル南京政府トノ合流促進ヲ企圖シテアリマスガ...

○中山委員 次ニ御尋ね致シマスガ、外相ハ近衛氏ヲ首班トセル南京政府トノ合流促進ヲ企圖シテアリマスガ...

ノ課長デアツク田中都吉氏ヲ通ジ到頭駐日「オランダ」公使「アスベック」男爵ノ手ヲ經テ二萬千圓ト云フ賠償金ヲ取ツタ事ガアリマス、其ノ頃南洋ト云フモノハ外務省ハ問題ニシテ居ラナカッタ、サウ云フ過去ノ經歷ニ鑑ミマシテ、他國ガ石ヲ打タナイ先ニ、「ツ」ネパール、ブータン、ソウナ極極野蠻國デアリマシテモ、斯ウ云フ所ニ「ド」ンノ使節ヲ派遣シテ、今カラ日本ノ國力ヲ植付ケテ置ク思召ハナイデアラウカドウデアラウカ、之ヲ先ヅ外務大臣ニ承リタイ...

○松岡國務大臣 御答ヘシマス前ニ一寸是正シテ置キマスガ、私ハ自分ガ二年前ニ外務大臣ニナツテ居ッタト云フヤウナコトハ確カニ言ハナカッタト思ヒマス、唯私ノ觀察ト致シマシテ、又感想ト致シマシテ、二年位前ニ手ヲ着ケテ居ッタナラバ、或ハ見込ガアツタチヤナイカト豫ネテカラ思フテ居ッタト云フ話ヲシタノデアリマス、私ガ自ら其ノ衝ニ當ツテ何程ノ事ガ出來ルカ、ソレハ甚ダ疑フノデアリマス、ソレダケハ正シテ置キマス...

今中山君ノ述ベラレマシタ御意見ハ大體ニ於テ私ハ全然御同意デアリマス、ドウモ日本ノ使節ハ手遅レデ、又先見ノ明ヲ缺イテ居ッタノデアリマス、其ノ間ニ色々ト先見ノ明モアツタ人モ外務省ニハアツタデアリマセウケレドモ、色々ナ事情デ物ガ始終手遅レニナリ勝チデアツタノデアリマセウガ、兎モ角聊カ先見ノ明ヲ缺イテ、過去ニ於テ物ガ手遅レニナリ勝チデアツタト云フコトハ私モ全然同意デアリマス、是カラ後サウ云フコトガナイヤウニト、折角考ヘテ皆テ氣ヲ付ケル覺悟デアリマス、ソレカラ具體的ナ點ニ付テ御答ヘシマスガ、アツガ...

ニスタンカラ使節ガ参リマシテ、答禮旁、經濟關係等ヲ密接ニスル爲メ、コチカラモ使節ヲ派スル考ヘガアルカト云フ御尋ねニ對シマシテハ、アリマスト御答ヘシマス、其ノ他「ネパール」ブータン等ニ關シテハ、今具體的ニハ考ヘテ居リマセウガ、御注意ニ依リマシテ尤モト存ジマスカラ、サウ云フ點モ考ヘタイ、之ヲ要スルニ帝國ノ經費ノ許ス限リ、又事情ガ許ス限リ先ヅ大東亞圈内ノ諸地方ニ付テハ、中山君ノ言ハルルヤウナ趣旨デ、モツトウシテ強シマシテ、遺憾ノナイヤウニ使節ヲ派シタイ、次イデハ「アジア」全體ニ對シテシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス...

○中山委員 其ノ次ニ御伺ヒシタイノ「マレー」半島ノ中間ニ「タラ」地峽ト云フノガアリマス、此「タラ」地峽ハ若シ開鑿セラレタラバ東洋ニ於ケル「パナマ」ニ匹敵スベキモノダト私ハ考ヘテ居リマス、將來東亞其榮國確立ニ上ニハ「タラ」地峽ノ開鑿ト云フコトガ絕對ニ必要デアラウト考ヘマシテ、ソコデ今回外相ハ常非ニ御折シナツテ「シヤム」トノ友好關係ガ益々密接ニナルノデアリマスルガ、「シヤム」ト御協議ノ上ニ此「タラ」地峽ノ開鑿ニ日本ガ手ヲ染メルト云フコトハ最モ必要ダト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ...

○松岡國務大臣 御答ヘ致シマス、サウ云フ具體的ノコトニ付キマシテハ私ハ何トモ確定致シ兼ねマスケレドモ、昨日豫算總會デ述ベマシタヤウニ、「タイ」トハ凡ニル方法ヲ以テ親善關係ヲ固メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス...

○中山委員 外相御承知ノ通り、昭和七年六月ノ頃ダツタト思ヒマスガ、「ピア」ボホ...

○中山委員 外相御承知ノ通り、昭和七年六月ノ頃ダツタト思ヒマスガ、「ピア」ボホ...

○中山委員 外相御承知ノ通り、昭和七年六月ノ頃ダツタト思ヒマスガ、「ピア」ボホ...

○中山委員 外相御承知ノ通り、昭和七年六月ノ頃ダツタト思ヒマスガ、「ピア」ボホ...

○中山委員 外相御承知ノ通り、昭和七年六月ノ頃ダツタト思ヒマスガ、「ピア」ボホ...

○中山委員 外相御承知ノ通り、昭和七年六月ノ頃ダツタト思ヒマスガ、「ピア」ボホ...



テ居リマセシガ、近衛聲明デ、アレハ國民政府ヲ對シテセズト云フコトデアリマシテ、...

アリマスガ、外相ニ申上ケルコトハ我が外交政策ノ上ニ相當影響ガアルト思ヒマス...

シマス、ドウカ一ツ斯ウ云フ點ハ能ク御注意ヲ願ヒタイ、ソコデ是マデニアツタヤウ...

國ノ外交官ガ駐在シテ居リマスコトヲ色々不便ト致シマス爲ニ、列國ニ要求致シマシ...

幾分修正ヲ受ケルカモ知レマセシガ、結局私ハ議會ヲ通過スルモノト考ヘテ居リマス...

ナイト思ヒマス、況ンヤ其ノ問題ヲ離レマシテモ、太平洋及ビ南洋方面乃至支那モ又...

居リマスガ、確タル證據ハナイシ、ドウモ先走ツタ時デハナイカト云フヤウニ、今デ...

其ノコトニ付キマシテ、オランダ政府ニ實否ヲ確メテ見マシタケレドモ、特別ニ總領...



只今ノヤウナ報告ノ程度デハ、私ハ國民トシテ承服出来マセヌ、ナゼモウ少シ堂々トシテ、オ互ニ相呼應シテ聲明ノ建前カラ、日本ノ立場ト云フモノヲ突込シテ御置キニナラスカ、私ハ能ク外國ノ行ツテ見マス、外交官ナント云フモノハ、天長節ナドモ、大禮服ノ金ビカヲ着テ、ダンスノ方角ト云フヤウナ印象シカ残ツテ居ナイ、是ハアチヤ方ノ前デソナコトヲ言フト怒ラレルカモ知レマセヌガ、是ハ私ノ率直ナ氣分デアリマス、サウシテ大キナ資本家ノ支店トシテ、裸一貫ヲ渡航スル日本ノ普通ノ人、是ハ大キナ商賣人ニ皆押潰サレテ居ル、ソレ位シカ印象ガ残ツテ居リマセヌ、而モ外國ノ海外企業者ト云フモノハ、自分ノ國カラ澤山ノ資本ヲ持ツテ來テヤツテ居ル、日本ノ大體素實ヲ、船ハ三等デ行ツテ、向フデ何トカ彼トカダラナイ仕事ヲシテ資本ヲ得テ、千圓ナリ二千圓デ仕事ヲヤツテ少シ繁盛シテ來ルト大資本家ノ出張所ニ此ノ話ヲスル外交官ガ多ク、三井、三菱ト云フモノガ色々相談ヲ掛ケラレテ居ル、ソレデ店ヲヤツトコソ開イタ日本ノ商人ガ、少シ繁昌スルト、直グ其處ヘ大キナ資本家ガ出張所ヲ出シテ押潰ス、其ノ位シカ私ノ頭ニハ印象ヲ殘シテ居ナイノデスガ、ドウカ聲明ノ結果ヲ全カラシムル爲ニ、將來斯ウ云フコトガ若シ南洋ニ起リ得ルトシテラ、モウ少シ骨ノアル外交ヲヤツテ貰ヒタイ、外交上ノ聲明ト云フモノハ、帝國劇場デ演説ヲ聽クヤウナ譯ニハイカス、有田聲明ナドハ、何ダカ片手間デヤツテ居ル蓋詞デハナイカ、麻殼デ擲シテ居ルト云フヤウナ感ゾ受ケル、私ハ將來ノ外交ト云フモノハ、ダンマリ外交デナイトイカスト思

カヲ保有スルコトヲ承認シタノデアリマス。云々、結論トシテ「光ハ東方ヨリナル民族の信念ニ生キ、八絃一字ノ大理念ニ燃エ、三國同盟條約ノ目標タル世界新秩序建設ノ大業ニ邁進スベキデアリマス」斯ウ言ツテ居ラレマス、ソコデ此ノ外相ノ御演説ガドウ云フ風ニ、アメリカニ響イタカト申シマスルト、今日二十七日「アメリカ」上院外交委員會ノ秘密會デ「ハル」國務長官ガ斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、日米兩國間ニ相互ノ諒解ト協力ヲ得ントスル久シキニ互ル努力ハ遂ニ實際ニ上何等ノ成果ヲ得ルコトガ出來ナカッタト云フコトヲ前提シテ、其ノ次ニ米國ノ觀點ヨリスル時、今日ニ於ケル世界ノ動搖混亂ハ、日本ノ滿洲侵略ニ負フ所甚大ナル、日本ハ最初極東ニ於ケル新秩序ト云フコトヲ公然ト高言シ、侵略ヲ開始シタ、其ノ後日本ハ其ノ範圍ヲ擴大シ、大「アジア」ニ於ケル新秩序ヲ稱シ、「インド」ヲ其ノ中ニ含メ、最近ニ至ツテハ世界ニ於ケル新秩序ヲ云々シテ居ル、斯ウシテ日本ハ人口十億ニ達スル大帝國建設ヲ目標トシテ居ルノデハナイカト思ハレル、斯ウ云フコトヲ「ハル」ガ申シテ居リマス、私ハ日獨伊三國ガ片ヤ東亞ニ於テ、片ヤ歐洲ニ於テ眞ノ平和ヲ回復シ、人類ノ福祉ヲ増進スル爲メ、銃ヲ執ツテ其ノ目的ヲ達スル爲メ、血ヲ流シテ居ルト云フコトヲ知ツテ居リマス、然ラバ世界ノ第三國ハ必ズヤ松岡外相ノ新秩序ナル言葉ガ八絃一字ノ大精神ヲ世界ニ確立スル理想トストノ御演説デハアハリスルケレドモ、只今「ハル」國務長官ハ勿論、英國「ブロック」國家ニ對シテハ非常ナル恐怖ヲ與ヘテ居ルノチヤナイカ、詰リ言葉ガ足ラヌ爲ニサウ云フ感ゾ與ヘ

ハ純然タル精神運動デアリマス、日本ノ國ノ姿ハ、個人ニ於ケル人格ノ景仰セラルル如ク、國格ト云フモノヲ外國ガ仰見スルト云フ所ニ八絃一字ノ世界ヘノ擴大ガアルト私ハ考ヘテ居ル、八絃一字ト云フ言葉ダケヲ御表ハシニナツテ、其ノ爲ニ第一階梯トシテ支那ト戰爭ヲヤツテ居ルノダト仰シヤルト、是ハモウ外國人ガ考ヘルヤウニ、八絃一字ト云フコトヲヤル爲ニ、支那ト戰爭ヲヤツテ居ルノダ、世界ニ八絃一字ヲヤルト云ツテ居ルカラ、今ニ吾々ノ所ニモ其ノ後ニ戰爭ガ續イテ來ルダラウト、斯ウ思フノハ當然デス、今ノ政府ノ方々ハモウ少シ八絃一字ノ御精神ヲ御研究ニナラヌト駄目ダト思フ、大政覽覽會モサウ云フ間違ツタ考ヘカラ出テ居ル、古事記ヲ日本書紀ヲ御讀ミニナツテモ、古事記ヲ日本書紀ト云フモノハ神武天皇様カラ奈良朝ニ至千年後ニ出來タモノデ、文字ト云フモノガ千年後ニ支那カラ入ツテ書カレタノガ古事記及日本書紀デアリマス、支那ノ文字ト云フモノハ八支那ノ人間ノ思想モ入ツテ居ル、サウ云フ文字デ日本ノ事柄ヲ書イテ居ル日本書紀ト古事記ヲ讀ンデ、其ノ中ニ書イテアル八絃一字ト云フ文字ヲ取り來ツテ、何デモカンデモ八絃一字ノ編ノ中ニ入レテ煮シマハサト云フヤウナソナナ輕率ナコトデハイケマセヌ、今日ノ大政覽覽會ナカノ根本思想ナドハ成ツテ居ナイ、誤ツタル社會觀、誤ツタル獨斷、誤ツタル優越感ニ依ツテ出來テ居ル、此ノ點カラ出發シタノガ私ハ世界ニ誤解ヲ招ク外相ノ聲明ト云フモノニナルノチヤナイカト思フ、デスカラソレハ御聲明ナサツテモ結構デス、併シナガラ私ハ尊敬スル松岡サンダカラ言フ、他ノ外務大臣

ダツタラ分リマセヌカラ言ヒマセヌヨ、アナタナラ必ズ分ルト思フ、此ノ精神ヲモウ少シ政府ノオ役人ト云フモノハ研究ナサラヌトイカス、近衛公使ナテ分ツテ居マセヌ、ハツキリ言フト、唯大臣ノ地位ト云フモノト親族關係ニアル人カバカバカ、近衛サンナソレカ、持上ゲラレテ利用サレテ、色々ナ大ソレセ、國民ノ思想ヲ新舊ニ二分ケテ對立サセルヤウナ、時ニ對シテ判斷ヲ誤ツテ居ラレル、今日ハサウ云フ下ラナイコトヲスル時機デハナイト考ヘル、是ハ松岡外務大臣ダカラ私ハ言ツテ居ルノデアアルシテ戰闘行爲ヲ支那ニ於テヤラレタト云フコトハ結構デスガ、世界ニ對シテオヤリナル時ニハ、ドウ云フ手段ヲ以テヤルト云フ説明ヲ世界ニ對シテ發表ナサラナケレバ非常ナ誤解ヲ招キマス、戰爭ガ始マル一分前マデ粘ルト仰シヤル外務大臣ダカラ、何トカシテ粘ツテ下サイ、世界文明ノ崩壞ハ目前ニ見エテ居ルノデス、其ノ點ニ對スル外相ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイデアリマス

○松岡國務大臣 非常ニ難カシイ問題デ、此ノ答辯ヲ致シマス、中々時間ガ掛カルト思ヒマスガ、主査ノ御注意モアリマス、出來ルダケ簡單ニ致シマス、中山君ノ述ベラレマシタ八絃一字ノ信念ト申シマス、之ニハ全然御同意デアリマス、近衛公カ、之ニハ全然御同意デアリマス、近衛公ニ關シテ御言説ニ對シテハ私ノ答辯スル限リデハゴザイマセヌガ、併シテヤリテ申シテ置キマス、私ハ遺憾ナガラ中山君ノ見ラレテ居ル所ハ相當御修正ノ必要ガアルト思ヒマス、近衛公モ私ト同様ニ、今中山君ガ述ベラレタ點ハ分ツテ居ルト私ハ確信シ

テ居リマス、此ノ點ニ付テハ近衛總理ト私ハ全然共鳴シテ居ルノデアリマス、近衛公ニ付テハ私ノ知ツテ居ル限リニ於テ是ダケ御答ヘシテ置キマス

ソレカラアチヤナクデスラ私ノ言フコトヲ誤解シテ居ラレルノダカラ、「ハル」長官其ノ他ガ誤解シテ居ルノハ尤モダト思ヒマスガ、其ノ誤解ノ點ヲ此ノ機會ニ正シテ置キマス、支那ニ於テ吾々ガ戰ツテ居ルノハ、八絃一字ノ大理念ヲ貫ク第一歩デアルト言ウタ覺ヘハナイノデアリマス、但シ斯ウ云フコトハ言ウタト記憶シテ居リマス、今ハアノヤウニ頼道ノヤウニ戰ツテ居リマスガ、ソレハ吾々ガ八絃一字ヲ貫カントスル道程ノ不幸ナ一ツノ出來事デアリマシテ、日支ノ間ヲ飽タマデ融和シ、我が理想ヲ被ヲシテ理解セシメテ和平ニ達シタイト思ツテ居ルト云フ意味ノコトヲ、私ハ「二重言ツタコトヲ記憶シテ居リマス、八絃一字ヲ實現スル爲ノ第一歩デアルト云フ考ヘハ、第一私ハ持ツテ居リマセヌ、隨テソナコトヲ口ニスル譯ハナイノデアリマス、此ノ點ハ是正シテ載キタイト思ヒマス、私トシテハ支那事變ノヤウナモノガ起ツタコトヲ非常ニ悲シクシテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ防ガウト思ツテ微力ナガラ浪人時代モ滿鐵總裁時代モ私ハ裏面ニ於テ自分ノ出來ルダケノコトハ盡シテ來タノデアリマス、決シテアノ戰ヒナドテ來ラレト同ジク、八絃一字ヲ貫ク第一歩ラレル所ト同ジク、八絃一字ヲ貫ク第一歩ノ手段デアルト云フヤウニハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソレハ不辛ナル出來事ト考ヘテ居ル、サウシテ結論ト致シマシテ私ノ考ヘテ居ルコトハ、時ニ已ムヲ得ズ御答

抜クコトモゴザイマセウガ、細ヲ抜イテ新ルコトガ、決シテ八絃一字デモナケレバ、八絃一字ヲ實現スル所以ノ途トモ思ウテ居リマセヌ、出來ルナラバ避ケタイ、サウシテ先ヅ日本人自ラガ今御述ベニナツタヤウナ眞實ニ眞ニ徹底シテ、自ラヲ本當ニ反省スルコトガ第一歩ダト思ウテ居ル、無暗ト他ノ者ヲ非難シタリ、又ハ已ムヲ得ナイ場合デナイ限リハ細ヲ抜イテ他ヲ新ルト云フヤウナコトハイカス、私ハ此ノ場合ハツキリ言ウテ置キマスガ、日本人ガ誤ツテ歐米ノ精神ヲ習フ、徒ラニ物質的ニ大帝國ヲ作ラウナドト云フヤウナ考ガアレバ、日本人ハ滅ビマス、ソレハ我が大和民族ノ使命デハナイ、精神の智能的ニ世界ヲ指導スルト云フコトヲ心懸ケルノガ、我が大和民族ノ「イデオロギー」デアリ、信念デナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、我が國民ガ最も自制シテ戒シメナケレバナラヌノハ、吾々ノ大理想ヲ貫徹スル道程ニ於テ已ムナク起ツタ戰争ナドニ魅セラレテ、何時ノ間ニカ之ニ酔ウテ、サウシテ惡イ意味ノ力ヲ振り廻シテ、ウテハサウ思ハヌデモ、結果ガ我が大和民族ニ依ツテ他民族、他國民ガ蹂躪サレルト云フ結果ニ終ルナラバ、ソレハ私ノ信念デ、居ル八絃一字ノ精神、私ノ遵奉シテ居ル皇道ニ背イテ居ルノミナラズ、總テハ我が大和民族ガ其ノ報イヲ受ケテ、自ら滅ビノ途ヲ辿ルモノデアアル、是ガ私ノ十五、六歳以來ノ信念デゴザイマス、之ヲ以テ御答ヘト致シマス

○中山委員 私ハ外務大臣ノ御言葉ニ對シテ外國ニ響イタ實例ヲ舉ゲテ申上ゲタノデ、八絃一字ト云フコトヲ言ヒツ放シテハ色々ナ惡影響ガアルノデアリマス、其ノ手



段ヲ精神運動ナラバ精神運動デヤツテ行ク  
ト云フ具體的ナ親切ナ御説明ヲ世界ニ御出  
シニナツタラ大變能ク分ルノデハナイカ、  
其ノ方ガ誤解ガナイノデハナイカト云フコ  
トヲ申上テ居ルノデアリマス

ソレカラ日支基本條約デアリマシタカ、此  
ノ間出來タ條約ノ第六條カニ、北支支線ニ  
ハ防共ノ關係上必要ニ應ジテ向フトノ相談  
デ日本ノ兵隊ガ駐在出來ルヤウニナツテ居  
ルガ、手不足ノ時ニハ滿洲ノ兵ヲ參加サセ  
ルト云フヤウナ附則ハ付イテ居ラスノデス  
カ、其ノ點ヲ御伺ヒシテ置キタイ

○松岡國務大臣 サウ云フヤウナモノハア  
リマセヌ、アレハ我が皇軍ダケノコトデゴ  
ザイマス  
○中山委員 日本ノ兵隊ハ北支ノ方ニ非常  
ニ足リナイト思ヒマスカラ、サウ云フ點ハ  
滿洲國ト御協議ニナツテ臨機應變ニヤツテ  
戴キタイ

最後ニ御尋ネシタイノハ、實ハ秘密會ヲ  
開イテ二ツバカリ尋ネタイコトガアリマス  
ガ、ソレハ止メマシテ、次ニ「ロシヤ」ノ關  
係デアリマスガ、是ハ此ノ間東郷茂徳サンガ  
「ロシヤ」カラ御歸リニナツタ時ニ、非常ニ  
樂觀シタヤウナ話ヲ新聞ニ出シテ居ラレマ  
ス、私共ハ外務大臣ヲ信賴シテ居ル一人デ  
アリマスカラ、多分旨ク行クダラウト考ヘ  
テ居リマシタガ、昨年ノ十二月五日ニ「ソ」  
聯ノ政府ハ日支條約成立後モ「ソ」聯ノ對支  
政策ト云フモノハ從來トモ變化ガナラズ  
云フコトヲ公然ト發表スルト同時ニ、「ロシ  
ヤ」駐日大使「スメタニン」ヲ態、外務省ニ  
遣ハシテ其ノコトヲ申入レタト云フ風ニ聞  
イテ居リマスガ、サウ云フ事實ガアツタノ  
デセウカ

○大橋政府委員 申入レテ參リマシタ  
○中山委員 ソレニ付テ外務省トシテドウ  
云フ風ナ御慮置テ御執リナツタノデセウカ  
○大橋政府委員 其ノ儘聽イテ置イタノデ  
アリマスガ、此ノ問題ハ非常ニ複雑ナ問  
題デゴザイマシテ、結局日「ソ」國交調整ヲ  
全面的ニヤル過程ニ於テ向フト話ヲシテ向  
フノ授受態度ト云フモノヲ改メシメルト云  
フ非常ニ根ノ深イ問題デアリマス、唯吾々  
ハ遺憾ノ意ヲ表シテ置イタニ止マルノデア  
リマス、隨テ此ノ問題ハ今後「日「ソ」國交  
調整ニ於ケル非常ニ大キナ眼目デアリマス  
テ、其ノ問題ニ對シテ今後努力ヲ致シマス

○中山委員 私人取調ベマシタ所ニ依リマ  
ス、日獨伊防共協定出來タ時ニ「スター  
リン」ハ自分ノ同僚出身デアル所ノ「カ  
ン」ト云フ者ヲ「ベルリン」ノ「ヒト  
ラー」所ニ遣ハシテ、サウシテ獨「ソ」不可侵  
條約ノ基本關係ヲ確立シテ居リマス、而モ  
一方ニ於テ支那ノ西安カラ周恩來ト云フ者  
ヲ「モスクワ」ニ呼ンデ、サウシテ「ドハチエフ  
スキー」元帥一派ノ内亂ヲ彈壓スル爲メ、其  
ノ第一手段トシテ日支事變ヲ國共合作デ以  
テ始メロト云フコトヲ周恩來ニ命令シタ  
云フコトヲ今日聞イテ居リマスガ、「スター  
リン」ト云フ者ハ怪物デアリマスカラ、ドウ  
云フ手ヲ打ツカ知レヌト思ヒマス、而モ何  
等變化ガナラズ云フヤウナコトヲ橫着ニモ  
日本ノ政府ニ公々然ト申入レルト云フヤウ  
ナコトハ、是ハ餘程外務省トシテモ御考ヘニ  
ナリマセヌト、大島サンハ白鳥サンガ太  
變氣焰ヲ擧ゲテ「ドイツ」ヤ「イタリヤ」カラ  
引上ゲテ來ラレタ、アンナ浮調子ナモノデ  
ヤナトト思フ、「スターリン」ノ外交ト云フ  
モノハ潛行的デアリマシテ、土龍式ニ上ノ

中ヲ掘ルヤウナ向フノ外交デアリマスカラ、  
日獨伊軍事同盟ガ出來タト云ツテ安心セズ  
ニ、ドウカ今後トモ十分御用心ヲ賜ツテ、  
サウシテ萬一日本ノ間ニ變ナコトガ來タ後  
ニハドウ云フコトガ起ルカト云フコトモ考  
ヘノ中ニ入レテ、十分御検討ノ上ニ帝國ノ  
方針ヲ誤ラナイヤウニシテ戴キタイト云フ  
コトヲ御願ヒシタイノデス、其ノ點ニ付テ外  
相ノ最後ノ御答辯ヲ聽イテ終リタイト思ヒ  
マス

○松岡國務大臣 物ヲ樂觀スルトカ悲觀ス  
ルトカ云フコトハ、相當長イ期間ニ付テ考  
ヘナイト考ヘガ決ラヌノデアリマス、短期  
間ヲ見ルト悲觀スベキ點モ可ナリアリマス  
ケレドモ、私ハ少シ長イ眼見テ居リマス、  
併シ又相手ノ「ロシヤ」ハ御承知ノヤウニ  
中々氣ガ長イ、長イ眼見見マスト、私ハ悲  
觀スル必要ハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、  
ソレト「ロシヤ」人相手ノ交渉ト云フモノハ  
中々波瀾重疊デアリマシタ、紆餘曲折ニ當  
シテ居ツテ、今日ハ行詰ツタカナト思フシ  
テ居ルト、明日ニナルト突如トシテ好轉シタ  
リスル、斯様ナコトガ往々ニシテアルノデ  
アリマス、併シ大體ニ於テハ私ハ悲觀シテ  
居リマセヌ、ソレカラ今御注意ノ點ハ十分  
私共ハ承知シテ居リマスガ、尙ホ此ノ後ト  
モ細心ノ注意ヲ怠ラヌ考ヘデアリマス

○依光至堂 井上良次君  
○井上(良)委員 此ノ際ニ點ダケ外務大臣  
ニ對シテ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマ  
ス、ソレハ今日日本ガ當面シテ居ル外交上重  
大ナル目標ハ、支那事變ヲ如何ニ早ク解決  
スルカ、ソレニ伴フ東亞新秩序ノ建設ヲ遂  
行スルニ付テ、列強ヲ如何ニ協力セシメルカ  
ト云フ點ニアルコトハ、是ハ申スマデモナ

イコトデスケレドモ外務省トシテハ當面ノ  
任務デアラウト考ヘルノデアリマス、  
其ノ觀點カラ如何ニ支那事變ヲ速カニ解決  
スルカ、此ノ爲メ非常ニ政府當局ハ御努力  
サレテ居ルコト、又其ノ決意ニ付テ十分  
承ツテ居リマスガ、唯一點非常ニ疑問ニ思  
ヒマスノハ、日本ト獨伊トノ間ニ昨年ノ秋  
「ヨーロッパ」ニ於ケル獨伊ノ新秩序建設ニ  
協力シ、又獨伊ハ日本ノ東亞新秩序建設ニ  
協力スルコトニナツテ居ル、而モ是ハ十年  
ノ期間ニ互ツテ、相互ニ信義ヲ保ツテ行カウ  
ト云フコトニナツテ居ル、更ニ條文ノ内容ヲ  
検討スルト軍事同盟ヲ結ンダトサヘ吾々ハ  
感ゼラレル、而シテ最近國際情勢ノ緊迫化  
カラ特ニ「アメリカ」ノ英國教授ニ依リ參戰  
ハ必至ノ情勢デアリマス、若シ「アメリカ」  
ガ參戰シタ場合ニ於テハ日本トシテハ當然  
太平洋ニ於テ是等ト戰ハナケレバナラス、  
是ハ三國同盟ノ基本條約ガサウナツテ居  
ル、是程深イ關係ノ條約ヲ獨伊トノ間ニ締  
結シテ居ルニ拘ラズ、日本ガ支那事變ヲ處理  
シ、且ツ東亞新秩序ヲ建設セントシテ汪精  
衛氏ヲシテ中央政府ヲ樹立セシメ、是ガ育  
成ニ全力ヲ擧ゲ、幾多ノ努力ヲ重ネテ來、  
又帝國政府ハ之ヲ承認シテ日滿華ノ共同宣  
言ヲ廢シタ、之ニ依リマシテモ、今次事變  
ノ目標ト云フモノハ、明確ニ對外的ニ發表  
サレテ居ル、然ルニ是程深キ同盟關係ヲ結  
ンデ居リマス獨伊兩國ガ汪主席ヲ中心トス  
ル國民政府ヲ承認シナイノハドウ云フ譯デ  
アルカ、日本ノ東亞ニ於ケル指導國家トシ  
テノ地位ヲ認メテ、日本ト基本條約ヲ締結  
シ、將來東亞新秩序ノ建設ニ協力シヨウト云  
フコトニナツテ居ルニ拘ラズ、而モ日本ハ今

來何時カ又蔣介石ト一緒ニヤルノダサウダ  
ト云フコトニナツタナラバ、汪兆銘ノ面子  
ハ一體ドウナル、汪兆銘ハ將來蔣介石ト一  
緒ニナツテモ宜イト云フコトヲ、日本政府  
外務大臣ニサウ云フコトヲ申出テ居リマセ  
ウカ、此ノ點ヲ明白ニシテ貰ヒタイ、サウ  
シテヤラスト汪兆銘ノ面子ガ立チマセヌ、  
吾々日本ハ兄トシテ、親トシテ或ハ先生ト  
シテ支那ヲ是カラ指導シテ行カナケレバナ  
ラス場合ニ、サウ云フヤウナヤリ方ヲヤツ  
テ、果シテ中國人ノ面子ガ立ツカドウカ、  
是デハ立ツテ行カナイ

更ニ今一ツ考ヘナケレバナラス點ハ、汪  
政權ト蔣介石政權トヲ合作スルナドト云フ  
コトハ、ソレハ外交上ノ機密ニ屬スルコト  
ナド、サウ云フコトハ公々然ト言フベキ  
コトデハナイ、サウスレバ宜イト考ヘテ居  
ツテモ、ソレハ今戰ヒノ眞最中デ、其ノ爲  
ニ十萬ノ精銳ガ中國ニ骨ヲ埋メ、巨億ノ富  
ガ費サレテ居ルデハナイカ、ソレハ謀略ト  
云フモノデ、何時サウ云フコトニナルカモ  
分ラヌケレドモ、サウ云フコトヲ今戰ヒノ  
眞最中ニ於テ公々然ト發表スルト云フコト  
ハ、洵ニ私ハ遺憾ニ存ジマス、今申シマシ  
タヤウニ、汪兆銘ノ面子ノ問題、汪兆銘ハ  
將來蔣介石ト一緒ニナル積リテ居ルカ、又  
サウ云フコトヲ公々然ト言ツテ、果シテ我  
ガ占領地域内ニ於ケル治安ノ維持ガ確保サ  
レルカ、又中國ノ下層階級ガサウ云フコト  
デ日本ノ指導ヲ甘ンジテ受ケルト思ツテ居  
ルカ、是ハ非常ニ中國ニ於ケル宣傳工作ノ  
上ニ、此ノ度ノ外務大臣ノ聲明ト云フモノ  
ハ大キナ影響ヲ持ツテ居ルト思フ、此ノ二  
點ニ對シテ、獨伊ハ何故汪兆銘政權ヲ承認  
シナイカ、承認スルトスレバ一體何時ニナ

ツタラ承認スルカ、同時ニ蔣介石トノ合作  
ニ對シテ、汪兆銘ハ一體日本政府ニサウ云  
フトノ中ヲ打割ツテ、一緒ニヤリマスト云  
フコトヲ言ウテ居ルカ、若シ言ウテ居ナイ  
トスレバ、汪兆銘ノ面子ヲ日本政府ハ一體  
ドウシテ立テヤルカト云フ、此ノ點ニ付  
テ明確ナル御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス  
○松岡國務大臣 御質疑ノ第一點ニ付キマ  
シテハ、御疑問ガ起ルコトハ尤モト思ヒマ  
ス、誰ニデモ起ル、誰ニデモ起ルヤウナコ  
トニ付テ、外務省ハ何モ言ツテ居ラス、又  
私モ言ツテ居ラスト云フ所ニハ、ソコニ説  
明ノ出來ナイ、裏面ニ經緯ガアルデア  
ラウト云フコトハ御察シ願ヘルト思フノデ  
アリマス、是ハ私ガコトヲ言ヒマス外交作  
ニ屬スル事柄デアリマスカラ、今暫ク私ノ  
言明ヲ避ケルコトヲ許シテ置イテ戴キタイ  
ノデアリマス、ソレハ非常ニ理由ガアルノ  
デアリマス、正面カラ見レバサウ云フ疑問  
ハ誰ニデモ起ルニモ拘ラズ、外交作戦上必  
要ガアルノデ、今尙ホ延ベテ居ルノデ、無  
論ソレハお互ヒニ意思ハ能ク疏通シツア  
ルノデアリマス

ソレカラ第二點ニ付キマシテハ第一御質疑  
ノ根本ヲ成ス所ノ私ノ言明ニ付テ是正シテ  
置キマス、或ハ言葉ガ足りナイデサウ響イ  
タカモ知レマセヌガ、決シテ合作サスト云  
フノハナイノデアリマス、彼等ガ合流又  
ハ合作スルノハ、支那國內ノ問題デアリマ  
ス、唯ソレヲ今日我方モ一日モ速カニ支  
那事變ヲ終結セシメタイノデアリマスカ  
ラ、若シ吾々ガ助言ヲシテ重慶政府ノ人達  
ヲ反省セシメテ、此ノ南京政府ニ合流サス  
コトガ出來ルナラバ、之ヲ努メタイト思フ  
テ居ルダケノコトデアリマシテ、先程モ中

日英國教授「アメリカ」ト戰ハナケレバナラ  
ヌ立場ニ追込マレテ居ルノハ、獨伊ガ汪政權ヲ  
今尙ホ承認シナイノハドウ云フ譯デアルカ、  
又我が外務當局トシテハ之ニ付テ如何ナル  
努力ヲ拂ハレテ居ラレルカ、又何時ニナツタ  
ラ獨伊ハ承認スルカ、其ノ見透シハ如何、  
獨伊ガ汪政權ヲ承認スルコトハ蔣介石ニ與ヘ  
ル影響ガ極メテ大キイ、又英米ニ與ヘル影響  
モ又極メテ大キイ、更ニ「ソ」聯ニ對スル影  
響モ極メテ大キイノデ、外務當局ハ必死ノ力  
ヲ以テ國民政府ヲ獨伊ニ承認サスコトニ全  
力ヲ擧ゲナケレバナラスト思ヒマス、之  
ニ對スル外務大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイ

ソレカラモウ一ツ之ニ關聯シテ、私  
洵ニ遺憾ニ存ジマスノハ、先日豫算總  
會ニ於ケル中島君ノ質問ニ於テ、外務  
大臣ハ將來蔣介石ガ反省スルナラバ、汪政  
府トノ間ニ合作セシメル積リデアル、斯ウ  
云フ重大ナル答辯ヲ致シテ居ルノデアリマ  
ス、徹底的ニ反擊スルト共ニ、反省スルマ  
デハ叩ガ、反省スル限リニ於テハ是ト汪  
兆銘政府トヲ合作セシメルト言ウテ居ル、  
兆銘政府トヲ合作セシメルトモアラウ  
一體斯クノ如キコトヲ外務大臣トモアラウ  
モノガ輕率ニ述ベラレテ宜イコトカドウ  
カ、假ニ吐ノ底ニハサウ思ツテ居ツテモ、  
サウ云フコトヲ公々然ト公開ノ處ニ述ベル  
ト云フコトハ、外務大臣トシテ相手方ノ氣持  
ヲ考ヘテ居ルカドウカ、南京政府ノ首席ノ  
人々ニ私共本年ノ春會ツテ來タノデアリマ  
スガ、實ニソレハ職身ノ努力ヲ拂ツテ、  
何時暗殺サレルカ分ラヌ、何時銃殺サレル  
カ分ラヌト云フ非常ニ危險ノ中ニ立ツテ、  
日本ヲ兄トモ思ヒ、親トモ思ヒ、先生トモ  
思ウテ、彼等ハ新シイ支那ノ建設ニ職身ノ  
ナ努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、所方將

來何時カ又蔣介石ト一緒ニヤルノダサウダ  
ト云フコトニナツタナラバ、汪兆銘ノ面子  
ハ一體ドウナル、汪兆銘ハ將來蔣介石ト一  
緒ニナツテモ宜イト云フコトヲ、日本政府  
外務大臣ニサウ云フコトヲ申出テ居リマセ  
ウカ、此ノ點ヲ明白ニシテ貰ヒタイ、サウ  
シテヤラスト汪兆銘ノ面子ガ立チマセヌ、  
吾々日本ハ兄トシテ、親トシテ或ハ先生ト  
シテ支那ヲ是カラ指導シテ行カナケレバナ  
ラス場合ニ、サウ云フヤウナヤリ方ヲヤツ  
テ、果シテ中國人ノ面子ガ立ツカドウカ、  
是デハ立ツテ行カナイ

更ニ今一ツ考ヘナケレバナラス點ハ、汪  
政權ト蔣介石政權トヲ合作スルナドト云フ  
コトハ、ソレハ外交上ノ機密ニ屬スルコト  
ナド、サウ云フコトハ公々然ト言フベキ  
コトデハナイ、サウスレバ宜イト考ヘテ居  
ツテモ、ソレハ今戰ヒノ眞最中デ、其ノ爲  
ニ十萬ノ精銳ガ中國ニ骨ヲ埋メ、巨億ノ富  
ガ費サレテ居ルデハナイカ、ソレハ謀略ト  
云フモノデ、何時サウ云フコトニナルカモ  
分ラヌケレドモ、サウ云フコトヲ今戰ヒノ  
眞最中ニ於テ公々然ト發表スルト云フコト  
ハ、洵ニ私ハ遺憾ニ存ジマス、今申シマシ  
タヤウニ、汪兆銘ノ面子ノ問題、汪兆銘ハ  
將來蔣介石ト一緒ニナル積リテ居ルカ、又  
サウ云フコトヲ公々然ト言ツテ、果シテ我  
ガ占領地域内ニ於ケル治安ノ維持ガ確保サ  
レルカ、又中國ノ下層階級ガサウ云フコト  
デ日本ノ指導ヲ甘ンジテ受ケルト思ツテ居  
ルカ、是ハ非常ニ中國ニ於ケル宣傳工作ノ  
上ニ、此ノ度ノ外務大臣ノ聲明ト云フモノ  
ハ大キナ影響ヲ持ツテ居ルト思フ、此ノ二  
點ニ對シテ、獨伊ハ何故汪兆銘政權ヲ承認  
シナイカ、承認スルトスレバ一體何時ニナ

山君ノ御質疑ニ答ヘタヤウナ通リニ、一應  
打切ツテ以來マダ何モ其ノ點ニ付テ日本政  
府トシテハ致シテ居リマセヌ

ソレカラ汪精衛云々ト云ヘマスケレドモ、  
汪精衛氏ハ日本國政府ニ依ツテ承認サレル  
以前カラ、極力重慶政府ノ人達ヲ論シテ是  
ト合作シタイ、斯ウ云フ希望ハ、獨伊私ニ分  
ツテ居ルノミナラス、相當公ニモシテ居ル  
ノデアリマス、汪精衛氏ノ心事ハ、南京政府  
承認前ニ於テデモ、若シ重慶政府ト合作ガ  
出來テ、日本ト全面和平ガ成立スルノナラ  
バ死ストモ可ナリト云フヤウナ通電ヲ出シ  
テ居ルヤウナ譯デアリマシテ、若シ汪精衛  
氏ガ南京政府ノ首班デ居ルコトガ、日支ノ  
全面和平ヲ妨ゲルノナラバ、自分ハ死ンデ、  
モ宜イ、自分ハ亡命シテモ宜イ、此ノ地位  
ハ捨テル、斯ウ云フヤウナ氣持ヲ私ハ承知  
シテ居ル、私ハ長年ノ友人デアリマスノデ、  
是ハ聽カナクテモ分ツテ居リマスガ、サウ  
云フコトヲ私ハ聞イテ知ツテ居ルノデアリ  
マス、ソレカラ我が政府ガ南京政府ヲ民國  
政府トシテ承認シマシタ後ニ、私ノ記憶デ  
ハ間モナク彼ガ談話ノ形カ何カデ公表シテ  
居ルト思ヒマスガ、是ハ決シテ重慶政府ト  
合流スルコトヲ妨ゲルモノデハナイ、何時  
デモ自分ハ重慶政府ガ反省サヘスルナラバ、  
合流スルニ吝カデナイト云フ意思ヲ明カニ  
シテ居リマス、ソコデ此ノ點ニ關シマシテ  
私ノ言ヒマシタコトモ、コツチガ斯ウ説イ  
テサセルト云フ意味デナカシタコトヲ御承  
知ヲ願フト共ニ、是ハ主トシテ支那ノ國內  
ノ問題デアルト云フコトト、ソレカラ決シ  
テ汪精衛氏初メ、今日ノ民國政府ノ要路者  
達ノ意思ト反シタコトヲシタリ、又面目ヲ  
潰サヤウナコトハシナイト云フコトダケハ



御諒承願ヒタイ

○井上(真)委員 第一項ノ御答辯ゴザイマスガ、外交作戦上、獨伊ガ注主席ノ國民政府ヲ直チ承認スルカシナイカト云フコトニ付テハ發表出來ナイ、サウ云フコトガ發表出來ル時期ハ、一體何時頃ト云フ見透シデゴザイマセウカ、是ハ事變處理ノ上ニ、且ツ今日ノ國際情勢ノ緊迫化ノ上ニ、極メテ重大ノ關係ヲ持ツテ居リマスノデ、此ノ點ニ對スル大臣トシテノ見透シヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○松岡國務大臣 ドウモ見透シヲ言ツテ置キタイ、又ソレガ後延ビルト答メラレマスカラ、ソレハ中々難カシウゴザイマスガ、マア私ハ數箇月ハマダ言ヘマイト思ツテ居リマス

○井上(真)委員 私人質問ハソレデ宜シウゴザイマス

○依光主査 次ハ佐藤君ノ順序ニナツテ居リマスガ、佐藤君ノ質問ハ相當時間ガ掛カリマスガ

○佐藤委員 午後ニシマセウ

○依光主査 ソレデハマダ外務省關係ノ質問者ガ三人バカリゴザイマスガ、外務大臣ハ午後三時以後ハ已ムヲ得ヌ御差支ヘガアルサウデゴザイマスガ、成ベク午後三時マデニ外務省關係ノ質問ハ終了シタイト思ヒマス、尙ホ併セテ皆様ニ御諮リ致シマスルガ、本日出來得ルナラバ三省ノ關係豫算ノ審議ヲ全部終了シタイト思ヒマス、隨テ今後ノ御質疑ハ成ベク簡單ニ、簡潔ニ、御願ヒ致シタイト存ジマス、ソレデハ只今カラ休憩致シマシテ、午後一時ヨリ再開致スコトニ致シマス

午後零時一分休憩

午後一時十六分開議

○依光主査 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス一伊禮委員 私人質問小サナ問題デマスガ、二三點點點ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、今日我が國ハ都市農村ヲ通ジテマシテ努力ノ不足ヲ懸ヘテ居リマス、而モ滿洲移民ハ國策トシテ是非遂行シナケレバナラナイノデアリマスガ、此ノ際ニ當リマシテ、南米方面——中南米ニ對スル移民ハ中止シタラドウカ、斯ウ云フ風ナ意見ヲ時々承リマス、併シ私ノ考ヘハ、努力ノ不足ト云フコトハ此ノ時局關係ノ一時的現象デアツテ、決シテ永久的ノモノデナイ、サウ考ヘマスルト、「ブラジル」等ニ於ケル一定ノ割當移民タケデモ供給シテ置カナイト云フト、將來中南米ニ行ク機會ヲ失ヒヒセカ、斯ウ云フヤウニ考ヘマスガ、政府ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマスガ

○松岡國務大臣 差當リ考ヘトシテハ、ヤハリ御説ノ通り割當移民ヲ中南米ニモ繼續スルガ宜イト思ツテ居リマスガ、元來私トシテハ、日本人ノ世界ニ撒布サレテ行ツテ居ル此ノ問題ヲ今少シ根本ニ掘下ゲテ、全體トシテ、諸方面ノ角度カラ之ヲ見テ、サウシテモツト筋ノ立ツタ、又比較的恆久的ノ根本ノ方針ヲ樹テナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス

○伊禮委員 今ノ大臣ノ御意見ハ非常ニ含蓄ノアル御言葉ヲ聽イテ居リマスガ、私モ實ハ此ノ移民問題ニ付キマシテハ、露骨ニ申シマスレバ成ベク日本ノ海軍力ヲ以テ保護シ得ル區域、其ノ他交通ノ關係等カラ考ヘマシテ中南米ヨリモモツト近イ所ニ移民地ガアレバ、成ベク其ノ方面ニ集中

シタ方ガ宜イト考ヘテ居リマス、併シナカラ今日ノ狀態デハマダソコマデ行ツテ居ラナイ、サウスルト折角ノ日本ノ移民ノ爲ニ開カレベキ實地ヲ放棄スルト云フコトハ將來ノ爲ニ如何カト考ヘテ實ハ今御質問シタ譯デアリマス

更ニモウ一ツハ三年バカリ前ガ拓務省ニ居リマシタ時ニ、「メキシコ」カラ移民ガ參リマシテ、支那、滿洲ハ日本ガ占領シテ居ルサウダ、ソコデ吾々ハ「メキシコ」デヤルヨリモ母國ニ近イ支那、滿洲——大陸ヲリタイ、次ノ船デ八十家族參リマスカラ、約二千町歩位支那ニ土地ヲ與レ、斯ウ言ツテ來タ、私ハ其ノ不心得ヲ論シマシタガ、更ニ其ノ次ニハ中南米方面カラ又來マシタ、蘭印方面ガ日本ノ勢力範圍ニ移サレタサウダガ、成ベク蘭印ニ行キタイカラ、其ノ手續ヲシテ與レ、斯ウ言ツテ來タ、非常ニ誤解ガアリマス、私ハ其ノ人々ヲ諭シマシテ、支那ハ人口過剩デアツテ、コチカラ移民ノ行ク所デナイ、支那ノ欲スルハ技術ヲ資本デアツテ、移民デナイノダ、更ニ蘭印方面ニ至ツテハ、是カラ經濟的ニ或ル交渉ヲシヨウト云フ譯デアツテ、日本ガ是カラ蘭印ニ移民ヲ送ルトカ、サウ云フ段階ニハ行ツテ居ラス、長イ開苦勞シテ建設シタ南米ノ地盤ヲ放棄シテ來ルト云フコトハ心得違ヒダト云フコトヲ申シテ歸シタノガアリマスガ、是等ノ話ニ依リマス、サウ云フ爲ニ動搖シテドンドシ歸ツテ來ヨウト云フヤウナ氣配ガアルラシ、此ノ點ハ大使使若クハ領事ヲ通ジマシテ、動搖セシメナイヤウニ外務省トシテハ御處置ヲ御執願ヒタイ、又外務省トシテサウ云フヤウナコトヲ現地カラ御報告ガ

シタ方ガ宜イト考ヘテ居リマス、併シナカラ今日ノ狀態デハマダソコマデ行ツテ居ラナイ、サウスルト折角ノ日本ノ移民ノ爲ニ開カレベキ實地ヲ放棄スルト云フコトハ將來ノ爲ニ如何カト考ヘテ實ハ今御質問シタ譯デアリマス

○松岡國務大臣 サウ云フコトハナイコトヲ期シテ居リマスガ、若シアリマスレバ、又費用ガナケレバ相當ノ豫算ヲ御取リニナツテハドウカト考ヘマスガ、御意見ヲ伺ヒマス

○伊禮委員 モウ一點伺ヒマス、最近民間デ海外物故者ノ慰靈建設ノ運動ガ起ツテ居リマス、海外ノ第一線ニ立ツテ帝國ノ繁榮ノ爲ニ活躍シテ居ル多クノ移民ノ先覺者、是等ノ士ト云フモノハ、私ハ大陸ニ於ケル戰死者ニ次グベキ功勞者ト考ヘテ居リマス、斯ウ云フ者ノ靈ヲ慰メテ慰靈殿ヲ建設スルコトハ、寧ロ私ハ國家ノ事業トシテ政府ガ進シテオヨリニナツテモ宜イト考ヘテ居リマス、併シ政府ニ於ケル斯ウ云フ目論見ハマダ開イテ居リマセウガ、民間デ斯様ナ目論見ガアル場合ハ、政府トシテモ相當ナ助成ヲシテ戴イテ宜イ問題デハナイカ、斯様ニ考ヘマスガ、政府ハドウ云フ風ニ御考ヘニナリマスガ

○松岡國務大臣 私ハ全然御同感デアリマス

○依光主査 笠井重治君

○笠井委員 私人昨日モウ少シ大臣ニ伺ヒタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、時間モアリマセウデシタノデ、極ク簡單ニ一二ノ點ヲ御伺ヒシタノデアリマスガ、本日ハ別ニ大臣ニ質問スルト云フノデアリマス、少シク希望ヲ申上ゲタイト思ツテ居ルノデアリマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスト、ドウモココ二三年間外部カラ聞キマスト、外務省ノ内部ニ於テハ所謂革新派ト

アツカドウカ、之ヲ伺ヒタイ

○大橋政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、昨年「ブラジル」移民ノ代表者ガ二六百年ノ式典ノ時ニ參リマシテ、其ノ指導者ガ、實ハ斯ウ云フ譯デ非常ニ動搖シテ居ルカラ、一ツ中南米ノ移民ノ代表者ニ向ツテ話ヲシテ吳レト云フコトデ話ヲ致シマシタガ、私ハ滿洲モ能ク知ツテ居ルガ、中南米ノ狀態モ能ク知ツテ居ル關係上、兩者ヲ公平ニ比較致シマシテ、勞働賃金ノ非常ニ高イ中南米ト、支那滿洲ノ如キ勞働ノ非常ニ安イ地方トデハ到底比較ニナラス、氣候ノ點其ノ他ノ點ニ於テ、中南米ニ於テ成功シナイモノガ支那滿洲ニ移民シタツテ到底成功スル可能性ハナイト云フコトヲ能ク説イテ聽カセテ、是ハ一ツ歸ツテ同志ニ話シテ與レト申シマシタ、又其ノ代表者ノ或ル者ハ現實ニ支那滿洲ノ方ヲ視テ參リマシテ歸ツタ、又現地ノ總領事等ニモサウ云フ趣旨ヲ以テ、勸誘セズニ其處ニ腰ヲ落着ケテ其ノ土地ヲ運命ヲ開拓スルヤウニ指導スルヤウニ命令シテアリマス、此ノ點ハ今後トモサウシマスガ、過去ニ於テモサウ云フヤウナ事情デスカラ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○伊禮委員 ソレカラ中南米地方ニハ日本語教育ヲ許サナイ國ガアルト聞イテ居リマスガ、移民ガ動搖シテ落着カナイノモ一ツハ子弟教育ノ關係デナイカト考ヘマス、之ニ付テ外交交渉デ特別ニ本國ノ教育ヲ許可シテ貰フト云フコトハ出來ナイモノデセウカ、若シ出來ナイトスレバ、是等ノ移民ノ子弟ノ日本語教育ニ付テ政府トシテ何カ御考ヘヲ持ツテ居ラレカ、例ヘバ特ニサウ云フ者ヲ母國ニ歸シテ、コチラデ特別ノ教育ヲシテヤルトカ、何カ外ニ便法デアアリ

云フモノガアツテ、サウシテ偶ニハ大臣ヲ脅カシ、或ハ大臣ノ言フコトモ聽カナイ、大臣ニ辭メト勸告モスルト云フヤウナコトガ屢々アツタト聞イテ居リマス、併シナガラ松岡外相、ソレカラ外相ノ最近ノ部下ノ諸君ニ於ケレマシテハ、斯ウ云フコトハナイト信ジテ居リマスガ、若シ斯ウ云フ風ナ傾向ガ幾分ナリトモ殘ツテ居ルト致シマシタナラバ、其ノ點ハ一掃ヲ致シテ戴キタイト思ツテ居リマス、殊ニ松岡、大橋ノ「コンビネーション」ハ私モ昨日申上ゲタヤウニ、非常ニ宜イト思ツテ居リマス、兩氏トモ多年尊敬スル友人デアリマスガ、此ノ場合ニ於テ、昨日モ禮儀關ノ「トラディショナル」ヲ尊重サレテ居ルト仰シヤツテ居リマスガ、正ニ其ノ點ニ付テ御注意ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、ソコデ此ノ間私ハ金子堅太郎伯ニ御目ニ掛ツタ時ニ、金子サンガ大變心配サレテ居リマス點ガ一ツアリマシタ、ソレハ此ノ間樞密院ニ或ル一ツノ議案ガ出テ來タ、ソレハ文官任用ノ案デアリマスガ、從來ハ外務省ノ官吏應募者ニ對シテハ外國語ノ試験ヲシテ居ツタケレドモ、今回ハ之ヲ撤廢シテ居ルト云フコトヲ言ツテ居リマシタ、ソレデ今日ノ傾向ト致シマスト、海外ノ各國ニアリマス我が國ノ外交關係ノ官制ヲ見マスレバ、「ドイツイ」ニ行ツテ、「ドイツイ」ニ於ケル日本大使館ノ幾多ノ官吏ヲ見ルト「ドイツイ」語ヲ知ラナイ、「アメリカ」ニ行ツテ「アメリカ」大使館附ノ官吏ヲ見マス「アメリカ」英語ノ自由ニ話ス人ガナイ、「イギリス」ニ行ツテモ其ノ通りデアル、或ハ南米各地ニ行ツテモサウ云フ風ナ傾向ガアリマスガ、私ハ是ハドウモ忌ムベキ傾向デアラウト思フ、ソレハドウ云フ所カラ來タ

マスカ、之ヲ伺ヒタイ

○大橋政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ北米ニ於ケル移民問題ニナツテ居ツタノデアリマスガ、現ニ「ブラジル」ニ於ケル移民問題ガ起リマシテ、サウシテ日本人ノ日本語ニ依ル教育ト云フモノハ公式ニハ許可サレテ居ナイ、ソコデ今日ニ於テハ寺子屋式ニ、親ト子供トノ連絡ヲ保ツ意味ニ於ケルマシテ、密カニサツテ居ルト云フヤウナ話ヲ聞イテ居リマスガ、是モ餘リ表面ニ出スト又問題ニナルダラウト思ヒマスガ、是ハ外ニ言ツテ戴イテハ困ルノデアリマスガ、「ブラジル」ノ國ト致シマシテハ、若シ其ノ國內ニ日本帝國モ出來ル、「ドイツイ」帝國モ出來ルト云フヤウナ風デハ國家ノ統一上面白クナイト云フノデ、言葉ノ點カラ縮メテ行クト云フコトハ「ブラジル」トシテハ是ハ尤モナ次第デアラウト思フノデアリマスガ、併シナガラ同時ニ、向フニ參リマシタ移民ノ親ト子供トノ間デ言葉ガ疎通致サナイト云フコトデハ、是亦移民ノ立場カラ言ツテ困ルコトデアリマスガ、出來得ル限リ今後トモサウ云フ意味ニ於テ日本語ノ教育ヲ認メルヤウニ努力ハ致シマスルガ、向フノ立場ト云フモノモ同情ヲシテヤラナクテハナラヌダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ若シ其ノ子供ヲ「ブラジル」ニ置キタイナイ、日本ニ歸シテ結局日本活動サセタイト思フヤウナ子弟ハ早キニ及ンデ日本ニ送ツテ、子供ノ時カラ日本ノ教育ヲ受ケサセテ、方方適當チヤナイカ、其ノ方針ガ決マラス、久シク躊躇シテ僅カバカリノ日本語ヲ教ヘテ居ルノデハ、結局日本人デアルカ、或ハ其ノ土地ノ者デアルカ分ラヌヤウナ中途半端者ガ出來テ、思想的其ノ他ノ點

○松岡國務大臣 是ハ私ノ持論デアリマスガ、向フテ永住土着スル者ハ寧ロ向フノ教育ヲ受ケテ向フノ人トナル決心ヲシタ方ガ宜イ、ドウシテモ日本ニ歸リタイト云フモノハ、早キニ及ンデ其ノ子供タケハ日本ニ送ツテ日本人トシテノ教育ヲシツカリシタ方ガ宜イノダト云フ信念ヲ實ハ私ハ持チマシテ、北米ニ居リマス當時モ其ノ考ヘデ居留民ヲ指導シテ居ツタ次第デアリマス、サウシテ其ノ考ヘハ今日ニ於テモ變ラナイノデアリマス、大體サウ云フヤウナ意向デアリマス

○伊禮委員 ソレカラ外國ニ於ケル領事等ガ非常ニ腰ガ弱イト云フ非難ヲ聞クシ、更ニ又居ルノカ居ラスノカ分ラヌ、何モ活動ラヌ方ガ宜イ、邪魔ニナツテ仕様ガナイ、斯ウ云フコトモ聞カサレル、色々聞イテ居リマス、中ニハ斯ウ云フ例ガアル、邦人ノ或ル事件ガアツテ、其處マデ領事ニ來テ貰ハナケレバナラヌ時ニ、馬車ヲ驅ツテヤツテ來タ、其ノ爲ニ手後レニナツタ、ソコデ仕方ガナイノデ、在留邦人ガ自動車ヲ一臺買ツテ獻上シタ、所ガ、ガソリンノ代ガ要ルシ、運轉手ヲ雇ハナケレバナラヌ、費用ガ掛ルカサウシテ相變ラズ馬車デヤツテ來タ、ソレデ間ニ合ハヌ、斯ウ云フヤウナ實例モ私ハ聞イテ居リマス、併シ是ハ若シ費用ガナイ爲ニ活動ガ出來ナイト云フナラバ、モウ少シ豫算ヲ御取リニナツテ、折角働カ以上ハ十分ニ活動出來ルヤウニ費用ヲ提供サレタラドウカト考ヘマス、尤モ是ハ今ノ松岡外務大臣ノ時代ニナツテ話デアリマス、若シ私ノ見聞シタハ舊イ話デアリマスガ、若



カト云ヒマス、恐ラク斯ウ云フ考ヘカ  
来タノハナイカト思ツテ居リマス、外交  
官ト云フモノハ軟弱ヲ、外交官ト云フモノ  
ハ硬骨ナイト云フ風ナ、詰リ世界ノ情勢  
ヲ知ラナイ國內ノ一部ノ人士ノ輿論ニ押サ  
レテ外務省ハ何デモ強ガリヲ言ヘバ宜イノ  
ダ、外國語ノ研究ナド要ルモノカ、今度ハ  
日本ハ日本ダト云フ風ナ非常ニ狭イ考ヘノ  
所謂「ジョーヴィニステック」ナ愛國心ニ驅  
ラレテ、サウ云フヤウナ傾向ガアリハシ  
ナイカト云フコトヲ慎レテ居リマス、若シ  
外交官カラ外國語ヲ武器ヲ取ツテシマツタ  
ラ何ガ殘ルカ、松岡外相方屯ニ角、ゼネ  
ラマデ行カレタト云フノハ、松岡サンガ  
行ツテ向フノ人ヲ論破スルダケノ辯論、學  
識ヲ持ツテ居ツカカラデアル、氣力ヲ持ツ  
テ居ツカカラデアル、所ガ今後來ルベキ外  
交官ノ中カラサウ云フ人ヲ選バウトスト、  
大體少クナツテ來ル、斯ウ云フヤウナ傾向  
ガアリマス、此ノ點ハ外相カラ十分御  
注意ヲ願フテ、若シ夫レ間違ツタ「ジョー  
ヴィニステック」ナ考ヘカ、踏ミ違ヘルト  
所ノ愛國心ヲ外務省ニ傳播シテ、從來ノ古  
イ人間ハ駄目ダ、若イ人間デヤレ、革新デ  
ヤレト云フワナ考ヘガアルトシタナラバ、  
是ハ忌ムベキ傾向デハナイカト思ヒマス、  
此ノ點ヲ一ツ外務大臣カラ部内ノ者ニ御注  
意シテ戴キタイト思ヒマス

ケレドモ、サウ云フ風ニ餘リニ駄法螺ヲ  
喋ルコトハ慎シムベキデアル、今日ハ沈黙  
ノ外交ト云フコトガ最も必要ナル時デアラ  
ウト思ヒマス、即チ「サイレント・イズ・  
ゴールド」ニ沈黙ハ金ナリデハナイカト思  
テ居リマス、先程中山君ガ言ハレタヤウ  
ニ、今日ハ眞ニ不言實行ノ時代ガ來テ居ル  
ヤウニ思ヒマス、此ノ點ニ付テハ、特  
ニ外務大臣カラ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス  
最後ニ、是ハ實ハ大臣ニモ中上デタノデ  
アリマスガ、今朝私ノ所ヘ非常ニ有力ナ元  
老ノ私信ガ一ツ來テ居リマスガ、其ノ中ニ、  
此ノ間ノ大臣ノ議會ニ於ケル答辯ガ、其ノ  
内容ヨリモ昔ヒ方ガ餘程世界各國ニ幸タ當  
ツタノデハナイカト云フコトヲ大變心配セ  
ラレテ居ルノデアリマス、ソレデアリマス  
カラ、兎ニ角議會ニ出席シマスルコトハ、再々  
議員ニ御話ヲ申シタル同時ニ、海外ニ餘程影  
響ガアルモノダト云フコトデアリマスガ、サ  
モ承知シテ居ラレドコトデアリマスガ、サ  
ウ云フ風ニ一元老ガ大臣ニ御傳ヘテ願ヒタ  
イト言ツテ來テ居リマス、此ノ點ニ付  
テモ一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス  
ソレカラ又昨日私ガ御伺ヒ致シタコトデ  
アリマスガ、近來日本ノ外務省ハ身分仕事  
ガ煩エテ來タコトト思ヒマス、ソレデアリ  
マシテハ、前ノ極東局長ノ「ホーレンベック」  
ニ於テモ、前ノ極東局長ノ「ホーレンベック」  
博士ガ今ハ極東局長ノ顧問ニナツテ、其ノ下  
ニ「スタクンレー」ガ極東局長デアリ、更ニ「ウ  
エルズ」及「パレー」ノ兩氏ガ次官補ヲ  
ヤツテ居ルヤウデアリマス、外務大臣又事  
務次官ハ相當ニ忙シクナツテ來ルノデアリ  
マスカラ、次官補ノヤウナモノ——是ハ

恐ラクサウ云フコトデモナイト思ヒマス  
レドモ、如何ニシマシテモ外務省内ニ若シ  
夫レ派閥ガアルト云フコトニナリマス、  
是ハ洵ニ忌ムベキコトデアリマスカラシテ  
此ノ點ナドニ付テハ十分御注意ヲ願ヒタイ  
ト思ツテ、本日御願ヒテ致シ次第デアリマ  
ス  
尚ホ時々外務大臣ノ惡口ヤ次官ノ惡口ナ  
ドヲ吾々ハ外部ニ於テ所謂外務省内部ノ革  
新派ナドカラ聽キマスガ、斯ウ云フコトハ  
私ハ洵ニ遺憾ダト思フ、大臣、次官ハオ人好  
シデアラカラ、ソノ事ハ君何ダト仰シヤ  
ルカモ知ラセスケレドモ、私ハサウ云フ  
コトハ許スベカラザルコトデアラウト思ヒ  
マス、幸ヒニ昨日ノ御言葉ニ依ツテ見マス  
ト、明治以來外務省ノ建直ツタコトガ今日  
ノ如キハナイト仰シヤラレド、非常ニ  
其ノ點ハ安心ヲ致シマシタガ、ドウカ此ノ  
場合ニ於テ、我が國外交ノ刷新ヲナスベキ  
時代ニ於テ、内輪ニ於テ些細ナ事カラ大業  
ヲ翼賛スベキ重大ナル任務ヲ果スベキ方々  
ガ簡單ニ選ルト云フヤウナコトハ、非常ニ  
國家ノ爲ニ損失ガ大ナリト思ヒマス、  
是等ノ諸點ヲ一語致シマシテ質問ノ希望ト  
致シマシテ外務大臣ニ申上ゲル次第デアリ  
マス、之ニ付テ外務大臣ノ御所見ヲ出來レ  
バ伺ヒタイト思ツテ居リマス  
○松岡國務大臣 私モ先ツ一括シテ御答ヘ  
致シマスガ、多クノ點ニ於テ御注意ヲ洵ニ有  
難ウゴザイマス、諒承シテ置キマス、唯御  
陳述ノ中デ事實ニ關シテ或ハ誤解ガ傳ハツ  
テ居ルノデハナイカト思ヘルヤウナ點ヲ一  
二點私ノ見ル所ニ依ツテ正シテ置キマス、  
ソレハ語學ノ點ニ於テ御懸念ガアツタヤウ  
ニ思ヒマス、又或ル元老ガ心配シテ居ツタ

ヤウナ御話デアリマスガ、此ノ事ニ付テハ  
昨日モ笠井君ノ質疑中ニ申サレタカト記憶  
シテ居リマスガ、是ハ軍人ニ取ツテノ武器  
デアリマス、武器ヲ磨カズニ幾ラ威張ツタ  
所デ斬レヤウガナイノデアリマス、動モス  
レバ語學ニ付テ十分重キヲ置イテ居ラスト  
言フ者ガ寧ロ外務省ノ外ニ居リマス、例ヘ  
バ私人ノコトヲ評スル立場ニ居リマセヌ  
ガ、或ル人ナドガ通辯ヲ使ツテ外國人ト話  
ヲスル、即チ日本語ヲ使ツタト云フコトヲ  
非常ニ愉快ガツテ、サモ偉イ事デアルヤウ  
ナ風ニ外デ持テス氣味ガアリマスガ、是ナ  
ドハ私ハ餘リニモ外交ノ實際ヲ知ラナイ人  
達ノ考ヘ方デ、決シテ私ハサウ云フコトニ  
左袒致シテ居ル者デハナイノデアリマス、此  
ノ間モ外交官試験ト云フ特別ナモノラ廢ス  
ルコトニハ賛成致シマシタ、是ハ私ノ二十  
數年來ノ持論デアリマス、アア云フ特別ナ  
試験ハ要ラヌト云フノデアアル、ケレドモソ  
レガ爲ニ外國語ヲ決シテ重視シテ居ルノデハ  
ナイノデアリマス、幾ラ威張ツタ所デ日本  
語デアリマス、通辯ナドト云フ  
モノハ、ドソナ立派ナ通辯デモ結局痒イ所ニ  
手ノ届クモノデハナイノデス、ソレハ無理  
ナノデス、無論頭ノアルコトハ前提デアリ  
マス、頭ノナイ宿引ノヤウナ外國語ガ役ニ  
立ツモノデナイコトハ、是ハ固ヨリデアアル、  
ダカラ先ツ頭ノアルコトハ前提デアリマス、  
私ハ外國語ト云フ武器ヲ持ツテ居ラスト居  
ルトハ、效果ニ大變ナ差ガアルト豫テカラ  
感ジテ居ル者デアリマス、又外務省デモ其  
ノ點ハ十分考ヘテ居ルノデアリマシテ、  
現ニ二十年來、其ノ以前トハ變ツテ、外交  
官試験ヲ「パス」シタ人間ノ中デ優秀者ハ數  
多ク外國ニ留學サシテ居ルノデアリマス、又其

ノ結果ハ大變ニ良イノデアリマス、私共若  
イ時外交官ニナツタ頃ハ出鱈目デアリマス、  
其ノ方面ノ修養ナド殆ドサセテ戴ケナカッ  
タ、ソレハモウ二十年來改メタノデス、又  
現ニ本年度モ試験合格者ノ中カラ研究員ヲ  
十名モ海外ニ派スルコトニ決定シテ居ル次  
第デアリマス  
ソレカラ實際ノ事實ニ付テ向ホ世間ニ誤  
解ガアレバ是正シテ置キマスガ、私自ラ上  
海事變ノ時ニ上海ニ參リ、次イデ「ゼネラル」  
ニ參リマシテ、久振リニ外務省ノ書記官  
連ヲ使ツテ見タノデアリマス、非常ニ驚キ  
且ツ愉快ニ感ジマシタコトハ、私共ノ書記  
官デ居ツタ時代トハ比較ニナラヌ程外國語  
ニ於テハ平均シテ練達デアリマス、此ノ點  
トハ反對ニ、其ノ後ノ外交官ハ、私共若  
イ時代ノ外務省ノ人達ノ語學ノ力ヨリズツ  
ト上ニ努メテ居ルノデアリマス、ドウソ  
此ノ點ニ付テハ誤解ノナイヤウニ御願ヒ  
シマス  
ソレカラ外務省内部ニ於ケル所ノ秩序ノ  
問題ニ付テ御希望ガアリマシタガ、其ノ御  
希望ノ通りニシタイト折角心掛ケテ居リマ  
スガ、唯此ノ事柄ニ付テ私ハ數言私ノ見ル  
所ヲ率直ニ話シテ誤解ノナイヤウニ御願ヒ  
シタイト思ヒマス、一言ニシテ言ヘバ下  
上、是ガ外務省ニ私ガ外務大臣ニナルマデ  
ニハ相當アツタヤウデアリマス、又獨リ下  
上トコロコトハナイ、若イ書記官同士ノ間  
デ相當劇烈ニ意見ノ差モ生ジテ居ツタト云  
フコトモ事實デアツタト私ハ思ヒマス、ケ  
レドモガ、下上ト云、又ハ若イ者同士ノ間  
デ議論ガ相當劇烈ニ分レテ居ツタ、又現ニ

或ル程度マデハサウデアアルト思ヒマスガ、  
ソレハ外務省ノミニ限ラレテ現象デハナイ  
ノデアリマス、是ハ私ガ説明スルマデモナ  
ク、今我が國ハ非常ニ革新ノ前夜デアリマ  
シテ、今宵前夜デハナイ、其ノ革新ノ第一  
ニ踏込デ居ルヤウナ事情デアリマシテ、  
サウ云フ時ニハ何處ノ國デモ、何時ノ時代  
デモ、私ハ下上ト見エルトモ起リ、ソ  
レカラオ互ニ同士ノ間デ甚ダシキハ刺シ違  
ヘテマデモ國事ヲ憂ヘテ激論ヲスルト云フ  
コトハ、是ハ附キモノデアアル、見キウニ依  
ツテハ斯カル現象ガアレバコソ吾々ハ皇國  
ノ前途ニ望ミガ持テルノデハナイカ、斯ウ  
ノ前途ニ望ミガ持テルノデハナイカ、斯ウ  
若シ外務省員ガ皆私ガ命令スレバ唯々諸々  
トシテ私ノ言フ通りニスルト云フコトニナ  
ツタ日ニハ、ソレハ大事デアツテ、ソノ  
氣力ノ無イ外務省ナラバ到底之ニ外交ヲ任  
スコトハ出來ヌ、私ハ外務大臣ニナツテ就  
任ノ挨拶ニ、内閣デハ國ヲ憂フル至情ニ基  
イテ居ルノナラ幾ラデモ激論ヲヤレ、私  
際リニ來テモ宜イノダ、其ノ代リ私モ殿  
カラト云フコトヲ言ツタ、サウシテオ互ヒニ  
眞劍ニナツテ上ト下トモナイ、眞ニ國事ヲ談  
ジ論ジ合ツテ呉レ、併シ誰カガ裁決ヲシナ  
ケレバナラス、ソレハ外務大臣ガ裁決ヲス  
ルニ決マツテ居ル、ソコデ私ガ裁決シタ時  
ニハ皆黙ツテ呉レナケレバイカス、サウシ  
テモウ外務省ノ方針ガ決マツタラ、右向ケ  
オイト言ヘバ皆右向イテ、其ノ前日マデ  
ノ激論モ志レテ、一緒ニ決メタ方針ヲ貫徹  
スルヤウニ眞黒ニナツテ働イテ呉レナケレ  
バナラス、ソレマデハ幾ラ議論ヲシテモ宜  
イ、唯外ラ駭ケスリ廻ツテ大臣ノ惡口ヲ言  
ツタリ、次官ヲ馬鹿野郎呼バハリマス、ソ